

社会医療法人 **かりゆし会 年報** 第21 巻 平成26 年度
(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

Annual report of Social medical corporation KARIYUSHIKAI
Vol.21 2014 (April 1,2014-March 31,2015)

年報発刊によせて



今年度において「病床機能報告制度」と「地域医療構想策定ガイドライン」が厚生労働省より提案され、各々の病院はその対応に右往左往している。その背景には、人口減少と高齢化が進む中で、国家財政が厳しい（国家債務 1000 兆円）現状下で、2025 年に向けて高度急性期から慢性期・居宅・住宅まで切れ目のない医療・介護連携と質の高い効率的な医療提供体制の構築（集約化）を進めていくのが趣旨のようだ。また、公共事業の投資は落ち着き、年金対策も平坦化し、残りは右肩上がりには上昇する医療・介護費の対策と考えている感がある。病床は現在のようなワイングラス型の病床数の配置ではなく、すそ野の広いピラミッド型へと。全国の病床機能報告の結果、2014 年度は高度急性期 15.5%、急性期 47.1%、回復期 8.9%、慢性期 28.5% で、その分布は 6 年後・11 年後も現行に近い結果であったと報告しており、全国の病院は現状維持（ワイングラス型）を希望している結果が出ている。地域医療の現状（病床機能報告数）と国の方向性（ガイドラインの機能別必要病床数）とで、数字がどの程度乖離しているか懸念しているところである。

上記ガイドラインでは、高度急性期病床の入院日当点は 3,000 点（入院基本料とリハビリ料などを除き）、急性期病床は 600 点（同じく）を区分点としており、当院の現状を分析し照らし合わせてみる必要があると考える。現時点において、当院の平均在院日数は 12 日台で、急性期を有する病棟の平均在院日数の 9 日前後（高度急性期は 14 日前後）より 2～3 日多いようだが、8～9 年後でその程度に達すればよいと思うも、入院患者の多くが急性期機能を有する病床の対象であることが求められる。日本医師会は「不足する機能の解消を目指しており、過剰な病床の削減を目指しているのではない」と強調し、「診療報酬によって水を差すべきでない」と、診療報酬による機能分化の誘導に釘を刺した。一方、厚労省は地域医療構想に基づく機能分化に向けた診療報酬体系について、7:1 の基準病床のさらなる強化も含め、今後何回かの診療報酬改定を通じて段階的に調整していくことになるとの見通しを示している。

さて、このような激動な医療界で、当会はどの様に進路を定めて進めていくのか。中南部東海岸を中心とした地域医療の充実と共に、病院は高度急性期と急性期機能を有する病床で 300 床を運営することを目指していくことを強く希望したいものです。

社会医療法人かりゆし会
理事長 安里 哲好

目次

年報発刊によせて	3
ハートライフ病院 平成 26 年度 年次報告	7
年報発刊によせての挨拶	9
病院概要	10
組織概要	10
施設概要	10
診療体制	13
平成26年度事業目標	14
患者統計	16
外来・救急外来	16
入院	19
地域医療支援病院認定 関連統計情報	28
ハートライフ病院 DMAT	30
財務状況推移	32
活動実績	33
ハートライフ病院 平成 26 年度の DPC/PDPS への 対応について	36
部署別業務実績	37
医 局	38
各科概要・実績	47
内 科	47
呼吸器内科	48
循環器内科	50
消化器内科	53
血液内科	58
小児科	61
心療内科	62
外 科	63
整形外科	70
脳神経外科	74
眼科	76
耳鼻咽喉科	78
泌尿器科	80
産婦人科	82
放射線科	88
麻酔科	90

血液浄化部	92
救急総合診療部	95
メディカルクラーク	98

看護部	101
部門紹介	101
各部署概要・実績	106
外来	106
救急外来	110
人工透析室	112
手術室・中央材料室	115
ICU	117
西 2 階病棟（産婦人科）	121
3 階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科）	124
3 階新病棟	127
4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）	129
5 階病棟（消化器内科・小児科）	132
6 階病棟（血液内科・腎臓内科）	135
7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科）	139
看護部 年度総括	143

医療技術部	145
各部署概要・実績	145
放射線科	145
臨床検査科	151
臨床工学科	154
栄養科	167
薬局	170
リハビリテーション科	172

事務部	181
部門紹介	181
各部署概要・実績	182
総務課	182
経理課	184
管財課	185
診療情報管理室	191
請求業務課	194
地域医療連携室	197
ハートライフ病院 企画室・法人事務局 経営企画室	208
料飲・販売	218

医療安全管理室	221
感染対策管理室	224
内視鏡センター	233
予防医学センター	237
委員会活動	243
かりゆし会の 1 年	287
平成26年度 20年勤続者	292
サークル活動	295
ハートライフクリニック平成 26 年度 年次 報告	297
年報発刊によせての挨拶	299
クリニック概要	300
組織概要	300
施設概要	300

患者統計	302
ハートライフクリニック業務実績	305
糖尿病内科	306
部門紹介	306
内科	311
部門紹介	311
小児科	313
部門紹介	313
附属施設	314
疾病予防運動施設リユーズ	314
ヘルシーカフェ ohana	316

ハートライフ地域包括ケアセンター	317
平成 26 年度 年次報告	317
施設概要	318
編集後記	321

笑顔で親切、
ハートライフ病院

笑顔だと、
気持ちいいよね。

ハートライフ病院 平成26年度 年次報告

Annual report of Heartlife hospital 2014



理念

わたしたちは心と心を結ぶ信頼される医療をめざします

基本方針

- 1. 急性期医療（質の高いチーム医療）
- 2. 地域完結型医療（地域保健・医療・福祉施設との連携）
- 3. 救急医療（24 時間二次救急）
- 4. がんの予防と治療
- 5. 研修教育病院
- 6. 健全な医療経営
- 7. 笑顔で親切

年報発刊によせての挨拶



平成 26 年度もハートライフ病院にとって素晴らしい一年になりました。昨年に引き続き県医師会表彰の 20 年永年勤続職員が 14 名とハートライフ病院が 2 年連続で沖縄一でした。院長としてご本人の努力とご家族や職場の同僚の支えや励ましに心から感謝申し上げます。平成 26 年度も 800 余名の職員がスクラムを組んで「笑顔で親切、ハートライフ病院」をモットーにより安全な医療、より質の高い医療の実践に尽力しました。24 時間の救急医療では 2,450 台の救急車を受け入れ、年間では約 8,000 人の新規入院患者さんの治療が行われました。日曜日午前中の小児科診療が継続され地域住民の方々から感謝の声が寄せられました。手術件数も年々増加しており、癌を含めた 2,567 件の手術を行いました。また、426 名の明日を担う新しい命が誕生しました。地域の皆様から頂戴した御恩を少しなりともお返しできた一年でした。

新しい治療も進められており、形成外科医が常勤となり乳房再建術や頸部食道癌術後の小腸遊離移植術（顕微鏡下に微細血管吻合）などの新しい治療が行われました。眼科でも九州で初めてとなる新しい角膜移植術が行われました。また、外科でも食道アカラシアに対する POEM 手術に沖縄で初めて成功しています。

長年申請してなかなか認められなかった災害医療派遣チーム（DMAT チーム）が厚生労働省に認められ誕生しました。5 名の職員が定期的に訓練に励んでいます。昨年取得を目指しながらできなかった「総合入院体制加算」を申請できました。これは特に人数が少ないにもかかわらず当直体制を引き受けてくださった薬剤師の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

平成 26 年に病床機能報告制度が始まりました。当院は地域の中核病院である地域医療支援病院としてこれまでどおり急性期医療に軸足を置いて一部ある高度急性期機能を今後も伸ばしていきたいと思います。しかし、少子高齢化の進んでいる地域の状況に対応していくために平成 27 年度の開設を目指し、病院のとなりに住宅型有料老人ホームを建設中です。また、これからは地域に要求されている訪問診療、訪問看護にも力を入れていきたいと考えています。また老朽化の進んだ産婦人科病棟、手狭になった外来の状況を改善するため「増改築検討委員会」が発足し、平成 29 年完成を目指し動き始めました。

今後もこれまで同様、職員一人ひとりが生き生きと働くことができる労働環境の整備、職員が日々成長を感じることもできる病院づくりを目指してみんなで努力していきたいと思います。

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
院長 奥島 憲彦

病院概要

(平成 26 年 4 月 1 日現在 / データ作成 総務課 吉川)

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院

所在地

〒 901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地

連絡先

電話 (098) 895-3255 (代表)
FAX (098) 895-2534
ホームページ <http://www.heartlife.or.jp/>

管理者一覧

理事長	安里哲好	副院長	佐久川 廣	看護部長	西 銘 宣 子
院長	奥 島 憲 彦	救急総合診療部長	與 座 一	医療技術部長	宮 城 竜 也
副院長	松 元 悟	外科系統部長	西 原 実	事務部長	當 銘 秀 之
副院長	久 場 良 也	医 局 長	普天間 光 彦		

施設概要

許可病床数

300 床 (開放病床 22 床)

敷地面積及び建物概要

敷地面積	19,474.80㎡	建築面積	7,231.56㎡	延べ床面積	24,680.51㎡
規模構造	鉄筋コンクリート造 地上 9 階・地下 1 階				

職員数

総 数 812 名

職種別

(平成 26 年 4 月 1 日現在 / データ作成 総務課 吉川)

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	65	クラーク	20	OMA	1	医師事務作業補助者	19
研修医	10	臨床工学士	11	視能訓練士	1	ソーシャルワーカー	5
保健師	4	臨床検査技師	35	診療放射線技師	17	施設技術者	4
助産師	20	理学療法士	13	管理栄養士	4	保育士	1
看護師	337	作業療法士	6	栄養士	1	その他	29
准看護師	24	言語聴覚士	4	調理師	13		
看護助手	48	薬剤師	11	事務	109	合計	812

指導医・専門医・認定医

(平成 26 年 8 月現在 / データ作成 総務課 吉川)

名称	人数
日本内科学会指導医	5
日本内科学会総合内科専門医	2
日本内科学会認定内科医	35
日本循環器学会専門医	5
日本呼吸器内科学会専門医	1
日本消化器病学会指導医	6
日本消化器病学会専門医	13
日本消化器がん検診学会認定医	7
日本消化器内視鏡学会指導医	8
日本消化器内視鏡学会専門医	18
日本肝臓学会専門医	3
日本肝臓病学会指導医	2
日本感染症学会指導医	2
インフェクションコントロールドクター	2
日本感染症学会専門医	2
日本血液学会指導医	2
日本血液学会専門医	9
日本透析医学会専門医	5
精神保健指定医	1
日本精神神経学会指導医	1
日本精神神経学会専門医	1
日本小児科学会専門医	7
日本がん治療認定医機構がん治療認定医	8
日本がん治療認定医機構暫定教育医	5
日本がん治療認定医機構認定医	2
日本外科学会指導医	2
日本外科学会専門医	10
日本外科学会認定医	1
日本外科学会認定登録医	2
日本乳癌学会専門医	1
日本乳癌学会認定医	1
検診マンモグラフィ読影認定医	6
日本食道学会認定医	3
日本大腸肛門病学会専門医	2
日本消化器外科学会指導医	5
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医	3
日本消化器外科学会専門医	2

名称	人数
日本内視鏡外科学会技術認定医	2
日本小児外科学会指導医	1
日本小児外科学会専門医	1
日本整形外科学会専門医	6
日本整形外科学会リウマチ認定医	4
日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医	4
日本手外科学会認定手外科専門医	2
日本形成外科学会専門医	1
日本創傷外科学会専門医	1
日本熱傷学会専門医	1
日本レーザー医学会指導医	1
日本レーザー医学会専門医	1
日本脳神経外科学会専門医	2
日本脳神経血管内治療学会専門医	1
日本産婦人科学会暫定指導医	1
日本産婦人科学会専門医	3
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医	1
母体保護法指定医	1
日本泌尿器科学会指導医	2
日本眼科学会専門医	2
AMO Advanced Femtosecond Laser	1
iEK certification	1
日本耳鼻咽喉科学会専門医	1
日本医学放射線学会診断専門医	1
日本医学放射線学会専門医	1
日本麻酔科学会指導医	1
日本麻酔科学会専門医	1
日本麻酔科学会認定医	1
日本ペインクリニック学会認定医	1
麻酔科標榜医	2
日本集中治療医学会専門医	1
日本救急医学会救急科専門医	4
日本人間ドック学会人間ドック健診専門医	1
日本人間ドック学会認定医	2
日本体育協会公認スポーツドクター	7
日本東洋医学会認定医	2
日本抗加齢医学会専門医	1
日本老年医学会専門医	1

名称	人数
JABTS 超音波講習会修了医	1
JPTEC インストラクター	2
BDLS プロバイダー	2
産業医科大学産業医学ディプロマ	2

名称	人数
日本医師学会認定健康スポーツ医	4
日本産業衛生学会専門医	2
日本医師会認定産業医	10
身体障害者福祉法指定医（肢体不自由）	1

病院機能認定など

1. 医師臨床研修指定病院（基幹型） 厚生労働省発医政第 1030005 号
2. 地域医療支援病院
3. 24 時間二次救急指定病院
4. （財）日本医療機能評価機構 一般病院 認定第 GB97-3 号
5. DPC 対象病院

指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 労働者災害補償保険指定医療機関
3. 妊娠中毒症医療費援護法指定医療機関
4. 母体保護法指定医療機関
5. 結核予防法指定医療機関
6. 生活保護法指定医療機関
7. 戦傷病者特別援護法指定医療機関
8. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《腎臓に関する医療》
9. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《耳鼻咽喉科に関する医療》
10. 原爆医療法指定医療機関
11. 指定自立支援医療機関（精神通院医療）
《てんかん》
12. 母子保健法指定病院医療機関（養育医療）
《未熟児医療》
13. 特定疾患治療研究事業指定医療機関
14. 小児特定疾患治療研究事業指定医療機関
15. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《心臓脈管外科に関する医療》

施設認定一覧

1. 日本整形外科専門医研修施設
2. 日本外科学会外科専門医修練施設
3. 日本消化器外科学会専門医修練施設
4. 日本消化器内視鏡学会認定指導施設
5. 日本循環器学会専門医研修施設
6. 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
7. 日本産婦人科学会卒後研修指導施設
8. 日本内科学会認定医制度教育病院
9. 日本泌尿器科専門医教育施設
10. 日本透析学会認定教育関連施設
11. 日本糖尿病学会認定教育施設
12. 日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児
- 専門医暫定研修施設
13. 日本脳神経外科学会専門医認定訓練施設
14. 日本臨床細胞学会認定施設
15. 日本眼科学会専門医制度研修施設
16. 日本病理学会研修登録施設
17. 日本消化器病学会認定施設
18. 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
19. 日本がん治療認定医機構認定研修施設
20. 臨床研修指定病院
21. 日本医療機能評価機構認定病院
22. 社団法人日本感染症学会研修施設
23. 非血縁者間骨髄採取施設・移植診療科施設

診療体制

標榜診療科目

- 内科
- 呼吸器内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 肝臓内科
- 糖尿病内科
- 血液内科
- 腎臓内科
- 人工透析内科
- リウマチ科
- 心療内科
- 精神科
- 小児科
- 外科
- 乳腺外科
- 食道外科
- 血管外科
- 大腸肛門外科
- 呼吸器外科
- 脾臓外科
- 整形外科
- 形成外科
- 脳神経外科
- 産婦人科
- 泌尿器科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 皮膚科
- 放射線科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 救急科
- 病理診断科

その他、センター・専門外来など

- 予防医学センター
（人間ドック・一般健診・生活習慣病予防健診）
- 内視鏡センター
- 人工透析センター
（昼間・夜間）
- 無菌治療センター
- 悪性腫瘍相談センター
- 胸やけ外来
- 不整脈外来
- 甲状腺外来
- 生活習慣病・禁煙外来
- 睡眠時無呼吸症候群（SAS）外来
- 股関節外科・股関節スポーツ外来
- ヘルニア外来
- 通院治療室（外来化学療法）

24 時間救急指定病院【内科・外科・整形外科・脳神経外科・循環器内科】

受付時間

月曜日～金曜日	午前 8：00 ～ 11：30	午後 12：00 ～ 16：30
土曜日	午前 8：00 ～ 11：30	午後 休診

診療時間

月曜日～金曜日	午前 9：00 ～ 12：00	午後 14：00 ～ 17：00
土曜日	午前 9：00 ～ 12：30	午後 休診

休診日

救急を除き、日曜日・祝日・土曜日の午後

平成26年度事業目標

大企業の給料ベースアップが報じられていますが、平成 26 年 4 月から消費税率アップ（8%）となり、病院にとっては厳しい一年になると予想されます。しかし、ハートライフ病院にとって昨年度同様に明るい、元気のあふれる一年にしたいと念願しています。今年度も職員が生き生きと働ける、職員が日々成長を感じる事が出来る労働環境をつくるべく努力したいと思います。平成 25 年度は総医業収入 80 億 4 千万円（前年比で約 1 億 2 千 4 百万円増）、当期利益 4 億 7 千万円（利益率 5.8%）でした。内科医が 3 人減少したにも関わらず収益増になりましたが、これも 職員の皆様の努力とご協力のおかげです。職員の皆様に心から感謝申し上げます。

平成 26 年度は診療報酬改正があり、6 千万円 / 年の減収が予想され、消費税率アップも加えますと全体で 1 億 5 千万円の減収になると予想しております。そこで平成 26 年度は総医業収入 81 億 8 千万円（対前年 1 億 4 千万円増）、当期利益 4 億 9 千万円（利益率 6.0%）をめざします。そのために病棟運営の 3 指標を病棟運営会議での検討、各部長へのヒヤリングなどをもとに下記のように設定しました。

【平成 26 年度病棟運営の 3 指標】

1. 新規入院患者数 609 人 / 月
2. 病床利用数 281 床（93.7%）
3. 平均在院日数 14 日

この目標を達成することが黒字経営のかぎになりますので全職員が日々の診療でこの数値を常に意識して努力していきましょう。

各部署の事業計画などを参考にハートライフ病院の平成 26 年度の目標を下記のように設定しました。全職員でこの目標達成に向けて努力していききたいと思います。

【平成 26 年度ハートライフ病院の目標】

1. より安全な医療とより質の高い医療の実践。
2. 健全な医療経営（増収と経費節減）をめざす。
3. 医療人としてより良い接遇（笑顔で親切）の実践。
4. 5 年後をみすえた人材育成
5. チャレンジ
6. ワークライフバランスのとれた労働環境の整備

上記目標を職員一人一人が毎日の診療の中で、仕事の中で努力していただきたいと思います。特に役職者は日々、病院の目標を「率先垂範」して職員の模範になっていただきたいと思います。

平成 19 年にハートライフ病院は「地域医療支援病院」に認定されました。地域のクリニックとの紹介、逆紹介を通して地域医療の中核病院として沖縄県から認められました。これまで地域医療支援病院の認定条件は紹介率 60% かつ逆紹介率 30% でした。今年度からは計算式の内容も変わりますが紹介率 65% かつ逆紹介率 40% とハードルが高くなりそうです。かなり厳しい条件になりますが目標値をクリアすべく頑張りましょう。各科の専門性をより高めてその診療内容を診療所の先生方や地域の方々に宣伝を行い紹介率のアップにつなげたいと思います。

また、平成 21 年には沖縄県で初めて「社会医療法人」に認定されました。これは地域医療で公的病院

に近い役割を果たしている病院で 5 つの領域のどちらかで一定以上の実績を上げていることが認定条件になります。当院は「救急医療」の分野で社会医療法人として認められましたので救急医療のより一層の充実を図っていききたいと思います。昨年、長年の目標だった救急専従医の採用が実現できましたので、来年度は後期研修医を採用できる救急総合診療部をつくっていききたいと思います。

今年度は診療報酬改定で 7 対 1 入院基本料の施設基準の厳格化をはじめとして、多くの改定があります。とれる加算を確実にとると同時にとれそうな加算の認定条件の取得に向けて、病院スタッフ全員で努力しなければなりません。これまで同様、DPC の機能係数Ⅱを上げるべく努力していききたいと思います。また、次年度から始まる病床機能報告制度に際し、情報収集とシミュレーションを行い、病院の進む方向性を検討します。

昨年度は健全な医療経営をマネジメントするために「BSC（バランスト スコアカード）」導入を図りましたが、一部の役職者への研修しかできませんでした。是非 今年も「経営の視点」「顧客の視点」「業務プロセスの視点」「学習と成長の視点」の 4 つの視点から戦略をたて実行していく BSC を職員全員に研修、周知徹底していききたいと思います。

がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病の 4 疾病の院内体制の強化を行うと同時に救急医療、災害時における医療、僻地の医療、小児救急を含めた小児医療、周産期医療の 5 事業にも市町村や県などの行政や医師会と連携して取り組んでまいります。

昨年度受診した日本病院機能評価で指摘された点を今年度、一つ一つ改善すべく努力します。今年度も患者さんの療養環境のアメニティの向上や職員の接遇教育の強化など患者さんの満足度向上を図る努力を継続します。

年度初めの「各科診療実績報告会」を今年度も継続します。そして、より充実した「年報」を作製します。昨年度は日本病院協会の「医療の質検討プロジェクト」の参加病院に選ばれました。今年度も参加を継続しクリニカルインジケーターを全国の病院と比較し、改善、ホームページへの公開につなげたいと思います。

旧館の外来を主体としたスペースが手狭になり、産婦人科病棟の老朽化がすみ患者さんやスタッフにご迷惑をおかけしています。今年度から新館と国道 329 号線の間駐車場に増改築を行い、産婦人科の外来、病棟、各科の外来など主に旧館の機能を移転する予定です。昨年度から動き始めており、平成 28 年度オープンの予定です。

これまで急性期医療のみを行ってきましたが、昨年度から介護の分野にも取り組んでいます。高齢の合併症の多い患者さんが増加し、満床で救急車や入院依頼を御断りせざるをえない状況が増えています。また地域の病院や介護施設、福祉施設も満床状況が続いています。そこで、今年度 訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、訪問介護ステーションなどを新設します。また 昨年度から住宅型有料老人ホームの建設を開始しており、平成 27 年 4 月開所予定です。

このように今年度も厳しい医療環境ですが、私たちは「笑顔で親切ハートライフ病院」をスローガンに職員が一丸となって「より安全な医療」「より質の高い医療」を実践していききたいと思います。そして患者さんやご家族が病院をでるときに「ハートライフ病院に来て良かった」と言っていたけように努力します。そして 職員が生き生きと働ける労働環境、職員が日々成長を実感できる労働環境をつくり、健全な医療経営も実現していききたいと思います。

ハートライフ病院 院長 奥島 憲彦

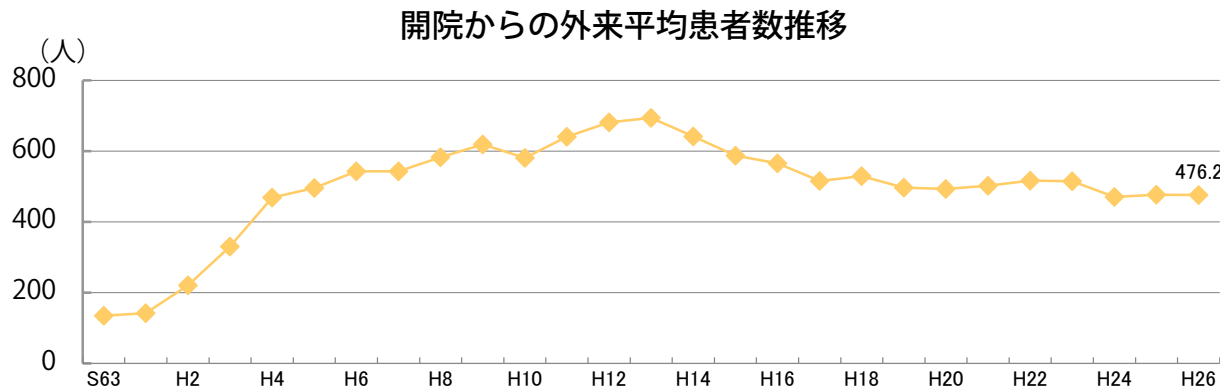
患者統計

外来・救急外来

外来 1 日平均患者数推移

(データ作成：請求業務課 金城)

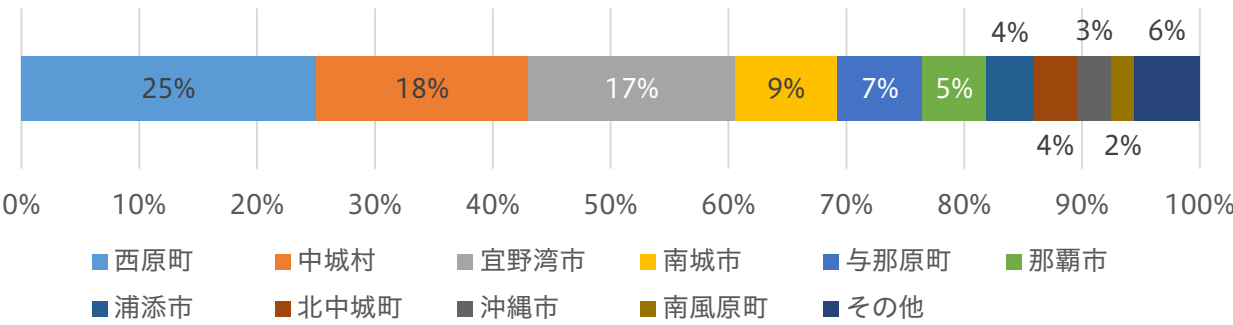
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成 22 年度	512.0	504.7	494.5	507.0	500.0	545.8	523.0	545.9	553.9	508.7	492.4	508.7	516.4
平成 23 年度	503.4	523.6	489.1	505	499.7	525.9	510.7	532	544.3	526.6	519.3	501.4	515.1
平成 24 年度	455.7	461.3	446.5	475.9	459.4	488.1	466.9	481.7	481.1	483.0	475.9	470.4	470.5
平成 25 年度	464.0	488.0	462.2	480.1	452.3	478.9	470.7	469.3	492.8	496.8	483.7	484.9	477.0
平成 26 年度	465.2	477.8	459.8	471.1	446.2	481.9	491.1	477.7	495.2	499.2	473.0	476.4	476.2



地域別外来患者数（延べ患者数）

地域	患者数
沖縄本島（橋で接続されている島を含む）	143,366
離島	983
県外	575
その他・不明	398
総合計	145,322

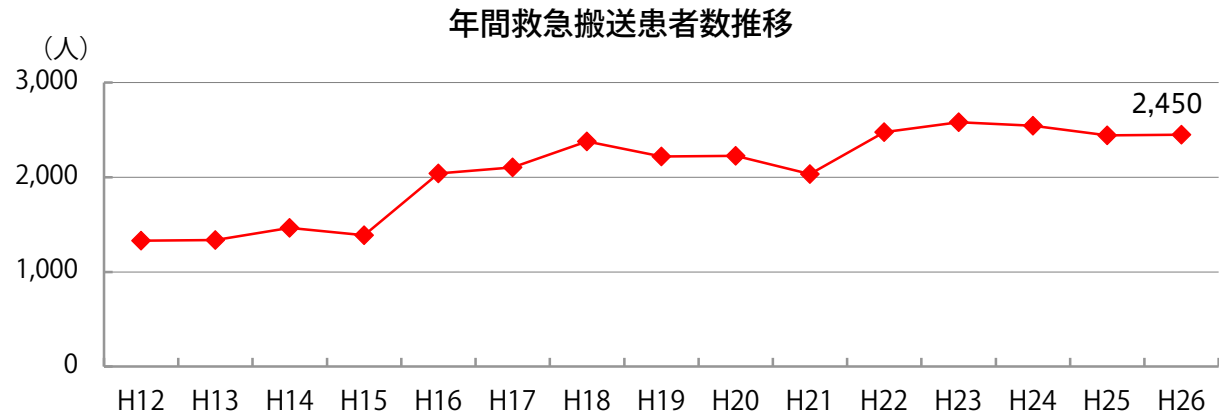
沖縄本島内 外来延べ患者構成比



救急搬送件数推移と救急患者の入院数

(データ作成：地域医療連携室 砂川)

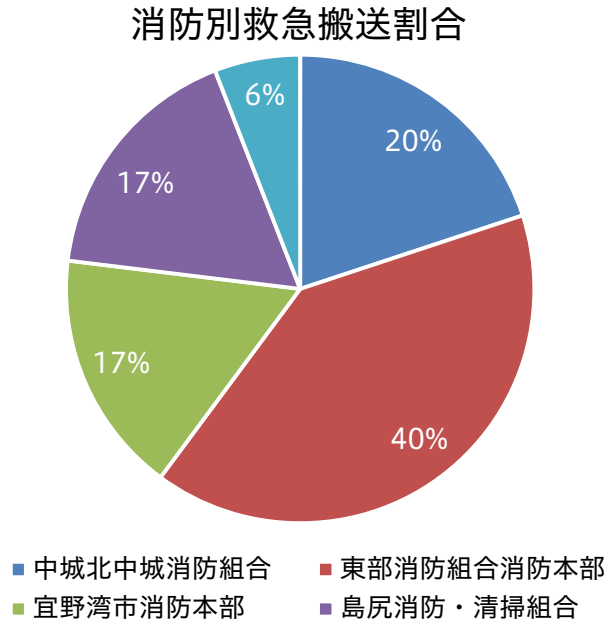
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	入院率
H19 年度 搬送人数	210	183	190	210	170	195	173	157	161	184	200	192	2,225	185.4	
内入院数	91	87	83	95	67	97	76	77	81	99	92	77	1,022	85.2	45.9%
H20 年度 搬送人数	204	179	174	219	195	183	190	169	195	208	158	168	2,242	186.8	
内入院数	92	68	67	79	69	67	85	80	85	92	71	72	927	77.3	41.3%
H21 年度 搬送人数	131	117	140	187	207	194	154	153	194	207	175	176	2,035	169.6	
内入院数	65	55	56	90	101	87	71	82	98	99	81	81	966	80.5	47.5%
H22 年度 搬送人数	162	188	185	230	221	224	195	225	223	231	169	222	2,475	206.3	
内入院数	81	76	91	88	83	84	87	110	96	110	91	99	1,096	91.3	44.3%
H23 年度 搬送人数	202	187	201	209	215	191	230	209	226	224	240	250	2,584	215.3	
内入院数	84	78	91	90	109	83	112	98	118	105	101	114	1,183	98.7	45.8%
H24 年度 搬送人数	205	193	184	230	226	204	215	241	234	228	179	204	2,543	211.9	
内入院数	97	99	94	108	107	96	107	127	111	118	91	90	1,245	103.8	49.0%
H25 年度 搬送人数	188	197	212	259	222	218	174	170	208	210	185	200	2,443	203.6	
内入院数	93	104	101	99	106	110	92	91	97	104	82	89	1,168	97.3	47.8%
H26 年度 搬送人数	185	188	209	235	204	197	200	193	199	262	187	191	2,450	204.2	
内入院数	80	91	95	110	94	98	113	94	106	131	99	97	1,208	100.7	49.3%



消防署（地域）別救急搬送件数

(地域医療支援病院運営委員会資料より / データ作成：地域医療連携室 砂川)

	当院救急搬送件数	うち、時間外救急搬送件数	時間外の比率
中城北中城消防組合（中城村・北中城村）	488	317	65.0%
東部消防組合消防本部（西原町・与那原町・南風原町）	986	680	69.0%
宜野湾市消防本部（宜野湾市）	411	286	69.6%
島尻消防・清掃組合（南城市・八重瀬町）	420	287	68.3%
その他消防（上記以外の市町村）	145	92	63.4%
合 計	2,450	1,662	67.8%

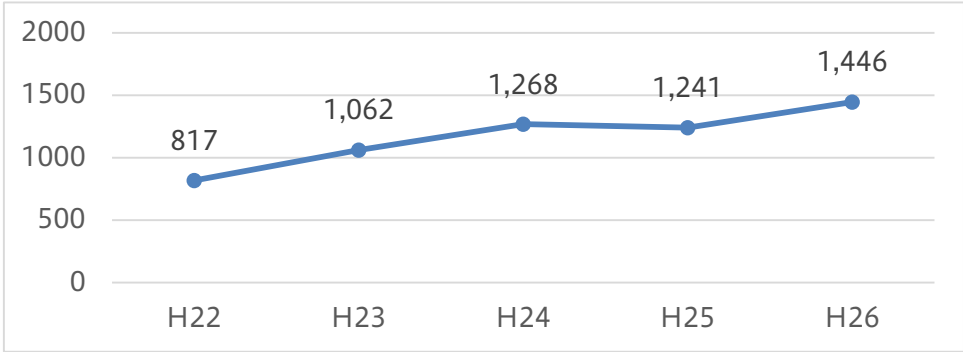


外来化学療法室（がん化学療法外来）施行数推移

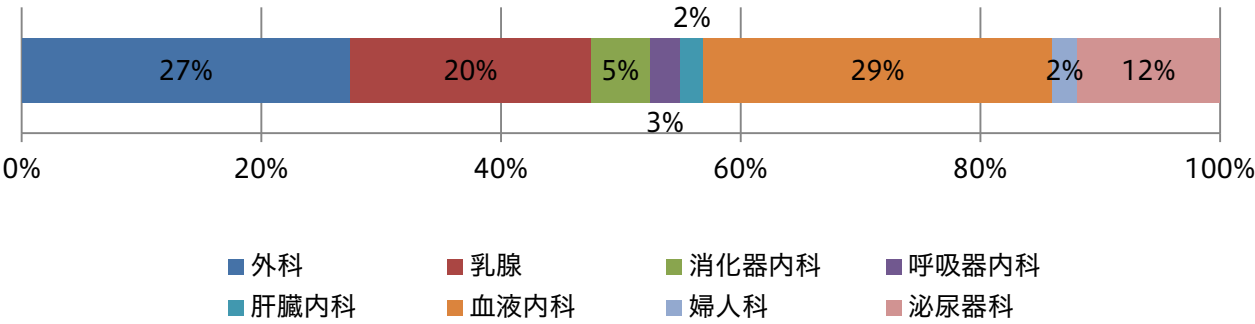
(データ作成:看護部外来 本田)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	32	36	30	36	33	31	35	32	27	38	37	30	397
乳腺	27	21	31	28	30	24	25	20	20	22	21	21	290
消化器内科	5	5	3	7	7	6	2	3	5	11	10	7	71
呼吸器内科			1	1	1	2	1	3	9	8	6	5	37
肝臓内科	3	4	2	2	2	1	4	3	5	2			28
血液内科	39	40	37	25	41	43	30	41	36	26	33	29	420
婦人科	1	1	2	5	3	4	3	3	3	1	3	2	31
泌尿器科	14	16	14	13	17	15	17	17	14	13	10	12	172
合計	121	123	120	117	134	126	117	122	119	121	120	106	1,446

外来化学療法件数年次推移



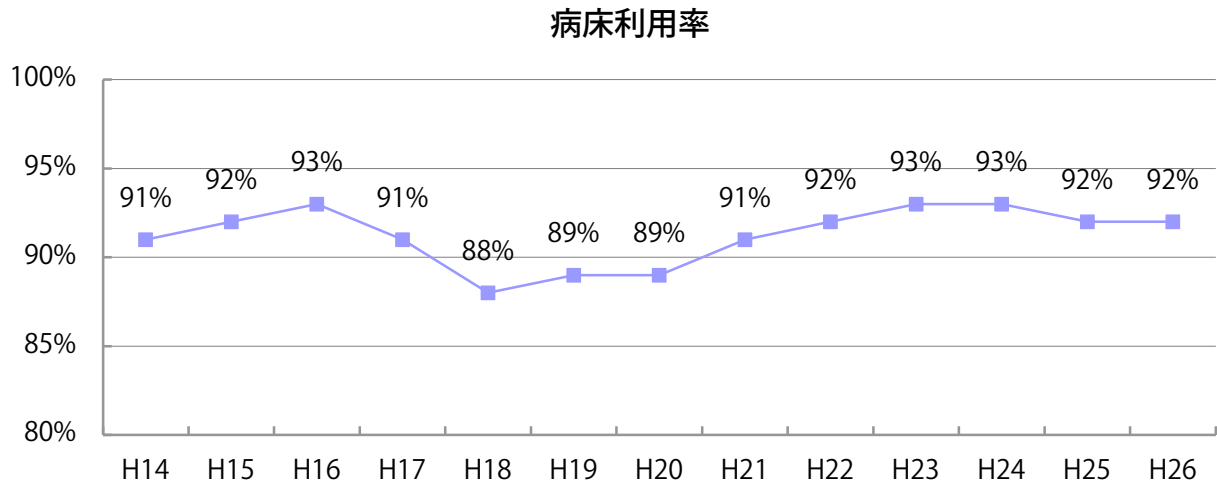
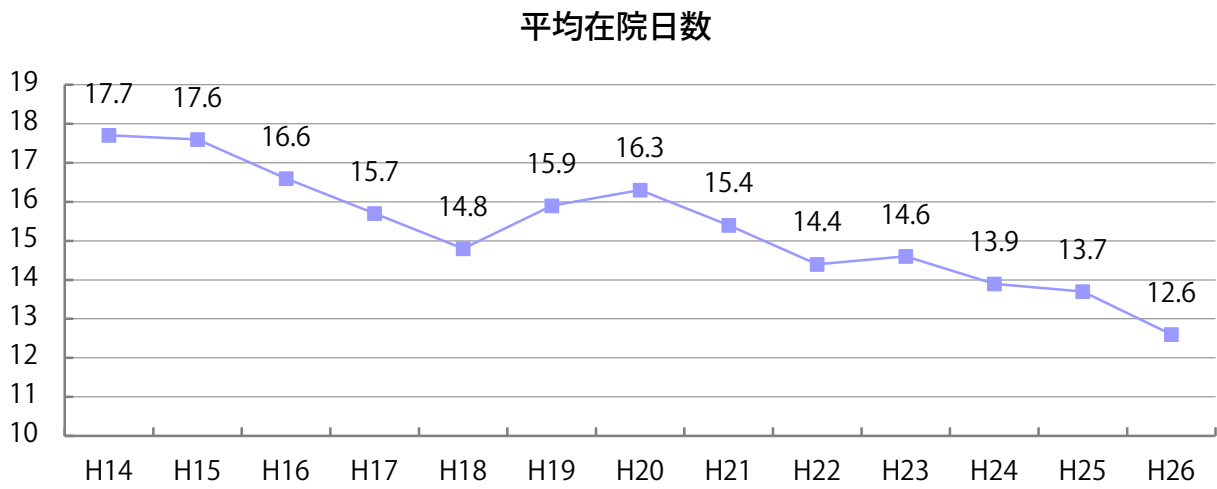
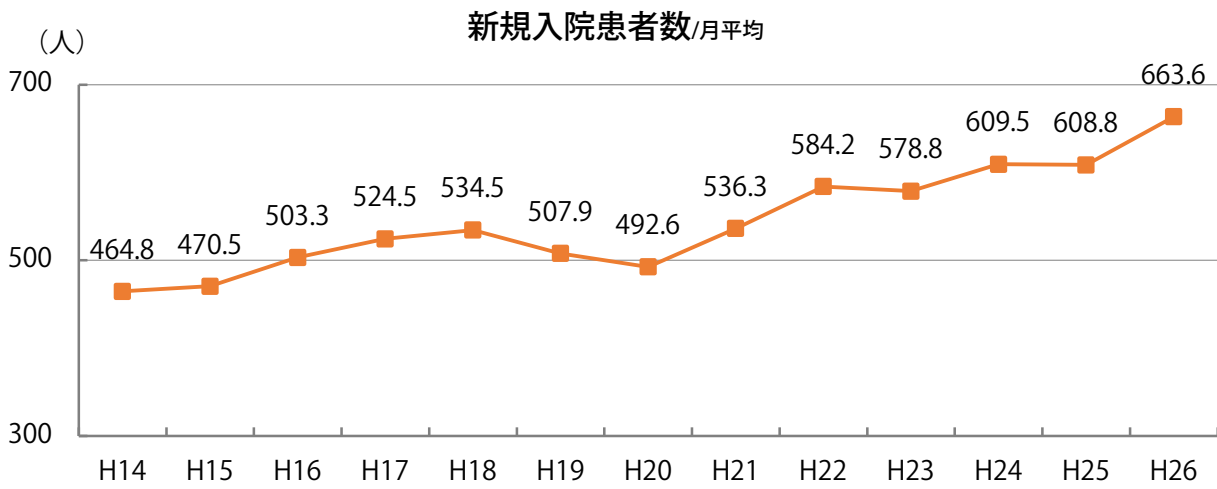
外来化学療法 診療科別割合



入院

3 指標

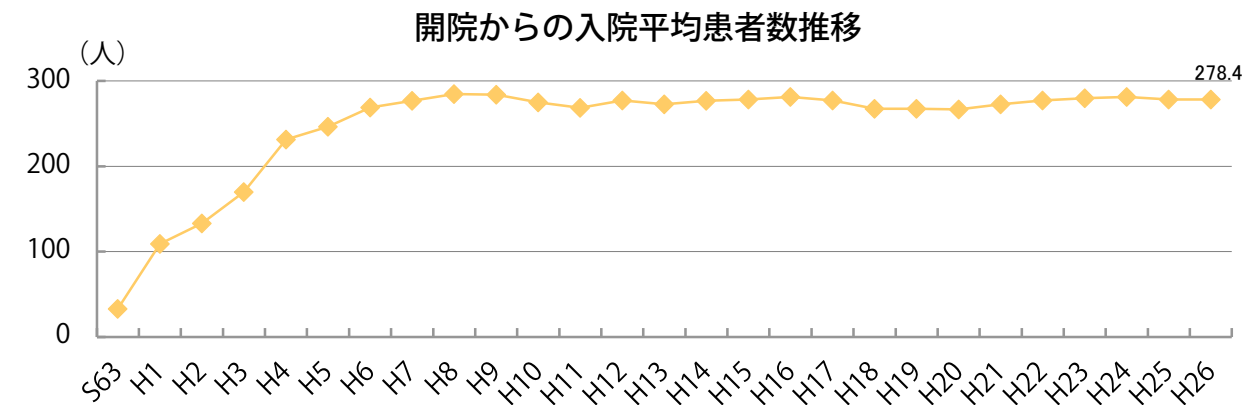
(データ作成:地域医療連携室 栗盛)



入院 1 日平均患者数推移（稼働）

（データ作成：請求業務課 宮城）

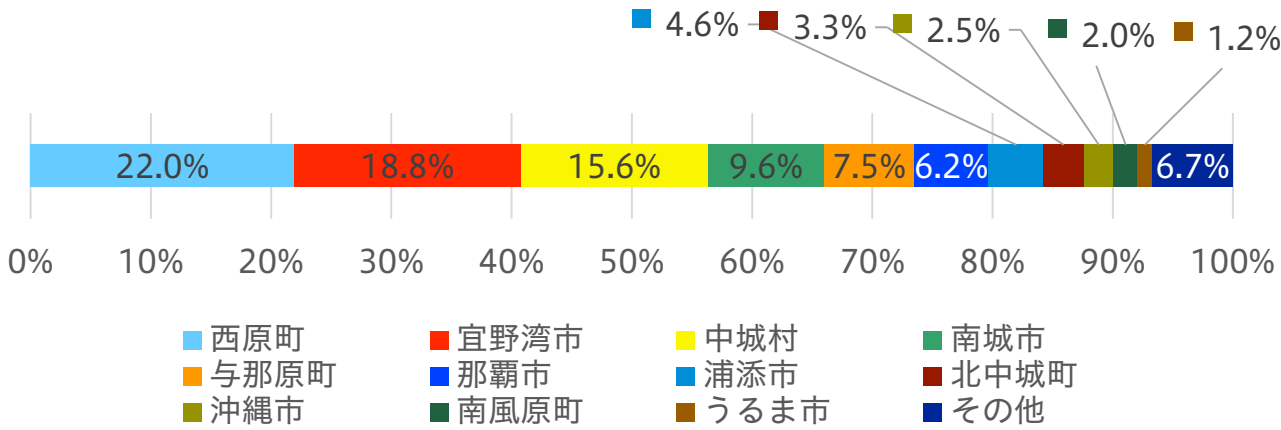
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
平成 24 年度	283.6	274.2	273.4	277.7	273.1	274.7	281.5	283.7	284.8	290.6	294.5	284.8	281.4
平成 25 年度	270.3	270.4	286.9	284.5	275.3	287.4	278.5	274.2	270.5	286.0	284.2	271.4	278.3
平成 26 年度	267.3	256.7	274.0	290.2	291.0	278.0	276.8	268.2	267.6	291.1	291.5	288.4	278.4



エリア別入院患者数（延べ患者数）

地域	患者数
沖縄本島（橋で接続されている島を含む）	8,291
離島	120
県外	88
その他・不明	6
総合計	8,505

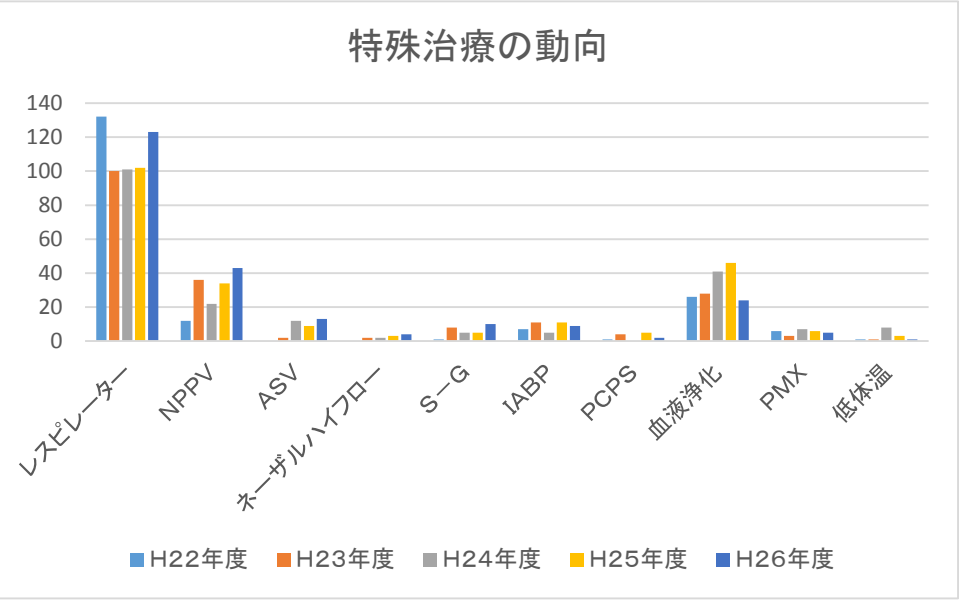
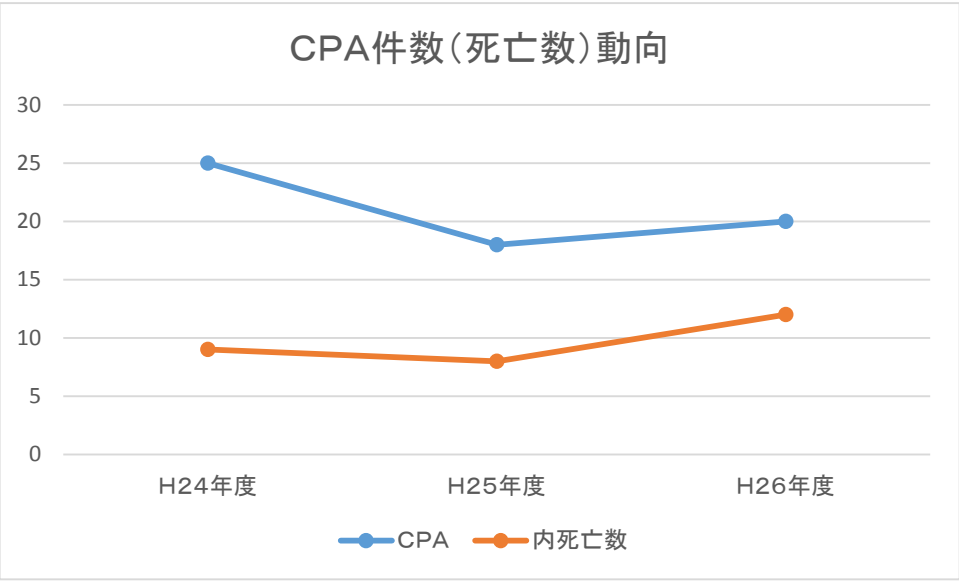
沖縄本島内 入院延べ患者構成比

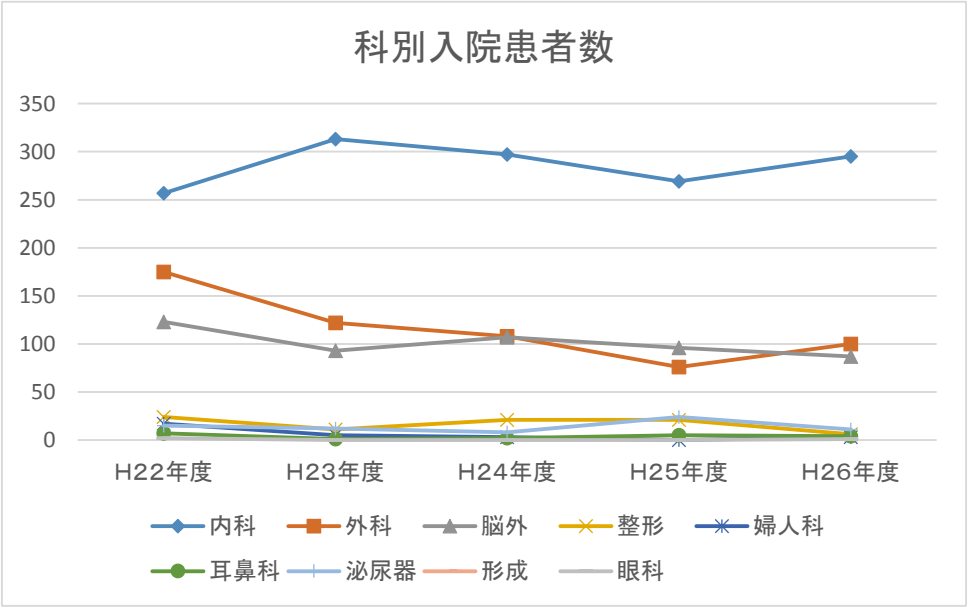


ICU 患者統計

（データ作成 ICU 安村）

	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
内科	384	367	366	370	313	300	257	313	295	269	295
外科	324	318	319	362	306	302	175	122	102	76	100
脳神経外科	62	104	116	104	98	113	123	93	110	96	87
整形外科	100	83	103	102	142	64	24	11	20	21	6
産婦人科	74	86	80	52	65	27	17	5	3	0	3
耳鼻咽喉科	41	55	76	101	101	9	7	1	2	5	4
泌尿器科	12	13	5	10	7	22	15	12	14	24	11
形成外科											1
眼科	15	35	20	31	34	11	2	0	0	0	1
総数	1,012	1,061	1,085	1,132	1,066	848	620	557	546	491	508





※収容のルール変更により ICU に収容された外科の患者数は減少傾向にあります。

退院患者疾患別（病態）分類

(データ作成 : 診療情報管理室 呉屋)

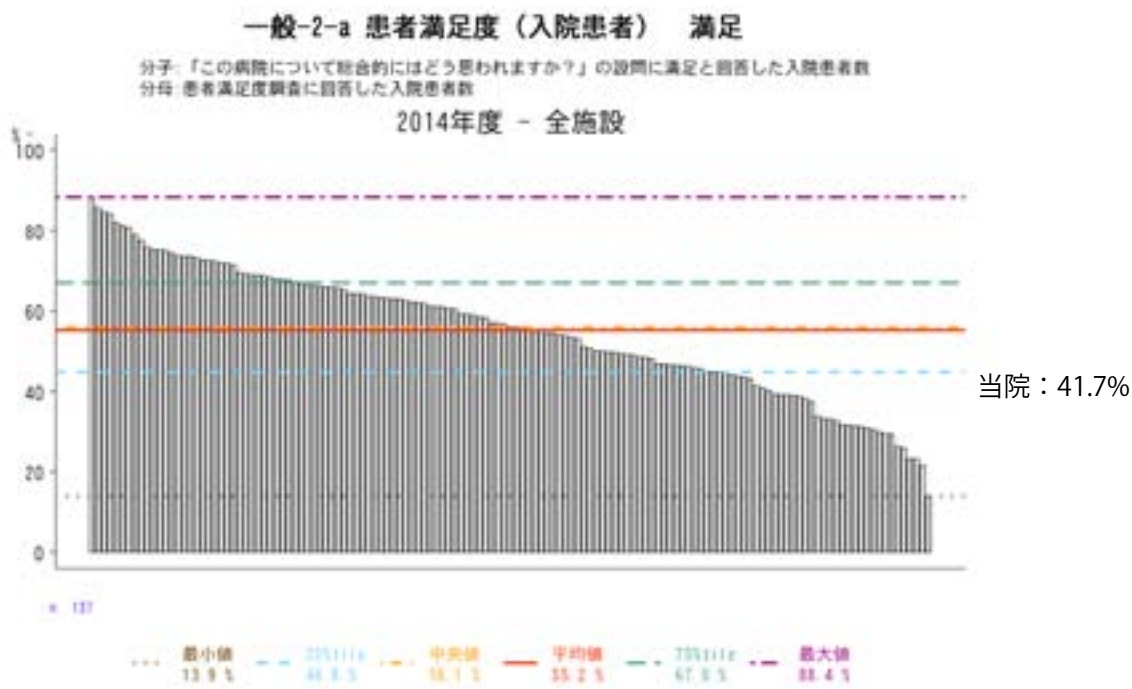
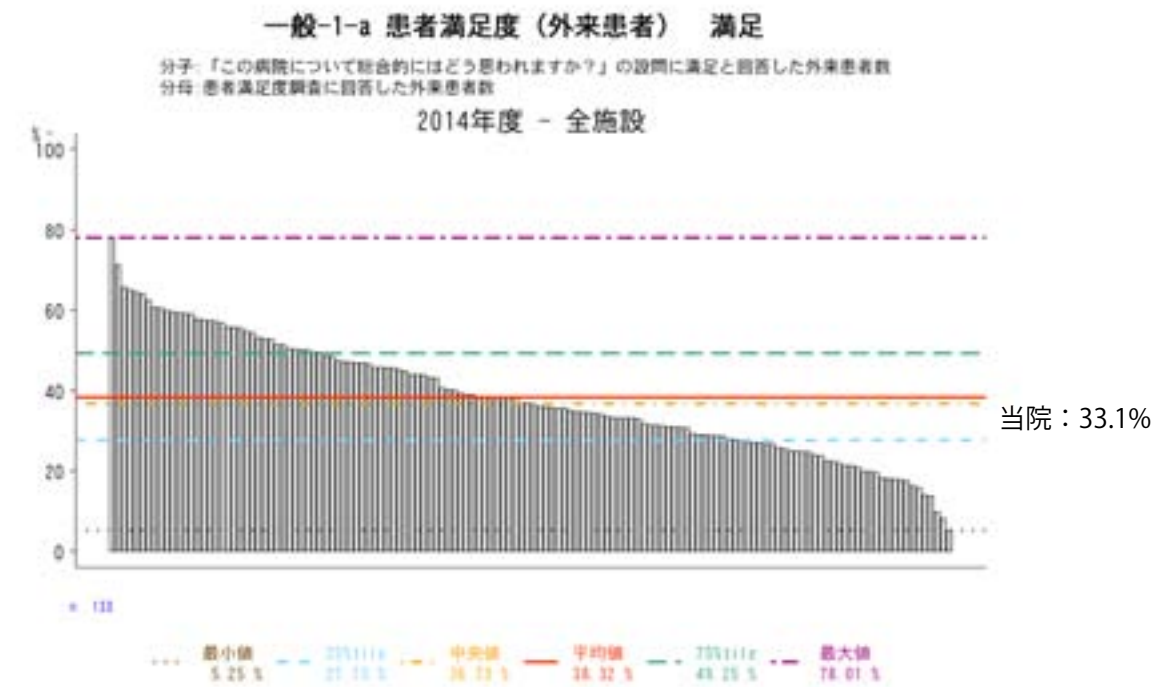
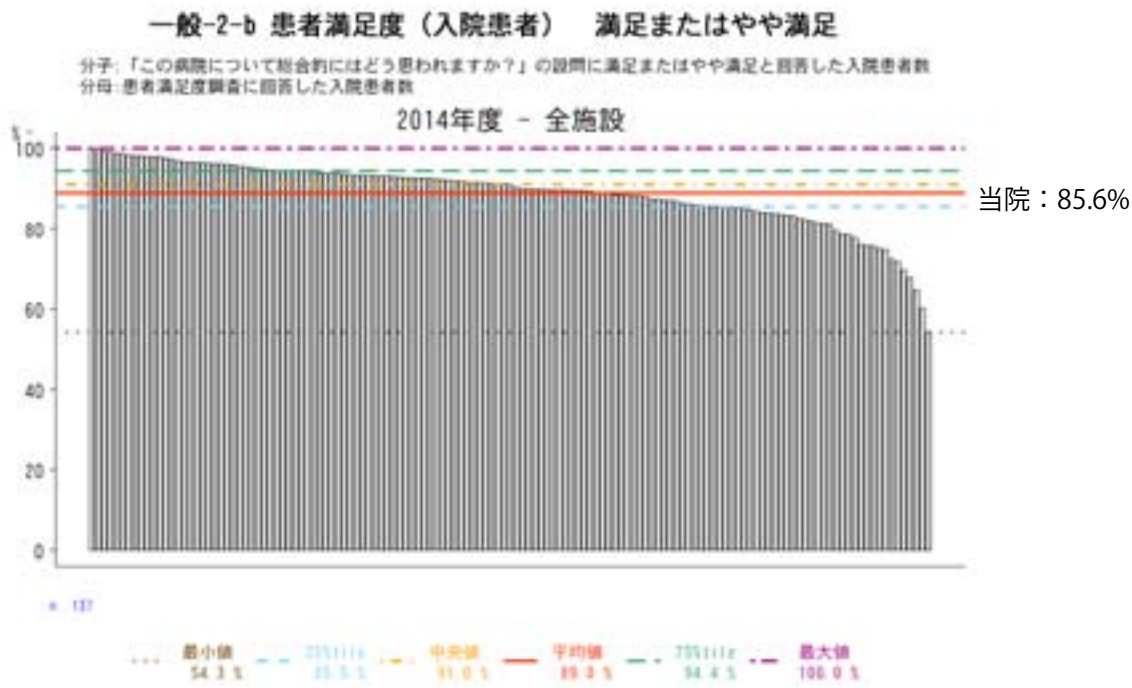
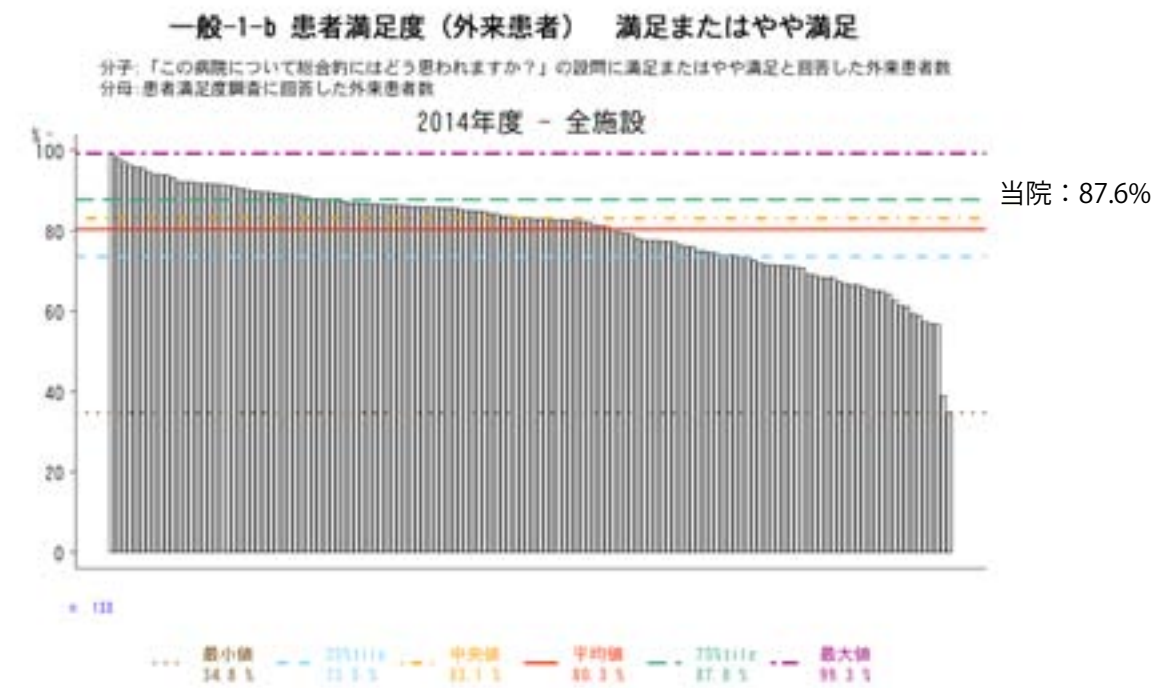
		内科	外科	泌尿器科	整形外科	形成外科	脳外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	総計
Ⅰ . 感染症および寄生虫症 (A00-B99)	男	103	15	3	0	0	3	0	0	50	0	0	5	179
	女	92	14	1	0	0	1	0	1	38	0	0	6	153
	計	195	29	4	0	0	4	0	1	88	0	0	11	332
Ⅱ . 新生物 (C00-D48)	男	334	172	33	4	12	3	0	22	0	0	0	0	580
	女	156	151	13	6	14	1	0	7	0	1	72	0	421
	計	490	323	46	10	26	4	0	29	0	1	72	0	1,001
Ⅲ . 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 (D50-D89)	男	27	2	4	0	0	0	0	0	3	0	0	1	37
	女	24	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	28
	計	51	3	6	0	0	0	0	0	3	0	0	2	65
Ⅳ . 内分泌、栄養および代謝疾患 (E00-E90)	男	52	5	1	0	0	1	0	0	10	0	0	0	69
	女	53	9	1	0	0	0	0	0	15	1	0	1	80
	計	105	14	2	0	0	1	0	0	25	1	0	1	149
Ⅴ . 精神および行動の障害 (F00-F99)	男	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
Ⅵ . 神経系の疾患 (G00-G99)	男	57	1	3	3	0	11	0	6	0	0	0	1	82
	女	22	0	1	10	0	13	0	0	1	0	0	0	47
	計	79	1	4	13	0	24	0	6	1	0	0	1	129
Ⅶ . 眼および付属器の疾患 (H00-H59)	男	1	0	0	0	5	0	172	0	0	0	0	0	178
	女	0	0	1	0	11	0	162	0	0	0	0	1	175
	計	1	0	1	0	16	0	334	0	0	0	0	1	353
Ⅷ . 耳および乳様突起の疾患 (H60-H95)	男	6	0	0	0	0	0	0	23	18	0	0	1	48
	女	15	0	0	0	0	0	0	28	24	0	0	1	68
	計	21	0	0	0	0	0	0	51	42	0	0	2	116
Ⅸ . 循環器系の疾患 (I00-I99)	男	272	20	9	0	1	72	0	1	1	0	0	53	429
	女	194	22	5	0	2	68	0	0	0	0	1	32	324
	計	466	42	14	0	3	140	0	1	1	0	1	85	753
Ⅹ . 呼吸器系の疾患 (J00-J99)	男	517	16	10	0	0	1	0	38	152	0	0	9	743
	女	433	4	4	2	0	0	0	26	136	1	0	14	620
	計	950	20	14	2	0	1	0	64	288	1	0	23	1,363
ⅩⅠ . 消化器系の疾患 (K00-K93)	男	281	368	3	1	0	0	0	7	3	0	0	1	664
	女	268	228	3	0	1	0	0	2	3	1	2	2	510
	計	549	596	6	1	1	0	0	9	6	1	2	3	1,174
ⅩⅠⅠ . 皮膚および皮下組織の疾患 (L00-L99)	男	10	16	1	10	15	1	0	1	4	0	0	0	58
	女	26	40	0	6	16	0	0	2	6	0	0	1	97
	計	36	56	1	16	31	1	0	3	10	0	0	1	155
ⅩⅢ. 筋骨格系および結合組織の疾患 (M00-M99)	男	13	5	1	53	3	0	0	0	1	0	0	1	77
	女	17	3	1	75	1	0	0	0	1	1	1	0	100
	計	30	8	2	128	4	0	0	0	2	1	1	1	177
ⅩⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患 (N00-N99)	男	77	4	44	0	0	1	0	0	8	0	0	3	137
	女	204	14	78	1	0	0	0	0	3	3	45	5	353
	計	281	18	122	1	0	1	0	0	11	3	45	8	490
ⅩⅤ. 妊娠、分娩および産じょく<褥> (O00-O99)	女	1	1	0	0	0	0	0	0	0	521	1	0	524
	計	1	1	0	0	0	0	0	0	0	521	1	0	524
ⅩⅥ. 周産期に発生した病態 (P00-P96)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	16
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	11
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	27
ⅩⅦ. 先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	男	0	5	0	1	0	1	1	0	2	0	0	0	10
	女	1	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0	0	6
	計	1	5	0	4	0	1	1	2	2	0	0	0	16
ⅩⅧ. 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	男	5	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	9
	女	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
	計	8	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	13
ⅩⅨ. 損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	男	27	32	8	245	22	41	2	2	5	0	0	2	386
	女	33	33	5	272	8	21	1	2	4	0	3	1	383
	計	60	65	13	517	30	62	3	4	9	0	3	3	769
ⅩⅩⅠ. 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 (Z00-Z99)	男	115	35	3	63	1	0	0	0	197	0	0	0	414
	女	77	31	6	33	0	0	0	0	202	0	10	0	359
	計	192	66	9	96	1	0	0	0	399	0	10	0	773
総計		3,519	1,247	244	788	112	239	338	174	915	529	135	142	8,382

医療の質 Quality Indicator（QI）

ハートライフ病院では、医療の質を示す臨床指標 Quality Indicator（QI）を公開しています。
(平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月 / 速報値)

患者満足度調査

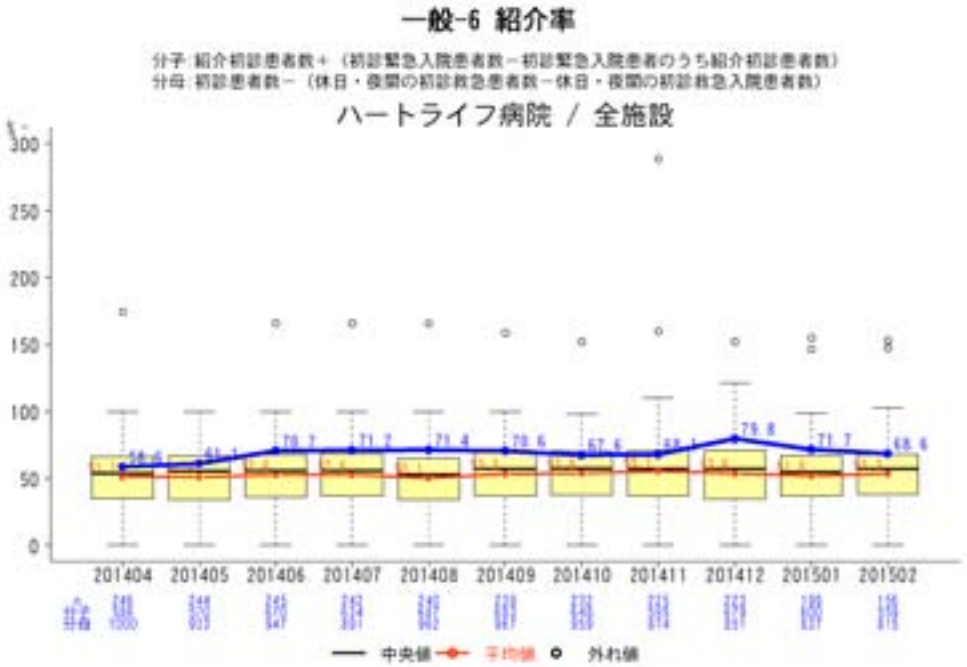
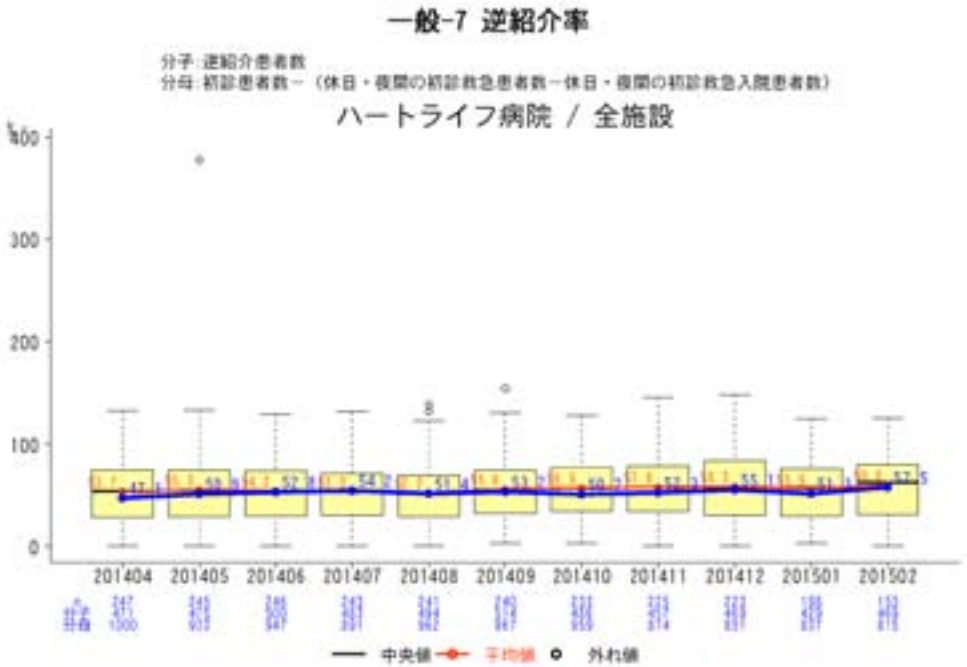
当院の外来を受診、または入院された患者さんを対象に、診療や環境等に満足いただけたかのアンケート調査を実施。患者さんからの貴重なお意見をお伺いして指標化しました。



紹介率

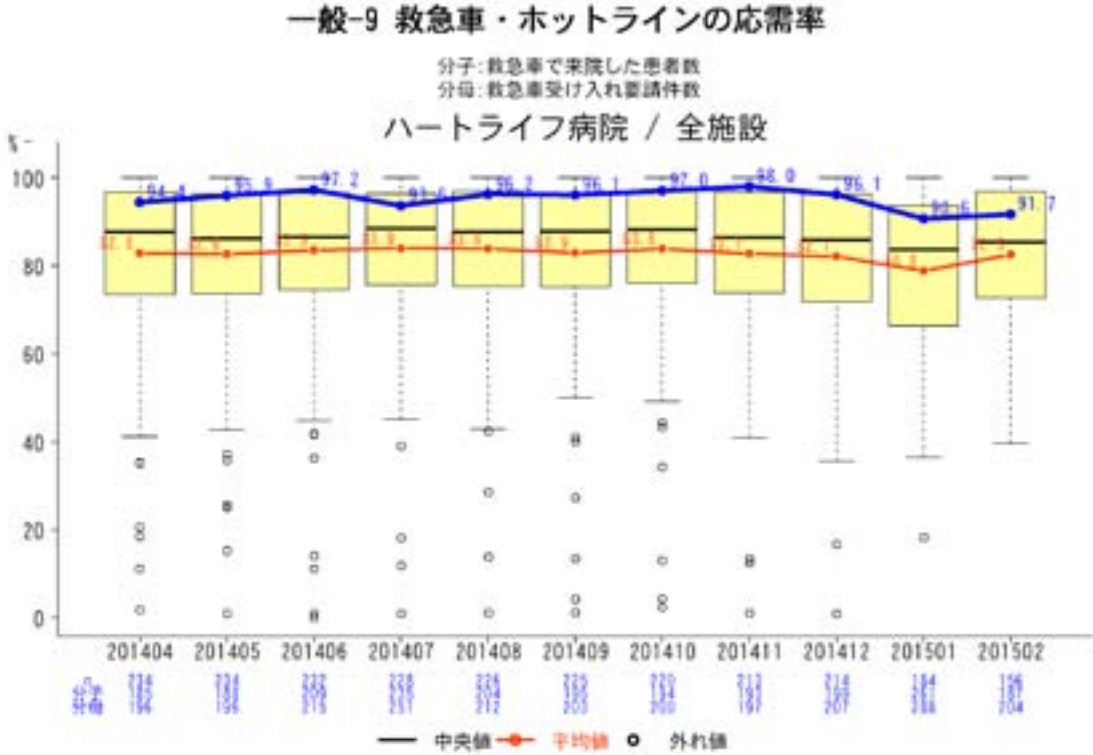
紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関から紹介されて来院した患者の割合です。一方、逆紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関へ紹介した患者の割合です。

高度な医療を提供する医療機関にだけ患者が集中することを避け、症状が軽い場合は「かかりつけ医」を受診し、そこで必要性があると判断された場合に高い機能を持つ病院を紹介受診する、そして治療を終え症状が落ち着いたら、「かかりつけ医」へ紹介し、治療を継続または経過を観察する、これを地域全体として行うことで、地域の医療連携を強化し、切れ目のない医療の提供を行います。



救急車・ホットライン応需率

救急車・ホットライン応需率とは、救急車受入要請のうち何台を受け入れることができたかの割合を指名しています。本指標の向上は、救急センターをはじめ、病棟や各診療科、スタッフの協力など様々な要素が関係します。ハートライフ病院は本島中南部東海岸の中核病院で 2 次救急指定病院です。「救急車は断らない」を目標に積極的な受け入れに取り組み、地域の救急医療に貢献できるよう努めています。



地域医療支援病院認定 関連統計情報

紹介率（紹介率・逆紹介率）

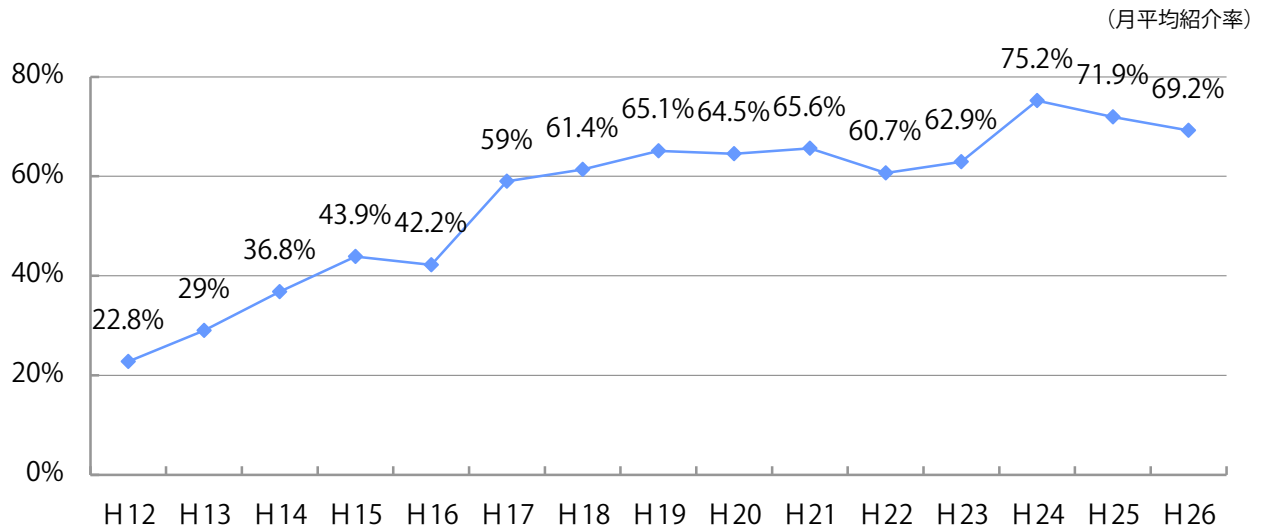
※平成 26 年度より計算式と認定基準変更（紹介率 60% → 65%/ 逆紹介率 30% → 40%）

（データ作成 地域医療連携室 新垣）

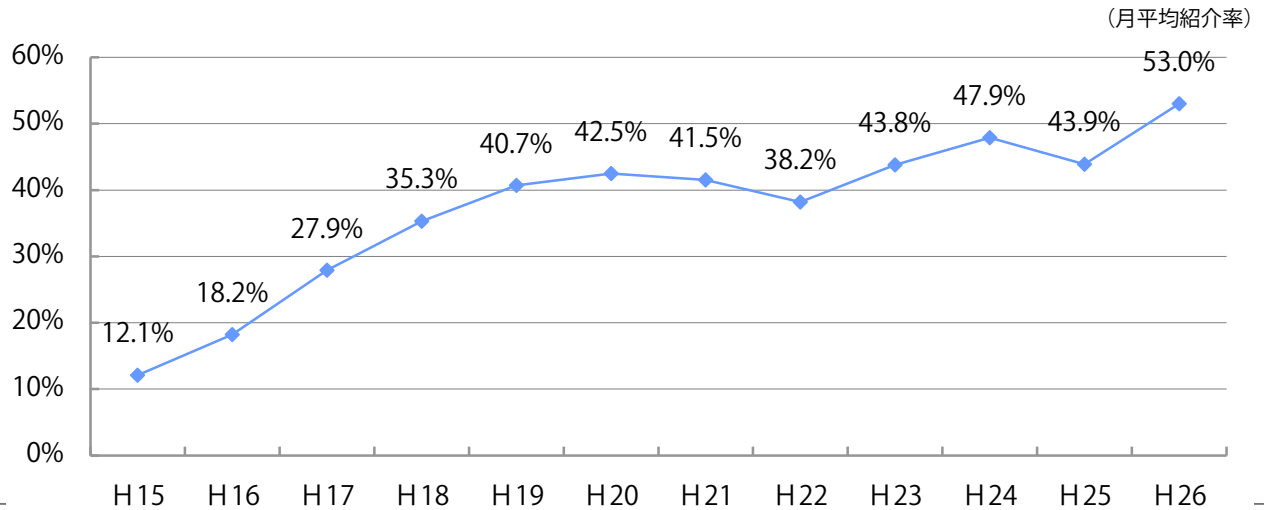
紹介患者状況

	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均
紹介患者数	5,620	511	6,067	506	6,345	529	6,931	578	7,591	633
緊急入院患者数	1,912	164	1,846	154	2,041	170	1,956	163	-	-
初診患者数	19,280	1,697	18,662	1,555	17,254	1,438	18,641	1,553	18,509	1,542
救急初診患者数	6,485	842	6,704	559	6,874	573	7,431	619	7,700	642
初診救急入院患者数	525	45	684	57	803	67	738	62	-	-
時間内初診救急搬送件数	-	-	-	-	-	-	-	-	485	40
逆紹介患者数	5,089	424	5,478	457	5,329	444	5,418	452	5,813	484
紹介率	60.7%		62.9%		75.2%		71.9%		69.2%	
逆紹介率	38.2%		43.8%		47.9%		43.9%		53.0%	

地域医療支援病院紹介率の実績（基準値 65% 目標値 68%）



地域医療支援病院逆紹介率の実績（基準値 40% 目標値 50%）



共同利用

（データ作成 地域医療連携室 新垣）

年度別 登録医状況

	登録医数	備 考
平成 19 年度 3 月	280	地域医療支援病院認可時
平成 20 年度 3 月	276	4 施設閉院
平成 21 年度 3 月	292	
平成 22 年度 3 月	303	
平成 23 年度 3 月	307	登録医療機関は 303 件
平成 24 年度 3 月	304	登録医療機関は 300 件
平成 25 年度 3 月	299	登録医療機関は 294 件
平成 26 年度 3 月	297	登録医療機関は 290 件

医療機器の共同利用状況

		MRI	CT	RI	超音波
平成 21 年度	総 件 数	3,260	10,870	326	12,428
	紹介件数	661	989	56	1,612
	利 用 率	20.3%	9.1%	17.2%	13.0%
平成 22 年度	総 件 数	3,417	11,073	293	12,876
	紹介件数	678	972	33	1,586
	利 用 率	19.8%	8.8%	11.3%	12.3%
平成 23 年度	総 件 数	3,452	11,775	333	14,533
	紹介件数	626	894	39	1,854
	利 用 率	18.1%	7.6%	11.7%	12.8%
平成 24 年度	総 件 数	3,551	11,322	341	12,942
	紹介件数	664	941	42	2,049
	利 用 率	18.6%	8.3%	12.5%	15.9%
平成 25 年度	総 件 数	3,964	11,547	307	13,094
	紹介件数	689	1,055	49	2,156
	利 用 率	17.4%	9.1%	16.0%	16.5%
平成 26 年度	総 件 数	3,823	12,256	317	13,263
	紹介件数	658	1,093	41	2,250
	利 用 率	17.2%	8.9%	12.9%	17.0%

平成 26 年度登録施設 診療圏内訳

医療圏	件数	医療圏	件数
北部医療圏	9	八重山医療圏	8
中部医療圏	97	その他医療圏	1
南部医療圏	162		
宮古医療圏	13	合 計	290

開放病床の共同利用状況（開放病床 22 床）

	延べ利用患者数	年間平均利用率
平成 21 年度	10,608	132%
平成 22 年度	11,073	137%
平成 23 年度	9,300	115%
平成 24 年度	9,892	123%
平成 25 年度	8,557	106.6%
平成 26 年度	8,950	115.1%

研修

（データ作成 地域医療連携室 砂川）

地域医療従事者に対する検討会・勉強会実施状況

内 訳	回数	症例件数	参 加 数			備考
			院 内	院 外	合 計	
救急症例検討会	3 回	10 症例	165	172	337	◆ 消化器系症例検討会：19:00 ～ 21:00（偶数月第 4 木 曜日開催） ◆ 救急症例検討会：18:00 ～ 20:00（3 ヶ月毎第 4 金曜日 開催）
消化器系症例検討会	5 回	17 症例	138	15	153	
合 計	12 回	24 症例	303	186	452	

救急救命士実習実績（気管挿管：8 名・薬剤投与：0 名）

消防本部名	実習名	実習期間（開始～終了）	成功症例	備考
中城北中城消防本部	気管挿管	2014 年 3 月 7 日～ 2014 年 5 月 7 日	30 例	（救気管）第 26-001 号
東部消防組合消防本部	気管挿管	2014 年 5 月 9 日～ 2014 年 6 月 19 日	30 例	（救気管）第 26-002 号
沖縄市消防本部	気管挿管	2014 年 6 月 24 日～ 2014 年 8 月 18 日	30 例	（救気管）第 26-003 号
東部消防組合消防本部	気管挿管	2014 年 8 月 20 日～ 2014 年 10 月 8 日	30 例	（救気管）第 26-004 号
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	気管挿管	2014 年 10 月 9 日～ 2014 年 12 月 1 日	30 例	（救気管）第 26-005 号
東部消防組合消防本部	気管挿管	2014 年 12 月 1 日～ 2015 年 1 月 22 日	30 例	（救気管）第 26-006 号
中城北中城消防本部	気管挿管	2015 年 1 月 27 日～ 2015 年 3 月 17 日	30 例	（救気管）第 26-007 号
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	気管挿管	2015 年 3 月 18 日～ 2015 年 4 月 27 日	30 例	（救気管）第 26-008 号

ハートライフ病院 DMAT

概要

DMAT とは、大地震や航空機・列車事故といった災害時に、被災地に迅速に駆けつけ、救急医療を行うための専門的な訓練を受けた医療チームのことを言います。

ハートライフ病院はこれまで、救急・災害医療面で、多くの会議・協議会・実習訓練・学会等に参加し、実績を残してきましたが、なかなか DMAT 隊員養成研修の公募における沖縄県の当選枠を得ることができませんでした。

根気強く申請とアピールを続けた結果、平成 26 年に DMAT 隊員養成研修に 5 名の職員が受講することができ、正式にハートライフ病院が DMAT 指定医療機関となり、ハートライフ DMAT が設立されました。設立後は、九州総合防災訓練（南九州鹿児島～宮崎）や沖縄県総合防災訓練（宮古島）、那覇空港災害訓練、吉の浦火力発電所の火災訓練などに参加し、研鑽を重ねつつ、薬局・臨床工学科・管財課用度係・企画室・救急総合診療部・災害対策委員会と主に連携しながら、DMAT 派遣・災害医療の体制作りを進め、地域医療に更に貢献したいと考えています。

平成 27 年度も引き続き、各種訓練に参加しながら、院内の各種委員会との連携を進め、DMAT 活動体制を更に前進させます。

メンバー構成

氏名	所属・役職	職種
三戸 正人	救急総合診療副部長 兼循環器内科副部長	医師（内科系）
国吉 史雄	外科	医師（外科系）
兼本 愛美	救急外来	看護師
竹本 健太	救急外来	看護師
安里 健二	事務部企画室電算係	ロジスティクス（事務・調整役）

活動報告

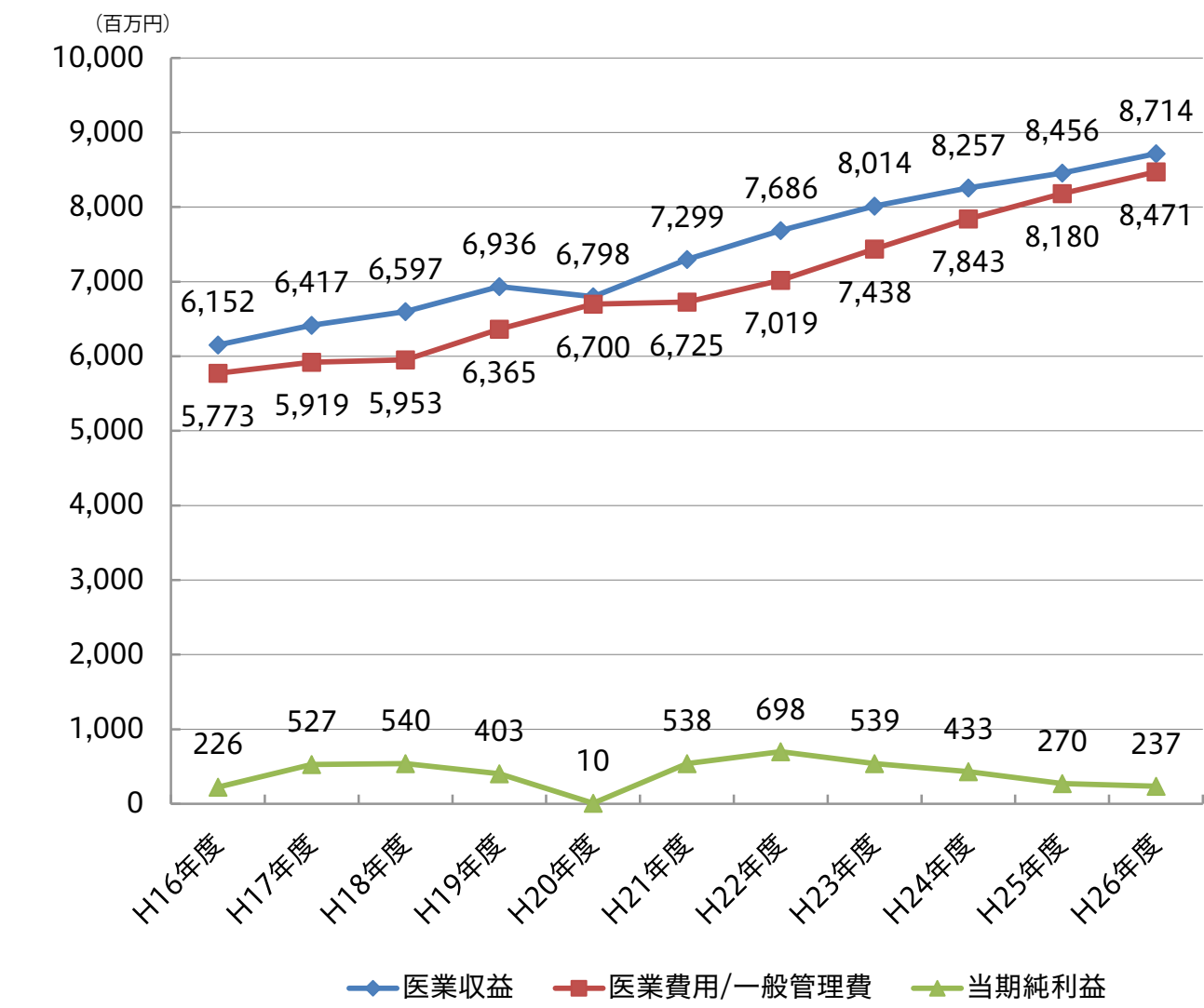
種別	内容
訓練	平成 26 年度南九州総合防災訓練・広域医療搬送訓練（7 月・鹿児島県、宮崎県） 平成 26 年度沖縄県総合防災訓練（9 月・沖縄県宮古島市） 平成 26 年度 DMAT 技能維持訓練（2 月・沖縄県南風原町） 平成 26 年度中部地区消防総合訓練（2 月・沖縄県中城村、吉の浦火力発電所）
会議	沖縄県総合防災医療部会 那覇空港災害対策会議
事務局活動	ハートライフ DMAT 委員会（DMAT 隊員、企画室、臨床工学科、管財課用度）

学会・講習会・報告会等実績

名称	開催地	開催日	参加者
DMAT 研修・総合防災訓練報告会	当院	2014 年 9 月 19 日	法人職員



財務状況推移



活動実績

(職員向け講習会など抜粋。詳細は各部門に掲載 / データ作成 企画室広報 仲田)

日付	名称	主催・事務局
2014 年 4 月 2 日	新入職員オリエンテーション	総務課
2014 年 4 月 16 日	小児疾患勉強会	地域医療連携室
2014 年 4 月 21 日	講演会：救急医をいかに育てるか？ 講師 地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立医療センター 中央市民病院 救急部部長 有吉 孝一 先生	院長：奥島憲彦
2014 年 4 月 25 日	緩和ケア委員会勉強会H 26 年度 1 回目	緩和ケア委員会
2014 年 4 月 26 日	院内 BLS 講習会	救急・ICU 検討委員会
2014 年 5 月 2 日	講演会：救急！ショックに強くなる～ホントのショックから医療安全まで～ 講師 福井大学医学部附属病院 総合診療部 林 寛之 教授	院長：奥島憲彦
2014 年 5 月 10 日	BLS 講習会	救急・ICU 検討委員会
2014 年 5 月 16 日	DPC 勉強会 講師 東京医科歯科大学医学部附属病院 特任講師・病院長補佐 井上 貴裕 先生	院長：奥島憲彦 請求業務課・診療情報管理室
2014 年 5 月 20 日	小児疾患勉強会	地域医療連携室
2014 年 5 月 22 日	院内感染対策講演会	感染対策委員会
2014 年 5 月 23 日	リンパ腫スライドカンファレンス	中外製薬
2014 年 5 月 24 日	講演会：関節リウマチ診療の今 独立行政法人国立病院機構 相模原病院 リウマチ研究部長 當間重人 先生	医局
2014 年 6 月 3 日	平成 25 年度科別実績報告会 1 日目	年報作成委員会
2014 年 6 月 4 日	平成 25 年度科別実績報告会 2 日目	年報作成委員会
2014 年 6 月 9 日	化学療法勉強会 (春)	化学療法委員会
2014 年 6 月 10 日	化学療法勉強会 (春)	化学療法委員会
2014 年 6 月 12 日	役職者対象メンタルヘルス研修会	衛生委員会
2014 年 6 月 14 日	BLS 講習会	救急・ICU 検討委員会
2014 年 6 月 16 日	第 2 回緩和ケア勉強会	緩和ケア委員会
2014 年 6 月 18 日	講演会：診療報酬改正に際し、今 急性期病院が何をすべきか？ 事務職がどう動いているか 講師：筑波メディカルセンター病院事務部長 中山 和則 様	院長：奥島憲彦
2014 年 6 月 21 日	BLS 講習会	救急・ICU 検討委員会
2014 年 6 月 23 日	全職員対象メンタルヘルス研修会	衛生委員会
2014 年 6 月 27 日	小児疾患勉強会	地域医療連携室
2014 年 6 月 28 日	BLS 講習会	救急・ICU 検討委員会
2014 年 7 月 1 日	講演会：診療報酬改定、今ハートライフ病院が取り組むべきこと 講師 東京医科歯科大学医学部附属病院 特任講師・病院長補佐 井上 貴裕 先生 講演会：クスリとリスク 講師 東京医科歯科大学名誉教授 宮坂 信之 先生	院長：奥島憲彦
2014 年 7 月 9 日	DMAT 研修報告会	企画室
2014 年 7 月 10 日	クリニカルパス委員会	クリニカルパス委員会
2014 年 7 月 11 日	看護部領域別研修：呼吸	看護部教育委員会
2014 年 7 月 14 日	小児疾患勉強会	地域医療連携室
2014 年 7 月 22 日	領域研修 (がん化学療法看護)	看護部主任会
2014 年 7 月 25 日	医療技術部勉強会医療技術職について	医療技術部
2014 年 7 月 28 日	緩和ケア委員会勉強会H 26 年度3回目	緩和ケア委員会
2014 年 7 月 30 日	緩和ケア委員会勉強会H 26 年度3回目	緩和ケア委員会
2014 年 7 月 31 日	医療ガス安全管理講習会	医療ガス安全・管理委員会
2014 年 8 月 8 日	看護部領域別研修：呼吸	看護部教育委員会
2014 年 8 月 13 日	第1回クリニカルパス大会 クリニカルパスの現状と課題	クリニカルパス大会開催事務局
2014 年 8 月 14 日	第86回中部合同カンファレンス	中部地区医師会
2014 年 8 月 15 日	小児疾患勉強会	地域医療連携室
2014 年 8 月 18 日	第3回緩和ケア勉強会	緩和ケア委員会
2014 年 8 月 20 日	医療安全勉強会	医療安全管理委員会
2014 年 8 月 21 日	第86回中部合同カンファレンス	中部地区医師会
2014 年 8 月 26 日	領域研修がん化学療法看護	看護部主任会

日付	名称	主催・事務局
2014 年 8 月 29 日	講演会：酸塩基平衡などに関する症例検討会 講師 済生会福岡総合病院 臨床教育部・総合診療部 田中和豊 先生	院長：奥島憲彦
2014 年 9 月 10 日	感染対策講演会	感染対策委員会
2014 年 9 月 11 日	全職員対象メンタルヘルス研修会	衛生委員会
2014 年 9 月 12 日	看護部領域別研修：呼吸	看護部教育委員会
2014 年 9 月 12 日	講演会：positive な在宅・終末期ケアをど田舎の診療所から発信する ～ Emotion Based Medicine もいいんじゃない？ ～ 講師 芸北ホリスティックセンター 北広島町雄鹿原診療所 東條 環樹 先生	院長：奥島憲彦
2014 年 9 月 17 日	講演会：口から始まる QOL の向上について 講師：琉球大学大学院医学研究科顎顔面口腔機能再建学講座 教授 新崎 章 先生	院長：奥島憲彦
2014 年 9 月 19 日	DMAT 研修&訓練伝達講習会	企画室
2014 年 9 月 22 日	領域研修がん化学療法看護	看護部主任会
2014 年 9 月 25 日	領域研修がん化学療法看護	看護部主任会
2014 年 9 月 26 日	役職者対象メンタルヘルス研修会	衛生委員会
2014 年 9 月 29 日	第 4 回緩和ケア勉強会	緩和ケア委員会
2014 年 9 月 30 日	小児疾患勉強会	地域医療連携室
2014 年 10 月 2 日	講演会：私にとっての医療―国境なき医師団の医療活動経験より― 講師 桑名市総合医療センター／桑名東医療センター 手術室部長・研 修管理委員長 久留宮 隆 先生	院長：奥島憲彦
2014 年 10 月 8 日	講演会：離島医療はおもしろい！ 講師 隠岐広域連合立隠岐島前病院 院長 白石吉彦 先生	院長：奥島憲彦
2014 年 10 月 9 日	化学療法勉強会院外講演	化学療法・緩和ケア委員会
2014 年 10 月 17 日	院内研究発表会看護部予選	看護部
2014 年 10 月 20 日	院内研究発表会事務部予選	院内研究発表会
2014 年 10 月 24 日	院内研究発表会医療技術部予選	医療技術部
2014 年 10 月 28 日	院内 CPC	医局
2014 年 10 月 28 日	領域研修（がん化学療法看護）	看護部主任会
2014 年 10 月 31 日	小児疾患勉強会	地域医療連携室
2014 年 11 月 6 日	講演会：医療スタッフのためのわかりやすい 日本版敗血症診療ガイドライン 講師：千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学 織田 成人 先生	研修医担当
2014 年 11 月 7 日	看護部領域別研修：呼吸	看護部教育委員会
2014 年 11 月 10 日	個人情報保護法講習会（予防医学センター対象）	企画室広報係
2014 年 11 月 11 日	薬業連携合同勉強会テーマ：レビー小体型認知症	薬局
2014 年 11 月 12 日	化学療法勉強会（秋）	化学療法委員会
2014 年 11 月 14 日	院内研究発表会（本選）	第 21 回院内研究発表会実行委員会
2014 年 11 月 17 日	弾性ストッキング勉強会	アルケア安全
2014 年 11 月 27 日	看護部中堅看護師研修	看護部
2014 年 11 月 28 日	講演会：食物アレルギーの診療 Up to date あいち小児保健医療総合センター 内科部長兼中央検査部長 伊藤 浩明先生 講演会：食物アレルギーの診療における栄養士の役割 講師 あいち小児保健医療総合センター 栄養士 楳村 春江 先生	院長：奥島憲彦
2014 年 12 月 3 日	認定看護師活動報告会	認定看護師
2014 年 12 月 8 日	小児疾患勉強会	地域医療連携室
2014 年 12 月 12 日	看護部領域別研修：呼吸	看護部教育委員会
2014 年 12 月 15 日	第 5 回緩和ケア勉強会	緩和ケア委員会
2014 年 12 月 19 日	講演会：ポケットエコーは聴診器の仲間＋α（総合診療 インノベーション） 講師：弘前大学医学部附属病院 総合診療部助手 小林 只 先生	院長：奥島憲彦
2014 年 12 月 19 日	看護研修会	看護部
2014 年 12 月 26 日	講演会：～病院経営の安定は稼働率～高稼働率を維持する病床管理 講師：大阪警察病院 企画調整課長 兼 入院センター長 小前 貴志 先生	院長：奥島憲彦
2015 年 1 月 16 日	全職員対象メンタルヘルス研修会	衛生委員会
2015 年 1 月 19 日	化学療法勉強会（秋）	化学療法委員会
2015 年 1 月 21 日	化学療法勉強会（秋）	化学療法委員会
2015 年 1 月 31 日	院内緩和ケア研修会	がん対策推進委員会・緩和ケア委員会
2015 年 2 月 3 日	緩和医療勉強会	緩和ケア委員会
2015 年 2 月 6 日	看護部領域別研修：呼吸	看護部教育委員会
2015 年 2 月 9 日	小児疾患勉強会	地域医療連携室

日付	名称	主催・事務局
2015 年 2 月 27 日	緩和ケア勉強会	緩和ケア委員会
2015 年 3 月 2 日	災害講習会	救急外来師長 内間
2015 年 3 月 4 日	HIV 講演会	感染対策委員会
2015 年 3 月 6 日	講演会：がん研有明病院での乳腺外科専門医研修 講師 がん研有明病院 乳腺センター 照屋 なつき 先生 講演会：乳癌のリンパ節転移を考える 講師 がん研有明病院 乳腺センター 部長 岩瀬 拓士 先生	地域医療連携室
2015 年 3 月 6 日	看護部領域別研修：呼吸	看護部教育委員会
2015 年 3 月 11 日	講演会：コンディショニングでキレイになろう！ 講師 NPO法人 日本体調改善運動普及協会会長 有吉 与志恵 先生	健康増進委員会
2015 年 3 月 18 日	BLS 講習会	医療技術部
2015 年 3 月 31 日	院内 CPC	医局

今年度の主な出来事

(平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)

年 月	名称
2014 年 (平成 26 年) 4 月 1 日 4 月 28 日	『入職式・オリエンテーション』 2 日間 (4/1~4/2) 『合同慰霊祭』 13：00 ～ 14：00 (2 階講堂)
6 月 1 日 6 月 21 日	『科別実績報告会』 2 日間 (6/1~6/2) 平成 26 年度災害派遣医療チーム研修 (DMAT 隊員養成研修) 受講
8 月 22 日	開院 26 周年
9 月 18 日	総合防災訓練
12 月 9 日 12 月 30 日	中部保健所立入検査【医療監視】 御用納め / 納会 (年末年始休暇 12/31~1/4)
2015 年 (平成 27 年) 1 月 5 日	仕事始め
2 月 12 日	研修指定病院の調査 / 九州厚生局
3 月 7 日 3 月 23 日	大規模災害訓練 卒後臨床研修修了式 卒後臨床研修修了パーティ / エリスリーナ西原ヒルズガーデン

ハートライフ病院 平成 26 年度の DPC/PDPS への対応について

千葉大学医学部附属病院 病院長企画室長・病院長補佐・特任教授 井上貴裕

平成 26 年度診療報酬改定は消費税増税対応分を除くと実質マイナス改定であり、消費税についても半額程度しか診療報酬でカバーされなかったため、特に材料の投入量が多い急性期病院は収支状況が極めて厳しい状況に陥っている。

平成 26 年度は、7 対 1 入院基本料を届出る病院の絞り込みが前面に出された強いメッセージが発せられた印象的な改定であり、平均在院日数要件の短縮、重症度、医療・看護必要度の項目見直しによる実質基準の厳格化、在宅復帰率の設定、いわゆる DRG 方式（1 入院包括払い）である短期滞在手術等基本料 3 が登場した。これらは、急性期医療を絞り込もうとする施策であり、平均在院日数を短縮した集中治療が強く求められている。その一方で、地域包括ケア病棟が新設され従来にはない高い点数設定で急性期から亜急性期等への誘導が行われた。また、特定集中治療室管理料（ICU）の上位加算が新設され、集中治療の経験を有する専任の医師 2 名以上を配置などの手厚い人員配置や一定の面積要件を満たす病院に従来よりも 1 日当たり約 4,000 点高い点数設定が行われた。ハートライフ病院が高度急性期としての機能を発揮するために、ICU 上位加算の届出を中長期的には実現したいものである。

また、平成 26 年度は医療法改正に伴い病床機能報告制度がはじまり高度急性期、急性期、回復期、慢性期の区分で病棟ごとに自院の機能を届出ることが求められた。今後、沖縄県が中心となって地域医療ビジョンを策定し、原則として二次医療圏ごとに各病院間の役割分担に関する話し合いが行われていく。

ハートライフ病院が急性期病院として地域の中で絶対的な存在感を持続けるために、今後も逆紹介を積極的に行い地域と密接な連携を行うことが求められる。平成 26 年度は総合的な急性期中核病院の証である総合入院体制加算 2 を届出ることができた。総合入院体制加算 2 は、退院患者の 40% 以上について診療情報提供料 I 退院時情報添付加算を算定するなど、極めて高いハードルが設定されている。また、当該加算の届出のためには、24 時間体制の診療が求められることに伴い、薬剤師の 24 時間配置も実現した。

また、今年度の医療法改正で基準が厳格化された地域医療支援病院を死守していかなければならない。ハートライフ病院では手術や救急などの重篤な入院患者を中心とし、地域で受療できる患者は積極的に逆紹介を行い、“二人の主治医を持てもらう”ことが求められている。それが、地域中核病院としての絶対的な立ち位置の構築につながる。

解説 / 千葉大学医学部附属病院 病院長企画室長・病院長補佐・特任教授 井上 貴裕 (いのうえ たかひろ)

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科にて医療政策学修士号、上智大学大学院経済学研究科にて経営学修士号、明治大学大学院経営学研究科にて経営学修士号を取得。東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程を修了。医療法人の副理事長として急性期病院の経営に関与した後、大手監査法人にて国内外の医療機関のトップマネジメント向け戦略コンサルティングに従事。加えて、日本および米国の公認会計士育成のための学校で 7 年間主任講師として会計および経営学を教え、多数の合格者を輩出。日本銀行をはじめとする大手金融機関、世界のリーディングカンパニーにおいて財務分析、金融工学、経営戦略に関する研修講師として卓越した実績をあげる。

東京医科歯科大学医学部附属病院 准教授・病院長補佐、その後、千葉大学医学部附属病院 病院長企画室長・病院長補佐 特任教授に就任。その他、東邦大学医学部医学科非常勤講師、日本赤十字社本社医療施設教育研修アドバイザー、長野市民病院、総合病院国保旭中央病院、君津中央病院、武蔵野赤十字病院、諏訪赤十字病院、横浜市立みなと赤十字病院等の地域中核病院の経営アドバイザーを勤めている。

主な著書に、「診療科別・病院経営戦略の「理論」と「実践」(医療経営士実践テキストシリーズ)」(2012/2)

「戦略的 病院経営マネジメント～医療の質と経済性の両立をめざす～」(2014/6)

「看護師長のための診療報酬すいすいマスター BOOK 平成 26 年度診療報酬改定対応版：点数算定のポイントとコツがわかる！スタッフへの説明や指導に役立つ」(2014/9) などがある。

部署別業務実績

医 局

部門紹介

内科は循環器、消化器（内視鏡センターを含む）、呼吸器、血液、と細分化されています。

毎日約 500 名前後の患者さん、年間約 2,500 件の救急搬送に対応しています。また、当院では臨床研究が盛んで、年間 80 題超の学会発表、論文発表も行っております。

医師数（常勤）

（平成 27 年 1 月現在）

	内科	外科	救急科	小児科	産婦人科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	放射線科	心療内科	麻酔科	予防医学	人工透析	形成外科	病理診断科	合計
全医師数 【初期研修医除く】	21	10	2	4	4	5	2	1	1	2	2	1	3	3	1	1	1	64
指導医数	14	7	2	4	2	2	2	1		1	1	1	2	1				40
後期専門研修医	2				2								1					5
初期研修医	1 年目：6 名 2 年目：2 名																	

医局方針

1. 患者の安全・QOL を第一とし、インフォームド Consent による良好な信頼関係を確立する。
2. 自己の専門性の確立のため学会活動など自己研鑽に励み、専門性の提供によりチーム医療を行う。
3. 地域の医療機関、保健、福祉施設との連携を積極的に行う。
4. 他部署との交流・院内行事への参加を積極的に行う。
5. 健全な医療経営の意識を持ち、院内各会議に積極的に参加する。

活動実績

Journal Club（抄読会 / 毎週水曜日 8:15 ～ 8:45）

年	月日	担当者	演題名
2014 年 (H26)	4 月 2 日	末田 美和	急性腹症の画像診断～イレウス総論～
	4 月 9 日	新垣 珠代	当院で経験した大量排菌の肺結核 3 例を含めて
	4 月 16 日	照屋 明子	屈折矯正手術
	4 月 23 日	安里 義秀	予防接種勉強会
	4 月 30 日	三戸 正人	FAST から FAST+FACT へ
	5 月 7 日	普天間 光彦	当院における耐性菌の現状
	5 月 14 日	狩俣 かおり	慢性骨髄性白血病治療の進歩
	5 月 21 日	比嘉 章子	高血圧治療ガイドライン 2014
	5 月 28 日	川満 豊	授乳と薬剤
	6 月 4 日	名嘉山 裕子	CV による遅発性の血管損傷
	6 月 11 日	国吉 史雄	「Damage control resuscitation とは」
	6 月 18 日	宮城 純	「日本人の食事摂取基準（2015 年版）」から
	6 月 25 日	澤岬 安勝	ガンについて
	7 月 2 日	山入端 敦	AML に対する臍帯血移植から 1 年後に腹部腫瘍・腹水を呈した症例
	7 月 9 日	城間 丈二	肝癌の治療
	7 月 16 日	大西 勉	硬膜外無痛分娩
	7 月 23 日	与座 一	ワーファリン服用中に発症した脳梗塞
	7 月 30 日	宮平 工	大腸癌と肥満
	8 月 6 日	釜野 武志	プロボフォル
	8 月 13 日	嘉川 春生	前立腺癌に対するホルモン療法 2 例
	8 月 20 日	平良 直也	赤血球輸血の基準
	8 月 27 日	西原 実	成人鼠径ヘルニアに対する LPEC 法の応用
	9 月 3 日	阿嘉 裕之	痔瘻のはなし
	9 月 10 日	上地 華代子	喘息と関連する疾患
	9 月 17 日	親川 格	ハートライフ病院における角膜移植治療
	9 月 24 日	山本 裕介	当院における無痛分娩の現状
	10 月 1 日	中川 裕	急性虫垂炎～治療法を中心に～
	10 月 8 日	川越 得弘	壊死性筋膜炎について
	10 月 15 日	白石 牧子	乳癌死を減らすには
	10 月 22 日	仲本 学	沖縄県における GERD 調査
	10 月 29 日	久保田 徹也	前十字靱帯損傷について
	11 月 5 日	東盛 貴光	持続陰圧療法について
	11 月 12 日	菅谷 明子	ハートライフ病院の産業保健
	11 月 19 日	近藤 俊輔	嚥下評価について
	11 月 26 日	潮平 朝洋	急性大動脈解離
	12 月 3 日	秋元 芳典	高血圧治療ガイドライン 2014
	12 月 10 日	喜久本 藍	日本における HPV ワクチン副反応報告
	12 月 17 日	圓若 修一	非閉塞性腸管膜虚血症について
	12 月 24 日	折田 均	消化管ステントあれこれ
2015 年 (H27)	1 月 7 日	松元 悟	ドーピングについて
	1 月 14 日	奥島 憲彦	食道外来と NBI
	1 月 21 日	国島 知子	小児期発症のシェーグレン症候群の 9 例
	1 月 28 日	菅野 善一郎	レビー小体型認知症
	2 月 4 日	久場 良也	G2010 から G2015 へ～ 何が変わるか？～
	2 月 18 日	宮城 敬	DLBCL と MYC 免疫染色
	2 月 25 日	大瀨 昌代	血小板輸血の適応と新たな副作用予防策
	3 月 4 日	立花 真理	関節鏡 Gadaver トレーニング参加報告
	3 月 11 日	戸田 隆義	粥状硬化症の成因論
	3 月 18 日	伊藤 誠	仮想透視画像を用いた IVC filter 留置術の有効性
	3 月 25 日	上原 千晶	99mTc-MIBI washout によるアンスラサイクリン系抗腫瘍剤の心毒性評価

院内 CPC（臨床病理検討会）

演題名	年月日	担当者
第 2 病日に死亡した受診・通院歴のないアルコール性肝硬変の一例	2014 年 10 月 28 日	新里勇樹、宮城純、喜友名正也
救急搬送当日に死亡した未治療 ATL の一例	2014 年 11 月 27 日	溝渕貴俊、宮城純、喜友名正也
第 38 病日に死亡した気管支拡張症に肺炎を併発した一例	2015 年 1 月 22 日	上原博香、新垣珠代、普天間光彦、喜友名正也
原発性肝癌の胃前底部浸潤をきたした一例	2015 年 2 月 24 日	伊藤誠、圓若修一、城間丈二、仲本学、宮城純、折田均、佐久川廣、喜友名正也、戸田隆義
第 2 病日に死亡した肺炎に DIC を合併した一例	2015 年 3 月 31 日	田中悠也、與座一、喜友名正也

研修医向け教育

研修医向けに、毎週下表のスケジュールで各種ミニレクチャーを開催しています。また、外部講師を招聘して講習会を行っています。

	時間・内容	時間・内容
月曜日	8:00 ～ 8:15 ミニ救急症例検討会	
火曜日	8:00 ～ 8:15 ミニ救急症例検討会	8:15 ～ 8:45 画像診断レクチャー
水曜日	8:00 ～ 8:15 ミニ救急症例検討会	8:15 ～ 8:45 Journal Club（全医師対象）
木曜日	8:00 ～ 8:15 ミニ救急症例検討会	8:15 ～ 8:45 基礎的手技&ケースカンファレンス
金曜日	8:00 ～ 8:15 ミニ救急症例検討会	8:15 ～ 8:45 基礎研修

画像診断ミニレクチャー

（毎週火曜日 午前 8：15 ～ 8：45 医局にて）

呼吸器内科					
胸写	正常	気胸	肺炎	腫瘍	胸水
日付	2014 年 4 月 22 日	2014 年 5 月 13 日	2014 年 5 月 20 日	2014 年 5 月 27 日	2014 年 6 月 3 日
担当医	上地 華代子				
循環器					
心電図	正常	徐脈性不整脈	頻脈性不整脈	虚血性心疾患	房室ブロック
日付	2014 年 6 月 10 日	2014 年 6 月 17 日	2014 年 6 月 24 日	2014 年 7 月 1 日	2014 年 7 月 8 日
担当医	三戸 正人				
外科					
腹部画像	正常	腹部外傷	肝・胆のう疾患	膝疾患	腸管
日付	2014 年 7 月 15 日	2014 年 7 月 22 日	2014 年 7 月 29 日	2014 年 9 月 2 日	2014 年 9 月 9 日
担当医	西原 実				
整形外科					
骨単純（骨折・脱臼）	上肢	下肢	大腿骨	椎体	骨盤
日付	2014 年 9 月 16 日	2014 年 9 月 30 日	2014 年 10 月 7 日	2014 年 10 月 14 日	2014 年 10 月 21 日
担当医	川越 得弘	久保田 徹也	久保田 徹也	渡慶次 学	渡慶次 学
放射線科					
診断学	診断学	診断学	診断学	診断学	診断学
日付	2014 年 10 月 28 日	2014 年 11 月 4 日	2014 年 11 月 11 日	2014 年 11 月 18 日	2014 年 11 月 25 日
担当医	高良 誠				

脳神経外科					
頭部画像	正常	脳出血・硬膜下出血	SAH	脳梗塞	脳腫瘍
日付	2014 年 12 月 2 日	2014 年 12 月 9 日	2014 年 12 月 16 日	2015 年 1 月 6 日	2015 年 1 月 13 日
担当医	末吉 健次		上笹 航		末吉 健次
呼吸器内科					
胸部CT	正常	気胸	肺炎	肺腫瘍	縦隔腫瘍
日付	2015 年 1 月 20 日	2015 年 1 月 27 日	2015 年 2 月 3 日	2015 年 2 月 10 日	2015 年 2 月 17 日
担当医	普天間 光彦				
放射線科					
シンチ	骨シンチ	Gaシンチ	心筋シンチ	出血シンチ	肺血流シンチ
日付	2015 年 2 月 24 日	2015 年 3 月 3 日	2015 年 3 月 10 日	2015 年 3 月 17 日	2015 年 3 月 24 日
担当医	高良 誠				

基礎的手技（毎週木曜日 午前 8:15 ～ 8:45 医局にて）

内容	日付	担当	講師・担当医
感冒症候群	2014 年 4 月 17 日	研修医（2 年目）	新里 勇樹
Common disease	2014 年 4 月 24 日	研修医（2 年目）	溝渕 貴俊
グラム染色の検鏡所見	2014 年 5 月 1 日	呼吸器	仲吉 博亮
喘息発作	2014 年 5 月 8 日	呼吸器	普天間 光彦
Common disease	2014 年 5 月 15 日	研修医（2 年目）	新里 勇樹
Common disease	2014 年 5 月 22 日	研修医（2 年目）	溝渕 貴俊
抗生剤の使い方	2014 年 5 月 29 日	呼吸器	仲吉 博亮
急性冠症候群	2014 年 6 月 5 日	循環器	三戸 正人
脳血管障害	2014 年 6 月 12 日	脳外科	上笹 航
急性腹症、消化管穿孔	2014 年 6 月 19 日	外科	宮平 工
急性呼吸不全 /ALI/ARDS	2014 年 6 月 26 日	呼吸器	名嘉山 優子
IVH の挿入方法	2014 年 7 月 3 日	麻酔科	釜野 武志
脊椎損傷について	2014 年 7 月 10 日	整形外科	渡慶次 学
導尿・尿道カテーテルの挿入方法	2014 年 7 月 17 日	泌尿器科	嘉川 春生
外来における緊急止血方法	2014 年 7 月 24 日	外科	国吉 史雄
小児科	2014 年 7 月 31 日	小児科	安里 義秀
吐血・下血	2014 年 9 月 4 日	消化器	仲本 学
子宮外妊娠・救急でみる産婦人科疾患	2014 年 9 月 18 日	産婦人科	井手上 隆史
骨折と福木固定	2014 年 9 月 25 日	整形外科	久保田 徹也
解離性大動脈瘤	2014 年 10 月 2 日	循環器	三戸 正人
直腸診・肛門鏡の取扱い方	2014 年 10 月 9 日	外科	阿嘉 裕之
外来における鼻出血止血方法	2014 年 10 月 16 日	耳鼻科	近藤 俊輔
眼内異物と眼外傷	2014 年 10 月 23 日	眼科	照屋 明子
急性膵炎	2014 年 10 月 30 日	消化器	圓若 修一
腹腔穿刺法	2014 年 11 月 6 日	消化器	城間 丈二
骨髄穿刺および生検方法	2014 年 11 月 13 日	血液内科	平良 直也
小児科	2014 年 11 月 20 日	小児科	川満 豊
緊急ペースメーカー挿入と設定の仕方	2014 年 11 月 27 日	循環器	三戸 正人
腹腔臓器破裂・損傷	2014 年 12 月 4 日	外科	澤岬 安勝
緊急透析の判断と適応	2014 年 12 月 11 日	泌尿器科	嘉川 春生
胸腔穿刺とトロッカーカテーテルの挿入方法	2014 年 12 月 18 日	呼吸器	新垣 珠代
切開とドレナージ	2014 年 12 月 25 日	外科	花城 直次
耳鏡の見方と異物除去（鼻腔、耳腔、咽頭、気管）	2015 年 1 月 8 日	耳鼻科	近藤 俊輔
小児科	2015 年 1 月 15 日	小児科	国島 知子
内視鏡（GF・CF）の適応とその前処置	2015 年 1 月 22 日	消化器	折田 均
スワンガンツカテーテルの適応とその解釈	2015 年 1 月 29 日	循環器	三戸 正人

内容	日付	担当	講師・担当医
気管支鏡の適応とその前処置	2015 年 2 月 5 日	呼吸器	新垣 珠代
腰椎穿刺の実際	2015 年 2 月 12 日	麻酔科	釜野 武志
輸血の適応	2015 年 2 月 19 日	血液内科	宮城 敬
救急でみる眼科疾患	2015 年 3 月 5 日	眼科	親川 格
めまい・救急でみる耳鼻咽喉科	2015 年 3 月 12 日	耳鼻科	近藤 俊輔
経鼻・経口胃管・イレウスチューブ挿入方法と胃洗浄	2015 年 3 月 19 日	外科	中川 裕
機械的人工呼吸方法	2015 年 3 月 26 日	呼吸器	普天間 光彦

基礎研修（毎週金曜日 午前 8:15 ～ 8:45 医局にて）

内容	日付	講師・担当医
基礎研修	2014 年 4 月 18 日	仲田 操
	2014 年 4 月 25 日	仲田 操
	2014 年 5 月 2 日	仲田 操
	2014 年 5 月 9 日	仲田 操
	2014 年 5 月 16 日	仲田 操
	2014 年 5 月 23 日	仲田 操
	2014 年 5 月 30 日	仲田 操
	2014 年 6 月 6 日	仲田 操
	2014 年 6 月 13 日	仲田 操
	2014 年 6 月 20 日	仲田 操
	2014 年 6 月 27 日	仲田 操
	2014 年 7 月 4 日	仲田 操
	2014 年 7 月 11 日	仲田 操
	2014 年 7 月 18 日	仲田 操
	2014 年 7 月 25 日	仲田 操
	2014 年 9 月 5 日	仲田 操
	2014 年 9 月 12 日	仲田 操
	2014 年 9 月 19 日	仲田 操
	2014 年 9 月 26 日	仲田 操
	2014 年 10 月 3 日	仲田 操

内容	日付	講師・担当医
基礎研修	2014 年 10 月 10 日	仲田 操
	2014 年 10 月 17 日	仲田 操
	2014 年 10 月 24 日	仲田 操
	2014 年 10 月 31 日	仲田 操
	2014 年 11 月 7 日	仲田 操
	2014 年 11 月 14 日	仲田 操
	2014 年 11 月 21 日	仲田 操
	2014 年 11 月 28 日	仲田 操
	2014 年 12 月 5 日	仲田 操
	2014 年 12 月 12 日	仲田 操
	2014 年 12 月 19 日	仲田 操
	2014 年 12 月 26 日	仲田 操
	2015 年 1 月 9 日	仲田 操
	2015 年 1 月 16 日	仲田 操
	2015 年 1 月 23 日	仲田 操
	2015 年 1 月 30 日	仲田 操
	2015 年 2 月 6 日	仲田 操
	2015 年 2 月 13 日	仲田 操
	2015 年 2 月 20 日	仲田 操
	2015 年 2 月 27 日	仲田 操

外部講師による講習会

研修・勉強会名	内容	主催	開催日	参加者
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院 亀井徹正先生による教育回診(神経内科)	症例検討（15 歳男性 意識障害）	ハートライフ病院	2014 年 4 月 17 日	新里勇樹、溝渕貴俊、伊藤誠、上原千晶、上原博香、田中悠也、立津朝成、普久原朝規、院外研修医 1 名、医学生 6 年次 3 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 宮城征四郎先生による教育回診	症例検討（17 歳男性 呼吸苦）	群星沖縄プロジェクト	2014 年 5 月 1 日	新里勇樹、溝渕貴俊、伊藤誠、上原千晶、普久原朝規、立津朝成、院外研修医 3 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 宮城征四郎先生による教育回診	症例検討（37 歳女性 発熱）	群星沖縄プロジェクト	2014 年 6 月 5 日	溝渕貴俊、上原千晶、立津朝成、田中悠也、普久原朝規、院外研修医 1 名、医学生 6 年次 1 名

研修・勉強会名	内容	主催	開催日	参加者
独立行政法人地域医療機能推進機構本部研修センター センター長 兼 群星沖縄臨床研修センター副センター長 徳田安春先生による教育回診	症例提示（呼吸器内科 後期研修医より 2 例）	ハートライフ病院	2014 年 6 月 13 日	普天間光彦、仲田操、仲吉博亮、新垣珠代、新里勇樹、伊藤誠、上原博香、立津朝成、普久原朝規、院外研修医 1 名、医学生 6 年次 3 名
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院 亀井徹正先生による教育回診(神経内科)	GLs for Acute Ischemic Stroke	ハートライフ病院	2014 年 6 月 19 日	新里勇樹、溝渕貴俊、伊藤誠、立津朝成、田中悠也、普久原朝規、上原千晶、医学生 6 年次 3 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 宮城征四郎先生による教育回診	症例検討（35 歳女性 発熱・背部痛）	群星沖縄プロジェクト	2014 年 7 月 3 日	上原千晶、立津朝成、田中悠也、上原博香、院外研修医 3 名、医学生 6 年次 3 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 宮城征四郎先生による教育回診	症例検討（75 歳女性 労作時の呼吸苦・動悸）	群星沖縄プロジェクト	2014 年 8 月 7 日	伊藤誠、上原千晶、田中悠也、普久原朝規、院外研修医 5 名
独立行政法人地域医療機能推進機構本部研修センター センター長 兼 群星沖縄臨床研修センター副センター長 徳田安春先生による教育回診	症例提示（呼吸器内科 後期研修医より 1 例、初期研修医より 1 例）	ハートライフ病院	2014 年 8 月 8 日	普天間光彦、仲吉博亮、新垣珠代、伊藤誠、立津朝成、田中悠也、普久原朝規、院外研修医 4 名
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院 亀井徹正先生による教育回診（神経内科）	症例検討（79 歳男性 異常行動）	ハートライフ病院	2014 年 8 月 21 日	伊藤誠、普久原朝規、上原千晶、上原博香、院外研修医 2 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 宮城征四郎先生による教育回診	症例検討（75 歳女性 呂律難）	群星沖縄プロジェクト	2014 年 9 月 4 日	伊藤誠、上原千晶、立津朝成、普久原朝規、院外研修医 2 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 宮城征四郎先生による教育回診	症例検討（45 歳男性、発熱・痙攣）	群星沖縄プロジェクト	2014 年 10 月 1 日	伊藤誠、上原博香、上原千晶、田中悠也、普久原朝規、院外研修医 3 名、医学生 6 年次 2 名
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院 亀井徹正先生による教育回診（神経内科）	症例検討（82 歳男性 頭痛・視力低下）	ハートライフ病院	2014 年 10 月 16 日	新里勇樹、溝渕貴俊、上原千晶、上原博香、普久原朝規、院外研修医 4 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 宮城征四郎先生による教育回診	症例検討（39 歳女性 頭痛・発熱）	群星沖縄プロジェクト	2014 年 11 月 6 日	新里勇樹、伊藤誠、上原博香、立津朝成、普久原朝規、院外研修医 3 名
Lisa ma,MD(President of mosaic Family Medical Director, Keiro Nursing Home) によるセミナー	終末期医療 ―患者さんへの悪い知らせの伝え方―	ハートライフ病院	2014 年 11 月 25 日	奥島憲彦、上原千晶、上原博香、立津朝成、田中悠也、譜久原朝規、院外研修医 2 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 宮城征四郎先生による教育回診	症例検討（60 歳男性 安静時呼吸困難）	群星沖縄プロジェクト	2014 年 12 月 4 日	伊藤誠、田中悠也、普久原朝規、院外研修医 6 名
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院 亀井徹正先生による教育回診(神経内科)	症例検討（49 歳男性 4.5 日前から右足の動きが悪い）	ハートライフ病院	2014 年 12 月 18 日	伊藤誠、普久原朝規、上原千晶、上原博香、立津朝成、院外研修医 3 名
独立行政法人地域医療機能推進機構本部研修センター センター長 兼 群星沖縄臨床研修センター副センター長 徳田安春先生による教育回診	症例提示（呼吸器内科 後期研修医より 1 例 38 歳男性発熱・頭痛・意識混濁、初期研修医より 1 例 72 歳男性 呂律難）	群星沖縄プロジェクト	2014 年 12 月 30 日	奥島憲彦、仲吉博亮、伊藤誠、上原千晶、立津朝成、院外研修医 3 名

研修・勉強会名	内容	主催	開催日	参加者
福井大学医学部付属病院 地域医療推進講座教授 兼 群星沖縄臨床研修センター副センター長 寺澤秀一先生による教育回診	症例検討 (86 歳男性 左大腿部痛)	群星沖縄プロジェクト	2015 年1月16日	仲吉博亮、伊藤誠、上原千晶、上原博香、田中悠也、立津朝成、普久原朝規、院外研修医 4 名
スタンフォード大学リウマチ科教授 Dr. Shoor【Stanford Mervyn Shoor, MD/ Clinical Professor of Medicine (Rheumatology)】による教育回診	症例検討 (51 歳男性 倦怠感・体重減少・目のかすみ) ※英語にてプレゼン	群星沖縄プロジェクト	2015 年2月3日	新里勇樹、溝渕貴俊、伊藤誠、田中悠也、立津朝成、普久原朝規、院外研修医 3 名、医学生 5 年次 6 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 宮城征四郎先生による教育回診	症例検討 (75 歳男性 転倒)	群星沖縄プロジェクト	2015 年3月5日	新里勇樹、伊藤誠、上原千晶、立津朝成、田中悠也、院外研修医 2 名、医学生 5 年次 3 名

研修医学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
海外から帰国後、発熱、嘔吐、下痢、血小板減少を来たシ Dengue 熱と診断された 1 例	第 305 回日本内科学会九州地方会	熊本県	2014 年 5 月 31 日	溝渕貴俊、山入端敦、大濱昌代、宮城敬、狩俣かおり、平良直也
細菌性肺炎との鑑別を要した肺アスペルギス症の 1 例	第 117 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2014 年 6 月 1 日	新里勇樹、奥島憲彦、花城直次、澤岷安勝、西原実、阿嘉裕之、国吉史雄、宮平工、中川裕、嵩原裕夫
進行食道癌に対し術前化学療法中に腫瘍の穿孔による縦隔炎を来した 1 例	第 68 回日本食道学会学術集会	東京都	2014 年 7 月 4 日	溝渕貴俊、奥島憲彦、田嶋公紀、上原拓明、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岷安勝、宮平工、花城直次、西原実
繰り返す血便を契機に診断し得た diverticular colitis の 1 例	第 22 回日本大腸検査学会九州支部会	沖縄県	2014 年 8 月 23 日	上原博香、折田均、圓若修一、城間丈二、仲本学、宮城純、佐久川廣
99mTc-MIBI washout によるアンスラサイクリン系抗腫瘍剤の心毒評価	307 回日本内科学会九州地方会	大分県	2014 年 11 月 23 日	上原千晶、折田均、圓若修一、城間丈二、仲本学、宮城純、佐久川廣
Diverticular colitis の 2 例	第 104 回日本消化器病学会九州支部例会 / 第 98 回日本消化器内視鏡学会支部例会	大分県	2014 年 12 月 5 日	上原博香、折田均、圓若修一、城間丈二、仲本学、宮城純、佐久川廣
POEM を施行した食道アカラシアの 1 例	第 104 回日本消化器病学会九州支部例会	大分県	2014 年 12 月 5 日	立津朝成、奥島憲彦、中川裕、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岷安勝、花城直次、宮平工、西原実
拡張不全型心不全で発症し、肝生検および免疫グロブリン遊離 L 鎖 κ / λ 比測定を契機に診断された AL アミロイドーシスの一例	第 118 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2014 年 12 月 14 日	新里勇樹、宮城敬、三戸正人、城間丈二、平良直也、與座一、佐久川廣
嘔吐、吐血後のショック状態で救急搬送後、非閉塞性腸管虚血症と診断し、緊急手術にて救命し得た 1 症例	第 118 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2014 年 12 月 14 日	溝渕貴俊、阿嘉裕之、中川裕、国吉史雄、澤岷安勝、宮平工、花城直次、西原実、奥島憲彦
腹膜炎を発症せず、局所麻酔下に摘出し得た魚骨による消化管穿通の一例	第 118 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2014 年 12 月 14 日	立津朝成、宮平工、中川裕、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岷安勝、花城直次、西原実、奥島憲彦
原発性胆汁性肝硬変の 3 姉妹発症例	第 118 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2014 年 12 月 14 日	普久原朝規、圓若修一、城間丈二、仲本学、宮城純、折田均、佐久川廣
腹部症状に乏しく自己免疫性肝炎との鑑別を要した化膿性胆管炎の 1 例	第 118 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2014 年 12 月 14 日	田中悠也、圓若修一、城間丈二、仲本学、宮城純、折田均、佐久川廣
仮想透視画像を用いた下大静脈フィルター留置術の有効性	第 308 回日本内科学会九州地方会	福岡県	2015 年 1 月 10 日	伊藤誠、三戸正人

※各科より初期研修医のみ再掲。後期研修医の実績については、各診療科ページをご覧ください。

医師卒後臨床研修 第 10 期生 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)



(左より)

新 里 勇 樹 (琉球大学卒)

溝 渕 貴 俊 (徳島大学卒)

平成 27 年 4 月 1 日より溝渕 貴俊はハートライフ病院 形成外科の後期研修へ。新里勇樹は琉球大学第 3 内科腎臓内科の後期研修へ。

医師卒後臨床研修 第 11 期生 (平成 26 年 4 月 1 日～)

(前方左より)

上 原 千 晶 (琉球大学卒)

上 原 博 香 (琉球大学卒)

(後方左より)

立 津 朝 成 (琉球大学卒)

伊 藤 誠 (琉球大学卒)

田 中 悠 也 (琉球大学卒)

普久原 朝 規 (琉球大学卒)



研修風景



■院内 BLS,ICLS



■福井大学医学部附属病院 林 寛 之 先生による講演会

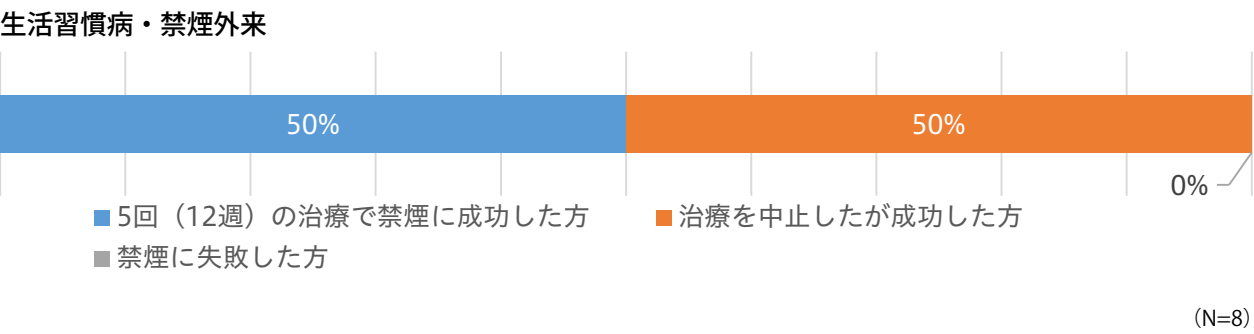
各科概要・実績

内 科

ハートライフ病院の内科は、消化器 6 名、循環器 4 名、血液 5 名、呼吸器 5 名、総合診療 1 名の体制です。それぞれの専門分野において、県内でトップレベルの診療をしています。一方で、循環器内科医が救急総合診療部の診療を兼任で行っており、幅広い疾患に対応しています。また、当院は県内に 7 病院しかない内科学会の認定教育施設になっております。

平成 22 年 10 月に非血縁者間の骨髄移植を施行できる施設として認定され、現在、沖縄県内で唯一の骨髄バンクを介した骨髄移植が可能な施設になっています。また、自己骨髄細胞投与による肝の再生療法（ABMi 療法）が臨床研究として平成 24 年 11 月に厚生労働省に認可され、平成 25 年 1 月に ABMi 療法を始めて実施し、その後症例を重ね、平成 26 年度には 6 症例に対して ABMi 療法を実施しました。今後は、これまでの 10 症例の実績を元に先進医療として厚生労働省に申請する予定です。

「内科」では、各専門内科に含まれない初診・二次精査および各種専門外来を紹介いたします。内科系の詳細なデータは、以降の各専門内科ページをご参照ください。



二次精査件数

他医療機関からの二次精査の紹介患者数※	1,295
ハートライフ病院の予防医学センターからの紹介で2次精査として当院を受診した患者数※	1,808

※診療科にかかわらず、すべての患者を含みます。



■循環器内科研修(カテーテル検査)



■久米島マラソン



■湘南藤沢徳洲会病院 亀井徹正先生による教育回診（神経内科）



■外科研修



■群星沖縄臨床研修センター長宮城征四郎先生による教育回診



■スタンフォード大学リウマチ科教授 Dr.Shoor による教育回診

呼吸器内科

呼吸器内科は現在、医師 5 名（うち後期研修医 1 名）体制で毎日の外来診療と入院診療を行っています。対象となる疾患は肺炎、気管支炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、気管支拡張症、慢性呼吸不全、間質性肺炎、気胸、肺癌、縦隔腫瘍等と多岐に渡っており、他疾患を合併した患者さんも多く診療しています。当科のスケジュールとしては、金曜日の午後 1 時より 7 階病棟で呼吸器内科回診を行っており、医師 5 名に加え、研修医・病棟師長・病棟リーダー・薬剤師・リハビリ・NST・MSW と一緒に部屋を回診しています。各部署と回診する事により共通した患者認識を持ち、より良いグループ診療が出来るように目指しています。また、画像カンファレンスとして月曜日の 13 時から胸写カンファレンスを行い、水曜日 17 時から放射線科との合同画像カンファレンスを行う事で胸写や胸部 CT の読影力向上に努めています。火曜日の午後は気管支鏡検査を施行し、呼吸器疾患の診断率向上に努めています。木曜日の午後は医師・看護師・リハビリ・臨床工学士等の各職種と連携した RST ラウンドを行っています。

年度総括



呼吸器内科部長
普天間 光彦

平成 26 年度は年間 946 名ほどの入院患者の診療を行い、71 名の気管支鏡検査を実施しました。学会活動としては日本内科学会九州地方会に参加して見聞を広め、県医学会で演題発表を行い、県外の学会でも積極的に演題発表を行いました。また、呼吸気同好会や胸部レントゲン勉強会等の県内での研究会へ参加し他医療機関との連携や診療の向上に努めています。教育活動として初期研修医の指導、学生への指導も積極的に行っており、ほとんどの初期研修医は当科での研修を修了しています。来年度は学会参加や県内の研究会等の院外活動をさらに活発にしてい予定で

医師プロフィール

(平成 26 年 8 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
呼吸器内科部長 7 階病棟医長 医局長 ＜専門外来＞睡眠 時無呼吸症候群 (SAS) 外来	普天間 光彦	肺炎、気管支喘息、肺気腫、肺癌、肺結核	
	上地 華代子	呼吸器内科一般	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会専門医
	名嘉山 裕子	呼吸器内科一般	日本内科学会認定内科医
	新垣 珠代	呼吸器内科一般	
後期研修医	仲吉 博亮	呼吸器内科一般	

検査・治療件数

検査・治療	件数	検査・治療	件数
気管支鏡検査	71	睡眠時無呼吸外来のべ患者数	824 名

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
Gemella morbillorum を起因菌とした膿胸の 1 例	第 307 回日本内科学会九州地方会	長崎	2014 年 11 月 23 日	仲吉博亮、普天間光彦、上地華代子、名嘉山裕子、新垣珠代
IVR で救命し得た肺化膿症後の大量咯血の 1 例	第 118 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2014 年 12 月 14 日	新垣珠代、仲吉博亮、名嘉山裕子、上地華代子、普天間光彦、佐久川廣、来田美和、高良誠



循環器内科

医師プロフィール

(平成 26 年 8 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
理事長 ＜専門外来＞生活習慣病・禁煙外来	安里 哲好	循環器疾患、生活習慣病・禁煙外来	日本循環器学会専門医 日本内科学会指導医 日本透析医学会専門医 日本医師会認定産業医
循環器内科部長	與座 一	一般循環器内科	
救急総合診療部副部長 循環器内科医長	三戸 正人	循環器救急、地域医療、スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医 日本循環器学会専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本医師学会認定健康スポーツ医
	相澤 直輝 (非常勤)		
	秋元 芳典		
	潮平 朝洋 (非常勤)		
＜専門外来＞不整脈外来	石垣 清子 (非常勤)		

検査・治療・手術件数

検査件数一覧

	H22	H23	H24	H25	H26
ペースメーカークリニック患者数	-	-	-	226	221
	H22	H23	H24	H25	H26
冠動脈 CT	581	556	412	467	508
トレッドミル	186	304	85	69	82
ホルター心電図	215	229	176	187	232
心筋シンチ	133	111	149	106	140
経胸壁心エコー	2,753	3,085	2,827	2,778	2,796
経食道心エコー	20	31	34	22	24

治療件数一覧

	H22	H23	H24	H25	H26
経皮的冠血行再建術 (PCI)	137	145	124	125	158
ペースメーカー植込み術	20	18	10	21	9
電池交換	4	2	6	5	2
一時的ペースメーカー	15	6	5	10	9
IABP	14	12	7	10	9
PCPS	2	3	1	4	2
下大静脈フィルター	1	5	2	0	7
末梢血管拡張術 (PPI)	1	5	7	7	17

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
断乳後に新機能が改善した周産期心筋症の一例	第 116 回日本循環器学会九州地方会	福岡県	2014 年 6 月 28 日	妹尾 洋、三戸正人

MIBI washout rate の亢進を確認できたアンスラサイクリン系薬剤による心筋障害の疑われた一例	第 24 回日本心臓核医学会総会・学術集会	愛媛県	2014 年 7 月 19 日	三戸正人、秋元芳典、與座 一
ケトアシドーシス改善の時間的推移	第 42 回日本救急医学会総会・学術集会	福岡県	2014 年 10 月 29 日	西田 翔、三戸正人、銘苅 正
^{99m} Tc-MIBI washout によるアンスラサイクリン系抗腫瘍剤の心毒性評価	第 307 回日本内科学会九州地方会	大分県	2014 年 11 月 23 日	上原千晶、三戸正人、宮城 敬
左主幹部病変による急性冠症候群患者の心電図変化と予後	第 117 回日本循環器学会九州地方会	沖縄県	2014 年 12 月 6 日	友寄龍太、三戸正人、潮平朝洋、秋元芳典、與座 一
仮想透視画像を用いた IVC filter 留置術の有効性	第 308 回日本内科学会九州地方会	福岡県	2015 年 1 月 10 日	伊藤 誠、三戸正人、秋元芳典、與座 一

年度総括



循環器内科部長 與座 一

平成 26 年度はこれまで心リハの立ち上げから頑張ってきた心リハ指導士の屋宜さんが退職し、それに伴い徳島より広岡さんが平成 27 年 3 月に入職しました。心リハの更なる充実（レベルアップ）にむけ鋭意努力しているところで、その効果はすでに入院、外来リハ受診数の倍増（2015 年 6 月時点）で見るように数字としても改善が見られております。

平成 26 年度から金城が心臓血管研究所附属病院へ 3 年間の研修のために離職し、また仲田も総合診療を中心に診療をすべくハートライフクリニックへ移ることになりました。循環器スタッフ減少により三戸、與座の 2 人で循環器、救急に関わるという危機的な状況になりうるところ、琉球大学第Ⅲ内科より応援派遣医師（4 ヶ月間交代ですが）が決まり 4 月より財間先生がスタッフとして加わってくれました。8 月より潮平先生が後任として赴任し非常に貢献してくれました。琉球大学第Ⅲ内科からの医師派遣と共に、平成 26 年 7 月より東京（順天堂大学出身）より秋元先生も着任し、循環器内科の戦力としては潮平、秋元、三戸、與座の 4 人体制となり、以前の戦力に近づきましたが、大変残念なことに大学は 11 月で派遣を修了しました。

係る状況の中で平成 26 年度は PCI 件数については過去最高の 156 件を記録しました。緊急も多く、これまで目指してきた救急から直接循環器救急への連携が順調に滑り出している物と推測されます。

循環器内科医は外来＋入院患者診療以外にも予定・緊急を含む心臓カテーテル検査以外にもトレッドミル運動負荷試験、運動負荷心筋シンチ、心肺運動負荷試験など医師が直接携わる検査が多く現在のスタッフでは限界があります。

平成 27 年度は新たなスタッフを循環器内科に迎えることができるように鋭意努力しております。今年はスタッフ充実を図り、これまで進めて来たことの更なる充実を図るとともに、循環器に関連した心リハ指導士、心不全専任看護師、心カテ及びペースメーカーのスタッフして大いに循環器に貢献している ME などの育成に協力し（スキルアップなど）循環器内科、ひいては病院全体のレベルアップに繋がるような取り組みを進めていきたいと考えています。

県内のリーディングホスピタルを目指す一方で、当病院として特色を出すこ

と（他の同様な病院との差別化を図る）も極めて重要なのではないかと考えております。そのためにどうすべきかということもスタッフ全員で考えていきたいと思ひます。すでにその目的で心リハの勉強会を週に 1 回各部門持ち回りで開催し、心療内科の菅野先生にも参加して頂いております。その方面の充実に力も注いで参りたいと考えております。そういった日々の努力がひいてはチーム医療の充実に繋がり、やり甲斐のある職場の醸成に役立つものと考えております。また、これまで同様に病診連携のみならず病病連携を積極的に行いつつ、さらに 3 ～ 5 年以内に整備すべき物について検討したいと思ひています。

消化器内科

消化器内科が扱う臓器は幅広く、腹部の臓器のほとんど（腎臓、副腎など一部臓器を除く）が守備範囲となります。そのため対象となる患者は多く多岐にわたります。また、人間は精神的ストレスが掛ると身体的には消化管に影響が出る事が多く、心身医療とも密接な関わりがあります。さらにはメタボリックシンドロームと関連する消化器疾患もあり、おそらく病院を受診する患者さんのかなりの部分を消化器系の疾患が占めているものと思われまふ。当科はなかでも肝疾患に対する治療に力を入れており、平成 25 年 1 月に県内初のアルコール性肝硬変症例に対する自己幹細胞投与療法が行われ、平成 26 年度は 6 症例に実施しました。

医師プロフィール

(平成 26 年 8 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
内視鏡センター長 ＜専門外来＞胸やけ外来	折田 均	胸やけ外来（機能性消化管疾患）、胃癌・大腸癌の内視鏡的治療	日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
消化器内科部長 5 階病棟医長	宮城 純	上部・下部消化管疾患の診断・治療。	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定内科医
消化器内科副部長	城間 丈二	肝癌の治療、肝・胆道系疾患の治療	日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医
内視鏡センター副センター長	仲本 学	消化管内視鏡診断・治療（ESD）	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医
	洲鎌 理知子	一般消化器内科	
	圓若 修一	一般消化器内科	日本内科学会認定内科医

検査・治療・手術件数

1. 検査内視鏡実績

	H 23 年度	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度
胃内視鏡	7,288	8,169	8,439	8,947
大腸内視鏡	2,318	2,471	2,663	2,860
ERCP	64	91	140	161
超音波内視鏡（上部・下部合計）	39	52	36	28

※外科症例を含みます。

2. 治療内視鏡実績

上部消化管（内訳）	H 23 年度	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度
止血術	60	70	42	45
EMR	10	13	20	18
EVL	27	21	28	25
EIS	17	29	9	8
異物摘出術	7	13	10	12
粘膜下層切開剥離術（ESD）	18	19	14	22

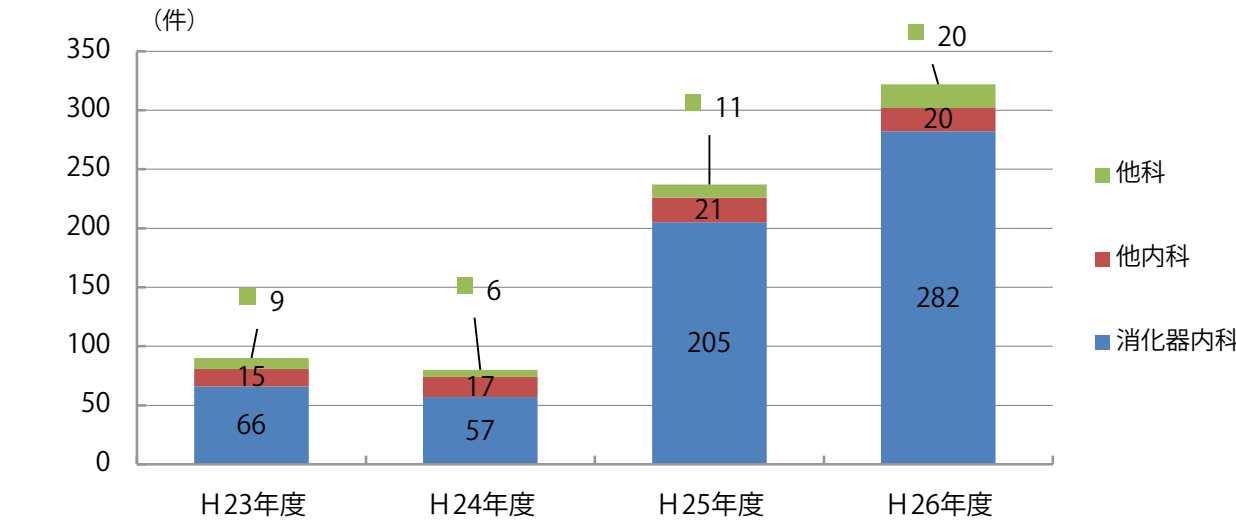
下部消化管（内訳）	H 23 年度	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度
EMR	235	272	280	331
止血術	7	14	11	11

時間外緊急内視鏡下手技件数

内訳	H 23 年度	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度
胃・十二指腸内視鏡検査	2	4	8	6
大腸内視鏡検査			1	5
食道・胃静脈瘤結紮術	5	4	5	7
食道下部及び胃内異物摘出	1	1	2	1
消化管止血術	9	4	6	4
胆管・膵管スト留置術			1	1
合計	17	13	23	24

ヘリコバクターピロリ 除菌件数

	H 23 年度	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度
消化器内科	66	57	205	282
他内科	15	17	21	20
他科	9	6	11	20
全体	90	80	238	322



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
サイトメガロウイルス感染により惹起されたとと思われる抗ミトコンドリア陽性急性肝障害の1例	第117回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2014 年 6 月 1 日	圓若修一、城間丈二、宮城純、折田均、佐久川廣
沖縄県のGERD患者における治療実態調査	北部地区消化器疾患講演会	沖縄県	2014 年 6 月 17 日	仲本学
B型急性肝炎様の肝炎ウイルスマーカーの動きを示した自家末梢幹細胞移植後の de novo B 型肝炎の一例	第 103 回日本消化器学会九州支部例会 第 97 回日本消化器内視鏡学会	福岡県	2014 年 7 月 5 日	城間丈二、圓若修一、折田均、宮城純、佐久川廣 (社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院) 前城達次、藤田次郎 (琉球大学医学 第一内科)

急性肝障害を契機に診断された肥満を伴わない非アルコール性脂肪性肝炎症の1例	第 306 回日本内科学会九州地方会	鹿児島県	2014 年 8 月 22 日～24 日	圓若修一、城間丈二、仲本学、宮城純、折田均、佐久川廣 (社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院) 外間昭 (琉球大学医学附属病院光学診療部) 前城達次、藤田次郎 (同 第一内科)
急性肝炎様の発症を繰り返し診断に至った抗核抗体陰性の自己免疫性肝炎の1例	第 104 回日本消化器病学会九州支部例会 / 第 98 回日本消化器内視鏡学会支部例会	大分県	2014 年 12 月 6 日	圓若修一、城間丈二、仲本学、宮城純、折田均、佐久川廣 (社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院) 前城達次、外間昭 (琉球大学医学附属病院第一内科)

肝臓内科

肝臓内科は消化器内科 6 名体制の中で肝臓疾患を主に扱う 3 名（佐久川廣、城間丈二、圓若修一）が担当しております。

肝臓内科は肝臓疾患全般の診療を行っていますが、その中で、当院において重点的に取りくんでいるのが、B 型、C 型ウイルス性肝疾患に対する抗ウイルス療法、非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）の診断と治療、肝癌の局所療法です。更に、臨床研究として生活習慣病関連肝硬変に対する自己骨髄細胞投与療法を行っています。C 型慢性肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス療法は、日本において平成 4 年頃から行われるようになりましたが、当初、ゲノタイプ 1 型で高ウイルス量の難治例に対する治療成績は悪く、著効率が 5%程度でした。その後、治療法が進歩し、特にプロテアーゼ阻害剤が使用されるようになった平成 24 年から著効率が 70%以上になりました。平成 26 年度、当院においてもプロテアーゼ阻害剤のシメプレビルとペグインターフェロン、リバビリンの 3 剤併用療法を 20 例に実施しました。最終的な治療効果判定に至っていませんが、20 例全例が投与開始から 4 週でウイルスの陰性化を達成し、著効が期待できる反応を示しました。このように、プロテアーゼ阻害剤はインターフェロンとの併用で高い有効性を示しますが、インターフェロンは副作用が強い薬剤で、高齢者には使用しにくい治療法です。その後、インターフェロンフリーの経口 2 剤による治療が保険適用となり、当院でも平成 26 年度に 12 例の症例においてインターフェロンフリー治療を実施しました。12 例中 8 例は肝硬変症例で、また、12 例中 7 例は 65 歳以上の高齢者でありましたが、治療開始後 8 例において、ウイルスが 4 週目に陰性化し、著効が期待できる症例でした。

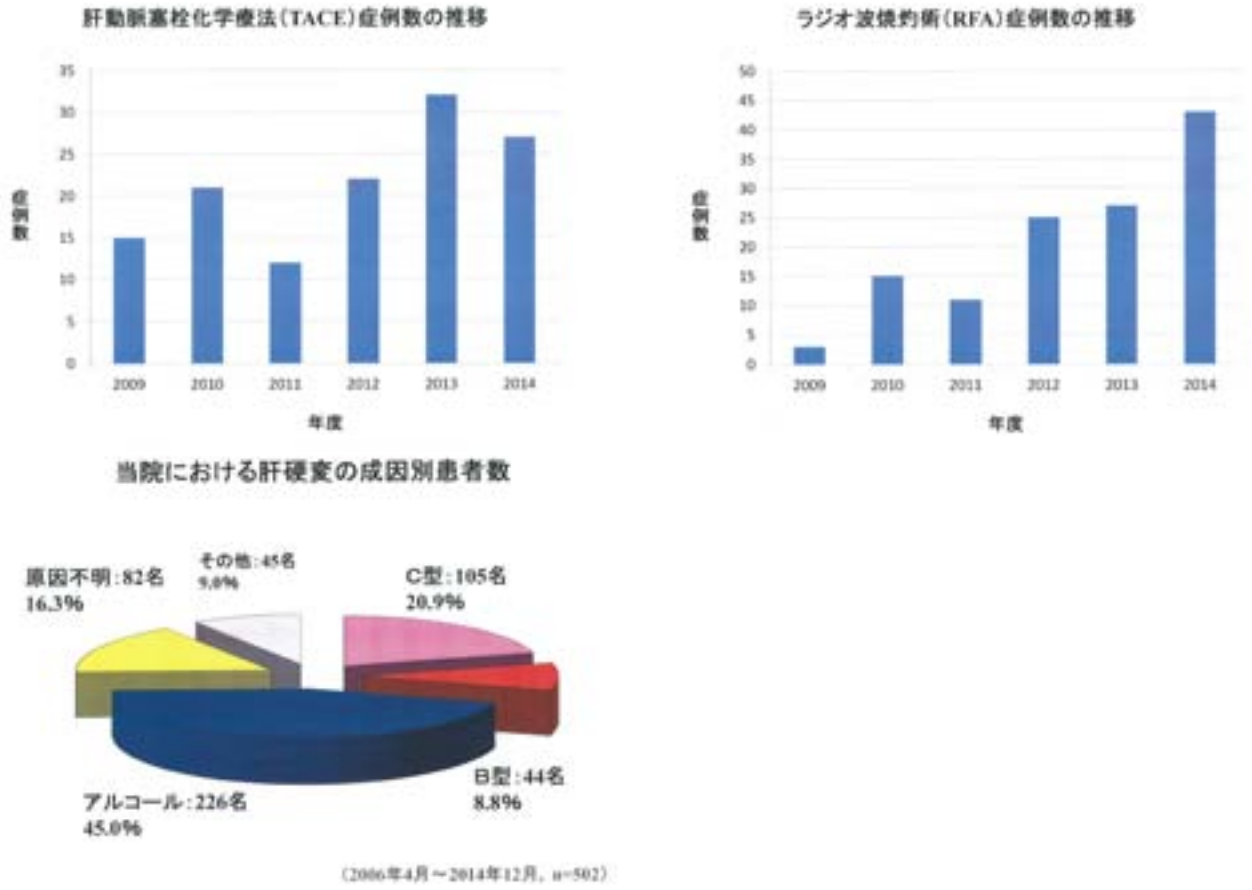
沖縄県は肥満の割合が全国で最も高く、肥満に関連した肝疾患である非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）が増加傾向にあります。NASH の診療は肝生検を必要としますので、肝臓内科では肝生検を積極的に行っています。平成 26 年度の肝生検数は 99 件で、毎年 70 件以上の肝生検を行っており、沖縄県内で最も多い肝生検施行施設になっています。99 件中、NASH と診断した症例は 23 例でした。NASH の治療は食事療法や運動療法が基本ですので、栄養師に介入してもらい、食事指導を積極的に行っています。また、糖尿病のコントロールの悪化により、NASH が悪化する症例も多く、ハートライフクリニックの糖尿病内科と連携して診療しています。

当院において肝癌は増加傾向にありますが、肝臓内科では肝癌の局所療法を積極的に行っています。肝動脈化学塞栓療法は放射線科の高良医師と共同で行っており、平成 26 年度は 27 例に実施しました。肝動脈化学塞栓療法の症例数は年々増加傾向にあり、実施件数は沖縄県内で最も多くなっています（図 1）。また、城間丈二を中心に肝癌に対するラジオ波焼灼術を積極的に行っております。ラジオ波焼灼術は、平成 22 年以降症例数が増加傾向にあり、平成 26 年度は 43 例に実施しました（図 2）。ラジオ波焼灼術の実施件数も沖縄県で最も多くなっています。肝動脈化学塞栓療法とラジオ波焼灼術を施行した患者さんは

中部や南部医療圏のみでなく、北部や宮古、八重山からの紹介患者も多くなってきています。沖縄県において、今後も 60 歳以上のいわゆる癌年齢の人口が増加するため、肝癌の局所療法は今後も増えることが予想されます。

肝硬変の治療は、抗ウイルス剤の進歩により、原因療法が可能となり、治療効果を認める症例も多くなっています。しかしながら、非代償期肝硬変になると原因療法だけでは不十分で、肝再生を促す治療が開発されています。沖縄県はアルコール性や肥満に関連する NASH 由来の肝硬変が多く、このような生活習慣病関連肝硬変が肝硬変全体の 60% 以上を占めています（図 3）。当院では山口大学消化器内科との共同研究で生活習慣病関連肝硬変に対する自己骨髄細胞投与療法の臨床研究を実施しています。平成 22 年度に沖縄県の「医療産業化プラットフォーム基盤構築事業」から助成を受け、平成 23 年 3 月に細胞調製施設（CPC）が完成しました。その後、平成 24 年 4 月にヒト幹細胞臨床研究実施計画書を厚生労働省に提出し、平成 24 年 11 月に民間病院として 2 施設目の承認を得ることができました。平成 25 年 1 月にアルコール性肝硬変の患者に対して自己骨髄細胞投与療法を初めて実施しました。その後、症例を重ね、平成 26 年度には 6 症例に対して自己骨髄細胞投与療法を実施しました。今後は、これまでの 10 症例の実績を元に先進医療として厚生労働省に申請する予定です。

肝臓内科の診療は病院内の様々なスタッフの協力により成り立っていますが、中でも 5 階病棟看護師、外来看護師、薬剤師は診療の良きパートナーです。また、肝癌に対する肝動脈塞栓術は高良医師を始めとする放射線科のスタッフの協力が必要でし、肝胆膵外科グループには手術を依頼しています。更に、自己骨髄細胞投与療法の臨床研究は血液内科や麻酔科を始めとする手術室のスタッフ、検査科職員の協力を得ています。その他にも事務系職員やメディカルクラークのサポートにより、日々の診療が円滑に行われており、今後とも多くの職員の協力を得て、更に診療内容を向上させたいと思います。



年度総括



消化器内科部長
宮城 純

平成 26 年度は、仲本 学 医師の入職により戦力がアップしました。これにより内視鏡検査件数は、上部消化管内視鏡検査が前年比約 500 件、下部消化管内視鏡検査で前年比約 200 件増加しました。また、平日午前の消化器内科外来の二診体制が実現できました。内視鏡の新機種への変更を行い、より詳細な観察が可能となりました。

開業の先生方が内視鏡検査依頼で紹介するときの、手続きや準備する書類の簡素化を行い、これによりこれまで紹介して頂いていなかった先生方からの内視鏡検査紹介がみられるようになりました。

平成 24 年 2 月から、ヘリコバクターピロリの検査・除菌の保険適用疾患の拡大により除菌療法が急増しました。ヘリコバクターピロリ感染胃炎は胃癌の原因の一つであり、ヘリコバクターピロリ感染胃炎を診断し除菌を行うことで、胃癌の撲滅が可能となります。ヘリコバクターピロリの検査・除菌を行うためには、内視鏡検査が行われていることが必須となっています。そのため、胃検診をすべて内視鏡で施行することが理想です。しかし、現状の内視鏡検査室数、スタッフ数では検査件数の増加はほぼ限界と思われます。内視鏡検査室の増設、スタッフの増員が必要です。

平成 27 年度目標

- 消化器疾患の診断能・治療技術の更なる向上を目指します。
- 消化器病内科関連専門医、内視鏡専門医の確保を目指します。
- 消化器内科志望の後期研修医の確保を目指します。
- 長期の目標として、胃検診の全件を内視鏡で行える体制を目指します。

血液内科

血液内科は主に造血器腫瘍や貧血性疾患、出血性疾患など血液疾患一般の診療を行っております。

当院の特徴としては、造血幹細胞移植（骨髄移植、臍帯血移植、末梢血幹細胞移植）を県内では琉球大学附属病院以外では当院でしか行っておりません。そのため県内の造血幹細胞移植医療を一手に担っております。そのため今後も移植医療の発展に寄与するように努力していきたいと考えております。

医師プロフィール

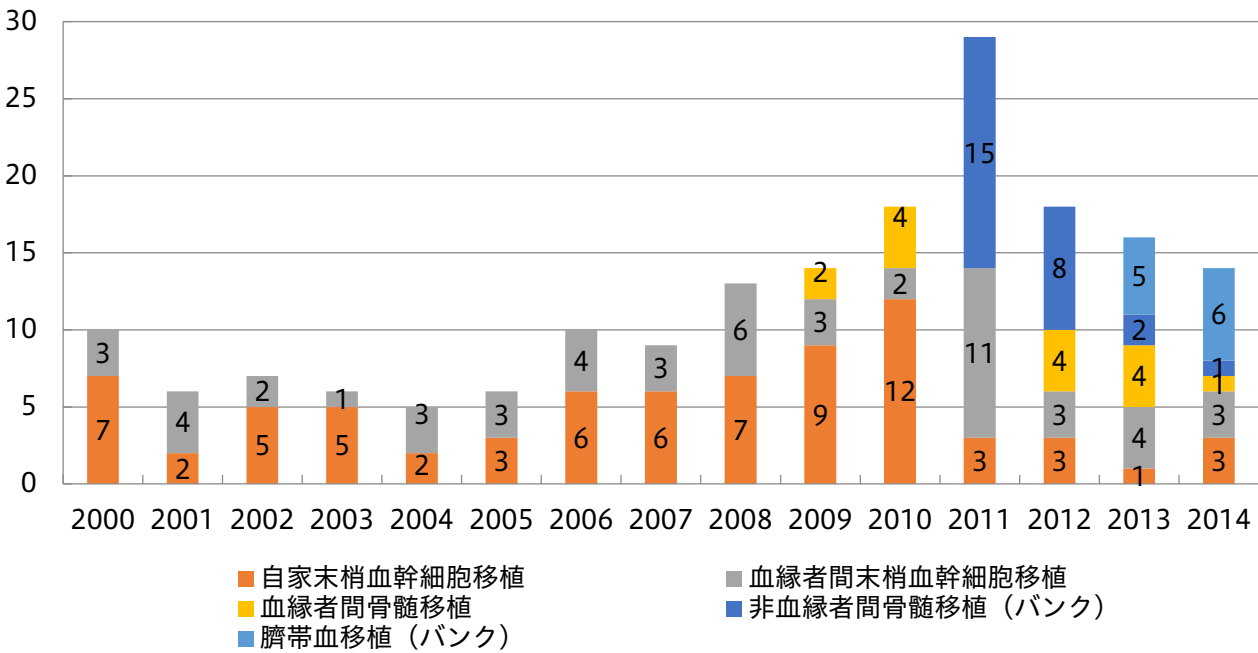
(平成 26 年 8 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
血液内科部長 無菌治療センター長 6 階病棟医長 外来通院治療室室長	平良 直也		日本血液学会専門医 日本内科学会総合内科専門医
血液内科副部長	宮城 敬	一般血液内科	日本血液学会指導医 日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医
血液内科医長	山入端 敦	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医
	狩俣 かおり	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医
	大濱 昌代	一般血液内科	日本内科学会認定内科医

検査・治療・手術件数

骨髄移植術実施一覧

	H22	H23	H24	H25	H26
自家末梢血幹細胞移植	12	3	3	1	3
同種血縁者間末梢血幹細胞移植	2	11	3	4	3
同種血縁者間骨髄移植	4	0	4	4	1
非血縁者間骨髄移植（骨髄バンク）	0	15	8	2	1
臍帯血移植（臍帯血バンク）	0	0	0	5	6
計	18	29	18	16	14



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
臍帯血移植後に、髄液漏・脳脊髄圧低下症から両側性硬膜下血腫を発症した成人 T 細胞白血病リンパ腫の一例	第 37 回日本造血細胞移植学会	兵庫県	2015 年 3 月 5 日～3 月 7 日	宮城 敬、山入端 敦、大濱 昌代、狩俣 かおり、平良 直也

年度総括



血液内科部長
平良 直也

近年、少子高齢化に伴い移植ドナーの確保が困難となり、移植の適応があってもドナーが見つからず移植を断念しなければならない症例もありました。

HLA 一致のドナーが見つからない症例においては HLA 不一致の兄弟や両親からの移植である HLA 半合致移植（ハプロ移植）を当院でも行えるようになりました。

これまでドナーが確保できずに移植を断念していた症例においても移植の門戸が開かれ、移植症例が増加することが考えられます。まだ実験的な移植治療ではありますが、安心・安全に行えるように努めて参ります。

また高齢者の造血器悪性腫瘍が増加していることから今後は治療の適応も含めて対応しなければならないと考えております。

内科年度総括



内科部長・副院長
佐久川 廣

平成 26 年度の内科の収益は、前年と比較して 7.3%の増加となりました。その主な要因として内科常勤医の増加による入院収益の増加が上げられます。外来は、延患者数で 1,200 名減少しましたが、日当額が 16,481（昨年度：14,086）と、昨年度より増加したことにより、収益は 13.7%の増加となりました。入院患者数に関しては、新規入院患者数が月平均で 316 名と前年と比較して約 37 名増加し、病床利用数も平均で 148.4 名と前年より 9.3 名の増加となりました。稼働患者数の増加により、入院収益は昨年と比較して 5.9%の増加となりました。しかしながら、日当額が 51,024（昨年度：51,263）と、昨年度を下回っており、今後は日当額を増やす対策が必要と思われます。内科の診療グループ別には、呼吸器内科が平成 25 年度と比較して、3 億円に近い増収となっており、特に入院収入が 2.8 億の増収を示しました。呼吸器内科の収入増の要因として、医師数が平成 25 年度の 3 名から 5 名に増員したことが上げられます。外来の収益では、血液内科が平成 25 年度と比較して、6 千万の増収を占め、内科全体の外来収益に対する割合も 41.4%を示しました。

平成 26 年度の入院と外来を合わせた内科の収益が約 3.5 億で、収益に対する内科医師の件費率は 11.2%であり、病院全体の収益に対する医師の件費率が 15.7%であることを考慮すると高収益部門と評価できます。今後も内科医師を増員することにより、増加する医療需要を取り込み、更に収益を伸ばせるものと思われます。

小児科

当院小児科では二次病院として紹介患者を中心に診療を行い、外来部門であるハートライフクリニックからの入院を含め、2 名の医師が連携し新生児や膠原病などの専門的な疾患から肺炎やアレルギー性疾患などの一般的な疾患、小児の手術の術前診、早期乳児の術後管理を行っています。

また二次医療機関としてだけではなく、宜野湾市、中城村、西原町、与那原町などの近隣市町村の乳幼児検診や西原町学校、中城小学校行為の活動を通して地域の小児の健康管理への貢献も目標として活動しています。

医師プロフィール

（平成 26 年 8 月現在）

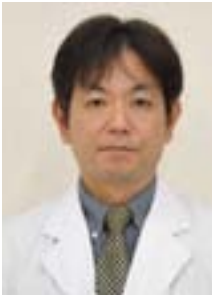
役職	氏名	専門分野	学会認定など
小児科部長	安里義秀	新生児	日本小児科学会専門医
小児科医長	国島知子	一般小児科	日本小児科学会専門医
	川満 豊	一般小児科	日本小児科学会専門医
	崎原徹裕	一般小児科	日本小児科学会専門医

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
特発性肺ヘモジデローシスの一例	第 117 回日本小児科学会 学術集会	愛知県	2014 年 4 月 13 日	崎原徹裕、川満豊、国島知子、 安里義秀
小児期発症のシェーグレン症候群の9例	第 24 回日本小児リウマチ 学会総会・学術集会	埼玉県	2014 年 10 月 4 日	国島知子(社会医療法人かりゆし 会ハートライフ病院)金城紀子、 浜田和弥、大田孝男(琉球大学医 学部小児科)

年度総括



小児科部長
安里 義秀

総入院患者数は在院日数の短さ（3.5 日 / 人）や治癒退院率の高さを維持しながら、対前年 12.3% 増加の 492 名でした。入院患者の 46.7% は紹介患者で、66% は 3 歳未満の児が占めており、また 52% は気道感染が占めています。

外来に関しては、クリニックと病院小児科の役割分担を明確にし、クリニック小児科は急性期患者を、病院小児科は慢性患者の定期フォローを行っており、かりゆし会の小児科としての外来患者数は 13,981 名で 36% の増加となっています。

心療内科

当科は医師一名体制で、専属スタッフの配置はありません。そのため、待ち時間が長くなることもあり
ご迷惑をおかけすることもしばしばです。また外来診療のほか、他科に入院中の方のメンタルヘルストラ
ブルの対応や相談なども行っています。なお、当科での入院治療はやっておりません。

よく言われる心療内科と精神科の違いですが、精神科は精神疾患の治療をする科で、心療内科は自律神
経の治療をする科ということになります。

自律神経の機能がうまく調整できなくなる原因は、老化や体質、ホルモン機能のほか、ストレスや過労な
どさまざまです。そのため、厳密にわけることが難しい分野でもあります。検査しても病気じゃないとい
われたけど体調が悪いというかたは、自律神経の治療を受けることで楽になることがあるかもしれません。

医師プロフィール

(平成 26 年 8 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
心療内科医長	菅野 善一郎	リエゾン精神医学・心身医療	精神保健指定医 日本精神神経学会専門医 日本精神神経学会指導医

年度総括



心療内科
菅野 善一郎

心療内科を立ち上げて 5 年目になりました。これまで、外来診療および他科
と連携した診療を続けていましたが、その中で色々気づかされた事がありまし
た。その一つが「病棟スタッフは認知症やせん妄の知識を求めている」事でした。
心療内科は脳に携わる診療科であることから何か役に立てるのではないかと考
えました。

まずは、希望に合わせて各病棟でせん妄の勉強会をやる事にしてました。
そしてせん妄対策用の不眠時内服薬の検討や術後せん妄予防についての統計を
とり始めています。

平成 27 年度にはハートライフ病院マニュアルの完成を目指したいところで
す。

スタッフの負担軽減はもとより、脳が病気の状態になったことで必要な医学
が受けられなくなる方が減ることを願ってやみません。

外 科

医師プロフィール

(平成 26 年 8 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
院長	奥島 憲彦	消化器外科、食道外科、食道癌の内視鏡的治療、食道ア カラシアの POEM 治療	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認 定医 日本医師会認定産業医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本食道学会認定医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本がん治療認定医機構暫定教育医
外科系統括部長 外来診療部長	西原 実	一般消化器外科、肝胆膵外科、内視鏡外科、抗がん剤治 療	日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本がん治療認定医機構がん治療認 定医 日本消化器外科学会消化器がん外科 治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定医
外科部長 4 階病棟医長	宮平 工	胃痛・大腸癌に対する手術治療、抗がん剤治療、各種消 化器疾患に対応する腹腔鏡手術、単孔式手術	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科 治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本内視鏡外科学会評議員 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認 定医 日本がん治療認定医機構暫定教育医
外科副部長	花城 直次	一般外科、腹腔鏡下大腸切除術に力を入れております。	日本外科学会認定医 日本外科学会専門医
大腸・肛門外科医 長	阿嘉 裕之	肛門科・消化器外科、各種肛門疾患（痔核・痔瘻・裂肛・ 直腸脱・尖圭コンジロームなど）、炎症性肛門疾患に伴う 肛門疾患、便通異常などに対して注射療法、手術を含め て専門的に診ていきます。	日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本外科学会認定登録医
外科医長	澤岬 安勝	一般外科	日本外科学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科 治療認定医
	国吉 史雄	一般外科	
	中川 裕	一般外科・消化器外科	
血管外科	仲栄真 盛保 (非常勤)		
乳腺外科医長	村山 茂美	乳腺外来	日本乳癌学会専門医 日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認 定医 検診マンモグラフィ読影認定医 JABTS 超音波講習会修了医
	白石 牧子	乳腺・漢方	日本外科学会専門医 日本乳癌学会認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認 定医 検診マンモグラフィ読影認定医

役職	氏名	専門分野	学会認定
＜専門外来＞ 甲状腺外来	久高 弘志 (非常勤)		
＜専門外来＞ ヘルニア外来	嵩原 裕夫 (非常勤)		日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本小児外科学会専門医 日本小児外科学会指導医

検査・治療・手術実績

術式別一覧

手技	件数
肺	
胸腔鏡下手術	3
食 道	
POEM 手術	2
食道癌 ESD	11
食道悪性腫瘍手術	5
甲状腺	
甲状腺良性腫瘍手術	1
甲状腺悪性腫瘍手術	3
乳腺	
乳腺良性腫瘍切除術	9
乳腺悪性腫瘍切除術	36
乳腺組織試験性手術	2
センチネルリンパ節生検	1
胃悪性腫瘍手術（開腹）	16
腹腔鏡下胃切除術（悪性）	1
腹腔鏡下胃切除術（良性）	1
腹腔鏡下胃、十二指腸潰瘍穿孔縫合術	3
食道・胃静脈瘤手術	1
胃縫合術（大網充填術又は被覆術を）（良）	3
胆嚢・胆管	
腹腔鏡下胆嚢摘出術	86
開腹胆嚢摘出術	11
胆管切開結石摘出術	2
胆管胆嚢悪性腫瘍手術	4
肝 臓	
腹腔鏡下胆嚢摘出術	86
開腹胆嚢摘出術	11
胆管切開結石摘出術	2
胆管胆嚢悪性腫瘍手術	4
膵 臓	
膵頭部腫瘍切除術	6
小 腸	
小腸切除術	7
腸瘻造設術	2

手技	件数
腸吻合術	4
腹腔鏡下小腸切除術	2
腸閉塞症手術	6
虫 垂	
腹腔鏡下虫垂切除術	52
開腹虫垂切除術	1
結 腸	
腹腔鏡下結腸良性腫瘍切除術	4
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	25
開腹結腸悪性腫瘍切除術	19
開腹結腸切除術	6
腹腔鏡下大腸全摘術（悪性以外）	3
直 腸	
ハルトマン手術	1
腹腔鏡下直腸悪性腫瘍切除術	8
腹腔鏡下直腸良性腫瘍切徐術	1
開腹直腸悪性腫瘍切徐術	14
経肛門直腸腫瘍摘出術	1
人工肛門造設術・人工肛門閉鎖術	16
直腸全層組織試験採取術	1
肛 門	
痔核硬化療法	30
痔核根治手術	4
痔瘻手術	7
肛門形成手術	1
肛門ポリープ切除術	1
毛巣洞手術	4
肛門周囲膿瘍切開術	2
肛門尖圭コンジローム手術	3
肛門皮膚剥離切除術	2
膿皮症	4
ヘルニア	
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術	78
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（小児）	33
停留精巣固定術	5
鼠径ヘルニア手術	5

手技	件数
臍ヘルニア手術	3
臍ヘルニア手術（小児）	6
大腿ヘルニア手術	2
腹壁瘢痕ヘルニア手術	4
白線ヘルニア手術	1
腹直筋離開ヘルニア	1
閉鎖孔ヘルニア	1
半月腺状ヘルニア	1
腰ヘルニア	1
胃 瘻	
内視鏡下胃瘻造設術	32
その他部位	
気管切開術	2
後腹膜手術	11
リンパ節生検	22
体表の手術	259

部位別疾患別一覧

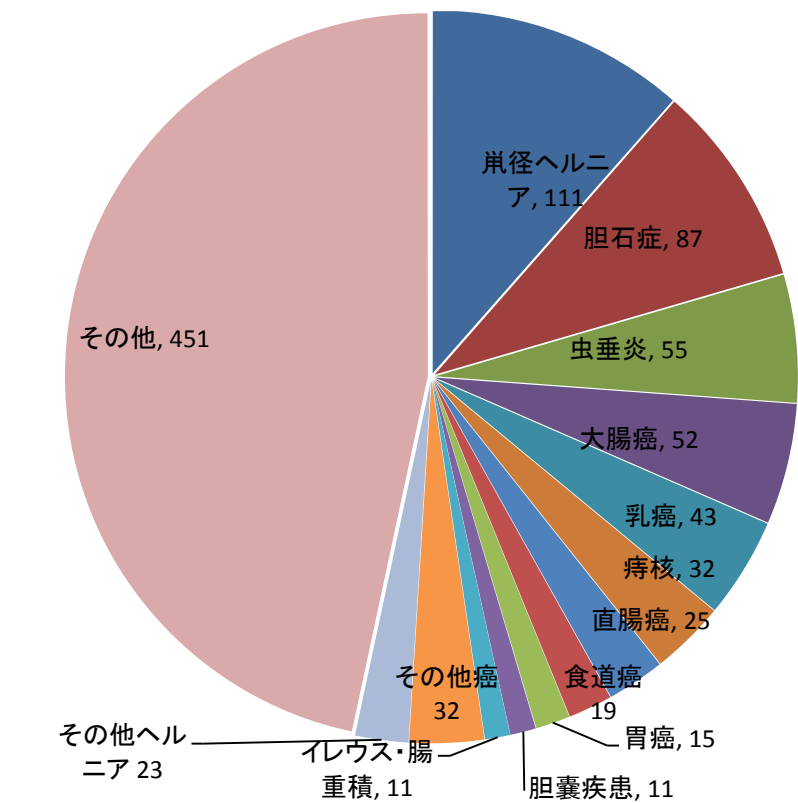
病名	件数
甲 状 腺	
甲状腺癌	3
甲状腺濾胞性腫瘍	1
乳 腺	
乳癌・乳癌転移	43
乳房良性腫瘍	9
食 道	
食道癌・食道癌転移	19
食道アカラシア	3
食道胃静脈瘤	1
下咽頭癌	1
胸 部	
肺癌・肺癌転移	2
気胸	1
胃	
胃癌	15
胃原発性悪性リンパ腫	1
胃 GIST	2
穿孔性胃潰瘍	4
肝 臓	
肝癌	6
胆管癌	5
肝嚢胞	1
胆管・胆嚢	
胆嚢癌	4
胆石症	87
胆嚢腺筋症・胆嚢ポリープ	11

手技	件数
CV ポート	30
内視鏡的消化管出血	1
頰のう摘出術	1
直腸腔瘻閉鎖術	1
腎悪性腫瘍手術	1
限局性腹腔内膿瘍手術（虫垂周囲）	1
限局性腹腔内膿瘍手術（ダグラス窩）	2
腹壁瘻手術	1
大網切除術	1
組織試験採取、切採法	1
試験開腹術	5
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術	1
合計	961

病名	件数
胆嚢その他	3
膵 臓	
膵癌	2
十二指腸	
十二指腸乳頭部癌	2
十二指腸癌	2
十二指腸穿孔	3
腎 臓	
腎盂癌	1
腎細胞癌	1
小 腸	
小腸穿孔・壊死・異物	6
ヘルニア	
鼠径ヘルニア	111
臍ヘルニア	6
腹壁瘢痕ヘルニア	5
腰ヘルニア	1
閉鎖孔ヘルニア	1
白線ヘルニア	1
上腹壁ヘルニア	1
大腿ヘルニア	2
結腸・直腸	
大腸癌	52
直腸癌	25
虫垂炎	55
イレウス・腸重積	11
憩室炎・メッケル憩室炎	3

病名	件数
潰瘍性大腸炎	3
クローン病	3
結腸その他	12
痔・肛門	
痔核	32
痔瘻	7
毛巢洞	4
肛門その他	9
その他	
人工肛門造設状態	4
嚥下障害	32
腹腔内膿瘍	3
腹壁異物	1
術後血腫	1
腹膜播種	1

病名	件数
後腹脂肪肉腫 (悪性)	3
後腹腫瘍摘出 (良性)	2
リパ節腫大 (良性)	6
胚細胞腫	1
血管疾患 (リンパ節生検)	11
停留精巣	6
陰囊水腫	4
子宮体癌腹膜播種	1
正中頸のう胞	1
上腕二頭筋内脂肪腫	1
ヒルシュブルグ病疑い	1
胃瘻周囲炎	1
副耳	1
その他	297
合計	961



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
成人鼠径ヘルニアに対する LPEC 変法 “かりゆしモデル” について - 第 2 報 -	第 12 回日本ヘルニア学会 学術集会	東京都	2014 年 6 月 6 日	西原実、田嶋公紀、上原拓明、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岷安勝、村山茂美、宮平工、花城直次、奥島憲彦、嵩原裕夫
成人外鼠径ヘルニアに対する LPEC 適応拡大について	第 13 回 LPEC 研究会	東京都	2014 年 6 月 6 日	西原実、中川裕、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岷安勝、宮平工、花城直次、奥島憲彦、嵩原裕夫
前立腺全摘術後鼠径ヘルニアに対する cone mesh+LPEC 法(かりゆしモデル 2)	第 13 回 LPEC 研究会	東京都	2014 年 6 月 6 日	国吉史雄、西原実、中川裕、阿嘉裕之、澤岷安勝、宮平工、花城直次、奥島憲彦、嵩原裕夫
乳癌脳転移症例に対して全脳照射後にベバシズマブ+パクリタキセル継続投与にて長期 S D となった 1 例	第 22 回日本乳癌学会学術総会	大阪府	2014 年 7 月 11 日	白石牧子、村山茂美、喜友名正也、戸田隆義、山内美咲、徳比嘉恵
食道アカラシアと新しい治療法 POEM	第 117 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2014 年 6 月 1 日	奥島憲彦、花城直次、澤岷安勝、西原実、阿嘉裕之、宮平工、中川裕、国吉史雄、嵩原裕夫
外来科学療法にて長期予後を得ている多発肺転移を伴う S 状結腸癌の 1 例	第 117 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2014 年 6 月 1 日	宮平工、中川裕、花城直次、澤岷安勝、西原実、阿嘉裕之、国吉史雄、奥島憲彦、嵩原裕夫
成人鼠径ヘルニアに対する LPEC 法の応用	第 117 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2014 年 6 月 1 日	西原実、阿嘉裕之、国吉史雄、宮平工、中川裕、花城直次、澤岷安勝、奥島憲彦、嵩原裕夫
当院での痔核 ALTA 治療	第 117 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2014 年 6 月 1 日	阿嘉裕之、西原実、国吉史雄、宮平工、中川裕、花城直次、澤岷安勝、奥島憲彦、嵩原裕夫
食道アカラシアに対する POEM 手術の治療成績の検討	第 68 回日本食道学会学術集会	東京都	2014 年 7 月 4 日	奥島憲彦、花城直次、澤岷安勝、西原実、阿嘉裕之、宮平工、中川裕、国吉史雄、嵩原裕夫
食道癌術後 2 ヶ月目に頸部腫瘤で発症した頸部胸管瘻と思われた 1 例	第 68 回日本食道学会	東京都	2014 年 7 月 4 日	花城直次、奥島憲彦、澤岷安勝、溝渕貴俊、中川裕、阿嘉裕之、宮平工、西原実
右側結腸軸捻転に S 状結腸の絞扼性イレウスを伴った 1 例	第 76 回日本臨床外科学会総会	福島県	2014 年 11 月 21 日	中川裕、国吉史雄、澤岷安勝、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、西原実、奥島憲彦
腹腔鏡下虫垂切除術の開腹移行の工夫について	第 27 回日本内視鏡外科学会	岩手県	2014 年 10 月 3 日	澤岷安勝、国吉史雄、中川裕、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、西原実、嵩原裕夫、奥島憲彦
大腸癌術後の乳糜腹水の 3 例	第 27 回日本内視鏡外科学会	岩手県	2014 年 10 月 3 日	宮平工、中川裕、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岷安勝、花城直次、西原実、奥島憲彦
ヘルニア分類Ⅱ-1 型の TAPP 術後にみられる腫瘤形成予防術式の工夫	第 27 回日本内視鏡外科学会	岩手県	2014 年 10 月 3 日	西原実、中川裕、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岷安勝、宮平工、花城直次、奥島憲彦、嵩原裕夫
cone mesh+LPEC 法 (かりゆしモデル 2) で手術した前立腺がん術後発症の外鼠径ヘルニアの 2 例	第 27 回日本内視鏡外科学会	岩手県	2014 年 10 月 3 日	国吉史雄、西原実、中川裕、阿嘉裕之、澤岷安勝、花城直次、宮平工、奥島憲彦、嵩原裕夫
当院での検診発見無自覚乳癌症例と自覚乳癌症例における生物学的比較	第 24 回日本乳癌検診学会学術総会	群馬県	2014 年 11 月 8 日	白石牧子、村山茂美、喜友名正也、戸田隆義
介護老人施設、精神障害者支援施設入所者における乳癌症例の検討	第 76 回日本臨床外科学会総会	福島県	2014 年 11 月 21 日	白石牧子、村山茂美、中川裕、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岷安勝、宮平工、花城直次、西原実、奥島憲彦、喜友名正也、戸田隆義
Interval Appendectomy をおこなった急性中耳炎症例 8 例の急性期における抗生剤治療の検討	第 27 回日本外科感染症学会	東京都	2014 年 12 月 5 日	中川裕、国吉史雄、澤岷安勝、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、西原実、奥島憲彦
成人鼠径ヘルニアに対する LPEC の適応拡大としての “かりゆしモデル” について	第 76 回日本臨床外科学会総会	福島県	2014 年 11 月 20 日	西原実、中川裕、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岷安勝、宮平工、花城直次、奥島憲彦、嵩原裕夫

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
再発、再再発鼠径ヘルニアに対する TAPP 法の有用性	第 76 回日本臨床外科学会総会	福島県	2014 年 11 月 22 日	国吉史雄、西原実、中川裕、阿嘉裕之、澤岷安勝、宮平工、花城直次、奥島憲彦、嵩原裕夫
乳腺腫瘍で発症し乳癌と鑑別困難だった白血病乳腺転移の 1 例	第 76 回日本臨床外科学会総会	福島県	2014 年 11 月 21 日	村山茂美、白石牧子、阿嘉裕之、西原実、奥島憲彦、宮平工、花城直次、宮城敬、喜友名正也、戸田隆義
2 次健診後 2 年目で乳癌と確診された症例の反省	第 24 回日本乳癌検診学会学術総会	群馬県	2014 年 11 月 8 日	村山茂美、白石牧子、奥島憲彦、西原実、宮平工、花城直次、喜友名正也、戸田隆義
内視鏡検査同日に施行できる C T C 有用であった異所性子宮内膜症の 1 例	第 69 回日本大腸肛門病学会学術総会	神奈川県	2014 年 11 月 8 日	阿嘉裕之、西原実、中川裕、国吉史雄、澤岷安勝、宮平工、花城直次、奥島憲彦
進行大腸癌の緩和的治療で挿入した大腸ステンドが migration した 1 例	第 76 回日本臨床外科学会総会	福島県	2014 年 11 月 22 日	花城直次、国吉史雄、中川裕、澤岷安勝、阿嘉裕之、宮平工、西原実、奥島憲彦
再発、再再発鼠径ヘルニアに対する T A P P 法の有用性	第 76 回日本臨床外科学会総会	福島県	2014 年 11 月 22 日	国吉史雄、西原実、中川裕、阿嘉裕之、澤岷安勝、宮平工、花城直次、奥島憲彦、嵩原裕夫
S P 療法が奏功した進行十二指腸癌の 1 例	第 87 回日本胃癌学会総会	広島県	2015 年 3 月 5 日	宮平工、澤岷安勝
線維線種内に発生した invasive ductal and lobular combined carcinoma	第 12 回日本乳癌学会九州地方会	福岡県	2014 年 3 月 7 日	白石牧子、村山茂美、戸田隆義、喜友名正也
前側方の低位筋間痔瘻に対する lay open 一期縫合	第 118 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2014 年 12 月 14 日	阿嘉裕之、中川裕、国吉史雄、澤岷安勝、宮平工、花城直次、西原実、奥島憲彦、
回腸子宮内膜症が疑われたイレウスの 1 例	第 118 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2014 年 12 月 14 日	国吉史雄、花城直次、澤岷安勝、中川裕、阿嘉裕之、宮平工、西原実、奥島憲彦
当科における DIC について	第 118 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2014 年 12 月 14 日	澤岷安勝、国吉史雄、中川裕、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、西原実、白石牧子、奥島憲彦
全周性に ESD を行った早期食道癌の一例	第 118 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2014 年 12 月 14 日	奥島憲彦、花城直次、澤岷安勝、西原実、阿嘉裕之、宮平工、中川裕、国吉史雄

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
虫垂炎術後の遺残糞石による骨盤内膿瘍で治療に難渋した 1 例	日本外科感染症学会雑誌 (1349-5755)	11 巻 3 号 Page259-263(2014.6)	上原 拓明, 宮平工, 田嶋 公紀, 阿嘉 裕之, 澤岷安勝, 花城 直次, 西原 実, 奥島 憲彦
Advanced LPEC 法を行った超低出生体重児における鼠径ヘルニア再発の 1 例	日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843)	75 巻 9 号 Page2602-2605(2014.09)	西原 実, 澤岷 安勝, 奥島 憲彦, 嵩原 裕夫
成人鼠径ヘルニアに対する PEC 法の応用	沖縄医学会雑誌 (0911-5897)	53 巻 2 号 Page52-54(2014.11)	西原 実, 田嶋 公紀, 上原 拓明, 国吉 史雄, 阿嘉 裕之, 澤岷 安勝, 村山 茂美, 宮平工, 花城 直次, 奥島 憲彦, 嵩原 裕夫

年度総括



外科部長
宮 平 工

平成 26 年度は奥島院長 (食道)、西原外科系統括部長 (肝胆膵)、宮平 (胃・大腸)、花城副部長 (胃・大腸)、沢岷 (一般外科)、阿嘉 (大腸・肛門)、白石 (乳腺)、国吉、中川 (一般外科) の 9 名の常勤医と非常勤の嵩原 (ヘルニア)、久高 (甲状腺)、仲栄真 (血管) 各先生方のご尽力を頂き、運営してまいりました。敬称略 (カッコ内は専門領域)

手術件数は過去最高の 735 件を達成しましたが、特にヘルニア、乳癌、大腸癌手術の増加が著明でした。当科では手術だけでなく、消化器癌、乳癌の化学療法も担当し、研修医の指導も行っています。臨床の間には学会発表や論文投稿も積極的に行っています。

また平成 27 年度より、東京の至誠会第二病院より膵臓外科部長梁英樹先生が常勤医として加わり、肝胆膵領域の臨床がさらに充実すると考えます。

今後もより安全な医療、より質の高い医療を目指すだけでなく、最新の医療も提供すべく邁進してまいります。皆様方のますますのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

整形外科

スタッフは、松元悟・渡慶次学・琉球大学からのローテーター久保田徹也・川越得弘・立花真理の 5 人です。琉球大学整形外科講座より、金曜日は関節外科非常勤医師の応援を得ています。また、水曜日はじのん整形外科院長の新垣薫先生に股関節専門外来および手術指導など御協力いただいています。パークレーじのん整形外科院長の新城宏隆先生には週 1 日膝関節手術を御執刀いただいています。松元悟は膝関節・スポーツを担当しており、沖縄県整形外科医会会長で運動器疾患の県民への啓蒙活動にも努めています。渡慶次学と川越得弘は手外科を担当し、上肢外傷・末梢神経絞扼障害等の手術を行っています。久保田徹也と立花真理は膝関節を担当し、関節鏡を用いた前十字靱帯再建・半月板縫合等の手術を行っています。

医師プロフィール

(平成 26 年 8 月現在)

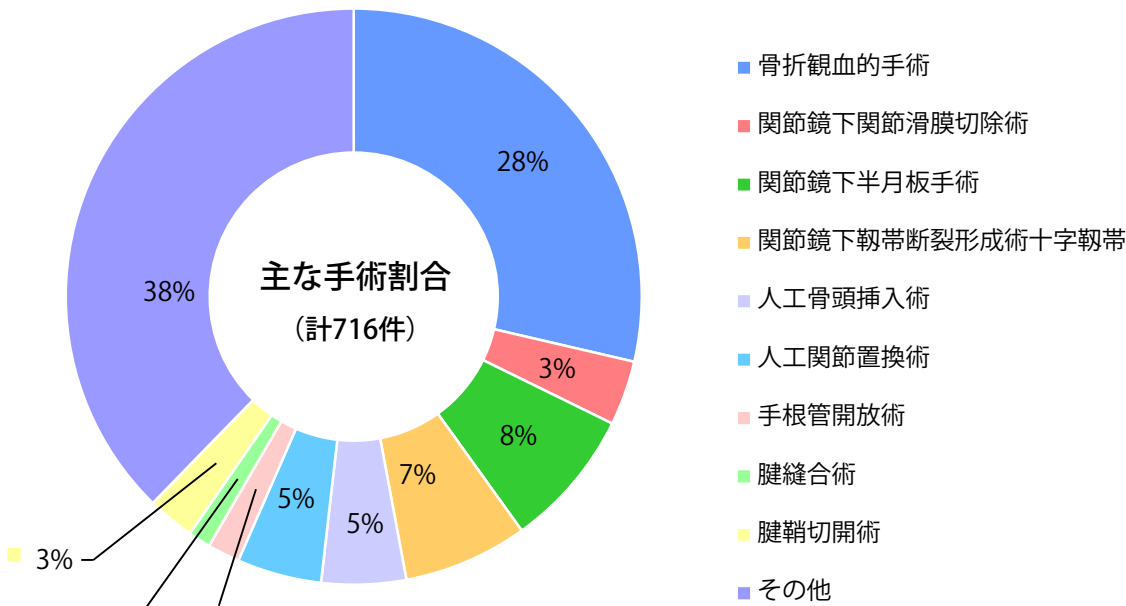
役職	氏名	専門分野	学会認定
副院長	松元 悟	一般整形外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本医師学会認定健康スポーツ医
整形外科部長	渡慶次 学	手外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本手外科学会認定手外科専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医
整形外科医長	久保田 徹也	関節外科(膝関節)	日本整形外科学会専門医
	白瀬 統星	一般整形外科	
	川越 得弘	手外科、外傷	日本整形外科学会専門医
<専門外来>膝関節スポーツ外来	新垣 和伸		
<専門外来>股関節外来	新垣 薫		

検査・治療・手術件数

主な手術一覧

部位・行為	件数
骨折観血的手術	205
関節鏡下関節滑膜切除術	26
関節鏡下半月板手術	56
関節鏡下靱帯断裂形成術十字靱帯	50
人工骨頭挿入術	34

部位・行為	件数
人工関節置換術	34
手根管開放術	13
腱縫合術	9
腱鞘切開術	19
その他	270
総計	716



年度総括



整形外科部長
渡慶次 学

平成 26 年度は 4 月より脊椎脊髄外科指導医 (根間直人) 転勤により脊椎専門外来を閉鎖しましたが、新規入院患者数・手術件数ともに増加しました。手術内訳では脊椎外科・手外科および四肢軟部腫瘍が減少し関節外科・骨折その他外傷症例が増加しました。

平成 27 年度は膝前十字靱帯再建術・半月板縫合術等の関節鏡視下手術への取り組みを継続し、スポーツ障害患者へより満足いただける医療を目指していく予定です。今後も安全で健全な診療を継続していけるよう努力致します。

形成外科

形成外科は、平成 23 年 4 月から診療を開始し、5 年目を迎えました。当科の特徴は、県内に数少ない形成外科専門施設として、難治性皮膚潰瘍、巻き爪、眼瞼下垂症やわきがなどの美容的手術のみならず、手足の先天異常、漏斗胸（成人）、癌切除後の再建手術や重度顔面外傷などオールラウンドに、大学レベルで対応できるように心がけております。平成 26 年 4 月より、常勤として勤務を開始しました。そのため本年度は総手術件数が 309 件と、昨年度よりも飛躍的に増加させることができ、これまでで最多となっております。今後は院内の褥瘡管理、救急部門における顔面外傷の対応、レーザー設備の拡大など、常勤としてハートライフ病院の発展に寄与していきたいと考えておりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

医師プロフィール

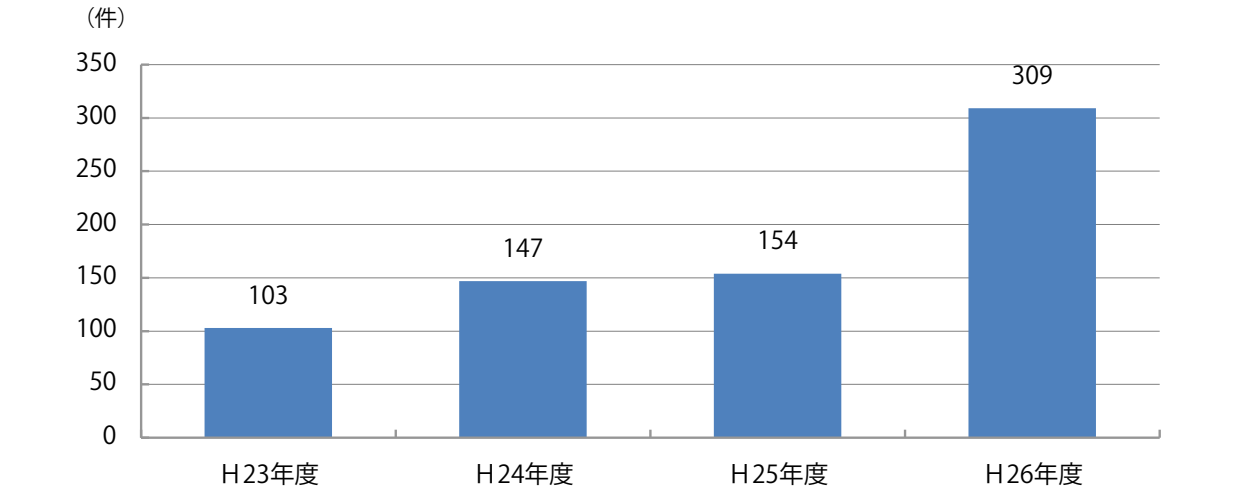
(平成 26 年 8 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
形成外科部長	東盛貴光	手足の外科、広範囲重症熱傷、マイクロサージャリー	日本形成外科学会専門医 日本熱傷学会専門医 日本レーザー医学会指導医 日本レーザー医学会専門医 日本創傷外科学会専門医 身体障害者福祉法指定医(肢体不自由)

検査・治療・手術件数

手術件数一覧

	デブリードマン	植皮術	局所皮弁術	腫瘍摘出術	筋皮弁・動脈皮弁術	遊離皮弁術	陥入爪手術	眼瞼下垂症・睫毛内反症手術	その他	計
H23 年度	18	8	4	43	7	2	21	0	0	103
H24 年度	6	0	5	101	5	2	27	0	1	146
H25 年度	13	0	1	104	1	0	32	3	0	154
H26 年度	15	10	16	148	11	5	58	24	22	309



今年度から常勤となったため、入院手術症例が加わり、件数が飛躍的に増加しました。来年度は琉球大学皮膚科学教室と提携し、皮膚外科手術の習得のため、皮膚科専門医が 1 名加わり、さらに形成外科専門医を目指して後期研修医が入職し 3 名体制になる予定です。それに伴い、たくさんの症例をそつなくこなせることや重度外傷やおおきな再建手術などもマンパワーを活かして対応することが可能になります。これからも皆様のご期待に沿えるよう、質の高い医療を提供していきたいと思ひます。

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当科におけるイリザロフミニ創外固定器を使用した 22 例 31 指の治療経験	第 57 回日本形成外科学会総会・学術集会	長崎	2014 年 4 月	東盛貴光
当科における母指内転拘縮及び第 1 指間癒痕拘縮に対する治療法の検討	第 57 回日本手外科学会総会・学術集会	沖縄	2014 月 4 月	東盛貴光
当施設で末梢用アミノ酸製剤の血管外漏出を来たし外科的治療を要した 2 例	第 96 回九州・沖縄形成外科学会学術集会	熊本	2014 月 11 月	東盛貴光

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
手指腱損傷治療に必要な解剖と損傷の同定	形成外科	57:p715-723,2014	東盛貴光

その他実績

- 日本形成外科学会専門医研修 教育関連施設（施設番号 15-3030-009）
- 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定 エキスパンダー実地施設（二次再建）（実地施設認定番号 EY439 号）
- 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定 インプラント実地施設（一次二期再建・二次再建）（実地施設認定番号 IY439 号）
- 日本褥瘡学会九州・沖縄地方会 世話人
- 沖縄形成外科研究会 理事

次年度目標

- 手術件数大幅増
- レーザー設備充実
- リンパ浮腫治療の充実（手術件数、診断機器などの設備充実）
- 学会発表（各自 2 回 / 年以上）
- 論文執筆（各自 1 編 / 年以上）

年度総括



形成外科
東盛 貴光

本年度は 5 月から常勤になったことにより、入院患者の受け入れを開始したことで、手術件数が大幅に増加しました。また、初期研修医の実習の受け入れを開始し、本年度は 11 月に院内から 1 名、1 月に他院から 1 名が研修されました。さらに、次年度からは琉球大学皮膚科学教室からの申し出により、皮膚外科研修を行う皮膚科専門医が、当院生え抜きの研修医が形成外科の後期研修医としてそれぞれ常勤に加わることになり、これまでにない充実した診療体制が構築できます。これもひとえに理事長や院長を筆頭に、院内スタッフの皆様のおかげであると思ひます。これに満足することはありません。来年度もますます手術件数を含めた診療報酬、研究業績を上げていきたいと思ひますので、今後とも、御指導の程、よろしくお願いいたします。

脳神経外科

脳神経外科は末吉 健次、上笹 航の二人の脳神経外科専門医で担当しています。

脳卒中（くも膜下出血、脳出血、脳梗塞）を中心に診療し、脳動脈瘤治療に関しましては患者さんの状態に応じて開頭手術、脳血管内手術を選択しております。

一般的に治療可能な認知症として知られている慢性硬膜下出血、正常圧水頭症の手術も行っております。

医師プロフィール

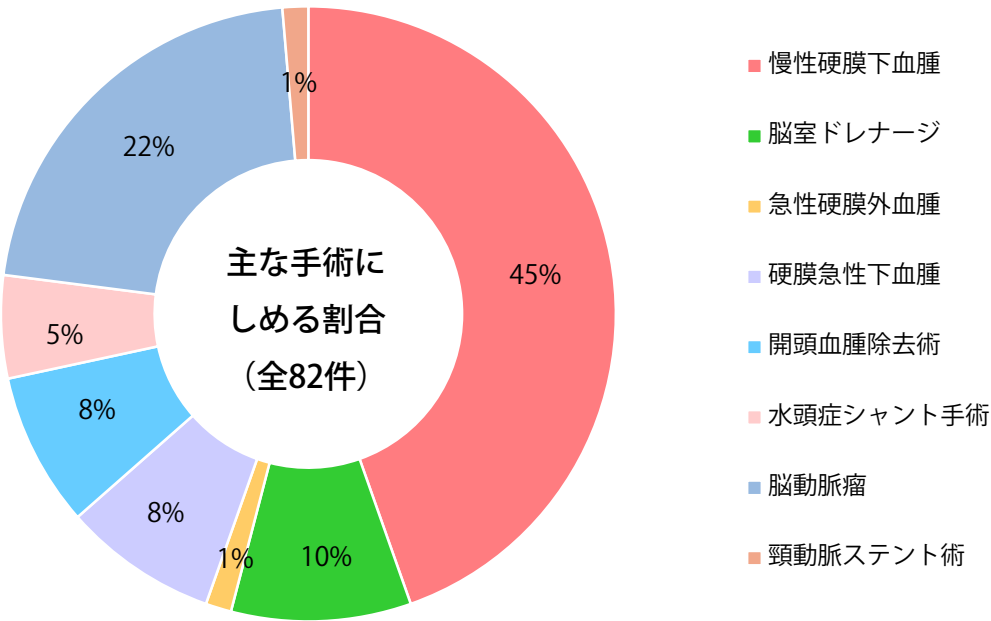
(平成 26 年 8 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
脳神経外科部長	末吉健次	開頭クリッピング、脳神経外科一般	日本脳神経外科学会専門医
脳神経外科医長 3 階病棟医長	上笹 航	脳血管内治療、脳神経外科一般	日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医

検査・治療・手術件数

	件数
慢性硬膜下血腫	33
脳室ドレナージ	7
急性硬膜外血腫	1
硬膜急性下血腫	6
開頭血腫除去術	6
水頭症シャント手術	4

	件数
脳動脈瘤	16
1. 開頭クリッピング	2
2. 血管内手術	14
頸動脈ステント術	1
その他	8
総計	82



年度総括



脳神経外科部長
末吉 健次

未破裂脳動脈瘤治療の件数は増加しました。これは他院との連携が順調で血管内手術がスムーズに行えるようになったためです。

今後は、認知症を扱う病院とも連携して、少しでも手術で改善する認知症の方を社会復帰できるように努力していきます。

眼科

当科の特徴は、前眼部（角膜・結膜）疾患に力を入れて診療を行っていることで、外来では一般的な眼科診療はもとより、アトピー性角結膜炎や春季カタルといった重症アレルギー性疾患や、細菌・真菌性角膜炎などの前眼部感染症の症例経験も豊富です。また円錐角膜や角膜移植後に用いる特殊なハードコンタクトレンズ処方も行っています（注：通常のコンタクトレンズは取り扱っておりません）。

その他、糖尿病性網膜症などの網膜疾患や、緑内障に対する各種レーザー治療も行っています。緑内障や網膜疾患に関しては、必要に応じて琉大附属病院の専門外来と連携しており、患者さんにとって最適な医療を提供できるよう工夫しています。

手術は、白内障手術や翼状片手術をはじめ、年間約 30 件の角膜移植手術を行っており、表層角膜移植や角膜内皮移植といった角膜部分移植（パーツ移植）は、県内では当科のみが行っています。当科での手術は白内障や翼状片手術も含め、基本的に入院手術となりますが、それにより病院スタッフによるしっかりとした周術期の管理を行うことが可能です。近隣の眼科クリニックからも多数の患者さんをご紹介いただいております、皆様に安心して手術を受けていただけるものと思っています。

医師プロフィール

（平成 26 年 8 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
眼科部長	照屋明子	一般眼科・角結膜疾患・角膜移植	日本眼科学会専門医
眼科医長	親川 格	一般眼科・角結膜疾患・角膜移植	日本眼科学会専門医 AMO Advanced Femtosecond Laser iEK certification

年度総括



眼科部長
照屋 明子

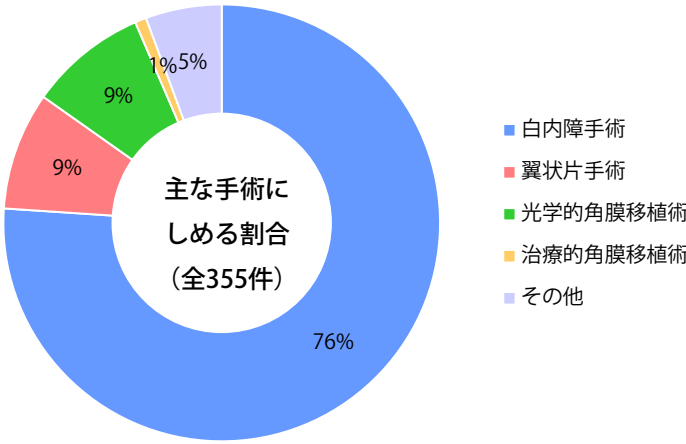
平成 25 年度より、角膜内皮移植術を導入することができ、より専門性を活かした眼科診療が可能になっています。

これからも患者さん一人一人に最も適した、質の高い医療を提供できるよう、スタッフ一同精進していきたいと考えています。

検査・治療・手術件数

手術件数一覧

部位・行為	件数
白内障手術	270
翼状片手術	31
光学的角膜移植術	31
治療的角膜移植術	3
その他	20
合計	355



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
アルゴンレーザー虹彩切開術後水泡性角膜症に対する DMEK triple 治療の検討	角膜カンファランス 2015	高知県	2015 年 2 月 12 日	親川 格

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科は文字どおり、耳や鼻、咽頭、咽喉の手術、頸部腫瘍などを扱っている診療科ですが、その範囲は広く、のどの先の気管や食道の病気や機能異常も取り扱います。

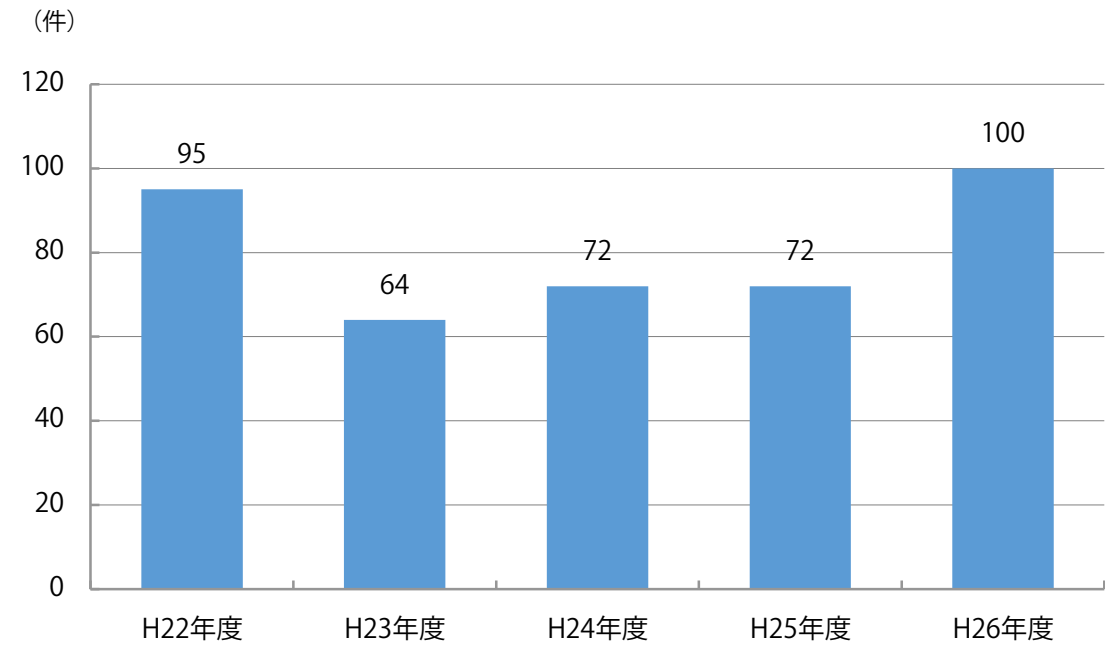
医師プロフィール

(平成 26 年 8 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
	近藤 俊輔		日本耳鼻咽喉科学会専門医
<専門外来> 頭頸部腫瘍外来	古謝 静男 (非常勤)		

検査・治療・手術件数

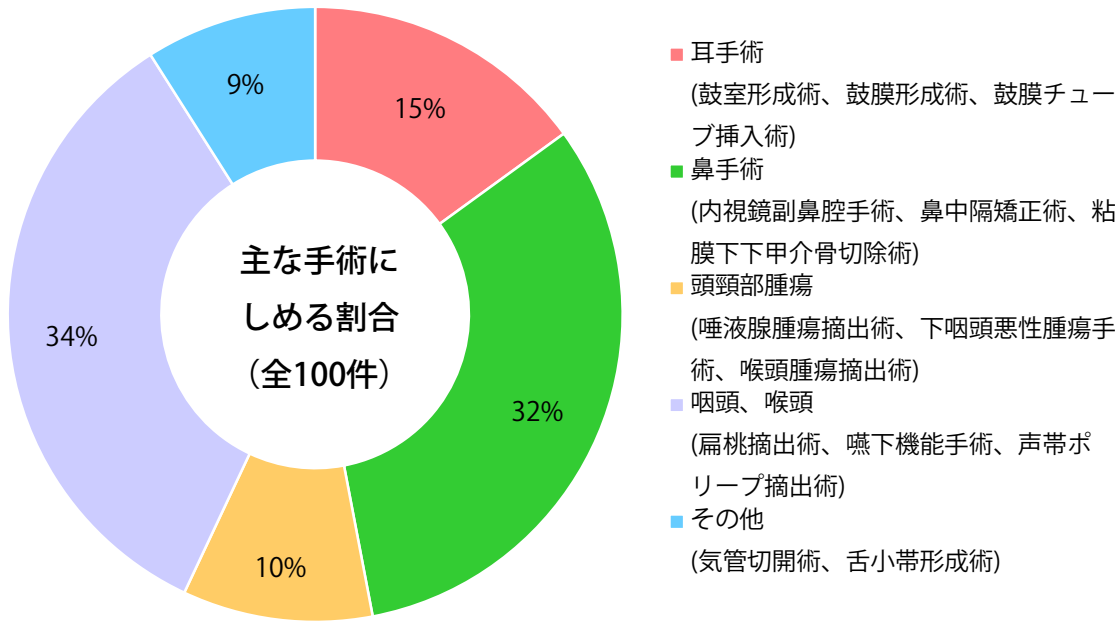
手術件数推移



手術件数一覧

名称	件数
耳手術 (鼓室形成術、鼓膜形成術、鼓膜チューブ挿入術)	15
鼻手術 (内視鏡副鼻腔手術、鼻中隔矯正術、粘膜下下甲介骨切除術)	32
頭頸部腫瘍 (唾液腺腫瘍摘出術、下咽頭悪性腫瘍手術、喉頭腫瘍摘出術)	10
咽頭、喉頭 (扁桃摘出術、嚥下機能手術、声帯ポリープ摘出術)	34

名称	件数
その他 (気管切開術、舌小帯形成術)	9
総計	100



年度総括



耳鼻咽喉科
近藤 俊介

平成 26 年度より皆様の診療にあたらせていただいております。

平成 26 年度の手術では 25 年度 (102 件) より大幅に手術件数が増加し、27 年度はさらに増加していくものと考えられます。現在、手術は主に開業医、大学病院医師との連携で行っております。地域医療支援病院として、今後も他院・他科の先生方との病診連携の維持に努め、より患者さんの立場に立った診療が行えるように努力したいと考えております。平成 27 年 4 月より新任の平塚に引き継ぎ、大学病院から医師を招聘し更に外来体制を充実させていく予定です。

今後とも皆様のお力添えをどうぞ宜しくお願い致します。

泌尿器科

当科は、平成 8 年度から琉球大学泌尿器科からの常勤医 1 人体制でスタートし、平成 20 年 4 月からは常勤医 2 人体制になりました。しかしながら大学の医局員不足の影響から平成 26 年 4 月からは 1 人体制で診療を継続しています。当科の特徴としてとしては北中城村、宜野湾市、中城村、西原町、与那原町、南城市、那覇市の一部、浦添市の一部をカバーしています。この広い地域で泌尿器科は琉大以外、当院と与那原中央病院のみとなっています。病診連携の浸透でクリニックや施設からの紹介の増加とともに、患者さんが年を追うごとに増加しています。PSA 検査が普及し前立腺生検は 31 例施行し 21 例前立腺癌の診断でした。前立腺全摘術は琉大へ紹介しています。外来でのホルモン療法の患者さんは 97 人に達しています。手術では、尿管ステント、経尿道的手術、腹腔鏡下腎摘術等施行しています。尿路結石治療では、1 人体制で ESWL が稼働できない状況にあり他院紹介しております。琉大泌尿器科からは月、金、土午前の外来と月曜日の手術の応援を頂きました。一方では、透析業務も兼務しており外来透析患者さん 120 人のうち 50 人ほどを当科で担当し、透析スタッフと協力しながら維持管理に対応しています。シャントオペは年間 23 件施行しております。

医師プロフィール

(平成 26 年 8 月現在)

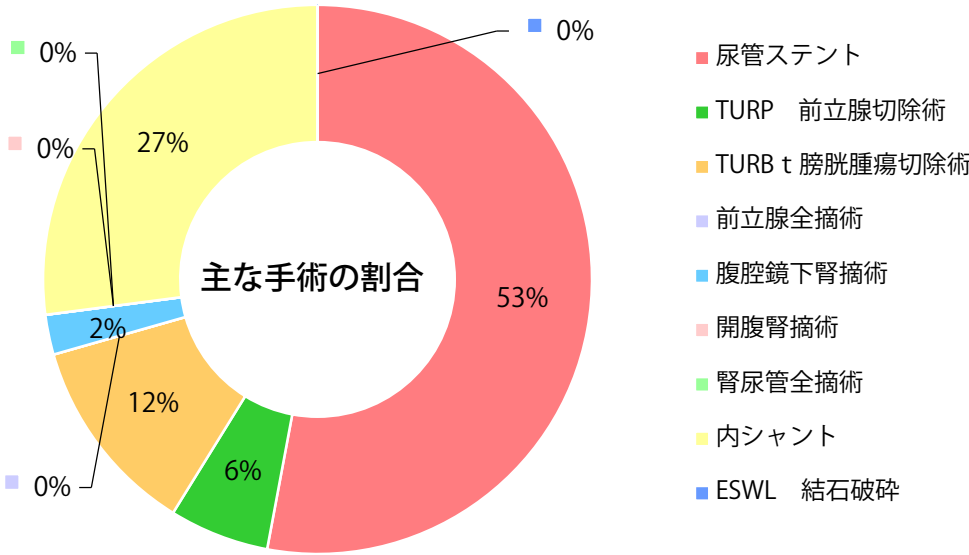
役職	氏名	専門分野	学会認定
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川 春生	一般泌尿器	日本透析医学会専門医 日本泌尿器科学会指導医
	大城 吉則 (非常勤)		
	斎藤 誠一 (非常勤)		
	宮里 実 (非常勤)		
	大城 琢磨 (非常勤)		

検査・治療・手術件数

術式別一覧（KCODE ベース）

K-CODE	術式	件数
K6072	血管結紮術 2.その他のもの	1
K6082	動脈血栓除去術 2.その他のもの（観血	1
K610-3	内シャント設置術	23
K773	腎（尿管）悪性腫瘍手術（1 歳以上）	2
K773-2	腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	2
K775	経皮的腎（腎盂）瘻造設術	3
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	46

K-CODE	術式	件数
K783-3	経尿道的尿管ステント抜去術	2
K8036	膀胱悪性腫瘍手術 6. 経尿道的手術	10
K805	膀胱瘻造設術	1
K8232	尿失禁手術 2.その他のもの	3
K830	精巣摘出術	2
K834-2	腹腔鏡下内精巣静脈結紮術	10
K841	経尿道的前立腺手術	5
	総計	111



年度総括



泌尿器科部長
嘉川 春生

平成 26 年度は外来患者さんが増加し、なかでも紹介の患者さんが増加傾向にあります。それに伴い待ち時間対策が必要になっています。平成 24 年 12 月から外来に軟性膀胱鏡が導入され痛みの少ない膀胱鏡検査が可能となり、検査数は年間 100 例以上となっております。入院に関しては、手術件数は減少しています。前立腺全摘術等は琉大に紹介しています。尿路結石治療では、1 人体制で ESWL が稼働できない状況にあり今年度は新規 0 人でした。

次年度目標

1. 琉大との強力な連携
2. 待ち時間対策
3. 検査日の拡充
4. ESWL の再開

産婦人科

常勤医師 3 名（10 月より 2 名）、後期研修医 2 名、助産師 15 名、看護師 8 名の体制でした。産科領域では 35 週以降の分娩、無痛分娩、婦人科領域では良性、悪性腫瘍の手術／化学療法や緩和医療、不妊内分泌ホルモン療法、更年期の薬物療法等、放射線及び体外受精以外の治療を幅広く行なっています。

医師プロフィール

(平成 26 年 8 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
産科部長	大西 勉	産婦人科全般	日本産婦人科学会専門医 母体保護法指定医 日本産科婦人科学会暫定指導医
婦人科部長	武田 理	産婦人科全般、婦人科腫瘍、腹腔鏡下手術	日本産科婦人科学会暫定指導医 日本産婦人科学会専門医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
産婦人科医長 西 2 階病棟医長	井手上 隆史	産婦人科、不妊症、無痛分娩、腹腔鏡下手術	日本産婦人科学会専門医
	山本 裕介	一般産婦人科・がん緩和医療・一般内科（特に老年内科）・アンチエイジング・麻酔全般	日本産科婦人科学会専攻医 日本内科学会認定内科医 日本老年医学会専門医 日本抗加齢医学会専門医 日本人間ドック学会認定医 日本医師会認定産業医 ※麻酔科標榜医
	喜久本 藍	一般産婦人科	日本産科婦人科学会専攻医

検査・治療・手術件数

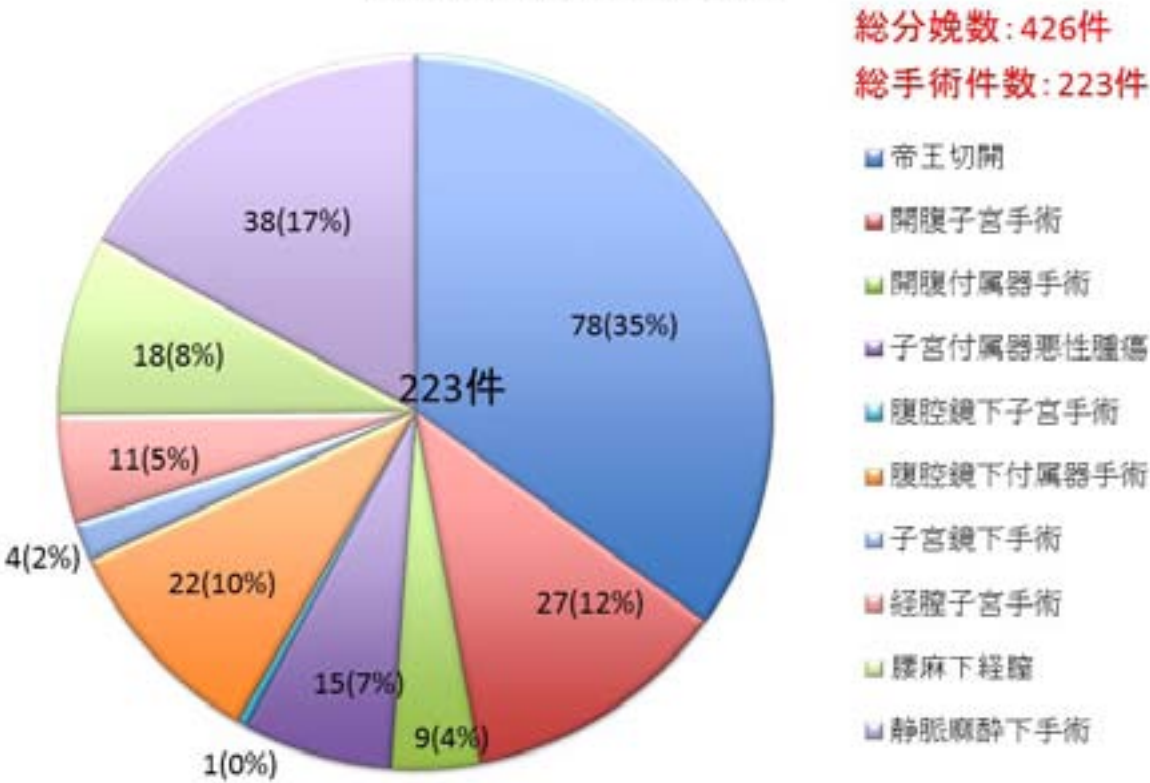
総分娩件数	426 件		
■経膣分娩	350 件	■帝王切開	76 件
●無痛分娩	27 件		

術式別一覧（KCODE ベース）

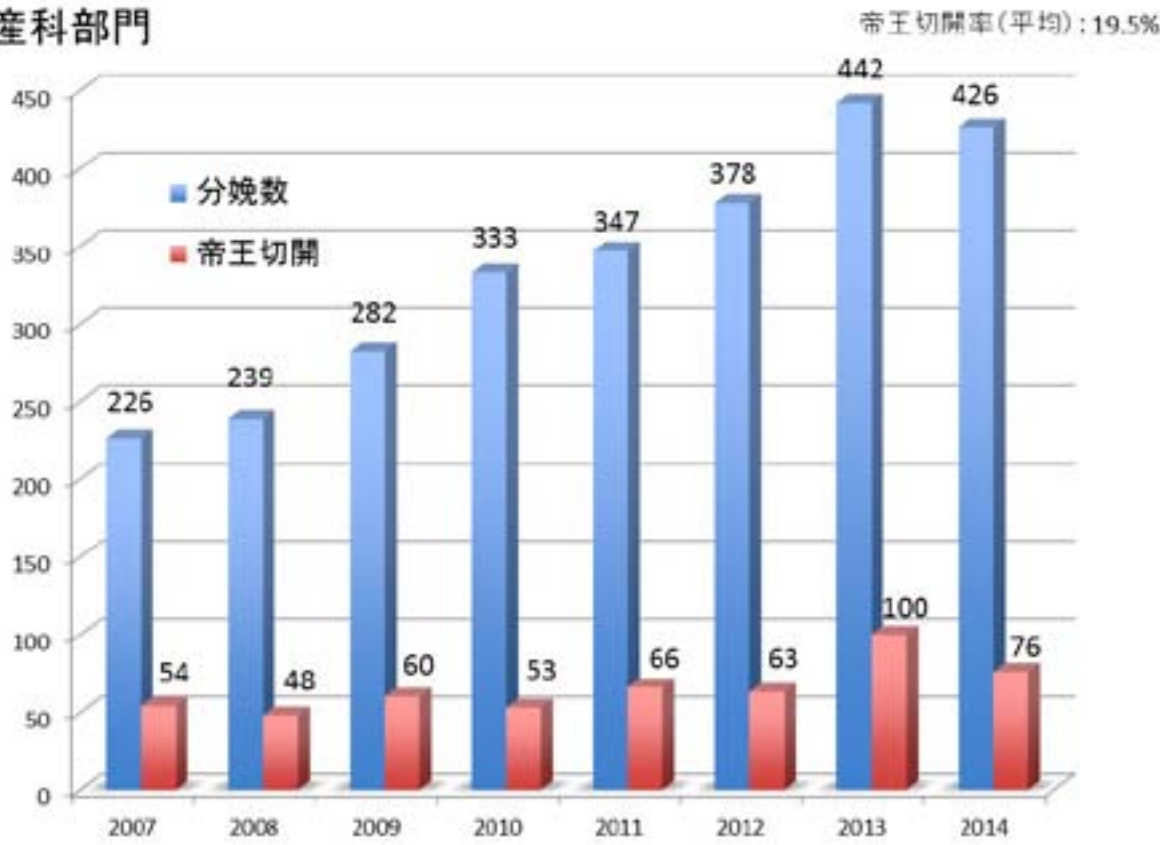
K-CODE	術式	件数
K	☆妊娠中絶 (0 ～ 11 週)	12
K	☆無痛分娩	30
K	☆卵管結紮術	3
K879	子宮悪性腫瘍手術	11
K9122	子宮外妊娠手術 2. 腹腔鏡によるもの	3
K873	子宮鏡下子宮筋腫摘出術	2
K872-3	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術	2
K8721	子宮筋腫摘出 (核出) 術 1. 腹式	5
K877	子宮全摘術	26
K8654	子宮脱手術 4. 膣壁形成手術及び子宮	11
K872-3	子宮内膜ポリープ切除術	5
K861	子宮内膜掻爬術	5
K909-2	子宮内容除去術 (不全流産)	4
K8881	子宮付属器腫瘍摘出術 (両側)1. 開腹	9
K889	子宮付属器悪性腫瘍手術 (両)	4
K8882	子宮付属器腫瘍摘出術 (両側)2 腹腔	19

K-CODE	術式	件数
K866	子宮頸管ポリープ切除術	1
K9061	子宮頸管縫縮術 1. マクドナルド法	2
K9062	子宮頸管縫縮術 2. シロッカー法	1
K867	子宮頸部 (腫部) 切除術	14
K0003	創傷処理 3: 臓器に達する 10cm 以上	1
K902	胎盤用手剥離術	1
K8983	帝王切開術 (前置胎盤合併)	1
K8981	帝王切開術 1. 緊急帝王切開	38
K8982	帝王切開術 2. 選択帝王切開	39
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	1
K911	胞状奇胎除去術	2
K9091	流産手術 1. 妊娠 11 週までの場合	12
K856-2	腔壁囊腫切除術	1
総計		265

H26年度産婦人科統計



産科部門



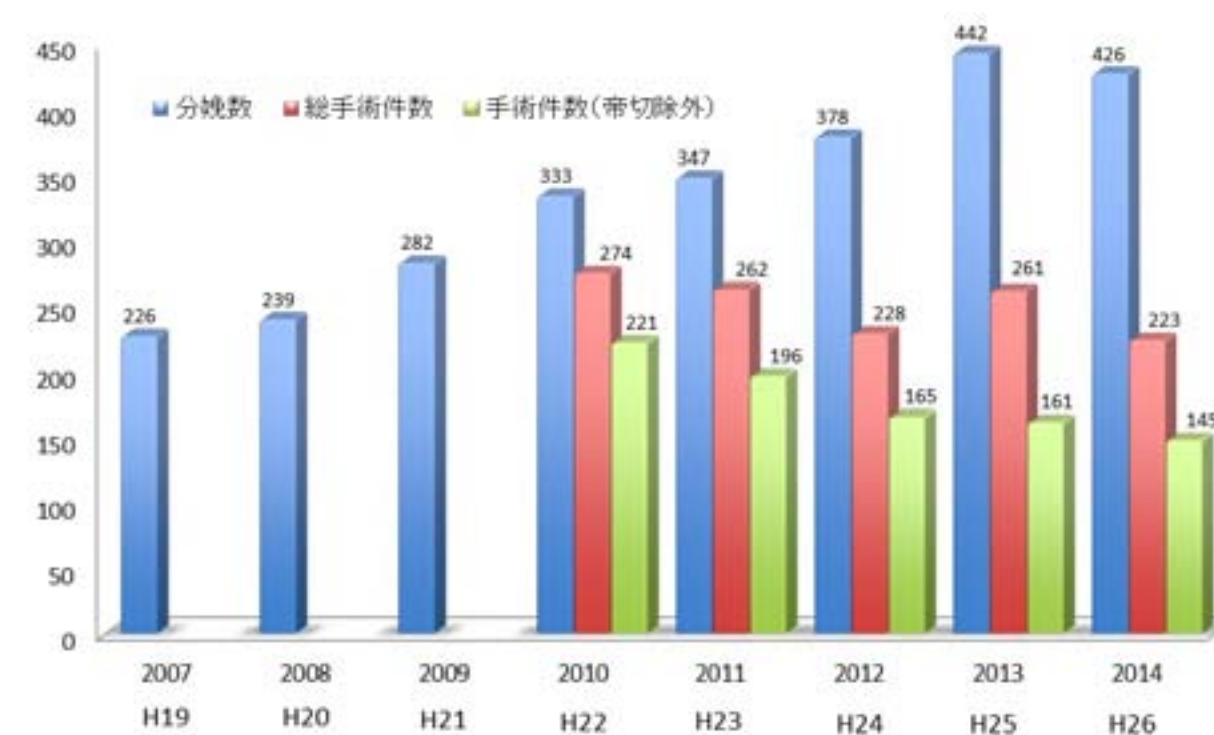
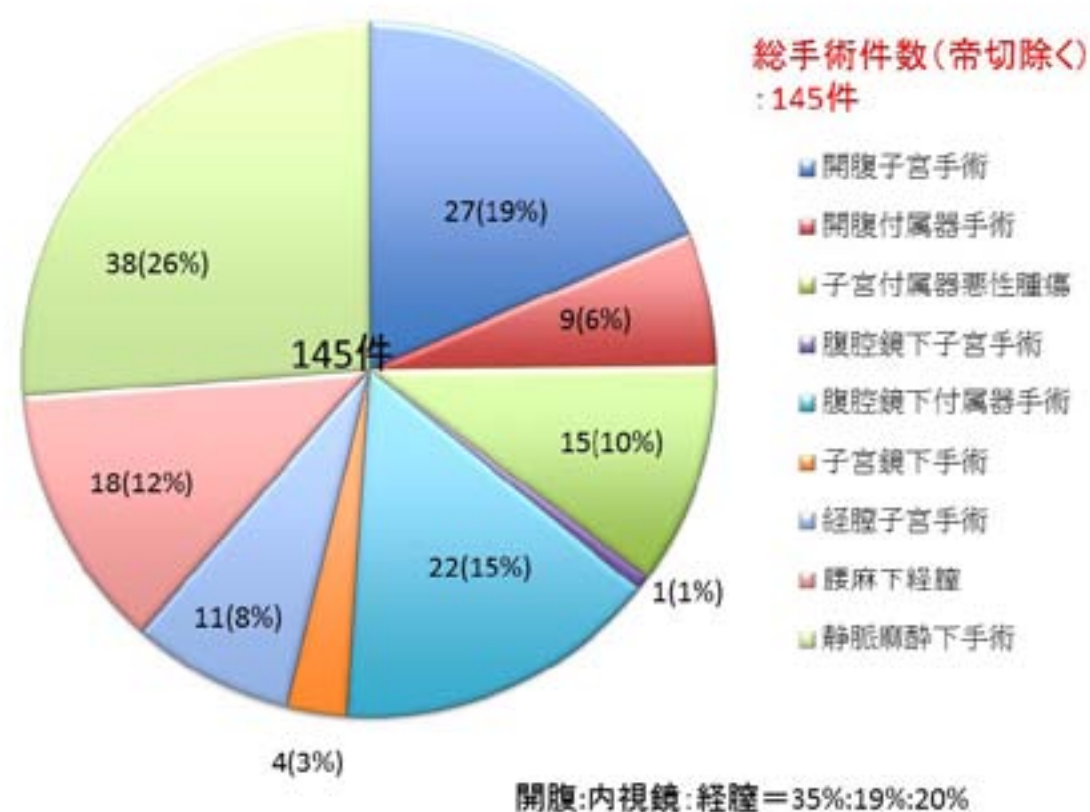
産科部門



婦人科部門



婦人科部門



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当科における胎盤ポリープ症例の治療経験	第 66 回日本産科婦人科学会	東京都	2014 年 4 月 20 日	武田理、山本裕介、喜久本藍、井手上隆史、大西勉
子宮腺筋症から発生したと考えられた子宮体癌の 1 例	第 56 回日本婦人科腫瘍学会	栃木県	2014 年 7 月 17 日～19 日	武田 理、山本祐介、喜久本藍、井手上隆史、大西勉、喜友名正也、戸田隆義
当院における無痛分娩の現況	第 39 回沖縄産科婦人科学会	沖縄県	2014 年 9 月 7 日	山本裕介、武田 理、喜久本藍、井手上隆史、大西 勉
分娩後に悪性転化再発した卵巣粘液性境界悪性腫瘍の一例	第 54 回日本産科婦人科内視鏡学会		2014 年 9 月 11 日～13 日	井手上隆史、喜久本 藍、武田 理、大西 勉、喜友名正也、戸田隆義
卵巣腫瘍	院内講演会	当院	2014 年 10 月 28 日	武田 理
子宮腺筋症より発生したと考えられた子宮体癌の 1 例	第 19 回日本外科病理学会	沖縄県	2014 年 11 月 14 日～15 日	武田 理、山本裕介、喜久本藍、大西 勉、喜友名正也、戸田隆義
GIST との鑑別を要した腸管子宮内膜症の 1 例	第 36 回日本エンドメトリオーシス学会	東京都	2015 年 1 月 24 日～25 日	武田 理、山本裕介、喜久本藍、大西 勉、阿嘉裕之、喜友名正也、戸田隆義
腸閉塞を繰り返した異所性子宮内膜症の 1 例	第 40 回沖縄産科婦人科学会	沖縄県	2015 年 3 月 14 日	喜久本 藍、武田 理、山本裕介、大西 勉、国吉史雄、喜友名正也、戸田隆義

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
当科における無痛分娩の現況	沖縄産科婦人科学会雑誌	第 37 巻 p45-50、平成 27 年 3 月	山本裕介、武田 理、喜久本藍、井手上隆史、大西 勉
卵管妊娠術後に判明した卵管境界悪性腫瘍の 1 例	沖縄産科婦人科学会雑誌	第 37 巻 p129-132、平成 27 年 3 月	武田 理、山本裕介、喜久本藍、大西 勉、戸田隆義、喜友名正也

年度総括



婦人科部長
武田 理

分娩数は平成 25 年度よりやや減少も 400 件を越えており、現状スタッフ数から考えて十分健闘していると思われますが医師、病棟スタッフの増員が急務と思われます。一方婦人科手術は年々漸減傾向にあり、分娩数が今後順調に増加する見通しもない状況を見ると内視鏡手術や経膈手術を増やし、更年期女性への治療等婦人科患者数全体の増加を図ることが重要です。そのため院外への広報活動も大切ですが院内でも職員の皆様が当科での分娩や治療、手術を検討頂き、広報活動の一旦を担っていただけますと幸甚です。宜しくお願いします。

皮膚科

皮膚科は、毎週火曜日と木曜日の午後の外来診療を行っています。
診療は琉球大学医学部附属病院の皮膚科医師が非常勤で対応しております。

診療実績



放射線科

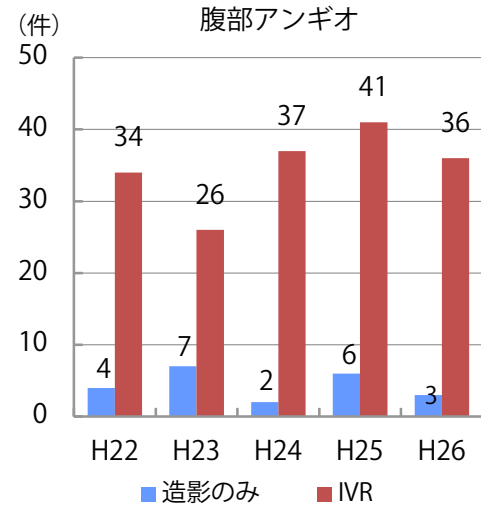
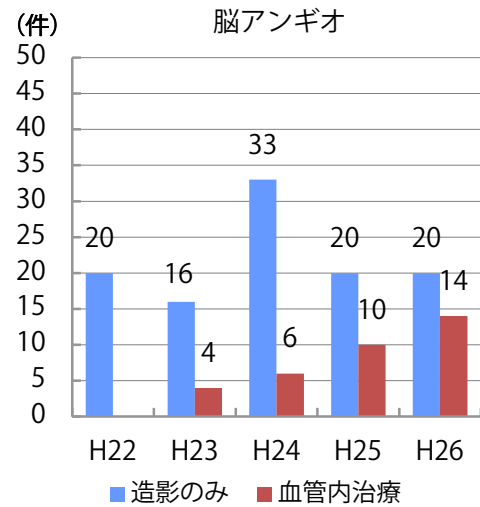
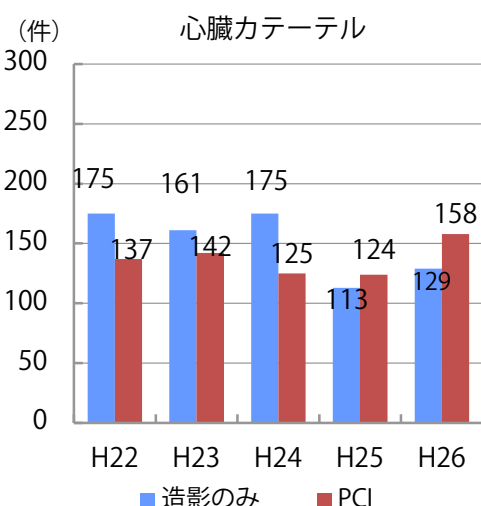
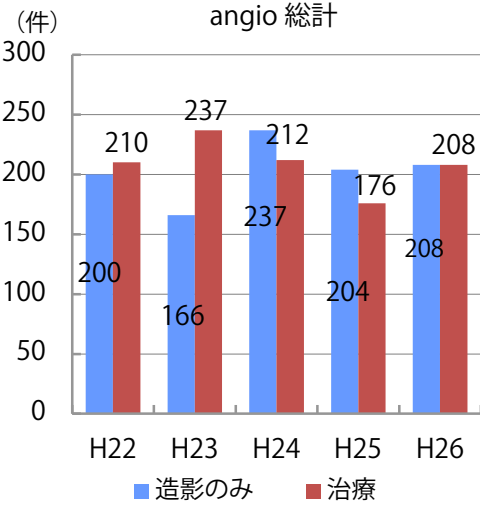
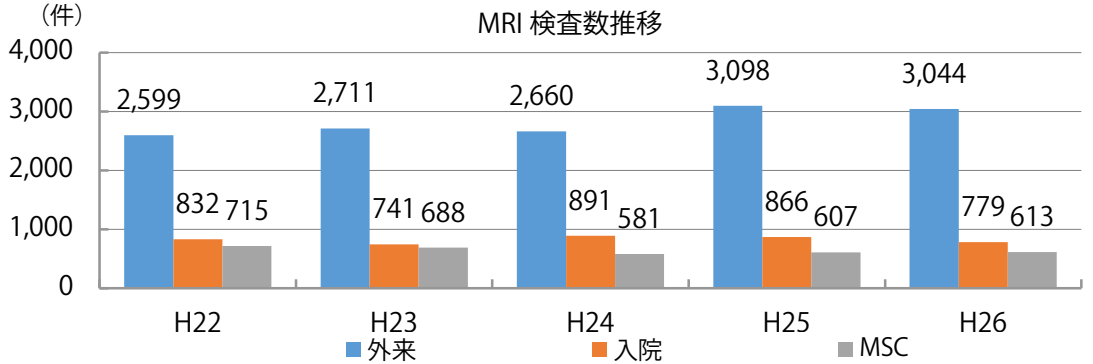
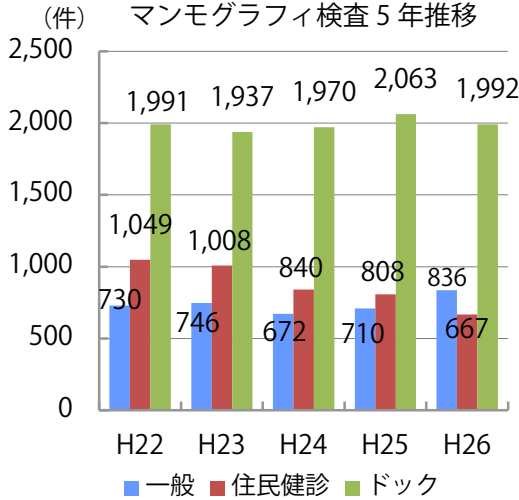
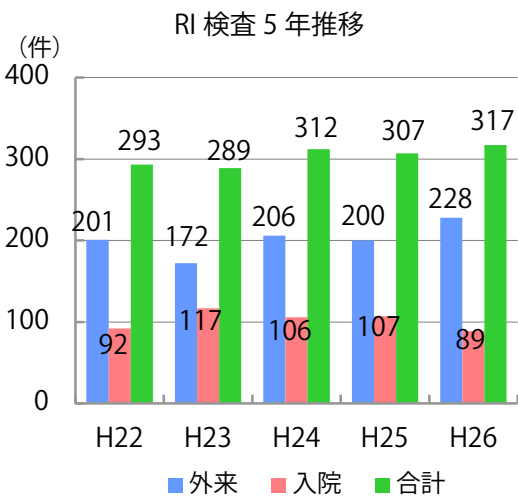
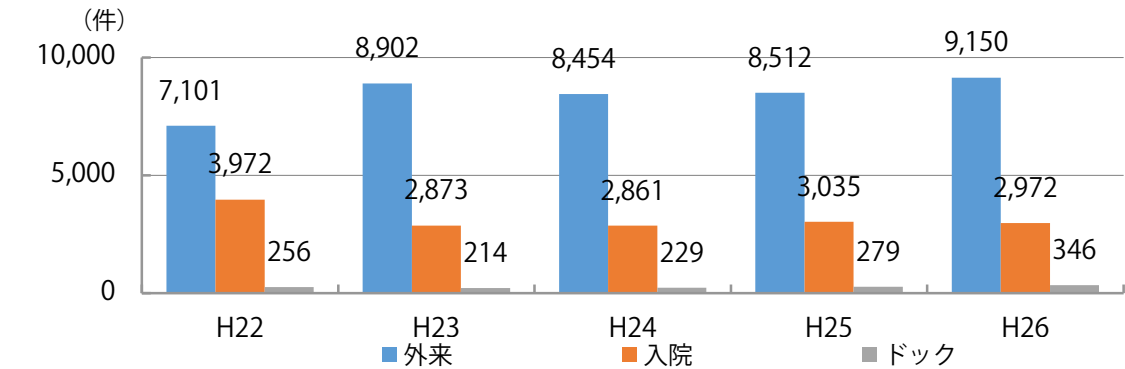
放射線科の診療は CT、MRI、RI(ラジオアイソトープ)、マンモグラフィー、IVR(血管内治療)の適用判断、検査内容の指示、診断、読影が主な業務内容になっております。画像のみを扱う画像診断と画像支援で治療を行う IVR に大きく分かれます。IVR には肝動脈化学塞栓療法などの待機的治療から、出血に対する血管塞栓術など緊急を要する治療も行っています。さらに他科とのカンファレンスや研修医教育なども重要な業務です。

医師プロフィール

(平成 26 年 8 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
放射線科部長	高良 誠	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医
	末田 美和	一般放射線	日本医学放射線学会専門医

各種検査・治療件数と推移一覧



年度総括



放射線科副部長
高良 誠

平成 26 年度は常勤二名体制で、ダブルチェック体制、カンファレンス、研修医教育等、放射線科業務に対応しています。

平成 26 年度の CT は増加傾向、RI、MRI、MMG、IVR の検査件数はほぼ横ばいで推移しており、翌診療日までの読影加算 2 の規定は十分クリアできています。

平成 26 年度に新たに導入された MRI は多くの領域で画質が向上し診断能が上昇しています。今後は心臓 MRI の画質向上や神経領域の新しい撮影方法に取り組んでいきます。平成 27 年度からはデジタルマンモグラフィーが新しくなり、十分に活用していきたいと思っています。

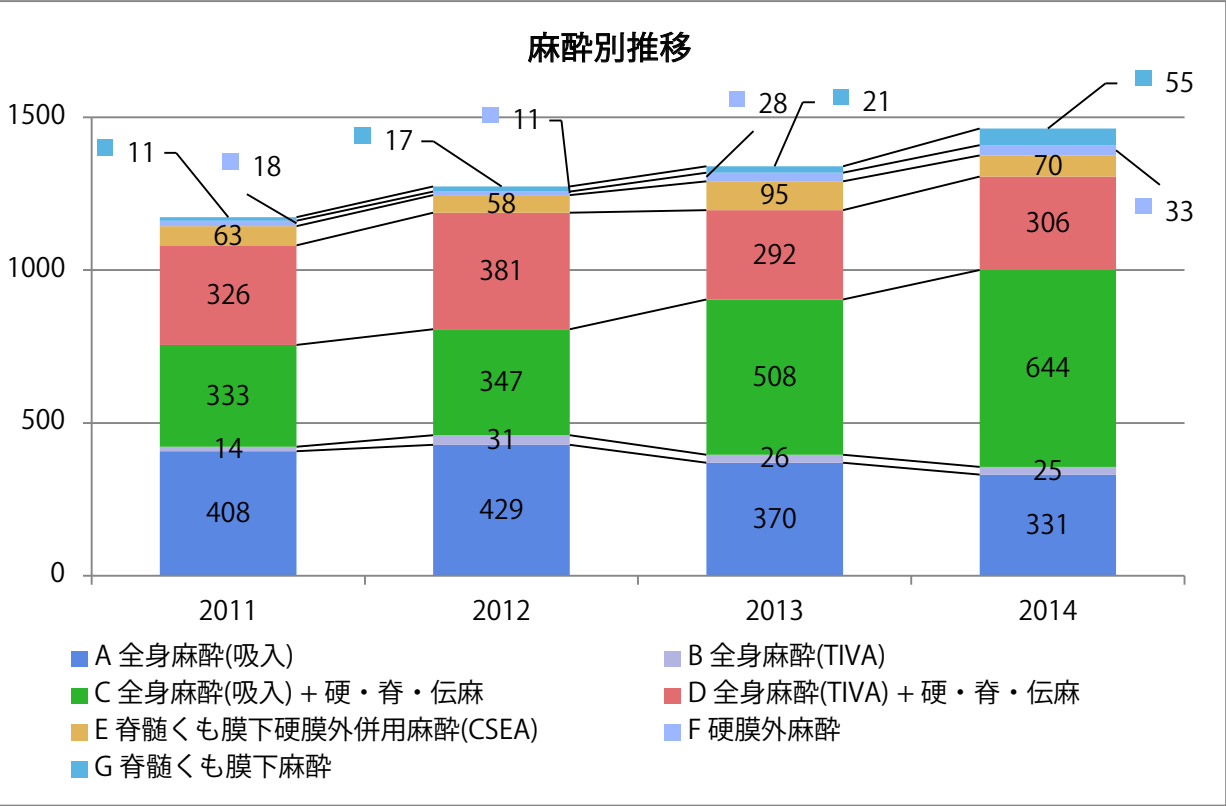
麻酔科

医師プロフィール

(平成 26 年 8 月現在)

麻酔科			
副院長 麻酔科部長	久場 良也	集中治療・麻酔	日本麻酔科学会指導医 日本集中治療医学会専門医 日本ペインクリニック学会認定医
麻酔科医長	釜野 武志	一般麻酔	日本麻酔科学会専門医
後期研修医	嘉手苺 由梨	一般麻酔	

検査・治療・手術件数



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
PMX-DHP が有効であった炭酸ランタン(リン吸着剤)による大腸穿孔の一例	第 24 回日本集中治療医学会九州地方会	福岡県	2014 年 7 月 5 日	久場良也、釜野武志、奥間陽子、嘉手苺由梨、国吉史雄
成人腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術の末梢神経ブロック法の違いによる術後鎮痛の比較検討	日本麻酔科学会九州麻酔学会第 52 回大会	福岡県	2014 年 9 月 6 日	釜野武志、嘉手苺由梨、奥間陽子、久場良也
成人 T 細胞白血病リンパ腫(ATLL) 臍帯血移植後に低髄圧症候群を発症しブラッドパッチが著効した 1 症例	日本麻酔科学会九州麻酔学会第 52 回大会	福岡県	2014 年 9 月 6 日	嘉手苺由梨、奥間陽子、釜野武志、久場良也
小児腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(LPEC)術後鎮痛に対する末梢神経ブロック法の検討	日本臨床麻酔学会第 34 回大会	東京都	2014 年 11 月 2 日	釜野武志、嘉手苺由梨、奥間陽子、久場良也

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
PMX-DHP と CHDF が有用であった非閉塞性腸管虚血による敗血症性ショックの一例	第 19 回エンドトキシン血症救命治療研究会	宮城県	2015 年 1 月 24 日	久場良也、釜野武志、奥間陽子、嘉手苺由梨
PMX-DHP と CHDF が有用であった非閉塞性腸管虚血による敗血症性ショックの一例	第 42 回日本集中治療医学会	東京都	2015 年 2 月 10 日	久場良也、釜野武志、奥間陽子、嘉手苺由梨

年度総括



麻酔科医長
釜野 武志

麻酔科は麻酔科部長の久場 良也、麻酔科医長の釜野 武志、後期研修医の嘉手苺 由梨の 3 人、“3K”の常勤医師を中心に、奥間 陽子 医師、久木田 一朗 琉大救急部教授、および多くの琉大麻酔科医局員を非常勤医師にむかえ日々の麻酔診療を行っております。主な業務は手術麻酔と集中治療室管理です。外科、整形外科、産婦人科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、形成外科など各外科系手術、及び内科経口内視鏡的手術の麻酔をまんべんなく行っております。特に、アカラシアに対する経口内視鏡的手術(POEM)や食道癌に対する胸腔鏡下手術など県内他施設ではほぼ目にする事のない手術の麻酔管理から、乳児の気管支鏡下異物摘出術の麻酔管理まで幅広い症例の麻酔に少人数で対応している状況です。集中治療室管理として、術後の呼吸管理、鎮痛管理や血液浄化の管理を中心に行っておりますが、必要時には他科の先生方の集中治療室での呼吸管理、循環管理、鎮痛管理、鎮静管理など様々な手伝いもしております。

平成 26 年度の麻酔管理件数は 1,468 件(前年比 8.2% 増)、全身麻酔管理件数 1,306 件(同 9.2% 増)でした。常勤医師(嘉手苺医師)が増えたことと、清掃や補充など手術室全般のセッティングを外注業者に委託したことによる手術室運用効率の増加がそのまま手術件数の増加につながり、麻酔管理件数の増加に反映されたと考えております。

研究業績に挙げたとおり、部長の久場を筆頭に全員が可能な限り各学会に参加・発表を行い、レベルの高い周術期管理を実践できるよう日々研鑽しております。少人数のため、学会出張時には手術制限を行い各科の先生方にはご迷惑をおかけしておりますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



血液浄化部

血液浄化部は、医師 2 人、夜間透析回診琉大非常勤医師、正看護師 19 人、臨床工学技士 11 人、助手 2 人、クラーク 1 人で診療にあたっています。

平成 26 年度 4 月に当科担当の泌尿器医師が 2 人から 1 人に減りましたが、6 月から新たに菅谷先生が加わり常勤医師 2 人体制で臨みました。現在、透析コンソールは 49 台全自動プライミング装置付きです。日機装社の Future Net は院内電子カルテともリンクし日常業務の効率化が進んでいます。

職員数

医師	2 名（非常勤は除く）	臨床工学技士	11 名（兼任を含む）
正看護師	19 名	助手	2 名
		クラーク	1 名

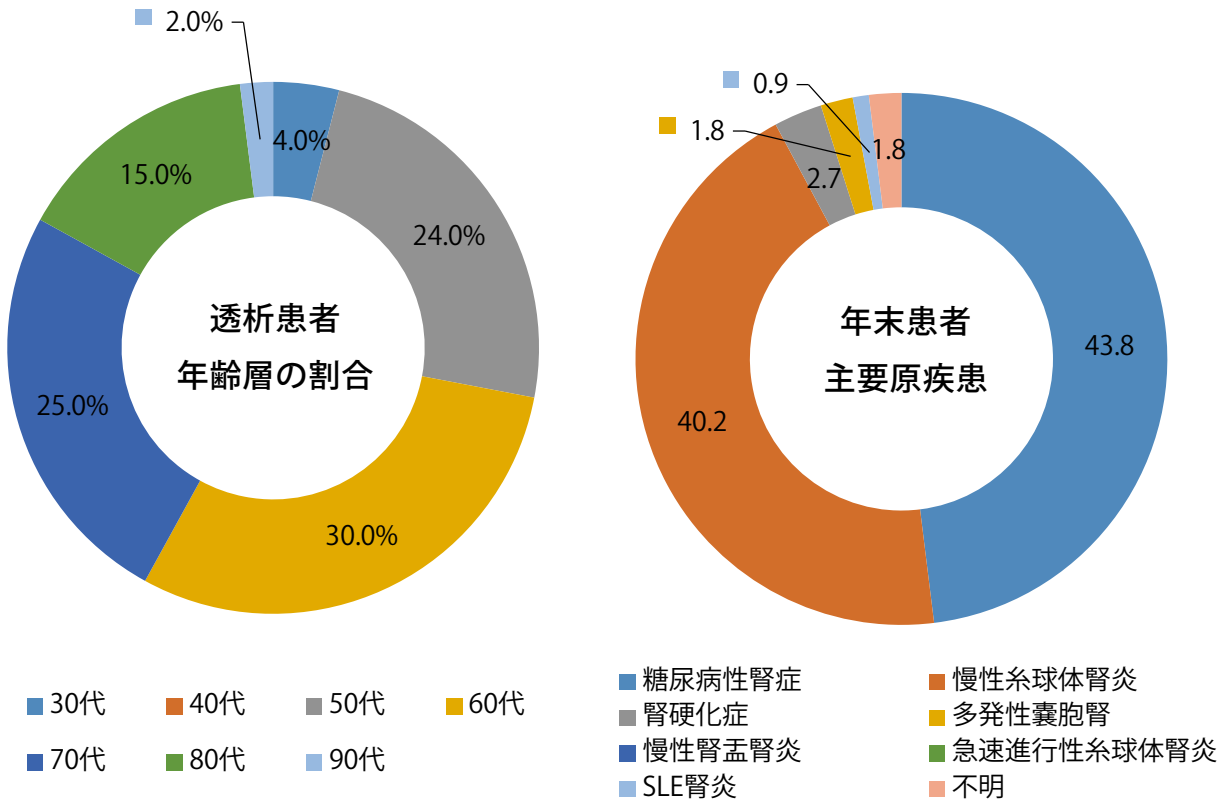
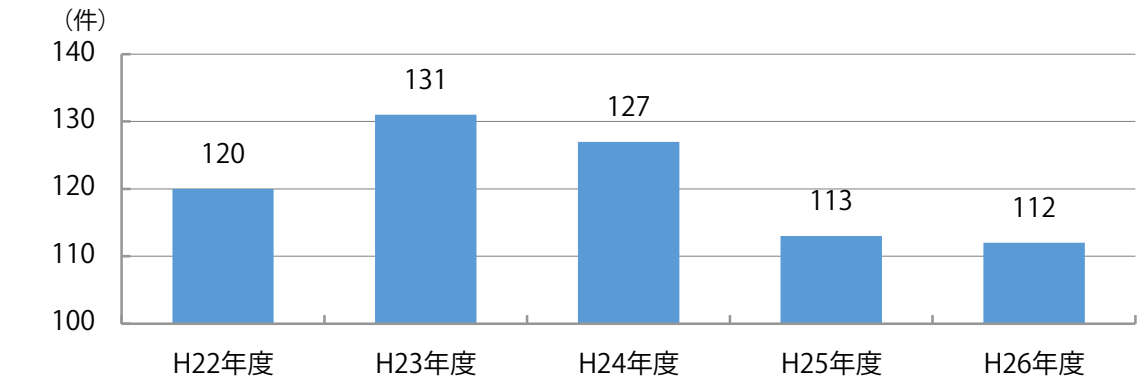
医師プロフィール

(平成 26 年 8 月現在)			
役職	氏名	専門分野	学会認定
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川 春生	一般泌尿器	日本透析医学会専門医 日本泌尿器科学会指導医
血液浄化部医長	菅谷 明子		日本産業衛生学会専門医 産業医科大学産業医学ディプロマ 日本医師会認定産業医 日本救急医学会救急科専門医 BDLS プロバイダー JPTEC インストラクター

認定・資格

氏 名	認 定 ・ 資 格 名	
竹本直美	透析療法専門合同委員会認定	透析技術認定士
宮城幸江	透析療法専門合同委員会認定	透析技術認定士
屋良淳子	透析療法専門合同委員会認定	透析技術認定士
新里恭子	透析療法専門合同委員会認定	透析技術認定士
米須真由美	透析療法専門合同委員会認定	透析技術認定士
清水史恵	透析療法指導看護師	
大城安	透析療法専門合同委員会認定	透析技術認定士
野原剛	透析療法専門合同委員会認定	透析技術認定士
弓濱義之	透析療法専門合同委員会認定	透析技術認定士
仲松晋也	透析療法専門合同委員会認定	透析技術認定士
内里司	透析療法専門合同委員会認定	透析技術認定士

透析関連統計



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
採血結果表の改善を試みて～自己管理意欲の向上を目指して～	第 59 回日本透析医学会学術集会・総会	兵庫県	2014 年 6 月 12 日～6 月 15 日	田下茜、銘里礼子
逆止弁付き抗凝固剤投与回路が血液浄化装置の抗凝固剤注入ポンプ流量に与える影響	第 59 回日本透析医学会学術集会・総会	兵庫県	2014 年 6 月 12 日～6 月 15 日	仲松晋也、宮城直史渡慶次一臣、豊川真理大城安
透析導入患者指導の取り組み～透析導入期パスを活用して～	第 47 回九州人工透析研究会総会	大分県	2014 年 11 月 30 日	新里恭子、米須真由美
日機装社製 D-FAS（Dialysis-Full-Assist-System）専用改良型ピロー付き血液回路の使用経験	第 47 回九州人工透析研究会総会	大分県	2014 年 11 月 30 日	大瀨明日香、内里司仲松晋也、大城安

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院の台風災害対策	第 47 回九州人工透析研究会総会	大分県	2014 年 11 月 30 日	大城安、野原剛
～台風 8 号沖縄本島接近時の対応～				宮城幸江、竹本直美
災害対策の取り組み～第 2 報、アクションカードでの訓練を通して～	第 3 3 回沖縄県人工透析研究会	沖縄県	2015 年 3 月 8 日	與那城直子、久場和子

年度総括



泌尿器科部長
嘉川 春生

透析の患者数は、平成 23 年の 133 人をピークに平成 26 年度は 112 人に低下しています。高齢者が多いため、死亡や長期入院のための転院等で減少となっています。担当医師数も少ないところですが、琉大第 3 内科からの応援をいただいで夜間透析の管理で助かっています。

次年度目標

- 1. 医師 3 人体制での透析管理体制の強化
- 2. 腎臓リハビリテーションの取り組み開始
- 3. 火、木、土時差透析の固定化
- 4. 患者さんの待ち時間対策

救急総合診療部

「ちゃんと助ける救急室」「地域に開かれた救急室」「専門診療科との高度な連携を取る救急室」「充実した研修のできる救急室」を目標に、少しずつではありますが、業務の改善を目指しています。

研究業績

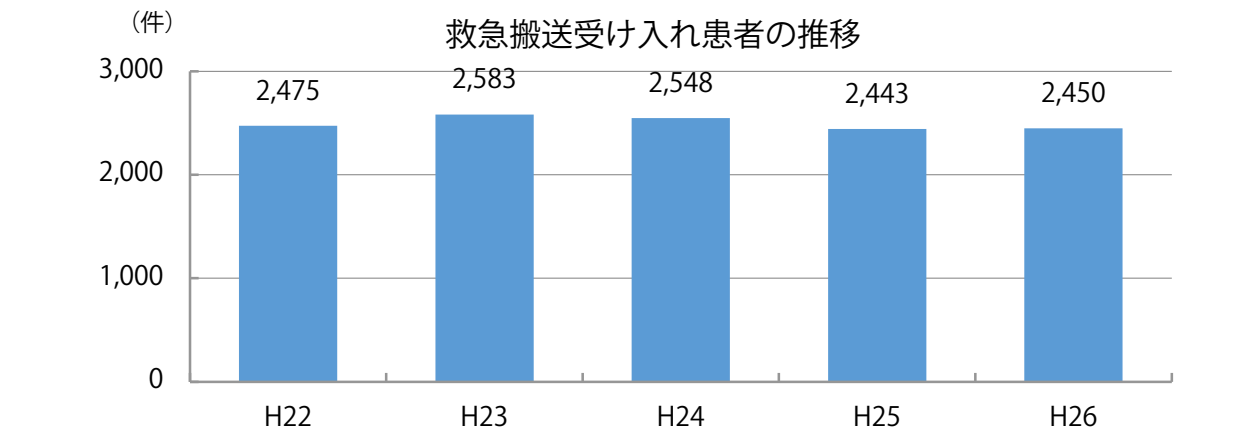
学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月	発表者
断乳後に心機能が改善した周産期心筋症の一例	第 1 1 6 回日本循環器病学会九州大会	福岡	2014.6.28	妹尾洋、三戸正人
MIBI washout rate の亢進を確認できたアンスラサイクリン系薬剤による心筋障害の疑われた一例	第 2 4 回日本核医学総会・学術集会	愛媛	2014.7.19	三戸正人、秋元芳典、与座一
ケトアシドーシス改善の時間的推移	第 4 2 回日本救急学会総会・学術集会	福岡	2014.10.29	西田翔、三戸正人、銘苅正
99m－TC－MIBC washout によるアンスラサイクリン系抗腫瘍材の新毒性評価	第 3 0 7 回日本内科学会九州地方回	大分	2014.11.23	上原千晶、三戸正人、宮城敬
左主観部病変による急性冠症候群の心電図変化と予後	第 1 1 7 回日本循環器病学会九州地方会	沖縄	2014.12.6	友寄龍太、三戸正人、潮平朝洋、秋元芳典、与座一
仮想透視画像をもちいた IVC filter 留置術の有効性	第 3 0 8 回日本内科学会九州地方会	福岡	2015.1.10	伊藤誠 三戸正人、秋元芳典、与座一
院内トリアージにおける事例の検証と今後の課題。	第 1 6 回日本救急看護学術集会	大阪	2014.10.10	平田千佳、又吉康夫、兼本愛美、内間幸人

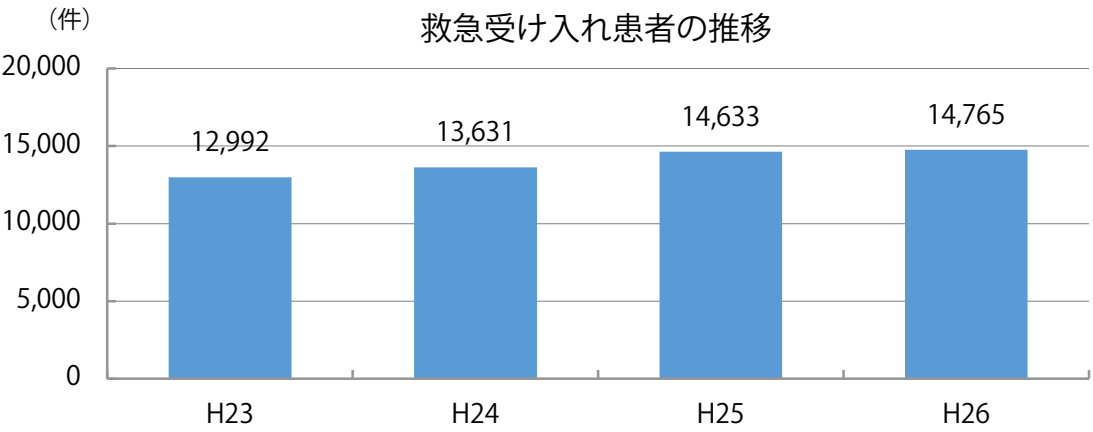
医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
救急総合診療部長	銘苅 正		日本医師会認定産業医
救急総合診療部副部長 循環器内科医長	三戸 正人	循環器救急、地域医療、スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医 日本循環器学会専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本医師学会認定健康スポーツ医

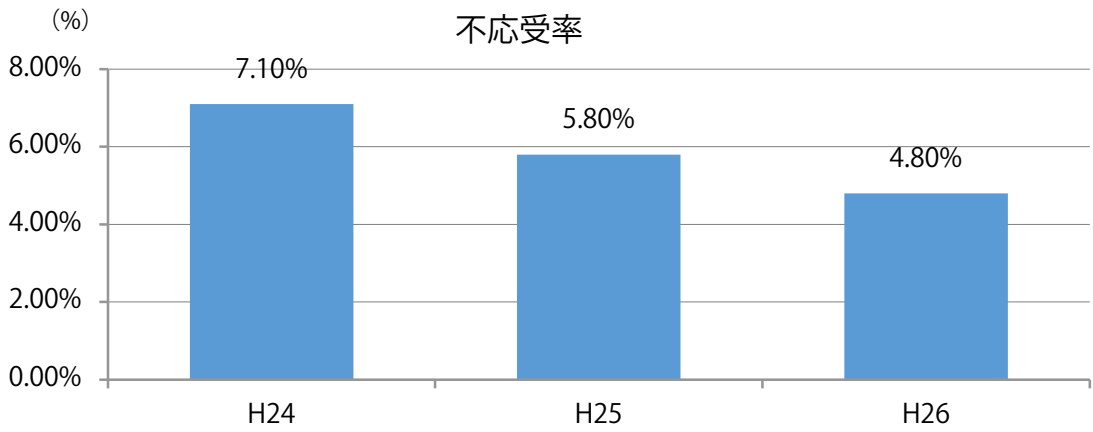
実績



救急搬送患者数は、横ばいでした。搬送患者の入院率は 49. 3 % でこの 3 年間では最高でしたが、目標の 5 0 % にはわずかに及びませんでした。



救急室を受診した患者数はわずかに増加しています。



救急車の断り件数・不応受率は低下傾向にあり、平成 2 4 年度の 3 分の 2 まで減少しています。

年度総括



救急総合診療部長
銘苅 正

1：診療体制

4 月に銘苅が救急総合診療部長就任しました。外傷救急の体制を再構築中です。12 月からは試験的に月・金の Load&GO 患者の受け入れを開始しました。外科系の Dr と協力して、平日夜間の Load&GO 患者の受け入れを実現させたいと計画しています。

H27 年度は、2 年目研修医がほぼ通期に渡って救急室を担当するので、人的な余裕が出ると考えています。後述する地域への積極的な展開を改革したいと思っています。

形成外科の開設は、救急室の受け入れ可能な患者の幅を広げるものでした。今後も形成外科と協力して、受け入れを増やしていきたいと思います。

2：地域支援

DMAT 隊が正式に発足しました。今の所 DMAT 隊の出動はありませんが、総合訓練への参加や、中北消防との吉浦発電所での防災訓練参加などを行っています。

ハートライフクリニックや近隣のクリニック等での急変患者に対して、救急室からチームを派遣して初期治療に当たる活動を始めました。来年度には、病院所有の救急車を改善して、その幅を広げたいと考えています。

救急隊にオンラインで 12 誘導心電図を当院に遅れる装置を貸し出し、迅速な指示や受け入れ準備ができる体制を計画しました。H27 年度前半に開始予定です。

今年度から、中部地区で精神救急を行っている病院と一般救急を行っている病院とで話し合いが開始されています。当院の MSW から貴重な症例が出され、会での討論の牽引役になりました。

3：専門診療科との連携

既述した形成外科を始め、専門診療科との連携を今後も深めていく方針です。病院内で孤立した救急室にはしない方針です。救急室を経験した研修医が後期研修で専門診療科に多く残れば、一層の連携が可能と考えます。

H27 年度から、菅谷先生が ICU を一部担当してくださることになり、これまで手薄だった総合診療部門の充実の第一歩になればと期待しています。

4：研修・教育

今年度は可能な限り、院外の研修医や学生を受け入れたいと考えていました。H27 年度も積極的に受け入れたいと考えています。また、救急室で研修した研修医には、救急や循環器の学会にいくつかの演題を出すことができました。これは副部長の水戸先生の頑張りが大きいところです。反省点としては外科系の発表がなかったことで、県医学会からで、学会発表ができるよう到来年度は努力します。

今年度も救急や総合診療の専門家に講演をお願いしました。H27 年度も積極的に講演会を計画したいと思います。

当院で行っている救急隊との症例検討会は、院外からの関心も高く、今年度は他院の救急の Dr や海上保安庁の救難部門の職員の見学などもありました。今後も継続します。

研修医の中から、救急医療の専門医が生まれるのを目標に頑張りたいと考えています。

その他実績

他院（特に琉球大学）の研修医は平成 2 5 年度の 3 名から 11 名と大幅に増えています。

来年度の目標

1. 外科受け入れ態勢の充実
2. 救急車断り症例の減少
3. 研修医教育の充実：特に後期研修医希望者の育成
4. DMAT, 病院救急車同乗出動の体制構築
5. 携帯型心電計の活用

メディカルクラーク

職員数

総数

16 名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	3

認定・資格名	人数
医師事務作業補助技能認定資格	14

運営方針

- 1. 医師の業務軽減を図る
- 2. 他職種との協働によるチーム医療を目指す
- 3. スキルの向上に努める

平成 26 年度業務計画

- 1 外来慢性疾患管理パスの作成と運用
- 2 返書の代行作成
- 3 退院サマリー 2 週間以内記載率アップに向けサポートする
- 4 文書受付から受け渡しまでをミスなく最短で行えるよう、請求業務課と連携して再構築する
- 5 学会・研究会の運営補助

業務実績

統計業務

- 1. 食道癌全国登録
- 2. 日本内科学会年次報告
- 3. 日本内視鏡外科学会症例報告
- 4. 日本外科学会指定施設年次報告
- 5. 日本ヘルニア学会症例報告
- 6. 乳癌症例報告
- 7. 日本血液学会疾患登録

その他

- 4 月 1 日 慢患管理パス（検査実施チェック）を内科全科へ拡大
- 6 月 1 日 泌尿器科外来へ配置開始
- 6 月 21 日 病棟へ配置開始
- 6 月 21 日 がん登録業務を診療情報管理室へ移行
- 7 月 1 日 15 対 1 加算 1 申請：新たに外来クラーク 6 名を医師事務作業補助者として登録
- 1 月 13 日 輸血後感染症検査実施チェックを開始
- 1 月 17 日 第 2 回沖縄ヘルニア研究会開催（事務局担当）

文書作成代行

	H 24	H 25	H26
生命保険文書	1,620	1,655	1,747
介護主治医意見書	554	485	485
傷病手当金請求書	500	387	404
医療要否意見書	551	564	653
特定疾患調査票	290	291	288
身体障害者診断書	95	112	155
自賠責診断書	-	1,025	1,107
その他	759	956	982
合計	4,369	5,475	5,821

退院サマリー代行作成

H 24	H 25	H26
775	2665	1053

N C D（消化器外科手術症例）入力

H 24	H 25	H26
932	1,015	805

高額コメント代行作成

H 24	H 25	H26
161	224	287

活動実績

研修会・セミナー参加など

名称	開催地	年月日	参加者
日本医師事務作業補助研究会第 4 回全国大会	大阪	2014 年 6 月 27 日	荒木・仲村
日本病院会主催医師事務作業補助者研修	福岡	2014 年 7 月 26 日	根間
代行入力に関するシンポジウム	大阪	2014 年 3 月 21 日	比嘉

医局総括



医局長兼
呼吸器内科部長
普天間 光彦

平成 26 年度の医局は病院の中心部署として頑張ってきました。その構成は内科 22 名 (呼吸器 5 名、循環器 5 名、消化器 6 名、血液 5 名、心療内科 1 名)、外科 10 名、麻酔科 4 名、整形外科 5 名、産婦人科 5 名、小児科 4 名、脳神経外科 2 名、泌尿器科 1 名、眼科 2 名、耳鼻咽喉科 1 名、形成外科 1 名、放射線科 2 名、救急科 2 名 (1 名は兼任)、人間ドック 4 名、初期研修医 8 名の計 73 名となっていました。第一、第三木曜には、夕方に医局会を開催し、医局員の団結を深めて参りました。

日々の診療に関しては、専門的・積極的に、誠心誠意取り組んでおります。

学術的領域では、院外での取り組みとしては、年間 2 ～ 6 回の学会出張、アニマルラボ実習や手術・手技見学等の院長派遣による出張、県内・県外の講演会参加等を行いました。

また、院内での定期的な取り組みとしては、毎週水曜のジャーナルクラブ (勉強会)、火曜・木曜・金曜の朝には研修医に対するレクチャー等、大変忙しく勉強してまいりました。

また、医局行事としては、年に数回の歓送迎会、ビアパーティー、研修終了パーティー、忘年会等を執り行いました。

このように活気あふれる医局として自認しておりますが、平成 27 年度もさらに活気にあふれ、充実した診療、勉強を行っていけるように努力する所存です。

看護部

部門紹介

看護部長 西銘 宣子

看護部は13部署あり、平成26年度4月時点での職員数は450名と病院一の大所帯です。建物の2~7階に7つの病棟があり、そのほかに集中治療室、救急外来、一般外来、手術室・中央材料室、透析室、内視鏡室があり、4月から予防医学センターが看護部に加わりました。各部署様々な看護活動に主体的に取り組み、多職種が関わる病院の委員会活動にも積極的に参加しています。また、エキスパートの育成では、認定看護師3名、認定看護管理者1名が誕生しました。それぞれの領域でスキルを高め、これからも看護の質向上を目指します。

職員数（平成26年4月1日現在）

総数	450名	臨床心理士	1名
保健師	5名	保育士	1名
助産師	20名	栄養士	1名
正看護師	339名	クレーク	19名
准看護師	21名	事務	2名
看護助手	41名		

認定看護師・認定看護管理者

氏名	認定看護分野
内間 幸人	集中ケア
宮城 美那	感染管理
島袋 すが子	慢性心不全看護
本田 由佳里	がん化学療法看護
砂川 克子	乳がん看護

氏名	認定看護分野
兼本 愛美	救急看護
石川 由希	感染管理
城間 克也	感染管理
仲地 ますみ	認定看護管理者



■ 認定看護師と認定看護管理者の皆さん

看護部理念

わたくしたちは、患者さんの信頼に応え、感性豊かな心ふれあう看護を提供いたします。

看護部運営方針

- 1. 患者さんに満足していただける環境ときめ細やかな看護サービスを提供する
- 2. 専門職として看護の基本を大切にした質の高い看護を実践する
- 3. 温かい心のふれあう看護ができる豊かな感性を培う
- 4. 地域住民のニーズに応える医療・保健・福祉を総合的にとらえ、地域医療に貢献する
- 5. 医療チーム内の情報交換を密にし、よいチームワークを図り、業務を円滑にする

看護体制

7：1 看護

勤務体制 二交替制

看護方式 PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）

看護記録 POS（電子カルテ）

看護単位

■外来

■救急外来

■ICU

■手術室 / 中央材料室

■透析室

■内視鏡センター

■予防医学センター

■一般病棟

- ・ 2 階病棟（産婦人科）
 - ・ 3 階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科・形成外科）
 - ・ 3 階新病棟（混合）
 - ・ 4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）
- ・ 5 階病棟（消化器内科・小児科）
 - ・ 6 階病棟（血液内科※クリーンルーム 10 床）
 - ・ 7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科・糖尿病）

活動実績

院内・院外研修実績

名称	主催	開催地	開催日	所属	担当・参加者
新入職者オリエンテーション	病院	院内	4 月 1 日	—	総務課、看護部
基礎看護技術研修	看護部教育委員会	院内	4/2 ～ 4/14	主任会、教育委員会	仲地ますみ、主任会
感染管理認定看護師教育課程修了者のための講座	HAICS 研究会	東京	4/19 ～ 20	TQM、ICU	石川由希、城間克也
助手研修①	看護部教育委員会	院内	4 月 25 日	教育委員会	仲地ますみ、外間真紀子、鈴木千恵
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	4 月 30 日	主任会	仲地ますみ、屋宜鮎美

名称	主催	開催地	開催日	所属	担当・参加者
看護研究入門編	看護協会	県内	5 月 10 日	2F	我那覇美帆
日本輸血・細胞治療学会総会	日本輸血・細胞治療学会	奈良	5/15 ～ 17	6F	金城隆也
日本麻酔科学会 周術期セミナー	日本麻酔科学会	神奈川	5/15 ～ 17	OR	富田賢一、松川幸樹
日本消化器内視鏡技師学会	日本消化器内視鏡技師会	東京	5/16 ～ 17	内視鏡	古波倉美登利
がん看護認定看護師フォローアップ研修	久留米大学	福岡	5/16 ～ 18	外来	本田由佳理
救急看護認定看護師審査	日本看護協会	福岡	5 月 20 日	救急外来	兼本愛実
感染管理認定看護師審査	日本看護協会	福岡	5 月 20 日	TQM ICU	石川由希、城間克也
サードレベル認定看護管理者認定審査	日本看護協会	福岡	5 月 20 日	看護部	仲地ますみ
リーダーシップ研修	看護協会	県内	5 月 23 日	4F 5F 6F	金城昭子、市川祐鼓、安里紀子
フレキシブルパス勉強会	SSI	大阪	5 月 23 日	3F、4F	外間真紀子 、平良 勇
心電図モニター講習会	日本光電	院内	5 月 29 日	看護部	3 年目中心に 22 名
助手研修②	看護部教育委員会	院内	5 月 23 日	教育委員会	仲地ますみ、屋宜鮎美 古波倉美登利
看護部領域研修（感染）	看護部教育委員会	院内	5 月 29 日	TQM	石川由希
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	5 月 30 日	主任会	仲地ますみ、屋宜鮎美
フィジカルアセスメント	看護協会	県内	6/2・3	看護部	2 年目中心に 15 名
医療安全の動向と法的責任	看護協会	県内	6 月 7 日	2F、3F、4F、HD	7 名
病院経営改善セミナー	ケアコム	県内	6 月 12 日	看護部	西銘宜子、中野久野
透析医学会・学術集会総会	透析医学会・学術集会事務局	兵庫	6/12 ～ 15	HD	田下 茜、屋良淳子
演習で学ぶ看護研究 I	看護協会	県内	6 月 14 日	2F、3F	我那覇美帆、山城優子、渡具知つばさ
日本緩和医療学会学術大会	日本緩和医療学会	兵庫	6/19 ～ 21	4F	赤嶺七海、高宮里沙
中堅研修①	看護部教育委員会	院内	6 月 19 日	教育委員会	13 名（各部署より 1 人）
看護部領域研修（感染）	看護部教育委員会	1/0	6 月 20 日	TQM	石川由希
糖尿病フットケア	看護協会	県内	6 月 24 日	HD	佐和田桃子 銘里礼子
看護部領域研修（化学療法）	看護部教育委員会	院内	6 月 24 日	外来	本田由佳理
看護部領域研修（安全）	看護部教育委員会	院内	6 月 26 日	TQM	玉城秀美
新人看護師 3 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	6 月 27 日	教育委員会	仲地ますみ、屋良ちえみ、他 6 名
日本心不全学会	日本心不全学会 チーム医療促進委員会	県内	6 月 28 日	外来、7F	島袋すが子、新川優子
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	6 月 30 日	主任会	仲地ますみ、屋宜鮎美
認定看護管理者教育課程 ファーストレベル研修	看護協会	県内	7/1 ～ 9/5	ICU、3F	安村公均、外間真紀子
看護部領域研修（糖尿病）	看護部教育委員会	院内	7 月 4 日	TQM	堀江恭子
がん看護研修 I	看護協会	県内	7 月 5 日	外来、4F、5F、6F	6 名
新生児蘇生法講習会	沖縄周産期ネットワーク協議会	県内	7 月 5 日	2F	原順子
日本乳がん学会学術総会	日本乳がん学会	大阪	7/10 ～ 12	外来	砂川克子
災害医療と看護	看護協会	県内	7 月 10 日	救急外来	兼本愛美
新リフレッシュ人研修	看護部教育委員会	県内	7 月 11 日	主任会	新人 24 名
感染管理 I	看護協会	県内	7 月 12 日	外来、5F、6F	4 名
看護部領域研修（感染）	看護部主任会	院内	7 月 12 日	TQM	石川由希、城間克也
中堅研修②	看護部教育委員会	院内	7 月 18 日	教育委員会	13 名（各部署より 1 人）
看護部領域研修（化学療法）	看護部教育委員会	院内	7 月 22 日	外来	本田由佳理
看護部領域研修（安全）	看護部教育委員会	院内	7 月 24 日	TQM	玉城秀美

名称	主催	開催地	開催日	所属	担当・参加者
看護部領域研修（救急）	看護部教育委員会	院内	7 月 25 日	救急外来	竹本健太
看護部領域研修（慢性心不全）	看護部教育委員会	院内	7 月 26 日	外来	島袋すが子
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	7 月 30 日	主任会	仲地ますみ、屋宜鮎美
演習で学ぶ看護研究Ⅱ	看護協会	県内	8 月 2 日	2F、3F	我那覇美帆、上原ちえみ、 渡具知つばさ、山城優子
看護部領域研修（呼吸ケア）	看護部教育委員会	院内	8 月 8 日	RST	内間幸人
看護現場における倫理とは？	看護協会	県内	8 月 14 日	7F、OR、 4F、2F	新川優子、東恩納小百合、 仲宗根恵、諸喜田久美
2 年目研修	看護部教育委員会	院内	8 月 15 日	教育委員会	仲地ますみ 比嘉暢 平良勇 鈴木千恵
看護部領域研修（感染）	看護部教育委員会	院内	8 月 21 日	TQM	石川由希
シミュレーション教育における効果的 な指導方法	看護協会	県内	8 月 22 日	5F	佐藤寛子
中堅研修③	看護部教育委員会	院内	8 月 22 日	教育委員会	13 名（各部署より 1 人）
看護部領域研修（慢性心不全）	看護部教育委員会	院内	8 月 24 日	外来	島袋すが子
看護部領域研修（化学療法）	看護部教育委員会	院内	8 月 26 日	外来	本田由佳理
看護部領域研修（安全）	看護部教育委員会	院内	8 月 28 日	TQM	玉城秀美
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	8 月 29 日	主任会	仲地ますみ、屋宜鮎美
口腔ケア	看護協会	県内	8 月 30 日	6F	上運天明穂
重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修	S-QUE 研究会	県内	8 月 31 日	看護部、 3F、4F、 5F、6F、7F	西銘宣子、他 6 名
医療安全管理者養成研修	日本看護協会看護 研修学校	東京	9/1 ～ 9/9	TQM	中野久野
看護部領域研修（糖尿病）	看護部教育委員会	院内	9 月 2 日	TQM	堀江恭子
看護部領域研修（感染）	看護部教育委員会	院内	9 月 18 日	TQM	石川由希
中堅研修④	看護部教育委員会	院内	9 月 18 日	教育委員会	13 名（各部署より 1 人）
九州心臓リハビリテーション研究会	九州心臓リハビリ テーション研究会	県内	9/20 ～ 21	外来	島袋すが子
新人 6 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	9 月 20 日	教育委員会	仲地ますみ、屋宜鮎美
看護部領域研修（安全）	看護部主任会	院内	9 月 25 日	TQM	玉城秀美
助産師職能委員会企画研修	看護協会	県内	9 月 27 日	2F	諸喜田久美、我那覇美帆
糖尿病の治療・看護・指導のための講 習会	看護協会	県内	9 月 27 日	TQM、HD	堀江恭子、赤嶺美智江
看護部領域研修（慢性心不全）	看護部教育委員会	院内	9 月 27 日	外来	島袋すが子
看護部領域研修（糖尿病）	看護部教育委員会	院内	9 月 30 日	TQM	堀江恭子
プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	10 月 3 日	教育委員会	仲地ますみ、屋宜鮎美
看護職と倫理	看護協会	県内	10 月 8 日	7F	知念恵子
認知症高齢者の理解と看護	看護協会	県内	10 月 9 日	4F、7F	金城昭子、平田いとも 東江幸恵
日本脳神経看護研究学会	日本脳神経看護研 究学会	東京	10 月 10 日	3F	外間真紀子、屋宜鮎美
日本手術看護学会年次大会	日本手術看護学会	福岡	10/10 ～ 11	OR	富田賢一、松川幸樹
日本救急看護学会学術集会	日本看護学会	大阪	10/10 ～ 11	救急外来	兼本愛美、又吉康矢、平 田千佳
看護部領域研修（救急）	看護部教育委員会	院内	10 月 14 日	救急外来	竹本健太
看護部領域研修（感染）	看護部教育委員会	院内	10 月 16 日	TQM	石川由希
中堅研修⑤	看護部教育委員会	院内	10 月 16 日	教育委員会	13 名（各部署より 1 人）
IVR の基礎と看護	看護協会	県内	10 月 18 日	外来、救外	長嶺勝美 杉田百合
看護部領域研修（安全）	看護部教育委員会	院内	10 月 23 日	TQM	玉城秀美
看護部領域研修（糖尿病）	看護部教育委員会	院内	10 月 24 日	TQM	堀江恭子
これからの時代に求められる看護記録	看護協会	県内	10 月 25 日	7F、2F、 5F	内田綾、若命彩子、諸喜 田久美、長尾理恵、鈴木 千恵
看護部領域研修（慢性心不全）	看護部教育委員会	院内	10 月 25 日	外来	島袋すが子
看護部領域研修（化学療法）	看護部教育委員会	院内	10 月 28 日	外来	本田由佳理
演習で学ぶ看護研究Ⅲ	看護協会	県内	11 月 1 日	2F、3F	我那覇美帆、上原ちえみ、 山城優子、渡具知つばさ

名称	主催	開催地	開催日	所属	担当・参加者
創傷・褥瘡ケア（基礎編）	看護協会	県内	11 月 7 日	4F	宮城つかさ、岡田さつき
看護部領域研修（呼吸ケア）	看護部教育委員会	院内	11 月 7 日	RST	内間幸人
3 年目研修	看護部教育委員会	院内	11 月 14 日	教育委員会	仲地ますみ、諸喜田久美、 兼本愛美、金城隆也、洲 鎌正子
看護部領域研修（感染）	看護部教育委員会	院内	11 月 20 日	TQM	石川由希
中堅看護師研修（実践報告会）	看護部	院内	11 月 25 日	看護部	部署中堅 13 名
看護部領域研修（慢性心不全）	看護部教育委員会	院内	11 月 22 日	外来	島袋すが子
看護部領域研修（安全）	看護部教育委員会	院内	11 月 27 日	TQM	玉城秀美
看護部領域研修（救急）	看護部教育委員会	院内	11 月 28 日	救急外来	竹本健太
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	11 月 28 日	教育委員会	仲地ますみ、屋宜鮎美
認定看護師教育課程「感染管理」フォ ローアップ研修	国際医療福祉大学 九州地区生涯教育 センター	福岡	11 月 29 日	ICU	城間克也
理由がわかる体温管理	日本手術看護学会 九州地 区研究会	県内	11 月 29 日	OR	比嘉憲貴、東恩納小百合
九州人工透析研究会総会	九州人工透析研究 会	大分	11 月 30 日	HD	米須真由美、新里恭子
中堅研修⑥	看護部教育委員会	院内	12 月 11 日	教育委員会	13 名（各部署より 1 人）
看護部領域研修（呼吸ケア）	看護部教育委員会	院内	12 月 12 日	RST	内間幸人
看護部領域研修（感染）	看護部教育委員会	院内	12 月 18 日	TQM	石川由希
2 年目症例発表会	看護部教育委員会	院内	12 月 19 日	教育委員会	主任会
看護部領域研修（安全）	#REF!	院内	12 月 25 日	TQM	玉城秀美
看護部領域研修（慢性心不全）	#REF!	院内	12 月 27 日	外来	島袋すが子
看護部領域研修（呼吸ケア）	看護部教育委員会	院内	1 月 9 日	RST	内間幸人
創傷・褥瘡ケア（マネジメント編）	看護協会	県内	1 月 16 日	TQM	嘉数智子
災害と感染対策	看護協会	県内	1 月 17 日	6F、4F、 TQM	比嘉 暢、林俊介、石川 由希
看護部領域研修（安全）	看護部主任会	院内	1 月 22 日	TQM	玉城秀美
プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	1 月 23 日	教育委員会	仲地ますみ、屋宜鮎美
日本医療コンフリクトマネジメント学会 学術大会	日本医療コンフリク トマネジメント学会	東京	1 月 24 日	メディエー ター	池村久美子
がんのリハビリテーション研修 ワークショップ	北陸がんのリハビリ テーション研究会	石川	1/24 ～ 25	6F	比嘉 暢
演習で学ぶ看護研究Ⅳ	看護協会	県内	1 月 24 日	2F、3F	我那覇美帆、上原ちえみ、 山城優子、渡具知つばさ
看護部領域研修（救急）	看護部教育委員会	院内	1 月 27 日	救急外来	兼本愛美、竹本健太
新人看護職員実施指導者研修	看護協会	県内	2/4 ～ 6	5F	米須智子
平成 27 年度プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	2 月 6 日	教育委員会	仲地ますみ、屋宜鮎美、 宮城つかさ
看護部領域研修（呼吸ケア）	看護部主任会	院内	2 月 6 日	RST	内間幸人
日本集中治療医学会学術集会	日本集中治療医学 会	東京	2/9 ～ 11	ICU	塩屋秀子、勝連しのぶ、 又吉愛美
1 年目症例発表会	看護部教育委員会	院内	2 月 13 日	教育委員会	主任会、プリセプター
沖縄看護研究学会学術集会	沖縄県看護研究学 会	県内	2 月 21 日	3F、その他	山城優子、渡具知つばさ 他、10 名
沖縄乳がん学校	琉球乳腺倶楽部 沖縄乳がん学校	県内	2/21 ～ 22	外来、4F	砂川克子、新垣 薫、宮 城つかさ
がん患者指導管理料研修	日本がん看護学会	神奈川	2 月 27 日	外来	本田由佳理
新人看護職員 1 年目フォローアップ研 修	看護部教育委員会	院内	2 月 27 日	教育委員会	仲地ますみ、屋宜鮎美、 安村公均、知念恵子
プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	2 月 27 日	教育委員会	
師長・主任合同研修	看護部	院内	3 月 3 日	看護部	西銘宣子、仲地ますみ
日本造血細胞移植学会総会	日本造血細胞移植 学会	兵庫	3/5 ～ 7	6F	比嘉 暢
日本乳がん学会九州地方会	日本乳がん学会 九州地方会	福岡	3/7 ～ 8	外来	砂川克子

各部署概要・実績

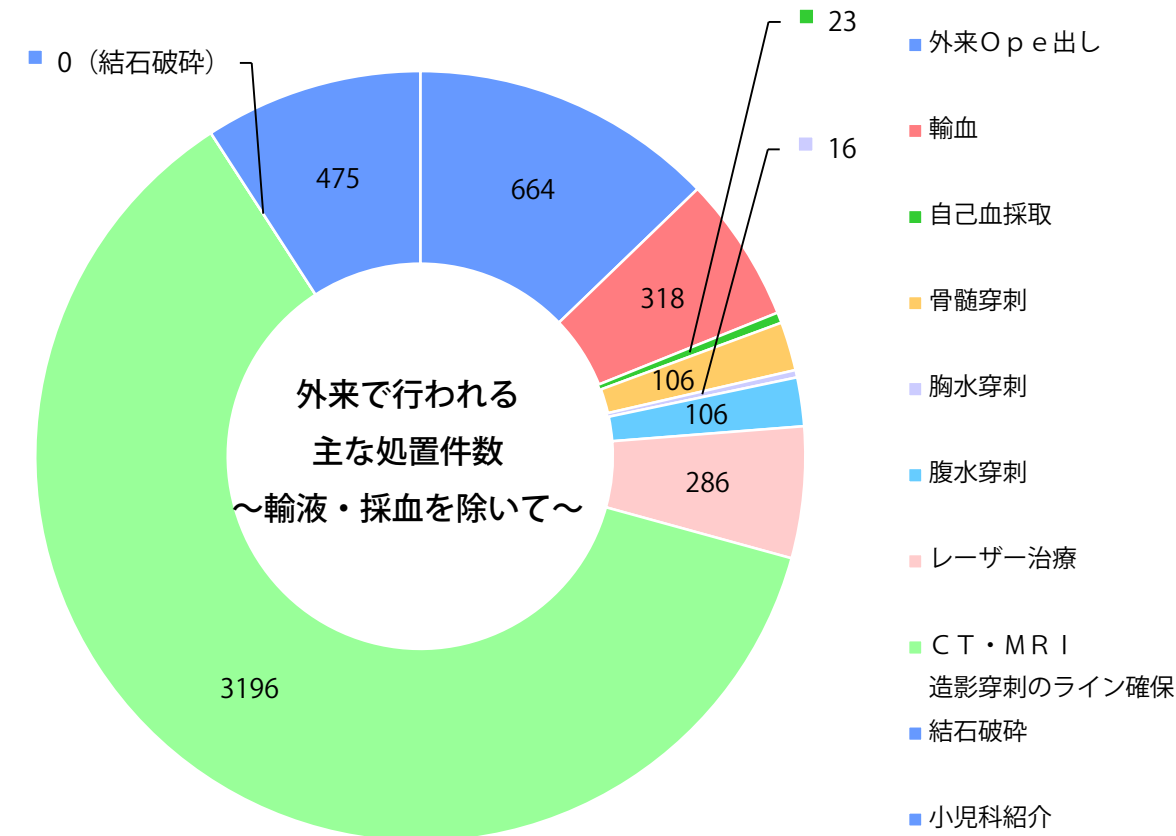
外来

外来師長 屋良 ちえみ

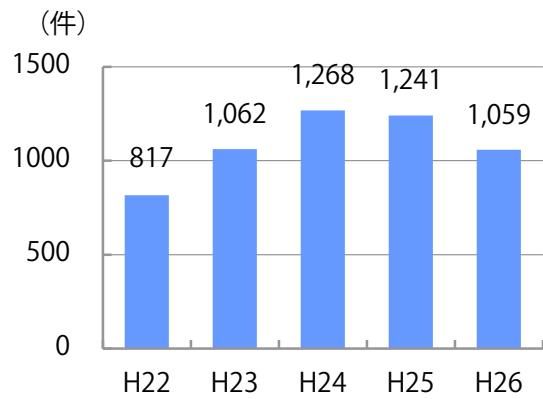
職員数

総数 36 名
正看護師 23 名
看護助手 4 名
クラーク 9 名

業務実績



外来での化学療法（H 25 年より加算可能件数のみ表示 ）



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
沖縄での慢性心不全看護認定看護師の取り組み	平成26年度日本心不全学会チーム医療推進委員会教育セミナー沖縄会場	沖縄県浦添市	2014 年 6 月 28 日	島袋すが子
抗癌剤内服治療を受ける患者への支援～抗がん剤副作用チェックシートを用いて～	院内看護部業務改善委員会	院内看護部	2014 年 10 月 17 日	本田由佳理、砂川克子、山内美咲、玉城美耶子、泉淑子、パチェコ知子
当院におけるがん化学療法看護研修について	がん看護に携わる認定看護師フォローアップ研修会	福岡県久留米市	2014 年 5 月 17 日	本田由佳理

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新人研修	看護部	院内	2014 年 4 月～	本田由佳理、島袋香織、島袋すが子、安谷屋佳子
BLS 指導（新入職員）	院内 BLS 担当	院内	2014 年 4 月 5 日	島袋すが子（指導者）
BLS 指導（新入職員）	院内 BLS 担当	院内	2014 年 4 月 12 日	島袋すが子（指導者）
看護助手研修	看護部	院内	2014 年 4 月 25 日	新垣千賀子、宮平エミコ
看護助手研修	看護部	院内	2014 年 5 月 23 日	安里真実、比嘉照美
がん看護に携わる認定看護師フォローアップ研修	久留米大学認定看護師教育センター	福岡	2014 年 5 月 17 日	本田由佳理
済生会熊本病院施設見学	化学療法委員会	熊本	2014 年 5 月 30 日	本田由佳理
予防接種について	小児科担当玉那覇	外来	2014 年 6 月 5 日	外来スタッフ全員
中堅研修	看護部	院内	2014 年 6 月 19 日	島袋香織①
化学療法領域研修	看護部	院内	平成 27 年 6 月 23 日	本田由佳理（講師）、島袋香織
日本緩和医療学会学術集会	日本緩和医療学会	神戸	2014 年 6 月 20 ～ 21 日	本田由佳理（自費）
日本心不全学会教育セミナー	日本心不全学会	沖縄会場	2014 年 6 月 28 日	島袋すが子
感染防止の基礎知識	沖縄県看護協会	院外	2014 年 7 月 12 日	新垣薫
第 22 回日本乳癌学術総会	日本乳癌学術学会	大阪	2014 年 7 月 10 ～ 12 日	砂川克子
がん看護研修	沖縄看護協会	院外	2014 年 7 月 5 日	島袋香織
中堅研修	看護部	院内	2014 年 7 月 18 日	島袋香織
化学療法領域研修	看護部	院内	2014 年 7 月 22 日	本田由佳理（講師）
慢性心不全領域研修	看護部	院内	2014 年 7 月 26 日	島袋すが子（講師）
緩和ケア研修	看護部	院内	2014 年 8 月 2 日	本田由佳理
日本心不全学会教育セミナー	日本心不全学会	東京	2014 年 8 月 2 日	島袋すが子
ヘルニア（タッパ法、テップ法）	外科本田由佳理	外来	2014 年 8 月 14 日	外来スタッフ全員
大浜第一病院施設見学	外来増改築	院外	2014 年 8 月 22 日	西原実、安里竜、屋良ちえみ、島袋すが子
BLS 指導（新入職員）	院内 BLS 担当	院内	2014 年 8 月 23 日	島袋すが子（指導者）
南部徳洲会病院施設見学	外来増改築	院外	2014 年 8 月 24 日	西原実、知念政治、屋良ちえみ
JSCO2014 日本癌治療学会学術集会	日本癌治療学会	横浜	2014 年 8 月 28 ～ 30 日	本田由佳理
予防接種について	内科外来安里直美	外来	2014 年 8 月 29 日	外来スタッフ全員
感染領域研修①～④	感染管理者石川	看護部	2014 年 9 月 18 日	玉那覇久美子
第 8 回九州心臓リハビリテーション研究会	九州リハビリテーション研究会	院外	2014 年 9 月 20 ～ 21 日	島袋すが子
県立宮古病院施設見学	外来増改築	院外	2014 年 9 月 26 日	西原実、安里竜、屋良ちえみ、島袋すが子
血液培養検査	処置室安谷屋佳子	外来	2014 年 10 月 1 日	外来スタッフ全員

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
師長主任合同研修	看護部	院内	2014 年 10 月 7 日	屋良ちえみ、本田由佳理、島袋すが子、安谷屋佳子島袋香織
IVR の基礎知識と看護	沖縄県看護協会	院外	2014 年 10 月 18 日	長嶺勝美
陥入爪、巻き爪	形成外科島袋香織	外来	2014 年 10 月 30 日	外来スタッフ全員
白内障の手術	眼科 城田玲子	外来	2014 年 11 月 28 日	外来スタッフ全員
第 6 回リンパ浮腫講習会	那覇市立病院	院外	2014 年 11 月 29 日～30 日	砂川克子
アトピー性皮膚炎	Maruho 株式会社	院内	2014 年 12 月 9 日	小児科医師玉那覇久美子、金城こずえ、安里直美、屋良ちえみ
過活動膀胱（OAB）って？	泌尿器外来新垣薫	外来	2014 年 12 月 25 日	外来スタッフ全員
手根管症候群	整形外来當間直美	外来	2015 年 1 月 29 日	外来スタッフ全員
第 1 回沖縄乳がん学校	琉球乳腺倶楽部	院外	2015 年 2 月 21 日～22 日	砂川克子、新垣薫
第 30 回沖縄県看護研究学術集会	沖縄県看護協会	院外	2015 年 2 月 21 日	安谷屋佳子、島袋すが子
がん患者と栄養管理	化学療法室 本田由佳理	院内	2015 年 2 月 26 日	外来スタッフ全員
師長主任合同研修	看護部	院内	2015 年 3 月 3 日	屋良ちえみ、本田由佳理、島袋すが子、安谷屋佳子島袋香織
第 12 回日本乳癌学会九州大会	九州大学医学部百年講堂	九州	2015 年 3 月 6 日～7 日	砂川克子
鼻粘膜焼却術（下鼻甲介コブレーション）	耳鼻科外来 大城貴子	院内	2015 年 3 月 19 日	外来スタッフ全員
災害訓練	災害対策委員会	院内	2015 年 3 月 7 日	島袋すが子、新垣
那覇市立病院施設見学	リンパ浮腫外来開設準備	院外	2015 年 3 月 30 日	東盛貴光、宮城淳、諸見里和也、屋良ちえみ、砂川克子

実績報告資料等

平成26年度外来目標

- 1.安心、安全な医療の提供
- 2.人財育成
- 3.業務見直し、工夫
- 4.働きやすい職場作り(WLB)

平成26年度

毎朝ミーティングの取り組み

- ・8:25分～
- ・伝達事項【新しい取り組み等も含めて】
- ・業務連絡・研修会・講演会・決まり事等連絡
- ・報連相
- ・注意事項・投書の伝達・MRM／感染情報交換・各科協力依頼等
- ・ミニ勉強会(各委員会・ME・他等…)
- ・指さし呼称全員で…
- ★MRM
- （患者誤認防手順・5R確認・クイックセーフアの取り組み報告）
- ★接遇標語（接遇10ヶ条・他）

平成26年度フィッシュ活動

- 1)クリスマス・ハロウイン等の装飾品代
- 2)送別会の小物代
- 3)その他表彰代金として使用(人数は予算内で)
- ★商品券を使用
- ・皆勤賞、超過勤務賞、残業賞
- ⇒上記3名は 手作り賞状添付。
- ・昼食時間困った賞
- ・頑張った賞(6賞)
- ・宴会賞、笑顔賞
- ・勤続賞(20年賞)
- ★表彰は、年度末のミーティングと送別会にて実施した。

平成26年度新たな取り組み、業務改善

- ★認定看護科3名になる。
- ・がん化学療法、救命心安全、乳癌認定看護師
- ⇒心臓リハビリ(7科)担当、がんケア・セリング科取得開始。
- ★形成外来整備(11診療室)
- ・洗、白、滅菌増設、鏡、美容診療ベッド1台増設。
- ・脱衣室、CS、物品置置、冷蔵庫、器具カートン、写真部カートン設置。
- ★外科外来⇒アコースティックカーテン設置(7カ所)の為)
- ・問診室整備、カートン、待合室の整備、脱衣室1台増設。
- ★内科外来の集約室を待合室増設。
- ★外来脱衣室の整備⇒感染防止と調整
- ★外来西薬機、検査機等の設置場所の再検討、調整
- ★外来化学療法室の薬液置置⇒2台増設へ(未定)
- ★外来化学療法室の輸液置置⇒1台増設。
- ★外来化学療法室の血液時対応の検討。
- ★泌尿器外来の検査置置⇒1台増設。
- ★内科外来の患者ファイル置き場増設、紹介患者CD保持率アップファイル設置。
- ★内科外来12診療室整備⇒診察ベッド、医師机、患者用椅子、身体検知へ。
- ★リサイズ・ジャリーの開始⇒形成外科から開始、乳腺外科開始、その他、
- ⇒形成外科(1)形成外科、2)形成外科、3)形成外科
- ★電光掲示板増設⇒整形外科、外科外来、泌尿器、形成外来と3台増設
- ★内科外来へ院内広域用テレビ1台設置増設
- ★放射線看護師研修に伴い平成27年1月より救急外来配置へ変更。
- ★ワーク・エデュケーション・ワーク・養成研修開始(9人枠の他)
- ★ワーク教育⇒教育委員会に委託研修にチェックリストのチェック依頼開始

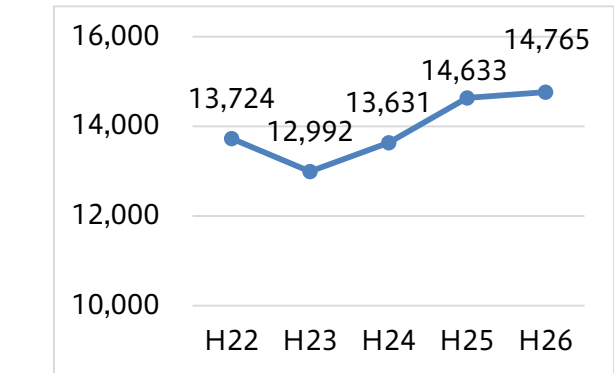
救急外来

職員数

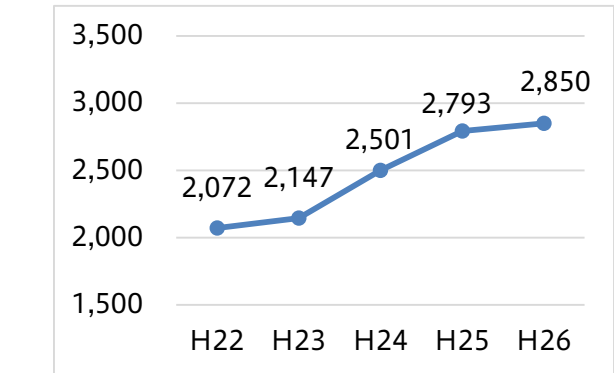
総数 19 名
正看護師 19 名

業務実績

救急受付患者年次推移

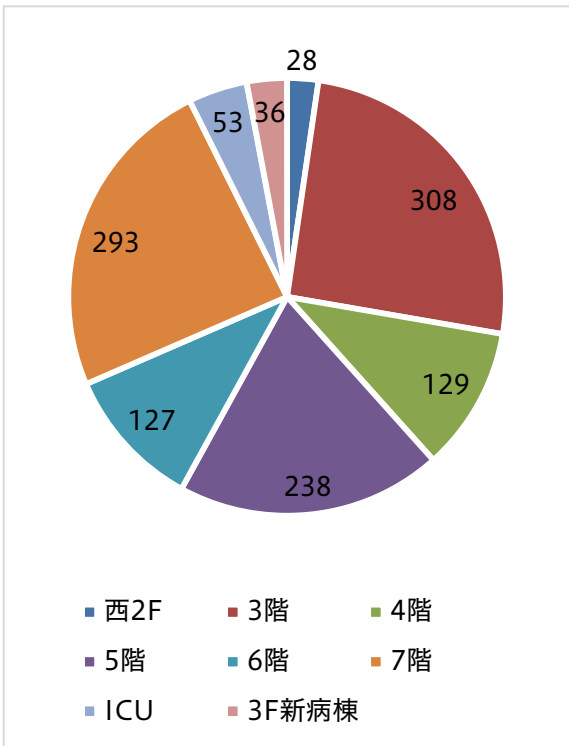


救急受付患者の入院数年次推移



救急外来師長 内間 幸人

救急車搬送受け入れ患者の入院受入先内訳



実績報告資料等

平成26年度の目標

- 安全な医療の提供
- 専門性の高い看護の提供
- 救急搬送件数増加
- 他職種との連携強化



平成27年度の目標

- 安全な医療の提供
- 専門性の高い看護の提供
- スタッフのスキルアップ
- 救急搬送件数増加
- 他職種との連携強化



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
救急セミナー	メディカ	沖縄	2014 年 5 月 3 ～ 4 日	恒富、杉田、又吉
フィジカルアセスメント	日本看護協会	沖縄	2014 年 6 月 2・3 日	比嘉、知花
ICLS	NPO 法人救急災害医療機構	沖縄	2014 年 6 月 15 日・9 月 28 日	比嘉、徳比嘉
トリアージナース育成研修会	日本救急看護学会	福島	2014 年 9 月 27	平田
ITLS アドバンスコース	NPO 法人救急災害医療機構	沖縄	2014 年 1 月 21 ～ 22	兼本、又吉
JPTEC	NPO 法人救急災害医療機構	沖縄	2015 年 3 月 14	平田、恒富

人工透析室

職員数

総数 21 名

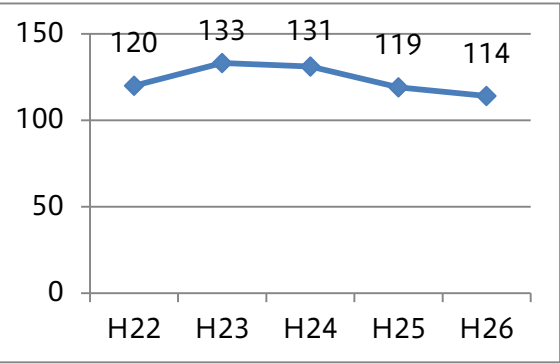
正看護師 19 名

人工透析室師長 竹本 直美

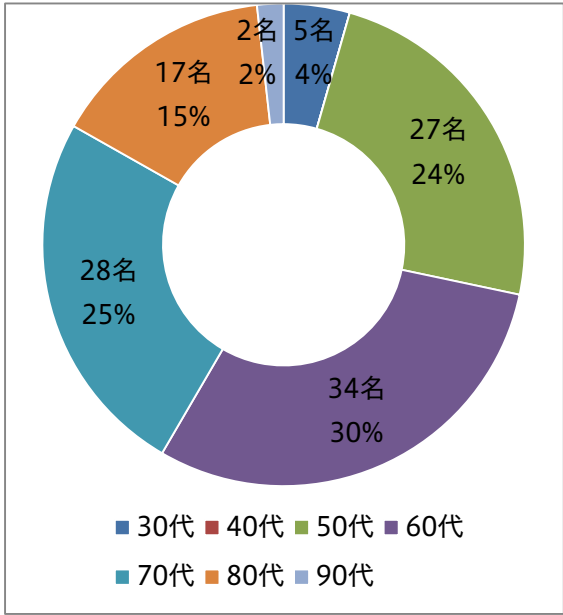
看護助手 2 名

業務実績

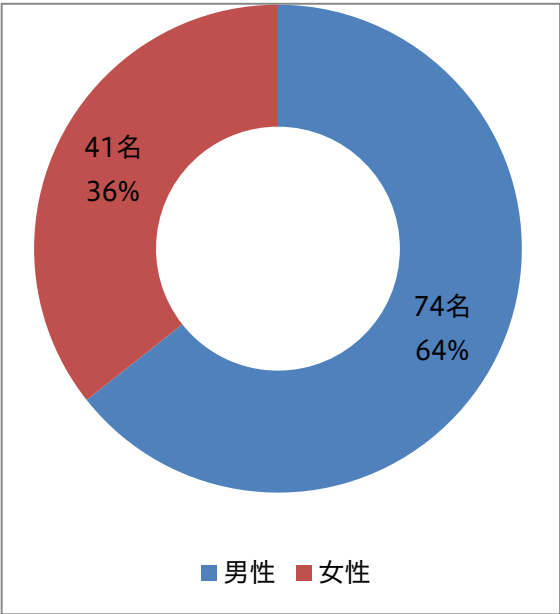
透析患者総数推移



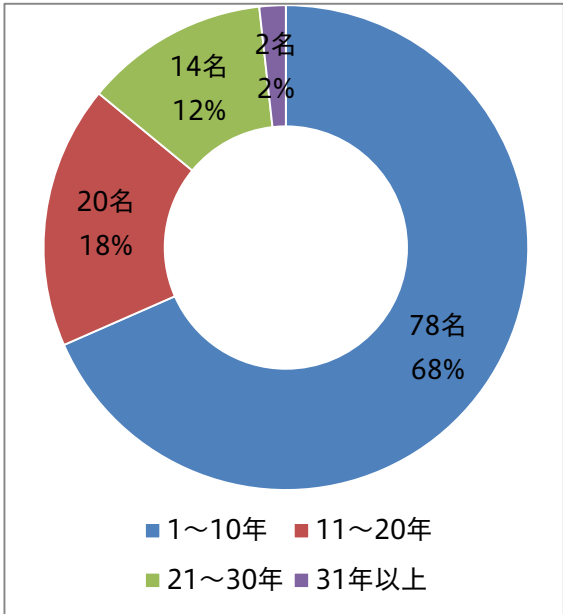
透析患者年代構成比



透析患者男女構成比



透析患者透析経年構成比



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
採血結果表の改善を試みて～自己管理意欲の向上を目指して～	第 59 回日本透析医学会・学術集会・総会	神戸	2014 年 6 月 13 ～ 6 月 15	田下茜・銘里礼子
透析導入患者指導の取り組み～透析導入期パスを活用して～	第 47 回九州人工透析研究会	大分	2014 年 11 月 30 日	新里恭子・米須真由美
災害対策の取り組み～第 2 報、アクションカードでの訓練を通して～	第 33 回沖縄県人工透析研究会	沖縄	2015 年 3 月 8 日	與那覇直子・久場和子
セッション 9 座長	第 33 回沖縄県人工透析研究会	沖縄	2015 年 3 月 8 日	竹本直美

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
助手研修	看護部	院内	4/25・5/23	仲松初美・仲村多鶴代
領域研修(感染)	看護部	院内	5/30・6/20・7/17・7/21	米須真由美
領域研修(感染)	看護部	院内	9/18・10/16・11/20・12/18	平良美幸
中堅看護師研修	看護部	院内	6/19・7/18・8/22・9/18・10/16・11/21	宮城幸江
領域研修(安全)	看護部	院内	6/26・8/28・10/23・12/25	伊保和加子
領域研修(安全)	看護部	院内	7/24・9/25・11/27・12/25	瀬底真由美
領域研修(慢性疾患)	看護部	院内		屋良淳子
領域研修(DM)	看護部	院内		山内敦子
患者への心がまえ / 接遇について / 血圧管理について	協和発酵キリン	透析室	2015/4/30・5/2・5/28・	田下茜・竹本直美・赤嶺美智江・宮城幸江・久場和子・瀬底真由美・伊保和加子・屋良淳子・米須真由美・佐次田桃子・平良美幸・與那覇直子・山内敦子・砂川香澄・柴野川盛広・上原千晶
オンライン HD について	臨床工学技士	透析室	5 月 30 日	島袋さおり・久場和子・砂川香澄・瀬底真由美・宮城幸江・銘里礼子・與那覇直子・屋良淳子・山内敦子・赤嶺美智江・上原千晶・田下茜・伊保和加子・竹本直美
フットケアについて	中外製薬	透析室	6 月 18 日	平良美幸・宮城幸江・竹本直美・與那覇直子・久場和子・砂川香澄・瀬底真由美・屋良淳子・銘里礼子・新里恭子・田下茜・竹本直美・赤嶺美智江・島袋さおり
役職者対象メンタルヘルス研修	衛生委員会	院内	6 月 12 日	柴野川盛広・宮城幸江・竹本直美
		院内	6 月 18 日	柴野川盛広・宮城幸江・竹本直美
メンタルヘルス研修(全職員対象)	衛生委員会	院内	6 月 23 日	清水史恵
フットケア研修	看護協会	沖縄	6 月 24 日	佐次田桃子・砂川香澄
リオナ勉強会	鳥居薬品	透析室	6 月 25 日	瀬底真由美・山内敦子・屋良淳子・赤嶺美智江・清水史恵・砂川香澄・米須真由美・島袋さおり・銘里礼子・與那覇直子・竹本直美・上原千晶
DMAT 研修報告会		院内	7 月 9 日	赤嶺美智江・久場和子・島袋さおり・清水史恵・瀬底真由美・宮城幸江・屋良淳子・竹本直美

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
カリウム補充方法について（勉強会）	臨床工学技士	透析室	7 月 14 日	島袋さおり・上原千晶・赤嶺美智江・久場和子・瀬底真由美・伊保和加子・山内敦子・屋良淳子・佐次田桃子・米須真由美・平良美幸・砂川香澄・新里恭子・與那覇直子・清水史恵
医療ガス安全管理講習会	医療ガス安全委員会	院内	7 月 31 日	平良美幸
クリニカルパス大会	クリニカルパス委員会	院内	8 月 13 日	清水史恵・竹本直美
医療安全勉強会	医療安全委員会	院内	8 月 20 日	栄野川盛広・久場和子・島袋さおり・清水史恵・瀬底真由美・屋良淳子
ME 勉強会（ダイアライザについて）	臨床工学技士	透析室	8 月 13 日	島袋さおり・米須真由美・宮城幸江・與那覇直子・赤嶺美智江・佐次田桃子・砂川香澄・新里恭子・清水史恵・瀬底真由美・久場和子・伊保和加子・竹本直美・栄野川盛広
ME 勉強会（ASV について）	臨床工学技士	透析室	8 月 20 日	佐次田桃子・赤嶺美智江・伊保和加子・清水史恵・竹本直美・久場和子・砂川香澄・新里恭子・島袋さおり・屋良淳子・上原千晶・田下茜・瀬底真由美
感染対策講演会	感染対策委員会	院内	9 月 10 日	平良美幸・宮城幸江・竹本直美
メンタルヘルス研修（全職員対象）	衛生委員会	院内	9 月 11 日	新里恭子・田下茜・山内敦子
DMAT 研修&訓練 伝達講習会		院内	9 月 19 日	赤嶺美智江・久場和子・島袋さおり・平良美幸
血液浄化療法について	臨床工学技士	透析室	10 月 3 日	上原千晶・田下茜・屋良淳子・宮城幸江・伊保和加子・山内敦子・栄野川盛広・島袋さおり
院内研修発表会看護部予選	院内研究発表実行委員会	院内	10 月 17 日	赤嶺美智江・伊保和加子・栄野川盛広・佐次田桃子・島袋さおり・清水史恵・平良美幸・與那覇直子・田下茜・宮城幸江・竹本直美
院内研究発表会医療技術部予選	院内研究発表実行委員会	院内	10 月 24 日	米須真由美・伊保和加子・久場和子・平良美幸・田下茜
中堅看護師研修 発表会	看護部	院内	11 月 27 日	栄野川盛広・佐次田桃子・島袋さおり・新里恭子・宮城幸江・屋良淳子・竹本直美
ボンビバ 勉強会	中外製薬	透析室	12 月 3 日	上原千晶・久場和子・島袋さおり・與那覇直子・清水史恵・宮城幸江・赤嶺美智江・山内敦子・瀬底真由美・米須真由美・田下茜・砂川香澄
メンタルヘルス研修（全職員対象）	衛生委員会	院内	1 月 16 日	瀬底真由美

実績報告資料等



九州人工透析研究会にて

手術室・中央材料室

手術室・中央材料室師長 中野 久乃

職員数

総数 21 名

正看護師 16 名

准看護師 1 名

看護助手 4 名

業務実績

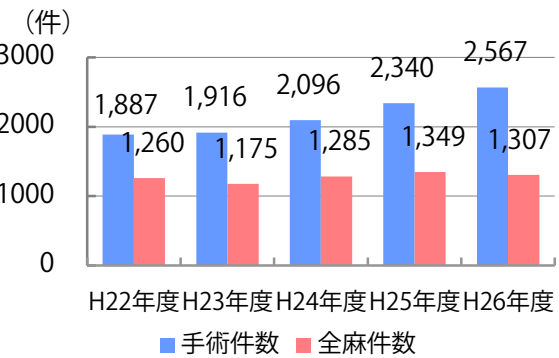
月平均手術件数

210 件

1 日平均手術件数

9 件（MAX 18 件）

手術実績



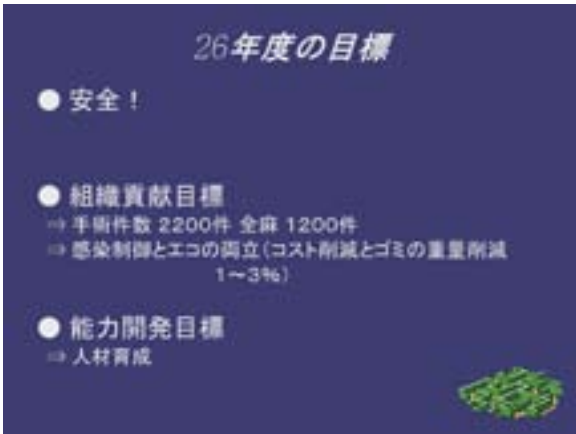
活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
あなたの看護は繋がっていますか		院外	2014 年 4 月 25 日	比嘉憲貴、東恩納小百合、富田賢一、新垣徹司
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	院外	2014 年 5 月 14 日	大城星乃、田原美郁
日本手術看護学会 周術期セミナー	日本手術看護学会	院外	2014 年 5 月 15 日	富田賢一、松川幸樹
助手研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 5 月 23 日	赤池智子
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	院外	2014 年 5 月 28 日	大城星乃、田原美郁
看護連盟総会	沖縄県看護協会	院外	2014 年 6 月 8 日	大城祥子、座喜味温子
中堅研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 6 月 20 日	富田賢一
3 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 6 月 27 日	大城星乃、田原美郁
助手研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 6 月 28 日	福島明美
リフレッシュ研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 7 月 11 日	大城星乃、田原美郁、松川幸樹
中堅研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 7 月 18 日	富田賢一
日本手術看護学会 九州地区分会	日本手術看護学会	院内	2014 年 7 月 26 日	比嘉憲貴、富田賢一、安達暁美、大城星乃、久手堅緑、古堅ユミ
2 年目研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 8 月 15 日	松川幸樹
中堅研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 8 月 20 日	富田賢一
中堅研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 9 月 17 日	富田賢一
6 か月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 9 月 19 日	大城星乃、田原美郁

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 10 月 3 日	仲西まゆみ
師長、主任合同研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 10 月 8 日	東恩納小百合、比嘉憲貴、中野久乃
周術期管理セミナー	日本麻酔科学会	院外	2014 年 10 月 10 日	富田賢一、松川幸樹
中堅研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 10 月 15 日	富田賢一
中堅看護師研修	実践報告会	院内	2014 年 11 月 21 日	富田賢一、中野久乃
日本手術看護学会	「体温管理」	院外	2014 年 11 月 29 日	比嘉憲貴、東恩納小百合
1 年目症例報告会		院内	2014 年 12 月 13 日	大城星乃、田原美郁
2 年目症例報告会		院内	2014 年 12 月 19 日	松川幸樹
1 年目フォローアップ研修		院内	2015 年 2 月 27 日	大城星乃、田原美郁
師長、主任合同研修		院内	2015 年 3 月 4 日	東恩納小百合、比嘉憲貴、中野久乃
日本手術看護学会九州地区分会		院外	2015 年 3 月 7 日	久手堅緑、前村明菜、小濱千絵、安達暁美、名波唯奈、大城星乃、神里歩、許田敏行、富田賢一

実績報告資料等



ICU

ICU 師長 安村 公均

職員数

総数 24 名

正看護師 23 名

看護助手 1 名

月平均入院患者状況

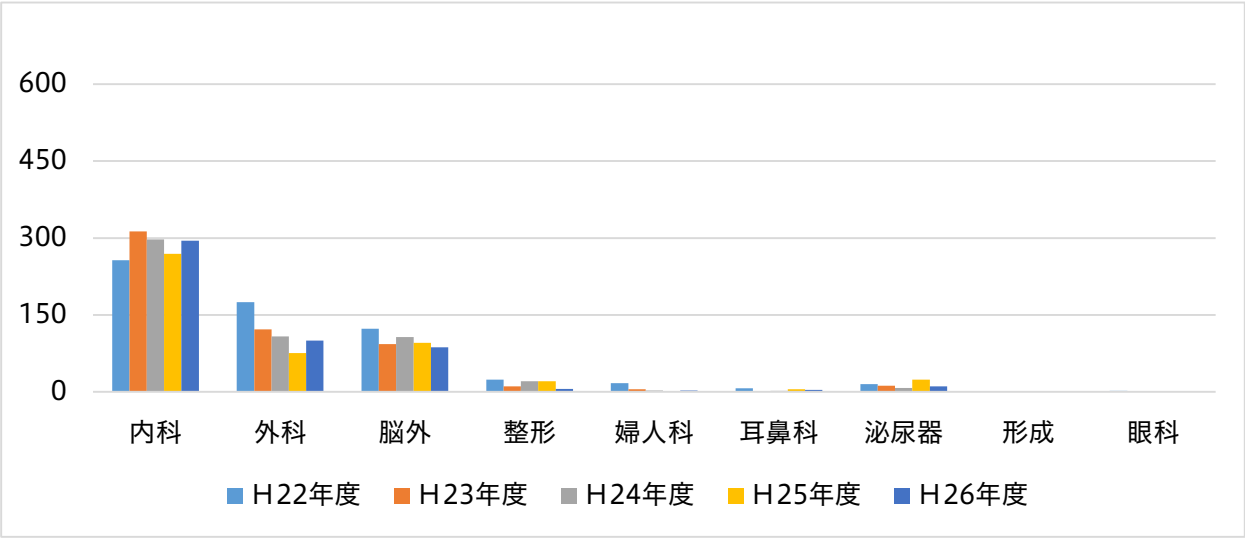
新規入院患者数 28.5 名

病床利用数 4.6 床

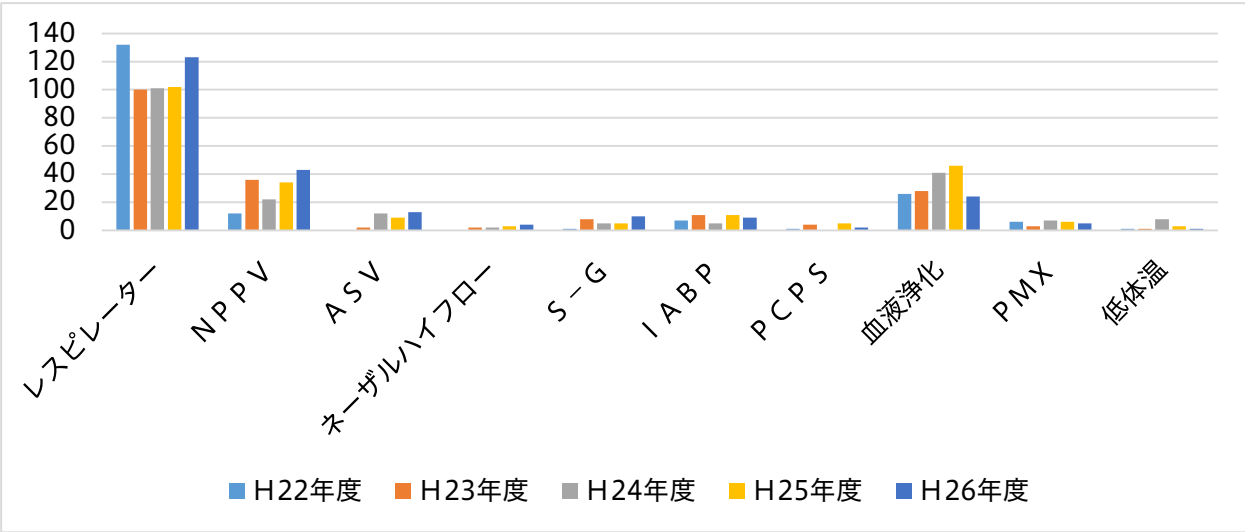
在院日数 7.8 日

業務実績

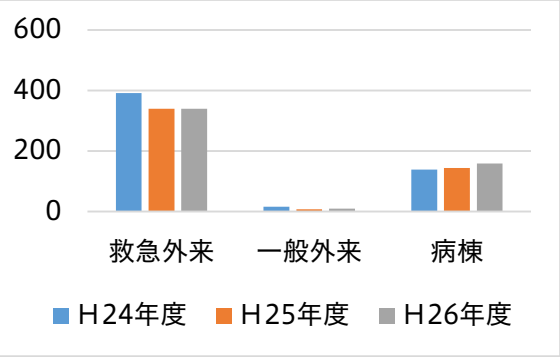
科別入院患者数



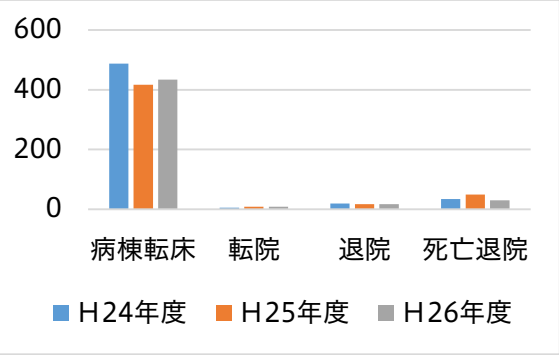
特殊治療の動向



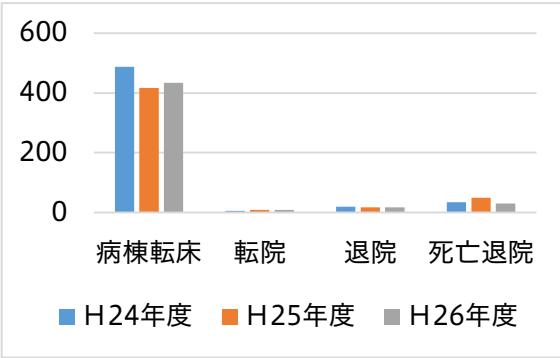
入室経路



退院経路



CPA 件数（死亡数）動向



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
早期リハビリへの取り組み	日本集中治療医学会	京都	2014 年 2 月 9 ～ 2 月 11 日	塩屋秀子、又吉愛美、勝連しのぶ

活動実績

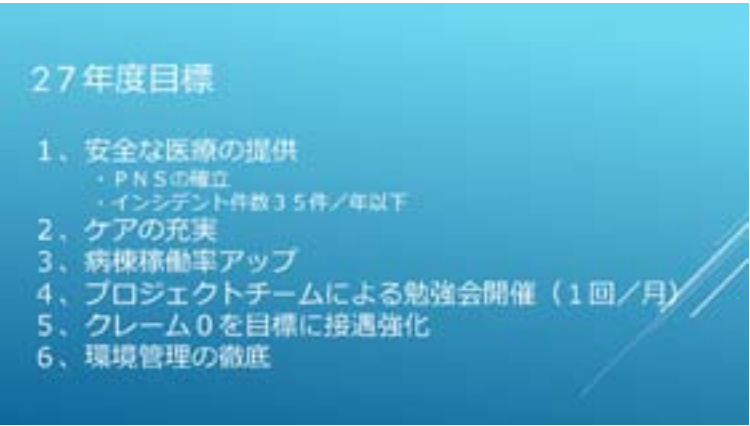
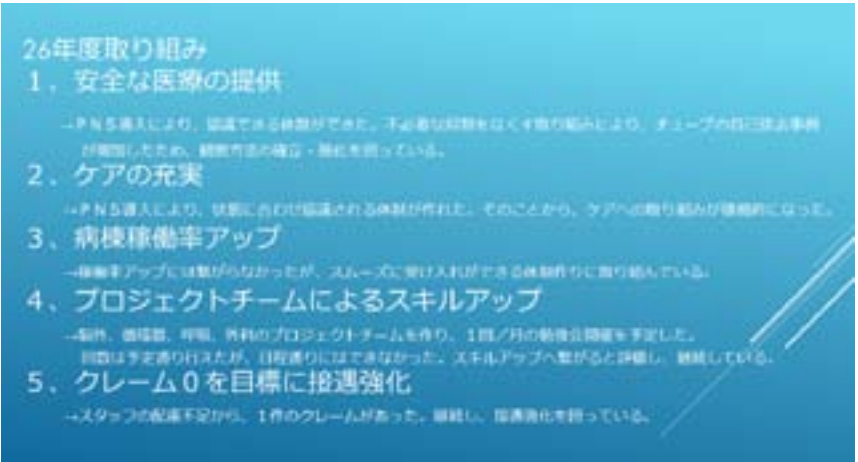
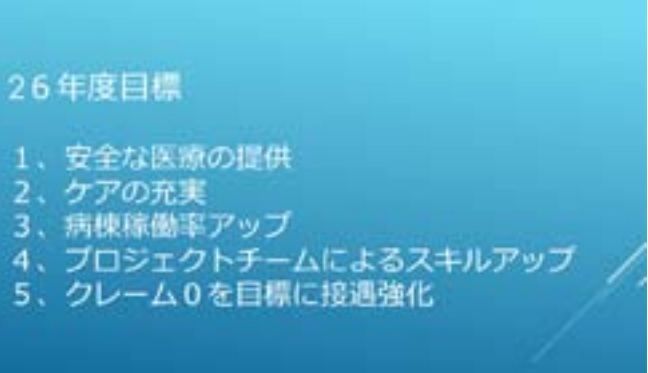
院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
BLS	救急外来 /ICU	院内	2013 年 4 月 23 日	安村公均、山城奈保子
プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 5 月 7 日	玉木紀光、松田早希、片桐巳緒
BLS	救急外来 /ICU	院内	2013 年 5 月 17 日	安村公均、田畑佑希子
BLS	救急外来 /ICU	院内	2013 年 5 月 27 日	安村公均、山城奈保子、仲尾寿々奈
助手研修	救急外来 /ICU	院内	2013 年 5 月 31 日	宮里ともみ、与那嶺敬子
プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 6 月 4 日	玉木紀光、松田早希、片桐巳緒
呼吸療法士育成研修	沖縄県呼吸器学会	院外	2013 年 6 月 8 日	塩屋秀子、新川愛美
BLS	救急外来 /ICU	院内	2013 年 6 月 15 日	安村公均、山城奈保子、田畑佑希子、仲尾寿々奈
感染領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 6 月 20 日	仲真菜都美
3 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 6 月 21 日	坂野公則、新垣友香、前原ゆう子
BLS	救急外来 /ICU	院内	2013 年 6 月 24 日	安村公均、仲尾寿々奈
安全領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 6 月 27 日	山城奈保子
助手研修	救急外来 /ICU	院内	2013 年 6 月 28 日	新里由美
プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 7 月 2 日	玉木紀光、松田早希、片桐巳緒

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
糖尿病領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 7 月 5 日	又吉愛美
呼吸領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 7 月 9 日	前島真理、玉城裕美、洲鎌正子、宮里伸也
感染領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 7 月 12 日	仲真菜都美
ICU 新人看護師応援プログラム	沖縄県クリティカルケア看護研究会	院外	2013 年 7 月 17 日	坂野公則、新垣友香、前原ゆう子
糖尿病領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 7 月 19 日	又吉愛美
安全領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 7 月 25 日	田畑佑希子
BLS	救急外来 /ICU	院内	2013 年 7 月 27 日	安村公均、山城奈保子
BLS	救急外来 /ICU	院内	2013 年 7 月 29 日	安村公均、仲尾寿々奈
プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 8 月 6 日	玉木紀光、松田早希、片桐巳緒
呼吸領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 8 月 13 日	前島真理、玉城裕美、洲鎌正子、宮里伸也
2 年目研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 8 月 16 日	謝花奈緒
感染領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 8 月 20 日	仲真菜都美
BLS	救急外来 /ICU	院内	2013 年 8 月 25 日	安村公均、田畑佑希子、仲尾寿々奈
安全領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 8 月 29 日	山城奈保子
BLS	救急外来 /ICU	院内	2013 年 8 月 31 日	安村公均、山城奈保子、仲尾寿々奈
呼吸領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 9 月 10 日	前島真理、玉城裕美、洲鎌正子、宮里伸也
感染領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 9 月 18 日	仲真菜都美
6 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 9 月 20 日	坂野公則、新垣友香、前原ゆう子
ICU 新人看護師応援プログラム	沖縄県クリティカルケア看護研究会	院外	2013 年 9 月 25 日	坂野公則、新垣友香、前原ゆう子
安全領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 9 月 26 日	田畑佑希子
師長・主任合同会議	看護部	院内	2013 年 10 月 8 日	安村公均、洲鎌正子
プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 10 月 11 日	玉木紀光、松田早希、片桐巳緒
感染領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 10 月 16 日	玉城玲奈
BLS	救急外来 /ICU	院内	2013 年 10 月 19 日	安村公均、山城奈保子
安全領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 10 月 24 日	山城奈保子
BLS	救急外来 /ICU	院内	2013 年 10 月 28 日	安村公均、仲尾寿々奈
BLS	救急外来 /ICU	院内	2013 年 11 月 2 日	安村公均、田畑佑希子
呼吸領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 11 月 12 日	前島真理、玉城裕美、洲鎌正子、宮里伸也
ICU 新人看護師応援プログラム	沖縄県クリティカルケア看護研究会	院外	2013 年 11 月 13 日	坂野公則、新垣友香、前原ゆう子
3 年目研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 11 月 15 日	仲尾寿々奈、安村公均
感染領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 11 月 20 日	玉城玲奈
中堅看護師研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 11 月 25 日	玉木紀光、安村公均
安全領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 11 月 28 日	田畑佑希子
呼吸領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 12 月 3 日	前島真理、玉城裕美、洲鎌正子、宮里伸也
感染領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 12 月 18 日	玉城玲奈
安全領域研修	看護部教育委員会	院内	2013 年 12 月 26 日	山城奈保子
中堅看護師研修	看護部教育委員会	院内		玉木紀光、安村公均
感染領域研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 1 月 15 日	玉城玲奈
2 年目症例発表会	看護部教育委員会	院内	2014 年 1 月 17 日	謝花奈緒
呼吸領域研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 1 月 21 日	洲鎌正子
ICU 新人看護師応援プログラム	沖縄県クリティカルケア看護研究会	院外	2014 年 1 月 22 日	坂野公則、新垣友香、前原ゆう子
中堅看護師研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 1 月 23 日	玉木紀光、安村公均
プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 1 月 26 日	仲尾寿々奈、阿部誠、前島真理
安全領域研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 1 月 29 日	田畑佑希子

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
1 年目症例発表会	看護部教育委員会	院内	2014 年 2 月 14 日	坂野公則、新垣友香、前原ゆう子
中堅看護師研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 2 月 21 日	玉木紀光、安村公均
BLS	救急外来 /ICU	院内	2014 年 2 月 24 日	安村公均、山城奈保子
1 年目フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 2 月 27 日	玉木紀光、松田早希、片桐巳緒
師長・主任合同会議	看護部	院内	2014 年 3 月 4 日	安村公均、洲鎌正子
BLS	救急外来 /ICU	院内	2014 年 3 月 9 日	安村公均、仲尾寿々奈
ICU 新人看護師応援プログラム	沖縄県クリティカルケア看護研究会	院外	2014 年 3 月 12 日	坂野公則、新垣友香、前原ゆう子
中堅看護師研修	看護部教育委員会	院内	2014 年 3 月 14 日	玉木紀光、安村公均
中堅看護師研修 実践報告会	看護部教育委員会	院内	2014 年 3 月 20 日	玉木紀光、安村公均
BLS	救急外来 /ICU	院内	2014 年 3 月 29 日	安村公均

実績報告資料等



西 2 階病棟（産婦人科）

西 2 階病棟師長 諸喜田 久美

職員数

総数 28 名

助産師 18 名

正看護師 7 名

准看護師 1 名

看護助手 2 名

クラーク 1 名

月平均入院患者状況

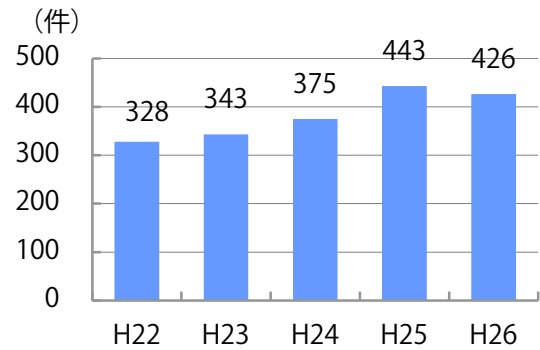
新規入院患者数 80.8 名

病床利用数 17.3 床

在院日数 6.1 日

業務実績

分娩件数



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
業務改善報告会	産婦人科外来、保健指導見直し～助産外来開設に向けて～	当院	2014 年 10 月 17 日	平屋敷加代

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者初エンタージョン 環境整備・NST 褥瘡	看護部教育委員	当院	2014 年 4 月 4 日	成田明日香
清潔操作・吸引吸入 心電図	看護部教育委員	当院	2014 年 4 月 7 日	平屋敷加代、具志堅理沙
新入職者初エンタージョン	看護部教育委員会	当院	2014 年 4 月 11 日	我那覇美帆、具志堅理沙
助手研修①	看護部教育委員会	当院	2014 年 4 月 25 日	宮城美和子
看護研究入門編	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 5 月 10 日	我那覇美帆、上原ちえみ
心電図モニター研修会	看護部教育委員会	当院	2014 年 5 月 29 日	上原裕美、玉栄陽子、狩俣愛
領域別感染①	看護部教育委員	当院	2014 年 5 月 30 日	玉栄陽子
フィジカルアセスメント	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 6 月 2 日	長尾理恵

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
医療安全の動向と法的責任	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 6 月 7 日	上原裕美、仲地春代
演習で学ぶ看護研究Ⅰ	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 6 月 14 日	我那覇美帆、上原ちえみ
アクティブバース	看護部教育委員	当院	2014 年 6 月 15 日	玉栄陽子、狩俣愛、上原裕美
中堅看護師研修	看護部教育委員	当院	2014 年 6 月 19 日	仲地春代 諸喜田久美
県看護総会	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 6 月 21 日	諸喜田久美
領域別研修化学療法①	看護部教育委員	当院	2014 年 6 月 24 日	成田明日香、東初美
中部地区ハイリスク妊産婦連携会議	中部保健所	沖縄市	2014 年 6 月 24 日	諸喜田久美
領域別研修 安全	看護部教育委員	当院	2014 年 6 月 25 日	原順子、仲地春代
県看護連盟総会	沖縄県看護連盟		2014 年 6 月 28 日	諸喜田久美
新生児蘇生講習会	沖縄県医師会	南風原町	2014 年 7 月 5 日	原順子、村吉江梨花
領域別研修 感染①	看護部教育委員	当院	2014 年 7 月 17 日	玉栄陽子
中堅看護師研修	看護部教育委員	当院	2014 年 7 月 18 日	仲地春代 諸喜田久美
あがりかぜセミナー 看護記録			2014 年 7 月 19 日	諸喜田久美
領域別研修化学療法②	看護部教育委員	当院	2014 年 7 月 22 日	成田明日香、東初美
領域別研修 安全	看護部教育委員	当院	2014 年 7 月 24 日	上原裕美
領域別研修 救急	看護部教育委員	当院	2014 年 7 月 25 日	長尾理恵
院内カンファランス大会	院内カンファランス委員会	当院	2014 年 8 月 13 日	又吉志奈子
看護現場における看護倫理とは		南風原町	2014 年 8 月 14 日	諸喜田久美
2 年目研修	看護部教育委員	当院	2014 年 8 月 15 日	山城杏奈、成田明日香
中堅看護師研修②	看護部教育委員	当院	2014 年 8 月 20 日	仲地春代、諸喜田久美
領域別研修 感染④	看護部教育委員	当院	2014 年 8 月 21 日	玉栄陽子
中堅看護師研修③	看護部教育委員	当院	2014 年 8 月 22 日	仲地春代、諸喜田久美
領域別研修化学療法③	看護部教育委員	当院	2014 年 8 月 26 日	成田明日香、東初美
領域別研修 安全	看護部教育委員	当院	2014 年 8 月 28 日	原順子、仲地春代
中堅看護師研修④	看護部教育委員	当院	2014 年 9 月 18 日	仲地春代、諸喜田久美
6 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員	当院	2014 年 9 月 19 日	我那覇美帆
領域別研修 化学療法④	看護部教育委員	当院	2014 年 9 月 22 日	成田明日香、東初美
領域別研修 安全②	看護部教育委員	当院	2014 年 9 月 25 日	上原 裕美
第 48 回ろうあ者体育大会			2014 年 9 月 27 日	仲地春代
分娩施設における災害発生時の対応マニュアル作成ガイドの活用	看護協会	南風原町	2014 年 9 月 27 日	諸喜田久美我那覇美帆
領域別研修 DM ①	看護部教育委員	当院	2014 年 9 月 30 日	仲地春代 山城杏奈
師長・主任合同研修	看護部教育委員	当院	2014 年 10 月 7 日	諸喜田久美・平屋敷加代・成田明日香
領域別研修 救急	看護部教育委員	当院	2014 年 10 月 14 日	山城杏奈
領域別研修 感染②	看護部教育委員	当院	2014 年 10 月 16 日	上原 裕美
中堅看護師研修	看護部教育委員	当院	2014 年 10 月 16 日	仲地春代 諸喜田久美
院内看護研究 業務改善報告会		当院	2014 年 10 月 17 日	平屋敷加代
領域別研修 安全③	看護部教育委員	当院	2014 年 10 月 24 日	上原裕美
領域別研修 DM ②	看護部教育委員	当院	2014 年 10 月 24 日	仲地春代 山城杏奈
これからの時代に求められる看護記録	看護協会	南風原町	2014 年 10 月 25 日	長尾理恵 諸喜田久美
領域別研修 化学療法⑤	看護部教育委員	当院	2014 年 10 月 28 日	成田明日香、東初美
演習で学ぶ看護研究Ⅰ	看護協会	南風原町	2014 年 11 月 1 日	我那覇美帆 上原ちえみ
国際助産師の日	助産師会	沖縄市	2014 年 11 月 3 日	我那覇美帆、金城嘉奈子
3 年目研修	看護部教育委員	当院	2014 年 11 月 14 日	狩俣愛 上原裕美 諸喜田久美
新生児蘇生講習会	沖縄県医師会	南風原町	2014 年 11 月 22 日	上原裕美
中堅看護師研修	看護部教育委員	当院	2014 年 11 月 27 日	仲地春代 諸喜田久美
領域別研修 安全③	看護部教育委員	当院	2014 年 11 月 28 日	原順子 上原裕美

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
領域別研修 感染④	看護部教育委員	当院	2014 年 12 月 18 日	上原裕美
2 年目症例発表	看護部教育委員	当院	2014 年 12 月 19 日	山城杏奈 平屋敷加代
中堅看護師研修報告会	看護部教育委員	当院	2014 年 11 月 27 日	仲地春代 諸喜田久美
周産期から取り組む禁煙支援		うるま市	2015 年 1 月 8 日	狩俣愛 諸喜田久美
継続した禁煙支援をどう行うか		南風原町	2015 年 1 月 9 日	狩俣愛
演習で学ぶ看護研究Ⅰ	沖縄県看護協会	南風原町	2015 年 1 月 24 日	我那覇美帆 上原ちえみ
中部地区ハイリスク妊産婦地域連携会議	中部地区保健所	沖縄市	2015 年 1 月 27 日	諸喜田久美
平成 27 年度プリセプタ・研修	看護部教育委員	当院	2015 年 2 月 6 日	上原裕美
演習で学ぶ看護研究Ⅰ	沖縄県看護協会	南風原町	2015 年 2 月 7 日	我那覇美帆 上原ちえみ
助産師の倫理的意思決定に関する研修会	沖縄県看護協会	南風原町	2015 年 2 月 28 日	又吉志奈子

実績報告資料等



3 階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科）

3 階病棟師長 外間 真紀子

職員数

総数 39 名

正看護師 32 名

看護助手 6 名

准看護師 1 名

月平均入院患者状況

新規入院患者数 124.1 名

病床利用数 53.3 床

在院日数 12.6 日

主な手術と件数

整形外科 371 件

大腿骨頸部骨折

靱帯損傷

大腿骨転子部骨折

脳神経外科 62 件

外傷性慢性硬膜下血腫

くも膜下出血

脳出血

形成外科 59 件

皮膚潰瘍

褥瘡

顔面骨折

眼科 229 件

白内障

水疱性角膜症

翼状片

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
病棟で取り組む転倒防止策の実態と課題 アンケート調査を行って	第 30 回沖縄県看護研究学会	南風原町	2015 年 2 月 21 日	渡具知つばさ、山城優子

活動実績

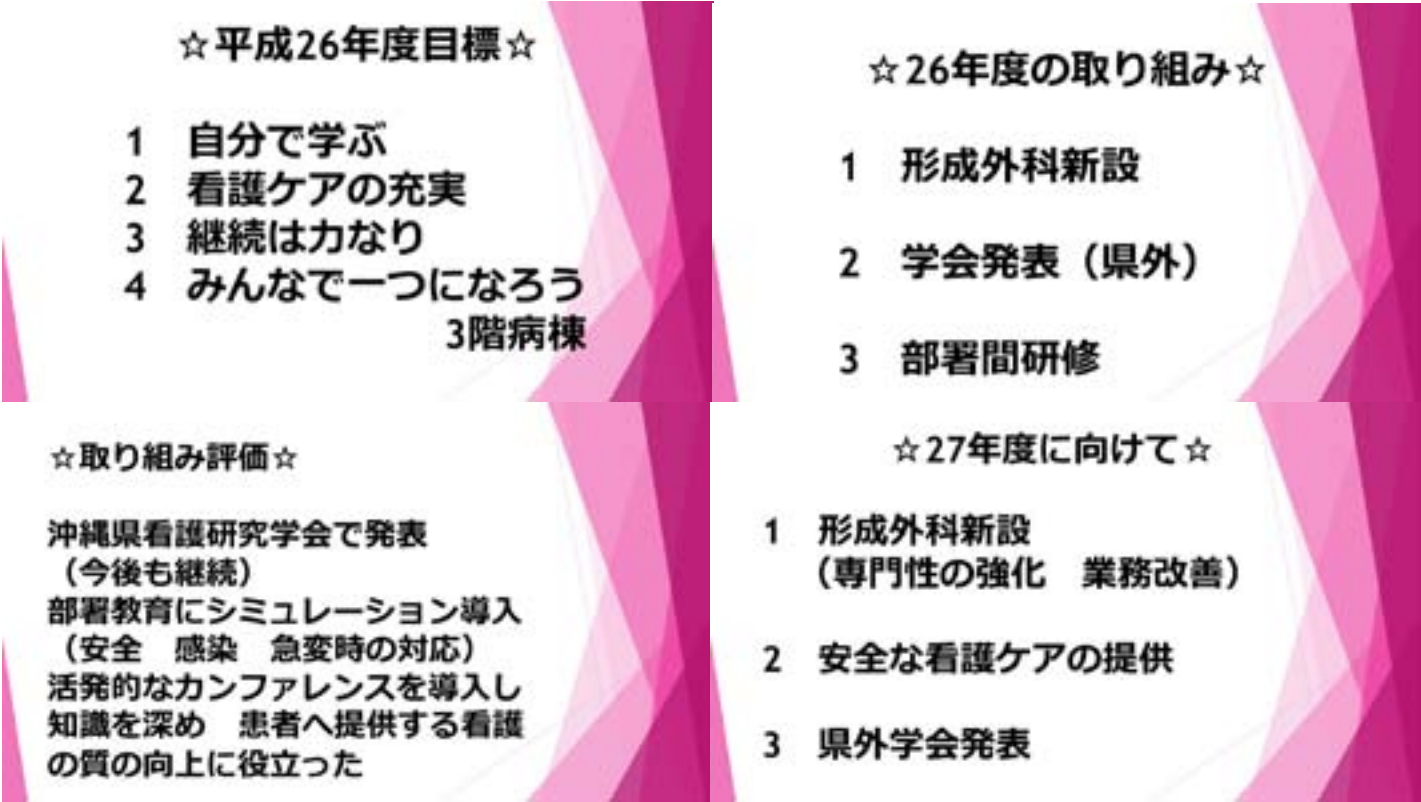
院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	看護部	当院	2014 年 4 月 1 日～	宇地原麗奈、名波美香、金城実花、平良勝郎
助手研修①	看護部	当院	2014 年 4 月 25 日	島袋涼花、伊良波彩花
院内BL S講習会		当院	2014 年 5 月 10 日	仲宗根夏子
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 5 月 21 日	平良勝郎、金城実花

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
助手研修②	看護部	当院	2014 年 5 月 23 日	新里優子、小波津忍
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 5 月 28 日	名波美香、宇地原麗奈
モニター講習会		当院	2014 年 5 月 29 日	當眞さゆり
領域研修感染	看護部	当院	2014 年 5 月 30 日	宮里誠、松村優美
プリセプター報告会	看護部	当院	2014 年 5 月 30 日	足立聖子、仲宗根夏子、高良那津子
フィジカルアセスメント	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 6 月 2 日	足立聖子、金城さや子
フィジカルアセスメント	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 6 月 3 日	松村優美、伊敷よし乃
医療安全の動向と法的責任	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 6 月 7 日	渡具知つばさ、山城優子
演習で学ぶ看護研究	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 6 月 14 日	渡具知つばさ、山城優子
中堅看護師能力開発研修	看護部	当院	2014 年 6 月 19 日	當眞さゆり、奥間有太郎
領域研修感染②	看護部	当院	2014 年 6 月 20 日	宮里誠、松村優美
院内BL S講習会		当院	2014 年 6 月 21 日	内原麗奈、名波美香
領域研修安全①	看護部	当院	2014 年 6 月 26 日	渡具知つばさ、山城優子
新人 3 カ月フォローアップ研修	看護部	当院	2014 年 6 月 27 日	金城実花、名波美香、平良勝郎、宇地原麗奈、仲宗根夏子
院内BL S講習会	看護部	当院	2014 年 6 月 28 日	平良勝郎、金城実花
沖縄県看護連盟総会	沖縄県看護連盟	南風原町	2014 年 6 月 28 日	外間真紀子
プリセプター報告会	看護部	当院	2014 年 6 月 30 日	仲宗根夏子、屋宜鮎美
認定看護管理者教育課程（ファーストレベル）	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 7 月 1 日～	外間真紀子
領域研修DM①	看護部	当院	2014 年 7 月 4 日	大城幸江
新人リフレッシュ研修	看護部	うるま市	2014 年 7 月 11 日	屋宜鮎美、平良勝郎、宇地原麗奈、名波美香、金城実花
領域研修感染③	看護部	当院	2014 年 7 月 17 日	松村優美、宮里誠
中堅看護師能力開発研修	看護部	当院	2014 年 7 月 18 日	當眞さゆり、奥間有太郎
プリセプター報告会	看護部	当院	2014 年 7 月 30 日	足立聖子、屋宜鮎美
第 2 回沖縄県緩和ケア研修会	ハートライフ病院	当院	2014 年 8 月 2 日～	知念宏共、桑本佳裕
演習で学ぶ看護研究Ⅱ	沖縄県看護協会	当院	2014 年 8 月 2 日	渡具知つばさ、山城優子
領域研修呼吸基礎①	看護部	当院	2014 年 8 月 8 日	松村優美
2 年目研修	看護部	当院	2014 年 8 月 15 日	松村優美、伊敷よし乃、仲本結里加、久下泰代、川原佐知子
領域研修感染④	看護部	当院	2014 年 8 月 21 日	宮里誠、松村優美
領域研修安全②	看護部	当院	2014 年 8 月 28 日	山城優子、渡具知つばさ
プリセプター報告会	看護部	当院	2014 年 8 月 29 日	高良那津子、屋宜鮎美
重症度医療 看護必要度評価者・院内指導者研修	S－QUE 研究会	南風原町	2014 年 8 月 31 日	大見謝菜々
領域研修DM②	看護部	当院	2014 年 9 月 2 日	大城幸江
中堅看護師能力開発研修	看護部	当院	2014 年 9 月 18 日	當眞さゆり、奥間有太郎
プリセプター研修	看護部	当院	2014 年 10 月 3 日	渡具知つばさ、山城優子
師長・主任合同研修	看護部	当院	2014 年 10 月 7 日	外間真紀子、屋宜鮎美、當眞さゆり
中堅看護師能力開発研修	看護部	当院		當眞さゆり、奥間有太郎
演習で学ぶ看護研究Ⅲ	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 11 月 1 日	渡具知つばさ、山城優子
創傷・褥瘡ケア（基礎編）	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 11 月 6 日	大城幸江、知念宏共
2 年目研修	看護部	当院	2014 年 12 月 19 日	松村優美、伊敷よし乃、仲本結里加、久下泰代、
プリセプター研修	看護部	当院	2015 年 2 月 6 日	渡具知つばさ、山城優子
1 年目症例	看護部	当院	2015 年 2 月 13 日	宇地原麗奈、名波美香、金城実花、平良勝郎

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
師長主任合同研修	看護部	当院	2015 年 3 月 3 日	外間真紀子、屋宜鮎美、當眞さゆり

実績報告資料等



3 階新病棟

3 階新病棟師長 安村 公均

職員数

総数 13 名

正看護師 11 名

看護助手 2 名

月平均入院患者状況

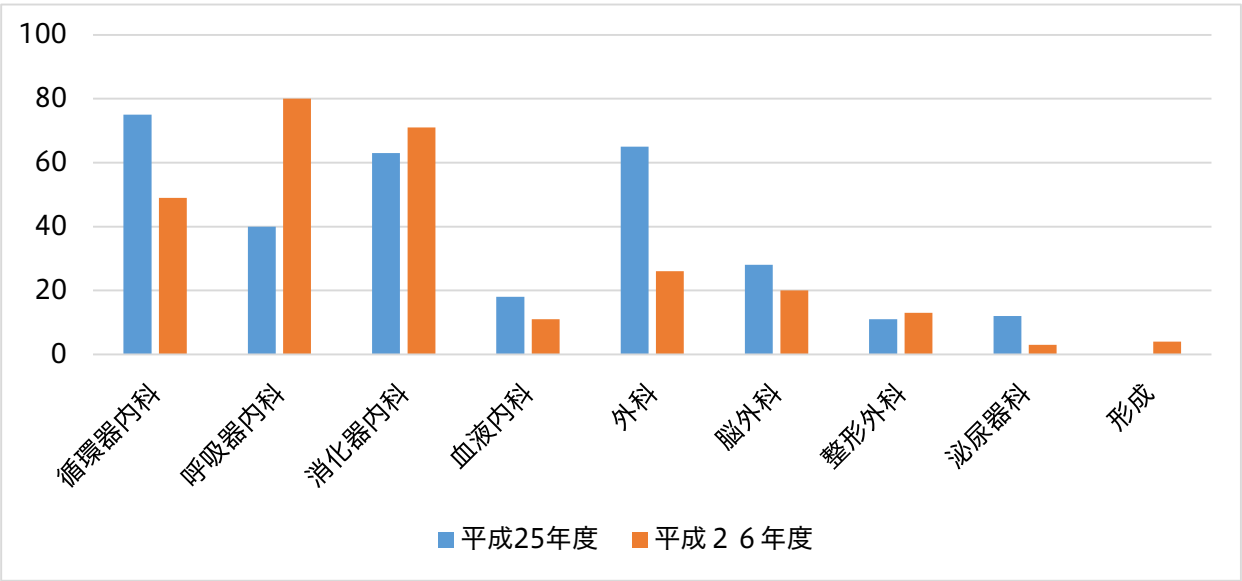
新規入院患者数 17.8 名

病床利用数 5.3 床

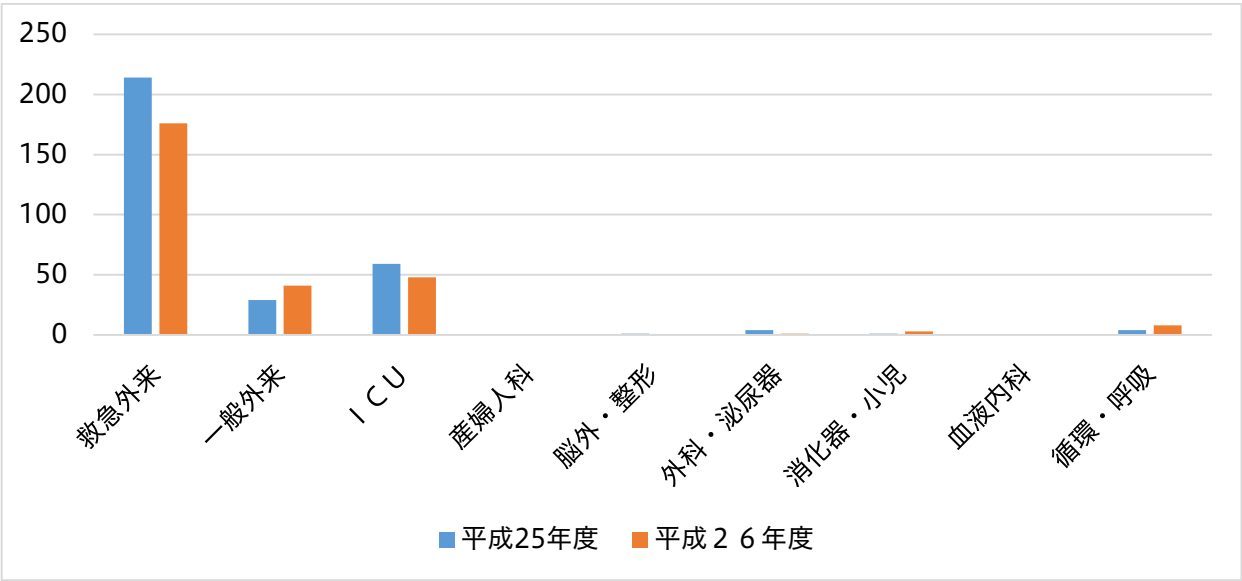
在院日数 15.2 日

業務実績

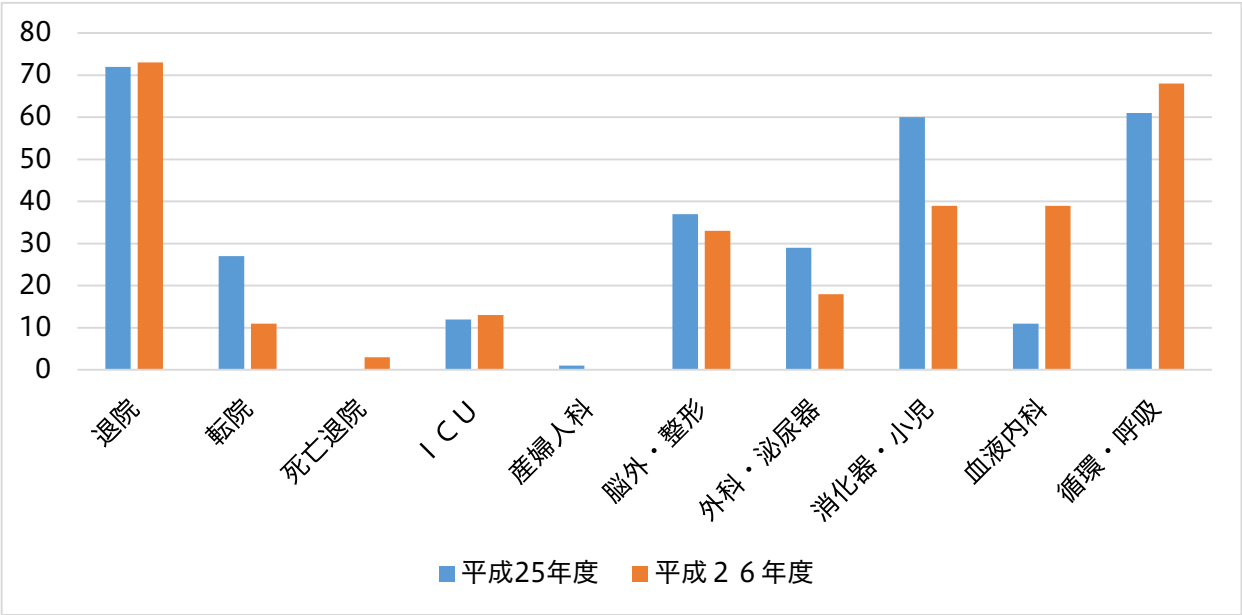
科別入院患者数



入院経路



退出経路



4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）

4 階病棟師長 小橋川 春子

職員数

総数 44 名

正看護師 35 名

准看護師 3 名

看護助手 5 名

クラーク 1 名

月平均入院患者状況

新規入院患者数 102.6 名

病床利用数 50.4 床

在院日数 14.2 日

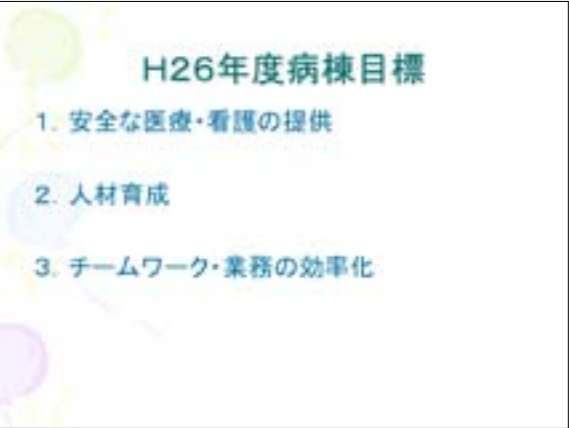
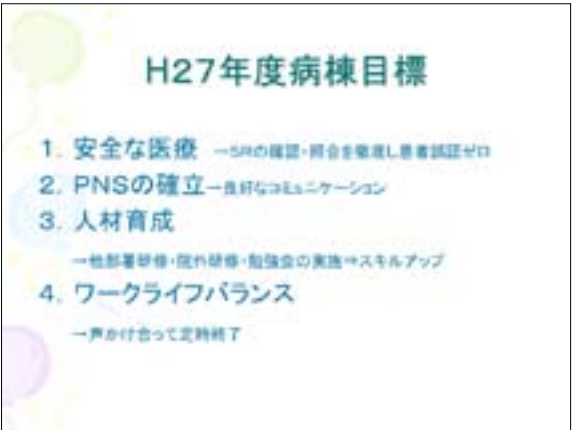
活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
助手研修	看護部	院内	2014 年 4 月 25 日	知花麗奈、友利由真
BLS 研修	救急検討委員会	院内	2014 年 5 月 10 日	高宮里沙、外間幸代
新人リフレッシュ研修	沖縄看護協会	南風原町	2014 年 5 月 14 日	与那嶺美咲、野国夕貴
新人リフレッシュ研修	沖縄看護協会	南風原町	2014 年 5 月 21 日	池原勇弥、新里瀬名
クリティカルパス研修会		大阪	2014 年 5 月 23 日	平良勇
リーダーシップ研修	沖縄看護協会	南風原町	2014 年 5 月 23 日	金城昭子
助手研修	看護部	院内	2014 年 5 月 23 日	稲福愛、謝敷典子、下門尚子
モニター講習	臨床工学課	院内	2014 年 5 月 29 日	林俊介、宮城辰吏、平田いとも
領域研修・感染	看護部	院内	2014 年 5 月 30 日	大城真藍子、玉城亜衣、新里紗希果
医療の安全の動向と法的責任	沖縄看護協会	南風原町	2014 年 6 月 7 日	下地睦、外間幸代
中堅看護師研修	看護部	院内	2014 年 6 月 19 日	平良桐
日本緩和ケア医療学会学術大会「これでいいのだ」	日本緩和医療学会	神戸	2014 年 6 月 19～21 日	赤嶺七海、高宮里沙
領域研修・感染	看護部	院内	2014 年 6 月 20 日	大城真藍子、玉城亜衣、新里紗希果
沖縄県看護協会総会	沖縄看護協会	南風原町	2014 年 6 月 21 日	新地博美
BLS 研修	救急検討委員会	院内	2014 年 6 月 21 日	池原勇弥、新里瀬名
領域研修・化学療法	看護部	院内	2014 年 6 月 24 日	与那覇亜紀子、大城真藍子
領域研修・安全	看護部	院内	2014 年 6 月 26 日	外間幸代、林俊介、川上美和子
3カ月フォローアップ研修	看護部	院内	2014 年 6 月 27 日	野国夕貴、池原勇弥
BLS 研修	救急検討委員会	院内	2014 年 6 月 28 日	野国勇貴、与那嶺美咲
沖縄県看護連盟総会	沖縄県看護連盟	南風原町	2014 年 6 月 28 日	小橋川春子
領域研修・糖尿病	看護部	院内	2014 年 7 月 4 日	岡田さつき
がん看護研修Ⅰ	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 7 月 5 日	高宮里沙、佐藤広美
領域研修・感染	看護部	院内	2014 年 7 月 17 日	大城真藍子、玉城亜衣、新里紗希果
中堅看護師研修	看護部	院内	2014 年 7 月 18 日	平良桐
領域研修・化学療法	看護部	院内	2014 年 7 月 22 日	与那覇亜紀子、大城真藍子
領域研修・医療安全	看護部	院内	2014 年 7 月 24 日	新地博美、下地睦、宮城辰吏
領域研修・救急看護	看護部	院内	2014 年 7 月 25 日	佐藤広美
領域研修・慢性心不全	看護部	院内	2014 年 7 月 26 日	赤嶺七海、外間幸代
沖縄県緩和ケア研修	ハートライフ病院	院内	2014 年 8 月 2 日	高宮里沙

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
卒後フォローアップ研修	那覇看護専門学校	豊見城	2014 年 8 月 7 日	新里瀬名
領域研修・呼吸ケア	看護部	院内	2014 年 8 月 8 日	平田美加
看護現場における倫理とは	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 8 月 14 日	仲宗根恵
2 年目研修	看護部	院内	2014 年 8 月 15 日	新里紗希果、玉城亜衣
領域研修・感染	看護部	院内	2014 年 8 月 21 日	大城真藍子、玉城亜衣、新里紗希果
中堅看護師研修	看護部	院内	2014 年 8 月 22 日	平良桐
領域研修・慢性心不全	看護部	院内	2014 年 8 月 23 日	赤嶺七海、外間幸代
ストーマケアセミナー	琉球興和	宜野湾	2014 年 8 月 23 日	金城昭子、宮城辰吏、天久瑞紀
領域研修・化学療法	看護部	院内	2014 年 8 月 26 日	与那覇亜紀子、大城真藍子
領域研修・医療安全	看護部	院内	2014 年 8 月 28 日	外間幸代、林俊介、川上美和子
領域研修・糖尿病	看護部	院内	2014 年 9 月 2 日	岡田さつき
がん看護Ⅱ	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 9 月 10 日	高宮里沙、佐藤広美
看護職のWLB推進ワーク	沖縄県 J 看護協会	南風原町	2014 年 9 月 11 日	小橋川春子
領域研修・呼吸ケア	看護部	院内	2014 年 9 月 12 日	平田美加
領域研修・感染	看護部	院内	2014 年 9 月 18 日	宮平良太、玉城久美子、島袋千穂
中堅看護師研修	看護部	院内	2014 年 9 月 18 日	平良桐
6 カ月フォローアップ研修	看護部	院内	2014 年 9 月 19 日	野国夕貴、池原勇弥、与那嶺美咲、新里瀬名
領域研修・化学療法	看護部	院内	2014 年 9 月 22 日	与那覇亜紀子、大城真藍子
領域研修・医療安全	看護部	院内	2014 年 9 月 25 日	新地博美、宮城辰吏
医療安全管理者にもとめられるもの	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 9 月 26 日	平良勇
領域研修・慢性心不全	看護部	院内	2014 年 9 月 27 日	外間幸代、赤嶺七海
領域研修・糖尿病	看護部	院内	2014 年 9 月 30 日	平田いとも
師長・主任合同研修	看護部	院内	2014 年 10 月 7 日	小橋川春子、宮城つかさ、金城昭子
認知症高齢者の理解と看護	沖縄県看護協会	南風原町	2014 年 10 月 9 日	金城昭子、平田いとも
領域研修・救急看護	看護部	院内	2014 年月 10 月 14	斉藤路子
領域研修・感染	看護部	院内	2014 年 10 月 16 日	宮平良太、新里紗希、島袋千穂
中堅看護師研修	看護部	院内	2014 年 10 月 17 日	平良桐
領域研修・医療安全	看護部	院内	2014 年 10 月 23 日	外間幸代、林俊介、川上美和子
領域研修・糖尿病	看護部	院内	2014 年月 10 月 24	平田いとも
領域研修・慢性心不全	看護部	院内	2014 年 10 月 25 日	仲宗根恵、赤嶺七海
領域研修・呼吸ケア	看護部	院内	2014 年 11 月 7 日	平田美加
創傷・褥創ケア	沖縄看護協会	南風原町	2014 年 11 月 7 日	宮城つかさ、岡田さつき
3 年目フォローアップ研修	看護部	院内	2014 年 11 月 14 日	林俊介
領域研修・感染	看護部	院内	2014 年 11 月 20 日	宮平良太、島袋千穂
領域研修・慢性心不全	看護部	院内	2014 年 11 月 22 日	仲宗根恵、天久瑞紀
領域研修・呼吸ケア	看護部	院内	2014 年 12 月 12 日	高宮里沙
領域研修・感染	看護部	院内	2014 年 12 月 18 日	宮平良太、島袋千穂
2 年目研修	看護部	院内	2014 年 12 月 19 日	新里紗希果、玉城亜衣
メンタルヘルスケア	沖縄看護協会	南風原町	2014 年 12 月 16 日	金城昭子、仲宗根恵
領域研修・医療安全	看護部	院内	2014 年 12 月 25 日	宮城辰吏
領域研修・慢性心不全	看護部	院内	2014 年 12 月 27 日	仲宗根恵、天久瑞紀
災害と感染対策	沖縄県看護協会	南風原町	2015 年 1 月 17 日	林俊介
院内緩和ケア研修会	ハートライフ病院	院内	2015 年 1 月 31 日	宮城つかさ、与那覇亜紀子、徳元千里
プリセプター研修	看護部	院内	2015 年 2 月 6 日	仲宗根恵、新里紗希果
1 根目症例発表	看護部	院内	2015 年 2 月 13 日	
乳癌学校		南風原町	2015 年 2 月 21 日	宮城つかさ
師長・主任合同研修	看護部	院内	2015 年 3 月 3 日	小橋川春子、平良勇、宮城つかさ、金城昭子

実績報告資料等



5 階病棟（消化器内科・小児科）

5 階病棟師長 米須 智子

職員数

総数 43 名

正看護師 35 名

看護助手 5 名

准看護師 2 名

保育士 1 名

月平均入院患者状況

新規入院患者数 156.1 名

病床利用数 49.7 床

在院日数 9.7 日

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職オリエンテーション	看護部	院内	2014 年 4 月 2 日～4 月 14 日	上原舞、仲宗根律子、仲地美祝、宮里愛香
看護助手研修	看護部	院内	2014 年 4 月 25 日	尾崎聖子、仲村嶺子
BL S 研修	救急外来	院内	2014 年 5 月 10 日	吉川麻香
フレッシュマン研修	看護協会	院外	2014 年 5 月 21 日	上原舞、宮里
看護助手研修	看護部	院内	2014 年 5 月 23 日	島袋加奈恵 金城義乃、新城千加子
リフレッシュ研修	看護協会	院外	2014 年 5 月 28 日	仲地美祝、仲宗根律子
領域別研修（感染）①	看護部	院内	2014 年 5 月 30 日	佐藤寛子
心電図モニター講習会	ハート先生	院内	H26 年 5 月 30 日	近藤祐可、川添貴世、玉城千春
フィジカルアセスメント	看護協会	院外	H26 年 6 月 2 日	南貴博、諸味里佳奈
フィジカルアセスメント	看護協会	院外	H26 年 6 月 3 日	玉城千春
中堅研修①	看護部	院内	2014 年 6 月 19 日	佐藤寛子
領域別研修（感染）②	看護部	院内	2014 年 6 月 20 日	佐藤寛子
部署間研修（内視鏡）	看護部	院内	2014 年 6 月 21 ～7 月 20 日	諸見里佳奈
領域別研修（化学療法）①	看護部	院内	2014 年 6 月 24 日	鈴木千恵、前田利枝子
領域別研修（安全）①	看護部	院内	2014 年 6 月 26 日	知念晶子、我謝要子
3 ヶ月フォローアップ研修	看護部	院内	2014 年 6 月 27 日	上原舞、仲宗根律子、仲地美祝、宮里愛香
領域別研修（DM）	看護部	院内	2014 年 7 月 4 日	近藤祐可
リフレッシュ研修	看護部	院外	2014 年 7 月 11 日	上原舞、仲宗根律子、仲地美祝、宮里愛香、（同伴者2名）近藤祐可川添貴世
感染管理Ⅰ ～感染防止の基礎知識～	看護協会	院外	2014 年 7 月 12 日	佐藤寛子
中堅研修②	看護部	院内	2014 年 7 月 17 日	佐藤寛子
領域別研修（感染③）	看護部	院内	2014 年 7 月 18 日	佐藤寛子
部署間研修（内視鏡）	看護部	院内	2014 年 7 月 21 日～8 月 20 日	與那嶺祐
領域別研修（化学療法②）	看護部	院内	2014 年 7 月 22 日	鈴木千恵、前田利枝子
領域別研修（安全）①	看護部	院内	2014 年 7 月 24 日	伊波佐智恵

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
領域別研修（救急）	看護部	院内	2014 年 7 月 25 日	佐藤寛子
部署間研修（内視鏡）	看護部	院内	2014 年 7 月 21 日～8 月 20 日	諸見里佳奈
		院外	2014 年 7 月 30 日	玉城千春、近藤祐可
領域別研修（呼吸①）	看護部	院内	2014 年 8 月 8 日	赤嶺梓
2 年目研修	看護部	院内	2014 年 8 月 15 日	與那嶺祐、南貴博、諸味里佳奈
院内BL S	看護部	院内	2014 年 8 月 16 日	佐藤寛子
部署間研修（内視鏡）	看護部	院内	2014 年 8 月 21 ～9 月 20 日	與那嶺祐
領域別研修（慢性心不全①）	看護部	院内		与那城茂子
シュミレーション教育の基本的な指導方法	看護協会	院外	2014 年 8 月 22 日～23 日	佐藤寛子
領域別研修（化学療法③）	看護部	院内	2014 年 8 月 26 日	鈴木千恵、前田利枝子
領域別研修（安全）②	看護部	院内	2014 年 8 月 28 日	我謝要子、知念晶子
領域別研修（DM）	看護部	院内	2014 年 9 月 2 日	近藤祐可
WLB 推進研修	沖縄看護協会	院外	H26 年 9 月 11 日～12 日	米須智子
領域別研修（呼吸②）	看護部	院内	2014 年 9 月 12 日	赤嶺梓
領域別研修（感染①）	看護部	院内	2014 年 9 月 18 日	赤嶺梓、嘉陽陽子
中堅研修	看護部	院内	2014 年 9 月 18 日	佐藤寛子
6 ヶ月フォローアップ研修	看護部	院内	2014 年 9 月 19 日	上原舞、仲宗根律子、仲地美祝、宮里愛香
部署間研修	看護部	院内	2014 年 9 月 21 日～10 月 20 日	南貴博
領域別研修（化学療法④）	看護部	院内	2014 年 9 月 22 日	鈴木千恵、前田利枝子
領域別研修（慢性心不全②）	看護部	院内	2014 年 9 月 27 日	与那城茂子
師長主任合同研修	看護部	院内	2014 年 10 月 7 日	米須智子、鈴木千恵
領域別研修（感染②）	看護部	院内	2014 年 10 月 16 日	赤嶺梓、嘉陽陽子
中堅研修	看護部	院内	2014 年 10 月 16 日	佐藤寛子
領域別研修（安全③）	看護部	院内	2014 年 10 月 23 日	我謝要子、知念晶子
領域別研修（DM）	看護部	院内	2014 年 10 月 24 日	川添貴世
領域別研修（化学療法④）	看護部	院内	2014 年 10 月 28 日	鈴木千恵、前田利枝子
領域別研修（呼吸②）	看護部	院内	2014 年 11 月 7 日	赤嶺梓
3 年目フォローアップ研修	看護部	院内	2014 年 11 月 14 日	近藤祐可、川添貴世
領域別研修（感染③）	看護部	院内	2014 年 11 月 20 日	赤嶺梓、嘉陽陽子
中堅研修	看護部	院内	2014 年 11 月 27 日	佐藤寛子
領域別研修（安全①）	看護部	院内	2014 年 11 月 27 日	伊波佐智恵、與那嶺祐
領域別研修（救急）	看護部	院内	2014 年 11 月 28 日	佐藤寛子、前田利枝子
領域別研修（呼吸①）	看護部	院内	2014 年 12 月 12 日	佐藤友美
領域別研修（安全①）	看護部	院内	2014 年 12 月 18 日	伊波佐智恵、與那嶺祐
2 年目フォローアップ研修	看護部	院内	2014 年 12 月 19 日	與那嶺祐、南貴博、諸味里佳奈
BL S（インスト参加）	看護部	院内	2014 年 12 月 20 日	佐藤寛子
領域別研修（慢性心不全①）	看護部	院内	2014 年 12 月 27 日	知念晶子
領域別研修（呼吸③）	看護部	院内	2015 年 1 月 9 日	佐藤友美
WLB 推進研修	看護協会	院外	2015 年 1 月 23 ～24 日	米須智子
緩和研修会		院内	2015 年 1 月 31 日	市川祐鼓、与那城茂子、森春香、佐藤友美
看護必要度研修		院外	2015 年 2 月 1 日	市川祐鼓
沖縄県看護研究学会	看護協会	院外	2015 年 2 月 21 日	米須智子
1 年目フォローアップ研修	看護部	院内	2015 年 2 月 27 日	宮里愛香
プリセプター研修	看護部	院内	2015 年 2 月 6 日	玉城千春、與那嶺祐
師長、主任合同研修	看護部	院内	2015 年 3 月 3 日	米須智子、鈴木千恵、市川祐鼓

実績報告資料等

平成26年病棟目標

☆☆PNS導入により以下の徹底☆☆

1、安全：5Rの確認・照合を徹底し安全に

2、思いやり：患者、家族の立場に立って考える

3、接遇：いつも笑顔で親切な対応

4、育成：病状に合わせた看護の提供、知識共有

<課題>

1、消化器内科・小児科混合病棟で急変が比較的少ない

2、病棟スタッフ間で急変時対応の知識にばらつきがある

↓

急変に対する意識調査実施

全体の78%苦手意識がある！！



1、病棟スタッフ2名ACLS研修参加（BLS院内インストラクター活動）

2、勉強会の実施

①実際の症例を元にシナリオ作成

②院内マニュアル周知の徹底

③繰り返し勉強会実施

④質問がしやすいような環境づくり

↓

結果：苦手意識41%と減



小児BLS勉強会

※1回/週（金曜日：18時～）小児科医師より勉強会

※全スタッフが受講できるように同じ内容を数回繰り返し工夫

☆☆知識向上を目標に！！☆☆



6 階病棟 （血液内科・腎臓内科）

6 階病棟師長 比嘉 暢

職員数

総数 41 名

正看護師 34 名

准看護師 1 名

看護助手 6 名

月平均入院患者状況

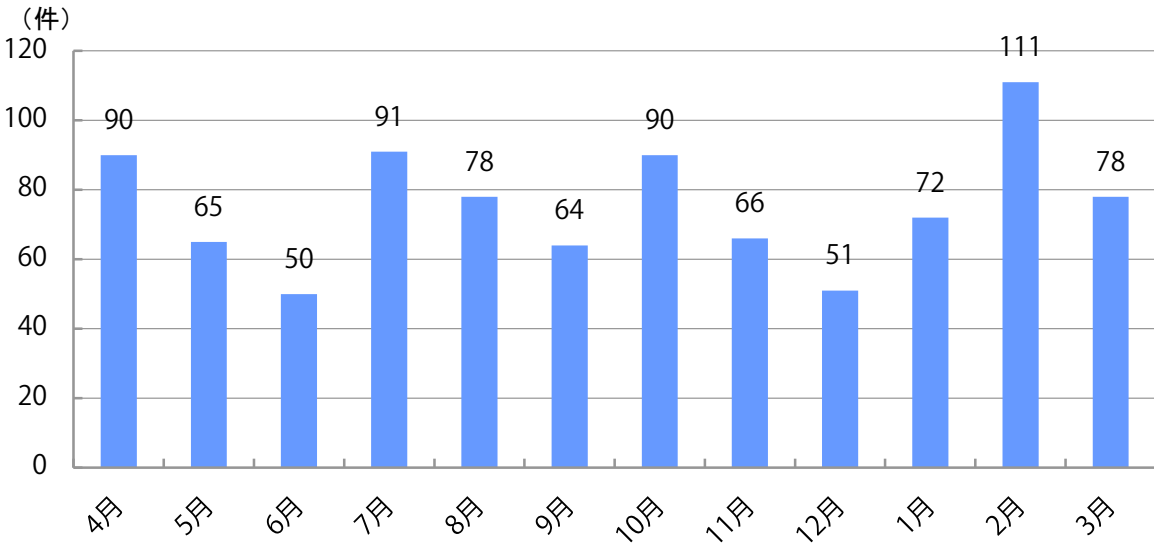
新規入院患者数 65.4 名

病床利用数 44.9 床

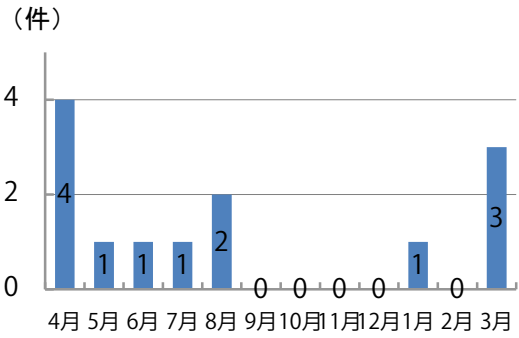
在院日数 20.6 日

業務実績

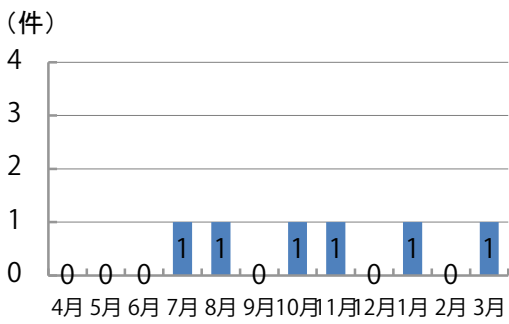
化学療法件数



移植件数



バンクドナー採取件数



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
沖縄看護専門学校 TA	おもと会沖縄看護専門学校	与那原町	平成 26 年 7 月 18 日	金城隆也
沖縄看護専門学校 TA	おもと会沖縄看護専門学校	与那原町	平成 26 年 8 月 6 日	金城隆也
北部看護学校非常勤講師 - 血液造血機能障害のある対象の看護 -	公益社団法人北部地区医師会 北部看護学校	名護市	平成 26 年 10 月 2 日	比嘉暢
北部看護学校非常勤講師 - 血液造血機能障害のある対象の看護 -	公益社団法人北部地区医師会 北部看護学校	名護市	平成 26 年 10 月 8 日	比嘉暢
北部看護学校非常勤講師 - 血液造血機能障害のある対象の看護 -	公益社団法人北部地区医師会 北部看護学校	名護市	平成 26 年 10 月 15 日	比嘉暢

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
助手研修①	看護部	当院	2014年4月25日	嶺井あずみ、城間鈴奈
プリセプター報告会	看護部	当院	2014年4月30日	宮里瀬菜
院内BLS講習会		当院	2014年5月10日	富盛真希
第62回日本輸血細胞治療学会総会	日本輸血細胞治療学会	奈良県	2014年5月15日～17日	金城隆也
輸血勉強会	学会認定・臨床輸血看護師比嘉	病棟	2014年5月20日	石井めぐみ、上運天明穂、本郷朋美、樋口真美、玉城直美、真栄田さつき、前田典子、上原拓也
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	南風原町	2014年5月21日	上運天明穂、樋口真美、真栄田さつき
助手研修②	看護部	当院	2014年5月23日	山城小百合、宮城幸子
リーダーシップ研修	沖縄県看護協会	南風原町	2014年5月23日	安里紀子
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	南風原町	2014年5月28日	前田典子、上原拓也
モニター講習会		当院	2014年5月29日	宮里瀬菜、本郷朋美
「感染予防について&無菌治療センター」勉強会	血液内科医師狩俣	病棟	2014年5月29日	比嘉暢、呉屋友美、宮里瀬菜、上運天明穂、樋口真美、真栄田さつき、前田典子、盛小根真希、上原拓也、富盛真希、福地樹、長間希望、山城由衣
領域研修感染①	看護部	当院	2014年5月30日	田中絢子、親川あかね
プリセプター報告会	看護部	当院	2014年5月30日	盛小根真希
造血幹細胞移植の看護	協和発酵キリン株式会社	病棟	2014年6月17日	比嘉暢、石井めぐみ、上運天明穂、濱川敦旨、宮城杏子、玉城直美、福地樹、金城隆也、長間希望、志喜屋幸子、平良りりー、前田典子、平良ゆかり、盛小根真希、山城由衣、富盛真希
中堅看護師能力開発研修	看護部	当院	2014年6月19日	玉城夕菜、比嘉暢
領域研修感染②	看護部	当院	2014年6月20日	田中絢子、親川あかね
院内BLS講習会	看護部	当院	2014年6月21日	上運天明穂、樋口真美、前田典子
沖縄県看護協会総会	沖縄県看護協会	南風原町	2014年6月21日	仲田ひろ子
ナース・救急隊員のための心電図セミナー 基礎・不整脈コース	メディカルシステム研修所	那覇市	2014年6月24日	上運天明穂、樋口真美、真栄田さつき、前田典子、上原拓也
領域研修化学療法①	看護部	当院	2014年6月24日	呉屋友美
領域研修安全①	看護部	当院	2014年6月26日	安里紀子、宮城杏子
新人3カ月フォローアップ研修	看護部	当院	2014年6月27日	仲田ひろ子、宮里瀬菜、上運天明穂、樋口真美、幸地花純、真栄田さつき、前田典子、上原拓也

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
院内BLS講習会	看護部	当院	2014年6月28日	幸地花純、真栄田さつき、上原拓也
沖縄県看護連盟総会	沖縄県看護連盟	南風原町	2014年6月28日	比嘉暢、金城隆也
プリセプター報告会	看護部	当院	2014年6月30日	本郷朋美
エクジェイド輸血勉強会	ノバルティスファーマ	病棟	2014年7月1日	仲田ひろ子、石井めぐみ、上運天明穂、下地久美子、濱川敦旨、幸地花純、鈴木育美、福地樹、親川あかね、長間希望、吉田美香、志喜屋幸子、平良りりー、富盛真希
領域研修DM①	看護部	当院	2014年7月4日	吉田美香、宮里瀬菜
がん看護研修Ⅰ	沖縄県看護協会	南風原町	2014年7月5日	玉木夕菜、吉田美香
酸素療法勉強会	学会認定・呼吸療法認定士 富里	病棟	2014年7月10日	宮里瀬菜、上運天明穂、本郷朋美、樋口真美、幸地花純、真栄田さつき、長間希望、前田典子、山城由衣、上原拓也
新人リフレッシュ研修	看護部	うるま市	2014年7月11日	宮里瀬菜、上運天明穂、樋口真美、幸地花純、真栄田さつき、前田典子、上原拓也
感染管理Ⅰ-感染防止の基礎知識-	沖縄県看護協会	南風原町	2014年7月12日	富盛真希
造血幹細胞移植の看護Ⅱ	協和発酵キリン株式会社	病棟	2014年7月15日	比嘉暢、上運天明穂、下地久美子、幸地花純、江島那奈、玉城直美、福地樹、親川あかね、平良りりー、盛小根真希、山城由衣、富盛真希
領域研修感染③	看護部	当院	2014年7月17日	親川あかね
「造血幹細胞移植・採取・骨髓運搬」勉強会	血液内科医師狩俣	病棟	2014年7月17日	比嘉暢、仲田ひろ子、富里康太、下地久美子、呉屋友美、幸地花純、宮城杏子、江島那奈、真栄田さつき、金城隆也、玉木夕菜、親川あかね、長間希望、平良りりー、諸喜田雅子、盛小根真希、上原拓也
中堅看護師能力開発研修	看護部	当院	2014年7月18日	玉城夕菜、比嘉暢
領域研修化学療法②	看護部	当院	2014年7月22日	大田あずさ、呉屋友美
末梢血幹細胞採取勉強会	学会認定・アフエーシス ナース比嘉、金城	病棟	2014年7月22日	上運天明穂、富里康太、下地久美子、呉屋友美、幸地花純、鈴木育美、玉木直美、福地樹、真栄田さつき、安里紀子、志喜屋幸子、前田典子、大田あずさ、諸喜田雅子、平良ゆかり、山城由衣、
領域研修安全①	看護部	当院	2014年7月24日	山城由衣、福地樹
領域研修慢患管理①	看護部	当院	2014年7月26日	下地久美子、富里康太
抗悪性腫瘍剤アドセトリス勉強会	武田薬品工業株式会社	病棟	2014年7月29日	比嘉暢、宮里瀬菜、本郷朋美、福地樹、真栄田さつき、金城隆也、石川サチ子、吉田美香、平良りりー、前田典子、平良ゆかり、山城由衣、上原拓也
プリセプター報告会	看護部	当院	2014年7月30日	吉田美香
第2回沖縄県緩和ケア研修会2014	社会医療法人ハートライフ病院	当院	2014年8月2日～3日	仲田ひろ子、呉屋友美
領域研修呼吸基礎①	看護部	当院	2014年8月8日	志喜屋幸子、平良ゆかり
末梢血幹細胞採取勉強会	学会認定・アフエーシス ナース比嘉、金城	病棟	2014年8月12日	仲田ひろ子、石井めぐみ、宮里瀬菜、親川あかね、平良りりー、盛小根真希、富盛真希
2年目研修	看護部	当院	2014年8月15日	比嘉暢、福地樹、長間希望、平良りりー、山城由衣
領域研修感染④	看護部	当院	2014年8月21日	親川あかね
中堅看護師能力開発研修	看護部	当院	2014年8月22日	玉木夕菜、比嘉暢
酸塩基平衡勉強会	学会認定・呼吸療法認定士 富里	病棟	2014年8月22日	上運天明穂、樋口真美、幸地花純、真栄田さつき、前田典子、上原拓也
領域研修慢患管理②	看護部	当院	2014年8月23日	下地久美子、富里康太
領域研修化学療法③	看護部	当院	2014年8月26日	呉屋友美、大田あずさ

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
造血幹細胞移植の看護Ⅲ	協和発酵キリン株式会社	病棟	2014年8月26日	仲田ひろ子、富里康太、呉屋友美、樋口真美、玉城直美、真栄田さつき、親川あかね、長間希望、平良りりー、前田典子、大田あずさ、盛小根真希、富盛真希
領域研修安全②	看護部	当院	2014年8月28日	安里紀子、宮城杏子
プリセプター報告会	看護部	当院	2014年8月29日	本郷朋美
口腔ケア・口から始まるQOLの向上-	沖縄県看護協会	南風原町	2014年8月30日	上運天明穂
14重症度、医療・看護必要度評価者・院内指導者研修	S-QUE研究会	南風原町	2014年8月31日	金城隆也
領域研修DM②	看護部	当院	2014年9月2日	吉田美香、宮里瀬菜
第24回沖縄県合同輸血療法委員会	沖縄県赤十字血液センター	那覇市	2014年9月6日	比嘉暢
がん看護研修Ⅱ	沖縄県看護協会	南風原町	2014年9月10日	玉木夕菜、吉田美香
領域研修呼吸中級①	看護部	当院	2014年9月12日	志喜屋幸子、平良ゆかり
中堅看護師能力開発研修	看護部	当院	2014年9月18日	玉木夕菜、比嘉暢
領域研修感染①	看護部	当院	2014年9月18日	長間希望、平良りりー
領域研修化学療法④	看護部	当院	2014年9月22日	大田あずさ、呉屋友美
領域研修安全②	看護部	当院	2014年9月25日	山城由衣、福地樹
領域研修慢患管理③	看護部	当院	2014年9月27日	下地久美子、富里康太
領域研修DM①	看護部	当院	2014年9月30日	江島那奈、諸喜田雅子
プリセプター研修	看護部	当院	2014年10月3日	吉田美香
師長・主任合同研修会	看護部	当院	2014年10月7日	比嘉暢、仲田ひろ子、金城隆也
領域研修救急②	看護部	当院	2014年10月14日	吉田美香
領域研修感染②	看護部	当院	2014年10月16日	長間希望、平良りりー
中堅看護師能力開発研修	看護部	当院	2014年10月16日	玉木夕菜、比嘉暢
Chugai Nursing Seminar in Hematology 血液病棟で遭遇する合併症 ～腫瘍崩壊症候群～	中外製薬株式会社	病棟	2014年10月16日	長濱政信、松井美保、比嘉暢、仲田ひろ子、上運天明穂、江島那奈、福地樹、真栄田さつき、金城隆也、玉木夕菜、親川あかね、長間希望、平良りりー、上原拓也、富盛真希
領域研修安全③	看護部	当院	2014年10月23日	安里紀子、宮城杏子
領域研修DM②	看護部	当院	2014年10月24日	江島那奈、諸喜田雅子
領域研修慢患管理①	看護部	当院	2014年10月25日	玉城直美、石川サチ子
領域研修化学療法⑤	看護部	当院	2014年10月28日	大田あずさ、呉屋友美
領域研修呼吸上級①	看護部	当院	2014年11月7日	志喜屋幸子、平良ゆかり
沖縄SCT懇話会	協和発酵キリン株式会社	南風原町	2014年11月7日	比嘉暢
領域研修感染③	看護部	当院	2014年11月20日	長間希望、平良りりー
領域研修慢患管理②	看護部	当院	2014年11月22日	玉城直美、石川サチ子
領域研修安全③	看護部	当院	2014年11月27日	山城由衣、福地樹
領域研修救急③	看護部	当院	2014年11月28日	平良りりー
領域研修感染④	看護部	当院	2014年12月18日	長間希望、平良りりー
災害時における感染症対策	沖縄県看護協会	南風原町	2015年1月17日	比嘉暢
領域研修安全④	看護部	当院	2015年1月22日	山城由衣、福地樹
第4回がんのリハビリテーション研修会ワークショップ	北陸がんのリハビリテーション研究会	石川県	2015年1月24日～25日	比嘉暢
第2回院内緩和ケア研修会2014	がん対策推進委員会と緩和ケアチーム	当院	2015年1月31日	仲田ひろ子、呉屋友美、金城隆也
領域研修呼吸上級②	看護部	当院	2015年2月6日	玉木夕菜、本郷朋美
第37回日本造血細胞移植学会総会	日本造血細胞移植学会	兵庫県	2015年3月5日～7日	比嘉暢
シミュレーションを通して日々の看護を振り返ってみよう	琉球大学医学部保健学科	西原町	2015年3月29日	上運天明穂

7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科）

7 階病棟師長 宮平 典子

職員数

総数 45 名

正看護師 37 名

准看護師 3 名

看護助手 5 名

月平均入院患者状況

新規入院患者数 83.6 名

病床利用数 51.1 床

在院日数 16.6 日

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
沖縄看護専門学校 TA	おもと会沖縄看護専門学校	与那原町	2014 年 7 月 28 日	半 嶺 梢
沖縄看護専門学校 TA	おもと会沖縄看護専門学校	与那原町	2014 年 8 月 14 日	半 嶺 梢
業務改善報告会	看護部	院内	2014 年 10 月 17 日	奈良成明、若命彩子、渡口純、新川優子
発表	リーダー研修報告会	当院	2014 年 11 月 27 日	宮城久美子
発表	リーダー研修報告会	当院	2015 年 1 月 21 日	伊佐友美

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	看護部	院内	2014 年 4 月 1 日～	奈良成明、渡口純、比嘉明日美
リーダー研修	看護部	院内	2014 年 4 月 24 日	伊佐友美
プリセプター報告会	看護部	院内	2014 年 4 月 30 日	奈良成明、渡口純、比嘉明日美
助手研修	看護部	院内	2014 年 4 月 25 日～	
フレッシュマン研修	看護協会	院外		米須さやか、真玉橋幸、幸地かずみ
プリセプター報告会	看護部	院内	2014 年 5 月 30 日	奈良成明、比嘉明日美
領域研修 感染①	看護部	院内	2014 年 5 月 30 日	宮城梨乃、渡嘉敷奈々子
フィジカルアセスメント	看護協会	院外	2014 年 6 月 2 日	與那城未咲、嶺井慎二、仲村和仁
フィジカルアセスメント	看護協会	院外	2014 年 6 月 3 日	渡嘉敷奈々子、宮城梨乃
心電図モニター講習会	ハート先生	院外	2014 年 6 月 3 日	半嶺 梢、真玉橋 幸、米須さやか
BLS	ICU・救外検討委員会	院内	2014 年 6 月 21 日	米須さやか
領域研修 化学療法	看護部	院内	2014 年 6 月 24 日	内田 綾、上原 慎

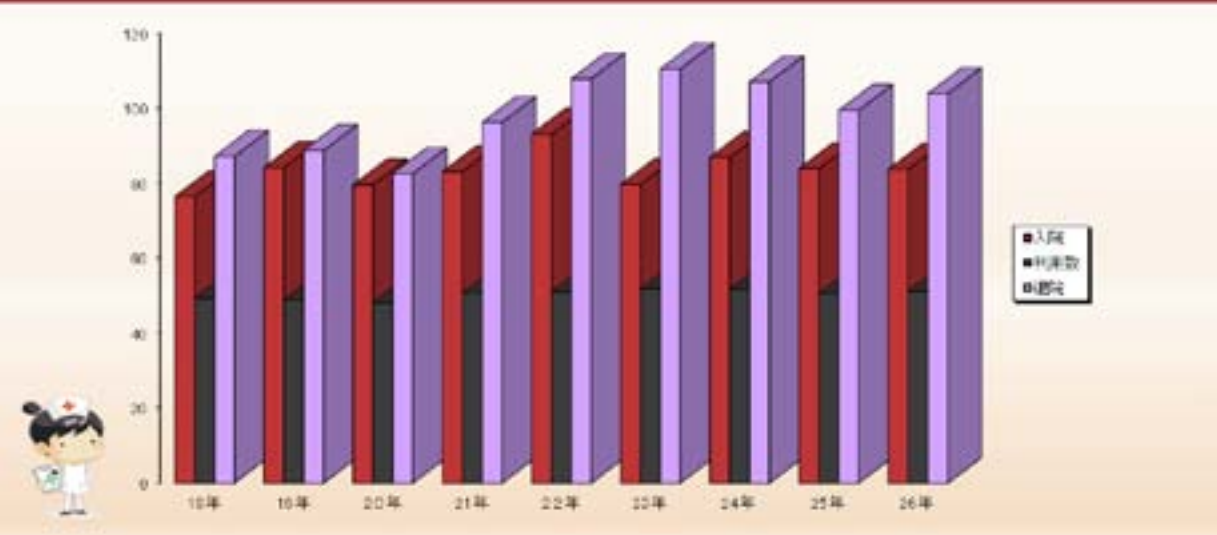
研修名	主催	開催地	開催日	参加者
領域研修 安全	看護部	院内	2014 年 6 月 26 日	嶺井慎二、長嶺厚子
3 ヶ月フォローアップ研修	看護部	院内	2014 年 6 月 27 日	米須さやか、真玉橋 幸
BLS	看護部	院内	2014 年 6 月 28 日	真玉橋 幸
プリセプター報告会	看護部	院内	2014 年 6 月 30 日	奈良成明、比嘉明日美、渡口 純
領域研修 糖尿病	看護部	院内	2014 年 7 月 4 日	安次嶺 徹、上原 慎
チャレンジデー職場体験	7 階	7 階	2014 年 7 月 10 日	東江幸枝
リフレッシュ研修	看護部	院外	2014 年 7 月 11 日	米須さやか、真玉橋 幸、奈良成明、渡口 純
領域研修 感染	看護部	院内	2014 年 7 月 17 日	宮城梨乃、渡嘉敷奈々子
リーダー研修	看護部	院内	2014 年 7 月 18 日	宮城久美子
領域研修 化学療法	看護部	院内	2014 年 7 月 22 日	内田 綾、上原 慎
領域研修 安全	看護部	院内	2014 年 7 月 24 日	嶺井慎二、長嶺厚子
領域研修 救急	看護部	院内	2014 年 7 月 25 日	宮城秀成
領域研修 慢性心不全	看護部	院内	2014 年 7 月 26 日	比嘉明日美、東江幸枝
ポリナビ 研修	看護連盟	看護協会	2014 年 7 月 26 日	仲村和仁
領域研修 呼吸			2014 年 8 月 8 日	奈良成明
2 年目研修	看護部	院内	2014 年 8 月 15 日	嶺井慎二、宮城梨乃、與那城未咲、渡嘉敷奈々子、仲村和仁
リーダー研修	看護部	院内	2014 年 8 月 20 日	宮城久美子
領域研修 感染	看護部	院内	2014 年 8 月 21 日	宮城梨乃、渡嘉敷奈々子
領域研修 化学療法	看護部	院内	2014 年 8 月 26 日	内田 綾、上原 慎
領域研修 安全	看護部	院内	2014 年 8 月 28 日	嶺井慎二、長嶺厚子
領域研修 糖尿病	看護部	院内	2014 年 9 月 2 日	安次嶺 徹、上原 慎、半嶺 梢
領域研修 呼吸	看護部	院内	2014 年 9 月 12 日	奈良成明
領域研修 感染	看護部	院内	2014 年 9 月 18 日	與那城未咲、仲村和仁
6 ヶ月フォローアップ研修	看護部	院内	2014 年 9 月 19 日	米須さやか、真玉橋 幸、新川 優子
部署間研修 救急外来	7 階	院内	2014 年 9 月 1 日～ 30 日	新垣仕言
心不全学会	日本循環器学会	院外	2014 年 9 月 21 日	比嘉明日美
領域研修 化学療法	看護部	院内	2014 年 9 月 22 日	内田 綾、上原 慎、知念 恵子
医療安全管理研修	看護協会	院外	2014 年 9 月 26 日	新川優子
領域研修 慢性心不全	看護部	院内	2014 年 9 月 27 日	比嘉明日美、東江幸枝
領域研修 糖尿病	看護部	院内	2014 年 9 月 30 日	知念恵子
プリセプター研修	看護部	院内	2014 年 10 月 3 日	奈良成明、渡口 純
師長、主任合同研修	看護部	院内	2014 年 10 月 7 日	宮平典子、半嶺 梢、新川優子、知念恵子
医療の現場における倫理	看護協会	院外	2014 年 10 月 8 日	知念恵子
領域研修 救急	看護部	院内	2014 年 10 月 14 日	屋比久義昂
リーダー研修	看護部	院内	2014 年 10 月 16 日	宮城久美子

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
領域研修 感染	看護部	院内	2014 年 10 月 16 日	與那城未咲、仲村和仁
実習指導者講習会	看護協会	院外	2014/9/ 29～11 月 29 日	半嶺 梢
領域研修 安全	看護部	院内	2014 年 10 月 23 日	東江幸枝
領域研修 糖尿病	看護部	院内	2014 年 10 月 24 日	知念恵子
領域研修 慢性心不全	看護部	院内	2014 年 10 月 25 日	仲里 寛、新垣仕言、新川優子
領域研修 化学療法	看護部	院内	2014 年 10 月 28 日	内田 綾、上原 慎、知念恵子
領域研修 呼吸	看護部	院内	2014 年 11 月 7 日	奈良成明
領域研修 感染	看護部	院内	2014 年 11 月 20 日	與那城未咲、仲村和仁
看護記録	看護協会	院外	2014 年 10 月 25 日	内田 綾、若命彩子
リーダー研修会	看護部	院内	2014 年 12 月 11 日	宮城久美子
領域研修 呼吸	看護部	院内	2014 年 12 月 12 日	渡口 純、與那城未咲
領域研修 感染	看護部	院内	2014 年 12 月 18 日	與那城未咲、仲村和仁
2 年目研修	看護部	院内	2014 年 12 月 19 日	嶺井慎二、宮城梨乃、與那城未咲、渡嘉敷奈々子、仲村和仁
領域研修 慢性心不全	看護部	院内	2014 年 12 月 27 日	仲里 寛、新垣仕言、新川優子
領域研修 呼吸	看護部	院内	2015 年 1 月 9 日	與那城未咲、仲村和仁
WLB 研修	看護協会	院外	2015 年 1 月 23 日	宮平典子、半嶺 梢、新川優子、知念恵子
緩和ケア研修	緩和ケア委員会	院内	2015 年 1 月 31 日	内田 綾、宮城梨乃、宮城秀成
排泄ケア研修	ユニチャーム・メンリッケ	院外	2015 年 2 月 1 日	宮平典子、半嶺 梢、伊佐友美、渡嘉敷奈々子、新垣 至言、宮城久美子、松堂かおり
プリセプター研修	看護部	院内	2015 年 2 月 6 日	與那城未咲、仲村和仁
沖縄県看護研究学会	看護協会	院外	2015 年 2 月 21 日	比嘉明日美
1 年目フォローアップ研修	看護部	院内	2015 年 2 月 27 日	奈良成明、米須さやか、真玉橋 幸
師長、主任合同研修	看護部	院内	2014 年 3 月 3 日	宮平典子、半嶺 梢、新川優子、知念恵子
領域研修 呼吸	看護部	院内	2015 年 3 月 6 日	與那城未咲、渡口純
災害訓練	災害対策委員会	院内	2015 年 3 月 7 日	宮平典子、新川優子、仲村和仁

実績報告資料等



入退院実績



看護部 年度総括



看護部長
西銘 宣子

平成 26 年度の看護部目標

1. 安全
 2. 看護方式 P N S （パートナーシップ・ナーシング・システム）の導入
 - ①インシデント、アクシデントの低減
 - ②人材育成（知識・技術・接遇の向上）
 - ③ワークライフバランスの推進
- ※具体的な取り組み課題 1 2 項目
- <経過>
- 4 月 予防医学センター看護職が看護部所属へ
副看護部長を 2 名体制へ
新人看護師採用 25 名
各病棟と内視鏡室で PNS 導入の取り組みスタート
重症度・医療看護必要度改定への対応
5S 委員会で用度課と連携し無駄の削減に取り組む（各部署の診療材料在庫の整理、病院全体へ無駄の削減アンケート調査の実施）
 - 5 月 毎月 1 回の師長管理ラウンドスタート
 - 6 月 看護協会 WLB ワークショップへ参加（インデックス調査実施 3 年計画）
その結果に基づき時間外勤務低減の課題に取り組む
院内中堅看護師研修 6M コース（2 年目）スタート
 - 7 月 手術件数増加に伴い、手術室関連業務を外部委託へ
救急看護認定看護師 1 名、感染管理認定看護師 2 名、認定看護管理者 1 名、
乳がん看護認定看護師（4 月採用）で認定看護師在籍 9 名へ
 - 9 月 日本看護協会主催の医療安全管理者研修会（東京）に副看護部長参加
クイックセファァーの分析手法を学び各部署で活用スタート
 - 10 月 助産師外来スタート
 - 11 月 看護助手ユニフォームの変更（ケアセンターと同）
 - 1 月 インシデント報告システムの変更（医療安全管理室・電算課作成）
入力時間の短縮、集計機能が加わり報告内容の見える化へ
WLB ワークショップにて時間外勤務低減に向けた取り組みの発表

以上、新たに取り組んだ内容です。特に看護方式 P N S の導入は各部署が取り組み、1 年後のアンケート調査で「患者さんの安心・安全につながる」と回答した看護師は 83% でした。導入してよかったと評価しています。

次年度も安全面の強化、きめ細やかな看護ができること、よい職場環境づくりに継続して取り組んでいきます。

医療技術部

部門紹介

医療技術部門は放射線科、臨床検査科、臨床工学科、栄養科、薬局、リハビリテーション科の6部署で構成され、チーム医療の一員として各診療科と連携し、それぞれ専門の有資格者が検査・治療及び機器管理の様々な面から診療をサポートしています。

各部署概要・実績

放射線科

放射線科技師長 仲座 義富

平成26年度はX線透視装置 CUREVISTA（日立メディコ）の導入を行いました。X線透視装置は、胃透視検査や注腸造影検査などが中心でしたが近年では、内視鏡検査へも利用が拡大しているほか、外科領域、整形領域や婦人科領域などにも多用されています。また、検査だけではなく外科系のPTCD、消化器系のEST、ERBD、EMBDなどの治療へも利用されるようになってきており、求められるニーズも多目的用途へと変わりつつあります。

当院ではフラットパネル（FPD:FlatPanelDetector）といわれる平面検出器を搭載したX線TV装置を用いて検査を行っています。デジタル処理画像であるため必要に応じて階調・濃度等の処理を加えることが可能で、診断能力の高い高精細画像を提供することが出来ます。また間欠したパルス透視を用いることにより患者さんとスタッフの放射線被ばくの低減化も実現しています。

職員数

総数

18名

職種別

診療放射線技師 17名

助手 1名

認定・資格

氏名	認定・資格
宮城 竜也	基準撮影認定員 胃がん検診専門技師
仲座 義富	第1種衛生管理者 衛生工学衛生管理者 エックス線作業主任者 ガンマ線透過写真撮影作業主任者
大城 盛寛	医用画像情報管理士 核医学検査技能検定3級

氏名	認定・資格
与古田 拓	エックス線作業主任者 ガンマ線透過写真撮影作業主任者
大城 雅史	第1種放射線取扱主任者
松田 優二	X線CT撮影認定技師
新垣 弘扇	検診マンモグラフィ認定技師
津波 麻利子	検診マンモグラフィ認定技師
新垣 千登勢	検診マンモグラフィ認定技師
程岡 美貴	検診マンモグラフィ認定技師

氏名	認定・資格
出津 利恵	検診マンモグラフィ認定技師
	X線CT撮影認定技師
喜屋武 結子	検診マンモグラフィ認定技師

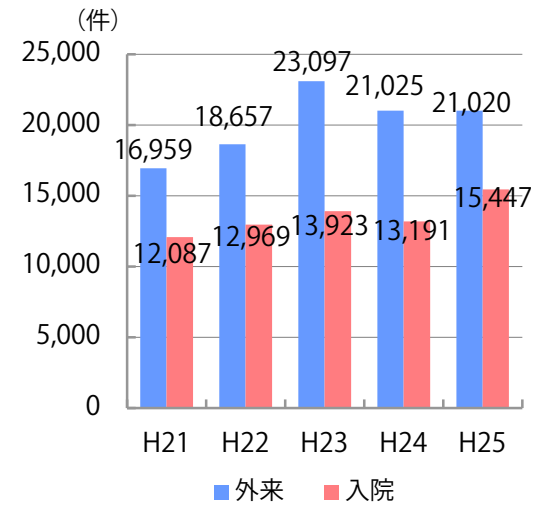
氏名	認定・資格
神谷 己代	検診マンモグラフィ認定技師
高木 恵夢	検診マンモグラフィ認定技師

運営方針

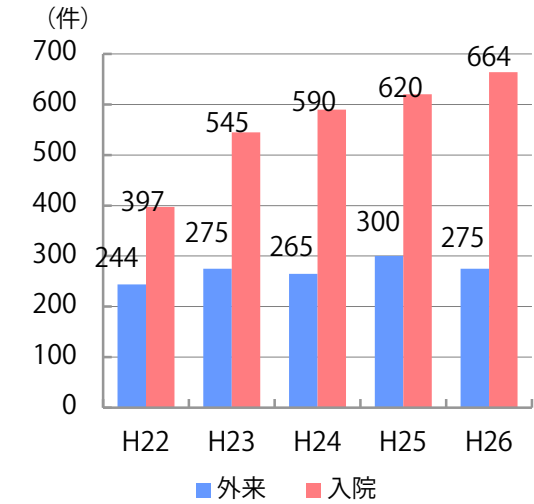
- 1. 患者さんの医療被ばく低減
- 2. 患者さんが安心して検査を受けられるためのインフォームドコンセント
- 3. 技師の技術向上
- 4. 安全な検査のための機器保守点検

検査・治療実績

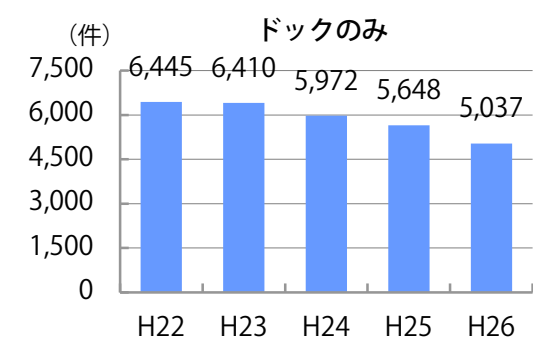
一般撮影



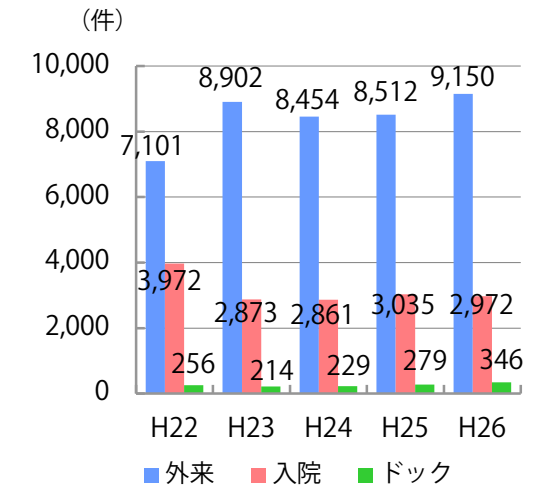
透視検査



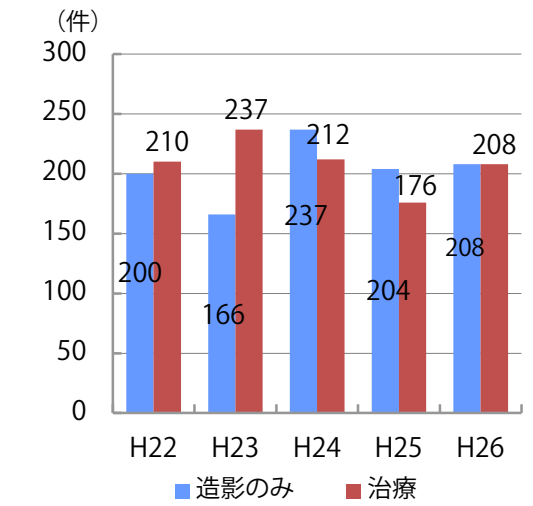
透視検査



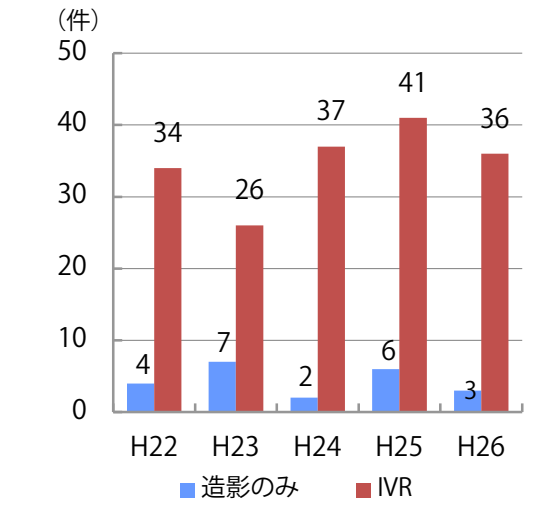
CT 検査



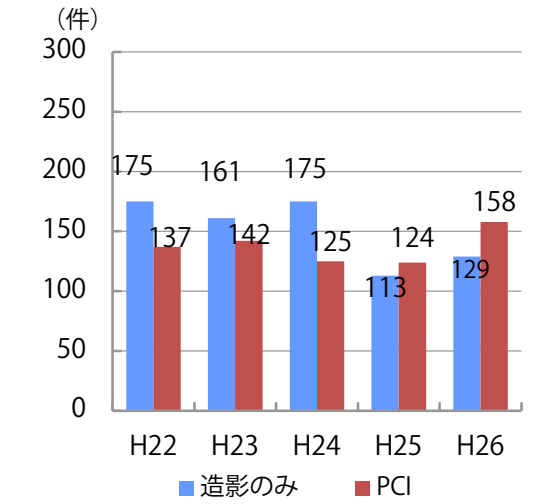
angio 総計



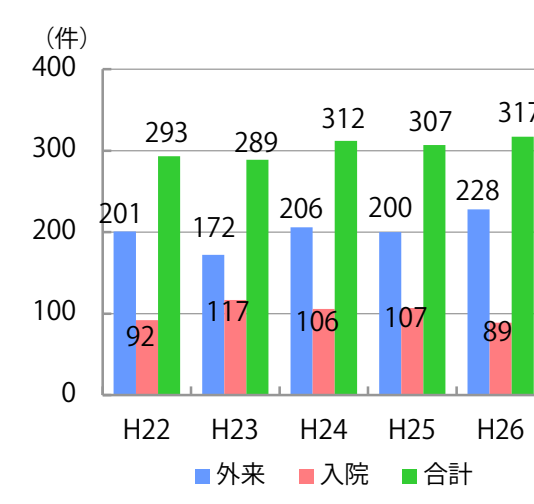
腹部アンギオ



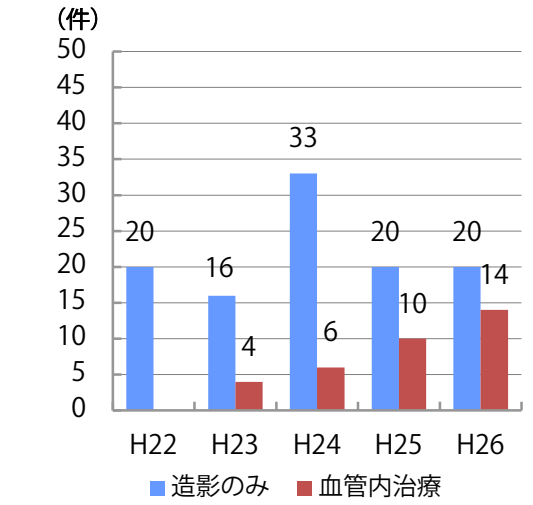
心臓カテーテル



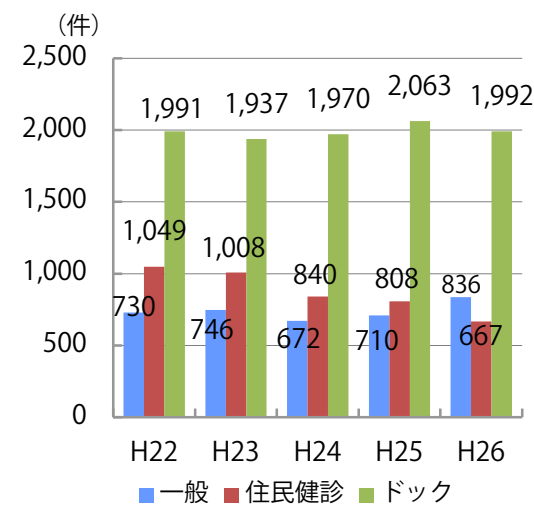
RI 検査



脳アンギオ



マンモグラフィ検査



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院における MIBI Washout 心筋シンチ有用性の検討	第 24 回日本心臓核医学会総会・学術大会	愛媛県	2014 年 7 月 18 日	大城 盛寛
当院における大腸 CT の現状と課題	第 22 回日本大腸検査学会九州支部会	那覇市	2014 年 8 月 23 日	宮城 直哉
講師	沖縄県放射線技師会フレッシュセミナー	南風原町	2014 年 9 月 28 日	大城 盛寛
CT 造影検査における危険因子の確認と技師の対応について	第 30 回日本診療放射線技師学術大会	大分県	2014 年 9 月 20 日	石原 悟
座長（消化管撮影1）	第 30 回日本診療放射線技師学術大会	大分県	2014 年 9 月 20 日	仲座 義富
多発性外傷全身 CT Trauma-Panscan の試み	第 30 回日本診療放射線技師学術大会	大分県	2014 年 9 月 21 日	仲座 義富
座長	第 21 回院内研究発表会	当院	2014 年 11 月 14 日	仲座 義富
CTcolonography の現状と課題	第 21 回院内研究発表会	当院	2014 年 11 月 14 日	宮城 直哉
当院における CTC の取り組みと今後の課題	第 27 回日本消化器画像診断情報研究会 岩手大会	岩手県	2015 年 2 月 15 日	松田 優二
食道アカラシアに対する POEM の症例を経験して	第 27 回日本消化器画像診断情報研究会 岩手大会	岩手県	2015 年 2 月 15 日	米須 勇

科内勉強会

演題名	開催地	日時	発表者
大腸画像診断について（深達度診断）	当院	2014 年 4 月 26 日	新垣 弘扇
多発性外傷について	当院	2014 年 5 月 30 日	宮城 直哉
ヘルペスについて	当院	2014 年 6 月 28 日	程岡 美貴
尺骨突き上げ症候群・TFCC 損傷	当院	2014 年 8 月 2 日	出津 利恵
CTC について	当院	2014 年 8 月 2 日	松田 優二
心電図（入門編）	当院	2014 年 8 月 30 日	喜屋武 結子
整形外科症例（肩・基礎編）	当院	2014 年 9 月 27 日	島尻 豊久
TraumaPanscan 実践編	当院	2014 年 11 月 1 日	松田 優二
Autopsy imeaging（Ai）	当院	2014 年 11 月 29 日	与古田 拡
CT 症例	当院	2014 年 12 月 27 日	新垣 千登勢
センチネルリンパシンチについて	当院	2015 年 1 月 31 日	大城 雅史
胃・陥凹性病変 part 2	当院	2015 年 2 月 6 日	新垣 弘扇
①当院における MIBI Washout 心筋シンチの有用性の検討 ②ダットスキャンについて	当院	2015 年 3 月 30 日	大城 盛寛

活動実績

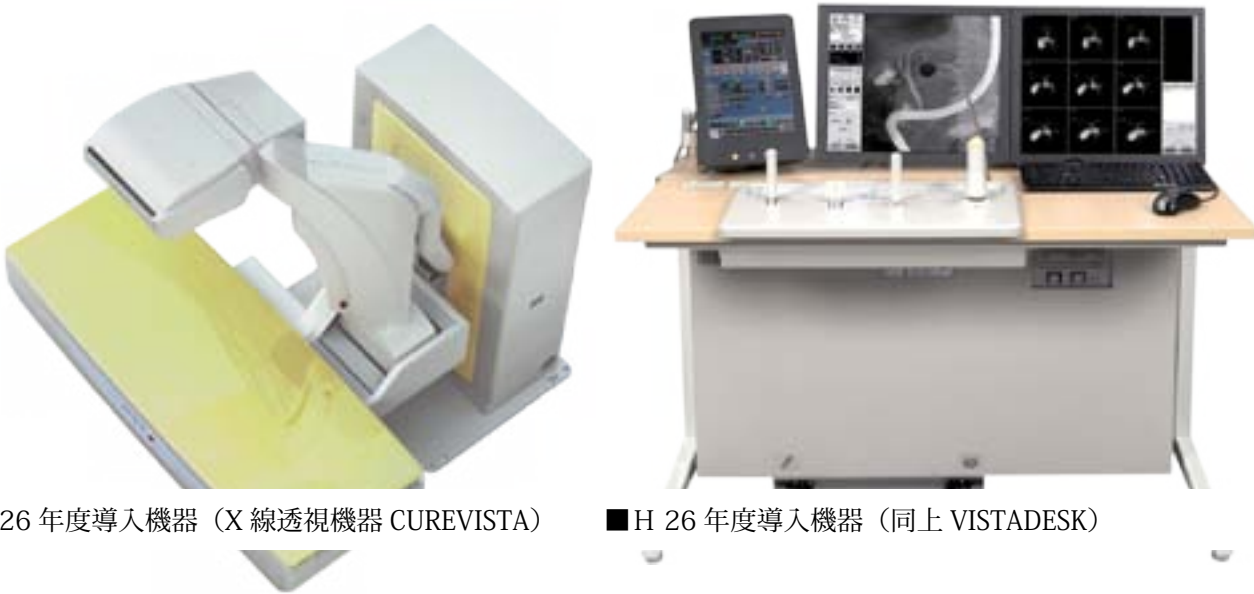
医療技術部勉強会

演題名	勉強会名	開催地	日時	発表者
座長	東芝ユーザーミーティング	当院	2014 年 7 月 12 日	石原 悟
当院の CTC について	東芝ユーザーミーティング	当院	2014 年 7 月 12 日	松田 優二
心不全患者さんにおける胸部 X 線の撮り方見方考え方1	第1回放射線技師のための勉強会	南部医療センター	2014 年 8 月 13 日	仲座 義富
心不全患者さんにおける胸部 X 線の撮り方見方考え方2	第2回放射線技師のための勉強会	南部医療センター	2014 年 8 月 31 日	仲座 義富
肩関節の撮影と読影	第3回放射線技師のための勉強会	南部医療センター	2014 年 11 月 7 日	島尻 豊久
胃がん ～陥凹性病変・組織型について～	第4回放射線技師のための勉強会	南部医療センター	2015 年 2 月 19 日	新垣 弘扇
当院における Fusion の現状	沖縄県核医学技術研究会	嶺井第一病院	2015 年 3 月 14 日	大城 盛寛
座長	沖縄県核医学技術研究会	南部医療センター	2015 年 3 月 20 日	宮城 竜也
当院における MIBI washout 心筋シンチの有用性の検討	沖縄県核医学技術研究会	南部医療センター	2015 年 3 月 20 日	大城 盛寛

院内研修会

演題名	開催地	日時	発表者
慢性疾患領域別研修「胸写の見方」	当院	2014 年 8 月 23 日	仲座義富
慢性疾患領域別研修「胸写の見方」	当院	2014 年 11 月 22 日	仲座義富

実績報告資料



臨床検査科

臨床検査科技師長 神谷 乗敏

平成 26 年度は非アルコール性肝硬変治療の幹細胞移植も 25 年度より増え年間 6 件行いました。他にも末梢血幹細胞移植も細胞調整室を活用し 7 件行いました。5 月にはMR I も入れ替え画質が良くなり、細菌検査の院内導入後の血液培養の結果報告時間も短縮でき、着実に診療に貢献できていると思います。術中迅速病理診断標本作成機器も入れ替え機器の更新も徐々にできています。細胞診検査件数や乳腺超音波検査も増加し細胞検査士、超音波検査士の育成にも取り組んでおります。新規導入検査項目として浸透圧検査、皮膚灌流圧測定，呼気中一酸化窒素測定検査等が増えています。

職員数

総数

29 名

職種別

臨床検査技師 25 名

視能訓練士 1 名

眼科助手（OMA） 1 名

検査助手 2 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
比嘉一廣	細胞検査士 健康食品管理士 上級健康食品管理士
神谷乗敏	上級健康食品管理士
斎藤辰好	超音波検査士
島袋泰彦	超音波検査士

氏名	認定・資格名
仲松勝彦	超音波検査士
照屋祥子	超音波検査士
安里奈美	超音波検査士
津波克幸	細胞検査士
新垣和史	緊急検査士
宮城 健	2 級臨床検査士（微生物）

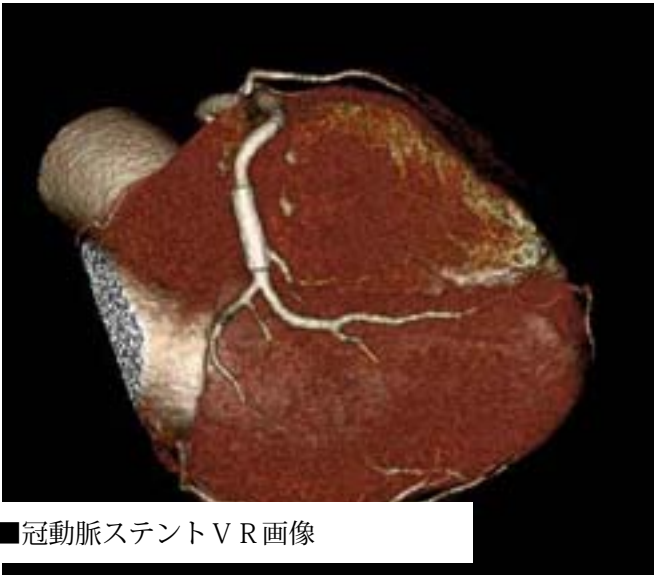
運営方針

臨床検査は①疾病の診断②治療方針決定③予後の判定にかかわる重要な情報である。迅速・正確なデータの提供を目的とする。

研究業績

学会発表

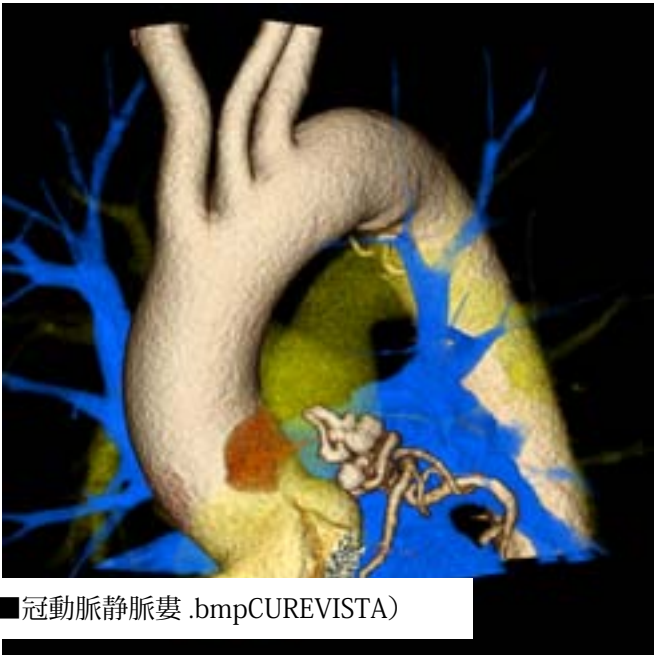
演題名	学会名	発表年月日	発表者と研究者
小児腭腫瘍の一例	第 49 回日臨技九州医学検査学会	2014 年 11 月	仲松勝彦
当院で経験した乳腺アポクリン癌の 2 例	第 12 回日本乳癌学会九州地方会	2015 年 3 月	神谷真衣子



冠動脈ステント V R 画像



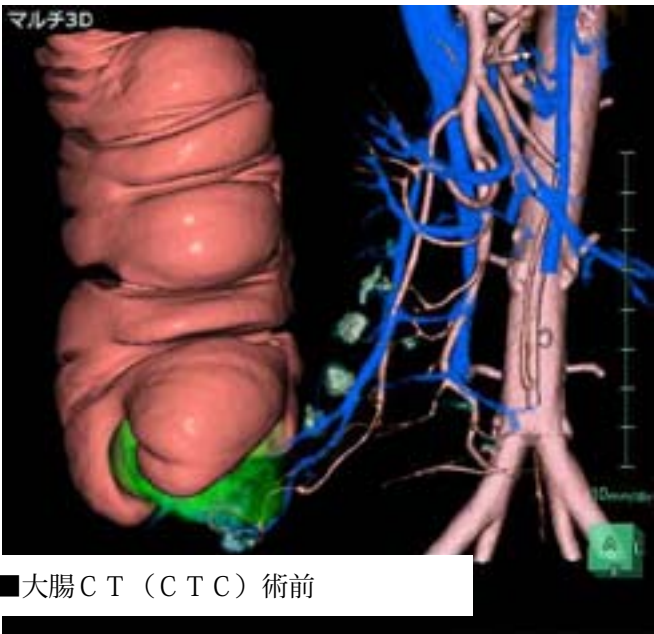
冠動脈ステント内評価 C P R 画像



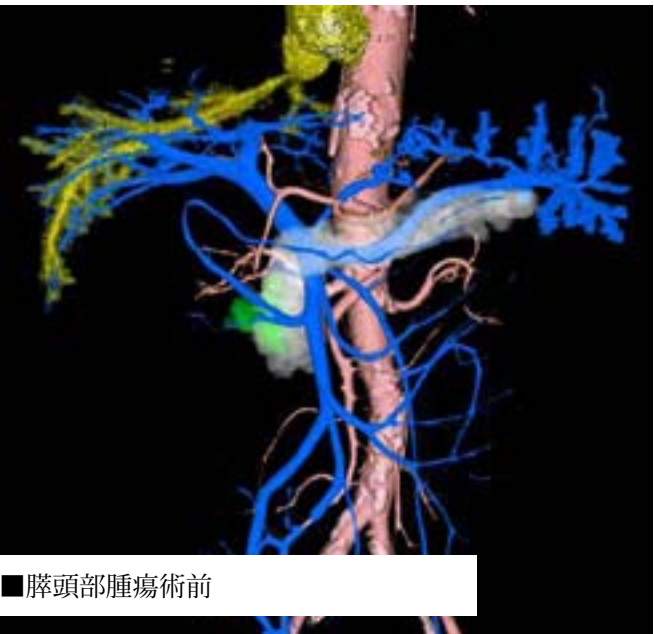
冠動脈静脈婁 .bmpCUREVISTA)



腎がん術前



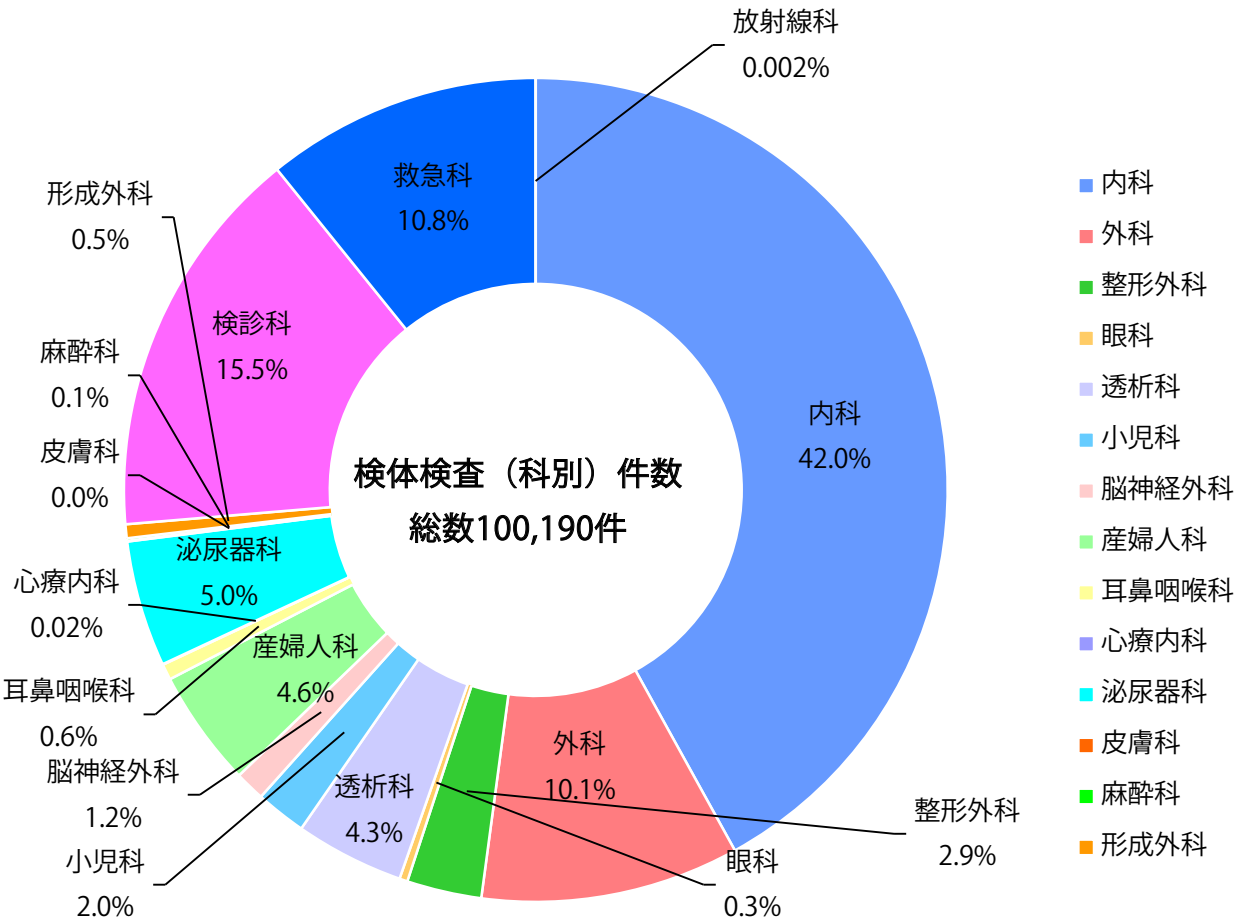
大腸 C T （C T C）術前



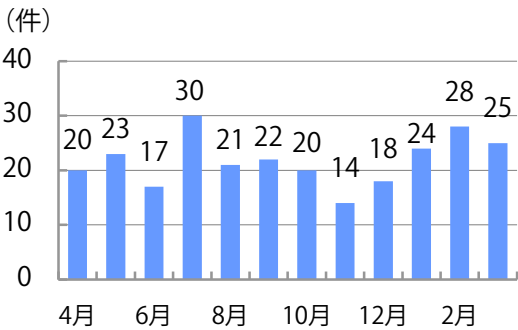
腭頭部腫瘍術前

検査・治療実績

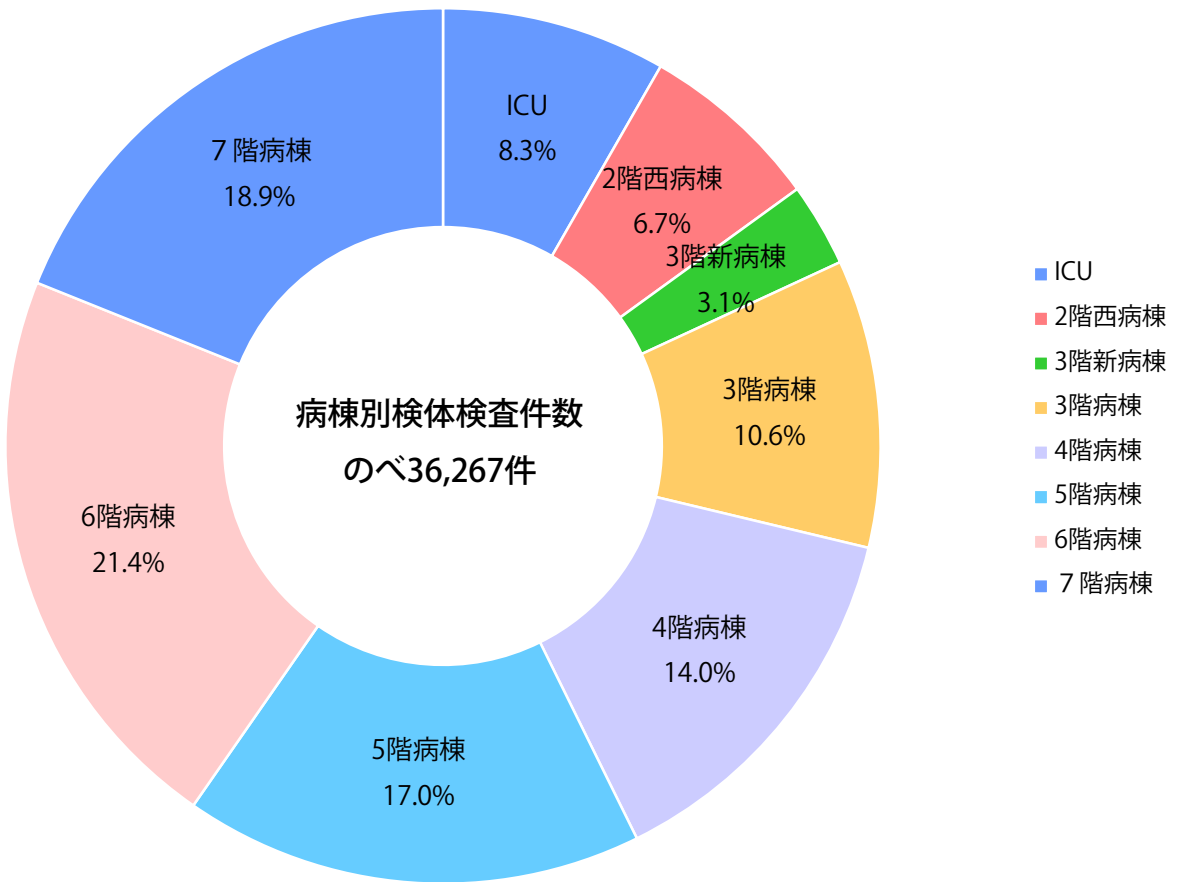
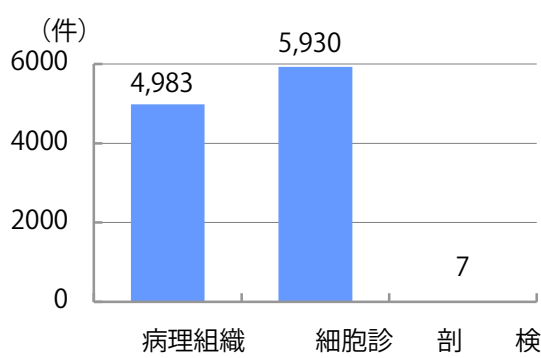
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心電図	516	507	465	446	476	413	495	349	446	477	487	510	5,587
CVR-R-ECG	1	1		1	1	1	2	2				2	11
マスター心電図	25	18	13	11	19	14	18	23	20	16	16	14	207
トレッドミル負荷心電図	1	3	4	2	5	6	8	5	7	6	6	2	55
ホルター心電図	12	8	11	7	15	17	14	13	13	16	14	18	158
24 時間血圧測定	1	4		3	1	1	4		2	1	1	2	20
肺機能検査 2 項目	47	51	45	45	64	53	42	59	52	55	53	60	626
肺機能検査 4 項目	27	35	29	34	29	38	28	25	19	18	38	30	350
ABI 測定	21	20	17	32	15	19	17	18	15	15	14	21	224
サーモグラフィ		3	1	1	1		1	2		3	1		13
呼気中尿素試験	60	46	44	51	50	56	72	56	47	54	44	64	644
脳波検査・誘発脳波	7	5	4	3	5	5	8	4	9	6	8	2	66
筋電図誘発筋電図	4	7	5	5	1	2	7	3	6	1	3	5	49
終夜睡眠ポリグラフィー	1	2	4	2	3	2	2	4	1	4	2	3	30
心肺運動負荷試験	4	1	1	2	4	4	3	2	4	1	3	2	31
心エコー	247	263	223	247	236	212	218	188	214	229	272	249	2,798
腹部エコー	418	460	473	435	394	408	451	342	381	396	376	419	4,953
泌尿器科エコー	94	109	117	116	110	100	109	108	104	75	100	90	1,232
表在エコー	170	213	217	219	256	179	303	225	235	202	205	230	2,654
血管エコー	74	80	92	94	96	91	143	68	81	111	69	104	1,103
胎児エコー	31	40	33	40	36	37	37	36	32	34	30	29	415
経食道エコー			3	1	4	1	4	2	1	3	2	3	24
聴力検査	83	81	72	62	57	70	93	111	56	50	55	85	875
ティンパノメトリー	20	21	14	16	18	17	18	19	18	20	13	27	221
MRI	322	359	394	368	389	405	409	368	337	320	372	393	4,436
食道 PH モニター		1		2			2		3	1		2	11
経直腸エコー	1		2	1	1			2	1	1	4	5	18
ENOG		1	2		1		1	3		1	1	2	12
アブミ骨反射検査	1	5	1	4		2	3	2	1	2		3	24
SRPP TcPo2													0
合計	2,188	2,344	2,286	2,250	2,287	2,153	2,512	2,039	2,105	2,118	2,189	2,376	26,847



骨髓像分類



病理細胞診



臨床工学科

臨床工学科技士長 大城 安

平成 2 6 年度は 1 名の技士を迎え総勢 1 2 名体制にて事業推進を図りました。臨床工学科の業務は主に代謝（血液浄化）、循環器（心臓カテーテル・PM）、ME 機器管理の三部門に分かれています。

血液浄化部門はオンラインH D F 療法の患者選定、それに伴う勉強会を実施し導入しました。

ME 機器管理部門は ME 機器定期研修を開始し、毎週木曜日にテーマを決めて医療機器に関する研修会を企画し、実施しました。

また、病院機能評価で開始した待機医療機器の点検を臨床工学科がラウンドして行うこととしました。その取り組みで使用前に異常を発見し、対応できたケースを経験し、現場の緊急時のトラブル回避に繋がりました。

新年度は技士全体のスキルアップを図りながら、事業計画に準じ事業の達成に努力してまいります。特に、ME 機器管理部門は手術室の ME 機器管理の充実を図り、手術室業務が安全に行える様取り組みます。

職員数

総数

12 名

職種別

臨床工学士 12 名

認定・資格

氏名	認定 ・ 資格名
大城安	透析技術認定士 呼吸療法認定士 医療機器情報コミュニケーター (MDIC) 透析技能2級検定試験 医療ガス保安管理技術者 V E L A保守管理研修終了者 E V T－4保守管理研修終了者 O T－7 0 7保守管理研修終了者
野原剛	透析技術認定士 呼吸療法認定士 第2種 ME 技術実力検定試験 実習指導者講習会終了者 ペースメーカー関連業務習得 (セミナー第Ⅰ期) ペースメーカー関連業務習得 (セミナー第Ⅱ期) V E L A保守管理研修終了者 ザビーナ保守管理研修終了者 E V T－4保守管理研修終了者 カンガルー 6 2 4型ポンプ保守管理研修終了者 フットポンプS C－D 700 保守管理研修終了者 日機装コンソール (DCS-27・28・73) 保守管理研修終了者

氏名	認定 ・ 資格名
豊川真理	医療機器情報コミュニケーター (MDIC) 第2種 ME 技術実力検定試験 V E L A保守管理研修終了者 ザビーナ保守管理研修終了者 E V T－4保守管理研修終了者 O T－7 0 7保守管理研修終了者 JMS 輸液ポンプ (O T-808C) 保守管理研修終了者 TE-161S 保守管理研修終了者 TE-331S 保守管理研修終了者 カンガルー 6 2 4型ポンプ保守管理研修終了者 トップTOP－6 1 0 0保守管理研修終了者 コンパクトドレーンユニット保守管理研修終了者 日機装コンソール (DCS-27・28・73) 保守管理研修終了者 フットポンプS C－D 700 保守管理研修終了者 シリンジポンプ (T E－35 型) 保守管理講習会修了者

氏名	認定 ・ 資格名
弓濱義之	透析技術認定士 透析液安全管理責任者 ペースメーカー関連業務習得 (セミナー第Ⅰ期) ペースメーカー関連業務習得 (セミナー第Ⅱ期) 第2種 ME 技術実力検定試験 ACLS V E L A保守管理研修終了者 O T－7 0 7保守管理研修終了者 カンガルー 6 2 4型ポンプ保守管理研修終了者 日機装コンソール (DCS-27・28・73) 保守管理研修終了者 フットポンプS C－D 700 保守管理研修終了者 日機装コンソール (DCS-100NX) 保守管理研修終了者
仲松晋也	第1種 ME 技術実力検定試験 / 臨床ME専門認定士 透析技術認定士 呼吸療法認定士 実習指導者講習会終了者 透析液安全管理者 V E L A保守管理研修終了者 ザビーナ保守管理研修終了者 E V T－4保守管理研修終了者 O T－7 0 7保守管理研修終了者 トップTOP－6 1 0 0保守管理研修終了者 JMS 輸液ポンプ (O T-808C) 保守管理研修終了者 コンパクトドレーンユニット保守管理研修終了者 電気メス (Force Triad) 保守管理研修終了者 日機装コンソール (DCS-27・28・73) 保守管理研修終了者 フットポンプS C－D 700 保守管理研修終了者 シリンジポンプ (T E－35 型) 保守管理講習会修了者
大瀨明日香	第2種 ME 技術実力検定試験 O T－7 0 7保守管理研修終了者 V E L A保守管理研修終了者 日機装コンソール (DCS-27・28・73) 保守管理研修終了者 A C H－Σメンテナンス技術講習会修了者 日機装コンソール (DCS-100NX) 保守管理研修終了者

氏名	認定 ・ 資格名
内里司	呼吸療法認定士 透析技術認定士 V E L A保守管理研修終了者 ザビーナ保守管理研修終了者 E V T－4保守管理研修終了者 O T－7 0 7保守管理研修終了者 カンガルー 6 2 4型ポンプ保守管理研修終了者 トップTOP－6 1 0 0保守管理研修終了者 電気メス (Force Triad) 保守管理研修終了者 フットポンプS C－D 700 保守管理研修終了者 日機装コンソール (DCS-27・28・73) 保守管理研修終了者
宮城直史	第2種 ME 技術実力検定試験 E V T－4保守管理研修終了者 O T－7 0 7保守管理研修終了者 トップTOP－6 1 0 0保守管理研修終了者 JMS 輸液ポンプ (O T-808C) 保守管理研修終了者 ニプロ個人用透析装置 (NDF-21) 保守管理研修終了者 日機装コンソール (DCS-27・28・73) 保守管理研修終了者 シリンジポンプ (T E－35 型) 保守管理講習会修了者
新川桂一朗	第2種 ME 技術実力検定試験 V E L A保守管理研修終了者 O T－7 0 7保守管理研修終了者 トップTOP－6 1 0 0保守管理研修終了者 JMS 輸液ポンプ (O T-808C) 保守管理研修終了者 日機装コンソール (DCS-27・28・73) 保守管理研修終了者 シリンジポンプ (T E－35 型) 保守管理講習会修了者
渡慶次一臣	第2種 ME 技術実力検定試験 日機装コンソール (DCS-27・28・73) 保守管理研修終了者 JMS 輸液ポンプ (O T-808C) 保守管理研修終了者
平敷幸大	第2種 ME 技術実力検定試験 日機装コンソール (DCS-27・28・73) 保守管理研修終了者
仲程通孝	日機装コンソール (DCS-100NX) 保守管理研修終了者

平成 26 年度技士取得ライセンス

名称	認定資格	主催	開催地	実施・取得年月日	氏名
ACH- Σメンテナンス技術講習会	ACH- Σメンテナンス技術講習修了者	旭化成メディカル株式会社	東京都	2014 年 5 月 22 日～ 24 日	大瀨明日香
第 9 回実習指導者講習会	実習指導者講習会修了者	日本臨床工学技士会	東京都	2014 年 8 月 2 日～ 3 日	野原剛
日機装コンソールメンテナンス講習会	日機装コンソール保守管理研修終了者 (DCS-100NX)	日機装株式会社	沖縄県	2014 年 9 月 27 日～ 28 日	弓濱義之、大瀨明日香、仲程通孝
テルモ (株) メンテナンス講習会	テルフュージョンシリンジポンプ TE-35 型講習会修了者	TERUMO	当院	2014 年 11 月 11 日	仲松晋也、宮城直史
テルモ (株) メンテナンス講習会	テルフュージョンシリンジポンプ TE-35 型講習会修了者	TERUMO	当院	2014 年 11 月 13 日	豊川真理、新川桂一朗

理念

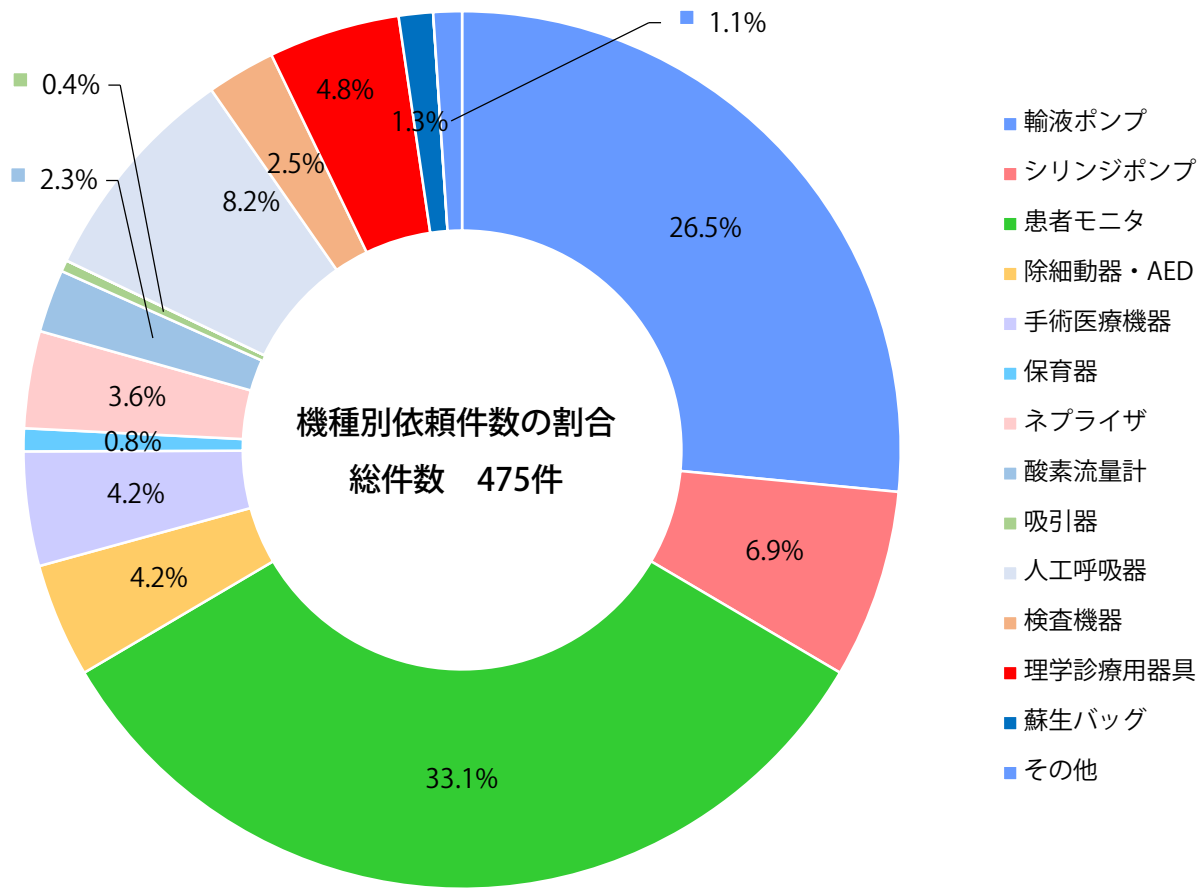
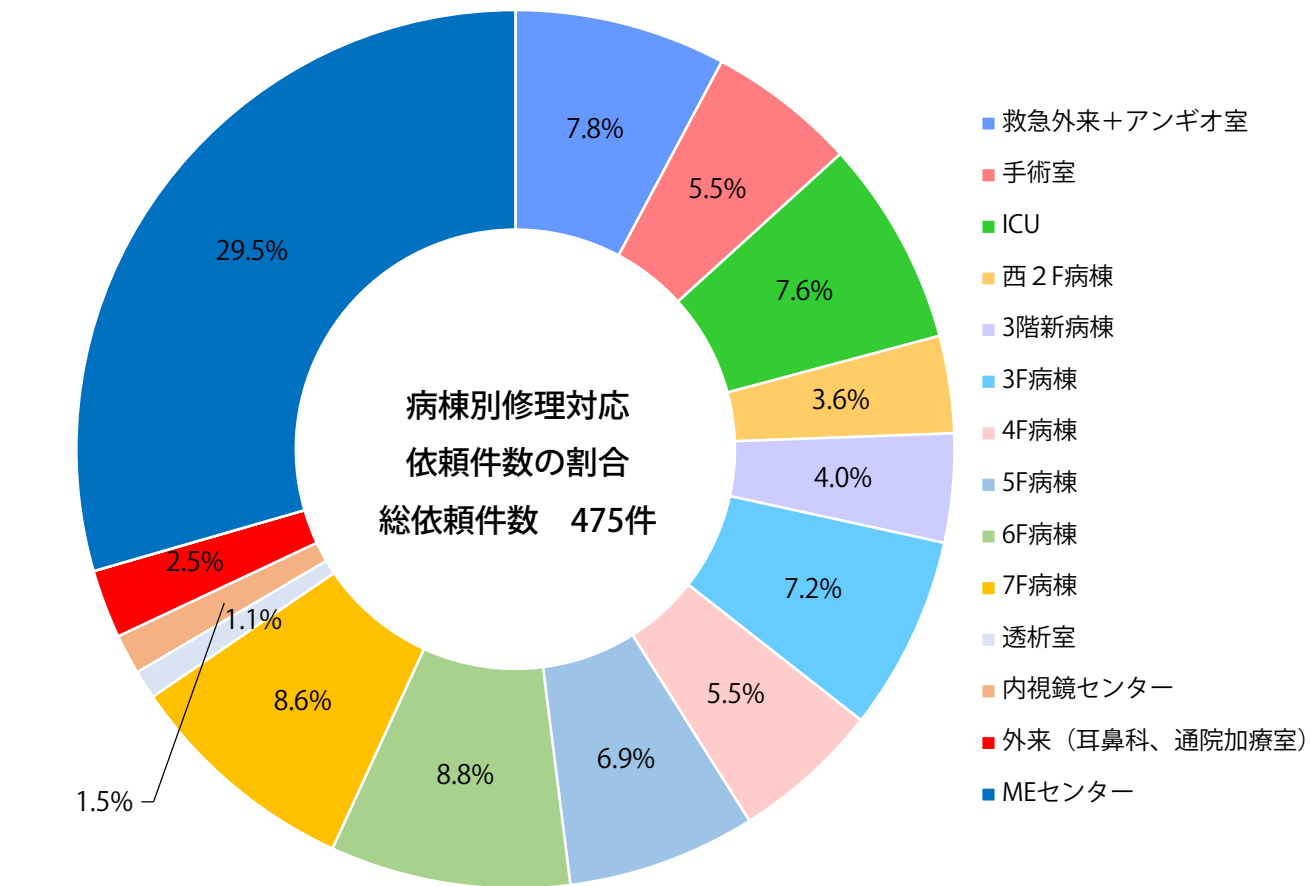
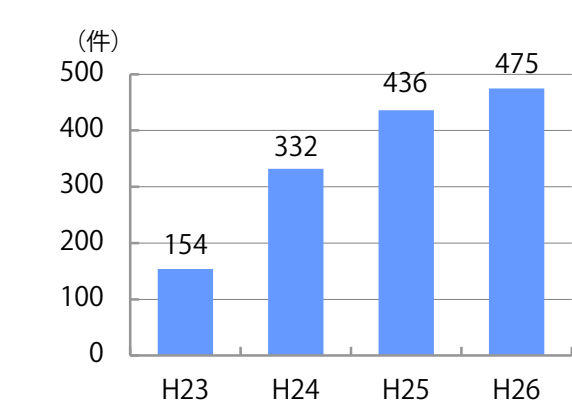
臨床工学科は急性期医療としての役割を遂行する為に他部門との連携を密にし、高度な医療技術の提供および機器の保守管理を行い、安心かつ安全な医療の提供を行います。

運営方針

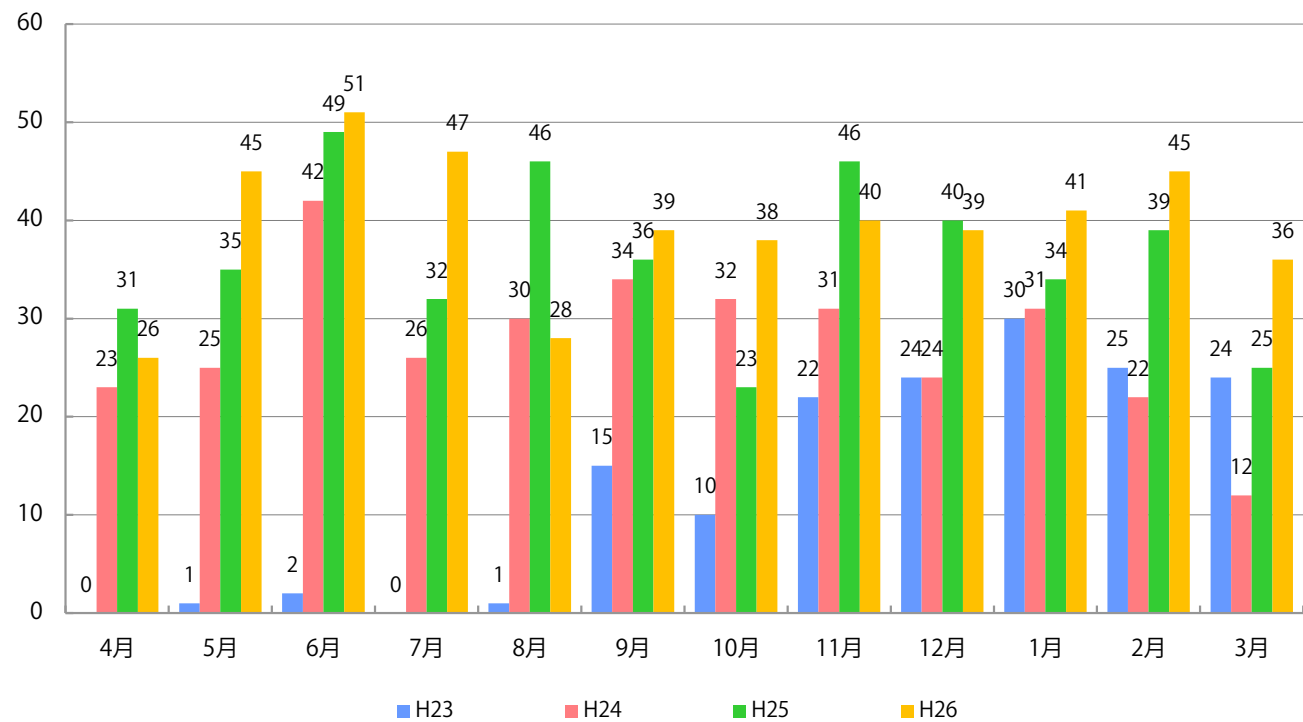
- 1. 良質な診療支援を行うため、組織、業務の改善に努める。
- 2. 安心・安全で信頼される診療技術の提供に努める。
- 3. 医療機器の医療事故防止に努める。
- 4. 高度医療機器の効率的運用と安全性の確保
- 5. 医療機器の標準化・機種統一を積極的に進める。

業務実績

【ME 機器管理実績】

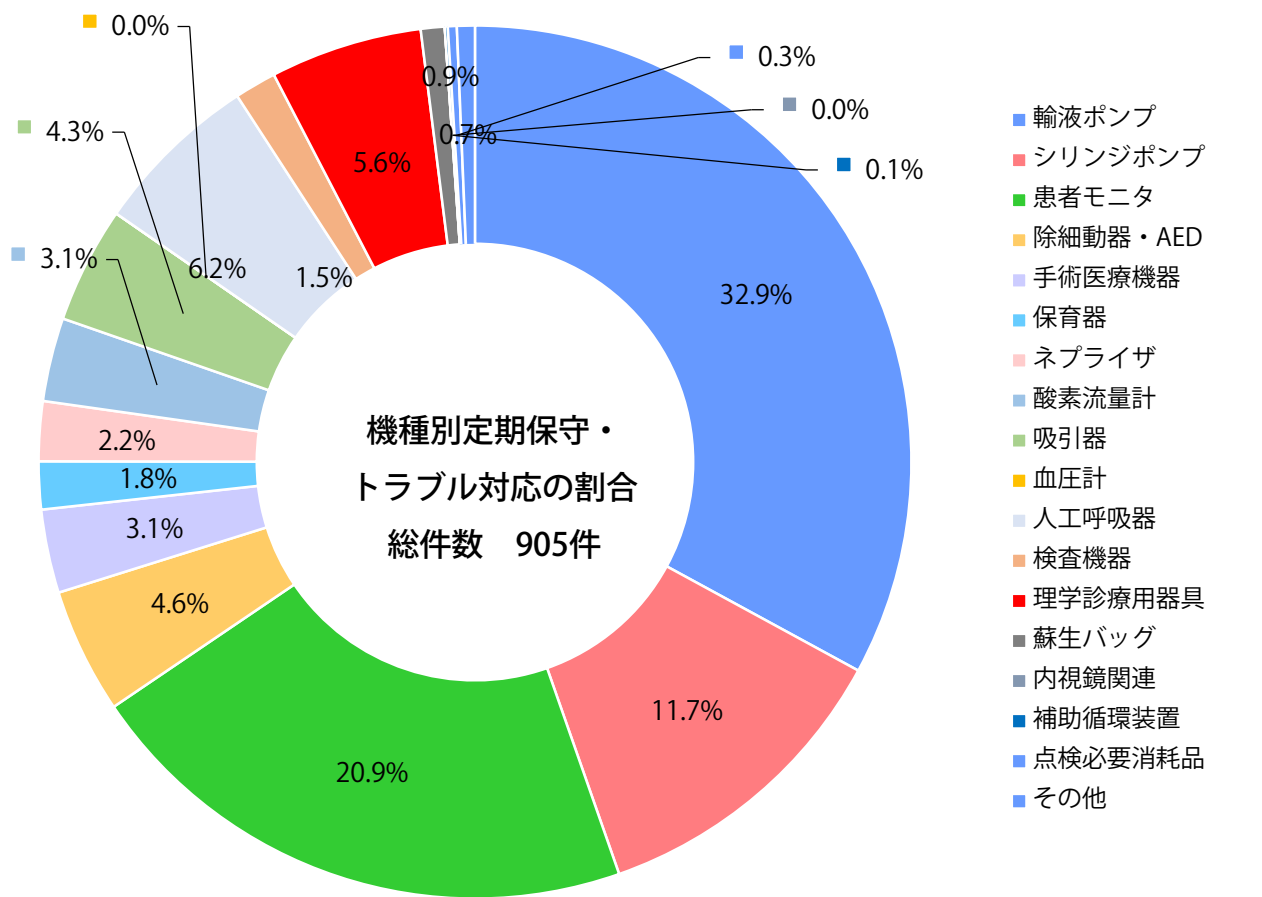
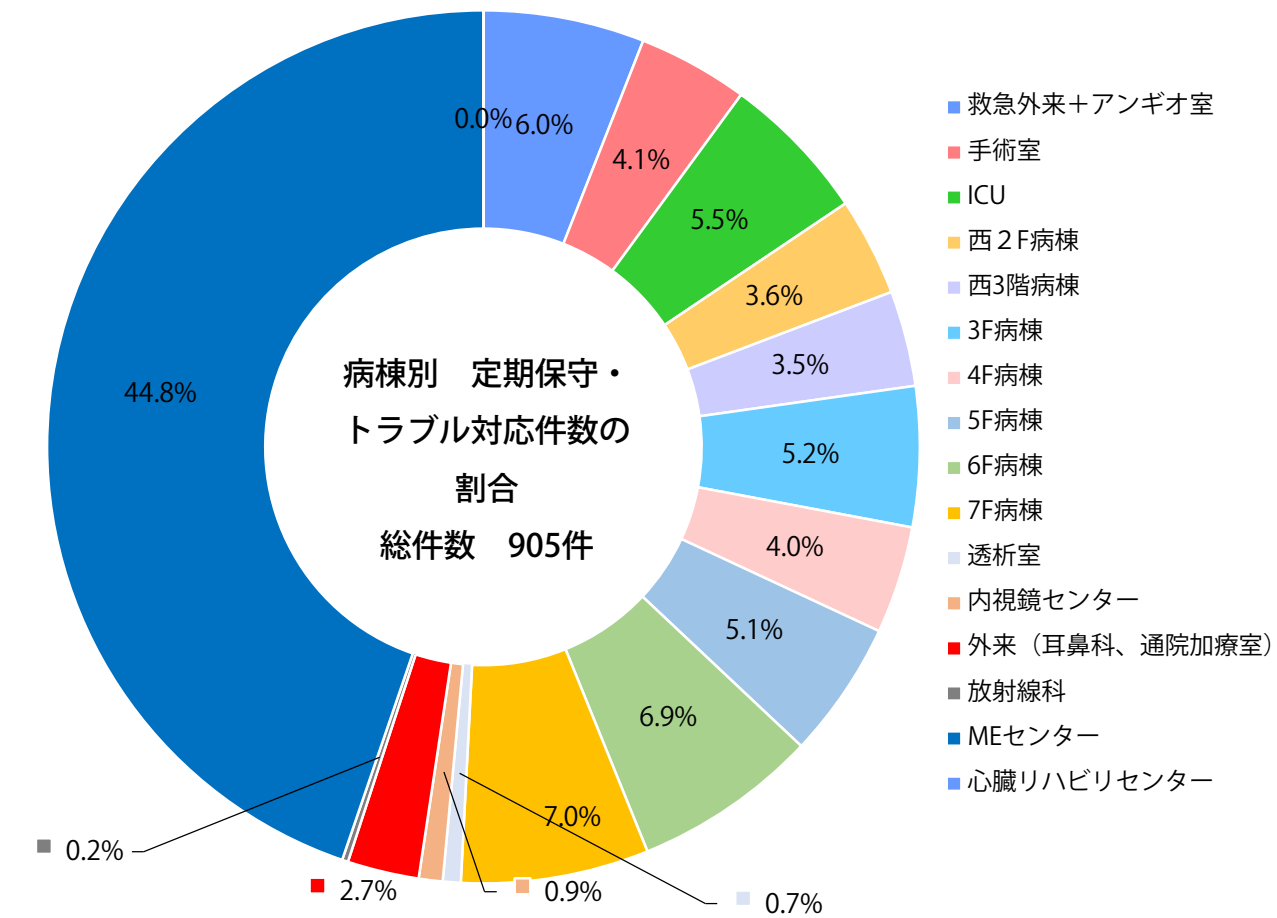
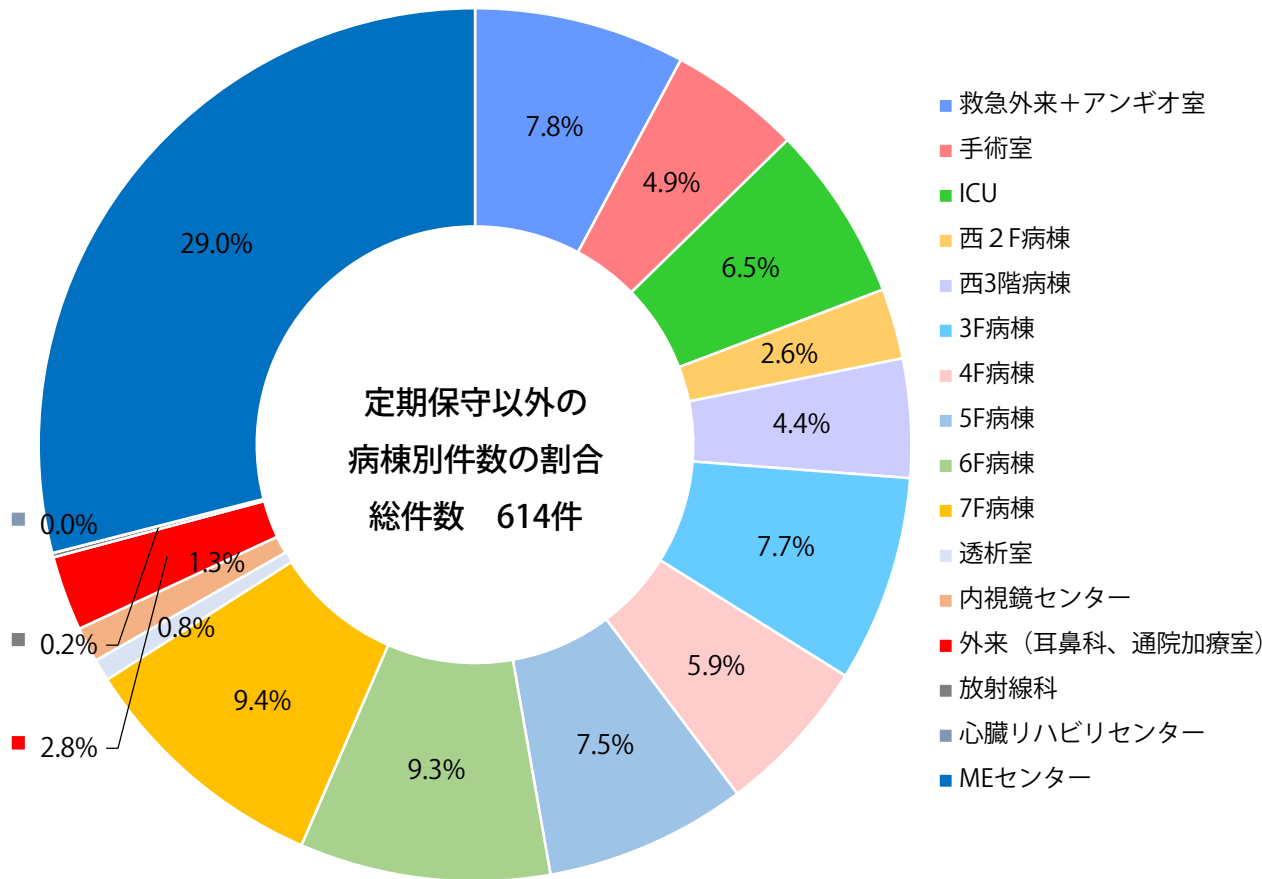
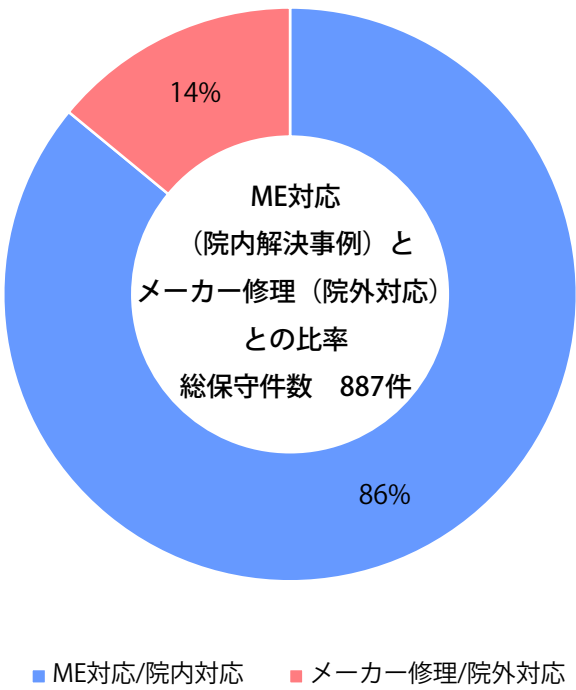
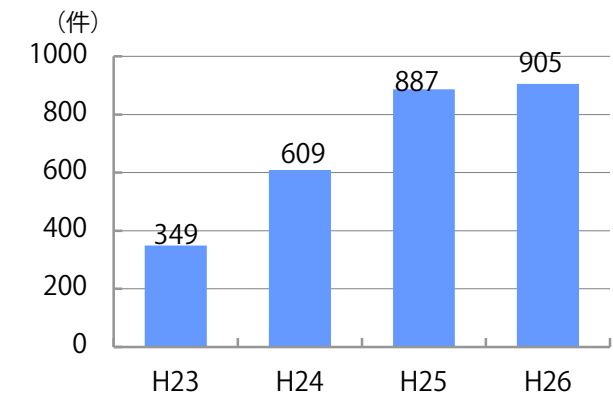


月別依頼件数の推移



1. 定期保守、トラブル対応件数

定期保守・トラブル対応件数の年度別推移

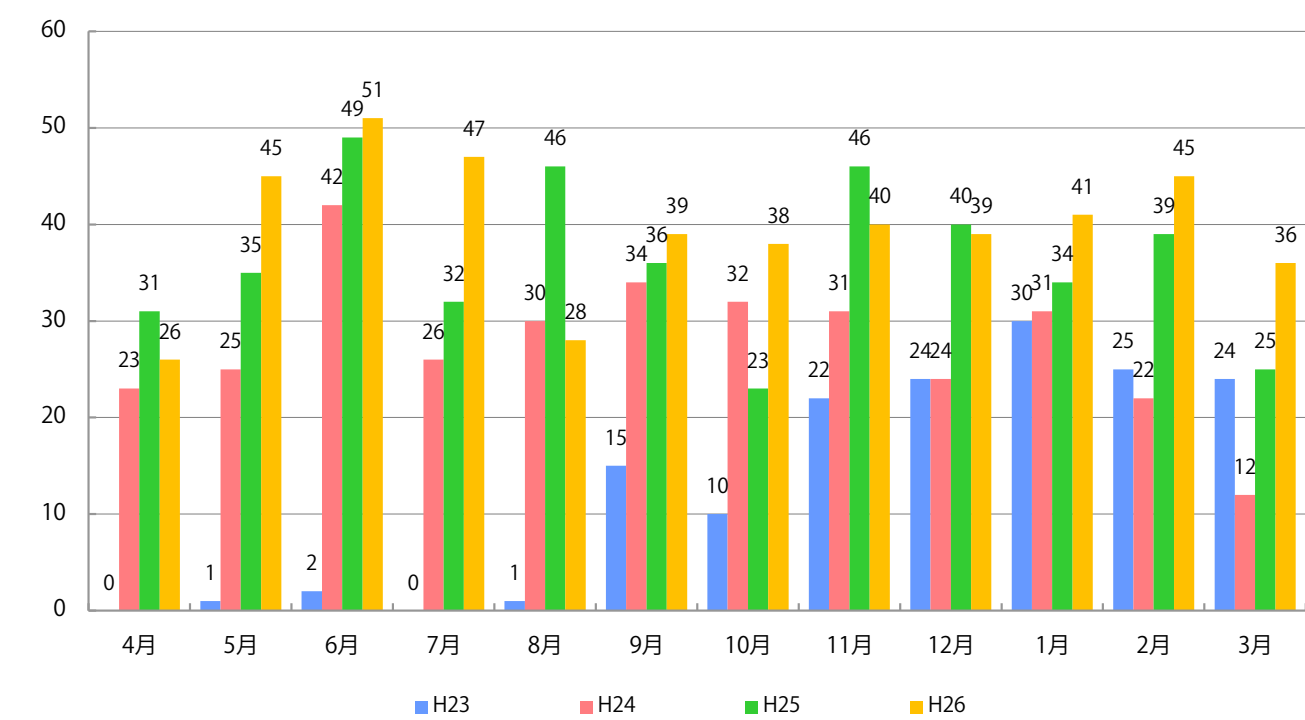


対応種別 保守・トラブル対応件数

作業内容	件数
1 年点検	238
3 ヶ月点検	26
6 ヶ月点検	15
定期部品交換	3
点検	61
バッテリーリフレッシュ	34
バッテリー交換	13
部品交換	172
部品交換 (中古)	40
修理	54
製品不良⇒新品入れ替え	1
清拭	4
説明	2
操作説明	20
調整	48
動作確認	59
修理見送り	6
改修	5

作業内容	件数
廃棄	5
定期校正	1
酸素校正	1
酸素センサー交換	5
返却時点検	1
現像聴取	1
立ち会い	0
改善依頼	0
フローセンサー交換	2
トラブル対応	25
ソフトウェア VerUP	7
納品時点検	48
更新	1
購入	1
その他	6
全件数	905

月別保守件数の推移



3. 日常点検集計

人工呼吸器について (年)

点検種類	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
始業点検	221	227	400	551
終業点検	246	263	327	359
使用中点検 (ラウンド点検)	0	2,643	2,507	2576

ポンプについて (年)

機種	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
輸液ポンプ	1,913	2,048	2,093	2377
シリンジポンプ	1,118	1,126	1,377	1423
経腸栄養ポンプ	9	19	46	29
フットポンプ	0	0	262	415
ドリップアイ	0	0	30	267

4. 臨床支援業務

肝腫瘍ラジオ波焼灼術 立ち会い件数の推移

年度	内科	外科	内科 (中止)	外科 (中止)	総数
H21	2	0	0	0	2
H22	7	4	3	0	14
H23	10	2	1	0	13
H24	27	1	0	1	29
H25	29	1	0	2	32
H26	37	7	1	0	45

在宅酸素療法対応件数

業者別対応件数

	フクダ	テイジン (南西)	オカノ	総数
H23	17	11	0	28
H24	12	11	2	25
H25	20	8	4	32
H26	22	16	8	46

対応種別件数

	導入	指示変更	中止	外泊	その他
H23	27	0	1	0	0
H24	23	0	0	1	1
H25	17	7	1	1	5
H26	27	5	1	1	12

レンタル対応 (開始、返却)

	NPPV(VISION)	NPPV(ASV-CS)	NHF ネーザルハイフロー
H24	74	76	0
H25	58	41	11
H26	106	75	18

【循環器実績】

心カテ・P M埋込症例数

月	カテーテル検査							PMI	PMC	IVCF	PPI
	CAG	PCI	緊急	総PCI	IABP	PCPS	TPM	Med	PM		
4月	8	9	3	12	1	0	0	0	13	1	0
5月	7	11	3	14	1	0	0	1	14	1	0
6月	8	4	1	5	0	0	1	0	14	0	1
7月	16	14	4	18	1	0	1	1	18	2	1
8月	13	11	4	15	1	0	2	1	15	1	1
9月	11	7	7	14	1	0	1	0	16	0	2
10月	9	6	4	10	0	0	1	2	16	0	2
11月	12	9	8	17	0	0	1	1	13	0	2
12月	9	12	3	15	0	0	0	3	14	0	1
1月	9	7	4	11	2	1	0	1	15	1	4
2月	12	7	4	11	1	0	1	0	14	1	1
3月	9	11	5	16	1	1	1	1	19	0	2
総合計	123	108	50	158	9	2	9	11	181	7	17

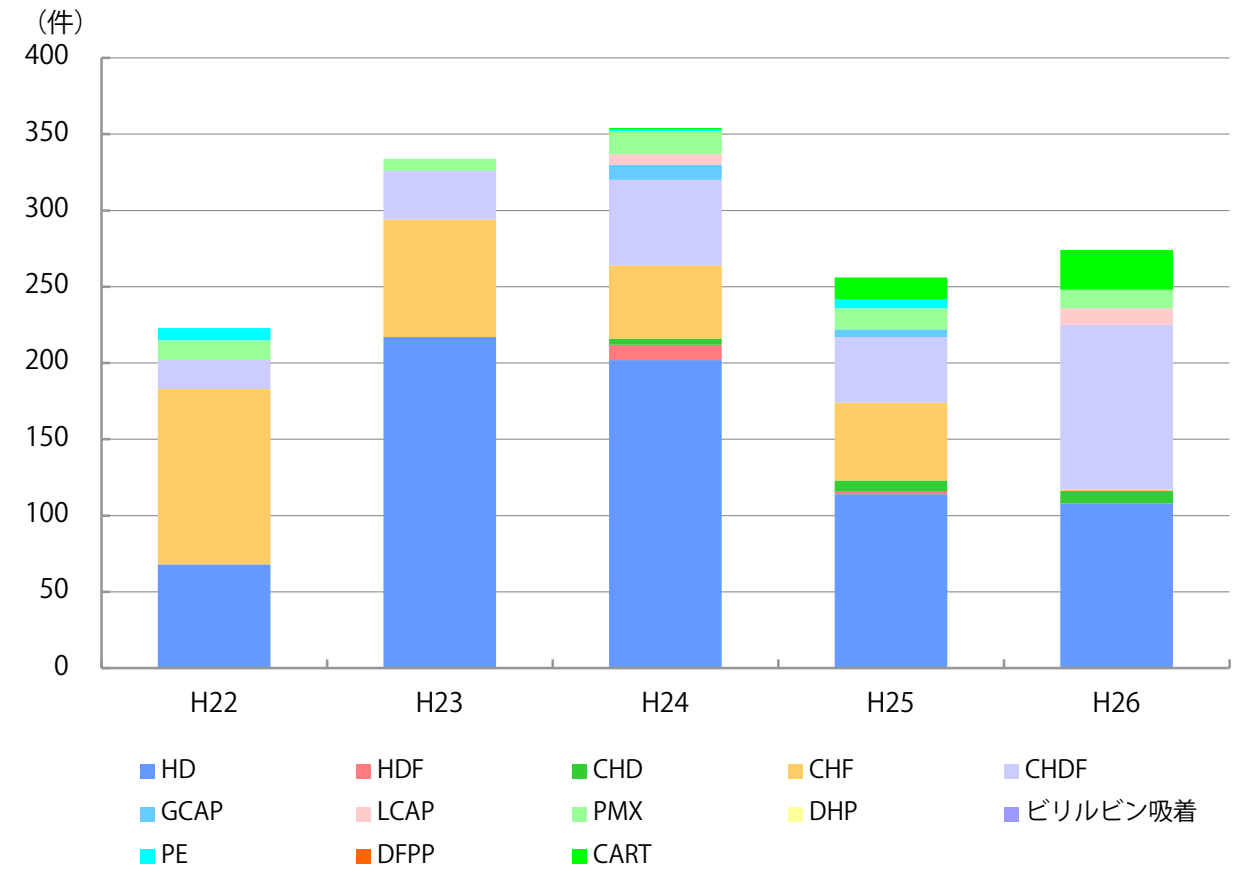
※ CAG は検査のみ、PCI+ 緊急が総 PCI 数になります。

PMI: ペースメーカ植え込み術。PMC: ペースメーカクリニック。PPI: 経皮的末梢動脈形成術。

IVCF: 下大静脈内留置フィルター。TPM: 体外式ペースメーカ

【血液浄化部実績】

出張血液浄化実績



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
逆止弁付き抗凝固剤投与回路が血液浄化装置の抗凝固剤注入ポンプ流量に与える影響	第 59 回日本透析医学会 学術集会・総会	兵庫県 (神戸市神戸国際会議場)	2014 年 6 月 12 日～6 月 15 日	仲松晋也、渡慶次一臣、宮城直史、豊川真理、大城安
座長	Slender Club Japan 沖縄支部	沖縄県	2014 年 10 月 4 日	弓濱義之
日機装社製 D-FAS(Dialysis-Full-Assist-System)専用改良型ピロー付き血液回路の使用経験	第 47 回九州人工透析研究会総会	大分県	2014 年 11 月 30 日	大瀨明日香、内里司、仲松晋也、大城安
当院の台風災害対策～台風 8 号沖縄本島接近時の対応～	第 47 回九州人工透析研究会総会	大分県	2014 年 11 月 30 日	大城安、野原剛、宮城幸江、竹本直美
座長	第 33 回沖縄県人工透析研究会	宜野湾市	2015 年 3 月 8 日	野原剛

活動実績

院内外研修実績

題 目	主 催	開催地	実施年月日	参加者
第 6 回血液浄化 StepUP ビデオセミナー	沖縄県臨床工学士会	浦添市でだこホール (市民交流会)	2014 年 4 月 13 日	大城 安、大瀨明日香、内里司、新川桂一朗、渡慶次一臣、平敷幸大
第 62 回日本輸血・細胞治療学会総会	日本輸血・細胞治療学会総会	奈良県	2014 年 5 月 15 日～5 月 17 日	大城 安
第 1 回 NPPV ハンズオンセミナー	CE 野口企画	浦添市	2014 年 5 月 24 日	宮城直史、新川桂一朗
明日から役立つ人工呼吸器セミナー in 沖縄	CE 野口企画	浦添市	2014 年 5 月 25 日	宮城直史、新川桂一朗
第 7 回周術期セミナー	日本麻酔学会	神奈川県	2014 年 5 月 17 日	豊川真理
ACH-Σメンテナンス技術講習会	旭化成メディカル株式会社	東京都	2014 年 5 月 22 日～5 月 24 日	大瀨明日香
ハート先生の心電図セミナー	心臓病看護教育研究会	那覇市	2014 年 6 月 3 日～6 月 4 日	大瀨明日香
逆止弁付き抗凝固剤投与回路が血液浄化装置の抗凝固剤注入ポンプ流量に与える影響	第 59 回日本透析医学会 学術集会・総会	兵庫県	2014 年 6 月 13 日～6 月 15 日	仲松晋也 ○発表者と共同研究者○講師・座長 / ○仲松晋也、渡慶次一臣、宮城直史、豊川真理、大城安
第 23 回日本心血管インターベンション治療学会	日本心血管インターベンション治療学会	愛知県	2014 年 7 月 24 日～7 月 26 日	平敷幸大
第 9 回実習指導者講習会	日本臨床工学士会	東京都	2014 年 8 月 2 日～8 月 3 日	野原 剛
平成 26 年度 MDIC 更新ポイント付与対象セミナー	日本医療機器学会	福岡県	2014 年 9 月 6 日	豊川真理
第 24 回沖縄呼吸ケアセミナー	沖縄呼吸ケア研修会	沖縄県	2014 年 9 月 6 日	野原 剛、内里司、宮城直史
透析技術認定士認定更新のための講習会	透析療法合同専門委員会	東京都	2014 年 9 月 14 日	仲松晋也
第 17 回沖縄救急医療懇話会	沖縄救急医療懇話会	沖縄県	2014 年 9 月 23 日	大城 安、野原剛

題 目	主 催	開催地	実施年月日	参加者
日機装コンソールメンテナンス講習会 (DCS-100NX)	日機装株式会社	沖縄県	2014 年 9 月 27 日 ~9 月 28 日	弓濱義之、大瀨明日香、仲程通孝
医療機器安全管理基礎講習会	沖縄県臨床工学技士会	沖縄県	2014 年 9 月 28 日	宮城直史、新川桂一朗
Slender Club Japan Meets the 8th Korea-Japan Freindship TRI Seminar 2014 in OKINAWA	Slender Club Japan 沖縄支部	沖縄県院	2014 年 10 月 4 日	弓濱義之、平敷幸大 ○発表者と共同研究者○講師・座長 / ○弓濱義之
テルモ（株）メンテナンス講習会（テルフュージョンシリンジポンプ TE-35 型）	TERUMO	当院	2014 年 11 月 11 日	仲松晋也、宮城直史
平成 26 年度 MDIC 更新ポイント付与対象セミナー	日本医療機器学会	大阪市	2014 年 10 月 11 日 ~10 月 12 日	大城 安
院内研究発表予選会 医療技術部門予選会	医療技術部門	当院	2014 年 10 月 24 日	○発表者と共同研究者 ○講師・座長 / ○渡慶次一臣
テルモ（株）メンテナンス講習会（テルフュージョンシリンジポンプ TE-35 型）	TERUMO	当院	2014 年 11 月 13 日	豊川真理、新川桂一朗
第 12 回沖縄敗血症治療研究会	東レメディカル	沖縄県	2014 年 10 月 25 日	野原 剛
第 47 回九州人工透析研究会総会	九州人工透析研究会	大分県	2014 年 11 月 30 日	大城 安、大瀨明日香 ○発表者と共同研究者 ○講師・座長 / ○大瀨明日香、内里 司、仲松晋也、大城 安
第 47 回九州人工透析研究会総会	九州人工透析研究会	大分県	2014 年 11 月 30 日	大城 安、大瀨明日香 ○発表者と共同研究者○講師・座長 / ○大城 安、野原剛、宮城幸江、竹本直美
医療機器の安全管理を考えるシンポジウム	公益財団法人 医療機器センター	東京都	2014 年 12 月 4 日	仲松晋也
九州保健福祉大学バイザー会議	九州保健福祉大学	宮崎県	2014 年 12 月 6 日	野原 剛
第 12 回心臓カテーテル／ペースメーカー勉強会	沖縄県臨床工学技士会 学術委員会 循環器部門	おきなわクリニカルシミュレーションセンター 3F	2015 年 2 月 22 日	宮城直史
第 1 回沖縄県透析困難症例研修会	沖縄県透析困難症例研修会	沖縄県	2015 年 2 月 28 日	大城 安、野原剛、内里司
第 33 回沖縄県人工透析研究会	沖縄県人工透析研究会	沖縄県	2015 年 3 月 8 日	大城 安、野原剛、豊川真理、弓濱義之、 宮城直史、新川桂一朗、平敷幸大、仲程通孝 ○発表者と共同研究者○講師・座長 / ○野原 剛

医療機器研修

研修名	場所	開催年月日	講師	参加者						
				看護師	医師	研修医	事務	医療技術	その他	学生
平成 26 年度 新人研修 モニタ心電図、12 誘導心電図、除細動器	2 階講堂	2014 年 4 月 7 日	臨床工学科	28	0	0	0	0	0	0
人工呼吸器デモのための事前勉強会	ICU	2014 年 5 月 22 日	日本光電	11	0	0	0	3	0	0
モニタ講習会（ベーシックコース）	2 階講堂	2014 年 5 月 29 日	日本光電	22	0	0	0	5	0	0
平成 26 年度 新人研修 3 ヶ月フォローアップ 輸液ポンプ、シリンジポンプの基礎と使用方法 実習含む	2 階講堂	2014 年 6 月 27 日	臨床工学科	25	0	0	0		3	0
ネザルハイパー 説明会	ICU	2014 年 7 月 2 日	F&P	10	0	0	0	5	0	0
電気メス講習会（エルベ社 VIO）	3 階 ME 機器管理室	2014 年 7 月 17 日	アムコ	0	0	0	0	2	0	0
看護部領域別研修『がん化学療法』ドリップアイの使用法	2 階講堂	2014 年 7 月 22 日	臨床工学科	13	0	0	0	0	0	0
人工呼吸器の基本について～新人対象	5 階病棟	2014 年 7 月 29 日	臨床工学科	7	0	0	0	0	0	0
看護部領域別研修『呼吸』人工呼吸器の注意点	2 階講堂	2014 年 8 月 8 日	臨床工学科	8	0	0	0	0	0	0
ASV について	8 階透析室	2014 年 8 月 20 日	帝人在宅医療	13	1	0	1	7	0	0
PCA ポンプ「アイフューザープラス」使用方法	4 階病棟	2014 年 9 月 11 日	ITI	5	0	0	0	1	0	0
PCA ポンプ「アイフューザープラス」使用方法	4 階病棟	2014 年 9 月 20 日	臨床工学科	7	0	0	0	0	0	0
フットポンプ SCD700 操作方法	6 階病棟	2014 年 9 月 16 日	臨床工学科	8	0	0	0	0	0	0
PCA ポンプ「アイフューザープラス」使用方法	外来	2014 年 9 月 24 日	臨床工学科	7	0	0	0	0	0	0
PCA ポンプ「アイフューザープラス」使用方法	ICU	2014 年 9 月 30 日	臨床工学科	8	0	0	0	0	0	0
PCA ポンプ「アイフューザープラス」使用方法	救急外来	2014 年 9 月 29 日	臨床工学科	5	0	0	0	0	0	0
PCA ポンプ「アイフューザープラス」使用方法	救急外来	2014 年 9 月 30 日	臨床工学科	5	0	0	0	0	0	0
人工呼吸器、PCA ポンプについて	3 階 ME 機器管理室	2014 年 10 月 7 日	臨床工学科	3	0	0	0	0	0	0
ワイレス 12 誘導心電図伝送システム	救急外来	2014 年 10 月 21 日	グッドケア	5	1	0	0	3	0	0
蘇生バッグの原理・分解・組立 そして点検方法	3 階 ME 機器管理室	2014 年 10 月 30 日	臨床工学科	2	0	0	0	0	0	0
延長チューブの使用法	ハートライフクリニック	2014 年 11 月 5 日	臨床工学科	4	0	0	0	0	0	0
トロッカーアスピレーションキット使用方法	ICU	2014 年 11 月 7 日	コヴィディエン	11	0	0	0	3	0	0
看護部領域別研修『呼吸』人工呼吸器の注意点	2 階講堂	2014 年 12 月 12 日	臨床工学科	7	0	0	0	0	0	0
モナール T 60 新機種人工呼吸器使用方法	救急外来	2014 年 12 月 25 日	南西医療器	10	0	3	0	0	0	0
モナール T 60 新機種人工呼吸器使用方法	救急外来	2014 年 12 月 26 日	南西医療器	6	4	5	0	0	0	0

研修名	場所	開催年月日	講師	参加者						
				看護師	医師	研修医	事務	医療技術	その他	学生
バイダケアパワードライバー G3 タイプ	救急外来	2015 年 1 月 28 日	IMI	7	2	6	0	2	0	0
バイダケアパワードライバー G3 タイプ	救急外来	2015 年 1 月 29 日	IMI	7	0	1	0	1	2	2
12 誘導心電図伝送システム導入説明会	救急外来	2015 年 3 月 9 日	MID	6	2	3	2	5	0	0
ベッドサイドモニタ 小児使用時の対応（設定変更等）	救急外来	2015 年 3 月 10 日	臨床工学科	6	0	0	0	0	0	0
12 誘導心電図伝送システム導入説明会	救急外来	2015 年 3 月 23 日	MID	3	0	0	0	1	0	0
音声外来開設前打ち合わせ	外来	2015 年 3 月 26 日	長島医療器械	2	1	0	2	3	0	0
12 誘導心電図伝送システム導入説明会	救急外来	2015 年 3 月 26 日	MID	4	0	0	0	1	0	0
NPPV マスクフィッティング	3階ME機器管理室	2015 年 3 月 26 日	臨床工学科	1	0	0	0	0	0	0

栄養科

栄養科科长 久場 徳子

平成 26 年度は、患者さんより頂いた情報や意見を元に献立の見直しを実施し、マニュアル作りに取り組んでいます。一人でも多くの方々に快適な入院生活が出来る手助けが出来たらと考えています。

職員数

総数

29 名

職種別

管理栄養士 6 名

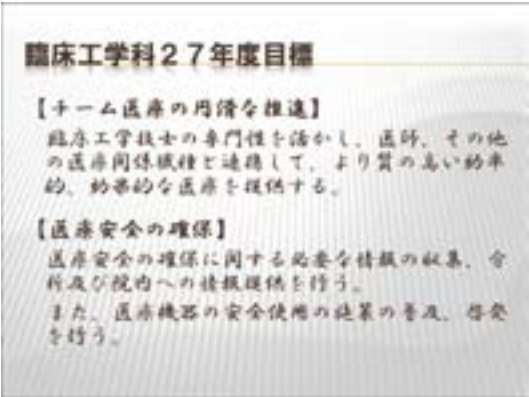
調理師 10 名

調理補助 6 名

食器洗浄 6 名

事務 1 名

実績報告資料等



認定・資格

氏名	認定・資格名
久場徳子	健康運動指導士 糖尿病療養指導士 栄養サポート専門療法士
渡真利ゆりか	健康運動指導士 沖縄県地域糖尿病療養指導士

氏名	認定・資格名
當真結子	沖縄県地域糖尿病療養指導士
真栄城ゆかり	糖尿病療養指導士 栄養サポート専門療法士
高屋美希	沖縄県地域糖尿病療養指導士

運営方針

- ・患者様のニーズに応える食事を提供します。
- ・衛生面かつ安全面に配慮した業務を行います。
- ・患者様の病態に応じた食事の支援をいたします。

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	年月日	発表者と研究者
医療技術職について	医療技術部勉強会	当院	2014/7/25	當真結子
人間ドックでの栄養士の関わり	院内研究発表部門予選	当院	2014/10/24	當真結子
高血圧・脂質異常症の食事管理	慢性疾患領域研修会	当院看護部	2014/7/26・10/25	久場徳子

活動実績

科内研修

名称	開催地	実施年月日	講師
嚥下障害とは	栄養科	平成 26 年 4 月	高屋美希
検診検査結果の見方	栄養科	平成 26 年 5 月	予防医学センター保健師 甲斐
手洗いについて	栄養科	平成 26 年 6 月	感染室NS 宮城
血管の若さを保つ工夫	栄養科	平成 26 年 7 月	久場徳子
栄養不良とは	栄養科	平成 26 年 8 月	高屋美希
食種について	栄養科	平成 26 年 9 月	真栄城
衛生管理について	栄養科	平成 26 年 10 月	幸地夕姫
給食衛生マニュアル	栄養科	平成 26 年 11 月	久場徳子
トロミ水の濃度変化	栄養科	平成 26 年 12 月	高屋美希
セリ - 食用ソフテア G の特徴	栄養科	平成 27 年 1 月	幸地夕姫
平成 25 年度国民栄養調査の結果	栄養科	平成 27 年 2 月	久場徳子
スチームコンベクション使用方法	栄養科	平成 27 年 3 月	高屋美希

患者さんを招いての昼食会

題名	開催地	実施年月日	参加
昼食会（弁当）	ハートライフクリニック	2014 年 4 月 26 日	新垣優子、棚原棚原

研修受講実績

研修名	開催地	実施年月日	参加
沖縄県地域糖尿病療養指導士育成会	南風原	2014 年 4 月 12 日	渡真利ゆりか
沖縄県心臓リハビリテーション研究会	南風原	2014 年 5 月 19 日	久場徳子、真栄城ゆかり、渡真利ゆりか
沖縄臨床栄養懇話会	南風原	2014 年 5 月 23 日	渡真利ゆりか
平成 25 年度 科別実績報告会	当院	2014 年 6 月 3 日	久場徳子
糖尿病の治療・看護・指導の為の講習会	那覇市	2014 年 6 月 28 日	久場徳子
ネスレセミナー in 沖縄	浦添市	2014 年 7 月 23 日	久場徳子、真栄城ゆかり、高屋美希、幸地
栄養サポートセミナー	那覇市	2014 年 7 月 25 日	幸地
食中毒防止研究会	浦添市	2014 年 9 月 5 日	吉岡、国場、宜名眞
血液を介する感染症	院内	2014 年 9 月 10 日	久場徳子
肝不全治療研究会	宜野湾	2014 年 9 月 11 日	久場徳子、真栄城ゆかり、高屋美希、幸地
糖尿病治療学術講演会	南風原	2014 年 9 月 30 日	久場徳子
栄養士研究発表会	浦添市	2014 年 10 月 11 日	久場徳子
ノロウイルス食中毒の予防と対策	那覇市	2014 年 11 月 17 日	仲村・島袋
沖縄県民の為の嚥下食実践セミナー	那覇市	2014 年 11 月 19 日	久場徳子
食物アレルギーの診療・栄養士の役割	当院	2014 年 11 月 28 日	久場徳子、真栄城ゆかり
栄養士研究発表会	宜野湾	2014 年 11 月 29 日	久場徳子
災害対策講演会	豊見城市	2014 年 12 月 2 日	久場徳子
糖尿病療養支援実践セミナー	沖縄市	2014 年 12 月 4 日	幸地
糖尿病に関わる医師と医療スタッフの為の研修会	浦添市	2014 年 12 月 17 日	久場徳子、真栄城ゆかり、高屋美希
栄養士会医療事業部研修会	那覇市	2014 年 12 月 23 日	久場徳子、真栄城ゆかり、高屋美希
糖尿病に関わる医師と医療スタッフの為の研修会	浦添市	2015 年 1 月 21 日	久場徳子、高屋美希

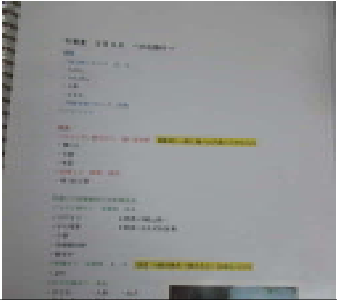
研修名	開催地	実施年月日	参加
南部地区医師会講演会	八重瀬町	2015 年 1 月 28 日	久場徳子
医師・看護スタッフの為の糖尿病セミナー in 沖縄	那覇市	2015 年 2 月 7 日	久場徳子
地域保健関係職員研修事業	那覇市	2015 年 2 月 9 日	久場徳子、真栄城ゆかり
糖尿病の治療・看護・指導の為の講習会	南風原町	2015 年 2 月 28 日	久場徳子、高屋美希
沖縄リハビリテーション栄養研究会	那覇市	2015 年 3 月 7 日	真栄城ゆかり、高屋美希、幸地
健康増進委員主催講演会	当院	2015 年 3 月 11 日	久場徳子、當眞
沖縄NSTフォーラム	浦添市	2015 年 3 月 14 日	久場徳子、真栄城ゆかり
地域活動栄養士研修事業	宜野湾市	2015 年 3 月 15 日	久場徳子、當眞

イベント参加

名称	内容	開催地	発表年月日	参加者
小児糖尿病サマーキャンプ	食事指導	少年自然の家	2014/7/30 ～ 7/31	當眞
糖尿病週間	食事指導	パレット久茂地	2014/10/18	當眞

実績報告等

誰が作っても同じ出来上がりになるような工夫でレシピづくりに取り組んでいます



薬局

薬局長 田中 健嗣

薬剤師 11 名で新年度を迎えました。人員確保に向け在職者の母校をはじめ、各大学へ積極的な PR 活動を開始しました。また、少人数で運用ができる様に、業務内容の見直しを行い、事務作業や薬剤師業務の移行、薬局内の確認作業の簡略化、日常業務の簡素化を図りました。

職員数

総数

17 名

職種別

薬剤師 11 名

薬局助手 4 名

一般事務 2 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
田中 泉	認定実務実習指導薬剤師
大関秀和	認定実務実習指導薬剤師

氏名	認定・資格名
谷山 美紗子	糖尿病療養指導士
義田育美	NST 専門療法士

理念

- 私たちは心と心を結ぶ信頼される医療を目指します。
- 患者さんが喜ぶ医療を目指します。

運営方針

- 全ての入院患者さんの状況把握と関与
- 医薬品の適正使用
- 「より安全な薬物療法」と「より質の高い薬物療法」

活動実績

講師・発表実績

内容	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
演者	沖縄県薬剤師学術大会	沖縄県	2014 年 9 月 16 日	翁長寛人、上地美和
演者	日本造血細胞移植学会	沖縄県	2014 年	仲宗根ちひろ
講師	フィジカルアセスメント研修会	沖縄県	2014 年 5 月～ 12 月	大関秀和
講師	沖縄県緩和ケア研修	沖縄県	2014 年 8 月 2 日～ 3 日	田中健嗣・大関秀和
座長	第 3 回糖尿病治療看護講演会	沖縄県	2015 年 2 月 28 日	翁長寛人

平成 26 年度計画及び実績

計画	目標	実績
利益目標	8000 万	1 億 4 千万
薬剤管理指導	月間 500 件 年間 6,000 件	360 件 4,300 件
DI ニュース・情報配信		DI ニュース :7 報、緊急 :2 報
薬剤師	23 名体制	11 名 /17 名枠
学会参加	9 件	2 件 : 沖縄県薬剤師学術大会、環境感染学会
学会発表	3 題	3 題 : 沖縄県薬剤師学術大会 (2 題)、日本造血細胞移植学会
薬剤師病棟配置		複数病棟を兼任で配置 (未算定)
スタッフ育成・ 認定専門薬剤師育成		フィジカルアセスメント研修会へ参加しインストラクターを育成
実習・研修 (専門病院派遣)		■薬局内勉強会 57 件 ■県内勉強会 40 件 ■県外講演会 周術期セミナー SGLT2 阻害薬 PM 研究会 九州大腸がんセミナー等 10 件

その他の実績

- 大型保冷庫の撤去・小型保冷庫の導入
- 調剤室の床の張り替え
- 宿直室の設置
- 天秤台車、パレット台車による在庫管理の導入
- 病棟薬品請求のバーコード化
- 向精神薬管理記録簿の電子化
- 治験管理事務局の設置
- 透析処方を院外処方への切り替えを検討・準備
- アンプルピッカーの導入の検討・準備
- 治験業務の強化を検討・準備
- 薬局 SE の雇用
- 2014 年 9 月より当直業務を開始

リハビリテーション科

リハビリテーション科療法士長 玉城 義彦

7 階病棟に専用フロアを設置し心臓リハビリをスタートして 2 年が過ぎました。心疾患療養に一助できるようにと毎週金曜日に実施している「ハート教室」を含め、医師・看護師・理学療法士など、スタッフがそれぞれの専門性を発揮し心臓リハビリの充実を図っていきます。

また、がんのリハビリテーション研修終了者も 4 名増え、がんのリハビリテーションの充実も同様に図っていきます。全体としても理学療法士 2 名、作業療法士 1 名、言語聴覚士 1 名が増員され、療法士数の充実を図る事が出来ました。専門療法士育成等を推進し質の向上に取り組み、平成 27 年度も救急及び急性期リハビリの充実、拡充に向けて取り組んでいきます。

職員数

総数

26 名（育休職員 3 名・助手 1 名含む）

職種別

理学療法士 14 名（育休職員含む）
作業療法士 6 名

言語聴覚士 5 名
助手 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
玉城義彦	介護支援専門員
屋宜伸春	呼吸療法認定士 心臓リハビリテーション指導士
弘岡 亮	心臓リハビリテーション指導士
波平静香	呼吸療法認定士
狩俣貴康	呼吸療法認定士
橋爪佳代	呼吸療法認定士
福地 美香	呼吸療法認定士
新垣健	がんのリハビリテーション研修終了

氏名	認定・資格名
神里 祥子	がんのリハビリテーション研修終了
玉栄優子	がんのリハビリテーション研修終了
金城 勝一朗	がんのリハビリテーション研修終了
栄野比智也	がんのリハビリテーション研修終了
富永 涼子	がんのリハビリテーション研修終了
宮城 奈津希	がんのリハビリテーション研修終了
大城盛彦	がんのリハビリテーション研修終了
松川玲子	高次脳機能障害認定言語聴覚士

理念

患者さんの目標（家庭復帰等）に向かって、機能的予後予測に即した、リハビリテーション全体をマネジメントする。

運営方針

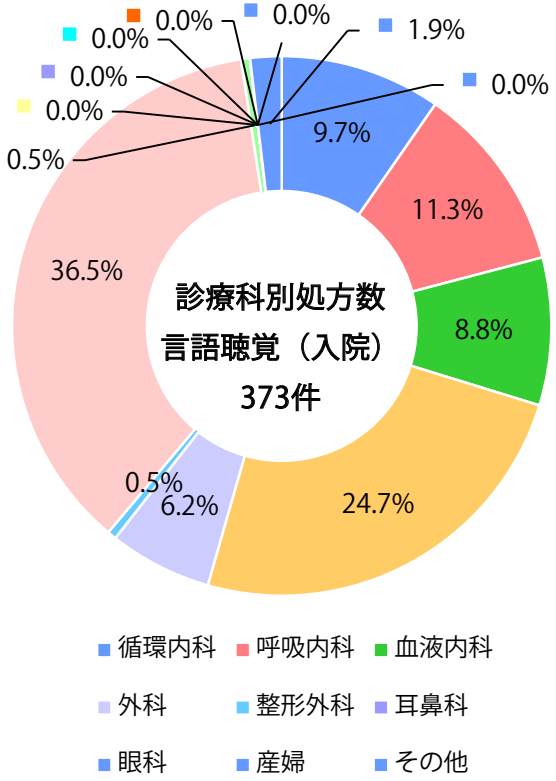
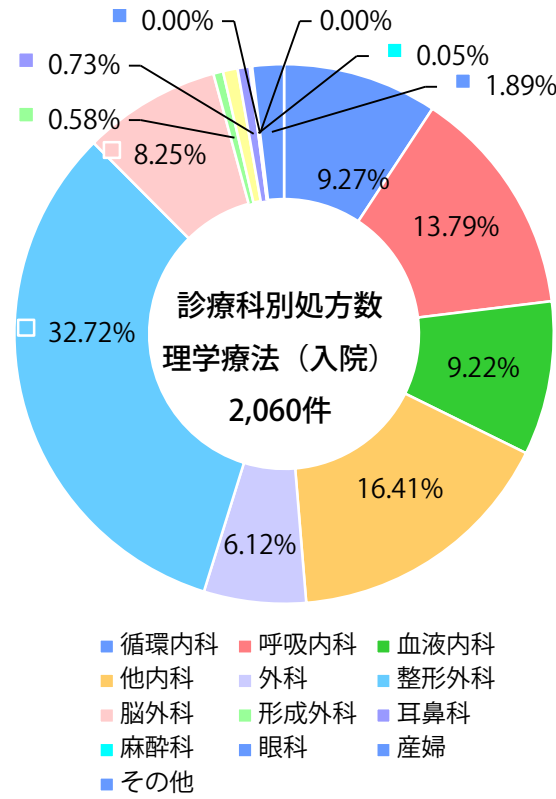
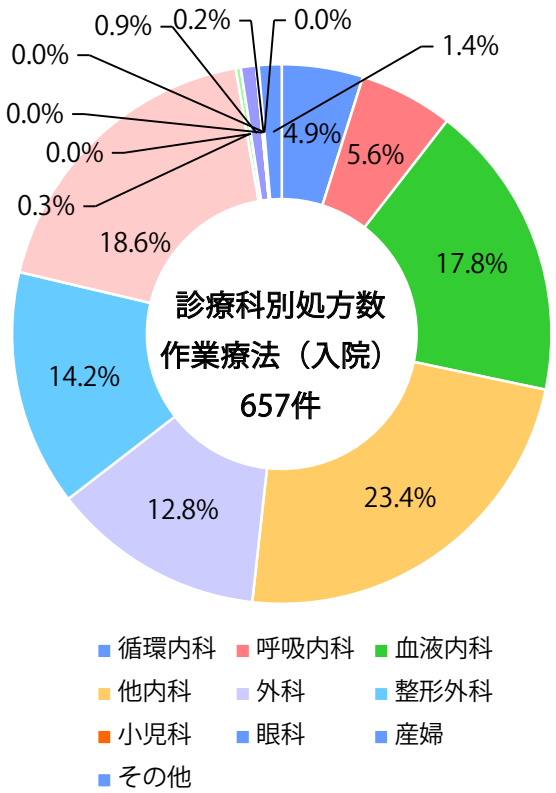
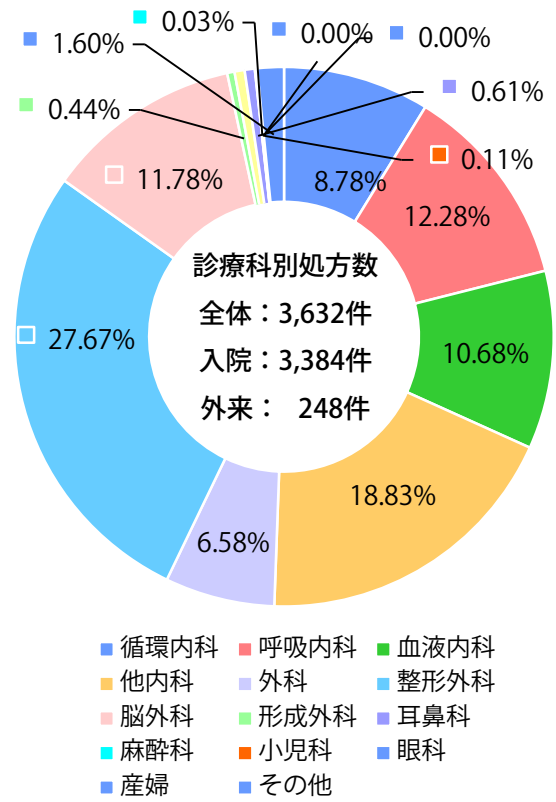
急性期病院におけるリハビリテーションを担い、その役割を明確にし、実践する。

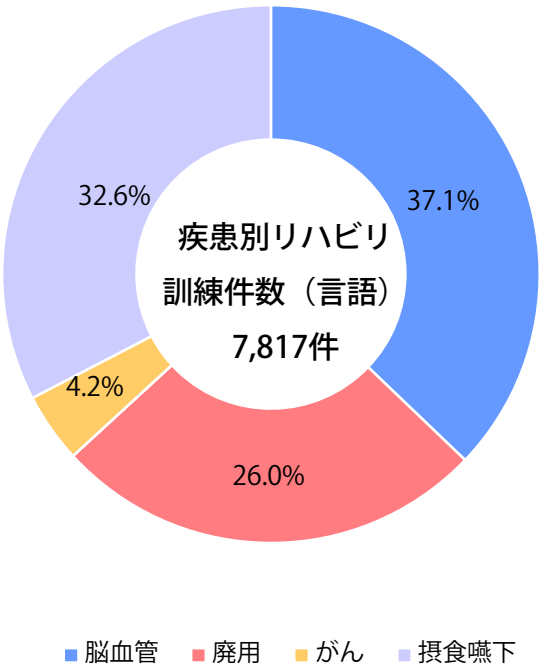
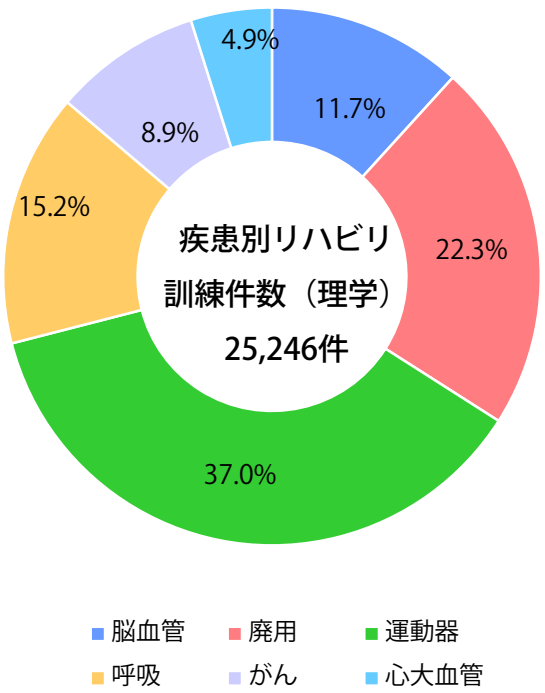
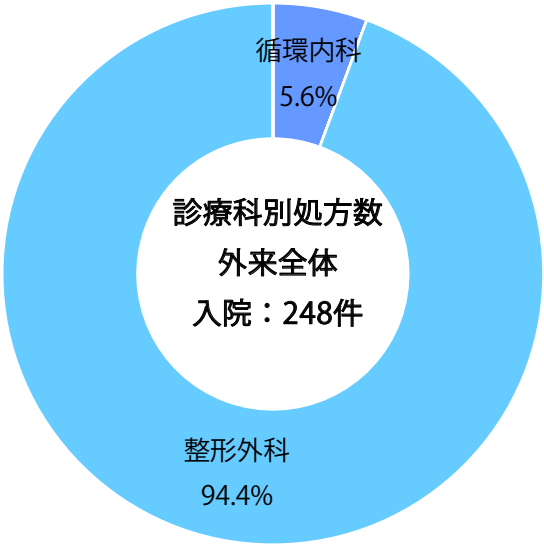
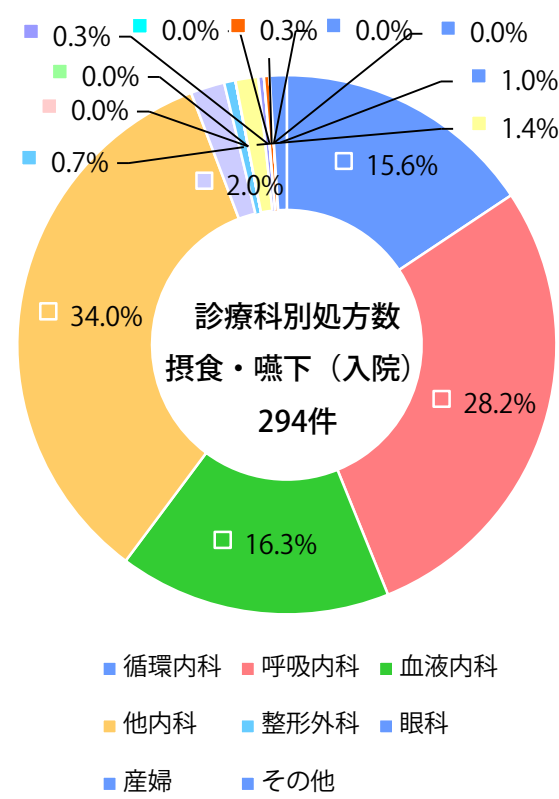
院内外の関連職種間とのコミュニケーションや連携の強化を図る。

部及び個々の診療技術の向上を目指す

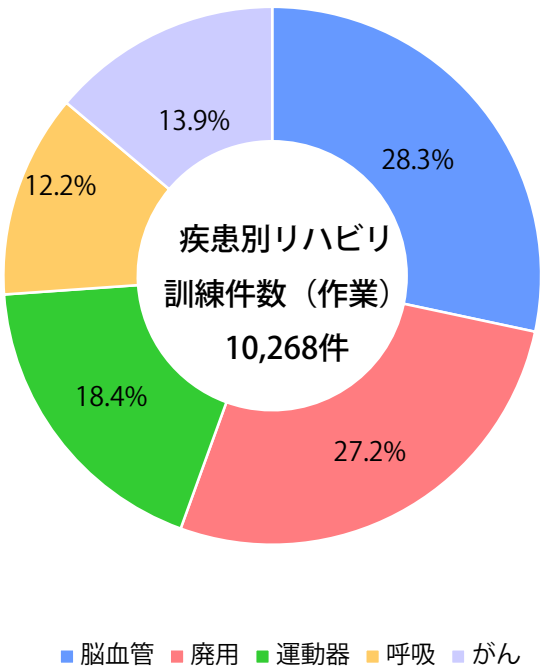
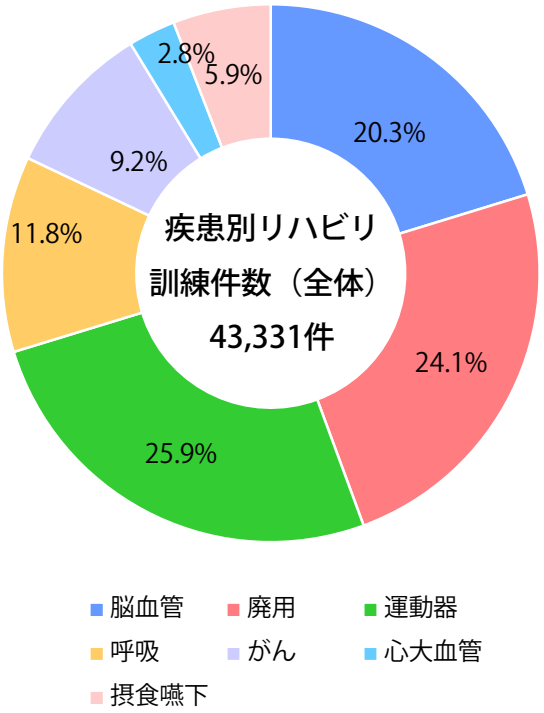
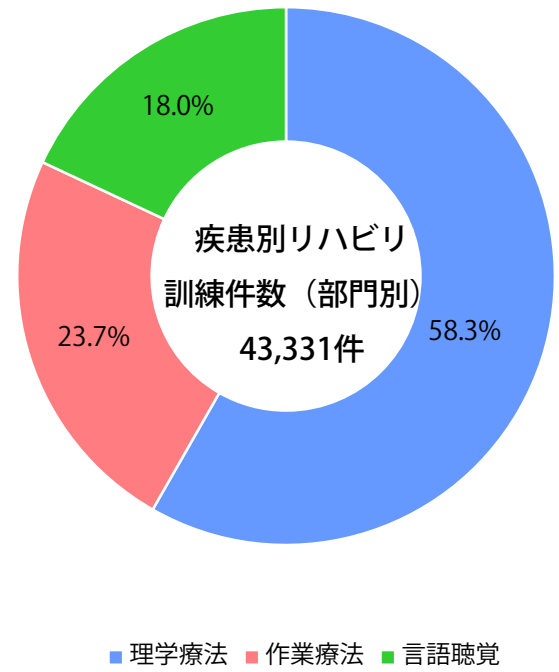
検査・治療実績

リハビリテーション処方状況

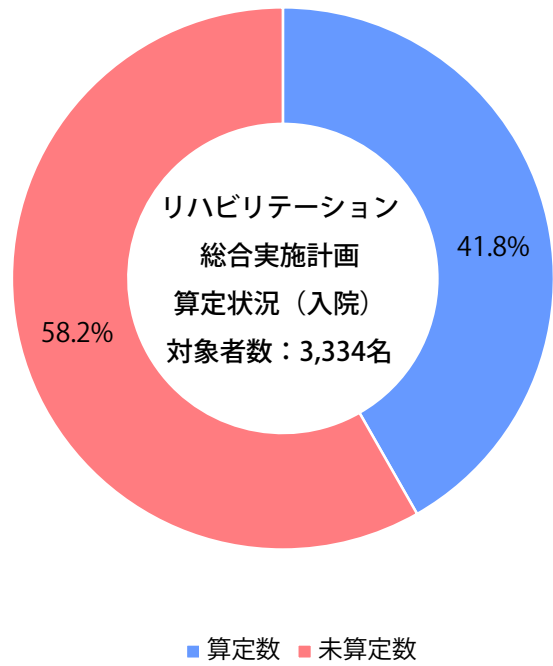




リハビリテーション実施状況



リハビリテーション総合実施計画



算定状況	
対象新患数	3334
算定数	1392
未算定数	1942
算定率	41.8%
未算定率	58.2%
算定点数	417,600
未算定点数	582,600

活動実績

院内外活動

院外	名称	開催地	年月日	氏名
	沖縄県 言語聴覚士会 症例検討会 / アドバイザー	沖縄県	平成 26 年 9 月 27 日	松川玲子
	沖縄リハビリテーション福祉学院臨床ゼミ / 講師	与那原町	平成 26 年 10 月 1 日	富田美智代
	沖縄リハビリテーション福祉学院地域理学療法演習 / 講師	与那原町	平成 26 年 10 月 14 日	新垣健
院内	第 12 回沖縄県作業療法士学会 / 座長	沖縄県	平成 26 年 11 月 2 日	大見謝勝人
	名称	開催地	年月日	氏名
	当院中堅看護師勉強会体位ドレナージ / 講師	当院	平成 26 年 9 月 12 日	波平静香
	院内研究発表会本選「当院における廃用症候群患者の動向」	当院	平成 26 年 11 月 4 日	大城盛彦◎、宮城奈津希、金城勝一朗
	緩和ケア委員会リンパドレナージ / 講師	当院	平成 26 年 12 月 15 日	榮野比智也
	緩和ケア委員会がんのコミュニケーション嚥下障害 / 講師	当院	平成 26 年 12 月 15 日	大城盛彦
	ハートライフクリニック地域包括ケア職員勉強会トランスファー講習会 / 講師	当院	平成 27 年 1 月 9 日	玉城義彦

イベント参加

名称	開催地	発表年月日	参加者
理学療法フェア 2014 (沖縄県理学療法士協会 イベント主幹)	名護市	平成 26 年 7 月 19 日	玉城義彦
県民健康フェア 2014 沖縄県理学療法士協会イベント主幹)	宜野湾市	平成 26 年 8 月 17 日	玉城義彦

実績報告資料等

平成26年度	目標達成状況①
◎	実績の把握・分析の活用、施設基準・人員に見合う実績の評価を行い業務改善や増員の必要性の検討を行う ⇒・26年度は理学定員15名へ（2名増員）言語定員5名へ（1名増員） ・がん研修セラピスト4名増（4名⇒8名） ・呼吸療法認定士1名減（4名⇒3名） ・老朽化治療機器更新プラン検討⇒更新なし、引き続き検討継続
◎	各病棟との連携充実のため ①カンファレンス（症例検討会等）の継続と質的向上 ②ケースワーカーとの連携充実とスムーズな退院・転院への取り組み ③回診等へ参加し医師との連携を強める （早期開始・経過報告・リハ実施患者の確保等） ⇒・各病棟でのカンファレンス実施継続と拡大 ・整形外科、脳外科、呼吸器内科、循環器内科、外科、消化器内科回診へ参加継続。ICU（呼吸療養ICU）が新規に追加。 ・リハ処方数の増加継続 → リハ必要性の認識定着 ・入院日からリハ開始の日数短縮横ばい → 早期リハの推進 ・リハ実施日数の短縮横ばい → スムースな転・退院推進

平成26年度	目標達成状況②
◎	未請求算定項目の改善 ④リハビリテーション総合計画料の60%以上算定可能なシステムの構築 ⑤初期加算（14日以内）及び外来管理加算が算定可能な診療体制構築 ⑥各指導料算定の強化 ⇒未達成！ 取り組み継続中 ・リハビリ総合実施計画料について、電子カルテ利用し看護師、相談員、リハスタッフがそれぞれ担当項目を決め入力継続中 ※算定率 26%（96新患対象）→42%へ増加（全96登録患者対象） ・初期加算算定を満たす医師体制が、人件費や採算性の課題で未構築 ・各指導料についてはその都度算定実施中
◎	医療の質の向上のため ⑦病院機能評価に準じたシステムの構築 ⇒・マニュアルの電子化実施（薬2317件）、改定作業継続 ・備品、物品の整理整頓 → 備品の確認と管理実施継続 ・回診やカンファレンスなど病棟との連携推進会議継続 ・リハスタッフに加え、医師、病棟と連携しての勉強会継続

課 題
◎ リハビリテーション専門医師の確保 （病院機能評価、監査・退還、指導に耐えうる体制）
◎ 未請求算定項目 （リハビリテーション実施計画料等）
◎ セラピスト適正人員の分析、増員の必要性の検討 （産・育休、介護施設開院に伴う補充等の必要性）
◎ 専門性の獲得 （各種認定・専門セラピスト）
◎ 研修・講習会への参加、学会発表 （郵費：研修費予算の制限）
◎ 病棟担当の検討 （各病棟にあわせた連携の獲得）
◎ 請求（単位）制限と影響因子 回診、委員会活動、患者予定の変更（遅刻・検査・体調不良等） 診療報酬改定後の減額報酬の対策
◎ リハビリテーション機器の老朽化と更新

平成27年度	目標達成状況①
◎	実績の把握・分析の活用、施設基準・人員に見合う実績の評価を行い業務改善や増員の必要性の検討を行う
◎	各病棟との連携充実のため ①カンファレンス（症例検討会等）の継続と質的向上 ②ケースワーカーとの連携充実とスムーズな退院・転院への取り組み ③回診等へ参加し医師との連携を強める （早期開始・経過報告・リハ実施患者の確保等）
◎	未請求減額算定項目の改善 ④リハビリテーション総合計画料の60%以上算定可能なシステムの構築 ⑤初期加算（14日以内）及び外来管理加算が算定可能な診療体制構築 ⑥各指導料算定の強化
◎	医療の質の向上のため ⑦病院機能評価改善指標項目の改善計画と実践 ⑧老朽化したリハビリテーション機器の計画的更新

医療技術部 年度総括



医療技術部部长
宮城 竜也

平成 26 年度は個人のスキルアップ・学会発表・各科の人材確保に向けて取り組みました。各科で専門性の高い認定試験取得に向けてスタートしたところです。放射線科では 2 名の技師が C T 専門技師を取得しました。臨床検査科では難関といわれている細胞検査士をめざし教育中で平成 27 年度に受験予定です。また血液および輸血の認定技師を取得に向けて努力しています。リハビリテーション科では昨年同様に心臓リハビリテーション指導士取得に向けて数年後には受験できるように講習会・学会参加等準備を進めました。将来的には 3 ～ 4 名の指導士を育てていきたいと考えています。栄養科では管理栄養士の試験に合格することが出来ました。これにより栄養士 6 名全員が管理栄養士としての専門職となりました。薬剤部では昨年同様に栄養サポート薬剤師 (NST) ・緩和薬物療法専門薬剤師等の専門職育成に取り組んでいきます。臨床工学科では第 1 種 ME 技術実力検定試験をめざし平成 27 年度に受験する準備を進めています。全国でも 900 名しか取得していない専門試験です。

人材確保に向けては各大学訪問を積極的に行い、特に薬科大学を中心に多くの県へ足を運び薬剤師確保に向けて努力しました。結果、今年度は 2 名の学生へ内定を出すことが出来ました。また、院内見学者も大幅に増え大学訪問の成果が見られるようになり、次年度も同様に薬剤師の確保に向けて積極的に取り組みます。学会発表では各科とも県内外での発表が多くありました。内容も多岐にわたり学会発表への意識の高さが感じられた年でした。

毎年行っている医療技術部の院内講演会も 3 回行いました。次年度も引き続き院内講演会を開催していきます。

平成 26 年度は目標であった県内外の学会発表が多くみられ充実した年でしたが、来年度はさらに多くの演題が出せるように努力していききたいと思います。また個人のスキルアップをサポート出来る体制作りを強化して人材育成に取り組んでいきたいと考えています。

事務部

部門紹介

事務部は総務課、経理課、請求業務課、管財課、診療情報管理室、経営企画室、地域医療連携室の7部署で構成されており、136名の職員が所属しています。

職員数

総数

136名

職種別

一般事務	101名	調理師（収益部門）	2名
医療ソーシャルワーカー	5名	その他	24名
施設技術者	4名		

各部署概要・実績

総務課

総務課課長 吉川 忍

職員数

総数

25 名

職種別

一般事務	10 名	患者送迎サービス係	8 名
秘書	5 名	司書	1 名
警備員	1 名		

運営方針

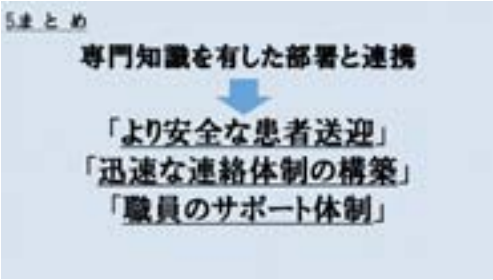
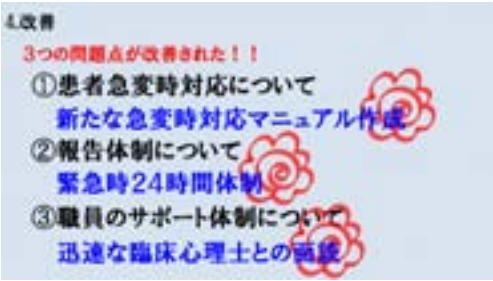
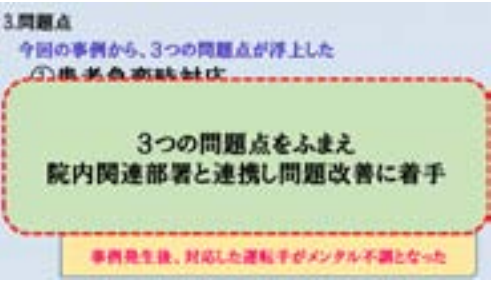
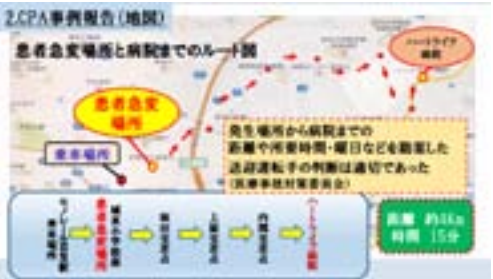
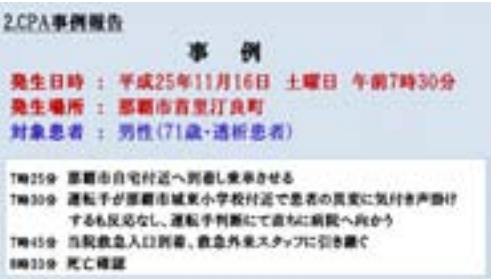
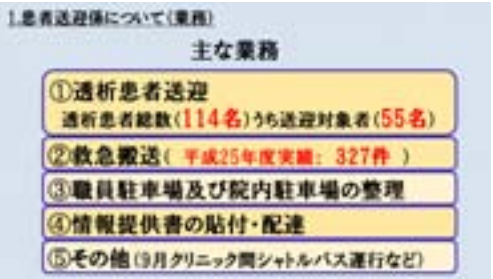
- 事務処理の迅速化を図る
- 各部署に対する支援強化を図る
- 職場環境の整備に努める
- ワークライフバランスの推進

活動実績

院内行事

年月	行事
2014 年 4 月	平成 26 年度 入職式・オリエンテーション、新入職者歓迎会
	春季 職員健診
	合同慰霊祭
5 月	『講演会』『救急!ショックに強くなる ～ホントのショックから医療安全まで～』
	『講演会』『関節リウマチ診療の今』
6 月	科別実績報告会
	メンタルヘルス研修会
7 月	院内献血
	卓球大会
8 月	開院 26 周年記念花設置
	新入職歓迎・ビアフェスタ
9 月	院内総合防災訓練
10 月	院内研究発表会
	かりゆし会 大運動会
12 月	中部保健所立入検査【医療監視】
	かりゆし会 大忘年会
	御用納め(納会)
2015 年 1 月	仕事始め
	新春 もちつき大会
2 月	研修指定病院の調査
3 月	大規模災害訓練
	患者満足度調査
	平成 26 年度 卒後臨床研修修了式、卒後臨床研修修了パーティ

実績報告会発表資料



経理課

	事務副部長 比嘉 靖
職員数	
総数	
4 名	
職種別	
一般事務 4 名	

運営方針

1. 経理・財務内容の的確な開示を行い、経営実態の理解を図る。
2. 正確且つ迅速に経理に関する経営資料を作成する。
3. 各部門予算執行状況の把握。
4. 経理予算業務のマニュアル化を図る。

年度目標

1. 更なる業務の効率化
2. 課内業務のローテート
3. 費用削減に向けた積極的な提案

管財課

	課長 宮里 毅
管財課用度係	
職員数	
総数	
5 名	
職種別	
一般事務 5 名	

運営方針

- 物品の安全供給
- 物品の管理（在庫・定数管理）の強化
- 課員の教育

理念

患者の安心・安全のため、部署として、病院職員として出来る最善の策（行為）を日々、研究・実践する。

用度係実績

物品仕入額 対前年度比較表（単位：千）

分類名	金 額	分類名	金 額	前年度比
その他委託費 集計	15,375,758	その他委託費 集計	15,930,515	554,757
その他修繕費 集計	18,697,757	その他修繕費 集計	9,284,643	-9,413,114
ソフトウェア 集計	4,584,000	ソフトウェア 集計	2,531,000	-2,053,000
医用修繕費 集計	18,997,272	医用修繕費 集計	20,577,167	1,579,895
医療消耗器具 集計	26,011,362	医療消耗器具 集計	23,767,662	-2,243,700
医療用器械備 集計	116,669,432	医療用器械備 集計	165,161,806	48,492,374
印刷物費 集計	11,363,902	印刷物費 集計	10,096,656	-1,267,246
器機保守料 集計	42,052,813	器機保守料 集計	37,531,189	-4,521,624
建物付属設備 集計	11,472,153	建物付属設備 集計	3,204,667	-8,267,486
検査委託費 集計	1,350,970	検査委託費 集計	1,332,280	-18,690
検査試薬費 集計	7,424,256	検査試薬費 集計	8,419,675	995,419
研究費 (図書) 集計	3,103,743	研究費 (図書) 集計	2,787,342	-316,401
雑費 集計	5,951,547	雑費 集計	8,616,799	2,665,252
什器備品 集計	9,496,585	什器備品 集計	5,169,661	-4,326,924
消耗器具備品 集計	14,648,241	消耗器具備品 集計	11,089,825	-3,558,416
消耗品費 集計	76,760,022	消耗品費 集計	76,439,829	-320,194
職員被服費 集計	21,847,662	職員被服費 集計	22,027,100	179,438
寝具委託費 集計	21,222,817	寝具委託費 集計	21,131,020	-91,797
診療材料費 集計	673,351,620	診療材料費 集計	710,463,758	37,112,138
清掃委託費 集計	4,830,545	清掃委託費 集計	2,042,150	-2,788,395
燃料費 集計	26,329,251	燃料費 集計	22,028,900	-4,300,351
非購入物品 集計	0	非購入物品 集計	0	0
福利厚生費 集計	84,888	福利厚生費 集計	90,691	5,803
保守委託費 集計	6,611,368	保守委託費 集計	8,081,955	1,470,587
総計	1,138,237,964	総計	1,187,806,289	49,568,324

平成 25 年度目標の達成度

項目	達成度
①用度係物品倉庫の整理と不要在庫の整理	1
②各病棟物品在庫整理とカード運用の強化	2
③医療機器の廃棄処分	3

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
「コスト削減の為に改善活動」講演会			諸見里副主任・新垣
「事例と演習で学ぶ在庫削減」講演会			諸見里副主任・新垣
第 13 回 医療材料マネジメント研究会			宮里課長
診療情報管理士資格受験			諸見里副主任

管財課施設管理係

職員数

総数

5 名

職種別

施設技術者 5 名

認定・資格

認定・資格名	人数
第 3 種電気主任技術者	2
第 1 種電気工事士	1
第 2 種電気工事士	3
2 級ボイラー技士	4
危険物取扱者 乙種 4 類	5
消防設備乙種 4 類	4

認定・資格名	人数
自衛消防講習修了	4
医療ガス保安講習修了	3
1 級電気工事施工管理技士	1
消防設備士甲種 1 ～ 5 類、特類	1
2 級管工事施工管理技士	1

運営方針

安全管理と節電に努める

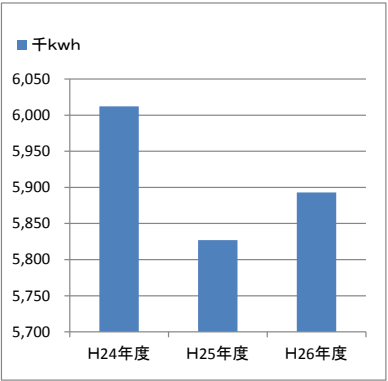
理念

関係法令を遵守し、建物・設備を良い状態で保守管理し、患者、職員、来院者の安全を守る。

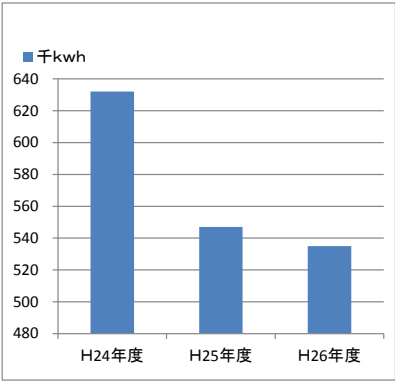
業務実績

ハートライフ病院

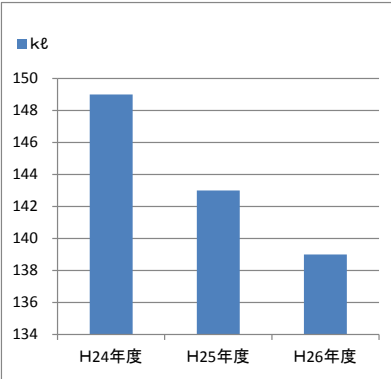
総電力量



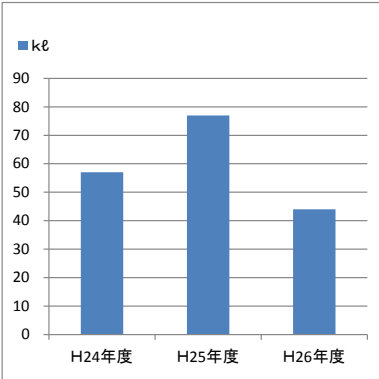
蓄熱電力量



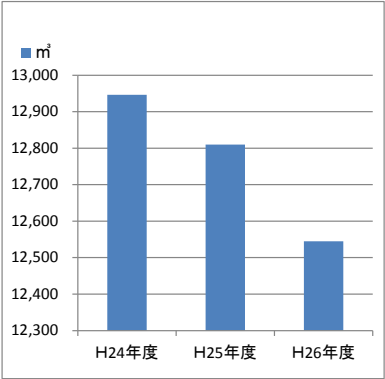
A 重油使用量（ボイラ）



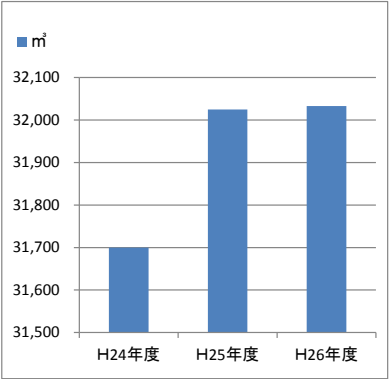
A 重油使用量（常用発電機）



LPG 使用量（厨房）

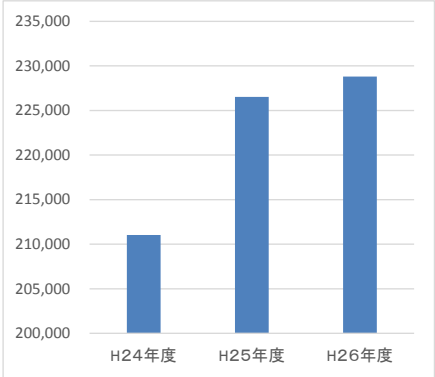


LPG 使用量（吸収式冷凍機）

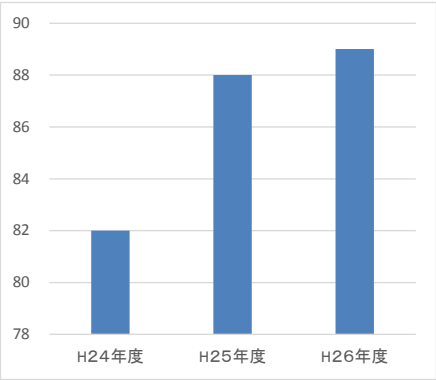


ハートライフクリニック

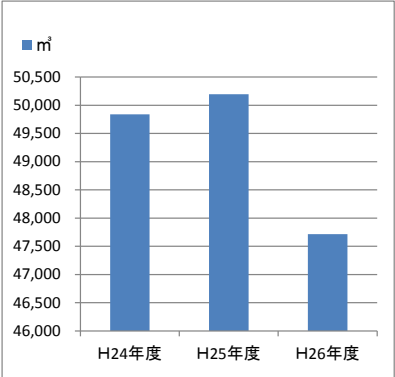
総電力量（単位：kwh）



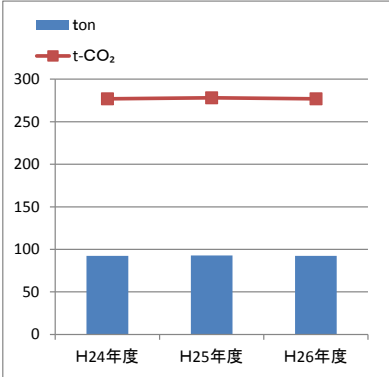
エネルギー消費量・CO²排出量（電力）



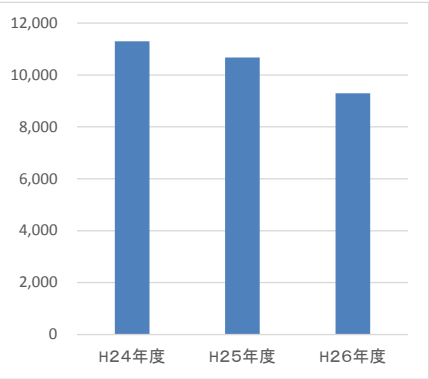
上水道使用量（m³）



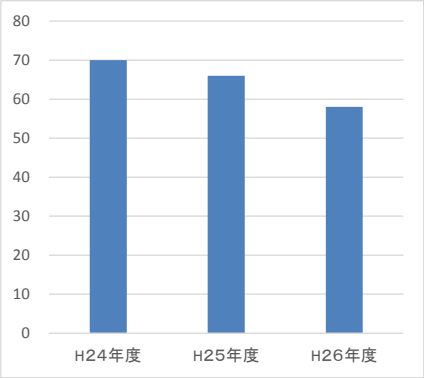
エネルギー消費量・CO²排出量（LPG）



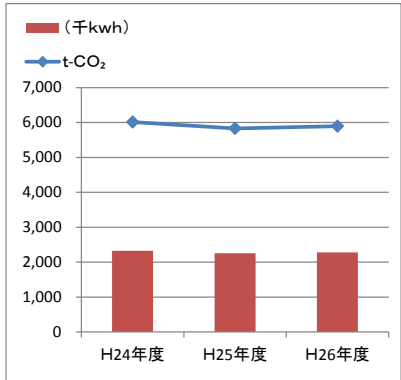
LPG 使用量（単位：m³）



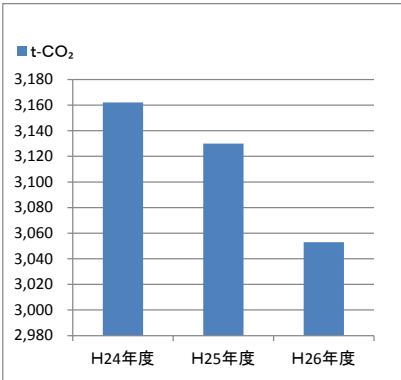
エネルギー消費量・CO²排出量（LPG）



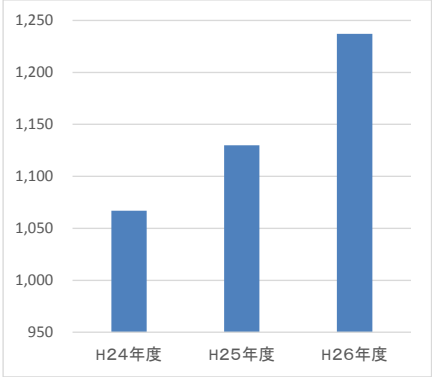
エネルギー消費量・CO²排出量（電力）



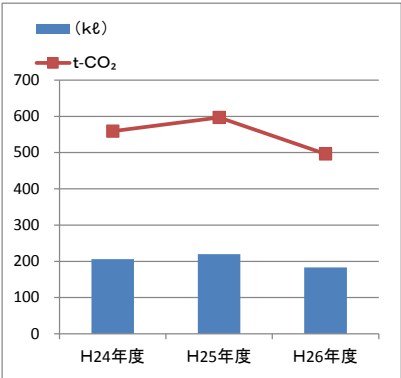
CO²総排出量



上水道使用量（m³）



エネルギー消費量・CO²排出量（A重油）



活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
危険物取扱者講習会	沖縄市	2014 年 8 月 8 日	比屋根 宗
危険物取扱者講習会	沖縄市	2014 年 9 月 11 日	具志堅徳明
ボイラー技士安全・能力向上教育	浦添市	2014 年 11 月 13 日	具志堅徳明

防災訓練

名称	開催地	年月日	参加者	
新入職員向け消防訓練	当院	2014 年 4 月 1 日	比屋根	齊
消防総合訓練	クリニック	2014 年 9 月 3 日	比屋根	齊
消防総合訓練	当院	2014 年 9 月 25 日	比屋根	齊

その他

電気、水道、消防、建築、医療ガスなど、各設備法定点検・検査及び定期自主点検の実施

診療情報管理室

診療情報管理室課長 柳 学

職員数

総数

9 名

職種別

診療情報管理士 5 名

一般事務 4 名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	5

事業計画・評価

項目	概要	達成率	評価
【業務（収入）計画】	○ DPC の機能評価係数Ⅱアップに向けて。	70%	平成 27 年度の機能評価係数Ⅱ合計は、対前年度比で 0.0027 アップ（県内 2 番目のアップr）。地域医療係数では県内 1 番のアップ（体制評価で 5 項目から MAX の 8 項目取得）
	・診療録管理体制加算 1 の取得へ	100%	退院後 12 日目と翌週に退院後 14 日なる患者サマリーを電子カルテメールにて各医師へ督促依頼。毎月 15 日と 25 日に前月退院分でサマリー末の患者リストを各医師へ配布し記載率アップを図った。
	・病院指標の作成と公開他	20%	DPC 委員会では一部疾患の請求率を毎月報告しているが、ホームページ等への公開までには至っていない。
	○診療録の監査（量的・質的）の実施の継続及び内容の充実を図る。	70%	診療録管理委員会にて 2 か月に 1 回、ランダムに 2 診療科から各 1 冊づつ診療録を抽出し監査を実施し継続している。今後内容の充実を図りたい。
	○診療・研究・経営に役立つ統計・分析資料の作成。	50%	ほとんどが依頼があってからの統計・分析資料の作成となっている。定型・定例の報告や診療情報管理室からの積極的なデータ提供がまだまだ不十分。
	○診療データ分析及び院内へのフィードバック。		同上
	○「MEDI-ARROWS」のさらなる活用の拡充。		同上
	○データ精度向上への取組み。		業務、チェック体制の見直し等の課題あり。各担当のスキルアップも図る。
	○カルテ廃棄の作業。（保管スペースの確保）	0%	H14・H15 年死亡カルテの廃棄が未。（保管スペースの確保未）
	○整理・整頓。	70%	部署内の整理整頓を。死亡カルテの整理を。
【要員計画】	○男子正職員の採用。	0%	
	○契約職員 2 名の資格取得後の正職員へ起用。	100%	契約職員 2 名、診療情報管理士の試験合格で正規職員へ

項目	概要	達成率	評価
【教育研修計画】	○平成 26 年度「第 22 回院内研究発表会」へ演題発表。	0%	演題発表できず。
	○沖縄県診療情報管理研究会定例勉強会（毎月）への参加及び発表。	30%	年度後半、沖縄県診療情報管理研究会の活動がなかった。
	○平成 26 年度「沖縄県診療情報管理研究会主催セミナー」での発表。		未開催。
	○沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会主催の院内がん登録研修会への参加（年 4 回）。	100%	がん登録担当者は全て参加。
	○ DPC 夏季セミナーへの参加。	100%	柳、呉屋が参加。
	○その他の DPC に関連する研修会等への参加。	80%	"DPC 研究班セミナーの沖縄会場への参加。
	院内 DPC 勉強会への参加。"	80%	主に請求業務課、診療情報管理室を対象に月 1 回の Exce 1・QlikView 等の勉強会を実施。
	○「MEDI-ARROWS」スタートアップセミナー・テクニカルセミナーへの参加。	0%	参加出来ず。
	○平成 26 年度「第 40 回日本診療情報管理学会学術大会」へ参加。	0%	参加出来ず。
【設備計画】	○ IT スキルの向上 (Excel・Access・FileMaker・QlikView・GIS 分析等の勉強会の開催の継続)	50%	毎月第 4 月曜日に請求業務課、診療情報管理室を対象に Excel 等勉強会を開催。今年度はその他 Access,QlikView 等へも拡大したい。
	○ QlikView の院内への普及とシステム導入の検討。	0%	分析報告等での活用機会を増やし、導入へ向けて努力する。
	○ DPC コード点検システムの検討。	0%	未検討。費用対効果を確認し導入するかの検討を。

演題名	勉強会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
DPC 公開データについて～沖縄県内 DPC 病院とのベンチマーク～	第 21 回 DPC 勉強会	当院	2014 年 10 月 24 日	柳学
医療機関別係数・入院診療単価を上げるための対策	第 22 回 DPC 勉強会	当院	2015 年 3 月 20 日	井上貴裕先生
DPC におけるがん登録の関わりについて	第 22 回 DPC 勉強会	当院	2015 年 3 月 20 日	宮平奈美子



活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
日本診療情報管理士会全国研修会	大阪府	2014 年 7 月 12 日～ 2014 年 7 月 13 日	柳学
日本病院会「医師事務作業補助者コース」	大阪府	2014 年 6 月 20 日 ～ 2014 年 6 月 22 日	宮平奈美子（自己負担）
院内がん登録実務初級修了者研修	東京都	2014 年 7 月 22 ～ 2014 年 7 月 23 日	兼濱亜希
DPC 研究班夏期セミナー（北九州会場）	福岡県	2014 年 8 月 20 日 ～ 2014 年 8 月 22 日	柳学 / 呉屋亮太
DPC 研究班セミナー・沖縄会場	琉球大学	2014 年 12 月 13 日	柳学 / 呉屋亮太
院内がん登録研修会・初級者終了者研修	東京都	2015 年 1 月 14 日～ 2015 年 1 月 15 日	宮平奈美子
平成 26 年度がん対策推進企業アクションセミナー	東京都	2015 年 2 月 25 日	宮平奈美子

院内勉強会

演題名	勉強会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
2014 年度診療報酬改定後の検証	第 19 回 DPC 勉強会	当院	2014 年 5 月 16 日	井上貴裕先生
平成 26 年度当院の DPC 係数について～ 県内比較と係数アップに向けて～	第 19 回 DPC 勉強会	当院	2014 年 5 月 16 日	柳学
総合入院体制加算 2 と特定集中治療室 管理料 1 の届出にむけて	第 20 回 DPC 勉強会	当院	2014 年 7 月 1 日	井上貴裕先生
病床機能報告制度と平成 25 年度の診療 実績	第 21 回 DPC 勉強会	当院	2014 年 10 月 24 日	井上貴裕先生

請求業務課

請求業務課 課長 宮城 淳

職員数

総数

42 名

職種別

一般事務 42 名（うち診療情報管理士資格取得者 2 名）

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	2

運営方針

1. 患者さんには（目配り・気配り・誠心誠意）
2. 細分化業務の早期構築 （量から質の人材育成）
3. 請求漏れ発生の防止（診療では補助・保険では本業の心）
4. 新入職員及び職員教育・研修の充実と実施

業務計画

- ①病院収入の確保とサポート
 - ・ 減点査定・レセプト返戻の対策と強化
 - ・ 診療報酬改定の早期対策と強化
 - ・ 医療保険制度改革の早期対策と強化
 - ・ 新規施設基準の届け出と強化
- ②保険請求知識の向上
 - ・ 請求漏れ防止の対策強化
 - ・ 職員への指導及び教育。査定・返戻の減少対策及び勉強会
- ③窓口サービスの強化・患者誤認の防止の徹底
 - ・ 患者さんへの目配り、気配り
 - ・ 氏名、生年月日の再確認

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
DPC データ分析勉強会及び実績報告会	当院	2014 年 5 月 16 日	請求業務課・診療情報管理室
DPC データ分析勉強会及び実績報告会	当院	2014 年 7 月 1 日	請求業務課・診療情報管理室
DPC データ分析勉強会及び実績報告会	当院	2014 年 10 月 24 日	請求業務課・診療情報管理室
DPC データ分析勉強会及び実績報告会	当院	2015 年 3 月 20 日	請求業務課・診療情報管理室

名称	開催地	年月日	参加者
全国医事研究会「第 6 回大会」in 大阪	大阪府	2014 年 9 月 25 日～ 2014 年 9 月 27 日	請求業務課（2 名）
おきぎん経営セミナー	那覇市	2014 年 10 月 3 日	請求業務課
沖縄県保健医療部主催「地域医療構想の策定に向けて」講演会	那覇市	2014 年 11 月 22 日	請求業務課
「地域医療ビジョンの策定に向けて」講演会	南風原町	2014 年 12 月 6 日	請求業務課
DPC セミナー	琉大附属 病院	2014 年 12 月 13 日	請求業務課・診療情報管理室
労災診療費算定者実務研修会	南風原町	2014 年 11 月 6 日	請求業務課（2 名）

実習生受け入れ

実習校	期間	受入れ人数
那覇日経ビジネス 1 年生企業見学	2014 年 5 月 15 日	5 人
那覇日経ビジネス 2 年生職場実習	2014 年 6 月 16 日～7 月 11 日	1 人
日経ビジネス専門学校 2 年生職場実習	2014 年 7 月 14 日～8 月 8 日	3 人
名桜大学（診療情報管理室実習）	2014 年 8 月 13 日	1 人
KBC 学園エルケア医療保育専門学校	2014 年 8 月 25 日～9 月 12 日	1 人
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 実習生	2014 年 10 月 11 日	6 人

その他

名称	開催地	年月日	参加人数
日経ビジネス専門学校実習報告会参加	沖縄市	2014 年 9 月 12 日	1 人
NIKKEI 主催医療系合同説明会	嘉手納町	2014 年 8 月 27 日	3 名

実績報告資料等

総合入院体制加算

【 算定率式 】

D+E+F+G

A-(B+C)

取り組み状況

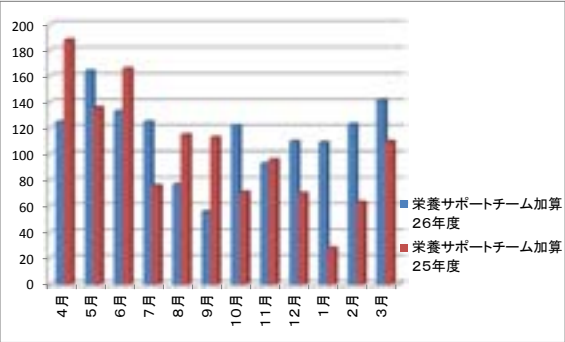
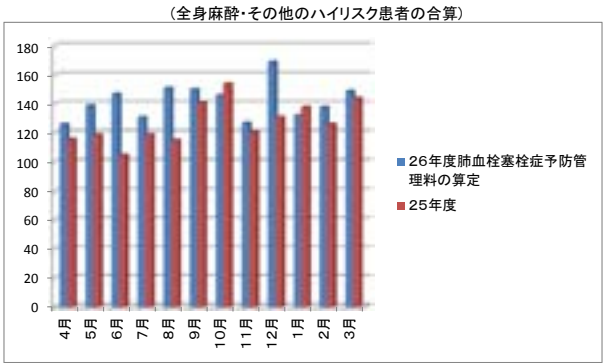
H26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	平均
A 総退院患者数	650	644	651	701	670	642	652	588	640	614	565	686	7,703
B 死亡退院患者数	16	22	11	27	20	17	18	21	29	26	18	29	254
C 化学療法施行患者数	34	28	27	31	30	26	34	33	28	19	26	26	342
D 診療情報提供料I(添付加算)あり患者数	116	110	123	135	132	133	109	122	119	131	123	145	1,498
E 治癒患者数(老人保健施設等含)	101	84	104	110	101	95	107	100	116	107	72	83	1,180
F 連携バス算定患者数	20	15	12	12	15	18	12	12	10	12	11	14	163
G 退院後外来にて情報提供料I(添付加算)算定患者数	19	21	13	22	11	22	18	17	26	16	15	17	217
総合入院体制加算40%以上	42.7%	38.7%	41.1%	43.4%	41.8%	44.7%	41.0%	47.0%	46.5%	46.7%	42.4%	41.0%	43.0%
H25年度	37.3%	38.8%	32.5%	31.2%	34.7%	40.6%	45.1%	41.8%	38.3%	40.9%	39.9%	34.5%	38.0%

26年度 緊急入院・予定入院・緊急入院(救急医療除く)

平成25年	患者数		患者数		患者数	
月	26年度予定入院	25年度	26年度緊急入院	25年度	26年度A.緊急入院(救急医療入院を除く)	25年度
4月	173	174	295	307	100	94
5月	161	199	320	283	99	126
6月	191	166	282	320	118	111
7月	157	209	366	285	101	105
8月	175	193	329	308	82	111
9月	148	186	294	258	105	101
10月	154	244	311	244	96	170
11月	143	164	275	265	98	84
12月	152	170	307	290	90	92
1月	138	191	342	308	94	87
2月	162	195	244	248	90	67
3月	191	264	302	436	94	118
合計	1945	2355	3667	3552	1167	1266

肺血栓栓症予防管理料の算定状況		
月	26年度肺血栓栓症予防管理料の算定	25年度
4月	126	116
5月	139	119
6月	147	105
7月	131	119
8月	151	115
9月	150	141
10月	146	154
11月	127	121
12月	169	131
1月	132	138
2月	138	126
3月	149	144
合計	1705	1529

栄養サポートチーム加算		
月	26年度	25年度
4月	125	188
5月	164	136
6月	133	166
7月	125	76
8月	77	115
9月	56	113
10月	122	71
11月	93	96
12月	110	70
1月	109	28
2月	123	63
3月	142	110
合計	1379	1232



地域医療連携室

地域医療連携室 主任 砂川 直樹

職員数

総数

14 名

職種別

一般事務 8 名 入退院調整看護師 1 名

医療ソーシャルワーカー 5 名

認定・資格

認定・資格名	人数
社会福祉士	5
精神保健福祉士	2

認定・資格名	人数
介護支援専門員	2
医療福祉連携士	1

理念

ハートライフ病院地域医療連携室は、「患者さん」を中心として「地域社会・連携先各機関」と「ハートライフ病院」がスムーズに連携出来るように機能することを目的として存在する。

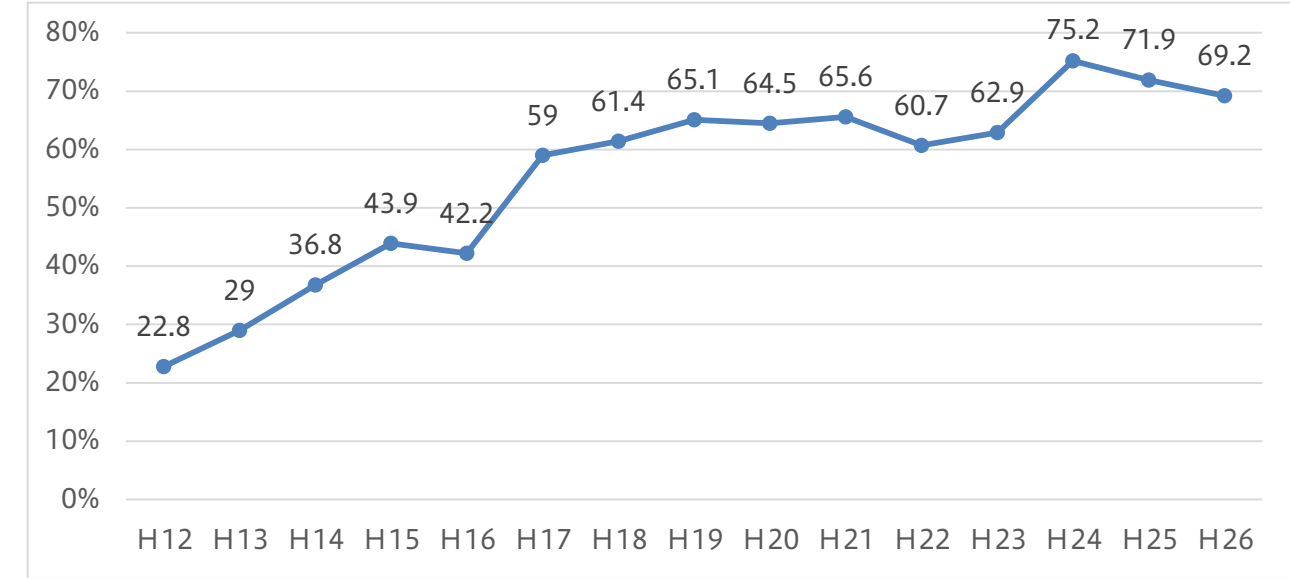
運営方針

- ①患者さんとそのご家族、連携先各機関の信頼に応える支援を目指す。
- ②院内各部署、院外関連機関とのより良い連携体制の構築に努める。
- ③常に、部署のチーム力と接遇スキルの向上を目指し続ける。

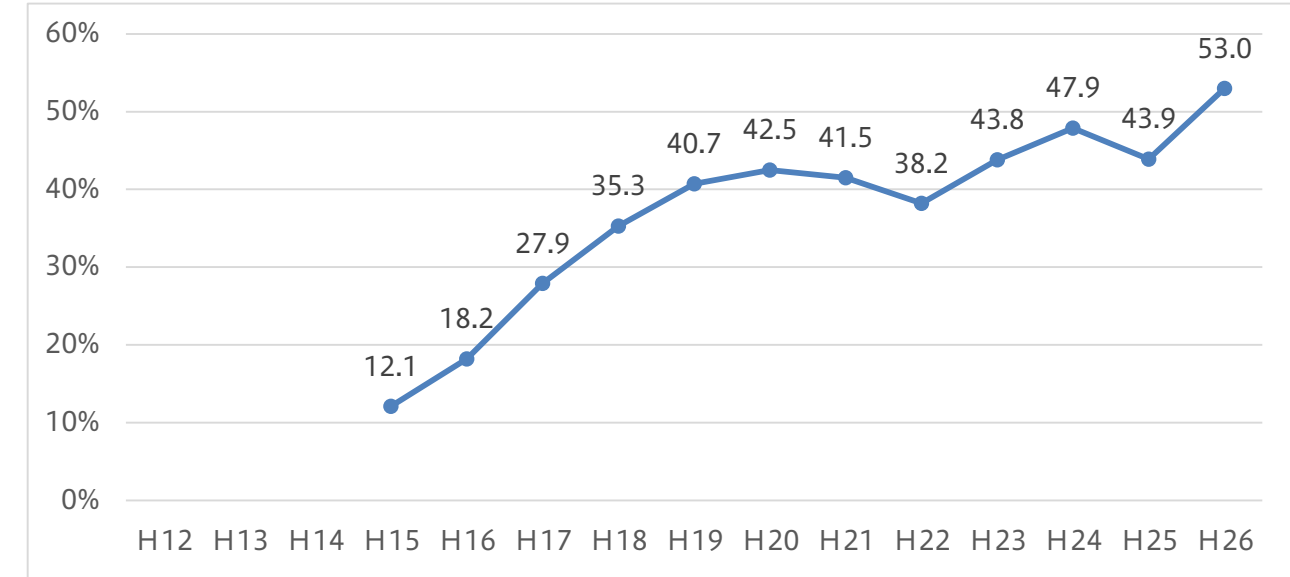
業務実績

【前方連携（事務）担当の実績報告】

地域医療支援病院紹介率の実績（月平均紹介率 基準値 65% 目標値 68%）



地域医療支援病院逆紹介率の実績（月平均逆紹介率 基準値 40% 目標値 50%）

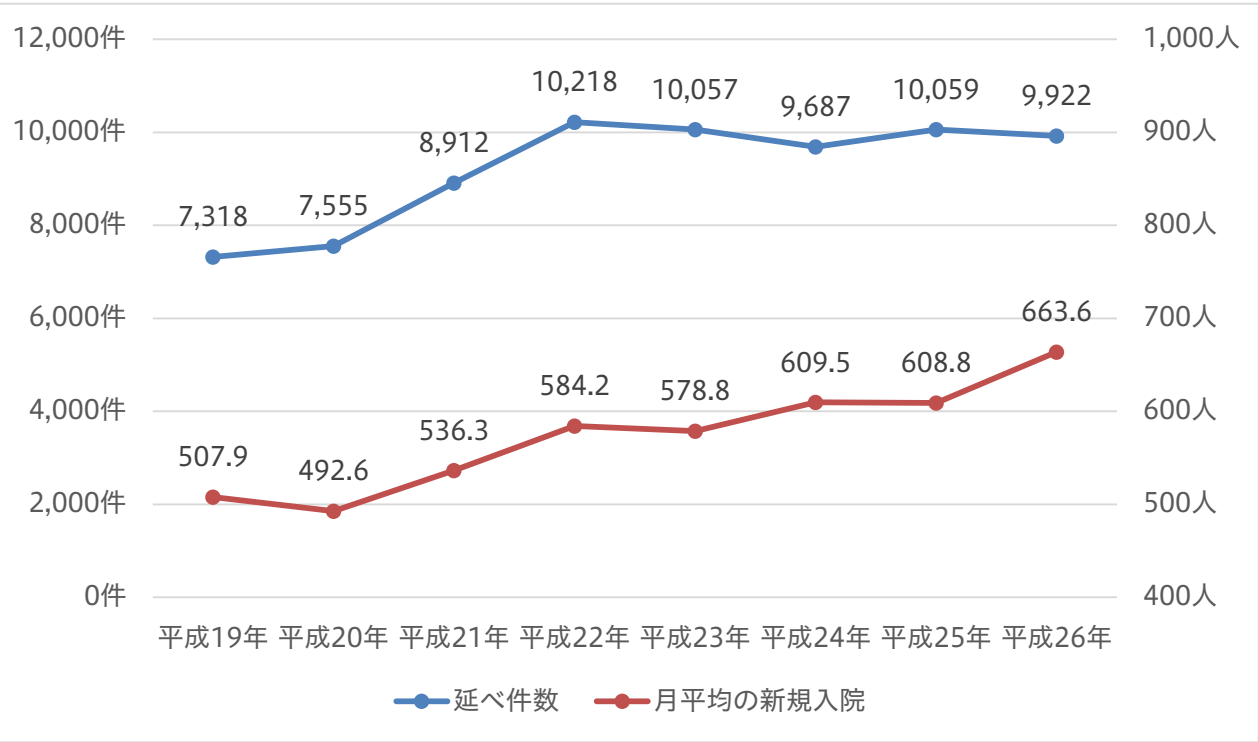


【後方連携（医療ソーシャルワーカー）担当の実績報告】

全体の相談件数の推移

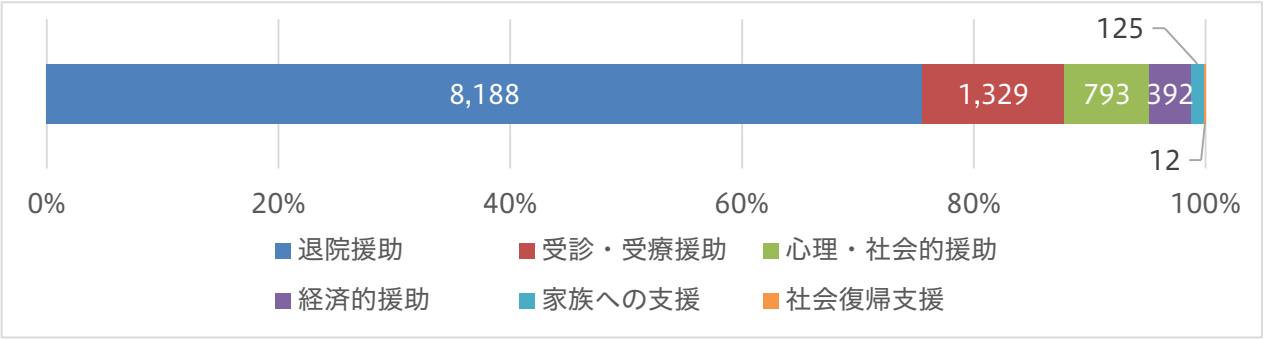
	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
述べ件数	10,218	10,057	9,687	10,059	9,922
月平均の述べ件数	851	838	807	838	826
月平均の新規入院	584.2	578.8	609.5	608.8	663.6
病床利用人数	278.6	279.7	279.3	276.8	277
在院日数	14.4	14.6	13.9	13.7	12.6

延べ相談件数と新規入院患者数の推移

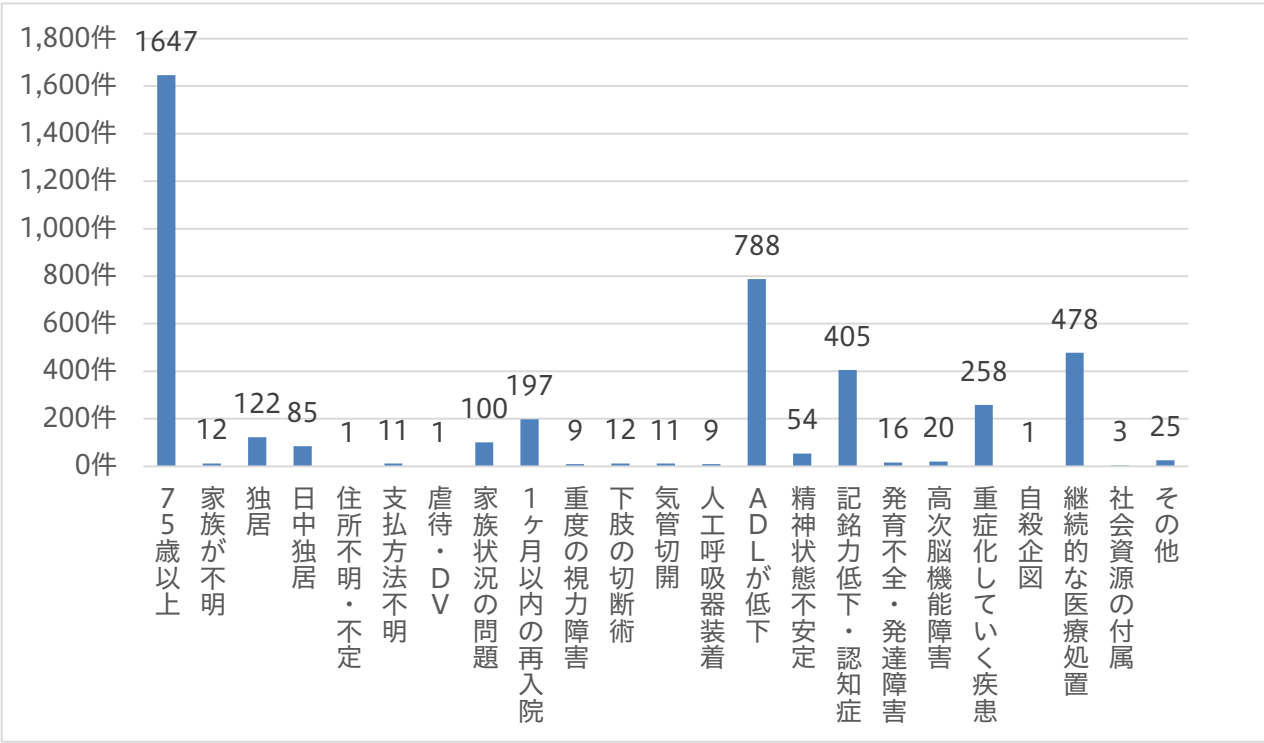


【相談援助ケース（入院）の概要】

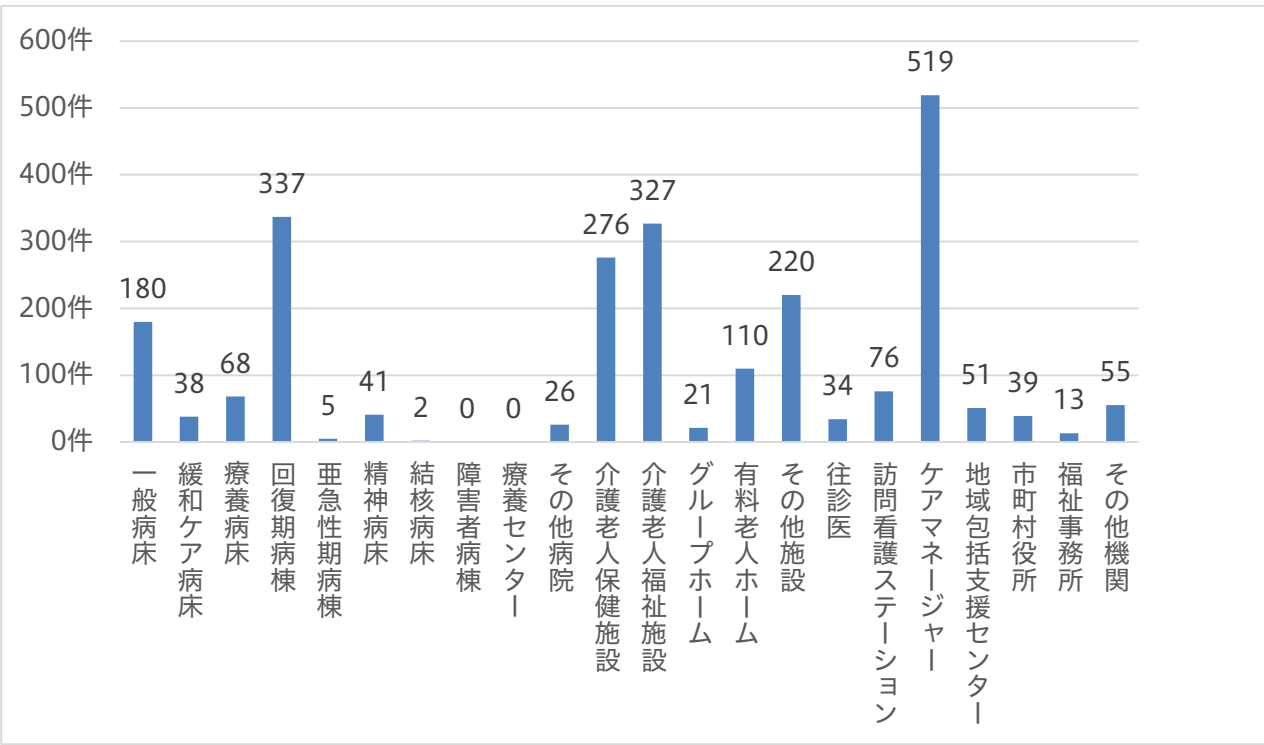
相談援助内容



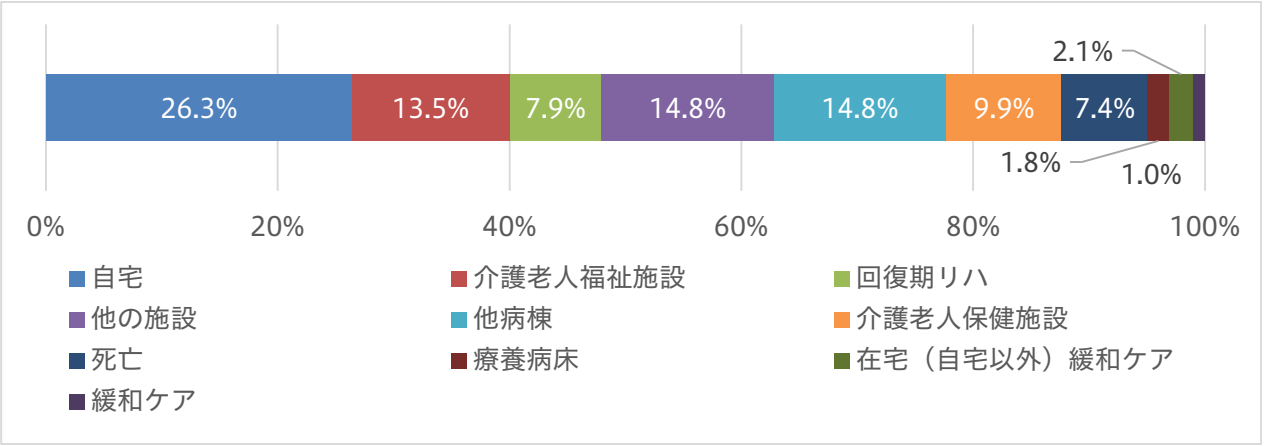
援助を行ったケースの特徴（入院）



援助中に調整した機関（入院）



MSW 援助後の退院先種別



【卒後臨床研修事務局の実績報告】

卒後臨床研修事務局主催のセミナーや懇談会など

名称	開催地	年月日
新研修医オリエンテーション	当院	"2014 年 4 月 2 日～
2014 年 4 月 4 日 "		
福井大学医学部附属病院 林寛之先生による講演会	当院	2014 年 5 月 2 日
国立相模原病院 當間重人先生による講演会	当院	2014 年 5 月 23 日
平成 26 年度第 1 回卒後臨床研修管理委員会開催	当院	2014 年 6 月 5 日
済生会福岡総合病院 総合診療	当院	2014 年 8 月 29 日
隠岐広域連合立隠岐島前病院 院長白石吉彦先生による講演会	当院	2014 年 10 月 8 日
公立久米島病院見学、久米島マラソンへの参加	久米島町	"2014 年 10 月 25 日～
2014 年 10 月 26 日 "		
千葉大学医学部付属病院 織田成人先生による講演会	当院	2014 年 11 月 6 日
Mosaic Family Care Medical Group Lisa Ma,MD による講演会	当院	2014 年 11 月 25 日
ハートライフ病院後期・専門研修医募集説明会	当院	2014 年 12 月 4 日
平成 26 年度第 2 回卒後臨床研修管理委員会開催	当院	2015 年 3 月 5 日
がん研有明病院 乳腺センター 照屋なつき先生、乳腺センター部長 岩瀬拓士先生による講演会	当院	2015 年 3 月 6 日
平成 26 年度初期臨床研修医修了式・修了パーティー開催	西原町	2015 年 3 月 23 日

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日
群星沖縄新研修医オリエンテーション	宜野湾市	"2014 年 4 月 14 日～
2014 年 4 月 15 日 "		
沖縄県医師会新研修医歓迎レセプションへの参加	南風原町	2014 年 4 月 4 日
群星沖縄会議（毎月定例、計 13 回、臨時含む）	浦添市	"2014 年 4 月 18 日～
2015 年 3 月 9 日 "		
平成 26 年度臨床研修医確保対策合同説明会参加モデル事業第 1 回作業部会への参加	南風原町	2014 年 6 月 5 日
臨床研修医師数調整会議（県庁にて）への参加	那覇市	2014 年 6 月 11 日
群星沖縄ポートフォリオ大会・忘年会への参加	那覇市	2014 年 12 月 1 日
琉球大学医学部クリニカルクラークシップに関する会議	西原町	2014 年 12 月 5 日
後期・専門研修運営協議会の設立と運営（毎月定例、計 4 回）	当院	"2014 年 12 月 16 日～
2015 年 3 月 31 日 "		
臨床研修病院事務担当者講習会への参加	東京都	2014 年 12 月 19 日
基本的臨床能力評価試験（計 2 回）	当院	"2015 年 1 月 30 日、
2015 年 2 月 2 日 "		
九州厚生局による臨床研修病院実地調査	当院	2015 年 2 月 12 日
新専門医制度に関する講演会への参加	宜野湾市	2015 年 2 月 13 日
平成 26 年度臨床研修医確保対策合同説明会参加モデル事業第 2 回作業部会への参加	南風原町	2015 年 2 月 23 日
群星沖縄修了式への参加	宜野湾市	2015 年 3 月 10 日

医学生受け入れ

名称	年月日
琉球大学医学部クリニカルクラークシップ学生（6 年次）受け入れ（延べ 21 名）	2014 年 4 月 14 日～2014 年 10 月 3 日
医学生病院見学受け入れ（25 名： 県外 6 名 県内 19 名）	2014 年 4 月 4 日～2015 年 3 月 27 日
琉球大学医学 5 ～ 6 年次学生 1 日泌尿器実習受け入れ（延べ 40 名）	2014 年 5 月 12 日～2015 年 3 月 16 日
琉球大学医学部熱帯医学研究会の活動としての病院見学受け入れ（7 名）	2014 年 5 月 22 日
慈恵医科大学後期研修医への病院見学受け入れ（1 名）	2015 年 6 月 12 日

名称	年月日
琉球大学医学部 3 年次病院体験実習受け入れ（20 名）	2014 年 11 月 17 日～2014 年 11 月 20 日
琉球大学医学部クリニカルクラークシップ学生（5 年次）受け入れ（延べ 22 名）	2015 年 1 月 19 日～2015 年 3 月 13 日
琉球大学医学部附属病院 1 年目研修医受け入れ（延べ 11 名：救急 9 名、消化器内科 1 名、呼吸器内科 1 名）	2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
琉球大学医学部附属病院 2 年目研修医受け入れ（延べ 17 名：救急 2 名、消化器内科 1 名、血液内科 1 名、	2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
外科 1 名、麻酔科 5 名、放射線科 4 名、産婦人科 1 名、小児科 1 名、整形外科 1 名）	2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
大浜第一病院 2 年目研修医受け入れ（延べ 3 名：産婦人科 3 名）	2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
中部徳洲会病院 2 年目研修医受け入れ（延べ 1 名：産婦人科 1 名）	2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
南部徳洲会病院 2 年目研修医受け入れ（延べ 1 名：形成外科 1 名）	2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
沖縄協同病院 2 年目研修医受け入れ（延べ 1 名：眼科）	2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
沖縄協同病院 3 年目研修医受け入れ（延べ 1 名：肝臓内科）	2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日

リクルート活動

名称	開催地	年月日
琉球大学医学部にて初期臨床研修病院説明会への参加	西原町	2014 年 6 月 7 日
e- レジフェア東京（全国臨床研修病院説明会）への参加	東京都	2014 年 6 月 29 日
レジナビフェア大阪（研修病院説明会）への参加	大阪府	2014 年 7 月 6 日
レジナビフェア東京（研修病院説明会）への参加	東京都	2014 年 7 月 20 日
レジナビフェア福岡（研修病院説明会）への参加	福岡県	2015 年 3 月 1 日
レジナビフェア東京（研修病院説明会）への参加	東京都	2015 年 3 月 22 日
マイナビ岡山（研修病院説明会）への参加	岡山県	2015 年 3 月 22 日

実績報告資料等



各種勉強会

担当科	開催場所	開催年月日	院外参加者	院内参加者
消化器	当院	平成 26 年 4 月 24 日	2	34
救急科	当院	平成 26 年 4 月 30 日	70	56
消化器	当院	平成 26 年 6 月 26 日	0	30
中部地区医師会	当院	平成 26 年 7 月 1 日	3	7
中部地区医師会（消化器）	当院	平成 26 年 8 月 21 日	9	6
救急科	当院	平成 26 年 8 月 22 日	51	53
講習会（感染）	当院	平成 26 年 9 月 10 日	5	122
医療講演会	当院	平成 26 年 9 月 12 日	15	58
消化器	当院	平成 26 年 10 月 30 日	3	26
医療講演会	当院	平成 26 年 11 月 28 日	15	47
救急科	当院	平成 26 年 12 月 10 日	51	56
消化器	当院	平成 27 年 1 月 29 日	3	25
講習会（感染）	当院	平成 27 年 3 月 4 日	4	120
地域医療連携講演会	当院	平成 27 年 3 月 6 日	3	41
消化器	当院	平成 27 年 3 月 26 日	7	23

地域医療連携室主催の研究会や懇談会など

名称	開催地	年月日	参加者
地域医療支援病院運営委員会	当院	2014 年 8 月 11 日	前方連携全員
第 11 回地域医療連携懇談会	西原町	2014 年 9 月 18 日	連携室全員

講演会・研究会などへの参加実績

名称	開催地	年月日	参加者
沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会	西原町他	2014 年 4 月 24 日 ～2015 年 2 月 19 日	望月（計 4 回）
沖縄県 MSW 協会定例会	那覇市他	2014 年 5 月 14 日 ～2015 年 2 月 16 日	望月・奥平・川満（計 8 回）
沖縄県がん相談員実務者研修会	西原町	2014 年 5 月 16 日	望月・桑江
がん相談支援センター相談員基礎研修（1）（2）	東京都	2014 年 5 月 20 日 ～2014 年 5 月 23 日	桑江
中部地区在宅医療連携ネットワーク研修	沖縄市他	2014 年 5 月 22 日 ～2014 年 11 月 27 日	望月・桑江・川満（計 3 回）
おきなわ脳卒中地域連携委員会	那覇市他	2014 年 5 月 26 日 ～2015 年 1 月 30 日	粟盛・望月・川満（3 回）
中部地区連携研究会	うるま市	2014 年 6 月 26 日 ～2015 年 1 月 22 日	粟盛・望月・川満（計 2 回）
がん相談支援センター相談員基礎研修（3）	福岡県	2014 年 7 月 19 日 ～2014 年 7 月 20 日	桑江
沖縄がん心のケア研究会（那覇市立病院）	那覇市	2014 年 7 月 19 日	西田
緩和ケア研修会	当院	2014 年 8 月 2 日～ 2014 年 8 月 3 日	粟盛・望月・西田・川満・新垣 （計 4 回）
がんサロンの勉強会	南風原町	2014 年 8 月 3 日	奥平
MSW 協会医療と介護の仕組みとお金	うるま市	2014 年 10 月 13 日	奥平・桑江・川満
宜野湾市居宅介護支援事業所連絡会	宜野湾市	2014 年 10 月 15 日	望月・川満
宜野湾市居宅介護支援事業所連絡会	宜野湾市	2014 年 10 月 15 日	望月・川満（計 2 回）

名称	開催地	年月日	参加者
沖縄県 MSW 協会理事会	那覇市他	2014 年 10 月 20 日 ～2015 年 3 月 16 日	望月・奥平（計 6 回）
前立腺がんバス勉強会	那覇市	2014 年 10 月 23 日	粟盛・新垣・仲本
沖縄県 SW 協議会	那覇市	2014 年 11 月 7 日	奥平
沖縄県 MSW 協会中堅者研修会	那覇市	2014 年 11 月 9 日	望月・奥平
南城市介護保険関係者研修会・交流会	南城市	2014 年 11 月 20 日	川満
沖縄県 MSW 協会宿泊研修会	名護市	2014 年 11 月 22 日 ～2014 年 11 月 23 日	西田・望月・桑江・川満
精神障害者地域移行・地域定着支援研修会ファシリテーター	南風原町	2014 年 12 月 11 日	望月
沖縄県 MSW 協会初任者研修会	当院	2015 年 1 月 18 日 ～2015 年 1 月 25 日	川満（計 2 回）
琉球新報『福祉の窓』寄稿（造血幹細胞移植の費用について）	那覇市	2015 年 1 月 31 日	奥平
WEB カンファレンス「むねだ注射薬をうまく利用するために」	当院	2015 年 2 月 3 日	望月・桑江
第 2 回中部保健所管内における救急告示病院と精神科医療機関との連絡会議	沖縄市	2015 年 2 月 9 日	望月
生活困窮者自立支援セミナー	那覇市	2015 年 2 月 20 日	川満
中北部地区認知症疾患医療連携協議会	北中城村	2015 年 2 月 21 日	桑江
第 3 回沖縄県ソーシャルワーカー学会・社会福祉公開セミナー	宜野湾市	2015 年 2 月 28 日	桑江

セミナー・勉強会などへの参加

《院内開催》

名称	開催地	年月日	参加者
緩和ケア勉強会	当院	2014 年 4 月 25 日～ 2015 年 2 月 27 日	粟盛・望月・西田・川満・新垣（計 4 回）
DPC勉強会	当院	2014 年 5 月 16 日～ 2015 年 3 月 20 日	粟盛・新垣・砂川・望月・奥平・喜納（計 3 回）
標準予防講習会	当院	2014 年 5 月 22 日	粟盛・望月・奥平・西田
リウマチ勉強会	当院	2014 年 5 月 23 日	喜納・新屋
病院経営 筑波メディカルセンター	当院	2014 年 6 月 18 日	地域医療連携室全員
院内感染講演会	当院	2014 年 9 月 10 日	望月
訪問診療の実際 在宅での看取りを含めて	当院	2014 年 9 月 12 日	新垣・砂川・望月・奥平・桑江
浦添総合病院岡田玲一郎氏講演会	当院	2015 年 1 月 15 日	奥平・川満
がん研有明病院での乳腺外科専門医研修、乳がんリンパ節転移を考える	当院	2015 年 3 月 6 日	前方連携全員・望月・西田・桑江

《院外開催》

名称	開催地	年月日	参加者
沖縄県 MSW 協会めだかの学校	持ち回り	2014 年 5 月 29 日～ 2015 年 3 月 10 日	西田・桑江・川満（計 10 回）
2014 年度沖縄プライマリ・ケア研究会講習会「しなやかな多職種連携を求めて、在宅緩和ケア事例を考える」（那覇市医師会館 4 階ホール）	那覇市	2014 年 7 月 5 日	望月・桑江
在宅医療を支えるひとのための講演会	南風原町	2014 年 8 月 23 日	望月
豊見城中央病院講演会・懇親会	那覇市	2014 年 10 月 17 日～ 2015 年 2 月 19 日	新垣・砂川・喜納・嶋崎（計 3 回）
前立腺がんバス勉強会	那覇市	2014 年 10 月 23 日	粟盛・新垣・仲本
沖縄県立南部医療センター連携懇親会	南風原町	2014 年 11 月 13 日	新垣・砂川・仲本
浦添総合病院頒春レセプション	那覇市	2015 年 1 月 14 日	奥平・桑江

名称	開催地	年月日	参加者
沖縄県立中部病院懇親会	北谷町	2015 年 1 月 15 日	新垣・砂川・仲本
中頭病院新春懇親会	沖縄市	2015 年 1 月 22 日	砂川・喜納
西原町高齢者地域ケアネットワーク委員会	西原町	2015 年 3 月 24 日	喜納

学会発表

演題名	学会名	開催地	年月日	発表者と研究者
演題発表第 16 回日本医療マネジメント学会学術総会『おきなわがんサポートハンドブックの改訂発行に対する評価の分析』	日本医療マネジメント学会岡山大会	岡山県	平成 26 年 6 月 13 日～ 14 日	発表者：望月
地域医療支援病院承認要件変更に伴う当院での取り組み	院内研究発表会	当院	平成 26 年 10 月 20 日	発表者：砂川（前方連携）
『再入院を繰り返す慢性心不全患者の支援について～多職種連携から見えてきたこと～』	九州医療ソーシャルワーカー研修会おおいた大会	大分県	平成 26 年 11 月 1 日～ 2 日	発表者：西田

出前健康講話実施状況

演題	依頼元	年月日	演者
一次救命処置 (BLS) について	西原町立西原東小学校	2014 年 4 月 16 日	救急外来看護師長 内間幸人
糖尿病について- 予防・治療・合併症 -	幸地公民館	2014 年 5 月 14 日	理学療法士 長嶺敦司
ガンについて	小那覇公民館	2014 年 5 月 23 日	外科医長 澤岬安勝
清家篤習慣病を予防しよう	JA 北中城支店 2 F	2014 年 6 月 18 日	理学療法士 長嶺敦
ロコモティブシンドロームを予防しよう！	津波構造改善センター	2014 年 7 月 29 日	理学療法士 長嶺 敦司
インフルエンザの予防について	幸地公民館	2014 年 9 月 10 日	感染管理認定看護師 石川由希
乳癌について考えよう	県営内間団地自治会事務所	2014 年 12 月 11 日	乳腺外科 白石牧子
お酒と肥満に関連した肝臓の病気	那覇第一地方合同庁舎	2015 年 2 月 23 日	消化器内科 佐久川廣

実習受け入れ

実習内容	受け入れ校	年月日
社会福祉相談援助実習	沖縄国際大学	平成 26 年 8 月 11 日～ 9 月 10 日
社会福祉相談援助実習	琉球リハビリテーション学院	平成 26 年 8 月 11 日～ 9 月 10 日

実績報告資料等

平成26年度の目標

I. 社会医療法人としての役割強化
夜間・休日の救急車受け入れ件数1,700件／年↑
僻地医療の検討と取り組み

II. 地域医療支援病院（紹介率65%↑・逆紹介率40%↑）としての役割強化

目標 紹介率68%・逆紹介率50%

III. 新規入院患者数増 目標609人／月

IV. 病床利用率93.7%の達成
（93.7%＝平均利用率281床）

V. 平均在院日数の短縮 目標14.0日以内

達成度（実績）

① 各専門科のチラシを作成し近隣医療機関へ配布。

② 紹介率 69.2%・逆紹介率 53.0% ⇒ 『達成』

③ 各種勉強会、地域医療連携懇談会の開催。

⑤ 初診患者の受け入れ問題で、本院とハートライフクリニックとの打ち合わせを継続中。

⑥ 外来診療部長と登録医の先生方を訪問し、紹介検査予約の予約方法を簡素化を行った結果、検査紹介の患者増に繋がった。

平成27年度の目標

I. 社会医療法人としての役割強化
夜間・休日の救急車受け入れ件数1,700件／年↑
僻地医療の検討と取り組み

II. 地域医療支援病院（紹介率65%↑・逆紹介率40%↑）としての役割強化

目標 紹介率71%・逆紹介率55%

III. 新規入院患者数増 目標649人／月

IV. 病床利用率93.7%の達成
（93.7%＝平均利用率281床）

V. 平均在院日数の短縮 目標12.7日以内

ハートライフ病院 企画室・法人事務局 経営企画室

課長 安里 竜

当課は、現在・過去・未来の 3 つのステージで法人運営の課題を発見し、それに取り組み、必要な準備を進める部署です。各種診療支援・経営支援の分析、事業計画の取りまとめ、医療制度に関する情報収集、新規事業の企画等を主な業務としています。平成 24 年度の組織改編に伴い、企画室の配下に、IT・システム業務を行うための電算係と、内外への広報・広告を行うための広報係、再生医療に関する臨床研究及び治験・倫理委員会の事務補助を行うための臨床研究推進事務局があり、業務の幅がとて広い特徴があります。

平成 26 年度は、前任者までの運営方針を刷新し、今後の法人の成長に具体的に寄与するための方針を立て、それに沿って事業を推進しました。本年度は、DMAT の設立と各種訓練をサポートする活動に始まり、増改築プロジェクトにおける手術室増築計画に関する各種調整、QlikView を用いた圏域の受療予測分析データベースの整備、コスト削減に向けた薬価交渉への参画、外科系各診療科の診療実績の報告体制の構築、平成 27 年度より厳格化される治験・倫理審議体制の強化、音声外来（ボイス外来）などの専門外来の企画と準備に、主に着手しました。

次年度は、診療支援・経営支援への取り組みをさらに強化し、臨床研究支援への取り組みとして、臨床倫理・治験体制の強化を継続してサポートします。次年度に特に強化したい点として、各種基金・補助金を積極的に活用しつつ、今後の経営基盤の更なる安定化に向けて、DPC データを活用した診療支援活動の拡大、及び、収支構造の把握と最適化対策を、現場から各委員会、理事会へと PDCA スパイラルに乗せるために、分析体制の構築（管理会計・原価計算システムの導入）を低投資最大効果となることを念頭におきながら、具体的に検討したいと考えています。また、短期的には国の示す病床機能分化に際して、ハートライフ病院の高度急性期・急性期機能の維持は法人経営上重要な課題となりえます。そのための課題抽出と事業推進の中心的な役割を担う部署になるよう、企画室の運営方針をより具体化しました。最後に、企画室配下部署における担当業務の拡大に伴い、業務体制の強化が喫緊の課題となっていることから、企画室とその配下部署の 5 年後を見据えた教育研修体制の強化にも取り組みます。

総数

11 名

職種別

企画室	事務職 1 名	安里 竜
電算係	事務職 4 名	宮城 克己、高橋 慎二、前原 純樹、安里 健二、 幾乃 伸夫（薬局 SE OJT H26.12 ～ H27.2）
広報係	事務職 2 名	知念 政治、仲田 尚正
臨床研究推進事務局	事務職 2 名	山下 剛、譜久村 泰子、幾乃 伸夫（薬局 SE 兼任）

運営方針

1. 新規事業への早期取組

- a. 新規事業の経営企画面での関与（介護事業、本院増改築事業）
- b. 診療体制の活性化
- c. 研究体制の活性化（臨床倫理・治験体制の強化）
2. 診療支援・経営支援のための情報収集と分析
 - a. 診療実績と収支構造の把握と分析
 - ① DPC データの積極活用
 - ②原価計算・管理会計の導入
 - ③ベンチマーク
 - b. 診療マーケティング分析体制の構築
 - ①事業拡大に向けた広報・地域医療連携への活用
 - c. 医療制度改革の方向性の把握と分析
 - ①診療報酬改定
 - ②介護報酬改定
 - ③病床機能分化（病床機能報告制度・地域医療構想・地域包括ケア）
 - d. 上記取組の現場と経営層への積極的なフィードバック
3. 業務体制の強化
 - a. 経営感覚と現場感覚の両立
 - b. 配下部署の教育体制の強化

活動報告

<事務局等>

- ・医療基盤活用型クラスター形成支援事業事務局（H26 年度県科学技術振興課受託分）
- ・財団法人骨髓移植推進財団非血縁者間骨髓移植・採取認定施設更新事務局（H26 年度分）
- ・おきなわ津梁ネットワーク導入推進事務局
- ・医療バランストスコアカード導入推進事務局
- ・災害医療派遣チーム（DMAT）設立準備事務局
- ・院内クリニカルパス推進事務局（パス委員会事務局）
- ・治験・倫理委員会事務局（薬局の補佐）

<プロジェクト>

- ・病床機能分化の中央動向調査（7 対 1 体制の維持の提案・高度急性期の定義等）
- ・QlikView を用いた圏域受療予測データベースの構築（病床機能分化検討の基礎）
- ・薬価交渉への参画（コスト削減への関与）
- ・新しい会計システムへの更新補佐（将来の原価計算の為のマスター整備企画に関与）
- ・薬局業務サポート（治験・倫理委員会事務局補佐、透析薬の院外処方化ほか）
- ・外科系診療実績報告体制の構築（毎月第三木曜の医局会後に定期開催）
- ・形成外科「ピアス外来」の企画と準備
- ・耳鼻科専門外来「音声外来（ボイス外来）」の企画と準備

- ・先進医療申請の準備（ABMi 療法、ブラッドパッチ、POEM）
- ・法人中長期計画の更新準備
- ・その他多数

＜プロジェクト＞

- ・配下部署（電算係、広報係、臨床研究推進事務局）の業務管理
- ・電子カルテユーザー会システム管理者部会役員
- ・H26 年度互助会忘年会総合司会（互助会依頼）

活動実績

研究事業報告会

名称	開催地	年月日	参加者
電子カルテユーザー会システム管理者部会	新大阪	2014 年 8 月 26 日	全国電子カルテユーザー、安里（座長）
医療基盤活用型クラスター形成支援事業 第 3 回研究開発委員会	沖縄県	2014 年 9 月 13 日	沖縄県科学技術振興課、当院研究員、事務局員
医療基盤活用型クラスター形成支援事業 第 4 回研究開発委員会	沖縄県	2015 年 2 月 1 日	沖縄県科学技術振興課、当院研究員、事務局員
医療基盤活用型クラスター形成支援事業 事業評価委員会	沖縄県	2015 年 1 月 22 日	沖縄県政策参与、企画統括官級、当院研究員、事務局員
DMAT 活動報告会	本院	2014 年 7 月 9 日	病院職員
外科系診療実績報告	医局	毎月第三木曜定期	外科系診療科部長
高度急性期病床の最新動向の報告	本院（理事会）	2014 年 5 月 7 日	理事
当法人圏域における医療需要予測報告	本院（理事会）	2015 年 1 月 21 日	理事
高度急性期病床の最新動向の報告	本院（理事会）	2015 年 2 月 17 日	理事



電算係

認定・資格

認定・資格名
第二種情報処理技術者
システムアドミニストレータ
第一級陸上特殊無線技士
デジタル第 1 種工事担当者
ソフトウェア開発技術者

認定・資格名
日本商工会議所簿記検定試験 2 級
cisco certified network associate
cisco certified network professional (BSCI)
cisco certified network professional (BCMSN)
microsoft certified professional (70-270)

運営方針

1. 院内ネットワークの有効活用
2. 電子カルテ・部門システムの理解と磨き上げ
3. スキルの向上
 - a. プログラミング、ドキュメント化技術の向上
 - b. 病院業務への理解を深める

理念

IT への理解力と応用力を身に付け、院内 IT 環境の充実に努める

活動報告

- ・ネットワーク機器不具合対応
- ・インターネットスポットのパスワード管理（月ごとに変更）
- ・2015 年度医療改定
- ・2015 年介護ソフト改定対応
- ・沖縄県緩和ケア研修会サポート
- ・予防医学センターの機能評価対応サポート
- ・待ち患者数掲示板の開発（整形外科、外科、泌尿器科、破碎室）
- ・医療安全管理システムの開発、リリース
- ・投書・患者相談対応管理システムの開発、リリース（病院機能評価での指摘に対する改善）
- ・輸血後 3 ヶ月システムの開発、リリース（病院機能評価での指摘に対する改善）
- ・内視鏡室用サイネージの開発、リリース
- ・薬品請求システムの部署展開
- ・第 1 回クリニカルパス大会サポート
- ・クリニカルパス：標準アウトカムマスターの導入、置き換えについての説明会開催
- ・クリニカルパス勉強会の開催
- ・放射線科での業者によるウイルス発生対応
- ・患者数掲示板（院内向けサイネージ）への機能追加
 - 1）科別在院患者数掲示板
 - 2）重症度、医療・看護必要度 月間速報画面

- 3) 在宅復帰率 週刊速報画面
- 4) 総合入院体制加算 2 情報表示画面

・システム導入サポート

- 1) 呼気中一酸化窒素測定システム
- 2) MR I 装置入れ替え
- 3) P A C S サーバー増設

・第 21 回院内研究発表会へのエントリー

・情報系 Windows XP 端末リプレイス

・医業系ネットワーク用ウイルス対策ソフトのバージョンアップ

・介護事業所ハートライフ（ハートライフクリニック内）開所サポート

・おきなわ津梁ネットワークの導入サポート

・ハートライフ地域包括ケアセンター開所サポート

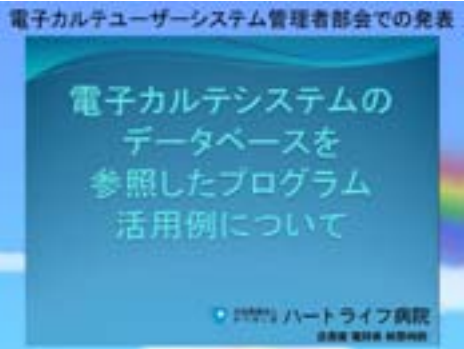
＜進行中＞

・ハートライフ地域包括ケアセンター開所に向けての準備

・予防医学センターの機能評価対応サポート

活動実績

名称	開催地	年月日	参加者
電子カルテユーザーシステム管理者部会での発表『電子カルテシステムのデータベースを参照したプログラム活用例について』	大阪 SS	2014 年 8 月 23 日	全国電子カルテユーザ病院
クリニカルパス勉強会	当院	2014 年 10 月 1 日	パス関係スタッフ
院内研究発表会（予選）『電子カルテシステムのデータベースを参照したプログラム活用例について』	当院	2014 年 10 月 20 日	事務部
院内研究発表会（本選）『電子カルテシステムのデータベースを参照したプログラム活用例について』	当院	2014 年 11 月 14 日	事務部



次年度目標

- ・ハートライフ地域包括ケアセンターの開所サポート
- ・予防医学センターの機能評価サポート
- ・医業系ネットワーク機器のリプレイス

広報係

認定・資格

認定・資格名			
初級システムアドミニストレータ			
サーティファイ	web	クリエイター能力検定試験	上級
サーティファイ	Flash	クリエイター能力認定試験	上級

活動目的

1. 院内の現状、新規業務などをホームページや広報誌、新聞等を通じて院外に PR する
2. 院内の情報を収集・審議し、広報方針を決定する。
3. 広報・広告関連予算を審議し、理事会へ提案する。
4. 院内における掲示物などに関して、規定を作成・管理する。

活動報告

＜かりゆし会＞

- ・公式ホームページ維持・更新
- ・西原町役場内デジタルサイネージで CM 開始
- ・採用ポータルサイト開設

＜ハートライフ病院＞

- ・院内サインの更新作業
- ・入院案内パンフレット
- ・臨床研修事務局関連作業
 - 修了証・アルバムの作成
 - 後期研修医募集パンフレット作成
 - 初期研修医募集パンフレット作成
 - レジデントノート広告原稿作成
 - 研修医募集ポスター作成
- ・平成 25 年度年報作成
- ・QI プロジェクト広報
- ・講演会ポスター作成
- ・その他院内掲示ポスター作成
- ・広報誌あすなろNo. 76 ～ 79 計 4 回の発行
- ・講演会、勉強会、イベントのサポート（写真・動画撮影など）
- ・デジタルサイネージシステム構築
- ・デジタルサイネージコンテンツ作成
- ・診療体制表の改良およびプリントサービスの提供
- ・その他付随業務

＜クリニック＞

- ・ちむぐすい
- ・糖尿病教室ポスター作成
- ・その他付随業務

＜地域包括ケアセンター＞

- ・開設サポート

・看板およびユニバーサルデザインを
取り入れた内部サイン類の調整
- ・入居者募集に係わるホームページ、チラシ、
パンフレット、動画などの作成

・トレードマークデザイン

＜主な報道・取材対応＞

- 1) 「ラジオいきいき健康 あいらんど」 副院長 佐久川 廣 出演
- 2013 年 12 月放送 RBC i ラジオ 月・火 18:05~18:10
- ラジオ沖縄 火・水 16:30~16:35
- FM 沖縄 木・金 19:55~20:00

＜事務局運営＞

広報委員会 年報作成委員会

学会発表

演題名	学会名	開催地	年月日	発表者と研究者
CMS 導入とデータの二次利用 ～より効果的な広報活動を目指して～	第 56 回全日本病院学会 in 福岡	福岡県	2014 年 9 月 20 日 ～ 21 日	知念政治、仲田尚正

活動実績

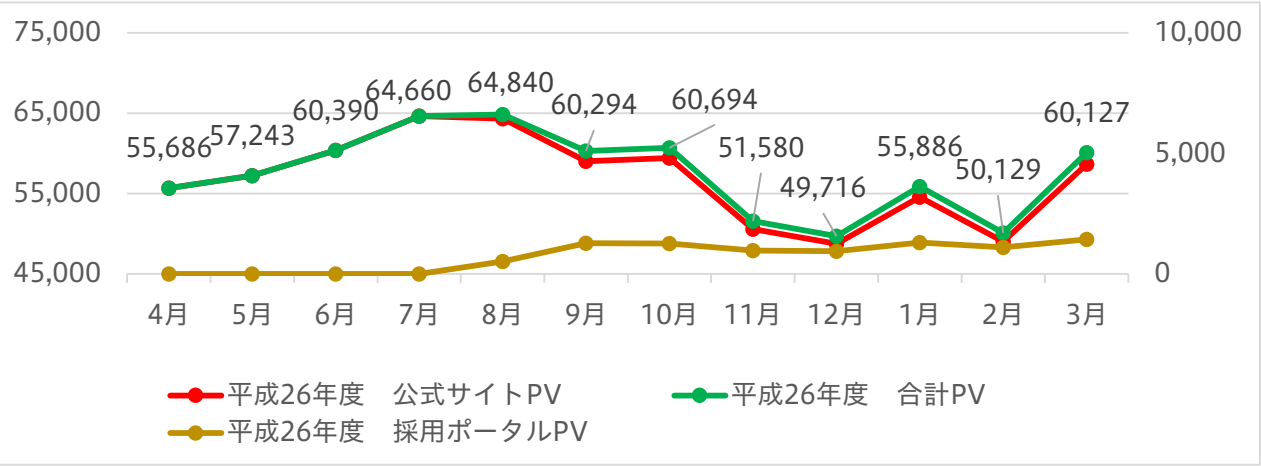
名称	開催地	年月日	参加者
予防医学センター対象セミナー講師 「個人情報保護 ～情報を守ることは自分自身を守ること～」	当院	2014 年 11 月 10 日	予防医学センタースタッフ

公式サイト統計

項 目	日平均 PV	月平均 PV	年間合計 PV	年間合計 V
公式ページ	349	8,188	682,402	127,608
採用ポータル	81	2,491	29,900	5,617
合計	430	10,679	712,302	133,225

PV：ページ閲覧数 V：訪問者数

ページ閲覧数（PV）推移



平成 26 年 8 月 18 日より採用情報専用ポータルを立ち上げ、公式サイトより情報を分離しました。

臨床研究事務係

運営方針

1. 臨床研究事業の推進と円滑な運営サポート
2. 治験・倫理委員会の円滑な運営サポート

活動報告

1. 先端医療技術産業化研究事業（沖縄県企画部科学技術振興課・平成 22 ～平成 24 年度委託事業）
2. 医療基盤活用型クラスター形成支援事業（沖縄県企画部科学技術振興課・平成 25 年度委託事業）

学会発表

演題名	開催地	年月日	発表者と研究者
医療基盤活用型クラスター形成支援事業 第 3 回研究開発委員会 (主催事務局)	沖縄県	2014 年 9 月 13 日	沖縄県企画部科学技術振興課、 クラスター参加施設
医療基盤活用型クラスター形成支援事業 第 4 回研究開発委員会 (主催事務局)	沖縄県	2015 年 2 月 1 日	沖縄県企画部科学技術振興課、 クラスター参加施設

介護事業開設準備室

介護事業開設準備室 主任 松家 豊重

現在、全県的に高齢化が進んでおり、ハートライフ病院の患者さんにおいても同様の傾向がみられます。そこでかりゆし会では、これまで地域を支えてこられたご高齢の皆様が、介護が必要になっても可能な限り住み慣れた地域で暮らしていくためには、24 時間 365 日いつでも切れ目なく包括的に介護・医療・住まい・生活相談等の支援をご提供する事が必要と考え、それを実現するために本院の隣の敷地にて介護事業を開始することにしました。新しい事業を始めるにあたり、25 年間、地域医療を担ってきたハートライフ病院の経験を活かすため、かりゆし会の各部署から助言や協力を得ながら、平成 26 年度より始まる介護事業の準備を行っております。今後も患者様や利用者様が希望する生活のお手伝いができるように、かりゆし会一丸となって事業を進めてまいります。

職員数

総数

専任 1 名（土地・建物担当：宮里毅、介護事業統括：仲地智俊）

職種別

介護支援専門員 1 名

氏名	認定・資格名
松家 豊重	介護支援専門員・介護福祉士・介護職員初任者研修

理念

わたくしたちは心と心を結ぶ信頼される医療と介護を目指します。

運営方針

- ①自分や自分の家族がして欲しいと思う支援を提供致します
- ②いつでも笑顔で親切な対応や支援を提供致します
- ③利用者様の個々の個性や楽しみを尊重し、その人らしく笑顔で日常生活を送れるように、優しさと暖かみのある支援を提供致します
- ④医療・介護・関係者等がチーム一丸となり、切れ目なくその人の生活を支援致します
- ⑤人材育成に力を注ぎ、職員が仕事にやりがいと誇りを持って、働ける環境を作ります

活動報告

- 1) 事業計画の作成
- 2) 図面に関する提案
- 3) 規定作成（運営規定、給与規定、運営規定、組織図など）
- 4) 職員採用（募集活動、採用状況など）
- 5) 各種規定の整備に関すること（運営規定作成、給与規定作成、組織図作成など）
- 6) 予算に関すること（予算計画、物品購入、制服選定など）
- 7) 管轄との連携に関すること（事前協議、申請書類準備、保健所、役所、自治会など）

- 8) 広報活動に関すること（ホームページ、協賛広告、デジタルサイネージなど）
- 9) 他事業所との連携に関すること（他施設見学など）

活動実績

工事請負契約、事前協議、申請手続きなど

年月日	名称
2011 年	12 月 理事会で介護事業に関する検討
2012 年	7 月 介護事業の協力依頼 8 月 介護事業ハード面担当職員採用
2013 年	5 月 20 日 外間建築設計事務所と契約 5 月 21 日 武蔵測量設計と契約 7 月 1 日 介護事業ソフト面担当職員採用 7 月 4 日 有料老人ホーム設置届け提出 8 月 19 日 農地転用申請【許可】2014 年 1 月 21 日 8 月 21 日 現場説明会 9 月 27 日 開発許可申請【許可】2014 年 1 月 23 日 9 月 30 日 謝花組と契約 12 月 5 日 介護事業の説明（中城村） 2 月 10 日 介護事業の説明（西原町）
2014 年	1 月 30 日 安全祈願祭（地鎮祭） 2 月 5 日 ケアプランセンター事前協議 2 月 5 日 訪問看護ステーション事前協議 2 月 5 日 ヘルパーステーション事前協議 2 月 1 日 工事着工 2 月 21 日 沖縄県福祉のまちづくり条例適合 3 月 28 日 構造計算適合判定通知書（確認申請）

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
「地域包括ケアの今後と在宅医療」	県内	2013 年 8 月 27 日	宮里毅、松家豊重
「あなたは何処で最期を迎えたいですか？（地域で支え合うしくみ）」	県内	2013 年 11 月 22 日	松家豊重
中北ケアマネ連絡会	県内	2014 年 1 月 22 日	松家豊重
メンタルヘルスケア	県内	2014 年 1 月 31 日	松家豊重
西原町高齢者地域ケアネットワーク委員会	西原町	2014 年 2 月 14 日	仲地智俊 松家豊重
「介護保険制度の動向と平成 26 年 4 月介護報酬改定について」	県内	2014 年 3 月 11 日	松家豊重

料飲・販売

職員数

総数

14 名

職種別

調理師 3 名

その他 11 名

事務副部長 比嘉 靖

運営方針

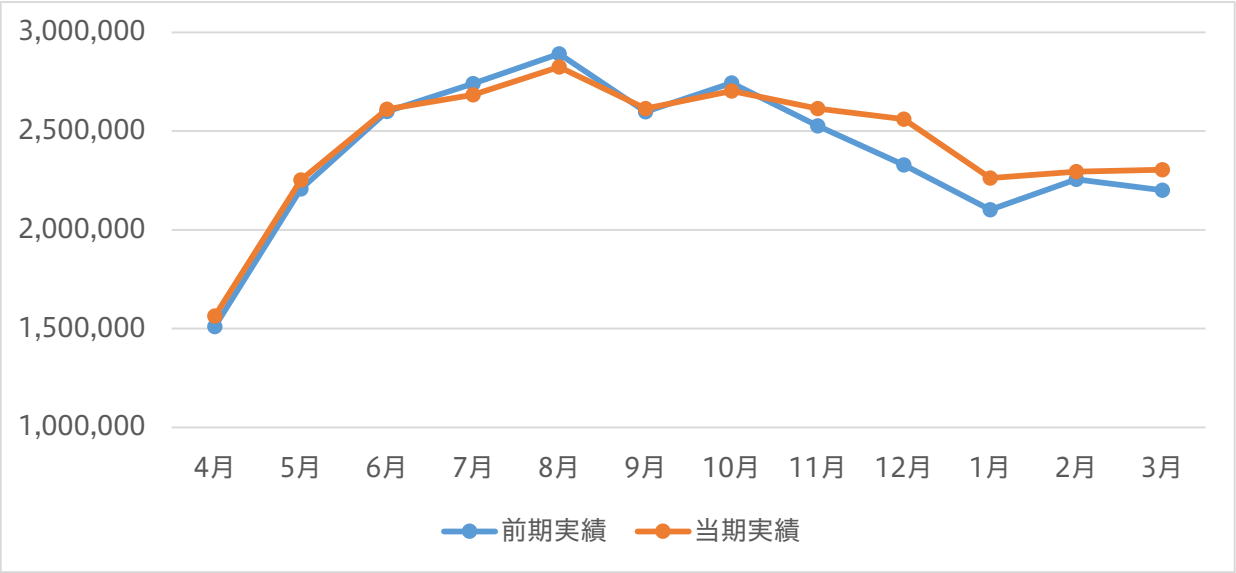
食の安全とより良いサービスの提供

理念

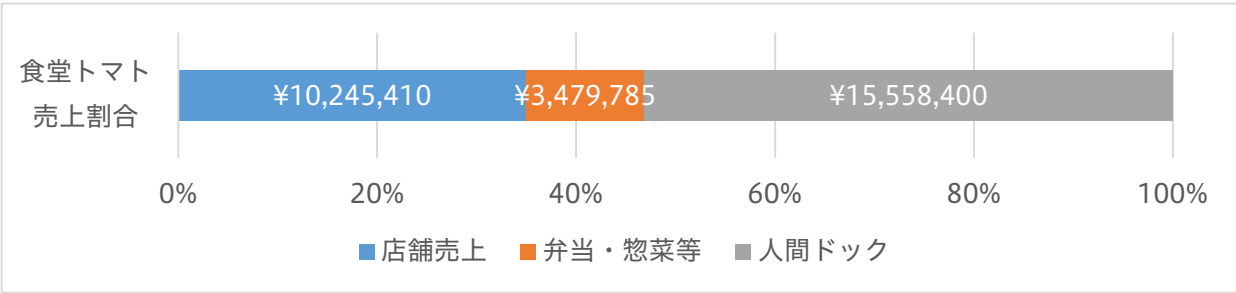
目配り・気配り・思いやり

業務実績

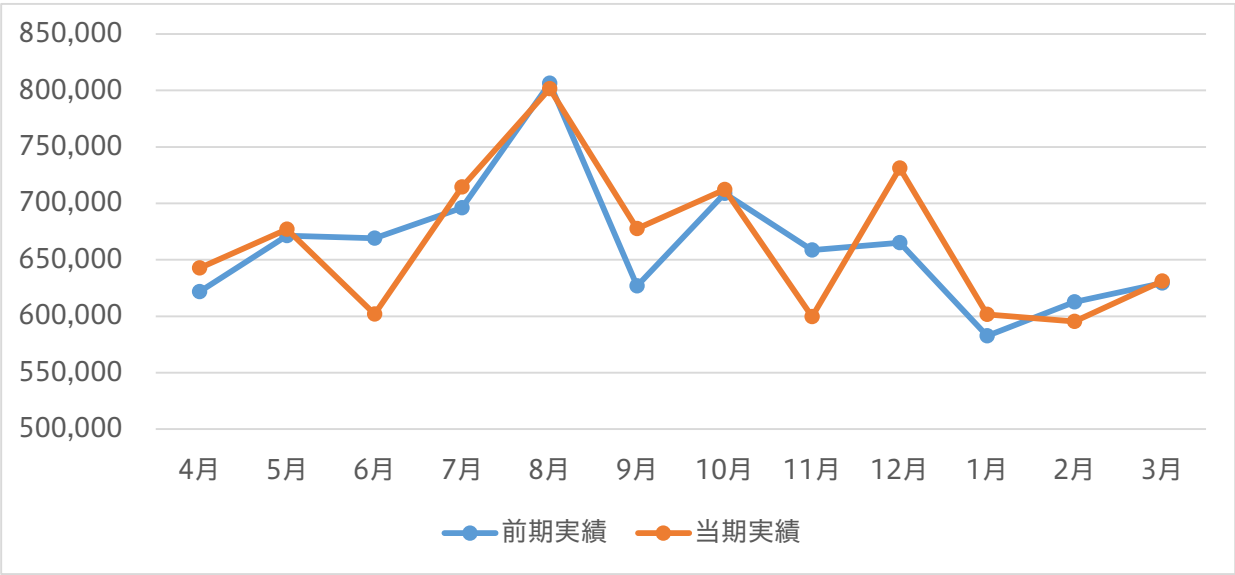
食堂 トマト 売上推移 (単位：万)



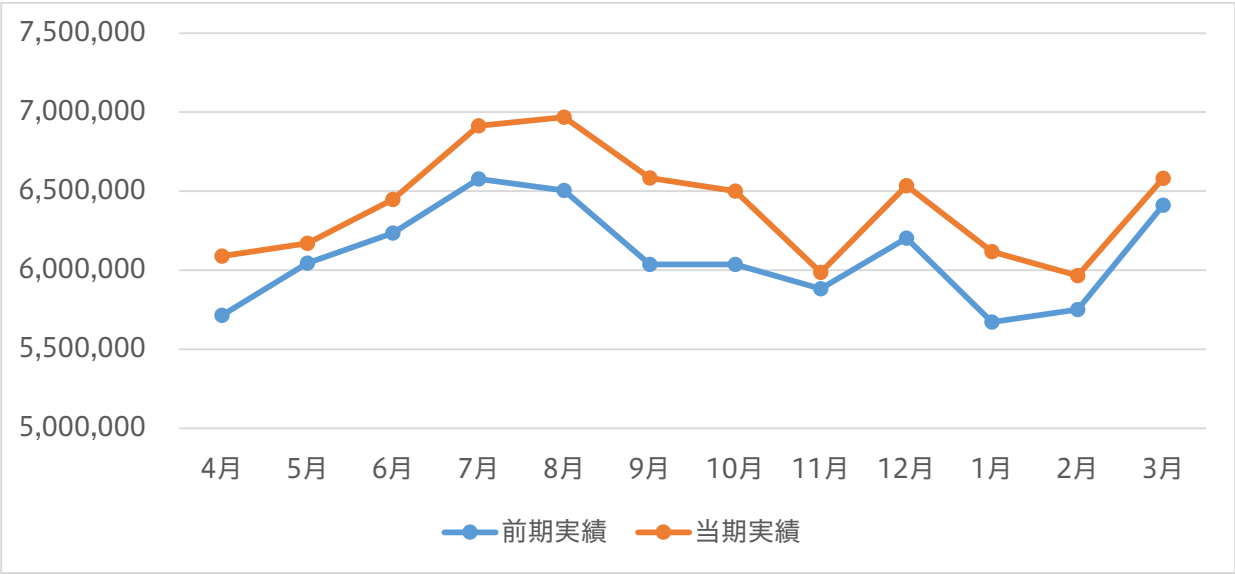
食堂 トマト 売上割合



喫茶 グリーン ケイブルズ売上推移 (単位：万)



売店 ハートストア売上推移 (単位：万)



業務実績

前年度比 3% の売り上げ増

事務部 年度総括



事務部長
當銘 秀之

平成 26 年度の事務部は、診療報酬改定、消費税増税対応に始まり、病床機能報告制度、災害医療派遣チーム（DMAT）設立、その他医制度改革への取り組みに追われた一年でした。担当職員の尽力のおかげで大きな問題もなく、順調に対応することができました。職員の皆さんに大変感謝いたします。

また、その多忙の中で、多くの職員がスキルアップに努め、新たに下記認定・資格試験に合格者を出すことができました。

診療情報管理士	3 名	第一種衛生管理者	6 名
社会福祉士	1 名	医療経営士 3 級	1 名

職員一人一人が忙しい日々業務の中で、時間を見つけ自己啓発に努めた結果であり、大変喜ばしく思います。

次年度も、職員が自己啓発に取り組むことができるように、職場環境を整えていきたいと考えております。

さて、平成 25 年より一年以上掛けて行ってきました病院増改築の調査・企画設計業務、基本設計業務が、3 月末を持って終了しました。平成 29 年度完成を目指して、次年度は実施設計業務に取り掛かる予定です。今後も新棟完成に向けて職員一同努力していく所存です。

平成 27 年度も変化、多様化する医療制度に組織として取り組めるように、職員一丸となって、「笑顔で親切」のスローガンのもと、より良い病院作りに邁進します。

医療安全管理室

部門紹介

医療安全管理室師長 玉城 秀美

平成 19 年に当院の医療安全部門として、組織横断的活動を行うために病院長を直属とする医療安全管理室が設置されました。統括責任者を副院長の久場とし、看護師 1 名を医療安全管理者（リスクマネージャー）として専従配置しています。また、医療安全管理室が事務局となっている医療安全管理委員会は、診療部門、看護部門、医療技術部門、事務部門の各部門の代表者が参加する総勢 23 名のメンバーで構成され、毎月会議を開催しています。

医療安全管理室 理念

1. 心と心を結ぶ信頼される医療を目指す
2. 医療行為は、治療を目的としたものでなければならない

医療安全管理室 運営方針

1. 医療事故防止の為に安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上を図る
2. 医療安全に関する職員への教育・研修、情報の分析、対策の立案、事故発生時の初動対応、再発防止立案、発生予防及び発生した事故の影響拡大の防止等に努める
3. 安全管理体制を組織内に根付かせ機能させる事で、医療機関における安全文化を醸成を促進する

職員数

総数

1 名

職種別

医療安全管理室 専従看護師 1 名

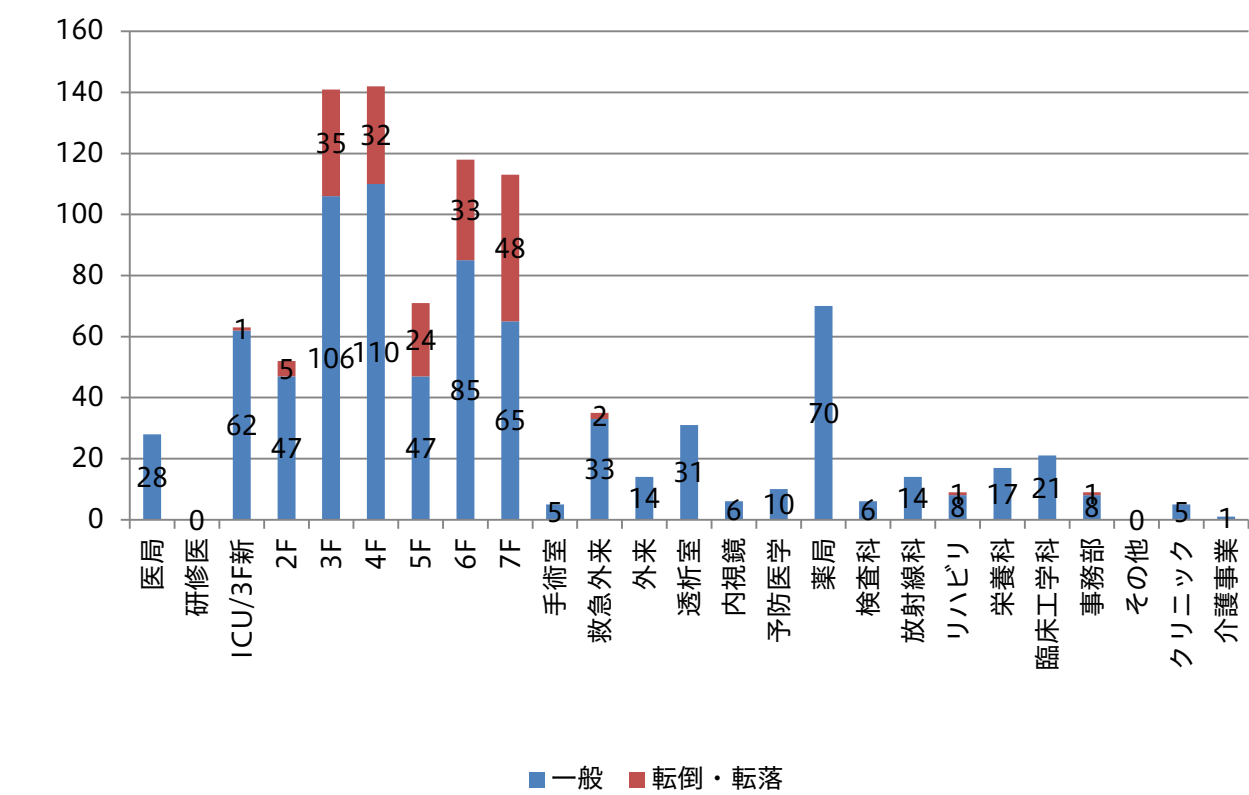
認定・資格

氏名	認定・資格名
玉城 秀美（平成 26 年 4 月～12 月） 中野 久野（平成 26 年 12 月～）	医療安全管理者認定

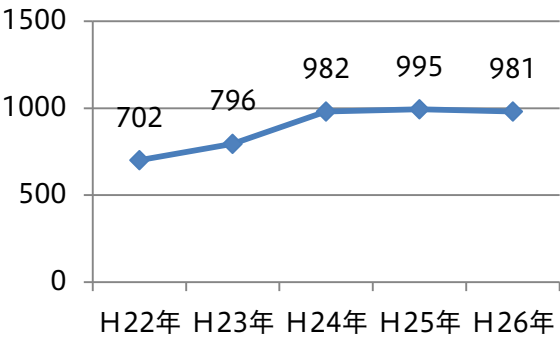
活動実績

インシデント報告件数

ハートライフ病院では小さいインシデントでも発見者が報告しやすい環境を整え、患者さんへの影響を最小限に抑えるため、部署 ID での報告制度を導入しています。各部署へ振り分けた ID で報告する事により、当事者が分からない場合や影響レベルの低いケースなどでも、気付いた時点で誰でも早々の報告を行えるようになり、報告件数が増加し事故防止対策を図る事が可能となっています。



インシデント件数年次推移



勉強会・講習会開催

(データ作成 医療安全管理室 玉城)

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	看護部	当院	2014 年 4 月 3 日	看護師
研修医オリエンテーション	臨床研修運営協議	当院	2014 年 4 月 4 日	研修医 (1 年目)
化学療法勉強会	化学療法委員会 (共催)	当院	2014 年 6 月 9 日	全職員
医療安全領域研修① 「安全教育」	看護部	当院	2014 年 6 月 26 日	看護師
3 ヶ月フォローアップ研修	看護部	当院	2014 年 6 月 27 日	看護師
医療安全勉強会	メディカルクラーク	当院	2014 年 7 月 16 日	メディカルクラーク
医療安全領域研修 ②「安全教育」	看護部	当院	2014 年 7 月 24 日	看護師
医療ガスの種類・性質・取扱い	医療ガス安全管理委員会 (共催)	当院	2014 年 7 月 31 日	
患者誤認防止の取り組み	医療安全管理委員会	当院	2014 年 8 月 20 日	全職員
医療安全領域研修③ 「転倒・転落防止」	看護部	当院	2014 年 8 月 28 日	看護師
6 ヶ月フォローアップ研修	看護部	当院	2014 年 9 月 19 日	看護師
医療安全領域研修④ 「転倒・転落防止」	看護部	当院	2014 年 9 月 25 日	看護師
医療安全領域研修⑤ 「患者誤認防止」	看護部	当院	2014 年 10 月 23 日	看護師
医療安全領域研修⑥ 「患者誤認防止」	看護部	当院	2014 年 11 月 27 日	看護師
医療安全領域研修⑦ 「チーム医療とコミュニケーション」	看護部	当院	2014 年 12 月 25 日	看護師
医療安全領域研修⑧ 「チーム医療とコミュニケーション」	看護部	当院	2015 年 1 月 22 日	看護師
医療安全領域研修⑧	医療安全	当院	2014 年 1 月 30 日	玉城秀美
看護実践を支えるマネジメント	看護研究学会	院外	2014 年 2 月 22 日	玉城秀美
医療安全講演会	医療安全管理委員会	当院	2014 年 3 月 24 日	玉城秀美
九州・沖縄地区医療安全に関するワークショップ	厚生労働省九州厚生局	沖縄看護協会	2014 年 11 月 15 日	玉城秀美

医療安全管理室 年度総括



医療安全管理室
玉城 秀美

毎年、医療安全の強化、医療事故の低減をも目標に活動を継続しています。今年も全職員を対象とした勉強会「患者誤認防止の取り組み」を 8 月 20 日に開催し、患者誤認防止に対する取り組みを多くのスタッフが学ぶ機会となりました。今後も継続していきます。また、各科の医師・看護部・医療技術部・事務部と複数の職種が参加した M&M カンファレンスを開催することができました。一つの事例を他職種で検討し、今後の診療に生かしていきたいと考えています。

感染対策管理室

部門紹介

感染対策管理室 石川 由希

感染対策管理室は平成 20 年に院長直下の感染に関する諮問機関として設置され、平成 24 年度から専従看護師 2 名（うち 1 名感染管理認定看護師）と事務員 1 名で活動していました。平成 25 年には沖縄県看護協会認定教育課程が研修出来るようになり、病院の強力なサポートもあり新たに 2 名が感染管理認定看護師を取得しました。平成 26 年 6 月より専従看護師 1 名と手術室に 1 名、ICU に 1 名の兼任感染管理認定看護師の配属となりました。専従看護師は病院全体に関わる感染管理業務を行い、兼任看護師は現場で看護ケアを行いながら感染管理を実践しております。感染対策教育は新人教育、研修医研修、感染管理領域別研修、助手研修、部署別研修、手指衛生などを専従、兼任で分担し実施してます。

感染対策管理室では日々病棟をラウンドし感染対策の実施状況を確認、スタッフへ手袋やエプロンの着脱、手指衛生タイミングの指導や、感染に関する相談を受けます。

また、院内感染対策委員会やコメディカル部門も含めた各部署より選出されたメンバーで構成される感染対策小委員会、領域別研修などの企画運営を行います。

その他に週一回の耐性菌・抗菌薬ラウンドを ICT（infection control team）で実施し、ラウンド後に ICT ミーティングを行い現場での感染対策実践に繋げています。感染管理認定看護師が増え今後ますます充実した感染対策を実践していきます。

感染管理対策室 理念

感染管理をととして、患者さんが病院を信頼し、安心して質の高い医療を提供できることを目指し活動しています。

職員数

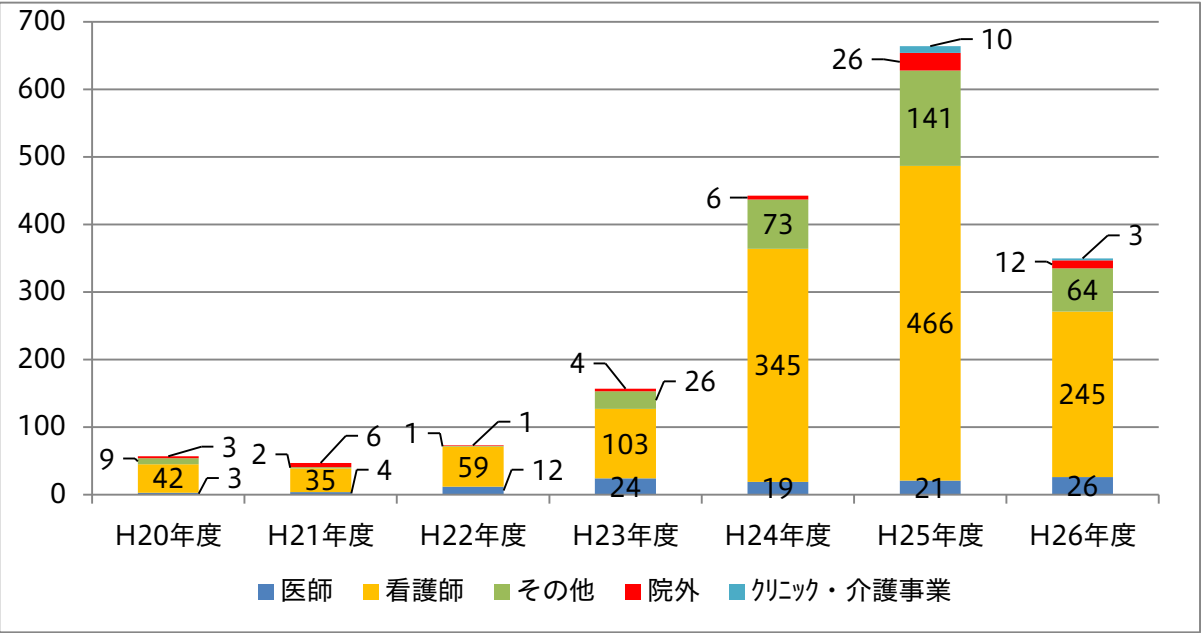
- 総数
- 2 名
- 職種別
- 感染対策管理室 専従看護師 1 名
- 一般事務 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
石川由希	感染管理認定看護師 第一種衛生管理 呼吸療法認定士 医療環境管理士
宮城美那	感染管理認定看護師
城間克也	感染管理認定看護師

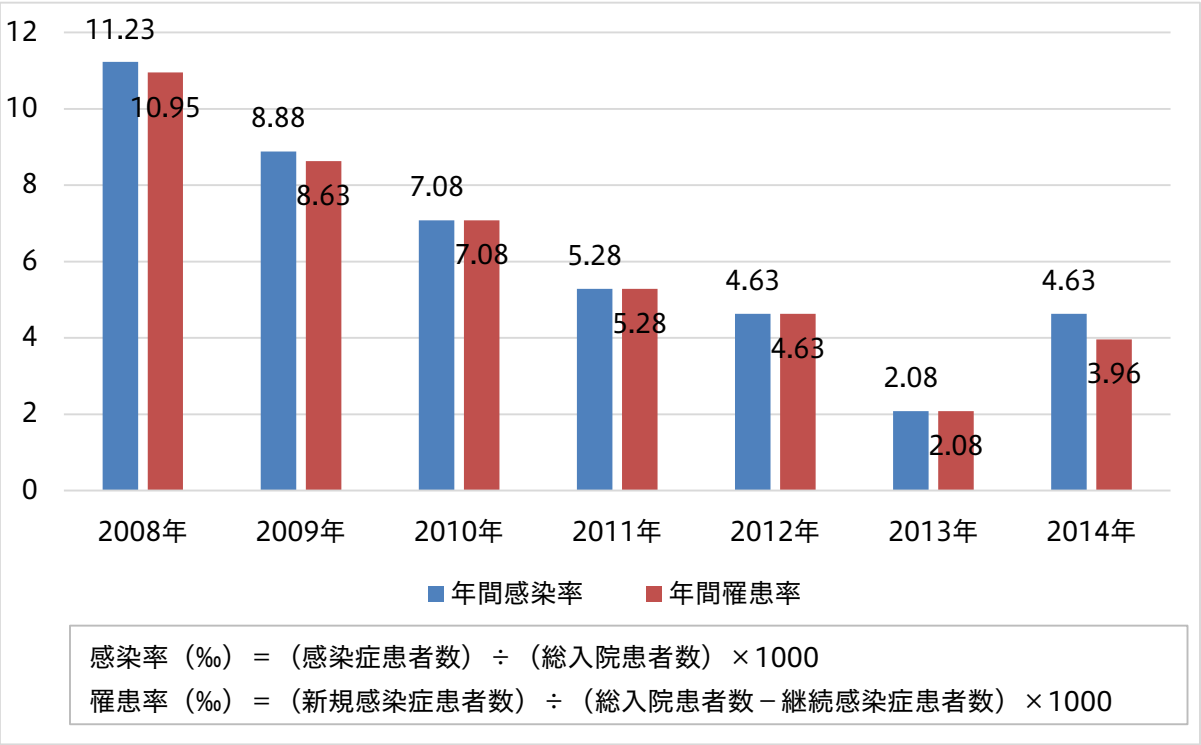
業務実績

コンサルト件数



JANIS 報告データ MRSA 感染率

(JANIS 提出データ)



活動実績

勉強会実施実績

名称	開催地	年月日	演者	対象
院内感染対策について	当院	H26.4.1	普天間光彦	新入職者全員
感染対策は必要?!～感染対策室の紹介～実践に活かす感染対策～新人もベテランもやることは一緒さ!!～職業感染防止対策～針刺し・切創、粘膜汚染後の対応～	当院	H26.4.3	宮城美那・城間克也	看護部新入職者
手洗い・針刺し	当院	H26.4.3	石川由希	研修医1年目
排泄ケア " 洗浄・消毒・滅菌	当院	H26.4.4	宮城美那	看護部新入職者
血流感染 "	当院	H26.4.7	石川由希	看護部新入職者
感染対策って何???～みんなでやることに意味がある!!～	当院	H26.4.17	宮城美那	感染対策小委員会
職業感染	当院	H26.4.25	石川由希	看護助手研修
実践に活かす感染対策～个人防护具の正しい着脱方法について～手洗い講習会	当院	H26.5.8	城間克也・宮里武行・標準予防策 G	感染対策小委員会
標準予防策・手洗い講習会	当院	H26.5.22	普天間光彦・宮里武行・標準予防策 G	全職員対象
職業感染	当院	H26.5.23	石川由希	看護助手研修
あなたも私もみんなで感染対策～基本から始める、感染予防策～	当院	H26.5.30	宮城美那	領域研修（看護部）
手洗い講習会・食中毒	当院	H26.6.12	石川由希	クリニック
洗浄・消毒・滅菌	当院	H26.6.13	城間克也	感染対策小委員会
細菌検査の基礎知識・抗菌薬	当院	H26.6.20	宮城健・宮里武行	領域研修（看護部）
手洗い講習会	当院	H26.6.24	石川由希	国際ビル産業
職業感染	当院	H26.6.27	石川由希	看護部 3 ヶ月フォローアップ研修
手洗い講習会	当院	H26.6.27	城間克也	国際ビル産業
手洗い講習会	当院	H26.6.27	城間克也	栄養科
多剤耐性菌について	当院	H26.7.10	宮城健	感染対策小委員会
感染対策について	当院	H26.7.16	石川由希	メディカルクラーク
医療関連感染対策	当院	H26.7.17	城間克也	領域研修（看護部）
PPE について	当院	H26.7.23	石川由希	4F 病棟
感染対策について	当院	H26.7.23	石川由希	予防医学センター
多剤耐性菌（MDRP）について	当院	H26.7.25	石川由希	6F 病棟
結核について	当院	H26.7.28	普天間光彦	外来・産婦人科・7F・内視鏡センター・検査科・放射線科・予防医学センター
PPE について	当院	H26.8.12	石川由希	4F 病棟
SSI・職業感染対策	当院	H26.8.21	石川由希	領域研修（看護部）
CV カテーテル感染	当院	H26.8.26	石川由希	4F 病棟
血培採取	当院	H26.9.2 9.4	石川由希	ER
出前健康講話（インフルエンザ）	西原町	H26.9.10	石川由希	西原町民
血液を介して起こる医療関連感染～C型肝炎を中心に～	当院	H26.9.10	佐久川廣	全職員対象

名称	開催地	年月日	演者	対象
職業感染対策	当院	H26.9.18	石川由希	領域研修（看護部）
血流感染について	当院	H26.9.19	城間克也	看護部 6 ヶ月フォローアップ研修
感染防止技術 手術室における感染対策	沖縄県看護協会	H26.9.25	宮城美那	感染管理認定看護師教育課程
隔離予防策	当院	H26.10.17	石川由希	領域研修（看護部）
エボラ出血熱（エボラウイルス病）について	当院	H26.10.29	普天間光彦	救急外来・外来・請求業務課
感染管理	当院	H26.11.4	石川由希	ぐしかわ看護学校学生
エボラ出血熱シミュレーション	当院	H26.11.5	ICT	救急外来・外来・請求業務課
細菌検査の基礎知識・抗菌薬・医療関連感染（BSI）	当院	H26.11.20	宮城健・城間克也	領域研修（看護部）
感染管理	当院	H26.11.28	石川由希	おもと会 沖縄看護専門学校学生
抗菌薬・医療関連感染対策（UTI・VAP・SSI）	当院	H26.12.18	宮里武行・城間克也	領域研修（看護部）
みんなでゲリラ対策!!～感染性胃腸炎～	当院	H27.2.27	宮城美那	看護部 1 年目フォローアップ研修
沖縄県における HIV 感染症の実状	当院	H27.3.4	仲村秀太（琉球大学医学部付属病院 第一内科医師）	全職員対象

勉強会参加実績

名称	開催地	年月日	主催	参加者
感染管理認定看護師教育課程修了生のための集中講座	東京都	H26.4.19 ～ H26.4.20	NPO 法人 HAICS 研究会	石川由希・城間克也
第3回 日本感染管理ネットワーク学術集会	名古屋	H26.5.9 ～ H26.5.10	一般社団法人日本感染管理ネットワーク	宮城美那
第 28 回沖縄県感染管理研究会「感染対策と病院疫学 - データと客観的な判断 -」	てだこホール	H26.10.25	沖縄県感染管理研究会	石川由希・宮城美那・城間克也
感染対策の重要ポイント～ CDC ガイドラインの紹介も含めて～	ANA クラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー	H26.11.22	ハクゾウメディカル株式会社	石川由希・城間克也・諸見里和也・新垣喜也
第 1 回沖縄県 ICN ネットワーク勉強会	琉球大学	H26.11.27	沖縄県 ICN ネットワーク	石川由希
平成 26 年度 (2014 年度) 第 2 回フォローアップ研修会「人工呼吸関連イベントサーベイランスの理解と実践」	福岡	H26.11.29	九州地区生涯教育センター	城間克也
エボラ出血熱に備えるための感染管理研修	南部医療センター・こども医療センター	H26.11.29	沖縄県健康長寿課・那覇市	石川由希
第 2 回沖縄県 ICN ネットワーク勉強会	沖縄県医師会館	H26.12.17	沖縄県 ICN ネットワーク	石川由希
平成 26 年度沖縄県医師会感染症・予防接種講演会「ウイルス感染症の TOPIX：エボラ出血熱とデング熱について」	沖縄県医師会館	H26.12.17	沖縄県医師会	石川由希
沖縄県認定看護師研究会定例会	那覇市立病院	H27.1.9	沖縄県認定看護師研究会	石川由希・城間克也

名称	開催地	年月日	主催	参加者
Strategies to Improve Hand Hygiene Compliance 手指衛生遵守率向上のための戦略	ANA クラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー	H27.1.14	サラヤ株式会社	石川由希・城間克也
災害と感染対策	沖縄県看護協会	H27.1.17	沖縄県看護協会	石川由希・城間克也
第 1 回沖縄県感染管理認定看護師会	南部医療センター・こども医療センター	H27.1.17	沖縄県 CNIC 会	石川由希
第 3 回沖縄県 ICN ネットワーク勉強会	琉球大学	H27.1.23/30	沖縄県 ICN ネットワーク	石川由希
第 30 回日本環境感染学会総会・学術集会	神戸	H27.2.20/21	日本環境感染学会	石川由希・宮城美那・宮里武行
平成 26 年度第 9 回沖縄県 ICN ネットワークセミナー	沖縄県看護協会	H27.3.7	沖縄県 ICN ネットワーク	石川由希（座長）・城間克也
第 9 回 医療関連感染対策セミナー in 沖縄	那覇市	2014 年 3 月 15 日	健栄製薬株式会社・沖縄県看護協会他	石川由希

平成 27 年度目標

- ＊針刺し・切創 15 件以下
- ＊ MRSA 院内発生件数 50 件以下
- ＊速乾性擦式アルコール製剤使用量 1 日 5L 以上
- ＊血液培養汚染率 3.0% 以下

実績報告資料

エボラ出血熱勉強会シミュレーション



領域研修・看護部研修



部署別勉強会



感染対策管理室 年度総括



感染対策管理室
石川 由希

平成 26 年度は感染管理認定看護師が 3 名に増え、専従 1 名兼任 2 名体制となりました。

これまでも感染対策教育には力を入れておりましたが、3 名体制となった事で、新人研修、研修医研修、領域別研修、部署別勉強会、院外勉強会など充実した研修を実施することができました。

また、昨年度に導入した感染症シールと予防策シールを活用することで病棟スタッフや患者に関わるスタッフが感染対策を実施することができました。

本年度はエボラ出血熱が西アフリカで流行したことを受け、救急外来・外来・医事課と共に対応を検討、隔離室の整備、勉強会や来院時対応シミュレーションを実施しました。

また、冬季にはインフルエンザが流行しましたが、咳エチケットと手指衛生の徹底と発生時の報告・介入することでアウトブレイクすることなく対応することが出来ました。

各部署から選出されて月 1 回開催している感染対策小委員会ではリンクスタッフによる環境ラウンドを実施、フォーリー早期抜去に向けた取り組みや、針刺し切創時対応のシミュレーション実施、手指衛生促進のための手指衛生強化月間を設け活動を行いました。

次年度もリンクスタッフや他職種と共同しながら感染対策を実践していきます。

栄養サポート室

部門紹介

栄養サポート室 嘉数 智子

栄養サポート（以下 NST）とは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリなどの専門スタッフが連携し、それぞれの知識や技術を持ち合い患者さんにとって最適な方法で栄養支援を行う医療チームの事を言います。

当院 NST は、平成 17 年に院長直下の委員会として発足し、同年に NST 稼働施設認定を取得しました。翌 18 年には褥瘡対策委員会と合併し NST・褥瘡対策委員会として協働で活動しています。平成 22 年度から看護部より出向のもと、看護師 1 名を専従として配置し栄養サポート体制を強化しました。

栄養サポート室 理念

医療チームの一員として、それぞれの専門スタッフが知識や技術を持ち合い患者さんに最適な方法で栄養支援を行う。

栄養サポート室 運営方針

入院患者さんに対し個々の栄養状態を把握し最もふさわしい栄養管理を提言することで、早期回復を助け患者さんの QOL 向上に貢献する。

職員数

総数

1 名

職種別

栄養サポート室 専従看護師 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
嘉数智子	栄養サポートチーム専門療法士
	日本静脈経腸栄養学会員
	日本褥瘡学会員

NST 回診&カンファレンスについて

NST 対象患者選択

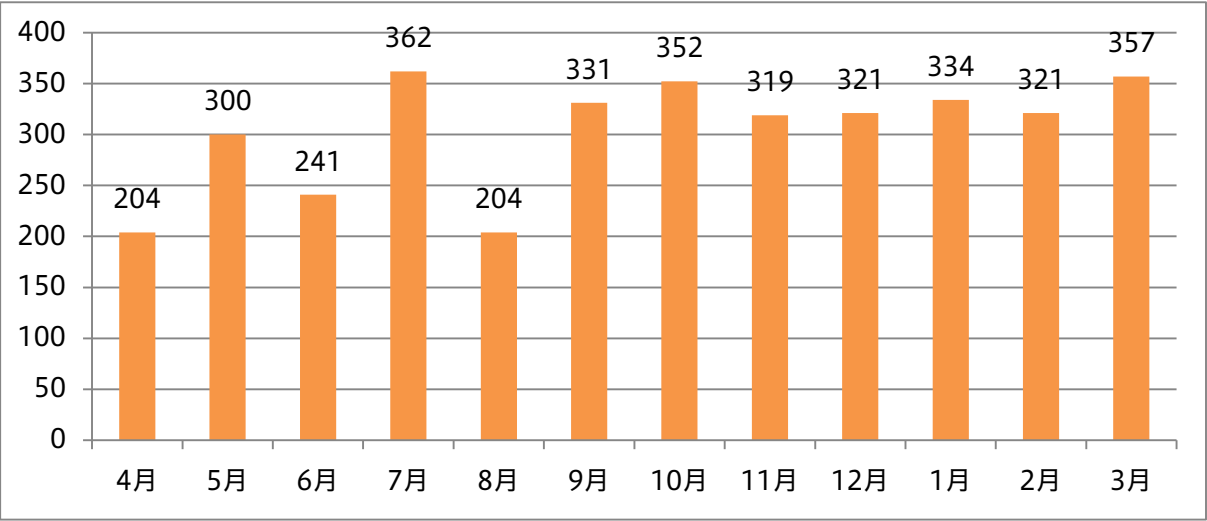
- 回診前週の採血でアルブミン値 3.0mg /dl 以下の患者
- 褥瘡を有してる
- 摂食・嚥下障害がある
- 経腸栄養中のトラブル（下痢・便秘・胃食道逆流・瘻孔トラブルなど）

NST 対象除外

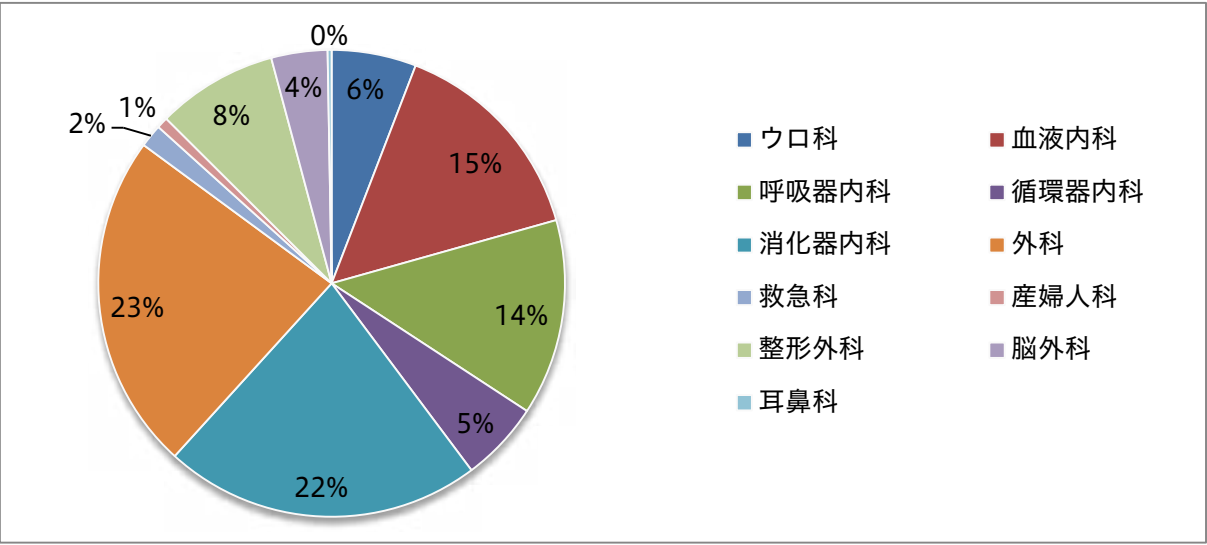
- 術後の採血でアルブミン値が 3.0mg /dl 以下
- ターミナル期の患者（予後が短く介入困難）
- 化学療法中などの患者でも摂食が十分な場合

業務実績

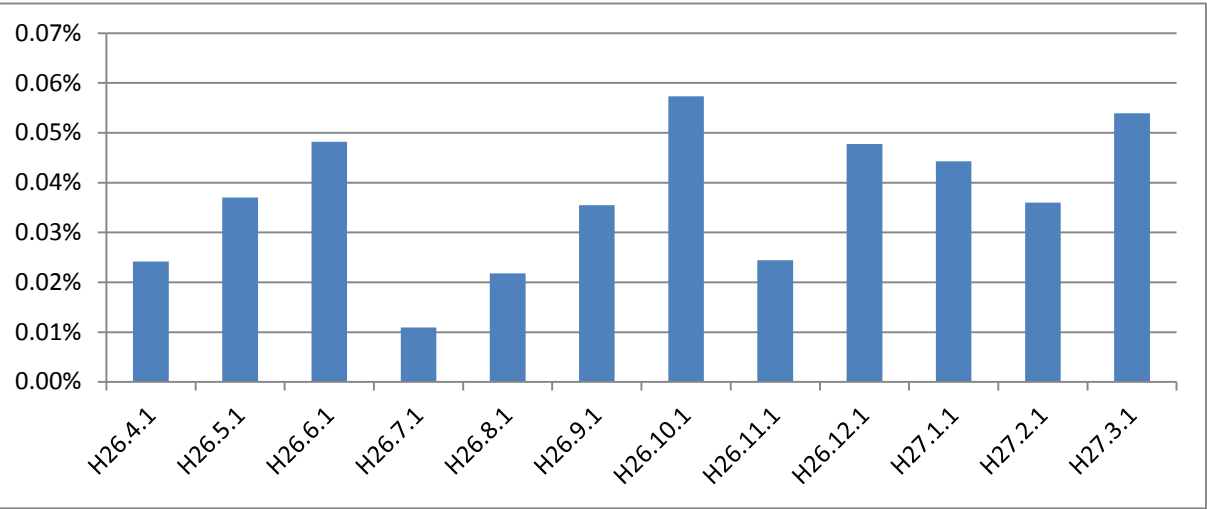
NST 対象者件数



診療科別 NST 対象者



褥瘡発生率（DESIGN-R） d 2（深さ：真皮までの損傷）以上の発生率



活動実績

勉強会及び研修会参加

研修名	主催	開催地	開催日	備考
ネスレセミナー in 沖縄	ネスレ	浦添市	平成 26 年年 7 月 23 日	
栄養サポートセミナー	那覇市立病院	那覇市	平成 26 年 7 月 25 日	
栄養剤勉強会	委員会	院内	平成 26 年 8 月 14 日	
形成外科「デイスージャリー」について	委員会	院内	平成 26 年 8 月 28 日	
「フィブラストスプレー」について	委員会	院内	平成 26 年 10 月 8 日	
排泄ケアセミナー	ユニチャームメンリッケ	那覇市	平成 27 年 2 月 1 日	19 名参加
第 4 回 リハビリテーション栄養研究会	沖縄リハビリテーション栄養研究会	那覇市	平成 27 年 3 月 7 日	
第 10 回 沖縄 NST フォーラム	大塚製薬	那覇市	平成 27 年 3 月 14 日	嘉数智子発表

栄養サポート室 年度総括



栄養サポート室
嘉数 智子

平成 26 年度は、外科副部長を栄養サポート室委員長、外科医師 1 名、消化器内科医師 1 名を副委員長とし、看護師 29 名、医療技術部 13 名で構成しています。

栄養サポート室では全入院患者さんに対し、採血結果 Alb 値 3.0g/dL 以下でカンファレンス対象者のリスト作成を行い、リンクナースは NST 回診及びカンファレンスの対象となる患者さんをリストアップし、毎週月曜日に病棟回診とカンファレンスを実施しています。

カンファレンスでは、適切な経腸栄養剤の選択、食事形態や食事量の検討を行い主治医や病棟スタッフに対し提案・助言をフィードバックし栄養状態の改善に努めました。

栄養管理は、すべての疾患治療の上で共通する基本的医療のひとつです。症状や疾患に対する専門的な栄養療法の知識を習得し、患者さん個々に応じた栄養管理が実施できるよう取り組んでいきたいと考えております。

栄養サポート室は、褥瘡委員会と協働で活動しており、平成 26 年度からは形成外科医が常勤となり、褥瘡の予防からケアに至るまで強化する事ができたと思います。平成 25 平成から活動している排泄ケアに関しても「足元からのケアを充実させる」をモットーに活動開始を継続しております。

内視鏡センター

部門紹介

内視鏡センター長 折田 均

内視鏡センターは日本内視鏡学会の認定指導施設で、内視鏡センターには指導医や専門医、消化器内視鏡技師を含む看護スタッフなど 32 名が従事しています。当センターでは通常検査や予防医学センターの検査のほか、消化管出血などに対する緊急内視鏡処置も多数行っており、総胆管結石などの胆・膵の処置（ERCP 関連）や従来は外科的手術が必要だった、病変が広い早期食道がんや胃がん、大腸がんに対して、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を取り入れています。

職員数

総数 32 名

職種別

指導医 4 名
専門医 4 名
その他 7 名

内視鏡技師 I 種 8 名
II 種 1 名
看護師 5 名
助手 3 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
古波倉美登利	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師
喜屋武香織	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師
国仲トモ子	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師
渡久山すえの	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師
宮里奈央	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師

氏名	認定・資格名
野原さやか	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師
大城 敦	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師
有馬ゆかり	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師
宮城愛子	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師

内視鏡センター 運営方針

1. インフォームドコンセントを充実させ、受検者の満足に答える医療サービスを提供する。
2. 安全性を確保しつつより高いレベルへの診断能の向上、内視鏡治療の質の向上をめざす。
3. 消化器内視鏡指導施設として、医師及びコメディカルスタッフの指導・育成を行う。

目標

- （1）より高い診療技術の向上
- （2）患者安全の確保
- （3）洗浄・消毒の徹底と管理

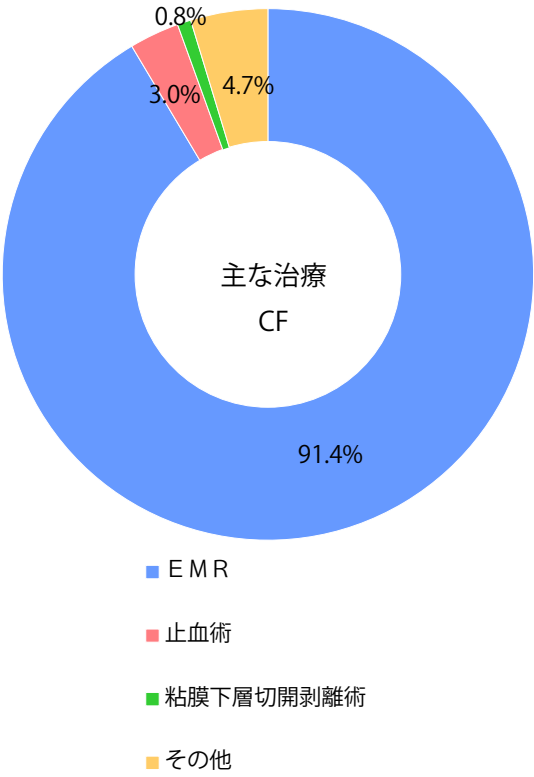
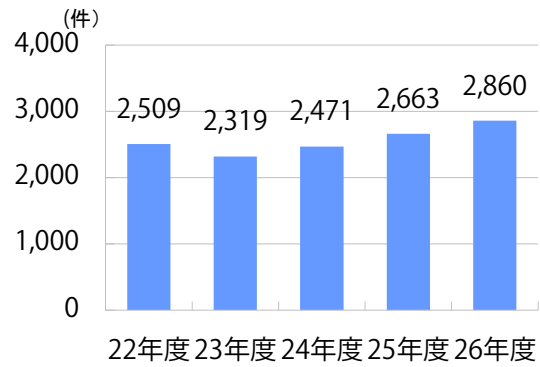
検査・治療件数

内視鏡検査及び内視鏡的治療

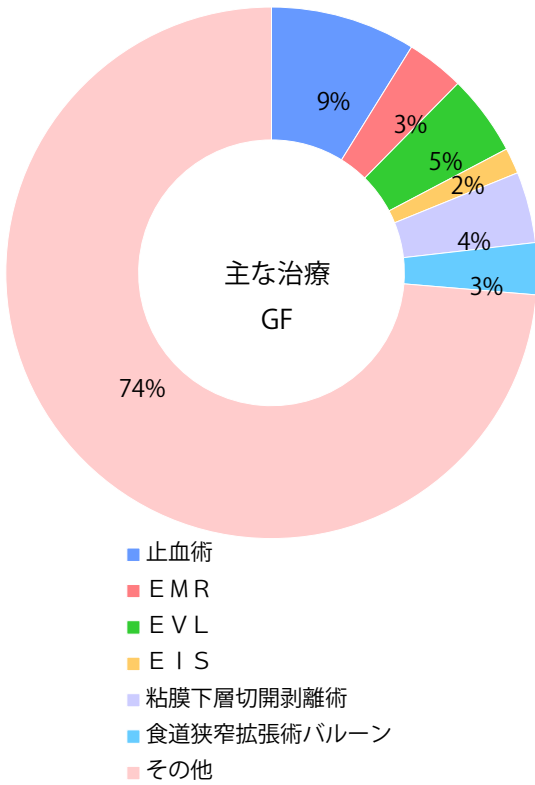
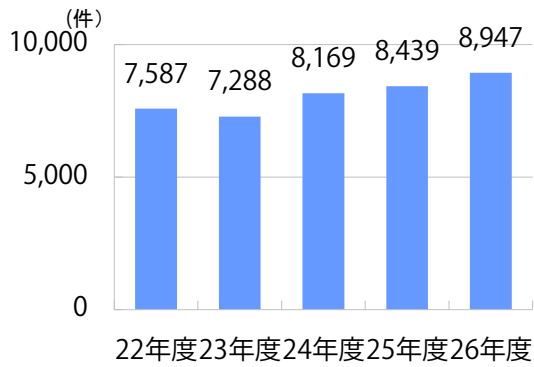
種別	合計
胃内視鏡	8,947
大腸内視鏡	2,860
ERCP	161
小腸内視鏡	0
気管支鏡	71
上部消化管（内訳）	
止血術	45
EMR	18
EVL	25
EIS	8
食道狭窄拡張術バルーン	16
食道狭窄拡張術ブジー	45
食道ステント留置術	2
焼灼術	41
異物摘出術	12
胃瘻造設術	27
粘膜下層切開剥離術	22
マーキング	0
イレウスチューブ挿入	6
POEM	1
小腸拡張	8
超音波内視鏡	27

下部消化管（内訳）	
EMR	331
止血術	11
直腸狭窄拡張術	9
異物摘出術	1
超音波内視鏡	1
粘膜下層切開剥離術	3
ステント	2
イレウスチューブ挿入	2
マーキング	2
胆道・膵管（内訳）	
乳頭切開術（EST）	63
乳頭拡張術（EPBD）	4
総胆管結石砕石 / 採石術	34
経鼻胆管ドレナージ（ENBD）	11
胆管 stent	104
膵管 stent	38
ENPD	7
気管支鏡（内訳）	
経気管支肺生検（TBLB）	41
肺胞洗浄（BAL）	31
異物摘出術	2

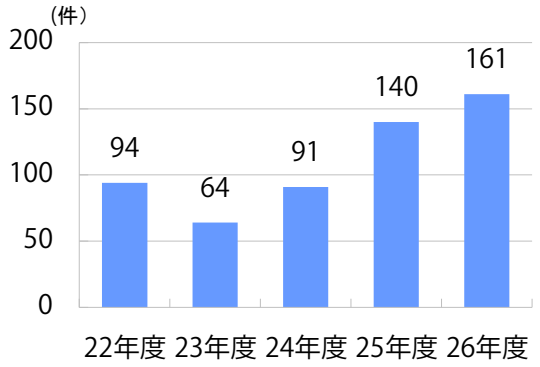
CF 件数



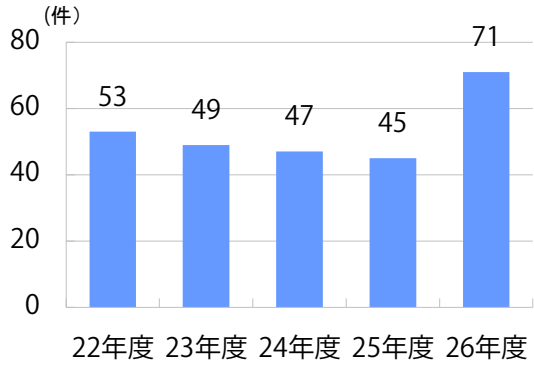
GF 件数



ERCP 件数



BF 件数



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
大腸検査前処置説明の時間短縮の試み～DVD作成と活用から～	第 22 回日本大腸検査学会	沖縄	平成 26 年 8 月 23 日	国仲トモ子、渡久山 すえの
シンポジウム座長「内視鏡における今後の看護教育～ラダー教育につなげる為に～」	第 65 回九州消化器内視鏡技師研究会	福岡	平成 26 年 7 月 5 日	古波倉美登利

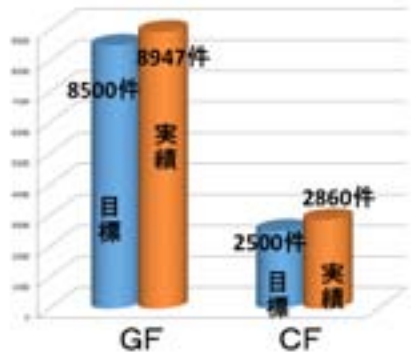
演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
これまでとこれからの消化器内視鏡技師研究会 九州消化器内視鏡技師会	第 72 回日本消化器内視鏡技師学会	東京都	平成 26 年 5 月 16 日	古波倉美登利 （共同研究）
当院におけるモビプレップの使用状況	モビプレップの指導を考える会	沖縄	平成 27 年 1 月 10 日	古波倉美登利

活動実績

院内外研修・勉強会参加実績

名称	開催地	年月日	参加者
「大腸前処置の必要性・指導の実際」	当院	2014 年 6 月 24 日	古波倉・喜屋武・國仲・宮里・渡久山・野原・前田・有馬・山内
ボストン・coldpolypectomy	当院	2014 年 10 月 22 日	古波倉・喜屋武・國仲・宮里・渡久山・野原・前田・山内・有馬・照屋・赤嶺・大城
沖縄内視鏡技師会主催 「明日に繋ぐ内視鏡介助術」沖縄県内視鏡	西原町	2014 年 11 月 29 日	古波倉・喜屋武・野原・照屋・赤嶺
モビプレップの指導を考える会	当院	2015 年 1 月 1 日	古波倉・喜屋武・渡久山・照屋・大城・国仲・野原
沖縄内視鏡技師会主催 内視鏡処置具の取扱とハンズオン	那覇	2015 年 3 月 7 日	古波倉・喜屋武・渡久山・照屋・赤嶺・森川

実績報告資料等



内視鏡センター 年度総括



内視鏡センター長
折田 均

平成 26 年度の内視鏡件数は上部下部内視鏡検査ともに過去最高の件数でした。その要因としては内視鏡医の人員がある程度充足したことが挙げられます。ただし現行の体制では、上部内視鏡検査は今後頭打ちの状態になることが予想されます。下部内視鏡検査は、まだ多少の上積みは期待できます。しかし、検査件数をさらに伸ばすには、内視鏡センターの拡充と内視鏡医、内視鏡技師などスタッフの増員を同時に実施しなければなりません。その方策としてはセンターの移転も検討されるべきでしょう。

予防医学センター

部門紹介

予防医学センター長 謝花 隆光

予防医学センターは昭和 63 年の開院時からスタートしており、当初は外来部分に位置し、平成 3 年に 9 階建ての建物が完成し 8 階へ移動しました。

スタート時の受診者はドックが 46 名、健診が 197 名でしたが、9 階へさらにの拡張しハード・ソフト面で受診者の受け入れ態勢を充実させた結果、平成 26 年度には、ドックが 12,027 名、健診が 1,545 名となりました。平成 7 年から開始した脳ドックが 119 名、平成 20 年より開始した特定健診が 217 名となっています。

職員数

総数

48 名

職種別

医 師	7 名	ク ラ ーク	7 名
看 護 師	11 名	検 査 技 師	7 名
保 健 師	4 名	助 手	2 名
一般事務	10 名		

予防医学センター 理念

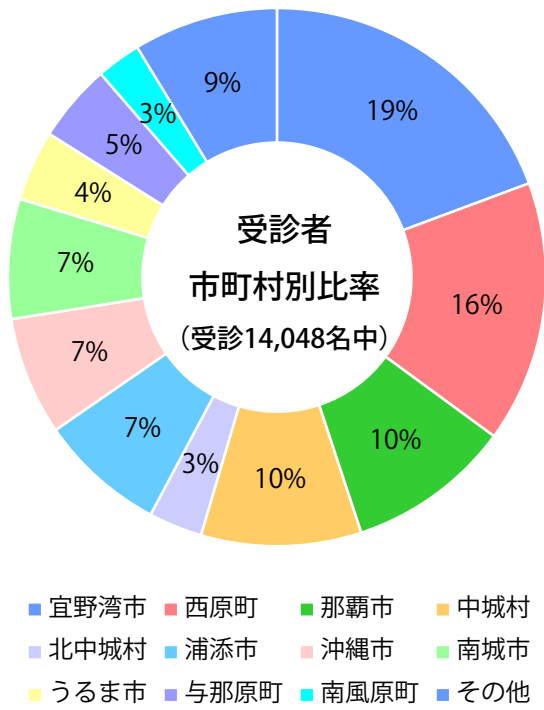
1. 受診者に満足いただけるよう、心のこもった親切・丁寧な接遇につとめます
2. 診断技術と検査の精度向上に心がけ、質の高い信頼される健診に努めます
3. 医師、保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、事務職などスタッフ全員が相互連携協力して、最良の健診サービスに努めます
4. 受診者に満足していただけるよう、健診結果を十分に説明し、かつ事後の健康支援に努めます

予防医学センター 運営方針

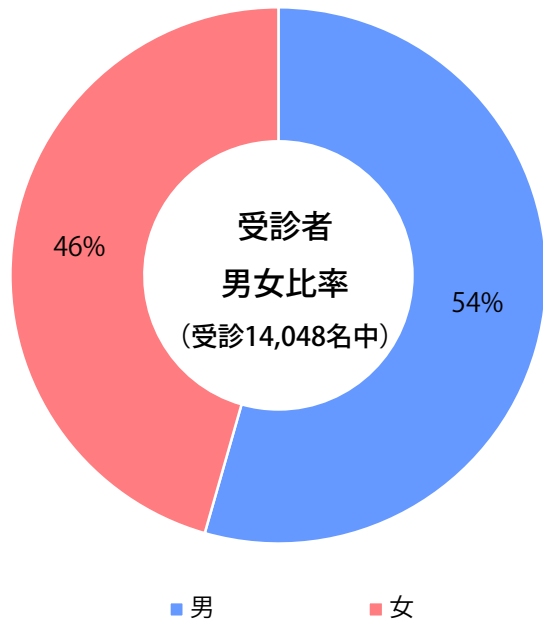
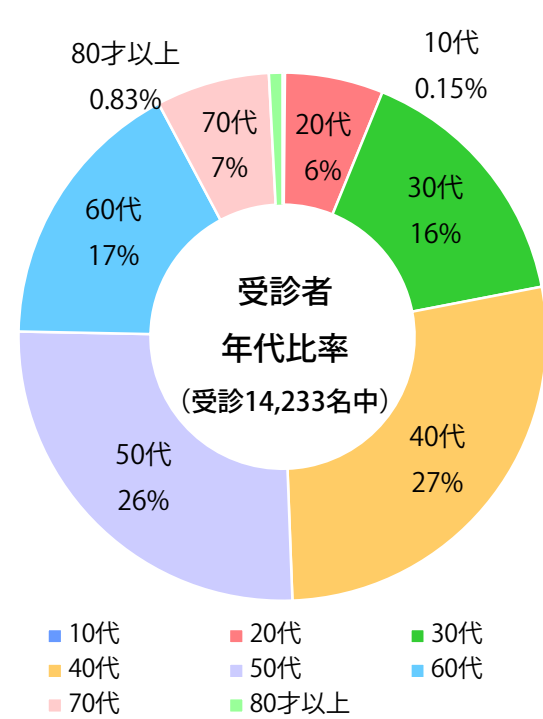
私たちは、受診者との心のふれあいを大切に信頼される予防医学をめざします。

検査件数

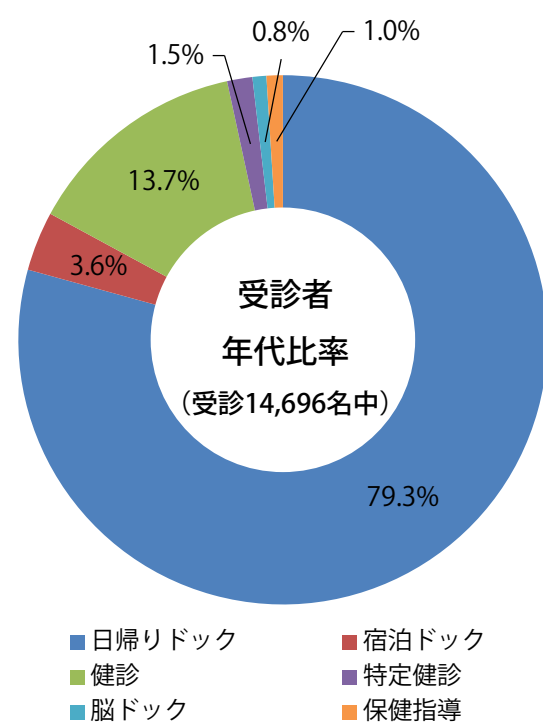
市町村別受診者比率



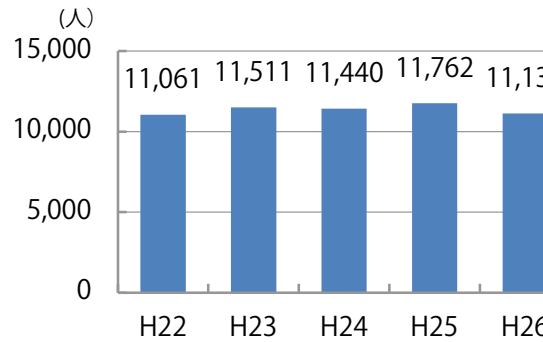
年代別受診者比率



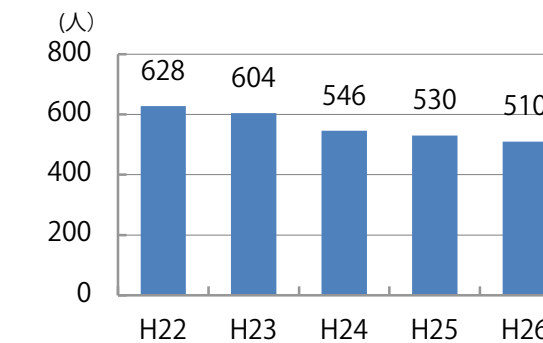
平成 26 年度受診者数



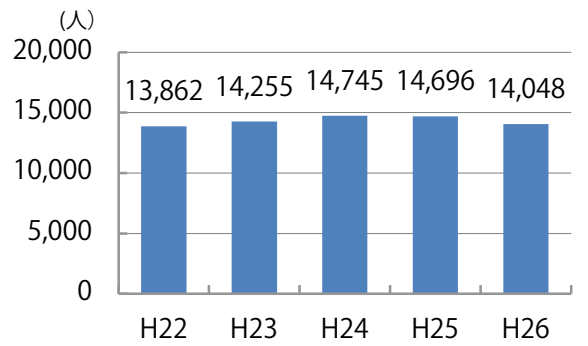
日帰りドック



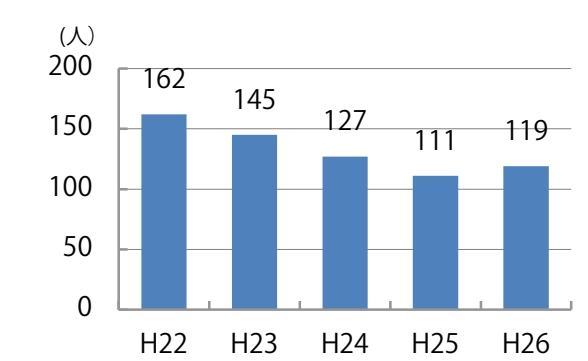
宿泊ドック



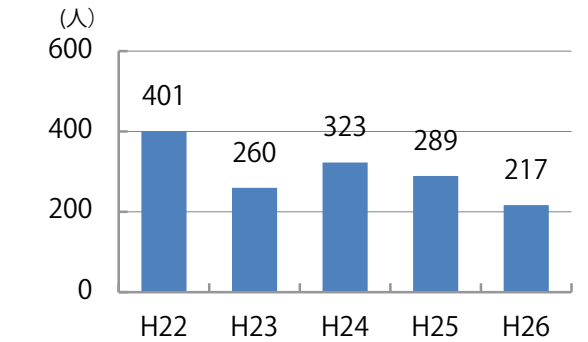
受診者総数の推移



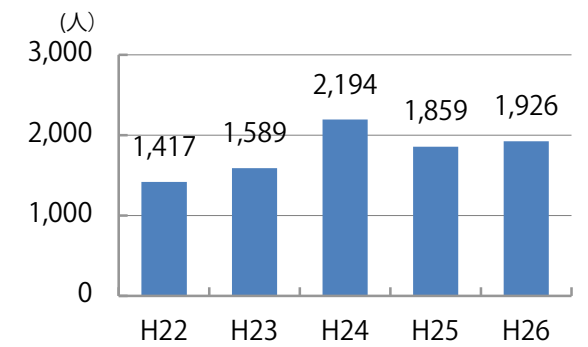
脳ドック



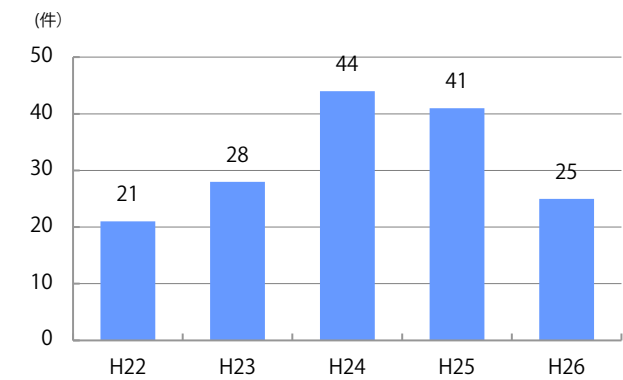
特定健診



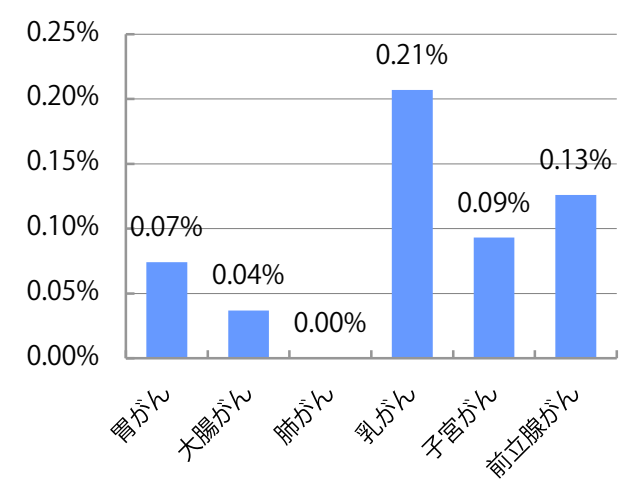
健康診断



悪性腫瘍発見報告数



全受診者に対する悪性腫瘍発見率



実績報告資料等

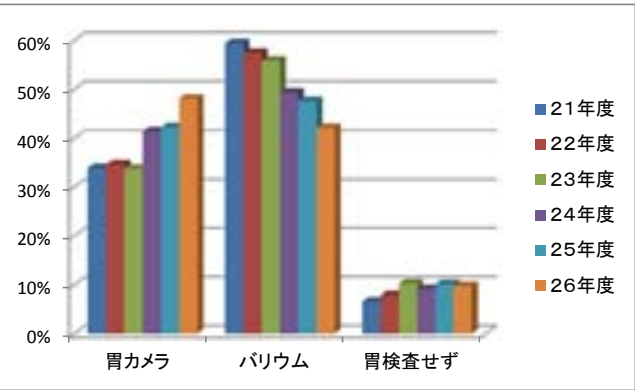
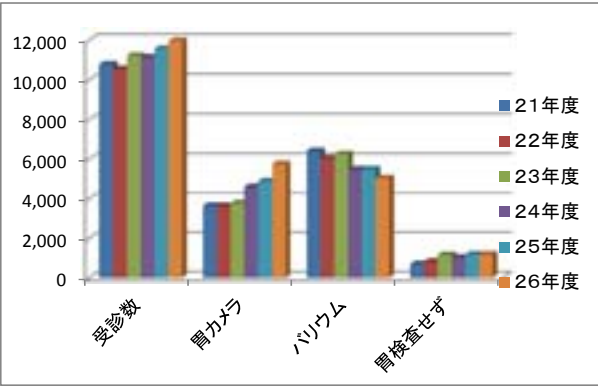
日帰りドックの胃検診の推移（件数）

	受診数	胃カメラ	バリウム	胃検査せず
2 1 年度	10,796	3,663	6,422	711
2 2 年度	10,532	3,650	6,052	830
2 3 年度	11,215	3,788	6,270	1,157
2 4 年度	11,137	4,613	5,499	1,025
2 5 年度	11,561	4,886	5,498	1,177
2 6 年度	11,967	5,755	5,041	1,171

日帰りドックの胃検診割合の推移（割合％）

	胃カメラ	バリウム	胃検査せず
2 1 年度	34%	59%	7%
2 2 年度	35%	57%	8%
2 3 年度	34%	56%	10%
2 4 年度	41%	49%	9%
2 5 年度	42%	48%	10%
2 6 年度	48%	42%	10%

毎年、胃カメラの受診者および希望者（胃受診せず）が増えてます。26年度は胃カメラの数がバリウムを上回っている



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
乳房超音波検査・マンモグラフィによる乳がん検診の状況	第 54 回日本人間ドック学会	福岡県	平成 26 年 9 月 4 ～ 5 日	大城ゆかり、蔵下かおり、上地利恵子、松田利恵、砂川実、川上国男、謝花隆光

活動実績

院内勉強会

院内勉強会	講師	場所	日時	参加者
特定保健指導関係事務担当者合同打合せ会	健康保険組合連合会沖縄連合会	りゅうぎん健保会館	H26.4.28	2 名
第 37 回 沖縄県小児糖尿病サマーキャンプ	沖縄県糖尿病協会	沖縄県立玉城青少年の家	7/30 ～ 7/31	1 名
大浜第一病院見学（ドック機能評価に向けて）		大浜第一病院健診センター	H26.10.2	6 名
多目的コホート研究公開講座	沖縄県中部保健所	沖縄県	H27.1.27	9 名
特定保健指導担当者合同会議	全国健康保険協会沖縄県支部	沖縄県産業支援センター	H27.3.9	3 名
宜野湾市特定保健指導情報交換会	宜野湾市	宜野湾市保健相談センター	H27.3.17	2 名
乳がん検診の触診について	白石牧子 D r	9 Fドック707	H26.6.20	10 名
ヤクルトの健腸出前授業	前原愛・牧志利枝子	9 Fドック707	H26.9.1	1 2 名
尿蛋白と酵素	謝花隆光予防医学センター長	9 Fドック707	H26.8.17	16 名
医療安全講習（初級編）	中野看護副部長	9 Fドック707	H26.10.27	17 名
個人情報保護に関する勉強会	安里企画電算室課長	9 Fドック707	H26.11.10	2 0 名
ムーベン配合内服液の勉強会	日本製薬(株) 植村信彦	9 Fドック707	H27.3.26	7 名

予防医学センター 年度総括



予防医学センター
センター長
謝花 隆光

予防医学センターの平成 26 年度目標は、前年度に引き続き、1. 人間ドック・健診受診者数増加 2. 受診者の意見に基づいた業務改善 3. スタッフ教育の充実による健診・ドックの質の向上 4. オプション検査の充実 5. 人間ドック健診施設認定機能評価受審に向けての具体的な準備を目指しました。

1. 受診者数は、残念ながら平成 26 年度は、14,048 人で、平成 25 年度より 648 人の減少となりました。幾つかの要因があると思われますが、胃カメラの予約がとれなくて、結果的に当院での健診ドックを受けなかった方が数百名おられたということが一番大きな理由であると推定しており、平成 27 年度は、経鼻内視鏡導入による胃カメラ枠の拡大をはかっています。

2. 受診者からの投書、ゆいまーノート（健診ドック終了後、自由に意見を記入してもらったもの）の意見、苦情、提案に対して、改善点を貼り出し、受診者にフィードバックしています。

3. 医師や看護師、管理栄養士、外部からの講師による勉強会を頻回に行い、また病院の勉強会にも積極的に参加して、スタッフ間の共有知識を増やし、日常業務に役立てています。また第 55 回人間ドック学会学術大会において、当センター検査技師が演題発表を行いました。

4. 大腸カメラ検査や BNP 血中濃度測定は増加していますが、特に胃カメラ検査は年間約 900 件と大幅に増加しています。

5. 平成 27 年 6 月 26 日に、日本人間ドック学会健診施設認定機能評価を受審することになり、現時点で準備を進めています。

平成 26 年度も、診察や読影に御協力して下さった医局の先生方、看護部、放射線科、臨床検査科、各外来診療科、救急室、内視鏡室、ハートライフクリニック、薬局、地域医療連携室、栄養科、厨房、食堂とまと、その他各部署の御協力に深く感謝申し上げます。

委員会活動

医療安全管理委員会

委員会名	医療安全管理委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	24 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	玉城 秀美 / 中野 久乃
委員名	【医局】久場良也、末吉健次、新里勇樹、立津朝成、田中悠也 【看護部】西銘宣子、外間真紀子、安村公均、古波倉美登利、池村久美子（臨床心理士）、堀江恭子（糖尿病療養指導士） 【医療技術部】神谷乗敏、田中健嗣、大城 安、久場徳子、石原悟、栄野比智也、西盛麻子、知花幸子 【事務部】仲地智俊、比嘉 靖、新垣 淳		
活動目的	【ハートライフクリニック】林 広江 1) 医療事故防止のための安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上をはかる。 2) 医療事故やニアミスの情報を収集し、分析して具体的な事故防止対策に役立てる。		
活動内容	1) 医療事故防止策の検討及び研究に関すること 2) 医療事故の分析及び再発防止策の検討に関すること 3) 医療事故防止のための職員に対する指示に関すること 4) 医療事故防止のために行う提言に関すること 5) 医療事故発生防止のための啓発、教育、広報及び出版に関すること 6) リスクマネージャーの養成に関すること 7) その他医療事故の防止に関すること ※委員会開催：毎月第 3 金曜日 17:00 ～		
備考			

医療ガス安全・管理委員会

委員会名	医療ガス安全・管理委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	19 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	大城 安
委員名	【医 局】久場良也 【医療安全管理室】玉城秀美（専従看護師） 【看護部】仲地ますみ、内間幸人、諸喜田久美、屋良ちえみ、中野久乃、安村公均、小橋川春子、外間真紀子、比嘉 暢、米須智子、宮平典子、古波倉美登利、竹本直美 【医療技術部】大城 安、田中 健嗣 【事務部】比嘉 靖、具志堅徳明		
活動目的	医療ガス（診療に供給する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素をいう）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。		
活動内容	1. 医療ガス設備について実施責任者に保守点検を行わせること。監督責任者は、実施責任者による業務を指導、監督する。 2. 帳簿を備え、行った保守点検業務について記録を作成し保存する。 3. 医療ガス設備に係る新設及び増設工事・部分改造・修理等にあたっては臨床各部門にその旨周知徹底を図り、使用に先立って厳正な試験・検査を行い、安全を確保する。 4. 医療施設内の各部門に医療ガスにかかわる知識を普及し、啓発に努める。 5. その他医療ガスに関わる事項。		
備考	平成26年度の振り返り 医療ガス安全・管理委員会は医療ガス（診療に供給する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素をいう）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的に取り組んでいます。 医療ガス安全管理教育として3年前より株式会社オカノのご協力を得て、職員へ医療ガス安全管理教育の講義、実演を行っています。 平成26年度も、医療ガスの種類、性質、取扱いをテーマに講義と実演を解り易く行って頂きました。 平成27年度に向けた展望 平成27度は医療ガスの安全管理教育を当院の医療ガス安全・管理委員が行う予定です。また、医療ガス法定点検及び自主点検を確実に実施します。		

以上
文：臨床工学科 大城 安

実績報告資料等



医療事故対策委員会

委員会名	医療事故対策委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	12 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	玉城秀美
委員名	【医 局】久場良也、佐久川 廣、西原 実、宮平 工、與座 一 【医療安全管理室】玉城秀美（専従看護師） 【看護部】西銘宣子、池村久美子（メディエーター） 【事務部】當銘秀之、比嘉 靖、仲地智俊、高良直光		
活動目的	病院で発生する医療事故、訴訟問題に迅速に対応するとともに適切な対応を図るため		
活動内容	1) 医療事故発生の事実及び経過の確認に関すること 2) 医療事故の原因調査に関すること 3) 医療事故発生に伴う対応策に関すること 4) 訴訟等の対応策に関すること		
備考			

医療廃棄物委員会

委員会名	医療廃棄物委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	27 人
事務局・担当部署	医療技術部	担当者名	宮城竜也
委員名	【医 局】普天間光彦 【看護部】西銘宣子、屋良ちえみ、内間幸人、中野久乃、安村公均、外間真紀子、宮平典子、米須智子、比嘉 暢、諸喜田久美、比嘉憲貴、宮城つかさ、古波蔵美登利、竹本直美、石川由希 【医療技術部】宮城竜也、仲座義富、玉城義彦、斎藤辰好、神谷乗敏、久場徳子、田中健嗣、砂川 実 【事務部】比嘉康文、宮里 毅、大城利信（国際ビル）		
活動目的	医療廃棄物の管理に関する基準を定め、医療廃棄物を適正に処理し、感染を防止する。		
活動内容	年 1 回以上、必要に応じて管理委員会を開催する。 1) 年 1 回、4 月入職者へのオリエンテーション 2) 国際ビル産業職員への処理及び取り扱い、感染対策等の説明指導 3) 処理法変更時、各部署へ説明指導		
備考			

院内感染対策委員会

委員会名	院内感染対策委員会		
委員長名	普天間光彦	構成人数	19 名
事務局・担当部署	感染対策管理室	担当者名	石川由希
委員名	【感染対策管理室】石川由希（感染管理認定看護師）、宮城好美（事務） 【医 局】普天間光彦、奥島憲彦、宮平 工、澤岷安勝、研修医（輪番） 【看護部】西銘宣子、中野久乃、竹本直美、宮城美那（手術室 / 感染管理認定看護師）、城間克也（ICU / 感染管理認定看護師） 【医療技術部】神谷乗敏、田中健二、宮里武行、森山武志、宮城 健 【事務部】當銘秀之、桑江 高		
活動目的	1) 感染発生の予防と防止 2) 感染発生時の発生源の調査、拡散防止、治療 3) 再発防止 4) アウトブレイク時の早期対応 5) サーベイランスの実施		
活動内容	1) サーベイランスの計画、実施、評価 2) アウトブレイクの調査と対策への直接関与 3) 医療従事者への教育 4) 感染委員会のマネジメント 5) 感染管理に関する相談 6) 厚生労働省サーベイランス JANIS への参加 7) 部署のラウンドとチェック、指導 *耐性菌ラウンド：毎週月曜日 14 時～ *感染対策委員会：毎月第3月曜日17 時～ * ICT 会議：毎週月曜日14 時3 0 分～		
備考			

実績報告資料等



小委員会活動・院内講演会



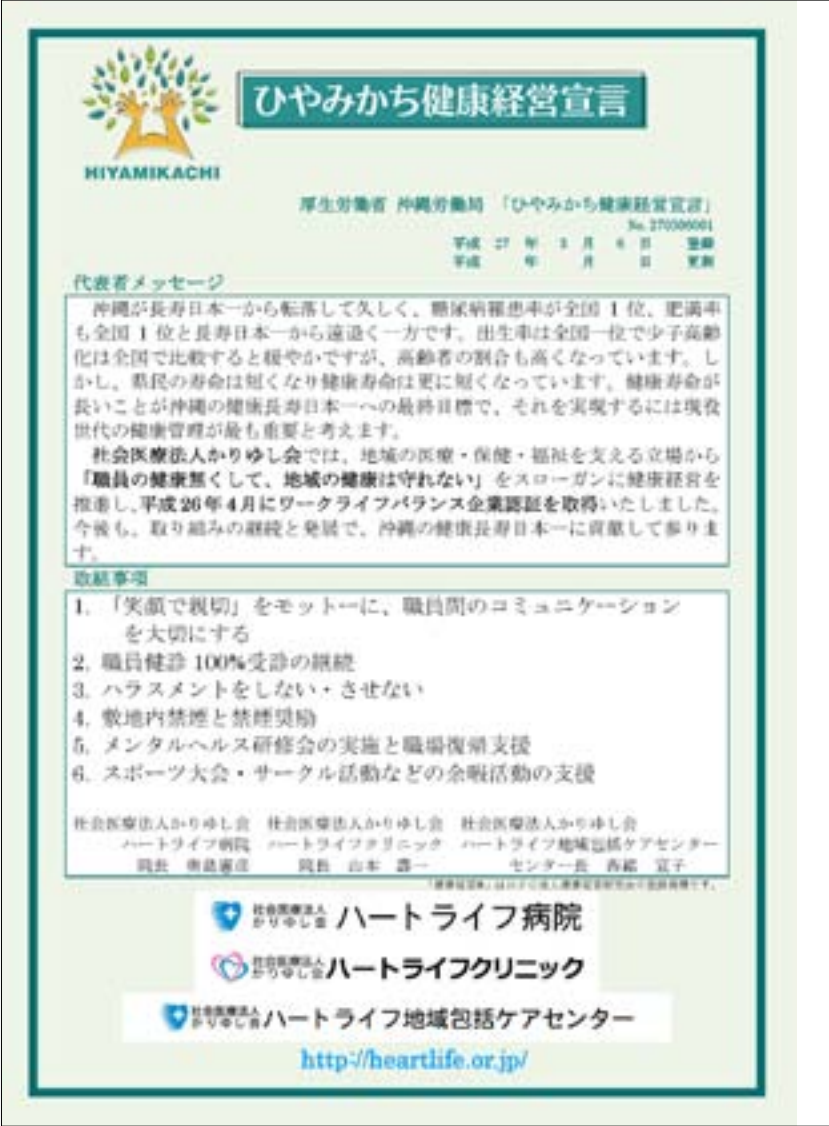
実績報告資料



衛生委員会

委員会名	衛生委員会		
委員長名	奥島 憲彦	構成人数	15 名
事務局・担当部署	請求業務課、総務課	担当者名	比嘉 靖
委員名	【医 局】奥島憲彦、菅谷明子、菅野善一郎 【看護部】西銘宣子、池村久美子、石川由希 【医療技術部】神谷乗敏、仲座義富、田中健嗣 【事務部】比嘉 靖、波平 勇一郎、河上 裕一、大山 朝史、宮城さおり 【ハートライフクリニック】大家聡樹		
活動目的	職員の健康保持及び、健康増進を図る 職員のメンタル不調の予防		
活動内容	●春季職員健診、秋季職員健診の実施 ●メンタルヘルス研修会の開催（全職員対象、役職者対象を各3回） ●職業性ストレス簡易評価（Web）の実施 ●職員B型ワクチン接種3回実施 ●職員インフルエンザワクチン接種の啓蒙 ●針刺し事故に対するフォロー実施 ●喫煙に関するアンケート調査実施 ●職員満足度調査（H26.11）ワークライフバランス委員会と共同 ●ひやみかち健康経営宣言登録（沖縄労働局） ●第1種衛生管理者資格取得（9名） ●衛生工学衛生管理者資格取得（1名）		
備考			

実績報告資料等



NST・褥瘡対策・排泄ケア委員会

委員会名	NST・褥瘡対策・排泄ケア委員会		
委員長名	宮平 工（NST） / 東盛貴光（褥瘡）	構成人数	52 名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	嘉数智子
委員名	【医 局】宮平 工、宮城 純、東盛貴光、阿嘉裕之 【看護部】宮平典子、當真さゆり、半嶺 梢、金城隆也、嘉数智子（専従）、羽鳥 恵、玉城裕美、辺土名弘美、本村いずみ、大城幸江、城間一輝、知念宏共、宮平良太、平良 桐、岡田さつき、外間幸代、宮城辰吏、新里紗希果、西田幸江、謝花朋美、伊波佐智枝、川添貴世、新垣涼香、與那嶺裕、南 貴博、志喜屋幸子、下地久美子、鈴木育美、平良ゆかり、江島奈々、宮城久美子、伊佐友美、新垣仕言、松堂かおり、屋比久義昂 【医療技術部】義田育美、田中泉、西盛麻子、具志堅善則、富田美智代、松川玲子、大城盛彦、島田真紀子、大見謝勝人、新垣 健、久場徳子、真栄城ゆかり		
活動目的	1. 入院患者の褥瘡発生を予防する 2. 褥瘡発生（入院時より有する）患者に対して適切なケアを実施する 3. 褥瘡ケアに対する質の向上		
活動内容	毎週 1 回（木曜日）、形成外科医師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、NST 専従看護師にて回診を実施。医師による処置だけではなく、低栄養にある患者の場合は栄養士や NST が介入し、理学療法士によるポジショニングの指導などをおこなっている。		
備考			

実績報告資料等

看護部新就職オリエンテーション



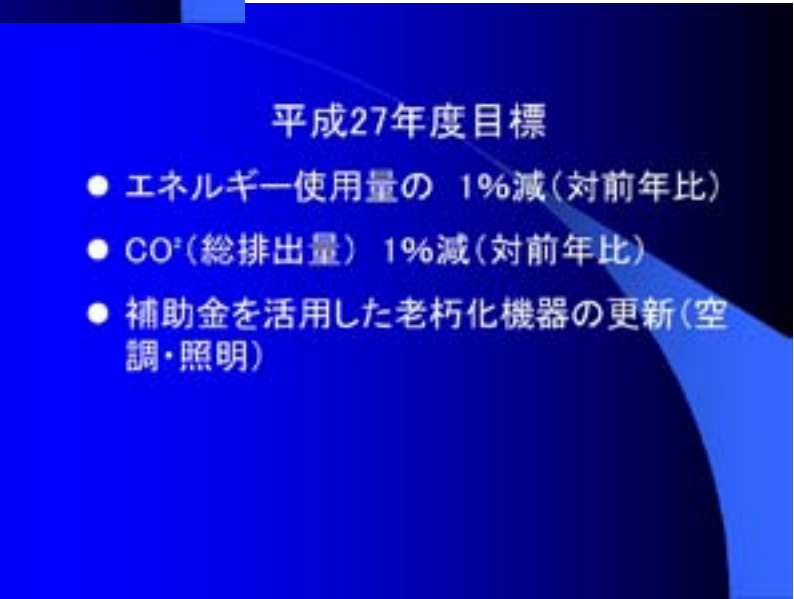
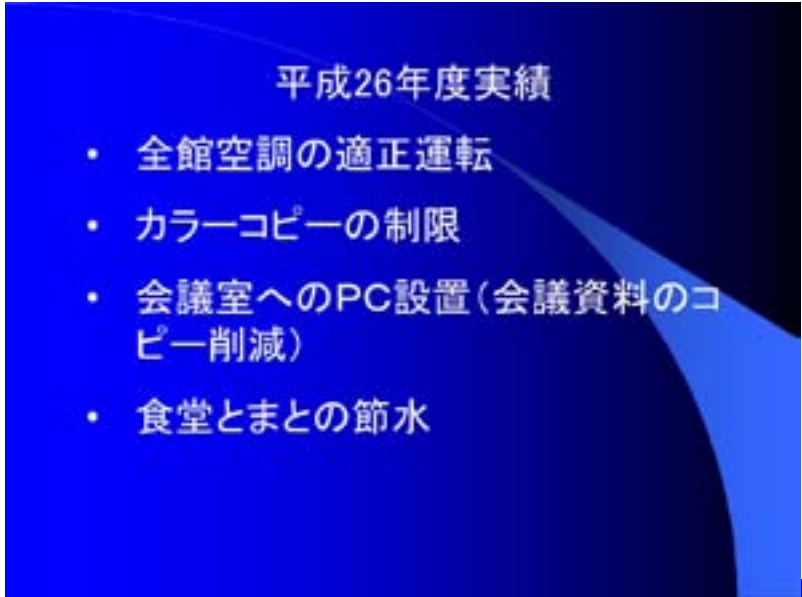
エネルギー管理委員会

委員会名	エネルギー管理委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	9 名
事務局・担当部署	管財課施設管理係	担当者名	比嘉 靖
委員名	【医 局】松元 悟 【看護部】西銘宣子 【医療技術部】仲座義富 【事務部】當銘秀之、後原保光、比嘉靖、具志堅徳明、宮里毅、伊集隼人 【クリニック】仲里幸康		
活動目的	エネルギーの適正使用、省エネ対策		
活動内容	1) 照明の LED 化 2) 全館空調（氷蓄熱・ガス吸収式）適正運転 3) ポスターによる省エネ啓蒙活動		
備考			

栄養管理委員会

委員会名	栄養管理委員会		
委員長名	宮平 工	構成人数	8 人
事務局・担当部署	栄養科	担当者名	久場徳子
委員名	【医 局】宮平 工 【看護部】宮平典子、比嘉暢、米須智子、宮城つかさ、外間真紀子、諸喜田久美、安村公均 【医療技術部】久場徳子		
活動目的	栄養管理の充実・向上とその適正な運営を図る		
活動内容	1) 入院患者の栄養管理、食事計画、調査、改善策等を検討する 2) 給食業務に関する事項を検討		
備考			

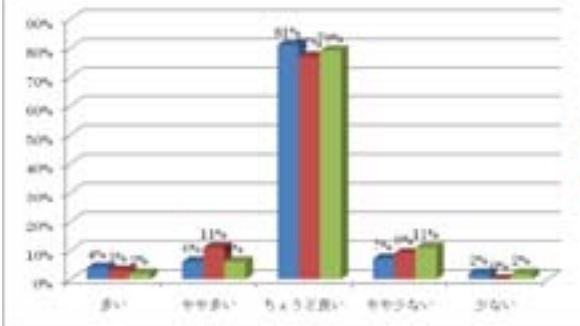
実績報告資料等



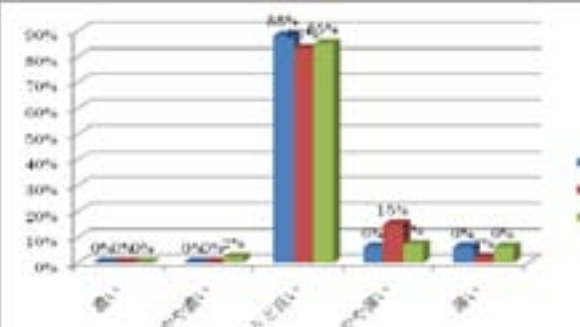
嗜好調査

実施日 平成 26 年 11 月 19 日 (水)
訪問対象：「常食C・D」の患者様へ聞き取り調査 回収率：46.3%

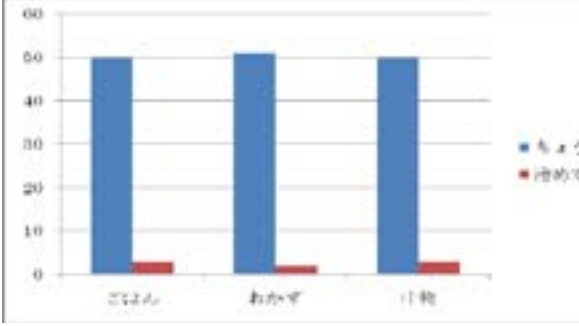
1、おかずの量はいかがですか？



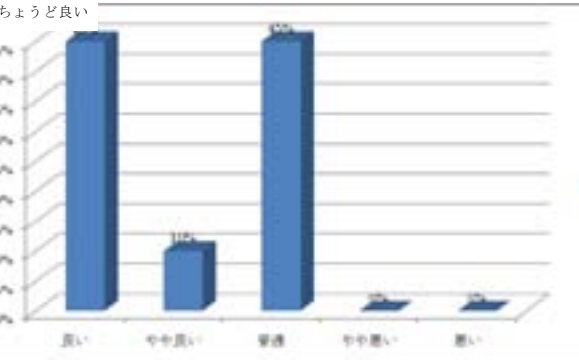
2、おかずの味付けはいかがですか



3、料理の温度はいかがですか



4、盛り付け方はいかがですか



【ご意見・ご希望（取り入れたい料理）等】

- ・たこ焼き、お好み焼きが食べたい（肝臓食2）
- ・醤油（刺身に）、ドレッシング（サラダに）がもう少し欲しい（常食A）
- ・炒め物に肉を入れてほしい（蛋白食）
- ・たまに出る（1ヵ月に1回出るか…）味噌汁がとても辛い（蛋白食）
- ・刺身定食、最高でした（軟食2期食）
- ・トマトの回数増やしてほしい（授乳婦）
- ・ごはんの量が少し多い。果物は単品ではなく二種類以上ほしい（常食A）
- ・うどん、ポロポロジュシーが食べたい（常食D）
- ・果物やサラダが食べたい。野菜が美味しかった（常食D）
- ・冷奴はもう少し大きい方がよい（常食C）
- ・煮物類は少し臭う（常食C）
- ・魚料理の味付けが薄い（常食D）
- ・健康なごはん、ありがとうございました（授乳婦）
- ・毎日、栄養を考えられた食事が出来て美味しいです（授乳婦）
- ・毎日美味しく頂きました。ありがとうございました（肝臓食）
- ・種類をもっと多く（常食C）
- ・いつも希望通り取り入れて下さってありがとうございます（極軟菜食）
- ・調味料がついているので味付けが助かる、たまにはパン食（昼 or 夕）が出来れば良いと思います（軟菜食）

化学療法委員会

委員会名	化学療法委員会		
委員長名	西原 実	構成人数	13 名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	大関秀和
委員名	【医 局】西原 実、平良直也 【医療安全管理室】玉城秀美（専従看護師） 【看護部】屋良ちえみ、小橋川春子、内間幸人、本田由佳理、比嘉 暢、山内美咲 【医療技術部】田中健嗣、谷山美紗子、大関秀和 【事務部】望月祥子		
活動目的	当院で実施するすべての化学療法の医学的、薬学的、安全性及び経済学的評価を行い、その選択、購入、配布、及び使用等に関する勧告を行う。		
活動内容	1) 化学療法の運用上の改善を行う。 2) 化学療法に係る環境の整備を行う。 3) 院内で使用されるレジメンの検証を行う。 4) 使用薬剤、器具の整備を行う。 5) 勉強会、講演の企画を行う。 6) その他、化学療法に関わるすべての事項に関して検討・対応を行う。 ※委員会開催：毎月第一木曜日		
備考			

実績報告資料等



H26年度の活動目標

- プロトコールシステムの整備・改定
- マニュアルの整備・改定
- 通院治療室の化学療法施行件数1400件
- 病棟混合調製室の運用見直し
- 院内講演会受講者増加への取り組み
- E-ラーニング受講者増加への取り組み
- 他施設への見学

がん対策推進委員会

委員会名	がん対策推進委員会		
委員長名	西原 実	構成人数	13 名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	栗盛信子
委員名	【医 局】西原 実、比嘉須奈子（メディカルクラーク） 【看護部】仲地ますみ、小橋川春子、本田由香理 【医療技術部】田中健嗣、大関秀和 【事務部】宮平奈美子、望月祥子、栗盛信子（看護師 / 地域医療連携室）、高良直光、新垣りか、兼濱亜紀		
活動目的	がん診療を行う医療機関として、県、他医療機関との連携を取りながら、より充実した、がん医療の提供の推進を図る。		
活動内容	1) セカンドオピニオン 2) 緩和ケア病院への紹介 3) がん患者さんの在宅退院への支援 4) 地域がん登録提出 5) 緩和ケア研修会開催（沖縄県・院内向け） 6) 沖縄県がん診療連携協議会聴講参加 7) 研修会受講の推進 ①相談支援センター相談員基礎研修 ②院内がん登録実務者研修（初級・初級修了者・中級） ③沖縄県緩和ケア研修 ④院内緩和ケア研修 8) その他		
備考			

実績報告資料等



呼吸器ケア委員会

委員会名	呼吸器ケア委員会		
委員長名	普天間光彦	構成人数	8 名
事務局・担当部署	救急外来	担当者名	内間幸人
委員名	【医 局】 普天間光彦、 【看護部】 内間幸人、宮城美那 【医療技術部】 豊川真理、仲松晋也、波平静香、狩俣貴康 【感染管理対策室】 石川由希（専従看護師）		
活動目的	1) 人工呼吸器からの離脱に向けての支援（ウィニング計画立案・実施・コンサルテーション） 2) 人工呼吸器装着患者の合併症予防		
活動内容	1) 1 回 / 週のラウンドの実施 対象患者は、人工呼吸器装着中（NPPV 含む）で、離脱を目指している患者 2) 呼吸ケア関連の勉強会の開催		
備考			

実績報告資料等

平成 27 年度
目標

- ・人工呼吸器装着中の患者ケアの充実

- ・人工呼吸器中の患者ケアに対するスタッフ教育の強化

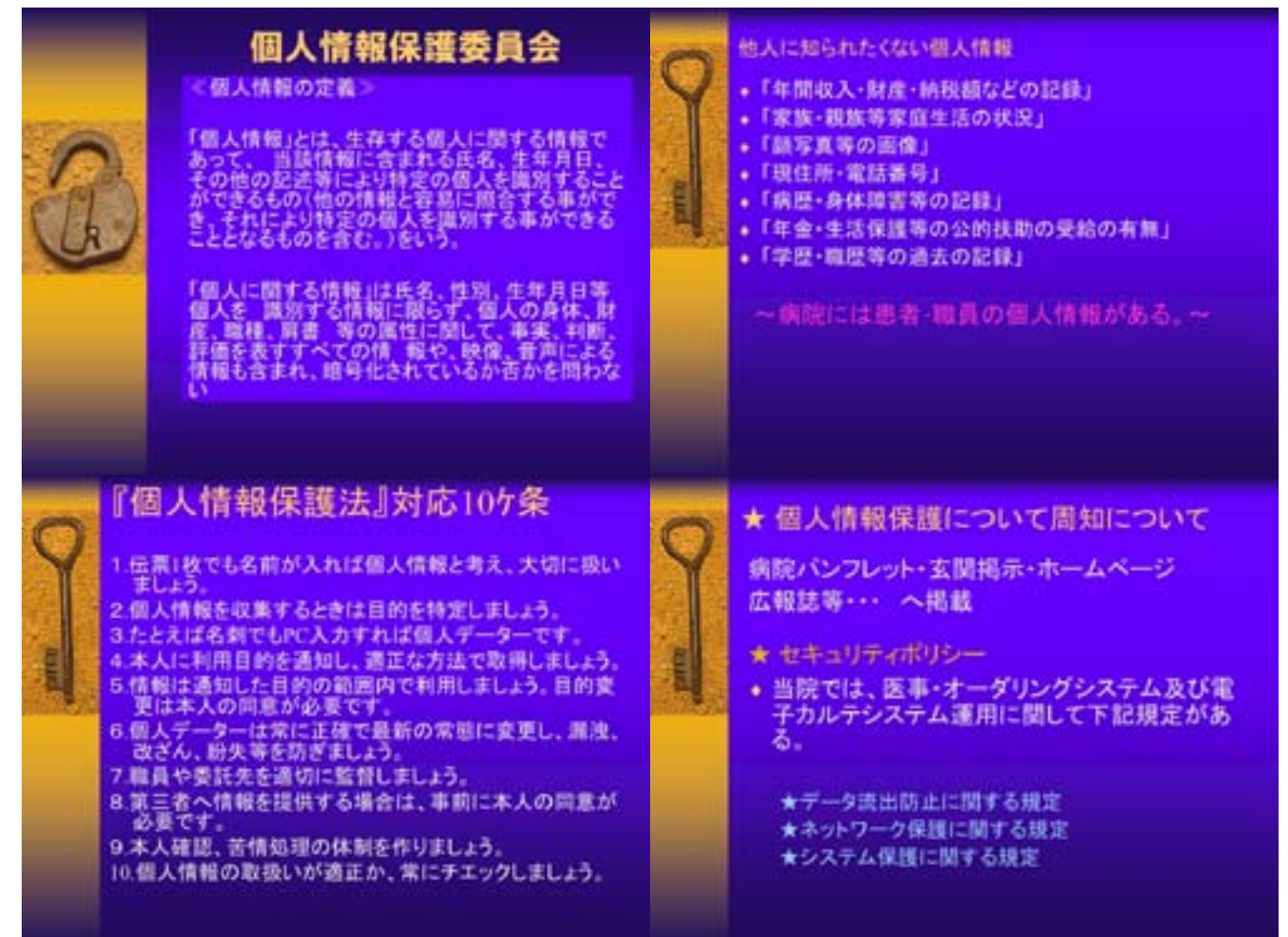
- ・ 早期リハビリテーションの介入サポート

- ・多職種連携強化

個人情報保護委員会

委員会名	個人情報保護委員会		
委員長名	仲地智俊	構成人数	5 名
事務局・担当部署	事務局	担当者名	仲地智俊
委員名	【医 局】佐久川 廣 【看護部】西銘宣子 【医療技術部】宮城 竜也 【事務部】當銘秀之、仲地智俊		
活動目的	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院ライフ病院において、個人情報保護計画を策定し、実施・評価・改善を行い、当院職員に対して、個人情報保護を遵守する重要性を理解させ、実際に個人情報が適切に取り扱われることを活動目的とする。		
活動内容	1. 平成26年4月1日 新職員オリエンテーションにて個人情報保護に関する説明を実施 2. 個人情報保護指針（ガイドライン）の策定・公示 3. 内部規定の策定 4. 個人情報保護監査責任者・管理者の選定 5. 個人情報漏洩時の報告および連絡体制の構築 6. 相談窓口の開設 7. 個人情報漏洩にかかる職員教育 8. 個人情報を含む文書等の管理方法の見直し 9. 同意書等の整備 10. 委託業者の監督		
備考			

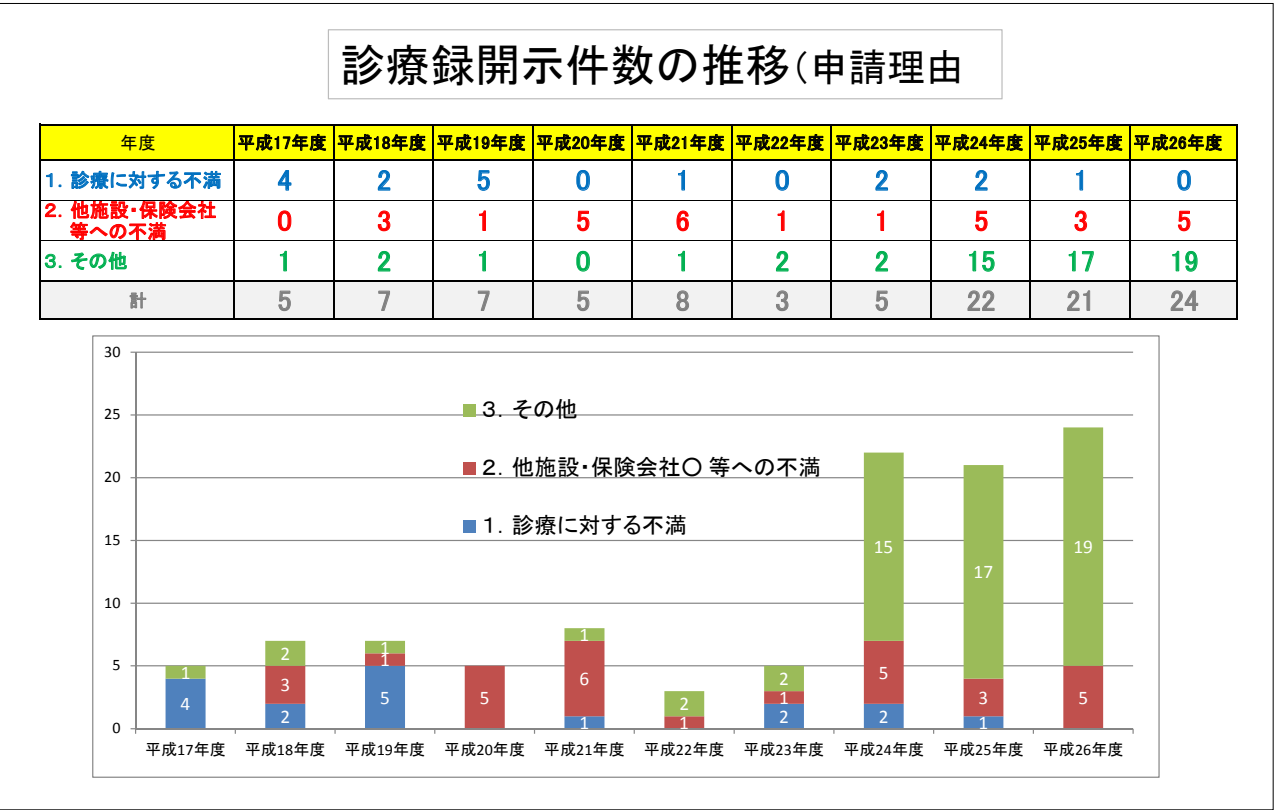
実績報告資料等



診療録管理委員会

委員会名	診療録管理委員会		
委員長名	佐久川 廣	構成人数	15 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
委員名	【医 局】佐久川 廣、普天間光彦 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】神谷乗敏、久場徳子、田中健嗣、石原 悟、新垣 健、豊川真理 【事務部】柳 学、翁長良篤、宮城克己、真栄平久美子 【医療安全管理室】中野久乃 【ハートライフクリニック】野村 拓		
活動目的	診療録管理委員会は、診療録帳票の検討、記載要領及び診療録の適切で効率的な利用、保管の為に必要な事項を調査、検討するため、また、診療情報の適用の可否を審議することを目的とする。		
活動内容	委員会毎月 1 回定例とし、第 4 水曜日に開催することを原則とする。 1) 検査伝票、診療帳票等の新規作成、改定に関すること 2) 入院、外来診療録の整備と質的向上の為の諸条件に関すること 3) 診療に関する諸様式の整備改定に関すること 4) 診療情報管理室の効率的な管理運営に関すること 5) 診療録管理に関すること 6) 診療情報の提供に関すること 7) その他		
備考			

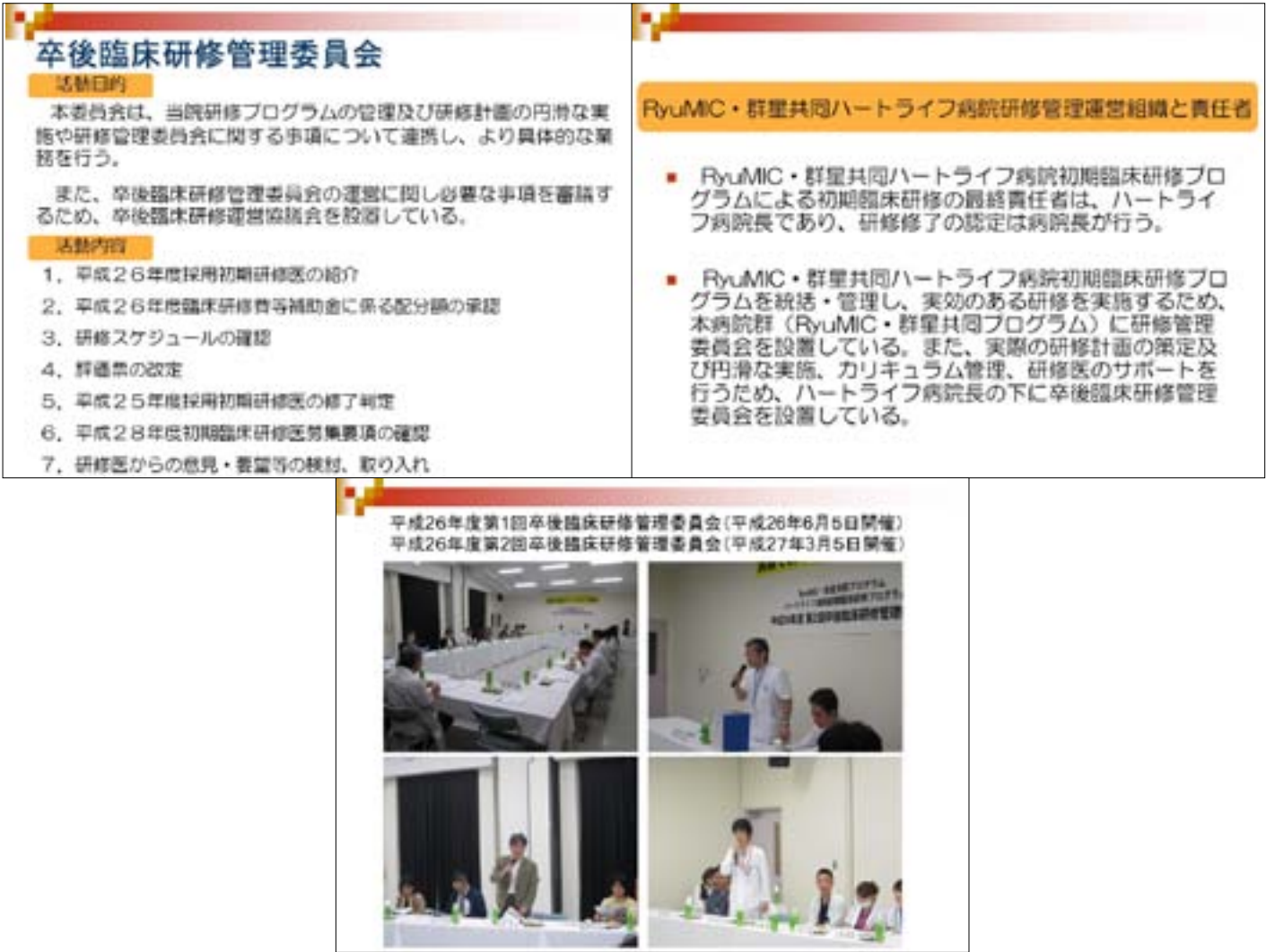
実績報告資料等



卒後臨床研修管理委員会

委員会名	卒後臨床研修管理委員会		
委員長名	普天間光彦	構成人数	44 名
事務局・担当部署	卒後臨床研修事務局	担当者名	當銘麻子
委員名	【医 局】奥島憲彦、普天間光彦、久場良也、佐久川 廣、西原 実、山本壽一、宮平 工、平良直也、宮城 純、與座 一、安里義秀、渡慶次学、大西 勉、武田 理、嘉川春生、末古健次、新里勇樹、溝渕貴俊、伊藤 誠、上原千晶、上原博香、立津朝成、田中悠也、普久原朝規 【看護部】西銘宣子 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】當銘秀之、當銘麻子、新屋瑞希 【外部委員】川平 稔、益崎裕章、佐藤香代子、渡部 尚、涌波淳子、涌波 満、中田安彦、深谷幸雄、阿部好弘、新里 脩、朝戸末男、安里尚彦、松本ノリス、今井千春、兼次順子 ※敬称略、順不同。		
活動目的	本委員会は、当院研修プログラムの管理及び研修計画の円滑な実施や研修管理委員会に関する事項について連携し、より具体的な業務を行う。また、卒後臨床研修管理委員会の運営に関し必要な事項を審議するため、卒後臨床研修委員会運営協議会を設置している。		
活動内容	1. 平成 26 年度採用初期研修医の紹介 2. 平成 26 年度臨床研修費等補助金に係る配分額の承認 3. 研修スケジュールの確認 4. 評価票の改定 5. 平成 25 年度採用初期研修医の修了判定 6. 平成 28 年度初期臨床研修医募集要項の確認 7. 研修医からの意見・要望等の取り入れ・検討		
備考			

実績報告資料等



地域医療支援病院運営委員会

委員会名	地域医療支援病院運営委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	14 名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	新垣りか・砂川直樹・仲地智俊
委員名	【医局】奥島憲彦、松元 悟、久場良也、佐久川 廣 【看護部】西銘宣子 【外部委員】中城村長 浜田京介、西原町長 上間 明、宜野湾市長 佐喜眞 淳 中城北中城消防本部 消防長 安里秀己、東部消防組合消防本部 消防長 嘉手苺右和 宜野湾市消防本部 消防長 浜川秀雄、中部地区医師会理事 今井千春 中部地区薬剤師会 会長 前原信照、中部地区婦人連合会会長 比嘉光子 ※敬称略、順不同。		
活動目的	ハートライフ病院が地域のかかりつけ医、かかりつけ歯科医などからの要請に適切に対応し、地域における医療の確保に必要な支援を行うため、ハートライフ病院地域医療支援病院運営委員会を設置する。		
活動内容	地域医療支援病院の認定に係る次の各項目について、内外の委員を招集し検討を行い、認定要件を満たしているかの確認および向上を図る。		
	(1) 開設者 (2) 紹介率(紹介率・逆紹介率) (3) 共同利用 (4) 救急医療 (5) 研修 (6) 病床数 (7) 構造設備 (8) 諸記録 (9) 委員会 (10) 患者相談 (11) その他 (12) 居宅等		
備考	年度に1回以上委員会を開催する。		

地域医療支援病院認定に係わる以下の情報

地域医療支援病院認定に係わる以下の情報は、「病院概要」および「患者統計・病歴統計」をご参照ください。

(1) 開設者 (2) 紹介率(紹介率・逆紹介率) (3) 共同利用 (4) 救急医療
(5) 研修 (6) 病床数

(7) 構造設備

「集中治療室、化学・細菌及び病理の検査施設、病理解剖室、研究室、講義室、図書室、救急用または患者輸送用自動車、医薬品情報管理室」の設置が承認要件で、当院は満たしております。

(8) 諸記録

諸記録の①保存・管理や②閲覧など、日本医療機能評価機構の基準をクリアしており、診療情報管理室を中心に質の向上を図っております。

(9) 委員会

本委員会の設置にてクリアしております。

(10) 患者相談

専用の面談室あり。医療ソーシャルワーカー 5 名および医療メディエーター 1 名を配置して対応しております。

(11) その他

患者相談業務および地域の診療所等と、円滑に連携が行われる体制がとられております。

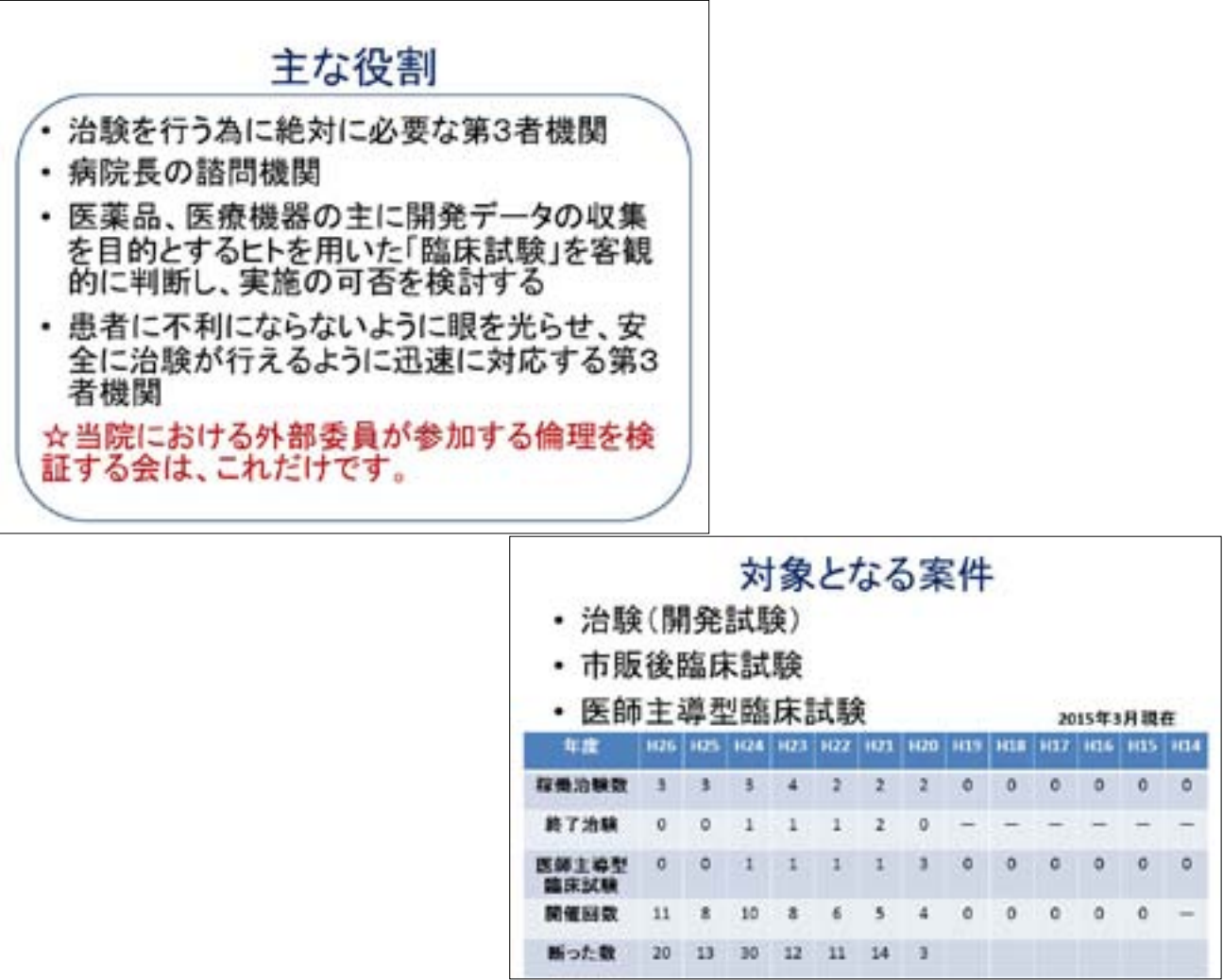
(12) 居宅等

主に在宅支援診療所や訪問看護ステーションなどの、在宅医療を担う医療機関との連携を行っております。

治験審査委員会

委員会名	治験審査委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	8 名
事務局・担当部署	治験管理センター、薬局	担当者名	田中健嗣
委員名	【医 局】松元 悟、佐久川 廣、嘉川春生 【医療技術部】田中健嗣 【事務部】比嘉 靖、宮城 淳		
活動目的	治験を行う為に必要な第 3 者機関(院長の諮問機関)として、「治験の原則」に従って、すべての被験者の人権の保護、安全の保持および福祉の向上を図ることを目的とする。治験を開始する前から終了後に至るまで、その責務は継続するものである。		
活動内容	稼働治験数 :3 件		
備考			

実績報告資料等



薬事審議委員会

委員会名	薬事審議委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	9 名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中健嗣
委員名	【医 局】松元 悟、久場良也、佐久川 廣、普天間光彦 【看護部】西銘宣子 【医療技術部】田中健嗣、翁長寛人 【事務局】當銘秀之、宮城 淳		
活動目的	毎年、多くの医薬品が開発され、新たに薬価収載されている。この数多くの市販されている医薬品の中から、患者個々の病態や経済性にも考慮した医薬品を選定することは、薬物療法を適正に行うにあたって重要な事である。また、同種・同効の医薬品ならびに後発医薬品が多く薬価収載されており、これらの医薬品を無秩序に購入し使用することは、医学・薬学・経済面から見ても合理的であるとはいえない。さらに新規購入医薬品が増えることで、使用されなくなった薬剤の削除を行わない限り、採用医薬品は増加し過剰在庫による経済的負担と、医薬品を管理する人的、スペース的負担を増加させる危険がある。従って薬物療法の適正化と、医薬品管理業務における、医薬品の流通を円滑に行う為に、薬事審議委員会を設置する。		
活動内容	委員会の役割 ●新規採用医薬品の採用 ●後発医薬品の採用方法 ●既採用医薬品の再評価の必要性 ●陳旧化した医薬品の取り扱い ●同種・同効薬の再評価 ●医薬品の適正な使用方法の協議 ●医薬品の副作用及び感染症の協議 ●在庫医薬品の適切な管理と運用 ●病院医薬品集・医薬品情報等について ●臨床試用医薬品の採否の決定 ●院内製剤の採否の決定		
備考			

実績報告資料等（スライドなど）

実績										
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
要約項目	13	19	13	10	12	12	20	16		136
業務増減										
先発品・新薬	10	3	4	4	7	6	14	10		66
後発品	2	16	9	4		1	4	2		37
社内製剤			2	3						5
その他	2	1	1			3				7
業務削減										
要約項目	5	1	5	6	7	6	9	7		51
卸り卸元削減	4	10	9	8		4	4	2		43
経理業務削減						2	2	1		5
採用状況の変更		1				1				2
臨時採用							2			2
採用削減			2	3			5			12
固定経費削減										
患者限定	3					1				4
医師限定			2	4	2		1			9
診療科限定		1	2	3	2		3	3		14
外販限定							2			2
半減額・半減超過										
内科系	消化器				4	1	2			7
	呼吸器					1		1		1
	循環器							2		2
	泌尿	1		3	1		1	3	1	10
	心療								1	1
外科系	消化器	1	1		1	2	1			6
	乳腺									
	形成					1				1
	泌尿科					2				2
	整形外科					1	1			2
眼科	1			3						4
耳鼻科										
泌尿器科	2	1	1		1	1	2			8
産婦人科						1		1		2
皮膚科			1				1			2
放射科										
メディカル	2		1							3
薬局	6	10	9	5	6	2	9	9		53
その他						1	1	2		5

その他の審議事項

- 各席別の使用率増加に向け、異席で対象席をゾーンアップし、切り替えを行う事を承認した。
- 選挙事業本部専門委員の招請について、構成メンバーを変更した。
- コーシードレスとユニフォーム色のデザインが馴染んでいる為、採用カラーを変更した。
- 票箱決定に際し、納入者の検討を行った。
- 選挙委員会に提出し進行する為、事務局スタッフ（山下 剛次）の帰属を承認した。
- 候補者の例示について、開票日を隔月（偶数月）に変更した。
- ビデオタイピング訓練制度の徹底等の中止期間を「選挙開票1週間」に統一した。
- パルナチオンを主成分とする保潔液（台所用含む）を制限する方針を決定した。
- グロブレスをデジタルに変更する方針を決定した。
- 選挙結果の整理を行う事を承認した。
- 本館スタジオを東京エレクトロニクスに貸与に使用する事を承認した。
- ミーティング室招請に伴い、越時氏の自己負担金額の変更を承認した。
- 館内での使用量の少ない電球を抽出し、整理を行った。（坂本 隆夫）

薬品名	剤形	商品名	剤形	商品名	比率
ダシゲン錠	300mg	フロンシロ		ロイカシロン錠	10%
ピースメワイシ	5号	ボメテオ錠	1mg	オウ化カルテウス丸	40mg
トリアゴード輸液		ゼビアント錠	220mg	ベスキュラタス	10mg
エトニル錠	4mg	ボムカレンサゴ	12.5mg	エンシュア・α	
セカラ錠	20mg	トキサンテン錠	10mg/α	カルズロカチ錠	10mg
ノイアップ	100mg	マディオ製虫錠	500		

平成27年度目標

- 製品使用率を上げたい。
- 同社製品への見直し。

輸血療法委員会

委員会名	輸血療法委員会		
委員長名	佐久川 廣	構成人数	8 名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	蔵下 恒
委員名	【医 局】佐久川 廣、澤岬安勝 【看護部】安村公均、比嘉暢 【医療技術部】神谷兼敏、蔵下 恒、谷山美沙子 【事務部】高良直光		
活動目的	輸血療法の安全な実施及び血液製剤の適正使用を図ることを目的し、輸血療法に係る全般を議題、検討内容とする。		
活動内容	1) 手順書の作成 ①輸血医療に係る手順書を随時作成、改訂を行う ②手順書の内容を啓蒙する 2) 輸血ミスの防止 ①インシデント発生時、原因追究、対処法の検討をおこなう ②対処法に添った手順書の改訂や啓蒙を行う 3) 適正使用の実施 ①“輸血療法の適正化に関する指針”に則した使用を目指す ②“輸血療法の適正化に関する指針”の啓蒙を行う ③適正使用に則さない場合、指導、検討を行う 4) 輸血製剤の有効利用を促進する ①各種血液製剤使用量、廃棄量の報告を行う ②問題がある場合、個別に内容、対処法の検討を行う 5) 副作用、感染症の報告を行う 6) その他、輸血療法全般に関する全てを議題内容とする		
備考			

実績報告資料等

	単位	使用量 本数	使用単位数 (U)	使用金額 (円)	廃棄 本数	廃棄 単位数	廃棄金額 (円)	減損率 (%)
RCC	1U	3 (7)	3 (7)	26,592 (60,326)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	2U	1866 (1910)	3712 (3820)	32,892,076 (32,916,940)	11 (6)	22 (12)	194,986 (103,404)	0.59 (0.31)
合計		1869 (1917)	3715 (3827)	32,918,668 (32,977,266)	11 (6)	22 (12)	194,986 (103,404)	0.59 (0.31)
FFP	120	6 (0)	6 (0)	53,730 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	240	144 (38)	288 (76)	2,578,830 (661,732)	1 (7)	2 (14)	17,912 (121,898)	0.69 (15.66)
	480	209 (266)	836 (1030)	4,931,361 (6,107,626)	3 (2)	12 (7.8)	69,539 (45,922)	1.43 (0.75)
	合計	359 (304)	1130 (1106)	7,563,921 (6,769,358)	4 (9)	14 (21.8)	87,451 (167,820)	1.11 (2.88)
PC	5U	2 (0)	10 (0)	79,800 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	10U	631 (606)	6310 (6060)	50,148,410 (46,825,620)	1 (2)	10 (20)	79,478 (154,540)	0.16 (0.33)
	15U	153 (160)	2295 (2400)	18,238,212 (18,542,890)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	20U	17 (34)	340 (680)	2,701,946 (5,253,782)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	808 (800)	8955 (9140)	71,168,368 (70,622,282)	1 (2)	10 (20)	79,478 (154,540)	0.25 (0.25)	
HLA- PC	10U	46 (23)	460 (230)	4,395,162 (2,136,539)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	15U	0 (2)	0 (30)	0 (278,324)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	20U	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	46 (25)	460 (260)	4,395,162 (2,414,863)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
總計	3067 (3046)	142601 (14333)	116,046,119 (112,738,769)	16 (17)	46 (54)	361,915 (425,764)	0.52 (0.56)	

◎自己使用状況（診療科毎）

※（ ）内は前年度（H125）実績

診療科	婦人科	血液内科	整形外科	外科	総数
患者数	1名(0)	9名(18)	1名(0)	0名	11名(19)
採血量	200	400	200	400	200
0(0)	2(0)	2(10)	15(28)	4(0)	0(1)
採血数	200	400	200	400	200
0(0)	2(0)	2(9)	12(28)	4(0)	6(9)
使用数	0(0)	2(0)	2(9)	12(28)	4(0)
使用合計数	2(0)	14(37)	4(0)	0(0)	20(37)
廃棄数	0(0)	3(1)	0(0)	0(1)	3(2)
使用単位	4U(0)	26U(65)	4U(0)	0U(0)	34U(65)

③廃棄製剤状況（自己血含む）：総数19件（H25年度16件）※（ ）内は、H25年度を表記

血液型	A 型	B 型	O 型	AB 型
廃棄件数	4(2)	3(11)	5(3)	7(3)

※自己血は、A型 1件、B型各2件(計3件)

※A 型 2 件中 Rh(一)が 1 件：有効期限が短い製剤が供給された

○製劑每

製剤名	RBC	FFP	PC	自己血
廃棄本数	10(6)	4(9)	1(2)	3(2)

○廃棄理由

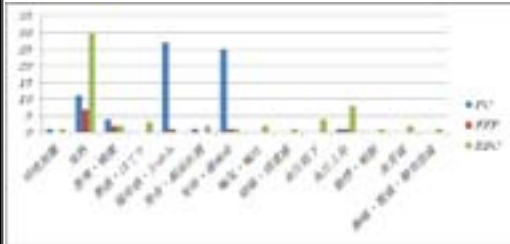
・有効期限切れ…… 16 本 (12) ※PC-1 本 OPE 準備品として用意、使用せず廃棄
・自己血未使用…… 3 本 (2) ※骨髓バンクドナー、骨髓採取中止のため (2 本)
採血量不足、400ml 採血時に 270ml しか採血出来
保存は行ったが使用せず

・トラブル----- 0 件 (3)

平成26年度（H26.4.1～27.3.31）輸血副作用発生状況

●副作用報告件数

症状	発熱	悪寒・ 戦慄	熱感 はてり	痒感	発赤 顔面紅潮	発疹 麻疹疹	咽気 嚔吐	頭痛 頭重感	血圧 低下	上昇	動悸 頻脈	血管 腫痛	胸痛 腹痛
RCC	30	3	3	0	2	1	2	2	4	8	1	2	1
PC	11	4	0	24	1	20	0	0	0	1	0	0	0
FFP	7	2	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0
合計	48	9	3	25	3	22	2	2	4	10	1	2	1



●副作用発生率

○全製剤

○製剤別 RCC 発生率: 2.7% (報告件数: 1859 件 副作用報告数: 51 件)

PC	発生率: 5.4% (報告件数: 849 件)	副作用報告数: 46 件)
FFP	発生率: 2.5% (報告件数: 359 件)	副作用報告数: 9 件)

臨床検査適正委員会

委員会名	臨床検査適正委員会		
委員長名	佐久川 廣	構成人数	6 名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	神谷乗敏
委員名	【医 局】佐久川 廣 【看護部】中野久乃 【医療技術部】神谷乗敏、具志堅善則、斉藤辰好 【事務部】宮城 淳		
活動目的	臨床検査は診療の補助として行われるもので疾病の診断、治療、予後を判断するための重要な情報を提供するものである。質の高いデータを迅速に提供する事を目的とする。		
活動内容	1) 臨床検査に関わる業務の範囲の検討 2) 検査精度、機器選定ならびに導入計画 3) 検査項目や、正常値の検討 4) その他検査に関わる必要事項の検討を行う		
備考			

実績報告資料等

倫理委員会

委員会名	倫理委員会		
委員長名	與座 一	構成人数	8 名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中健嗣
委員名	【医 局】與座 一、宮城 敬 【看護部】西銘宣子、小橋川弘美 【医療技術部】田中健嗣 【事務部】比嘉 靖、安里 竜、宮城 淳		
活動目的	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院（以下、「病院」という。）の職員が行う医療行為および医学研究（以下、「医療行為等」という。）において、「ヘルシンキ宣言」（2000 年エジンバラ修正、2002 年ワシントン総会で注釈追加）を尊重し、国内の倫理指針の趣旨にそって、倫理的配慮が図られているかどうかを審議することを目的とする。		
活動内容	1) 医療にかかる法律の順守に関する事項 2) 患者の権利に関する事項 3) 医療行為等をめぐる生命倫理に関わる事項 4) 臓器移植および新治療法の採用に関する事項 5) その他、病院長または委員長が必要と認めた事項 議題数 :27 件		
備考	「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」が平成 27 年 4 月 1 日に施行となります。 新法に則った、倫理委員会の体制作りに取り組んでおります		

実績報告資料等

精度管理業務とは？

①外部精度管理＊外部より送付された試料を院内で測定し統計処理を行い評価する。

②内部精度管理＊毎日コントロール試料を測定し、機器・試薬・測定値を管理する。

参加している外部精度管理

- ・ 日本医師会精度管理
- ・ 日本臨床検査技師会精度管理
- ・ 沖縄県医師会・技師会精度管理（試薬機器メーカー）
- ・ 東ソー
- ・ アボットジャパン
- ・ シスメックス

日本医師会精度管理実績

- ・ 平成20年 96.0点
- ・ 平成21年 98.4点
- ・ 平成22年 98.0点
- ・ 平成23年 98.6点
- ・ 平成24年 98.2点
- ・ 平成25年 94.6点
- ・ 平成26年 90.9点

審査内容

- ・ 医療にかかる法律の順守に関する事項
- ・ 患者の権利に関する事項
- ・ 医療行為等をめぐる生命倫理に関わる事項
- ・ 臓器移植および新治療法の採用に関する事項
- ・ その他、病院長または委員長が必要と認めた事項

※輸血に関すること、臓器移植に関すること
※生殖医療に関すること
※末期患者の治療に関すること、告知に関すること
※その他医療行為全般に係る患者の基本的権限に関すること

当委員会は前項に係る所掌事項の検討機関であって、決定機関ではない。

案件内容・判断事項

- ・ 医療倫理
- ・ 職業倫理
- ・ 臨床における倫理
- ・ 臨床研究に関する倫理

・ 治験の倫理 ⇒ 治験審査委員会

26年度審議内容一覧

第26-1	モーズ軟膏の調剤依頼
第26-2	経管栄養剤のケールから促進注入
第26-3	小児風疹ヘルニア手術後のケアに関する成人への満足度大
第26-4	CCR陽性の成人T細胞白血病(ATL)患者(免疫未治療ATL患者)を対象としたHIV-1抗体検査法併用比較試験について
第26-5	腎臓がん患者のHIV-1抗体陽性率と関連する要因について、詳細な情報の把握を目的とする
第26-6	ナシドニドエト/ナシドニドエトについて
第26-7	Stemcell transplantationに対する遺伝子多型解析
第26-8	CRP-ALDHL1 Study 研究参加について
第26-9	感染性結石(リン酸塩結石)に対する溶解療法
第26-10	炎症性腸病併発性腸癌(IFT)に対するAIH治療法の使用について
第26-11	消化管の癌腫に対するAIH治療法に対するAIH治療法の使用について
第26-12	看護研究・パースレビューの有効性へ関係の自己評価尺度の調査
第26-13	0.25%、0.5%、1%の塩化ベンゾカインの副作用
第26-14	グルーミングコントロールによるアタラクシア治療

26年度審議内容一覧

第26-15	1947CCAによる症状性脳室性期外収縮の治療
第26-16	研究計画書「生活習慣病関連症候群に対する自己評価試験法と療法の安全性と有効性に関する研究」の臨床試験実施予定期間の延長について
第26-17	「沖縄県で実施されるがん検診受診率向上に関する研究」の臨床試験実施予定期間の延長について
第26-18	研究計画書「生活習慣病関連症候群に対する自己評価試験法と療法の安全性と有効性に関する研究」の臨床試験実施予定期間の延長について
第26-19	表見難治性多発性骨髄腫に対する新治療法(新規薬剤)の安全性と有効性に関する研究について
第26-20	1947CCAによる症状性脳室性期外収縮の治療
第26-21	グリーンフルーミンの副作用について
第26-22	琉球大学医学部附属病院がんセンターの臨床試験法と療法の安全性と有効性に関する研究について
第26-23	研究計画書「生活習慣病関連症候群に対する自己評価試験法と療法の安全性と有効性に関する研究」についての実行状況報告
第26-24	成人T細胞白血病(ATL)患者に対するAIH治療法の使用について
第26-25	腎臓がん患者のHIV-1抗体陽性率と関連する要因について、詳細な情報の把握を目的とする
第26-26	腎臓がん患者のHIV-1抗体陽性率と関連する要因について、詳細な情報の把握を目的とする
第26-27	腎臓がん患者のHIV-1抗体陽性率と関連する要因について、詳細な情報の把握を目的とする

DPC 委員会

委員会名	DPC 委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	13 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
委員名	【医 局】奥島憲彦、普天間光彦、内科系医師、外科系医師 【看護部】西銘宣子、粟盛信子（地域医療連携室） 【医療技術部】宮城竜也（放射線科）、神谷乗敏（臨床検査科）、田中健嗣（薬局） 【事務部】柳 学（診療情報管理室）、新垣 淳（事務部・請求業務課・入院）、宮城 克己（事務部・企画室電算係）、大城克枝（診療情報管理室）		
活動目的	DPC 委員会は、DPC 対象病院として DPC 業務の適正な運用を図るために審議検討をすることを目的とする。		
活動内容	1) 適切なコーディングを行う体制に関すること。 2) 診断及び治療方法の適正化標準に関すること。 3) 院内で標準的な診断及び治療方法の周知徹底に関すること。 4) その他 DPC 業務に係る課題に関すること。		
備考			

実績報告資料等

DIC、敗血症、その他の真菌症、手術・処置の合併症の件数と請求率及び胃瘻造設術件数（DPC委員会にて報告）														
H26		H26.04	5	6	7	8	9	10	11	12	H27.01	2	3	
DIC (130100)	退院件数	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	
	請求率	0.00%	0.15%	0.14%	0.13%	0.14%	0.14%	0.00%	0.15%	0.00%	0.15%	0.00%	0.00%	
敗血症 (180010)	退院件数	6	10	4	17	6	3	7	8	4	8	0	4	
	請求率	0.84%	1.46%	0.57%	2.23%	0.82%	0.42%	0.96%	1.22%	0.57%	1.21%	0.00%	0.54%	
その他の真菌症 (180035)	退院件数	0	0	0	0	0	0	1	0		0	0	2	
	請求率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.14%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.27%	
手術・処置の合併症 (180040)	退院件数	3	6	3	2	8	8	7	6	8	8	5	4	
	請求率	0.42%	0.88%	0.43%	0.26%	1.09%	1.13%	0.96%	0.91%	1.15%	1.21%	0.83%	0.83%	
胃瘻造設術	件数	11	4	6	1	1	0	1	0	1	1	4	2	

緩和ケア委員会

委員会名	緩和ケア委員会		
委員長名	花城直次	構成人数	29 名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	小橋川春子
委員名	【医局】 花城直次、菅野善一郎、山本祐介 【看護部】小橋川春子、比嘉暢、本田由香理（がん化学療法認定看護師）、仲田ひろ子、成田明日香、東初美、高良那津子、新地博美、有働七海、高宮理沙、佐藤広美、森春香、与那城茂子、玉城夕菜、呉屋友美、内田綾、若命彩子、山内美咲 【医療技術部】 大関秀和、上地美和、栄野比智也、高屋美希、渡真利ゆりか、大城盛彦 【事務部】 池村久美子（臨床心理士）、桑江幸子		
活動目的	癌の治療開始、又は生命を脅かす病に関連する問題を早期に取り組み、患者及び家族の生活の向上のために、各部署の専門家が協力してチームを作り以下の項目を要件とするケアを提供する		
活動内容	1. 患者の痛みや、その他の不快な身体症状を緩和する 2. 患者に精神的・社会的・霊的な援助を行い、死が訪れるまで生きていることに意味を見いだせるようなケアを行なう 3. 患者の家族を患者の療養中から死別した後まで支える		
備考			

実績報告資料等

講演会・勉強会・研修参加

<定期勉強会>
H26 4 / 2 5 緩和ケア委員会活動について（看護師：小橋川春子）
アブストラルの説明（薬品会社）
6 / 1 6 がん性格と精神免疫（菅野善一郎先生）
7 / 2 8 がん患者のための栄養管理（栄養士：渡真利ゆりか）
9 / 2 9 疼痛管理のための薬剤使用について（薬剤師：大関秀和）
1 2 / 1 5 リンパドレナージと頭頸部がんのリハビリ
（リハビリ：栄野比智也・大城盛彦）
H2 7 ・ 2 / 2 7 ネスビスと在宅ケア（MSW：桑江幸子）

<講演会>
H26年10月9日
講師：済生会熊本病院 堤健爾先生
テーマ：当院におけるがん化学療法の現状と課題

研修会・施設見学

<沖縄緩和ケア研修会>
H26年 8 / 2 ~ 8 / 3 沖縄県緩和ケア研修会を開催
昨年に続き3回目の開催。
院内外から2日間を通して多数の医師・コメディカルが参加して行われた。

<研修会参加>
第19回日本緩和医療学会大会（開催地：神戸）に4階病棟緩和リンクナース2名参加（有働七海・高宮理沙）

多職種によるチーム医療

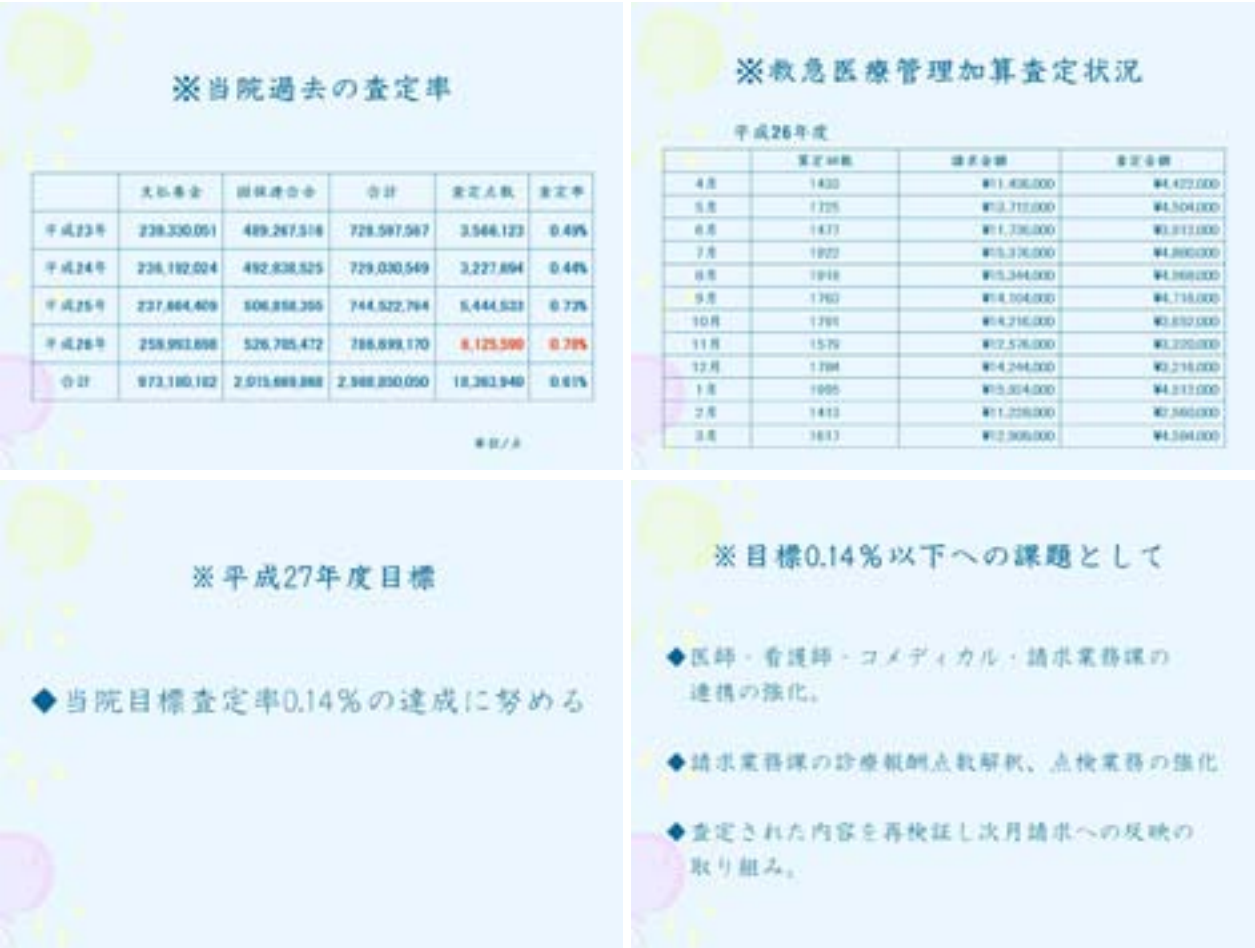
H27年度 緩和ケアチームの活動目標

- ・対象患者の拡大
リンクナースを中心とした啓蒙活動
- ・委員会内での勉強会の実施
- ・他職種間の連携強化
- ・デスカンファレンスの開催
リンクナースを中心とした各病棟でのデス・カンファレンスの活性化
- ・がん性疼痛コントロールの均一化
ーポケットマニュアルの継続活動
- ・「病気に対する同診票」告知グレード評価対象診療科の拡大
- ・沖縄県及び院内緩和ケア研修会への参画
- ・緩和ケア認定看護師

診療報酬対策委員会

委員会名	診療報酬対策委員会		
委員長名	佐久川 廣	構成人数	7 名
事務局・担当部署	請求業務課	担当者名	金城昭一
委員名	【医 局】佐久川 廣、松元 悟、西原 実 【医療技術部】神谷乗敏、田中健嗣 【事務部】金城昭一、金城 泰		
活動目的	当院目標査定率 0.14% の達成に努める		
活動内容	1) 保険診療に関すること 2) 請求漏れ、査定減の対策に関すること 3) 保険請求事務等の改善に関すること 4) レセプト作成、点検に関すること		
備考			

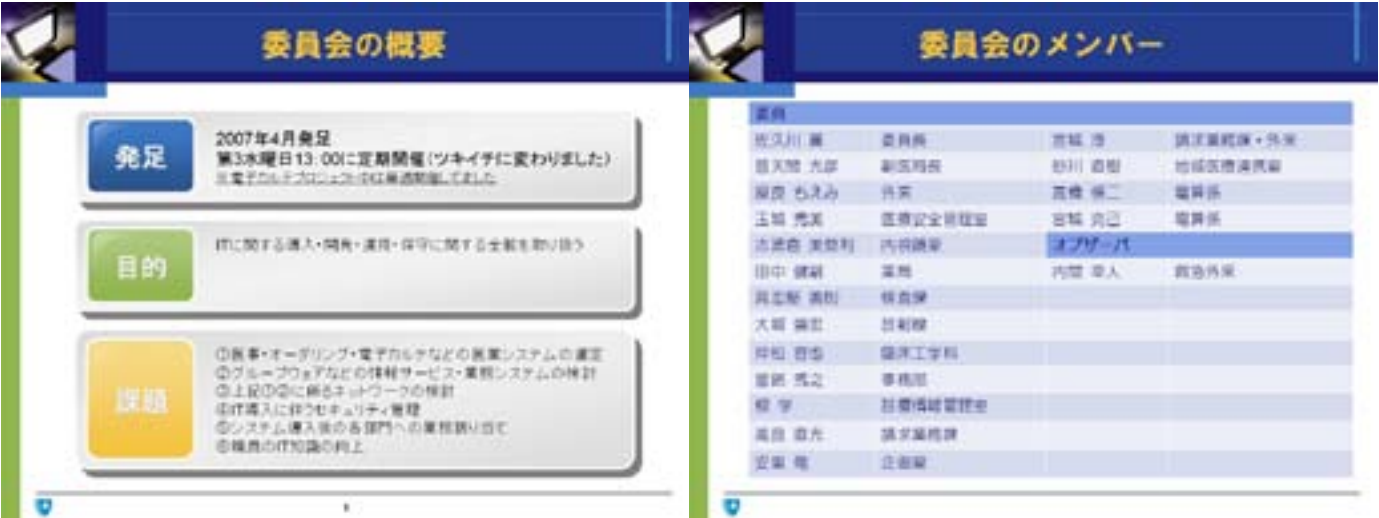
実績報告資料等



IT 推進委員会

委員会名	IT 推進委員会		
委員長名	佐久川 廣	構成人数	18 名
事務局・担当部署	企画室電算係	担当者名	宮城克己
委員名	【医 局】佐久川 廣、普天間光彦 【看護部】屋良ちえみ 【医療技術部】田中健嗣、大城盛寛、古波倉美登利、具志堅善則、仲松晋也 【事務部】當銘秀之、柳 学、安里 竜、高良直光、宮城 淳、砂川直樹、高橋慎二、宮城克己 【医療安全管理室】玉城秀美（専従看護師）		
	オブザーバ：内間幸人		
活動目的	電子カルテ・オーダーリングシステムをはじめとした院内情報システム（機器）の導入から開発、運営・保守に関する全般の検討を行い、院内 IT 環境の充足をはかる。		
活動内容	1) 医事・オーダーリング・電子カルテなどの医業システムの運用方法の検討 2) グループウェアなどの情報サービス・業務システムの検討 3) 上記①②に係るネットワークの検討 4) IT 導入に伴うセキュリティ管理 5) 各部門システムの導入、運用検討 6) 職員の IT 知識の向上		
備考			

実績報告資料等



クリニカルパス委員会

委員会名	クリニカルパス委員会		
委員長名	宮平 工	構成人数	31 名
事務局・担当部署	看護部・電算係	担当者名	栗盛信子・安里 竜
委員名	【医 局】大西 勉、折田 均、渡慶次 学、末吉健次、安里義秀、嘉川春生、近藤俊輔、照屋明子、 普天間光彦、與座一、平良直也、東盛貴光、神里美佐子、井上美里 【看護部】仲地ますみ、諸喜田久美、外間真紀子、金城昭子、米須智子、比嘉 暢、宮平典子、栗盛信子 【医療技術部】神谷乗敏、久場徳子、玉城義彦、仲座義富、宮里武行 【事務部】安里 竜、金城昭一、奥平藤也		
活動目的	クリニカルパスを充実することで、医療の質の向上を図る 患者中心の安全な医療を提供する クリニカルパスを充実させ、業務の効率化を図るとともに、職員の業務負担軽減を図る 在院日数の短縮を図るとともに、コスト削減を担う パス大会の円滑な運用を図る		
活動内容	パスの作成・運用、勉強会の開催、パス大会の開催、その他		
備考			

実績報告資料等

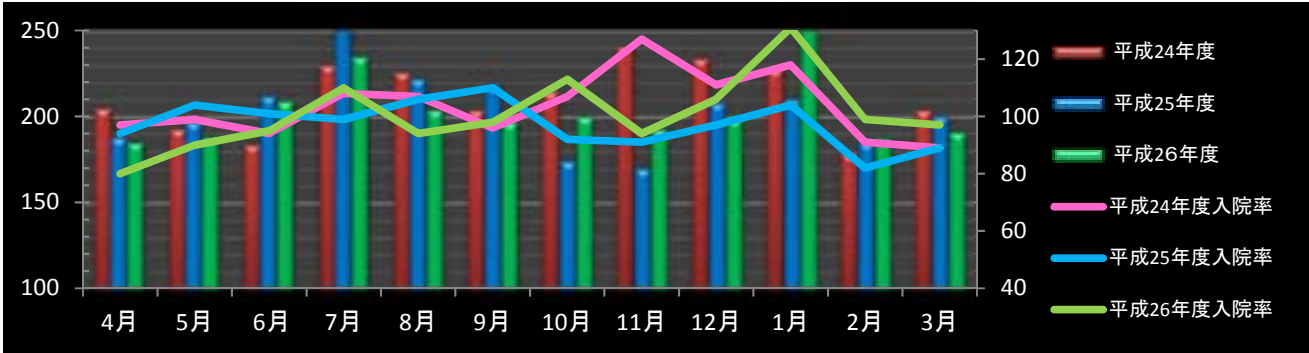
第1回クリニカルパス大会開催 テーマ クリニカルパスの現状と課題 ～各病種の取り組みとチャレンジ～ 開催日時： 平成26年8月13日(水)17:30～19:30 場 所： 2F講堂 対 象： 全職員 参加人数： 112名 □一般講演 座長:外科部長 宮平工 <table><tr><td>部 門</td><td>登壇者</td><td>病 種</td></tr><tr><td>西2F病棟</td><td>又吉志 菜子</td><td>大西 勉</td></tr><tr><td>3F病棟</td><td>外間 真紀子</td><td>渡慶次 学</td></tr><tr><td>4F病棟</td><td>仲座 義 恵</td><td>宮平 工</td></tr><tr><td>5F病棟</td><td>鈴木 千 恵</td><td>折田 均</td></tr><tr><td>2F病棟</td><td>仲村 和 士</td><td>名嘉山 裕子</td></tr></table> □特別講演 座長:産科部長 大西勉 「本院のクリニカルパス活動」 産科部長 大西勉 助産部長 石村智江先生			部 門	登壇者	病 種	西2F病棟	又吉志 菜子	大西 勉	3F病棟	外間 真紀子	渡慶次 学	4F病棟	仲座 義 恵	宮平 工	5F病棟	鈴木 千 恵	折田 均	2F病棟	仲村 和 士	名嘉山 裕子
部 門	登壇者	病 種																		
西2F病棟	又吉志 菜子	大西 勉																		
3F病棟	外間 真紀子	渡慶次 学																		
4F病棟	仲座 義 恵	宮平 工																		
5F病棟	鈴木 千 恵	折田 均																		
2F病棟	仲村 和 士	名嘉山 裕子																		
泌尿器科 計24 適用率11.1% TURP 17 TURP 3 尿道下裂摘出術 2	内科 計522 適用率13.8% 大腸がん 273 肝がん 70 肺癌 80 FUA(肝臓) 7 CAG(検査) 83 CAG(治療) 9 PCI(検査) 68 PCI(治療) 17 気管支鏡検査 11 ペースメーカー 1 腎臓透析 1	整形外科 計156 適用率21.3% ACL(膝関節) 65 BHA(全股) 30 THA(膝関節) 前日入院 2 THA(膝関節) 自宅退院 8 TKA(膝関節) 2 TKA(膝関節) 前々日入院 4 w-イルミネーション(全股) 6 大腿骨頭部骨折 6 変形性股関節症 3 変形性股関節症 1 股関節手術後療法 5 股関節手術療法 4 手術部位感染 1 膝関節(上肢)2日入院 1																		
眼科 計208 適用率75.7% 白内障(左) 113 白内障(右) 129	産婦人科 計610 適用率92.7% はとんどパス適用	全体 計2013 適用率75.3%																		

救急総合診療部委員会

委員会名	救急総合診療部委員会		
委員長名	銘苅 正	構成人数	18 名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	砂川直樹
委員名	【医 局】銘苅 正、久場良也、三戸正人、奥島憲彦、宮平 工、末吉健次、渡慶次 学、安里義秀 【看護部】仲地ますみ、内間幸人、竹本健太 【医療技術部】 仲座義富、齊藤辰好 【事務部】後原保光、仲地智俊、安里 竜、宮城 淳、砂川直樹		
活動目的	救急総合診療部の体制（人材確保を含む）を整える。問題点の検討や改善など要望を早めに対応できるような正式なルートをつくる。		
活動内容	救急車搬送患者、時間外救急患者の受け入れに關しての流れや問題点、救急総合診療部に係わるすべての職種のワークライフバランスを考えながら話し合いをもち解決策を考え活動目的を達成する。救急総合診療部小委員会にて初期問題を検討する。重要事項に關しては救急総合診療部委員会で再検討し、救急総合診療部委員会としての承認を得る。その後議事録は翌月の運営委員会で報告する。		
備考	救急総合診療部小委員会は、月に1回以上、救急総合診療部委員会は毎月（第 4 水曜日）1回開催とする。		

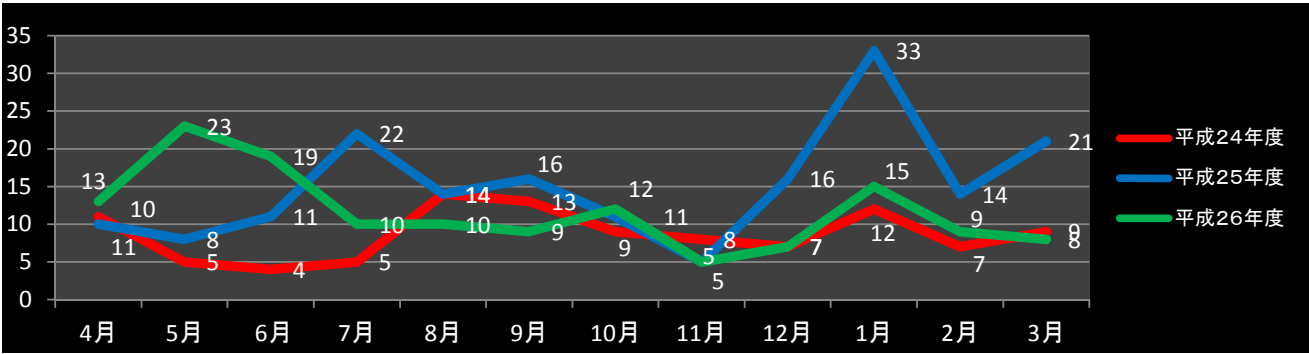
実績報告資料等

救急搬送患者受け入れ実数(年度別)



年 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均入院率
平成24年度	205	193	184	230	226	204	215	241	234	228	179	204	2,543	212
平成25年度	97	99	94	108	107	96	107	127	111	118	91	89	1,244	0
平成26年度	188	197	212	259	222	218	174	170	208	210	185	200	2,443	204
	94	104	101	99	106	110	92	91	97	104	82	89	1,169	0
平成26年度	185	188	209	235	204	197	200	193	199	262	187	191	2,450	204
	80	90	95	110	94	98	113	94	106	131	99	97	1,207	0

救急搬送患者の断り実数(年度別)



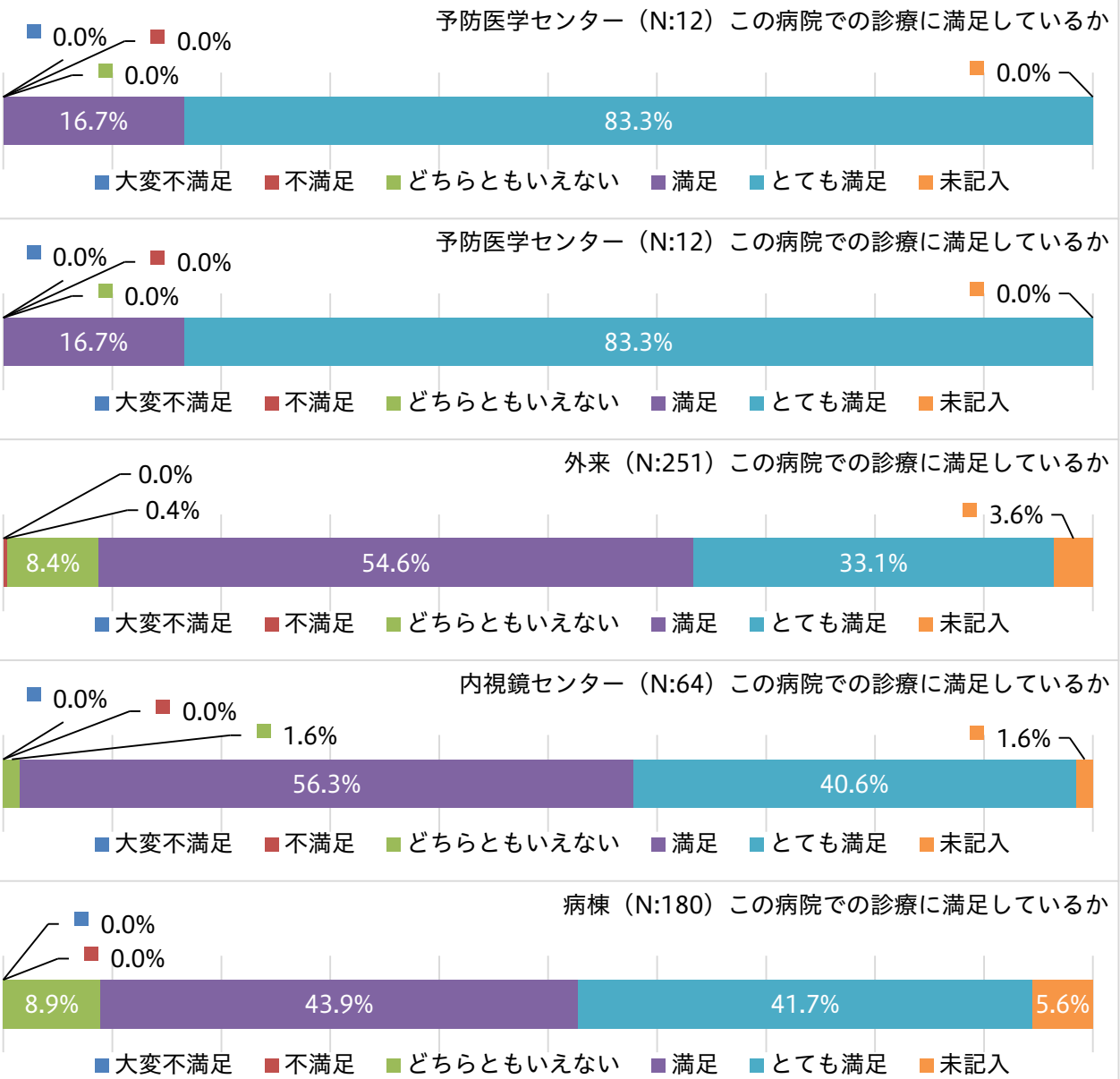
(救急車断り件数)・・・断り件数は救急外来、内間師長より

年 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均
平成24年度	10	8	11	22	14	16	11	5	16	33	14	21	181	15
平成25年度	13	23	19	10	10	9	12	5	7	15	9	8	140	12
平成26年度	11	8	6	16	8	8	6	4	8	17	17	10	119	10

患者満足度向上委員会・投書対策委員会

委員会名	患者満足度向上委員会・投書対策委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	12 名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	富里 等
委員名	【医 局】奥島憲彦（投書対策委員兼務）、松元 悟 【看護部】西銘宣子（投書対策委員兼務）、古波倉美登利 【医療技術部】宮城竜也、仲座義富、狩俣貴康 【事務部】當銘秀之（投書対策委員兼務）、比嘉 靖、富里 等（投書対策委員兼務）、金城 泰、富里 等		
活動目的	患者さんからの苦情相談に対して迅速に処理し、患者さんからの病院に対する信頼を向上する。		
活動内容	(1) 患者さんに対する接遇とコミュニケーションの質並びに待ち時間短縮の向上を図る。 (2) 患者さんからのクレームに対応する。 (3) 職員の接遇向上にむけた教育・研修・講演会等を企画立案する。 (4) 患者満足度調査。 (5) 快適な療養環境を図る。 (6) 接遇マニュアルの作成改定。		
備考	※投書対策委員会は随時必要があれば開催。（平成 27 年度より毎月 1 回開催） 投書回収後、院内メールにて院長・医局長・看護部長・事務局長・事務副部長・総務課にて情報を共有し、各部署へ周知改善を行う。		

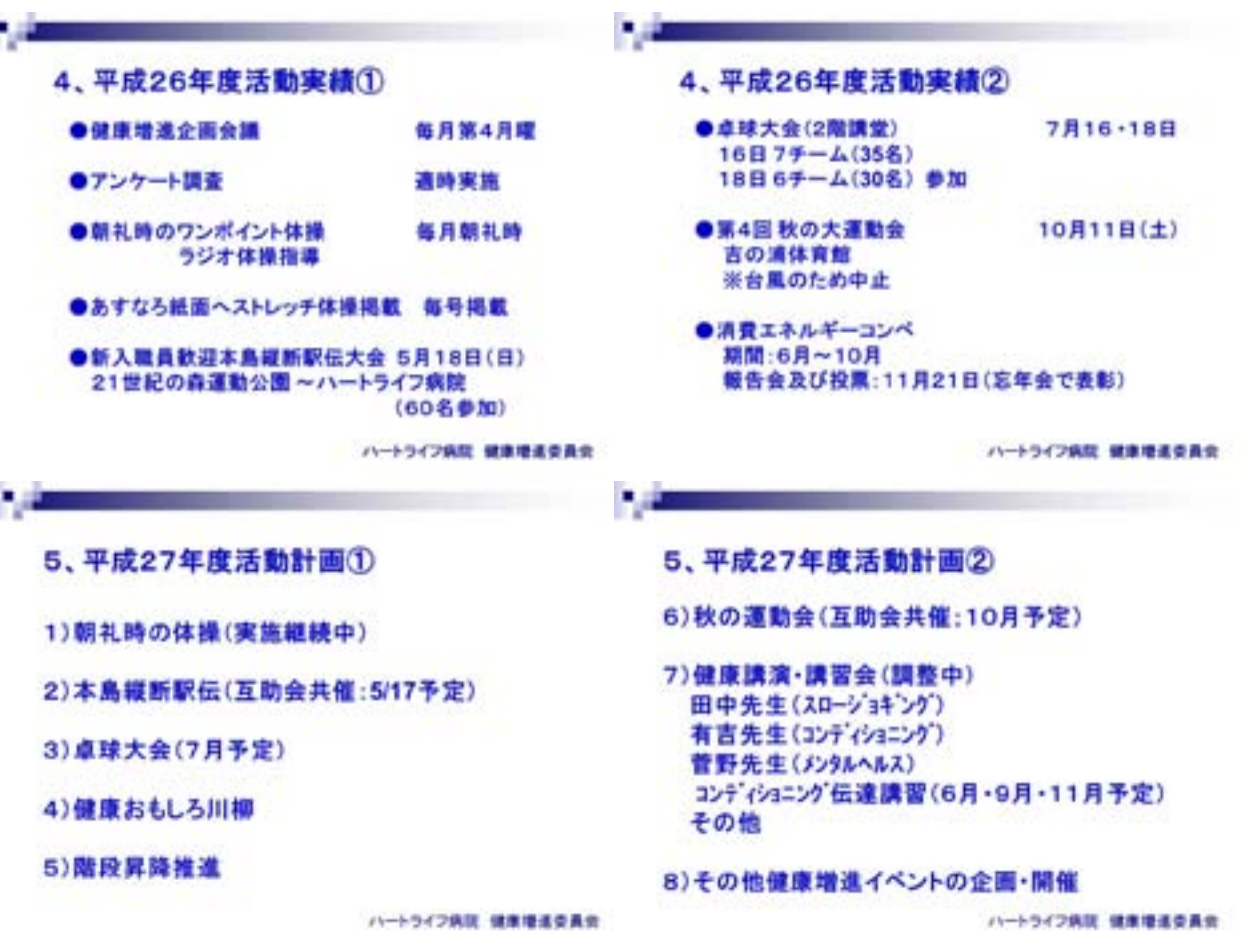
実績報告資料等



健康増進委員会

委員会名	健康増進委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	11 名
事務局・担当部署	事務部・医療技術部	担当者名	金城信矢（事務部） 玉城義彦（医療技術部）
委員名	ハートライフ病院 【医 局】奥島憲彦、松元 悟、菅野善一郎、菅谷明子 【看護部】仲地ますみ、屋我裕子、 【医療技術部】當眞結子、玉城義彦 【事務部】比嘉 靖、照屋尚美、金城信矢		
活動目的	ハートライフクリニック 【医 局】山本壽一 【リ्यूザ】長嶺敦司		
活動目的	職員の健康増進活動を支援する。		
活動内容	1) 健康増進に関する会議の開催 2) 健康増進に関する相談・指導 3) 健康増進のきっかけづくり 4) 部署・サークルの健康増進活動への支援 5) 健康増進に関する情報提供 6) 健康増進に関するニーズの集約 7) 健康増進に関する環境の整備 8) 健診後の生活指導の支援		
備考			

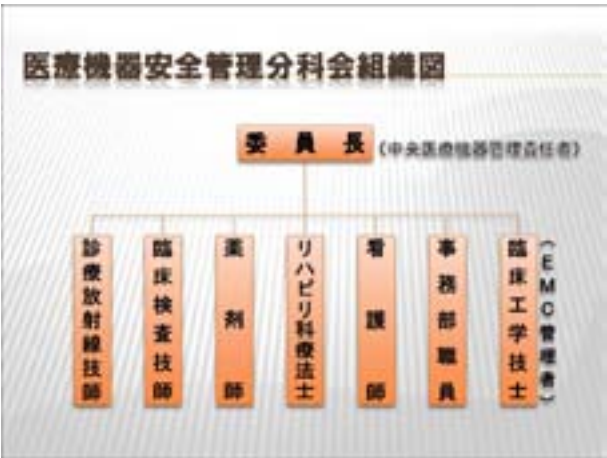
実績報告資料等



医療機器安全管理委員会

委員会名	医療機器安全管理委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	8 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	大城 安
委員名	【医 局】松元 悟 【医療安全管理室】中野 久乃 【看護部】西銘 宣子 【医療技術部】宮城 竜也、神谷 乗敏、玉城 義彦、大城 安 【事務部】後原 保光		
活動目的	ハートライフ病院内で使用される医療機器に係る安全管理体制を図るため医療機器安全管理委員会を設置し、医療機器安全管理委員会の下に医療安全管理分科会と透析機器安全管理委員会を設置した。 <医療安全管理分科会>ハートライフ病院内で使用される医療機器に係る医療機器安全使用のための具体的方策などについて、指針を示すことにより、適切な医療機器安全管理を推進、安全な医療の提供に資することを目的とする。 <透析機器安全管理委員会>血液透析業務における医療設備、医療機器に関連した安全管理及び品質管理を目的とする。		
活動内容	医療機器の安全使用のための研修 医療機器の保守点検 医療機器の保守点検に関する記録 医療機器の知識・情報の収集		
備考	<平成27年度に向けた展望> 新年度は医療機器安全管理分科会の取り組みで、医療機器に係る医療機器安全使用のための具体的方策などについて立案し、より良い医療機器安全管理運用を行ってまいります。		

実績報告資料等



広報委員会

委員会名	広報委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	10 名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	知念政治
委員名	【医 局】久場良也、嘉川春生 【看護部】中野久乃 【医療技術部】伊藤昌徳 【事務部】吉川 忍、比嘉康文、宮城克己、砂川直樹、知念政治、仲田尚正		
活動目的	1) 院内の現状、新規業務などをホームページや広報誌、新聞等を通じて院外に PR する。 2) 院内の情報を収集・審議し、広報方針を決定する。 3) 広報・広告関連予算を審議し、理事会へ提案する。 4) 院内における掲示物などに関して、規定を作成する。		
活動内容	企画室広報係より事業に関する広報・広告活動を提起し他職種で検討を行う。法律や条例、各評価機関の定めに従った情報提供。		
備考			

年報作成委員会

委員会名	年報作成委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	12 名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	知念政治
委員名	【医 局】奥島憲彦、嘉川春生、菅野善一郎 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】仲座義富、屋宜伸春 【事務部】當銘秀之、宮城映子、大城ますみ、仲松 泉、田河美智代、新垣優子、知念政治、仲田尚正		
活動目的	病院年報の企画・データ収集・作成およびそれらのデータ保全。		
活動内容	病院年報の企画・データ収集・作成。 各科実績報告会の企画・運営。		
備考			

手術室運営委員会

委員会名	手術室運営委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	33 名
事務局・担当部署	手術室	担当者名	比嘉憲貴
委員名	【医 局】奥島憲彦、西原 実、宮平 工、花城直次、阿嘉裕之、国吉史雄、白石牧子、澤岨安勝、中川 裕、松元 悟、渡慶次学、久保田徹也、川越得弘、立花真理、武田 理、大西 勉、喜久本藍、山本祐介、嘉川春生、末吉健次、上笹 航、照屋明子、親川 格、東盛貴光、近藤俊輔、平良直也、狩俣かおり、宮城 敬、山入端 敦、折田 均、城間丈二、嘉手刈由利、釜野武志		
活動目的	手術を安全に、確実に遂行していくためには手術室の円滑な運営が大切であり、病院の管理体制・職員・設備などをふまえ、効率よく管理運営される事を目的とする。		
活動内容	月1回。 ここでは手術スケジュールの調整に関する事、手術室の安全管理・感染管理に関する事、設備に関する事、機器の保守点検・新規購入等について協議し、その時々の問題解決機関となる。議事録は別ファイル「手術室運営会議録」に保管する。		
備考			

安全管理委員会（台風対策委員会）

委員会名	安全管理委員会（台風対策委員会）		
委員長名	松元 悟	構成人数	6 名
事務局・担当部署		担当者名	當銘秀之
委員名	【医 局】松元 悟、久場良也、普天間光彦 【医療技術部】宮城竜也 【看護部】西銘宣子 【事務部】當銘秀之		
活動目的	1. コンディション発令（台風対策）の有無、病院診療及び、職員出勤の有無などを検討し決定する。 2. コンディション解除の日時を検討し、病院診療時間および職員出勤時間などを決定する。		
活動内容	1. コンディション発令時刻の決定 2. コンディション解除時刻の決定 3. 診療時間の決定 通常診療休診の決定 通常診療開始の決定 4. 委員会開催日時の決定		
備考			

ICU・救急検討委員会

委員会名	救急・ICU 検討委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	19 名
事務局・担当部署	救急外来	担当者名	内間幸人
委員名	【医 局】久場良也、佐久川 廣、與座 一、西原 実、末吉健次、嘉川春生、城間丈二、普天間光彦、平良直也、安里義秀、大西 勉、武田 理、照屋明子、銘苅正、三戸正人 【看護部】仲地ますみ、内間幸人、安村公均、粟盛信子		
活動目的	救急外来、ICU の運営上の諸問題、搬送患者の取り扱い、感染問題、治療実績、地域消防との連携、勉強会の開催等		
活動内容	1) BLS コース企画、運営 2) ICLS コース企画、運営 3) 救急、災害フェアへの参加（地域消防との連携により近隣のショッピングセンターにおいて BLS 講習会を実施）		
備考			

実績報告資料等

平成 27 年度 目標 - 院内BLS・ICLSの継続実施 - 院外での救急啓蒙活動の推進 - 災害対策の推進 - 院内急変対応シュミレーションの実施

図書委員会

委員会名	図書委員会		
委員長名	宮平 工	構成人数	5 名
事務局・担当部署	総務課・図書係	担当者名	宮城映子
委員名	【医 局】宮平 工 【看護部】西銘 宣子 【医療技術部】石原 悟 【事務部】比嘉 靖、宮城映子		
活動目的	ハートライフ病院図書室の適正な管理運営をはかるため必要な事項等を審議検討することを目的とす。		
活動内容	図書委員会活動：委員長が招集し年 2 回開催。（4 月・10 月） 広報活動：「図書だより」を毎月 1 回発行し、院内各部署および他病院図書室などに配布。年 1 回所蔵目録の作成。		
備考			

実績報告資料等

ハートライフ病院図書室 概要

- 開室時間：月～金 8:30～21:00 土 8:30～18:00
（※担当者入室 平日8:30～17:30）
*24時間利用可能
- 蔵 書 数：和書 2376冊、洋書 136冊
- 購読雑誌数：和雑誌 72誌
洋雑誌 30誌
- データベース：医中記Web、PubMed、UpToDate、メディカルオンライン
- 視聴覚資料：DVD57本、ビデオ72本 CD-ROM 13本
- 機器の利用：パソコン3台、プリンター1台、視聴用DVD/ビデオ1台
- 図書室サービス：文献検索、文献複写依頼、図書購入手続



ハートライフ病院図書委員会

図書室業務実績(平成26年度)

文献複写依頼	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
医 局	247	780	389	307	547
看護部	119	40	20	57	35
コ・メディカル	4	3	1	61	13
事務部	0	1	5	4	1
クリニック等4の機関			75	312	97
その他(院外)	0	5	5	0	0
小 計	370	829	495	741	693
メディカルオンライン (更新サービス・20001～20002)	4706	5174	7070	6053	7063
視聴覚資料の依頼	187	259	289	154	179

受入資料	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
和雑誌(冊数)	72	75	66	72	74
洋雑誌(冊数)	32	33	34	30	30
図書(書籍)	169	179	240	151	183

人事検討委員会

委員会名	人事検討委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	4 名
事務局・担当部署	事務部長	担当者名	當銘秀之
委員名	【医 局】奥島憲彦 【看護部】西銘宣子 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】當銘秀之		
活動目的	1. 医療の質、向上に寄与するための人材確保 2. 各部門の現状把握・分析をし、適正人員及び適正人件費を検討し経営に寄与する。 3. 職員の採用（増員・補充・異動、その他）は人事検討委員会を通して検討する。増員・補充に関しては理事会の承認を得る。 4. 昇進人事を検討し理事会へ提案する。 5. 業務委託の検討		
活動内容	平成 26 年度人事検討委員会開催回数 15 回。承認された事案は理事会で審議され決定されます。主な審議内容は①昇進人事②業務拡張に伴う増員③退職・産休に伴う補充④時給・資格手当・等級表の見直しなどがあります。 平成 26 年度は 55 の職種で募集を行い 181 名入職しました。		
備考	人事検討委員会に提出する事案には、部署体制図を必ず添付するようお願いします。		

実績報告資料等



人事検討委員会

開催日：毎月 第1月曜日

平成26年度人事検討委員会開催回数15回。
委員は院長・看護部長・医療技術部長・事務部長 の4名。
承認された事案は**理事会で審議され決定**されます。
主な審議内容は ①昇進人事 ②業務拡張に伴う増員
③退職・産休に伴う補充 ④時給・資格手当・等級表の見直し
などがあります。
平成26年度は 55 の職種で募集を行い、181名入職しました。
人事検討委員会へ提出する議案には、部署体制図を必ず添付
するようお願いします。

教育研修管理委員会

委員会名	教育研修管理委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	5 名
事務局・担当部署	看護部、副部長	担当者名	仲地ますみ
委員名	【医 局】久場良也、普天間光彦 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】後原保光		
活動目的	医療・看護・医療技術、組織管理・運営、患者接遇、医療連携（ネットワーク）、IT 等に関する教育・研修を充実させ、人材の育成と医療レベルの標準化・向上に寄与する。		
活動内容	1) 病院全体の教育・研修実施状況について以下を把握する。 ①年間計画と実績 ②各部門の教育・研修の現状 ③学会発表、参加状況 ④研修会（講習会）への参加状況 ⑤研修後の報告の有無 ※①～⑤については、各部門、委員会、チーム責任者で推進し、実施と評価を行うものとする 2) 外部からの研修（実習）実績の集約 3) その他		
備考			

実績報告資料等

【実習・研修受け入れ状況】			
医師卒後臨床研修	53	初期研修 42 後期研修 11	
看護学生臨床実習		沖縄看護専門学校 125 ぐしかわ看護学校 46 北部看護学校 8 名桜大学看護学科 30 福岡看護専門学校 78	309
医療技術関連実習	173	医学生 135 リハビリ 19 臨床工学士 2 事務系 17	
救急救命士臨床実習	71	中部地区MC 28 他消防 42 学生 1	

平成26年度院内講演会・研修実施状況

内 容	実施件数	参加者(人)
医療安全	2	207
院内感染対策	3	394
B L S 講習会	12	108
教育	31	1355
発表・報告会	9	946
教養・その他	14	882
計	71	3892

診療材料等管理検討委員会

委員会名	診療材料等管理検討委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	17 名
事務局・担当部署	用度課	担当者名	諸見里和也
委員名	【医 局】久場良也、松元 悟 【看護部】仲地ますみ、諸喜田久美、屋良ちえみ、竹本直美、米須智子、比嘉 暢、宮平典子、内間幸人、中野久乃、安村公均、宮城つかさ 【医療技術部】神谷乗敏、大城 安、宮城竜也 【事務部】諸見里和也		
活動目的	診療材料等に関する方針および懸案事項を審議、調整する。		
活動内容	1) 診療材料・医療消耗品等に係る方針に関すること。 2) 購買管理・在庫管理・使用管理に関すること。 3) 発注事務等の改善に関すること。 4) 職員教育及び啓蒙に関すること。 5) 前各号に定めるものの他、理事長が必要と認める事項。		
備考			

実績報告資料等

平成26年度 診療材料検討委員会年間審議実績

委員会申請審議件名	申請部署	現状使用材料	変更・新規採用材料	備考
リハ 浮腫ケア材料	外科外来	新規採用	エラスムス・アーティファクトス など	入院1部院保管材料 100点
目まわりさん採用の件	内科棟	アムコン液・眼薬液・滅菌シート	目まわりさん	現在単価より安価
スハイタル針の採用の件	用度	バルネスハイタル針各サイズ	トップスハイタル針各サイズ	現在単価より安価
練習針からセーファー針へ変更の件	TQM	練習針各サイズ	セーファー針各サイズ	使用状況多いNo.11のみ採用
酒精綿(イソパノール主成分)採用の件	TQM	なし	アルウエティ	アルコールによる皮膚トラブルを防ぐ為
コーラス・フェイスシート 変更の件	TQM	フェイスシート 35x27	フェイスシート (36x42)・アイウェア	現在単価より安価
フロコファイン・開孔剤-新規採用に伴	ICU	なし	タフアルスイハール各35x27	フロコ挿入に適して他社より安価である。
アラブテック新規採用の件	形成・東証	なし	アラブテックファンダートレッシング	保険償還 ¥326
エスアイエイトメッシュ	形成・東証	なし	エスアイエイトメッシュ 3号	ハット療法のみで使用
CF用検査直食の採用	内視鏡	クリアスルー	テリシア	現在単価より安価
強性スポンジ 変更の件	内科棟	ファイナセート	アンスル・プロJ	現在単価より安価
吸引針・ナールの変更の件	用度	ナール吸引針・ナール各サイズ	トップ 吸引針・ナール各サイズ	年間 ¥382,804削減
ナーク・イサクションナールの変更の件	用度	ナーク・イサクションナール各サイズ	ニ2 吸引針・ナール各サイズ	年間 ¥127,875削減
ハイトプロックの変更の件	用度	ハイトプロック未滅菌	滅菌ハイトプロック	滅菌済で安価
閉鎖式延長チューブ採用の件	TQM	開放型ロー式延長チューブ	Qサ仕延長チューブ	感染リスクの減少
セーフロ-留置針の変更の件	TQM・用度	ナールセーフロ-フラッシュ各サイズ	イントロロン各サイズ	年間 ¥561,600削減

物品購入検討委員会

委員会名	物品購入検討委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	10 名
事務局・担当部署	用度課	担当者名	宮里 毅
委員名	【医 局】松元 悟、久場良也 【看護部】西銘宣子、中野久乃 【医療技術部】神谷乗敏、宮城竜也、大城 安 【事務部】當銘秀之、宮里 毅、伊集 準		
活動目的	診療・業務レベルの維持向上、療養及び就業環境の充実の為、経済効率も加味した適正な物品の購入を検討し、理事会に呈示する。		
活動内容	1) 良質で安全・安価な物品購入がなされているか監督する。 2) 効率的物品管理がなされているか監督する。 3) 物品購入は、各年度の予算内とする。		
備考			

実績報告資料等

平成26年度 物品購入委員会年間審議実績		
委員会申請物品		申請部署
①	MRIの購入	臨床検査科
②	MRI用サーバーハード	臨床検査科
③	MRI仮設通路工事	臨床検査科
④	MRI搭載車仮設電気工事	臨床検査科
⑤	MRI搭載車レンタル代	臨床検査科
⑥	病棟ベッド	管財課
⑦	デジタル画像用顕微鏡	救急外来
⑧	CPM	3階病棟
⑨	Windows XP交換用PC	IT推進委員会
⑩	ストリットランプ購入	眼 科
⑪	ストリットランプ用CCDカメラ購入	眼 科
⑫	超音波診断装置のアップグレード	産婦人科
⑬	薬品用冷蔵庫の買い替え(5台)	薬局
⑭	水道総合運用管理システム導入(食堂とまと)	施設係
⑮	A・B粉末剤自動溶解装置買い替え	臨床工学科
⑯	DMAT標準資機材の購入について	企画室
⑰	術中迅速病理凍結標本作成機器の買い替え	臨床検査科
⑱	カメラシステム買い替え	OR
⑲	センチネルリンパ節生検用ガンマプローブ購入	乳腺外来
⑳	VISERA ヒステロビデオスコープ破損修理	産婦人科外来
㉑	1階内科待合屋上防水工事	施設係
㉒	薬局改修工事	薬 局
㉓	プレジジョン骨鋸ハンドピース購入	整形外科
㉔	DMAT資機材購入	企画室
㉕	超音波診断装置用経腔プローブ購入	産婦人科
㉖	電動トータルサージカルシステムの購入	形成外科
㉗	医局改修工事	施設係
㉘	X線ポータブルレントゲン装置	放射線科
㉙	CS空調機取り換え	CS
㉚	経理会計ソフト入れ替え	経理課
㉛	氷蓄熱システム制御弁漏水修理	施設係
㉜	システム生物顕微鏡	臨床検査科
㉝	蛇腹洗浄機の買い替え	CS
㉞	血液ガスシステムの修理	ICU
㉟	正面玄関側遊歩道補修工事	施設係
㊱	呼吸NO測定装置(ナイックスマイノ)購入	医 局
㊲	経皮還流圧・経皮的酸素分圧測定機購入	形成外科
㊳	耳鼻咽喉科手術用顕微鏡システム	院長
㊴	NIMセット購入	院長
㊵	クロスファイヤーコンソール・ハンドピース買い替え	整形外科
㊶	超音波診断装置プローベ買い替え	臨床検査科
㊷	電子カルテ用ウィルス対策ソフトのライセンス更新	IT推進委員会
㊸	ポータブル眼圧測定機購入	眼 科
㊹	ポータブルスリットランプ買い替え	眼 科
㊺	吸引機の購入	看護部
㊻	経鼻細径内視鏡・経口内視鏡購入	内視鏡・予防医学
㊼	形成外科手術用顕微鏡システムの購入	形成外科
㊽	関節鏡下手術機器の購入	整形外科・OP室
㊾	除細動器の買い替え	7階病棟

ワークライフバランス委員会

委員会名	ワークライフバランス委員会		
委員長名	比嘉 靖	構成人数	8 名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	比嘉 靖
委員名	【事務部】當銘秀之、後原保光、比嘉 靖、仲地智俊、吉川 忍、安里 竜、比嘉康文、富里 等		
活動目的	全職員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進する		
活動内容	●医師の勤務負担軽減（医師勤務実績表を作成し当直明け休日を推進） ●「沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業」認証の取得 (H26.4) ●職員満足度調査（H26.11）衛生委員会と共同 ●事務部 月次時間外勤務比較 ●就業規則変更提案「二重就職の禁止」 ●36協定の順守		
備考			

実績報告資料等



ワーク・ライフ・バランス企業認証の認証式の様子

患者サポート委員会

委員会名	患者サポート委員会		
委員長名	西原実	構成人数	8 名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	奥平藤也 / 西田悠希子
委員名	【医局】 西原 実 【医療技術部】 仲座義富 【看護部】 玉城秀美、池村久美子 【事務部】 宮城 淳、吉川忍、奥平藤也、西田悠希子		
活動目的	1. 医療従事者と患者等との円滑なコミュニケーションを図る 2. 患者等の不安に寄り添い、入院生活を支援する 3. 患者サポート相談窓口担当者及び各部門の担当者等が患者等からの相談を円滑に実施できるよう支援する。		
活動内容	1. 開催日 毎週火曜日 16 時から 17 時（平成 26 年度計 44 回（通算 133 回）実施） 2. 場所 3 階第 1 会議室（毎月第 3 週は 2 階講堂）		
	（1）主な議事内容の分類（述べ件数、平成 26 年度）		
	医師の説明・対応		23
	治療		5
	接遇・配慮		15
	診療体制		2
	受診・入院対応		6
	医療費・診断書		8
	組織上の問題		9
	本委員会体制		10
その他		7	
計		85	
	（2）本委員会に寄せられた事例から、提案・改善に至ったもの ・相談窓口の案内板を作成…患者さんより窓口が分かりにくいのご意見から ・メディエーター研修への参加要請…院内のメディエーター養成研修修了者は現在 28 人 ・成年後見人制度利用目的の診断書に関する窓口の対応の検討…担当部署へ対応を依頼し、窓口対応のマニュアルが作成された ・患者さんの照会（問い合わせ）の対応マニュアルの検討…担当部署へ依頼し、院内で統一したマニュアルが作成された ・患者サポートカンファレンスを開催し、現場にフィードバックすることで、当委員会への相談は減少。現場で対応、解決する事例が増加したことが考えられる		
備考			

QI 委員会

委員会名	QI 委員会		
委員長名	奥島 憲彦	構成人数	11 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
委員名	【医局】奥島憲彦、末吉健次、平良直也、高良 誠 【看護部】玉城秀美、嘉数智子、中野 久乃（平成 26 年 11 月より玉城秀美と交代） 【事務部】柳 学、安里 竜、田中淳也、大城克枝、知念政治		
活動目的	当院は 2012 年度、2013 年度に引き続き日本病院会主催の「QI プロジェクト 2014」に参加しております。QI（Quality Indicator）とは「医療の質の指標」を意味しています。標準的な診療が行われているか、その実施率等を数値化し客観的に評価して「医療の質改善」繋げていくことを目的としております。		
活動内容	下記 25 項目の臨床指標データの収集。 1. 患者満足度（外来患者） 2. 患者満足度（入院患者） 3. 死亡退院患者率 4a. 入院患者の転倒・転落発生率・4b. 入院患者の転倒・転落による損傷発生率（レベル 2 以上）・4c. 入院患者の転倒・転落による損傷発生率（レベル 4 以上） 5. 褥瘡発生率 6. 紹介率 7. 逆紹介率 8. 尿道留置カテーテル使用率 9. 救急車・ホットラインの応需率 10. 特定術式における手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率 11. 特定術式における術後 24 時間（心臓手術は 48 時間）以内の予防的抗菌薬投与停止率 12. 糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c（NGSP）＜ 7.0％ 13. 退院後 6 週間以内の救急医療入院率 14. 急性心筋梗塞患者における入院後早期アスピリン投与割合 15. 急性心筋梗塞患者における退院時アスピリン投与割合 16. 急性心筋梗塞患者における退院時βブロッカー投与割合 17. 急性心筋梗塞患者における退院時スタチン投与割合 18. 急性心筋梗塞患者患者における退院時の ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合 19. 急性心筋梗塞患者における ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合 20. 脳卒中患者のうち第 2 病日までに抗血栓治療を受けた患者の割合 21. 脳卒中患者の退院時、抗血小板薬を処方した割合 22. 心房細動を診断された脳卒中患者への退院時の抗凝固薬の処方 23. 脳梗塞における入院後早期リハビリ実施症例の割合 24. 喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合 25. 入院中にステロイドの経口・静注処方された小児喘息患者の割合		
備考			

災害対策委員会

委員会名	災害対策委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	9 名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	比嘉 靖
委員名	【医局】久場良也、西原 実、三戸正人 【看護部】仲地ますみ、内間幸人 【医療技術部】田中健嗣 【事務部】比嘉 靖、比嘉康文、宮里 毅(防災管理者)		
活動目的	災害発生時、来院する多数の傷病者に対し、迅速・的確に対応し適切な災害医療を提供することを目的とする。		
活動内容	マニュアル作成、火災訓練、大規模災害訓練アクションカード検討・作成		
備考			

災害マニュアル作成委員会

委員会名	災害マニュアル作成委員会		
委員長名	比嘉 靖	構成人数	13 名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	比嘉 康文
委員名	【医局】久場良也(副委員長)、西原 実 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】大城 安、玉城義彦、田中健嗣 【事務部】比嘉 靖、吉川 忍、柳 学、比嘉康文、金城 司、砂川直樹		
活動目的	災害対応を行うにあたり、明確な指揮命令系統のもと情報伝達を通して状況を的確に評価し行動へと結びつけることを目的とする。		
活動内容	災害マニュアル(平成 26 年度改訂版)作成、BCP(事業継続計画)検討、アクションカード作成(火災)		
備考			

災害訓練実施委員会

委員会名	災害訓練実施委員会		
委員長名	三戸正人	構成人数	13 名
事務局・担当部署	救急外来	担当者名	内間幸人
委員名	【医局】久場良也、三戸正人 【看護部】内間幸人(副委員長)、仲地ますみ、外間真紀子、安村公均、宮平典子 【医療技術部】野原 剛、大城盛寛 【事務部】後原保光、吉川 忍、宮城 淳、比屋根 宗		
活動目的	大規模災害による多数傷病者発生を想定した訓練や院内での火災発生を想定した訓練などを通して、災害対策マニュアルとアクションカードを活用し、災害時の対応を効果的に行うとともに、病院スタッフの防災意識の醸成を図ることを目的とする。		
活動内容	・平成 26 年 9 月 5 日に院内火災練実施 ・平成 27 年 3 月 7 日に大規模災害発生による多数傷病者発生時の受け入れ訓練及び病院避難の訓練実施 ・第 6・7 回沖縄 MCLS 標準コースへ病院スタッフ 3 名(看護部：2 名 医療技術部：1 名)受講		
備考			

防災物品購入委員会

委員会名	防災物品購入委員会		
委員長名	宮里 毅	構成人数	8 名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	宮里 毅
委員名	【医局】久場良也 【看護部】内間幸人 【医療技術部】田中健嗣(副委員長)、久場徳子 【事務部】比嘉 靖、比嘉 康文、比屋根斉		
活動目的	震災時に必要な薬品・診療材料・備品などの準備、即対応できる体制、物品の備蓄量、搬出方法などを検討する。		
活動内容	避難用ストレッチャーの検討		
備考			

増改築検討委員会

委員会名	増改築検討委員会		
委員長名	奥島 憲彦	構成人数	15 名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	後原 保光
委員名	【医局】、松元 悟、久場 良也、佐久川 廣、西原 実、山本 壽一、與座 一、普天間 光彦 【看護部】仲地 ますみ 【医療技術部】宮城 竜也 【事務部】當銘 秀之、宮里 毅、新川 進、後原 保光、安里 竜		
活動目的	増改築計画の立案および関連する内容の検討・調整		
活動内容	毎週水曜日開催		
備考			

かりゆし会の 1 年



救急症例検討会

総合防災訓練

納会

餅つき大会

大規模災害時対応訓練

研修医パーティ

講演会
離島医療はおもしろい！
隠岐広域連合立隠岐島前病院
院長 白石 吉彦 先生

総合防災訓練

役職者対象メンタルヘルス研修会

領域研修がん化学療法看護

地域医療連携懇談会

9月

11月

小児勉強会

院内CPC

院内研究発表会事務部予選

化学療法勉強会院外講演

薬業連携合同勉強会テーマ：レビー小体型認知症

看護部領域別研修：呼吸

看護部中堅看護師研修

院内研究発表会（本選）

講演会：ポケットエコーは聴診器の仲間＋α
（総合診療 イノベーション）
講師：弘前大学医学部附属病院 総合診療部助手 小林只先生

看護部領域別研修：呼吸

小児勉強会

病棟運営緊急提言説明会

1月

全職員対象メンタルヘルス研修会

2月

化学療法勉強会（秋）

緩和医療勉強会

小児科勉強会

緩和ケア勉強会

3月

HIV講演会

看護部領域別研修：呼吸

医療技術部BLS講習会

研修医修了パーティ

12月

認定看護師活動報告会

看護研修会

第5回緩和ケア勉強会

平成27年

餅つき大会

化学療法勉強会（秋）

院内緩和ケア研修会

看護部領域別研修：呼吸

ハートライフクリニック防災訓練

災害講習会

講演会：コンディショニングでキレイになろう！
講師 有吉 与志恵 先生

講演会：がん研有明病院での乳腺外科専門医研修
講師：がん研有明病院乳腺センター 昭屋 なつき 先生

講演会：がん研有明病院乳腺センターを巡る
講師：がん研有明病院乳腺センター部長 岩瀬 拓士 先生

院内CPC

研修医修了式

個人情報保護法講習会（予防医学センター対象）

化学療法勉強会（秋）

弾性スッキング勉強会

講演会：食物アレルギーの診療 Up to date
あいち小児保健医療総合センター
内科部長兼中央検査部長 伊藤 浩明 先生

講演会：食物アレルギーの診療における栄養士の役割
あいち小児保健医療総合センター
栄養士 榎村 春江 先生

講演会：医療スタッフのためのわかりやすい
日本版敗血症診療ガイドライン
講師：千葉大学大学院医学研究院
救急集中治療医学 織田 成人 先生

領域研修（がん化学療法看護）

院内研究発表会医療技術部予選

院内研究発表会看護部予選

講演会：私にとっての医療
国境なき医師団の医療活動経験より
講師：桑名市総合医療センター／桑名東医療センター
手術室部長・研修管理委員長 久留宮 隆 先生

10月

小児勉強会

第4回緩和ケア勉強会

領域研修がん化学療法看護

DMA研修と訓練伝達講習会

講演会：口から始まるQOLの向上について
講師：琉球大学大学院医学研究科顎顔面口腔機能再建学講座
教授 新崎 章 先生

【講演】健康増進講演会
有吉 与志恵 先生

全島縦断駅伝

【講演】Positiveな在宅・終末期ケアを
ど田舎の診療所から発信する
東條 環樹 先生

【講演】国境なき医師団 私にとっての医療
久留宮 隆 先生

白石先生の出前講座

中部合同カンファレンス



平成26年度 20年勤続者

かりゆし会に入職して 20 年。仲間とともに地域の皆様のお役に立てるよう努力して参りました。沖縄県医師会平成 26 年度永年勤続医療従事者表彰を受けた 14 名をご紹介します。



西 2 病棟 東 初美

これまで勤務を続けてこれた事は周りの家族・スタッフの方々の支えがあつてのことだと思っています。

これからも感謝の思いを忘れず努めていきたいと思っています。



放射線科 石原 悟

平成 5 年 9 月に入職し 20 年間と長く元気で勤めることができたのも諸先生方や同僚、スタッフの皆様の支えがあり頑張つてこられたと感謝しております。ありがとうございます。今後 5 年 10 年とあつという間に時が経つと思いますが、一日一日を大切に微力ながらも地域から愛される病院に、また、職員がかなさる職場の環境が作られたらいいと思います。今後とも頑張りますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。



予防医学センター 糸数 香織

20 年の勤務中に結婚・出産を経ても続けることのできる環境が整った職場に縁があつて本当に良かったと感じています。これからも長く続けて行けたらいいなと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



臨床工学科 大城 安

入職当初の臨床工学技士は主に透析、急性期血液浄化療法が業務範囲でしたが、2006 年より医療技術部臨床工学科に組織編成され、現在では代謝部門、医療機器管理部門、循環器部門と業務の範囲を拡大しています。これも周囲のスタッフの皆様のご協力があつてのことと感謝しております。今後よろしくお願いいたします。



臨床検査科 斎藤 辰好

結婚を機に福島から沖縄に来て 20 年が過ぎました。これはハートライフ病院で働き始めて同じ歳月です。丈夫な体に生んでくれた両親、支えてくれる家族、一緒に働くすべてのスタッフに深く感謝したいと思います。



一般外来 島袋 すが子

「勤続 20 年」。言葉にすれば一言ですんてしまいますが、平成 6 年に誕生したスタッフが仲間に加わるとその月日の長さにしみじみします。「笑顔で親切に」今までお世話になった方々へ感謝の気持ちを忘れずにこれからも尽力していきたいと思っています。今後よろしくお願いいたします。



予防医学センター 平良 亮子

お陰様で勤続 20 年を迎えることができました。これまで職員の皆様に支えられ、内視鏡センターでは技師免許を取得し、学会発表などは仕事への自信となりました。予防医学センターでは健康に関することだけでなく、接遇の大切さを学ぶことができました。これからも更に向上心を持って頑張っていきたいと思っています。



5 階病棟 知念 晶子

平成 6 年に入職してから 20 年。あつという間でした。病棟での勤務で患者さんやそのご家族へ十分なケアをしてこられたらどうかと一喜一憂する毎日ですが、忙しさに流されずに向き合ったケアをしていきたいです。



看護部 仲地 ますみ

20 年、長いようで振り返るとあつという間に過ぎた気がします。入職以来、病棟、外来、ICU、救急と看護師として多くのことを学ばせて頂きました。多くの方々の支えがあつて 20 年を過ごすことができた感謝しています。ありがとうございました。



人工透析室 仲松 初美

ハートライフ病院に入職して早いもので 20 年になりました。これまで大きなケガや病気の経験ありません。体力的にも恵まれていたと思います。そして職場環境やスタッフにも恵まれたことがとても良かったことと家族の協力と支えがあったからこそまで頑張ってきたと感謝しています。これからも頑張っていきたいと思います。



7 階病棟 比嘉 勝代

やさしくもあり厳しい上司や思いやりあふれるスタッフに囲まれ、恵まれた環境の中で 20 年間仕事を続けることができたことに感謝します。これからも安心安全な看護を提供できるよう努力したいと思います。



薬局 米蔵 幸美

この 20 年間、公私ともに色々なことがありました。その中で仕事を続けてこられたのも、職場の上司をはじめ周囲の方々のご指導ご協力があったことだと感謝しております。これからも頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



臨床検査科 具志堅 善則



一般外来 城田 玲子

サークル活動

サークル名	平成 26 年度の主な活動
アウトドアサークル	・ キャンプ 5 回 ・ トレッキング 2 回
エクササイズサークル	・ 西原町体育館や吉の浦体育館での練習 計 18 回 ・ 琉大空手道組み手試合
空手	・ 毎週火曜 院内での練習 18 時半～20 時
ゴルフ同好会	・ 院内合同コンペ 2 回 ・ コンペ 2 回
三味線サークル	・ 院内での練習 35 回
写真・絵画サークル	・ 院内への写真の展示作業
テニス	・ IKOI MANDOM CUP2014 ・ 第 57 回病院対抗テニス大会参加 ・ 第 58 回病院対抗テニス大会参加 ・ 吉の浦公園での練習 計 30 回 ・ テニスレッスン
釣りサークル	・ 沖釣り（ケラマ、パヤオ、金武湾） ・ えび捕り ・ いか釣り
バスケットサークル	・ 西原町体育館での月 2 回の練習 計 42 回

サークル名	平成 26 年度の主な活動
バレーボールサークル	・ 第 4 回 331 CUP への参加 ・ 津覇小学校での練習 計 27 回
フットサルサークル	・ 4 月、9 月の病院対抗フットサル大会への参加 ・ フットサルパークでの練習（年計 7 回）
ボーリングサークル	・ 宜野湾ボウルでのサークル活動 計 6 回
マリンスポーツサークル	・ 津堅島日帰りシュノーケル ・ 読谷 SUP 体験 ・ ダイビングツアー ・ 読谷 SUP・シュノーケル
ハートライフランナーズ	・ 新入職員歓迎駅伝 ・ 中部トリムマラソン ・ 那覇マラソン ・ 名護ハーフマラソン ・ 沖縄マラソン ・ 南部トリムマラソン

同好会	
剣道	稽古日 / 毎月第三月曜日 19 時半～20 時半



平成26年度

『院内研究発表会』が行われました

去る11月14日(金)に「平成26年度 院内研究発表会」が行われました。4部門で予選を行う選抜方式で開催され、各部門から予選を勝ち抜いた計12題で本選が行われました。今年は事務部門の運営で開催され、審査員として奥島院長、普天間医局長、西銘看護部長、宮城医療技術部長、當銘事務部長にご参加頂きました。

3時間弱の発表、質疑が行われ見事入賞を果たした参加者は以下の通りです。



1位



看護部 内視鏡センター
國仲 トモ子



2位



事務部 総務課患者送迎係
内間 善一



3位



医療技術部 リハビリテーション科
金城 勝一郎

- 1位 看護部 内視鏡センター 國仲 トモ子さん
「内視鏡における大腸前処置説明の時間短縮を試みて 説明用DVD の作成と活用から」
- 2位 事務部 総務課患者送迎係 内間 善一さん
「患者送迎時のCPA 事例対応における検討・改善報告」
- 3位 医療技術部 リハビリテーション科 金城 勝一郎さん
「当院における廃用症候群患者の動向と早期退院に向けた対策」



ハートライフクリニック 平成 26 年度 年次報告

Annual report of Heartlife Clinic 2014



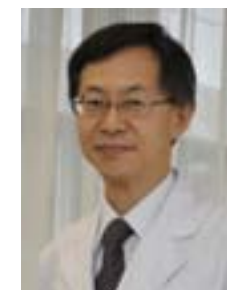
年報発刊によせての挨拶

理念

わたしたちは心と心を結ぶ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 生活習慣病の自立支援
2. 小児プライマリー（初期）医療
3. 地域循環型医療（かかりつけ医との連携）
4. 生活習慣病改善の指導で健康長寿を目指す
5. 研修教育クリニック（地域の医療関係者を含めて）
6. 健全な医療経営
7. 笑顔で親切



ハートライフクリニックが誕生して3回目の年報となりました。開院以来ハートライフクリニックを受診して頂いた患者さんは、初年度の9,006名から翌年の25,398名、平成26年度には32,889名と増加し、動態調査から、西原町>中城村>宜野湾市>南城市>与那原町の順で地域の皆さまにご利用して頂きました。ハートライフ病院が急性疾患の治療を、ハートライフクリニックは地域のプライマリーケアを担う形が出来つつあります。ハートライフ病院スタッフのご協力や法人企画室のアドバイスがあって、クリニックスタッフのパワーが発揮できたものと思われま

す。平成26度の内科は荒川 幸弘 医師を始めとして、循環器内科の仲田 操 医師、安里 哲好理事長にも援助して頂き患者数が大幅に増えました。小児科はハートライフ病院小児科部長の安里 義秀 医師の指導のもとに小児プライマリーケアを实践され近隣町村からの受診が増えました。内科と小児科は平成27年1月から土曜日の診療を始めました。糖尿病内科では重症の紹介患者さんが多く、中部地区医師会での循環医療の一翼を担っています。透析予防チーム医療、フットケア外来、インスリン持続皮下注射療法などの高度な糖尿病医療もおこなっています。土曜日には、糖尿病教室と患者会を開催しています。各科ともそれぞれの特徴を活かした診療を行っています。放射線科、検査科、医事課は最小人数で稼働しているためハートライフ病院からの人的支援のお陰で医療の質が保たれています。本年報ではクリニックの状況がデータとして表現されています。今後とも皆さまのお力添えをお願い申し上げます。

社会医療法人かりゆし会
ハートライフクリニック
院長 山本 壽一

クリニック概要

(平成 26 年 4 月 1 日現在 / データ作成 ハートライフクリニック 野村)

組織概要

施設名
社会医療法人かりゆし会 ハートライフクリニック

所在地
〒 903-0101 沖縄県中頭郡西原町字掛保久 288 番地

連絡先
電話 (098) 882-0810 (代表)
FAX (098) 882-0820
ホームページ <http://www.heartlife.or.jp/clinic/>

管理者一覧
理事長 安 里 哲 好
院 長 山 本 壽 一
事務局長 當 銘 秀 之

施設概要

敷地面積及び建物概要
敷地面積 5,866.90㎡ 建築面積 2,674.97㎡ 延べ床面積 5,959.94㎡
規模構造 鉄筋コンクリート造 地上 2 階建

職員数
総数 49 名

職種別							
(平成 26 年 4 月 1 日現在 / データ作成 ハートライフクリニック 野村)							
職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	2	クラーク	5	臨床心理士	1	その他	5
非常勤医師	13	保育士	1	管理栄養士	2		
看護師	9	臨床検査技師	3	理学療法士	1		
准看護師	1	放射線技師	1	一般事務	5		

指導医・専門医・認定医

(平成 26 年 8 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)			
名称	人数	名称	人数
日本内科学会総合内科専門医	2	日本小児科学会専門医	3
日本内分泌学会指導医	1	日本循環器学会専門医	1
日本糖尿病学会研修指導医	1	日本内科学会指導医	1
日本糖尿病学会専門医	1	日本体育協会公認スポーツドクター	1
日本内科学会認定医	2		

- 指定医療一覧
1. 保険医療機関

2. 生活保護指定医療機関

3. 被爆者一般疾病医療機関

4. 特定疾患治療研究事業医療機関

5. 小児慢性特定疾患治療研究事業医療機関

6. 労災保険指定医療機関

診療体制
標榜診療科目
糖尿病内科・内科・小児科

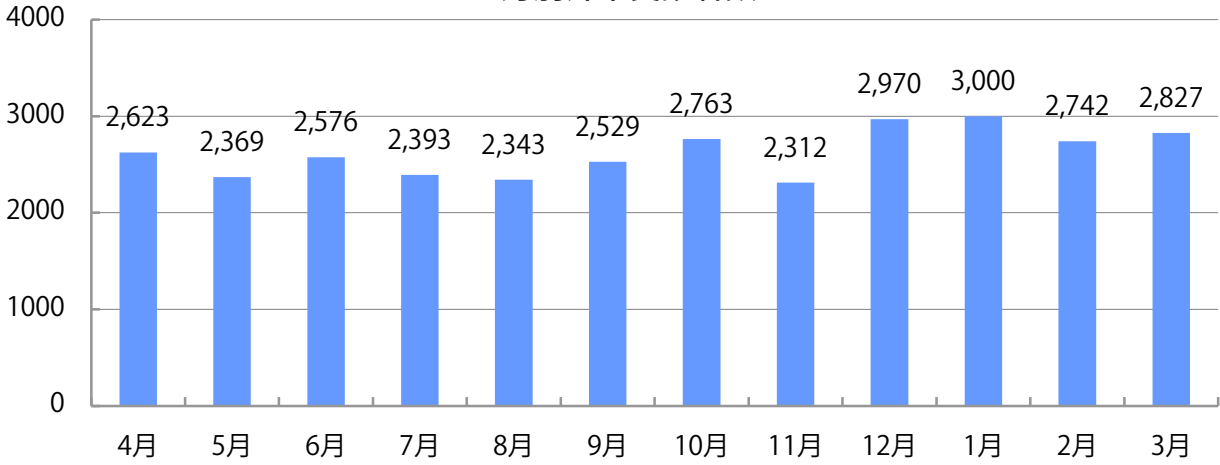
その他、専門外来など
● 禁煙外来

受付時間	診療時間
月曜日～金曜日 午前 8：00～11：30 午後 13：00～16：30	月曜日～金曜日 午前 9：00～12：00 午後 14：00～17：30
＜内科・小児科＞※平成 27 年 1 月より	
土曜日 午前 8：00～11：30	土曜日 午前 9：00～12：00
平成 27 年 1 月 10 日（土）より、内科・小児科の土曜日午前診療を行っています。	

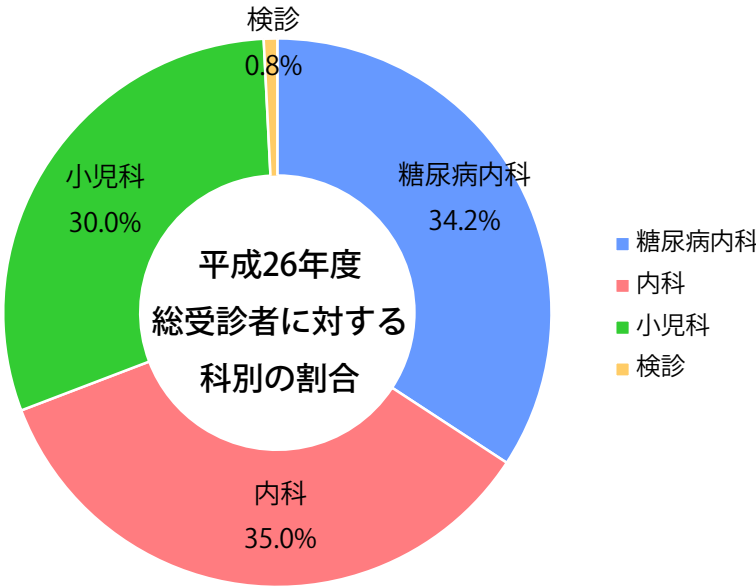
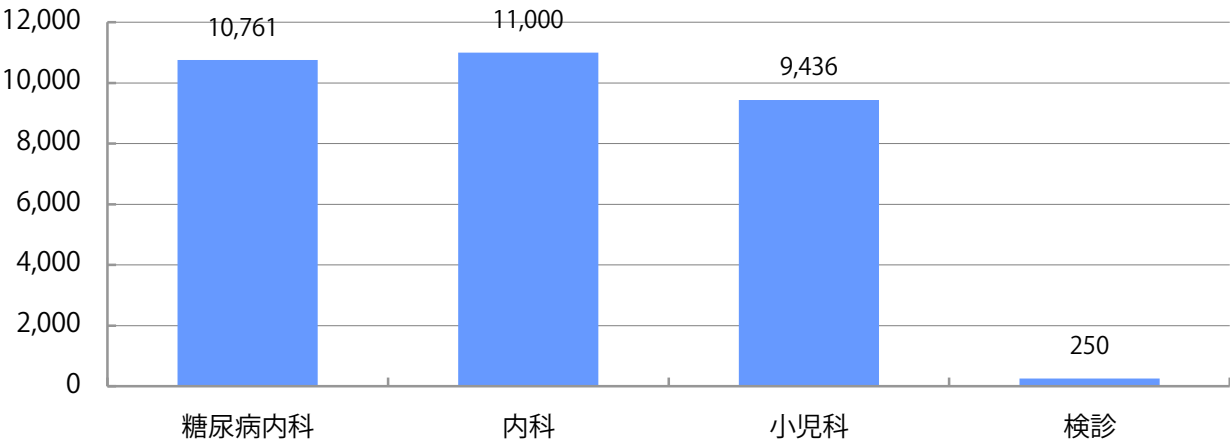
休診日
土曜日午後・日曜日・祝祭日

患者統計

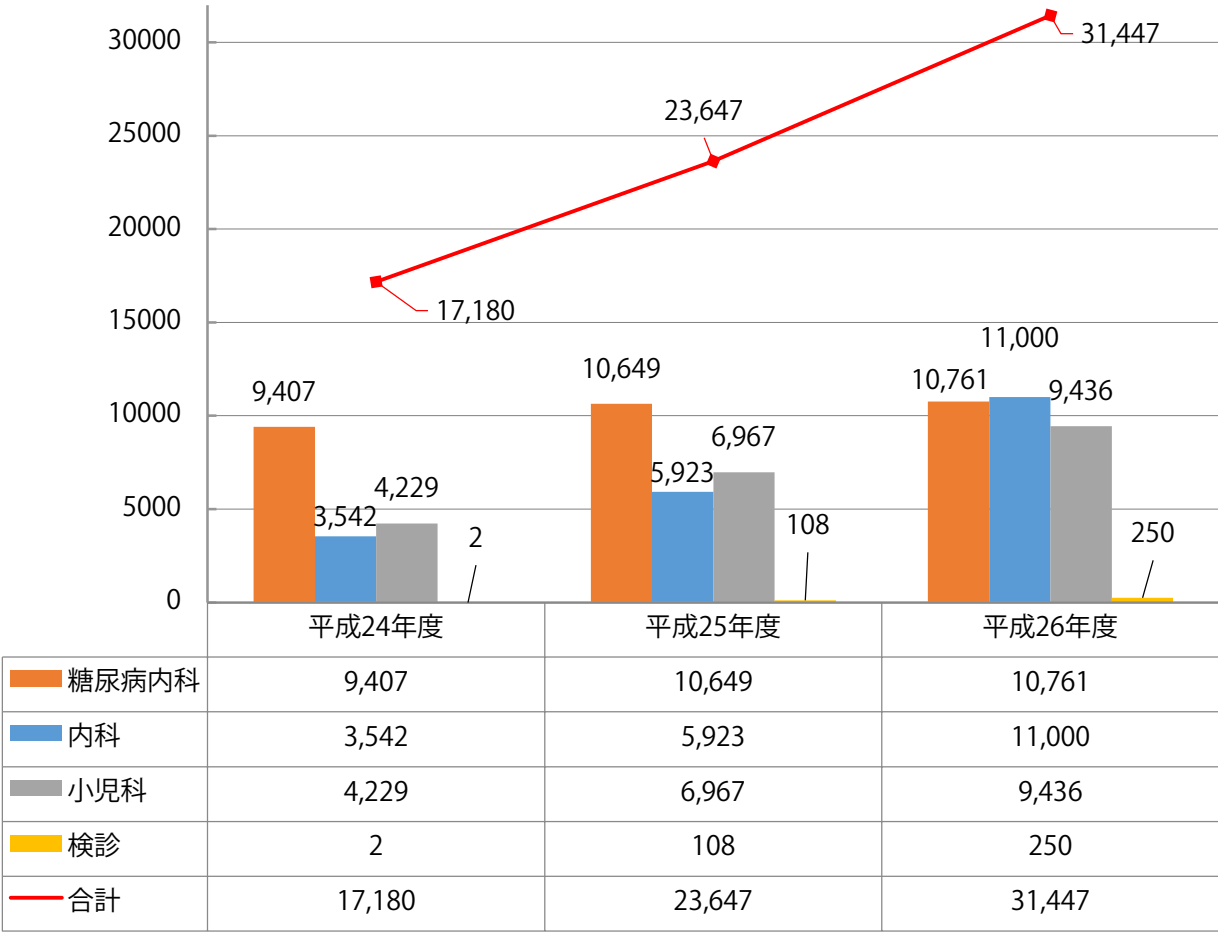
月別外来受診者数



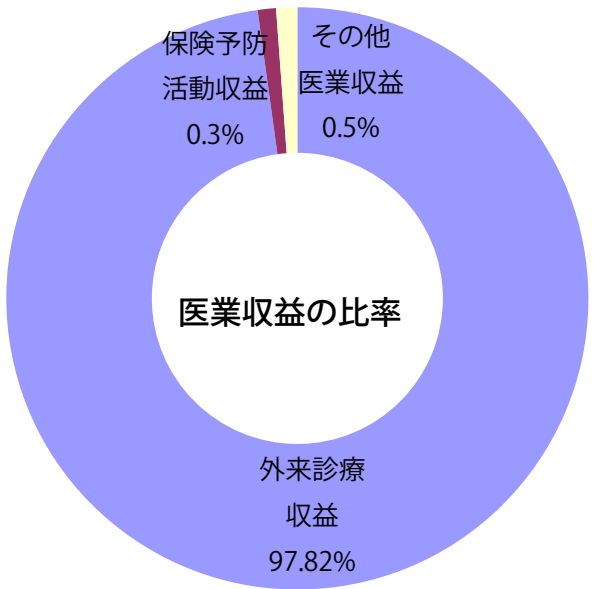
科別受診者数



外来受診者数 年次推移



財務情報



ハートライフクリニック 業務実績

糖尿病内科

院長 山本 壽一

部門紹介

糖尿病内科では、糖尿病を発症された初期の患者さまから、血糖コントロールが難しい重症の糖尿病患者さままで、様々な症状の患者さまの紹介受け入れをしています。最新のインスリンポンプ療法、またインクレチン注射療法も外来ベースで導入しています。合併症対策として、糖尿病性足壊疽を予防するための資格を取得した看護師によるフット外来、腎症の進行を予防するために登録された看護師、管理栄養士と医師による透析予防チーム医療、低血糖の回避として持続皮下血糖モニター CGM を用いた 24 時間 7 日間の血糖コントロール追跡、心理的問題を抱えた患者さまへの臨床心理士による心理面談などを実施しています。療養指導では、看護師、栄養士、検査技師、薬剤師、臨床心理士による外来教育コース、糖尿病患者会活動、1 型糖尿病患者勉強会、日本糖尿病協会ウォークラリーなども担当しています。

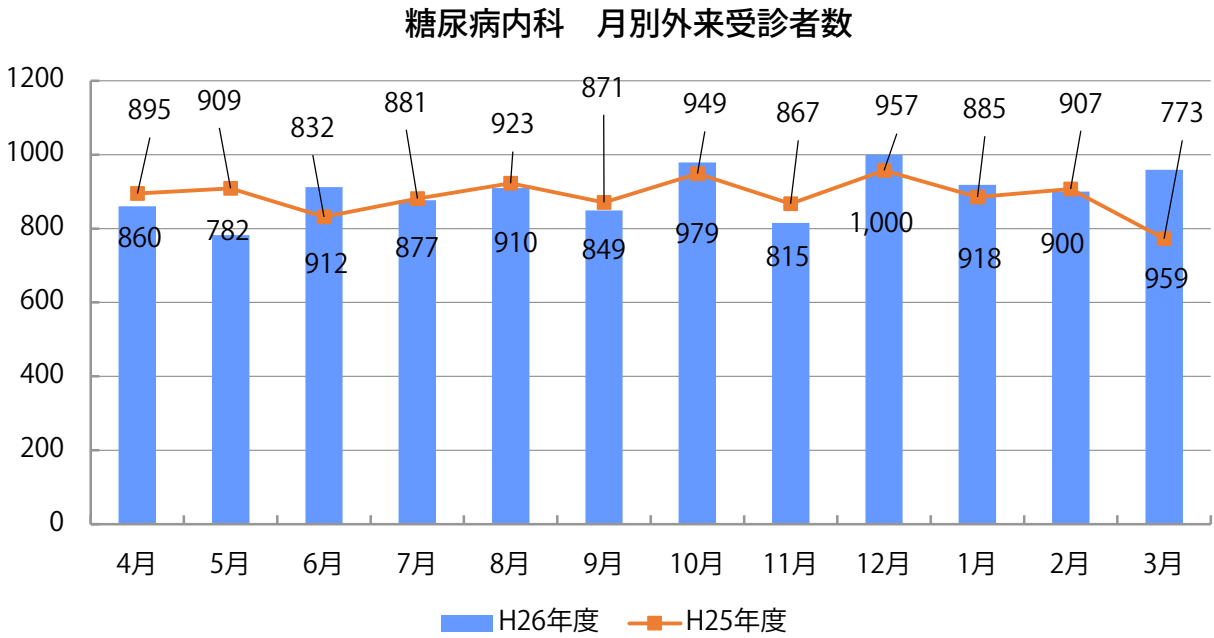
院外活動としては糖尿病学会や研究会での発表や講演、また沖縄県糖尿病療養指導士会への参加や公共施設での糖尿病予防の啓発活動にもスタッフ一同で取り組んでいます。

職員数

総数 17 名

医師	5 名(常勤 1 名 非常勤 4 名)	メディカルクラーク	3 人
看護師	5 名	クラーク	1 名
管理栄養士	2 名		
臨床心理士	1 名		

業務実績



研究業績

学会発表・研究会・講習会等の参加実績

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
糖尿病医療における臨床心理士の役割～ハートライフクリニックでの試み～	第 1 回 沖縄県地域糖尿病療養指導士育成会	南風原町	2014 年 4 月 12 日	大家聡樹
シンポジウム・糖尿病を診る(理解する)	心身医学会		2014 年 5 月 8 日	大家聡樹
糖尿病劇場	第 53 回日本糖尿病学会学術年次総会	大阪府	2014 年 5 月 23 日	山本壽一
糖尿病療養指導で「待つこと」に関するワーク	第 14 回実践的糖尿病教育研修会	大阪府	2014 年 5 月 24 日	山本壽一
座長	CKD 地域連携勉強会	南風原町	2014 年 6 月 3 日	山本壽一
講師	在宅医療に関する県民講座	那覇市	2014 年 7 月 6 日	新垣 優子
初診で困った。どうしよう!看護予診のワーク	平成 26 年度第 4 回中部地区糖尿病標準治療推進委員会講義	北谷町	2014 年 7 月 16 日	山本壽一、久高恵、玉那覇美由紀、西原和恵、大家聡樹
糖尿病患者とのこころの交流をめざして	平成 26 年度第 4 回中部地区糖尿病標準治療推進委員会講義	北谷町	2014 年 7 月 16 日	京都大学大学院教育学研究科教授 皆藤章先生
座長	トレシーバ学術講演会	那覇市	2014 年 7 月 25 日	山本壽一
糖尿病療養指導士の活動と役割	平成 26 年度沖縄県地域糖尿病療養指導士 基礎講習会・認定試験	南風原町	2014 年 7 月 27 日	仲里幸康
糖尿病と心理－医療従事者は糖尿病患者といかに接するべきか－	沖縄県地域糖尿病療養指導士会基礎講習会	南風原町	2014 年 7 月 27 日	山本壽一
栄養士とカフェのお仕事について講話とクッキーアイシング実習	沖縄県 新みんなでグッジョブ運動推進事業 わくわくわーく	西原町	2014 年 7 月 27 日	新垣 優子
医師会ブースにて健康相談・保健指導	県民健康フェア	宜野湾市	2014 年 8 月 17 日	新垣 優子
SMBG データマネジメントを活用した臨床応用	第 11 回 DM クリニックコメディカルセミナー	鹿児島県	2014 年 9 月 20 日	仲里幸康
糖尿病患者の心理と行動	平成 26 年東北地区糖尿病療養指導士講習会	宮城県	2014 年 10 月 18 日	山本壽一
糖尿病患者診療の心理的アプローチ、症例検討会	奥内科医院勉強会	宮城県	2014 年 10 月 18 日	山本壽一
座長	ビクトーザ学術講演会	南風原町	2014 年 10 月 23 日	山本壽一
低血糖調査に基づいた 1 型糖尿病への支援アプローチ	第 52 回日本糖尿病学会九州地方会	熊本県	2014 年 10 月 31 日	西原和枝、玉那覇美幸、久高恵、島袋夕子、長嶺敦司、大家聡樹、野村拓、崎原みち代、山城小百合、山本壽一
「お家で簡単カフェご飯」調理実習	女性のための教養力 up 講座	西原町	2014 年 10 月 31 日	新垣 優子
“CGM アンケート調査”～臨床検査技師の CGM の関わり～	第 49 回九州医学検査学会	宜野湾市	2014 年 11 月 1 日、2 日	仲里幸康、新垣さゆり、野原里枝、宮城汐里
インスリンボールが血糖コントロールに及ぼす影響について	第 52 回日本糖尿病学会九州地方会	熊本市	2014 年 11 月 1 日	山本壽一、玉那覇美幸、久高恵、島袋夕子、西原和枝
座長 セッション：療養のための検査と記録の工夫	第 52 回日本糖尿病学会九州地方会	熊本市	2014 年 11 月 1 日	山本壽一
『糖尿病治療への心理的態度』と『家族の糖尿病治療に対する態度』の関連についての探索的研究	第 51 回日本糖尿病学会九州地方会	宜野湾市	2014 年 11 月 8 日、9 日	大家聡樹
CSII 利用者への看護師の関わり	第 66 回 NDN(南部糖尿病ネットワーク)	八重瀬町	2015 年 1 月 15 日	久高 恵
ハートライフクリニックにおけるフットケアの現状	平成 26 年度中部地区糖尿病標準治療推進委員会推奨講演会	北谷町	2015 年 1 月 28 日	島袋夕子
コミュニケーション	第 2 回 DM Basic Seminar in Okinawa	南風原町	2015 年 2 月 1 日	山本壽一
1 型糖尿病への低血糖対策 ～支援シートを使った説明を試みて～	平成 26 年度中部地区糖尿病標準治療推進委員会推奨講演会	北谷町	2015 年 2 月 26 日	西原和枝
「和仁屋で作った島野菜でまーさむん」調理実習	北中城村字和仁屋自治会	西原町	2015 年 3 月 22 日	新垣 優子

論文著書

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
糖尿病劇場チャレンジ日記、ファシリテーターより	糖尿病ケア	p80、12(2)、2015	山本壽一

雑誌・新聞掲載実績

演題名	媒体名	掲載年・号・頁	寄稿者・取材対象者
朝ごはんを食べよう 「前日のおかず 上手にリメイク」	沖縄タイムスホームプラザ	2014 年 5 月 8 日	新垣優子
朝ごはんを食べよう 「おにぎりとお汁物を組み合わせて」	沖縄タイムスホームプラザ	2014 年 9 月 11 日	新垣優子
朝ごはんを食べよう 「汁物でばかばか」	沖縄タイムスホームプラザ	2015 年 1 月 8 日	新垣優子
「地域特性に応じた腎疾患重症化予防のための生活食事指導の確立 SOFT-J」を終えて	栄養士会だより	2015 年 2 月	新垣優子
栄養士会 25 周年記念誌	「CKD 事業について」	2015 年 3 月	新垣優子
朝ごはんを食べよう 「加熱時間を調整しレンジで楽々」	沖縄タイムスホームプラザ	2015 年 3 月 12 日	新垣優子

テレビ出演

内容	番組名	放送日	寄稿者・取材対象者
キウイフルーツの効能、レシピ紹介	琉球放送 沖縄 BON!!	2014 年 8 月 2 日	新垣優子

患者教育活動

患者会

ハッピーハート会は患者、スタッフで構成されており、糖尿病に対する意識を深めること、また患者さん同士の親睦を図ることを目的としています。

テーマ	担当	開催日	参加人数
ゆんたく会・ゲル・ブワ・ク&音楽会	大家。福治せりな	4 月 26 日	16 人
山本先生の話（何でも聞いてみよう）	山本	6 月 28 日	34 人
心の元気回復&劇	大家・看護師	9 月 27 日	28 人
第 7 回美ら海ウォークラリー	スタッフ・会員	11 月 16 日	23 人
クニックで体を動かそう～運動～	長嶺	1 月 31 日	21 人



■院長の山本による読み合わせ



■患者さんグループワーク

糖尿病教室

糖尿病教室とは、看護師や理学療法士など様々な専門家の講話を通して、糖尿病のセルフケアに役立つ情報や知識を学んでいただいたり、糖尿病の患者さん同士で自分なりのセルフケアの工夫や苦労話を話し合う場を設けるなど、より良いセルフケアを目指そうとするものです。

開催日	テーマ	職種 / 名前	参加人数
4 月 5 日	実践!気軽に運動療法	理学療法士 / 長嶺	12 名
	インスリンの効果を高める?	薬剤師 / 上地	
	知って考えよう!糖尿病	看護師 / 玉那覇	
4 月 12 日	糖尿病の食事について	管理栄養士 / 棚原	17 名
	糖尿病の腎症について	臨床検査技師 / 仲里	
4 月 19 日	あなたの足を見てみよう!	看護師 / 島袋	10 名
	糖尿病とうつ	臨床心理士 / 大家	
5 月	学会発表の為休講		
6 月 7 日	やってみよう!運動療法 ～有酸素運動～	理学療法士 / 長嶺	15 名
	インクレチンって何?インクレチンって何?	薬剤師 / 翁長	
	糖尿病療養のコツ!ベテラン患者さんの声 part1	看護師 / 久高	
6 月 14 日	コレステロールが高いと言われたら	管理栄養士 / 棚原	14 名
	糖尿病の検査について～糖尿病神経障害～	臨床検査技師 / 仲里	
6 月 21 日	糖尿病と網膜症	看護師 / 西原	7 名
	糖尿病と家族	臨床心理士 / 大家	
7 月 5 日	やってみよう!筋力トレーニング	理学療法士 / 長嶺	17 名
	インスリンについて	薬剤師 / 上地	
	糖尿病 考えて実践	看護師 / 玉那覇	
7 月 12 日	糖尿病の食事について	管理栄養士 / 宮城	16 名
	糖尿病の検査について～歯周病～	臨床検査技師 / 仲里	
7 月 19 日	心理テストやってみよう!	臨床心理士 / 大家	6 名
	あなたの足を見てみよう! Part2	看護師 / 島袋	
8 月 16 日	糖尿病の検査について～糖尿病網膜症～	臨床検査技師 / 仲里	12 名
	インスリンを出させるお薬	薬剤師 / 上地	
	糖尿病のあれってホント?ウソ?	看護師 / 久高	
8 月 30 日	ここからみる糖尿病	臨床心理士 / 大家	14 名
	糖尿病の食事について	管理栄養士 / 宮城	
9 月 6 日	やってみよう!ストレッチ編	理学療法士 / 長嶺	
	糖の吸収を遅らせる薬	薬剤師 / 上地	9 名
	糖尿病を理解しよう!	看護師 / 玉那覇	
9 月 13 日	心理テストやってみよう!	臨床心理士 / 大家	5 名
	高血圧の方の食事について	管理栄養士 / 宮城	
10 月 4 日	おススメ運動療法 ～時間がなくても大丈夫～	理学療法士 / 長嶺	15 名
	秋の夜長の睡眠	看護師 / 西原	
10 月 11 日	台風の為休講		
10 月 18 日	糖尿病とうつ	臨床心理士 / 大家	3 名
	糖尿病と足	看護師 / 西原島袋	
11 月 8 日	実践!こんな気軽にいい?運動療法	理学療法士 / 長嶺	15 名
	インスリンの効果を高める薬	薬剤師 / 翁長	
	糖尿病の Q & A あれってホント?ウソ? Part2	看護師 / 久高	
11 月 22 日	糖尿病と家族～理解すること・支えること～	臨床心理士 / 大家	8 名
	糖尿病の食事～摂取カロリー - を計算しよう～	管理栄養士 / 宮城	
12 月 6 日	運動はなぜ糖尿病の基本治療なの?	理学療法士 / 長嶺	10 名
	糖尿病 ありん・くりん	看護師 / 島袋	
12 月 13 日	糖尿病の食事 ～忘年会シ・ズン・カロリーシュミレーションをしてみよう～	管理栄養士 / 宮城	11 名
	どうしよう?クリスマス・忘年会	看護師 / 玉那覇	
12 月 20 日	糖尿病とこころ ～心配事はありませんか?～	臨床心理士 / 大家	6 名
	よく眠れていますか?糖尿病と睡眠	看護師 / 西原	
1 月 10 日	糖尿病の臨床検査総論	臨床検査技師 / 仲里	7 名
	日常生活で気を付ける事について	看護師 / 玉那覇	
1 月 17 日	今日からできる・これならできる 食事療法	管理栄養士 / 宮城	8 名

開催日	テーマ	職種 / 名前	参加人数
	健康食品 ありんくりん	臨床検査技師 / 仲里	
1 月 24 日	糖尿病とうつ ～私ってうつでしょうか？	臨床心理士 / 大家	5 名
	家庭血圧を測定しよう！	看護師 / 西原	
2 月 7 日	やってみよう！運動療法「筋力運動編」	理学療法士 / 長嶺	10 名
	自分の足を見えますか？～糖尿病と足の関係～	看護師 / 島袋	
2 月 14 日	血糖値を測ってみよう！	臨床検査技師 / 仲里	13 名
	糖尿病とこころ	臨床心理士 / 大家	
2 月 21 日	食事「外食・コンビニ・そうざい編」	管理栄養士 / 宮城	14 名
	糖尿病療養のコツ 「私は〇〇で良くなりました」	看護師 / 久高	
3 月 7 日	やってみよう！運動療法「ストレッチ編」 知らずに～体は悲鳴をあげています～	理学療法士 / 長嶺	12 名
	旅行時の備え	薬剤師 / 上地	
	ご存知ですか？シックディールールについて	看護師 / 久高	
3 月 14 日	糖尿病の食事～今日からできる・これならできる 食事療法～	管理栄養士 / 宮城	10 名
	HbA1c について	臨床検査技師 / 仲里	
3 月 28 日	心理テストやってみよう！	臨床心理士 / 大家	7 名
	災害時対策できていますか？	看護師 / 西原	



内科

内科医長 荒川 幸弘

部門紹介

ハートライフクリニックの内科では、高血圧や脂質異常症など生活習慣病のみならず、風邪・胃腸炎・喘息や甲状腺疾患など内科全般に渡って診療をしています

2014 年度は常勤医師が 1 名から 2 名となったこともあり、定期受診の患者数が大幅に増加しました。風邪症状などでの新患の受診も増加がみられ、地域への認知度も向上していると考えられます。

地域糖尿病療養指導士を看護師 2 名が取得しており、今後の糖尿病に対する療養指導の充実も期待できます。金曜日の腎臓内科外来も、受診患者数が昨年度までに比べ増加が見られています。

また 2015 年 1 月からは土曜の外来も開始しており、順調に患者数が増加しつつあります。

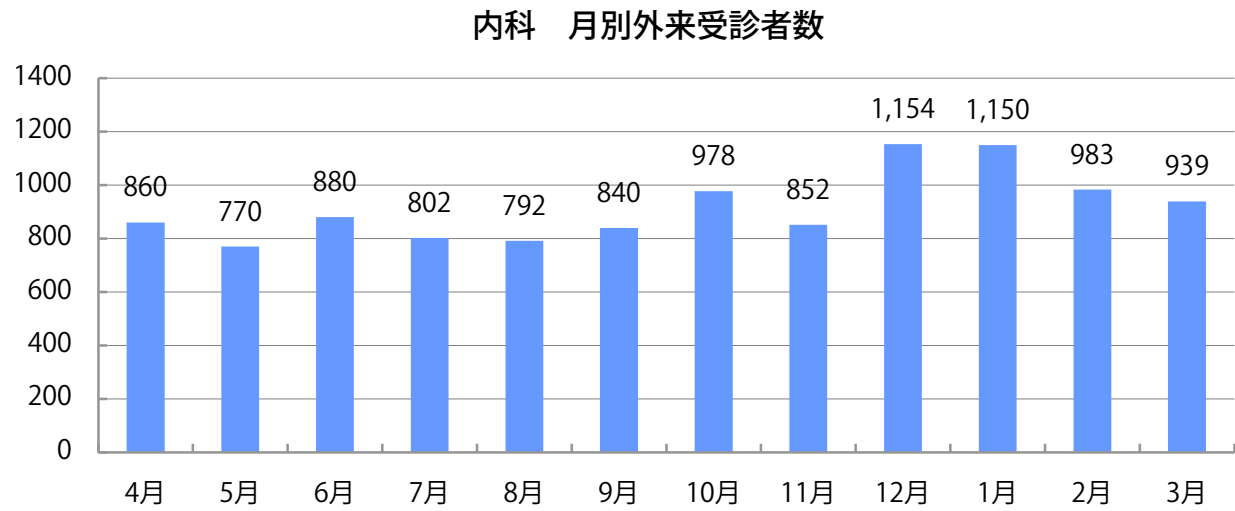
職員数

総数 8 名

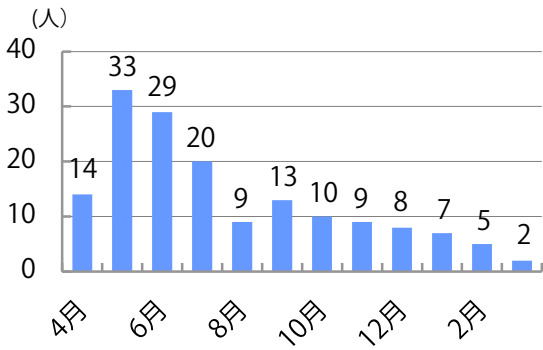
医師 4 名（常勤 2 名 非常勤 2 名） クラーク 1 名

看護師 3 名

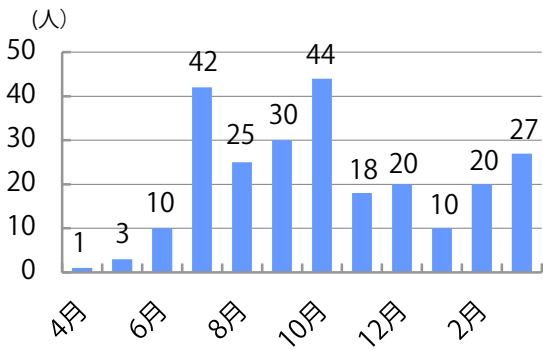
業務実績



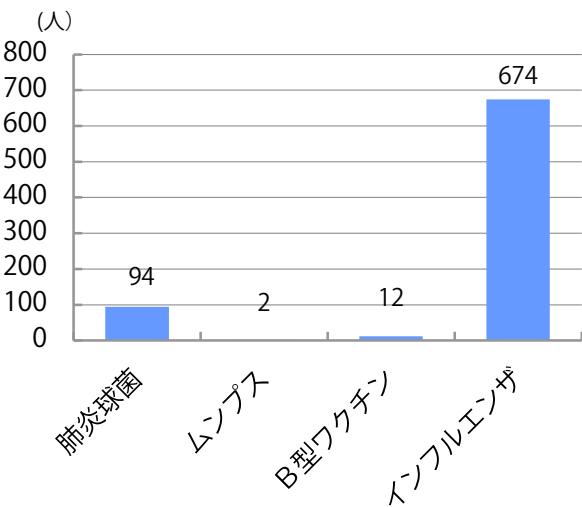
禁煙外来受診者数



特定健診受診者数



予防接種・ワクチン接種実施数



小児科

ハートライフ病院小児科部長 安里 義秀

部門紹介

小児科では一般外来のほかにも、気管支喘息などの慢性疾患の診療も行っております。小児科内の壁面には、可愛らしいおさかなの壁紙を採用し、あがぺ子供造型教室のお子さんたちの絵画やオブジェの写真を掲示しています。お子さんが安心して怖がらずに来院できるような内装に配慮しました。

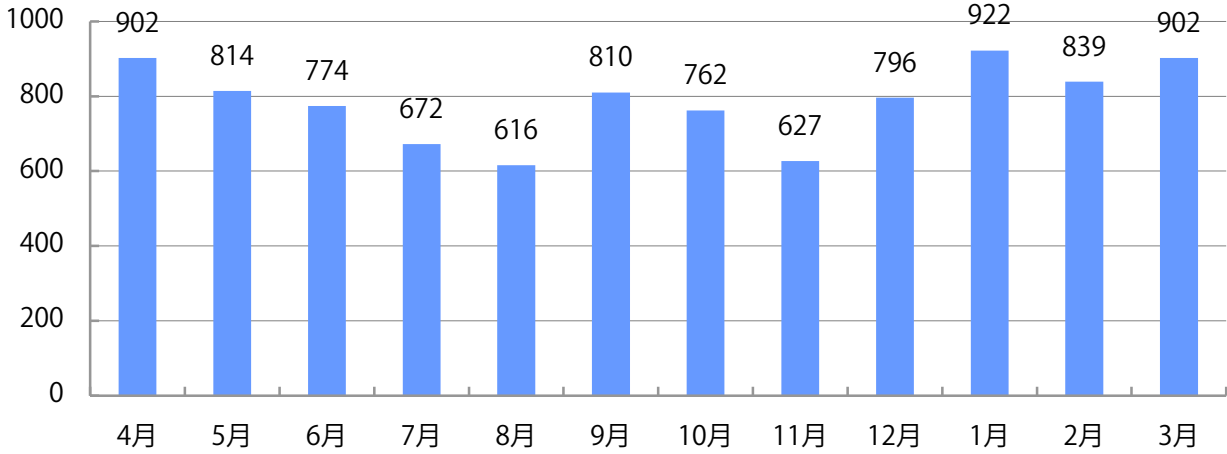
また、クリニック内では対応が困難な検査や、入院が必要となる専門的な治療は、他の医療機関やハートライフ病院などと連携して治療を行います。

職員数

総 数	11 名	
医 師	7 名（非常勤）	保育士 1 名
看護師	2 名	クラーク 1 名

業務実績

小児科 月別外来受診者数



附属施設

疾病予防運動施設リューザ

疾病予防運動施設 リューザ 長嶺 敦司

部門紹介

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA（リューザ）はハートライフクリニックと併設しているため、医師による運動処方箋をもとに医学的視点を加味し、安心して効果的な運動による疾病予防が可能です。

リューザでは、理学療法士が常駐しており、また、健康運動指導士といった運動の専門家が一人ひとりの身体の状態に合った運動プログラムを作成し、健康づくりを全面的にサポートします。

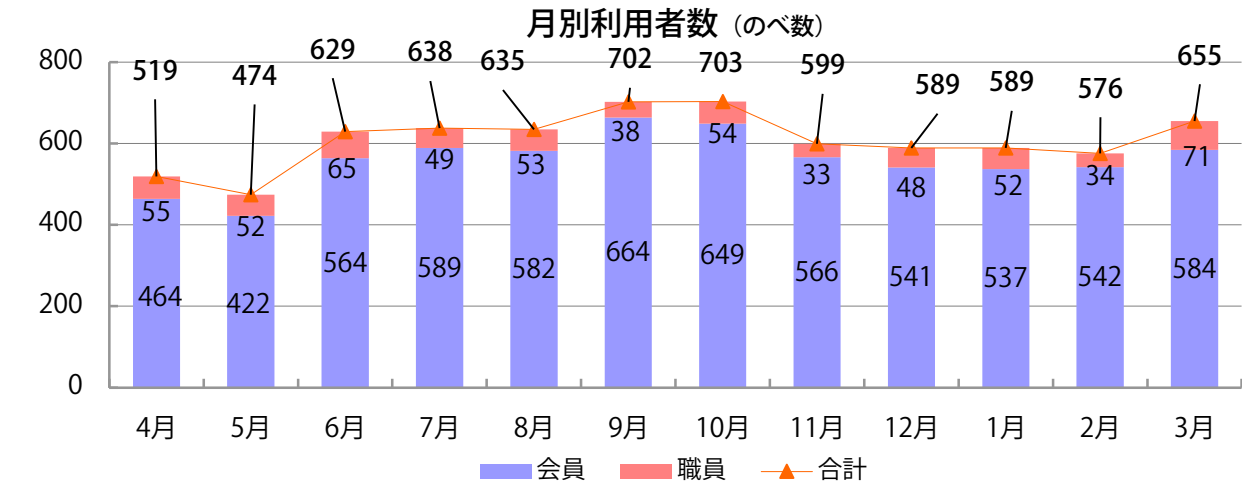
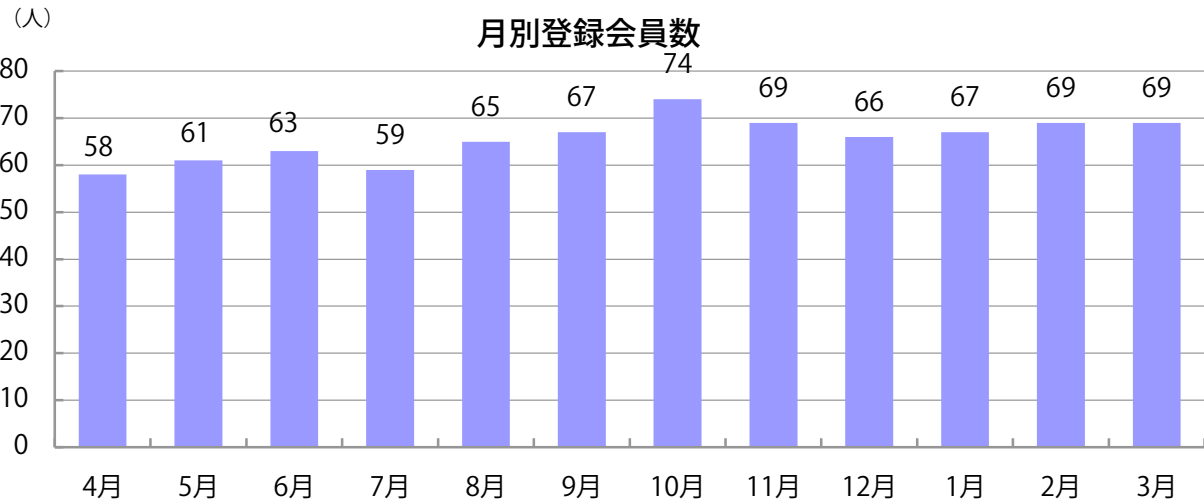
職員数

総数 2 名

理学療法士 1 名

健康運動実践指導者 1 名

業務実績



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
ウォーキング習慣者に監視下による包括的運動療法を新たに導入し、その後の体組成変化と血糖コントロールの影響を検証する	第 57 回日本糖尿病学会 年次学術集会	大阪府	2014 年 5 月 22 日	長嶺敦司
「効果的な集団運動指導を探る」多種目の運動教室は運動実施率を向上へと導くか	第 52 回日本糖尿病学会 九州地方会	熊本県	2014 年 10 月 31 日	長嶺敦司

活動実績

講演会参加実施

講座名	開催地	日付	演者（講師）
生活習慣、予防について	北中城村	2014 年 6 月 18 日	長嶺敦司
第 2 回糖尿病の治療・看護指導のための講習会 「Lets フットケア」	那覇市	2014 年 9 月 27 日	長嶺敦司
内部障害に対する理学療法の進め方の基本（代謝）	与那原町	2015 年 3 月 1 日	長嶺敦司

広報誌あすなろへの寄稿

タイトル	号	監修
首回りスッキリ!肩こり解消「簡単!ゆらゆら・くるくる体操」	No.77 春号	長嶺敦司
首回りスッキリ!肩こり解消 part2 「簡単!うんうん・イヤイヤ体操」	No.78 夏号	長嶺敦司
股関節のコンディショニング	No.79 秋号	長嶺敦司
足部のコンディショニング	No.80 新年号	長嶺敦司

ヘルシーカフェ ohana

ヘルシーカフェ ohana 新垣 優子

部門紹介

ヘルシーカフェ Ohana（オハナ）は、ハートライフクリニックに来院される方や、生活習慣病が気になる方に低カロリー料理を提供しています。

カロリー計算されたモーニングセット・ランチや日替わり弁当、お客様の要望に合わせたオードブルやスイーツの予約注文も承っています。また、ハートライフ病院の産婦人科で出産された方へお祝い膳と特別コース料理、医局の当直弁当、院内講演会の軽食なども利用して頂いています。

今年度は、JA 沖縄北中城村からスイーツ講習会、グッジョブ西原わくわくワーク連銘協議会からのお仕事先生依頼で 30 人の子供達に、カフェの仕事講話とクッキーアイシング体験を行いました。

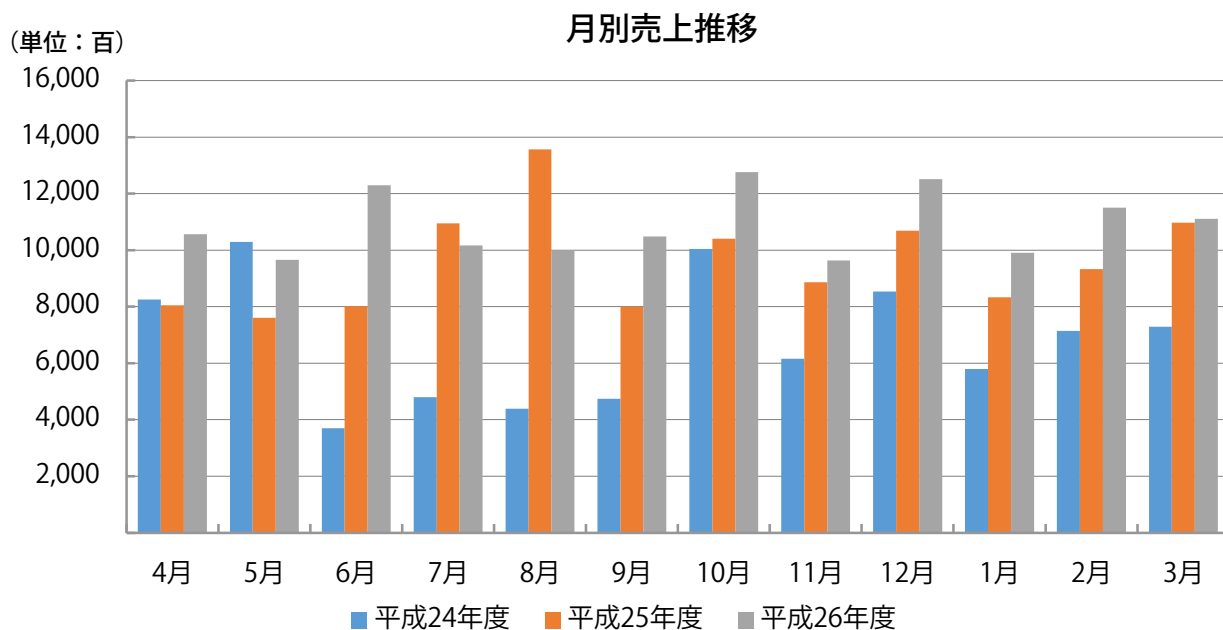
職員数

総数 3 名

調理師 2 名

フロア（配膳） 1 名

業務実績



ハートライフ地域包括ケアセンター 平成 26 年度 年次報告

Annual report
of Heartlife area comprehensive care center 2014

施設概要

組織概要

施設名

ハートライフ地域包括ケアセンターを総称として、5 事業所で構成される。

1. 住宅型有料老人ホームはーとらいふ（H 27 年 7 月開所予定）
2. デイサービスはーとらいふ（H 27 年 7 月開所予定）
3. ヘルパーステーションはーとらいふ（H 26 年 8 月開所）
4. 訪問看護ステーションはーとらいふ（H 26 年 8 月開所）
5. ケアプランセンターはーとらいふ（H 26 年 7 月開所）

所在地

〒 903-0101 沖縄県中頭郡西原町字掛保久 288 番地（3 ～ 5 の開所済み事業所）

〒 903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇 1606 番地（建築中）

連絡先

電話 （098）895-3255（代表 / ハートライフ病院内 開設準備室）

ホームページ <http://www.heartlife.or.jp/clinic/>

管理者一覧

センター長 西銘 宣子

副センター長 比嘉 藤子

理念

「わたしたちは 心と心を結ぶ信頼される 医療と介護をめざします」

運営方針

1. 自分や自分の家族がして欲しいと思うケアを提供します。
2. いつでも笑顔で親切的なケアを提供します。
3. 利用様の方の個性や楽しみを尊重し、その人らしく笑顔で日常生活を送れるように
優しさと温かみのあるケアを提供します。
4. 医療と介護の連携により、切れ目のない支援を提供します。
5. 職員がやりがいと誇りを持って、働ける環境を作ります。

職員数

総数 12 名

内訳

センター長	1 名（兼務）	副センター長（施設長）	1 名
業務課長	1 名（兼務）	相談員	1 名
訪問看護ステーション		看護師	3 名
ヘルパーステーション		介護福祉士	3 名
ケアプランセンター		ケアマネージャー	2 名（1 名・準備室兼務）

委員会及び定例会議

介護事業準備委員会〔4 月～8 月〕

開催日時 ： 毎月（第四）金曜日 午後 4 時～午後 5 時

開催場所 ： 第一会議室

会議目的 ： 介護事業全般に関する事項を協議する。

委 員 ： 西銘宣子（看護部長）、松家豊重（主任）、望月祥子（主任）、
仲地智俊（事務副部長）、比嘉靖（事務副部長）、宮里毅（管財課長）、安里竜（企画課長）
大山朝史（経理副主任）、比嘉康文（法人事務課長）

オブザーバー： 當銘秀之（事務部長）、宮城竜也（医療技術部長）

介護事業定例会議〔9 月～〕

開催日時 ： 毎週金曜日 午後 3 時～午後 4 時

開催場所 ： 第二会議室

会議目的 ： ハートライフ地域包括ケアセンター開設に向けた事業計画及び運営について検討する。

会議内容 ： 収支計画・物品購入計画・広報計画・申請書類関係・ケアセンター図面検討 等々

委 員 ： 西銘宣子（センター長）、比嘉藤子（副センター長）、比嘉康文（業務課長）、
望月祥子（主任）、松家豊重（主任）宮里毅（管財課長）、知念政治（広報副主任）、
仲地智俊（事務副部長）

オブザーバー： 宮城竜也（医療技術部長）

活動実績

年月	平成 26 年度 業務実績
2014 年 (平成 26 年)	
2 月	住宅型有料老人ホーム建築着工 (H27 年 3 月竣工予定) 起工式 → 5 月末竣工へ
2014 年 (平成 26 年)	
4 月	介護事業準備委員会 設置 広報活動 (ホームページ開設)
5 月	介護事業事務所 (準備室) 移設 (ハートライフ病院内⇒ハートライフクリニック内)
6 月	広報活動 (チラシ作成配布)
7 月	ケアプランセンター はーとらいふ 開所 (H26.7.1 事業所No. 4772700185)
8 月	ヘルパーステーション はーとらいふ 開所 (H26.8.1 事業所No. 4772700185) 訪問看護ステーション はーとらいふ 開所 (H26.8.1 事業所No. 4761290123)
9 月	介護事業定例会議 設置 造成・擁壁工事が完了し、建物基礎工事開始
12 月	地域包括ケアセンター 組織図 / 理事会承認 介護事業計画見直し (利用者数・職員採用数・開所日) / 理事会承認 介護福祉士給与 (初任給・正職員) 見直し / 承認 ※ H27.4.1 より改定 有料老人ホームはーとらいふ 設置届 県提出 トレードマーク「唐草と菊」理事会承認
2015 年 (平成 27 年)	
1 月	センター長 西銘宣子 任命
2 月	副センター長 (兼施設長) 比嘉藤子 任命 住宅型有料老人ホーム・デイサービス 職員採用 住宅型有料老人ホーム入居者募集開始 介護事業報酬改定集団指導 (参加)
3 月	業務課長 (兼務) 比嘉康文 任命 デイサービスはーとらいふ 申請準備 給食・清掃委託業者の検討

【平成 26 年度 介護事業訪問実績】

事業所名	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
訪問看護ステーション	6	8	52	40	67	55	50	54
ヘルパーステーション	0	0	10	16	17	29	41	47
ケアプランセンター	1	4	9	16	14	13	17	22

編集後記

平成 26 年度の年報が完成しました。様々なデータを見ていると年々ハートライフ病院が成長し、より質の高い医療を提供してきていると感じます。1 年間の職員一人ひとりの頑張りがつまった年報です。

平成 26 年 8 月にはハートライフ病院創立 26 周年を迎えることができました。これも職員の皆様の尽力と地域の住民の方々の温かいご支援のおかげだと心より感謝申し上げます。

患者さんの治療だけでなく様々なイベントでも異なった職種の職員が協力して全力を尽くせるのもハートライフ病院の特徴です。餅つき大会、全島縦断駅伝、卓球大会、忘年会と写真を見ながら熱く燃えている職員の姿を思い出します。また、各部署で 5 年後、10 年後を見据えた人材育成にこれまで以上に努力していかなければ行けないと感じました。

今年度の年報の完成には広報の知念さんと仲田さんの尽力によるところが大きいです。8 月までに完成というこれまでにないハイペースで校正が進みました。また、毎月集まって議論や資料収集をしてくださった年報委員の皆様にご感謝申し上げます。これからも職員の皆様の意見を反映し年報がより充実したものになることを期待しています。

年報作成委員長 奥 島 憲 彦

データ収集にご協力頂いた、各部署の皆様ありがとうございました。

年報作成委員会の皆様お疲れ様でした。

◇年報作成委員会◇

委員長	奥 島 憲 彦 (ハートライフ病院院長)
副委員長	嘉 川 春 生 (泌尿器科部長)
委 員	菅 野 善一郎 (心療内科医長)
	仲 地 ますみ (看護副部長)
	仲 座 義 富 (放射線科技師長)
	斎 藤 辰 好 (臨床検査科副技師長)
	當 銘 秀 之 (事務部長)
	大 城 真 澄 (メディカルクラーク)
	仲 松 泉 (メディカルクラーク)
	呉 屋 亮 太 (診療情報管理室)
	宮 城 映 子 (総務課図書係)
	新 垣 優 子 (ヘルシーカフェ ohana 主任)
	知 念 政 治 (企画室広報係副主任)
	仲 田 尚 正 (企画室広報係)

社会医療法人かりゆし会 平成 26 年度年報
第 21 巻 平成 27 年 8 月

編集発行人 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
年報作成委員会

〒 901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地
電話 . (098) 895-3255 (代) FAX. (098) 895-2534
URL. <http://www.heartlife.or.jp/>